

令和元年度 歳入歳出決算にかかる 主要な施策の成果説明書

審査グループ③

地域振興部	No1～No115、No317
産業政策部	No116～No226、No312～No314
建設交通部	No227～No306、No316
農業委員会事務局	No307～No310
上下水道部	No311、No315

福知山市

- ・全事業を対象としていますが、職員人件費や企業会計は除いています。一部の特別会計では、複数の事業を合算して作成しています。
- ・四捨五入などの端数処理の関係で合計があわないことがあります。
- ・令和2年度に事後評価を実施した事業については、R2評価の欄にチェックを付けています。

(3月の△は減額補正)

No	事業名称	部・室	担当課	附属頁	予算概要	主要事項説明書					R2評価	
						当初	5月	6月	9月	12月		3月
1	ハピネスふくちやま管理運営事業	地域振興部	人権推進室	70								
2	公共施設マネジメントモデル事業(旧三岳小学校)	地域振興部	人権推進室	72							△	
3	人権文化のつどい事業	地域振興部	人権推進室	110								
4	人権推進一般事務事業	地域振興部	人権推進室	116・118								
5	部落解放運動補助事業	地域振興部	人権推進室	118								
6	人権施策推進計画事業	地域振興部	人権推進室	118								
7	平和・人権の輪つながり広がり事業	地域振興部	人権推進室	118	○	○						
8	人にいちばん近いまちづくり推進事業	地域振興部	人権推進室	118	○							
9	人権擁護委員活動事業	地域振興部	人権推進室	118								
10	市民意識調査事業	地域振興部	人権推進室	118・120	○							◎
11	差別を許さない人材育成事業	地域振興部	人権推進室	120								
12	共に幸せを生きるまちづくり人権講座事業	地域振興部	人権推進室	120								
13	男女共同参画推進事業	地域振興部	人権推進室	120	○							
14	男女共同参画保護救済事業	地域振興部	人権推進室	120								
15	人権ふれあいセンター管理事業	地域振興部	人権推進室	130・132								
16	共同利用施設維持管理事業	地域振興部	人権推進室	132								
17	人権ふれあいセンター等改修事業	地域振興部	人権推進室	132								
18	公共施設民間譲渡事業(集会施設)	地域振興部	人権推進室	132	○							
19	人権ふれあいセンター運営事業(地域福祉・地域交流・人材育成)	地域振興部	人権推進室	132								
20	識字学級開設事業	地域振興部	人権推進室	132								
21	教育集会所管理事業	地域振興部	人権推進室	132・134								
22	教育集会所学習活動事業	地域振興部	人権推進室	134								
23	一戸建住宅維持管理事業	地域振興部	人権推進室	204								
24	住宅新築資金等貸付事業	地域振興部	人権推進室	204								
25	自治会長関係事業	地域振興部	まちづくり推進課	60								
26	国際交流事業	地域振興部	まちづくり推進課	84	○	○						
27	地域振興基金造成事業	地域振興部	まちづくり推進課	86							○	
28	移住・定住促進事業	地域振興部	まちづくり推進課	86・88	○	○		○				
29	内宮参道活性化事業	地域振興部	まちづくり推進課	88								
30	全国過疎地域自立促進関連事業	地域振興部	まちづくり推進課	92								
31	コミュニティ助成事業	地域振興部	まちづくり推進課	92			○					
32	元気出す地域活力支援事業	地域振興部	まちづくり推進課	92	○							
33	公共施設民間譲渡事業(集会施設)(まちづくり推進課)	地域振興部	まちづくり推進課	92	○							
34	集会所等維持管理関連事務事業	地域振興部	まちづくり推進課	92・94								
35	集会施設等整備事業	地域振興部	まちづくり推進課	94								
36	市民憲章推進事業	地域振興部	まちづくり推進課	94								
37	みんなのまちづくり推進事業	地域振興部	まちづくり推進課	94	○							
38	地域づくり組織支援事業	地域振興部	まちづくり推進課	94	○	○						
39	みんなで解決支援事業(ふくレボ)	地域振興部	まちづくり推進課	94								
40	次世代交流ワークショップ事業	地域振興部	まちづくり推進課	94	○							
41	三和支所一般管理事業	地域振興部	三和支所	64								
42	三和支所施設管理事業	地域振興部	三和支所	70								
43	三和荘等施設管理運営事業	地域振興部	三和支所	86								
44	三和荘基幹設備整備改修事業	地域振興部	三和支所	86								
45	地域農業者ネットワークづくり事業	地域振興部	三和支所	86								
46	新橋サンダル公園管理事業	地域振興部	三和支所	86								
47	三和ふれあいフェスティバル事業	地域振興部	三和支所	86								
48	三和支所きめ細かな安心安全事業	地域振興部	三和支所	92								
49	菟原下定住促進住宅用地販売促進事業	地域振興部	三和支所	92								
50	お試し住宅管理事業(三和地域)	地域振興部	三和支所	92								
51	夜久野支所一般管理事業	地域振興部	夜久野支所	64								
52	公共施設除却事業(庁舎)(夜久野支所)	地域振興部	夜久野支所	68・70	○							
53	夜久野支所施設管理事業	地域振興部	夜久野支所	70								
54	額田ダシまつり補助事業	地域振興部	夜久野支所	86								
55	夜久野高原・道の駅支援事業	地域振興部	夜久野支所	88								

(3月の△は減額補正)

No	事業名称	部・室	担当課	附属頁	予算概要	主要事項説明書						R2評価
						当初	5月	6月	9月	12月	3月	
56	玄武岩公園管理事業	地域振興部	夜久野支所	88								
57	やくの木と漆の館事業	地域振興部	夜久野支所	88・90								
58	農匠の郷やくの施設管理運営事業	地域振興部	夜久野支所	90								
59	宝山公園等管理事業	地域振興部	夜久野支所	90								
60	玄武岩公園用地整理事業	地域振興部	夜久野支所	90								
61	夜久野支所きめ細かな安心安全事業	地域振興部	夜久野支所	92								
62	大江支所一般管理事業	地域振興部	大江支所	64・66								
63	大江支所施設管理事業	地域振興部	大江支所	70								
64	地域振興センター管理事業	地域振興部	大江支所	84・86								
65	蓼原ロードパーク・猿田彦公園管理事業	地域振興部	大江支所	86								
66	元伊勢八朔祭補助事業	地域振興部	大江支所	86								
67	大雲記念館等管理事業	地域振興部	大江支所	88								
68	大江山鬼瓦工房等管理事業	地域振興部	大江支所	88								
69	和紙伝承館管理事業	地域振興部	大江支所	88								
70	大江地域施設改修事業	地域振興部	大江支所	90								
71	元伊勢観光センター管理事業	地域振興部	大江支所	90								
72	観光関連施設管理事業	地域振興部	大江支所	90								
73	大江支所きめ細かな安心安全事業	地域振興部	大江支所	92								
74	鬼の里Uターンプラザ1・2管理運営事業	地域振興部	大江支所	92								
75	定住促進住宅管理運営事業	地域振興部	大江支所	92								
76	丹波漆活用事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	76	○	○						
77	厚生会館文化芸術振興自主事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	76								
78	市展事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	76								
79	佐藤太清賞公募美術展事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	76・78								
80	中丹文化芸術祭事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	78								
81	市民文化活動推進事業他文化振興関連事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	78	○	○						
82	福知山市ジュニア文化賞表彰事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	78								
83	佐藤太清記念美術館企画・展示品等充実事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	78								
84	福知山城天守閣管理運営事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	78・80								
85	佐藤太清記念美術館管理運営事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	80								
86	丹波生活衣館管理運営事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	80								
87	治水記念館管理運営事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	80								
88	芦田均記念館管理運営事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	80								
89	厚生会館管理運営事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	80								
90	新町文化センター管理運営事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	80・82								
91	新町文化センター資料移転事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	82		○						◎
92	福知山市伝統文化後継者育成事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	82		○						
93	福知山城観光誘客強化事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	82	○							
94	治水記念館整備改修事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	82								◎
95	スポーツ賞表彰事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	96								
96	文化財保全事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	240								
97	夜久野町化石・郷土資料館運営事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	240								
98	日本の鬼の交流博物館運営事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	240								
99	文化財整理事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	240								
100	文化財資料移転事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	240								
101	市内遺跡発掘調査事業(国庫補助事業)	地域振興部	文化・スポーツ振興課	240・242								
102	文化財保護啓発事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	242								
103	スポーツ振興協働化事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	250								
104	スポーツ推進委員会事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	250								
105	スポーツ少年団育成事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	250								
106	生涯スポーツ推進事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	250・252								
107	四都市体育大会事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	252								
108	福知山マラソン大会支援事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	252								
109	スポーツ振興事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	252								
110	国際大会開催準備事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	252	○	○				○	○	
111	トップアスリート育成支援事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	252	○	○						◎
112	オリンピック聖火リレー事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	252						○		
113	インターハイ準備事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	252・254								◎
114	体育施設維持管理事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	254								

No	事業名称	部・室	担当課	附属員	予算概要	主要事項説明書						R2 評価
						当初	5月	6月	9月	12月	3月	
115	体育施設設備整備事業	地域振興部	文化・スポーツ振興課	254	○	○						
116	昭和新町駐車場管理事業	産業政策部	産業観光課	72								
117	お城で忍者事業 ■作成要■	産業政策部	産業観光課	88								
118	再エネ・省エネ推進事業	産業政策部	産業観光課	158	○	○						
119	労働組合関連事業	産業政策部	産業観光課	164								
120	勤労者住宅融資制度利子補給事業	産業政策部	産業観光課	164								
121	シルバー人材センター支援事業	産業政策部	産業観光課	164								
122	商工会議所商工業振興対策支援事業	産業政策部	産業観光課	180								
123	商工会商工業振興対策支援事業	産業政策部	産業観光課	180								
124	商店街等振興事業	産業政策部	産業観光課	180								
125	販路開拓支援事業	産業政策部	産業観光課	180		○						
126	福知山産業フェア事業	産業政策部	産業観光課	180								
127	小規模企業融資制度事業	産業政策部	産業観光課	180		○						
128	災害復旧融資特別支援事業	産業政策部	産業観光課	180								
129	福知山市産業支援事業	産業政策部	産業観光課	180	○	○						
130	中心市街地誘客・回遊促進事業	産業政策部	産業観光課	180	○	○						
131	福知山城憩いの広場(ゆらのガーデン)管理事業	産業政策部	産業観光課	180								
132	中心市街地活性化基本計画推進事業	産業政策部	産業観光課	180・182		○						
133	まちづくり会社活動支援事業	産業政策部	産業観光課	182								
134	城下町福知山・まち歩き観光促進事業	産業政策部	産業観光課	182								
135	街なみ環境整備事業	産業政策部	産業観光課	182	○	○						
136	福知山パーキング管理事業	産業政策部	産業観光課	182								
137	地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略事業	産業政策部	産業観光課	182								
138	中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業	産業政策部	産業観光課	182		○						
139	(仮称)福知山鉄道館ポッポランド建設事業	産業政策部	産業観光課	182					○		○	
140	商工・産業政策事務管理事業	産業政策部	産業観光課	182								
141	企業交流促進事業	産業政策部	産業観光課	182								
142	ふるさと就職おうえん事業	産業政策部	産業観光課	182								
143	起業おうえん事業	産業政策部	産業観光課	182・184								
144	アネックス京都三和企業誘致対策事業	産業政策部	産業観光課	184	○	○						
145	企業誘致対策一般管理事業	産業政策部	産業観光課	184								
146	企業誘致促進特別対策事業	産業政策部	産業観光課	184	○	○						△
147	企業向け従業員住宅一般管理事業	産業政策部	産業観光課	184								△
148	福知山鉱山坑廃水処理場管理運営事業	産業政策部	産業観光課	184								
149	日本鬼文化交流事業	産業政策部	産業観光課	184								
150	観光おもてなし促進事業	産業政策部	産業観光課	184								
151	観光振興一般管理事業	産業政策部	産業観光課	184・186								
152	福知山踊り振興事業	産業政策部	産業観光課	186								
153	観光案内所管理運営事業	産業政策部	産業観光課	186								
154	観光パンフレット作成事業	産業政策部	産業観光課	186								
155	観光案内看板(道路サイン)整備事業	産業政策部	産業観光課	186	○	○						△ ◎
156	福知山お城まつり支援事業	産業政策部	産業観光課	186								
157	観光友好都市交流事業	産業政策部	産業観光課	186								
158	福知山観光地域づくりセンター運営事業	産業政策部	産業観光課	186	○							
159	「肉のまち福知山」事業	産業政策部	産業観光課	186	○	○						
160	海の京都DMO事業	産業政策部	産業観光課	186		○						
161	森の京都DMO事業	産業政策部	産業観光課	186		○						
162	福知山城公園観光駐車場管理運営事業	産業政策部	産業観光課	186・188								
163	農政事務管理事業	産業政策部	農政課	166								
164	農村研修集会施設等管理事業	産業政策部	農政課	166								
165	公共施設民間譲渡事業(集会施設)(農政課)	産業政策部	農政課	166		○						
166	大呂自然休養村管理事業	産業政策部	農政課	166		○						
167	こぶし荘管理事業	産業政策部	農政課	166・168								
168	里の駅みたけ管理事業	産業政策部	農政課	168								
169	水土里ネット京都関連事業	産業政策部	農政課	174					○			
170	府営ため池整備事業	産業政策部	農政課	174		○						
171	稚児野台地跡地調査事業	産業政策部	農政課	174								◎
172	農業施設維持修繕事業	産業政策部	農政課	174								
173	ため池等農地災害危機管理対策事業	産業政策部	農政課	174		○			○		○	

(3月の△は減額補正)

No	事業名称	部・室	担当課	附属頁	予算概要	主要事項説明書						R2評価
						当初	5月	6月	9月	12月	3月	
174	府営川北地区ほ場整備事業	産業政策部	農政課	174					○			
175	農地耕作条件改善事業	産業政策部	農政課	174								
176	農村地域防災減災事業	産業政策部	農政課	174	○	○						
177	農地・農業用施設災害復旧事業	産業政策部	農政課	258								
178	北陵総合センター災害復旧事業	産業政策部	農政課	258					○			
179	大呂自然休養村センターキャンプ場災害復旧事業	産業政策部	農政課	258								
180	市営林管理事業	産業政策部	農林業振興課	68		○						△
181	と畜場運営費	産業政策部	農林業振興課	164								
182	農林漁業施設維持管理事業	産業政策部	農林業振興課	168								
183	公共施設民間譲渡事業（農業施設（共同作業所））	産業政策部	農林業振興課	168		○						
184	農業振興事務管理事業	産業政策部	農林業振興課	168								
185	河川種苗放流事業	産業政策部	農林業振興課	168								
186	京野菜生産加速化事業	産業政策部	農林業振興課	168		○						
187	農業生産組織等指導強化事業	産業政策部	農林業振興課	168・170								
188	農産物価格安定対策事業	産業政策部	農林業振興課	170								
189	京の水田農業確立支援事業	産業政策部	農林業振興課	170								△
190	茶業振興対策事業	産業政策部	農林業振興課	170								
191	経営所得安定対策等推進事業	産業政策部	農林業振興課	170								
192	担い手確保・経営強化支援事業	産業政策部	農林業振興課	170								
193	地場産農産物推進事業	産業政策部	農林業振興課	170								
194	認定担い手農家育成助成事業	産業政策部	農林業振興課	170								
195	新規就農総合支援事業	産業政策部	農林業振興課	170		○						△
196	制度資金利子補給事業	産業政策部	農林業振興課	170								
197	稼げる農業応援事業	産業政策部	農林業振興課	170	○	○						
198	農地中間管理事業	産業政策部	農林業振興課	170								△
199	野菜生産施設災害復旧事業	産業政策部	農林業振興課	170								
200	スマート農林水産業実装チャレンジ事業	産業政策部	農林業振興課	172					○	○		
201	中山間地域等直接支払交付事業	産業政策部	農林業振興課	172								
202	農業振興推進事業	産業政策部	農林業振興課	172								
203	多面的機能支払交付事業	産業政策部	農林業振興課	172								△
204	農業振興計画策定事業	産業政策部	農林業振興課	172		○						
205	畜産関連事業	産業政策部	農林業振興課	172								
206	畜産等調査支援事業	産業政策部	農林業振興課	172								
207	畜産経営安定化支援事業	産業政策部	農林業振興課	172								
208	家畜市場運営事業	産業政策部	農林業振興課	172・174								
209	林業関係事務事業	産業政策部	農林業振興課	174・176								
210	森林経営管理事業	産業政策部	農林業振興課	176	○	○						○◎
211	林地保全事業	産業政策部	農林業振興課	176								
212	森林整備地域活動支援推進事業	産業政策部	農林業振興課	176								
213	森林適正整備推進事業	産業政策部	農林業振興課	176								
214	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業	産業政策部	農林業振興課	176		○						
215	林道・作業道維持管理等事業	産業政策部	農林業振興課	176								
216	地域間交流促進ネットワーク事業（林道整備）	産業政策部	農林業振興課	176					○			
217	森林組合同伐補助事業	産業政策部	農林業振興課	176		○						△
218	林道橋りょう長寿命化事業	産業政策部	農林業振興課	176・178		○						
219	有害鳥獣捕獲事業	産業政策部	農林業振興課	178	○	○						
220	有害鳥獣防除事業	産業政策部	農林業振興課	178		○						
221	安心・安全の森づくり事業	産業政策部	農林業振興課	178	○	○						△
222	「スイーツのまち福知山」事業	産業政策部	農林業振興課	178	○	○						△
223	林業の担い手支援事業	産業政策部	農林業振興課	178								
224	福知山千年の森づくり事業	産業政策部	農林業振興課	178								
225	災害に強い森づくり事業	産業政策部	農林業振興課	178					○			
226	林道施設災害復旧事業	産業政策部	農林業振興課	258					○			
227	かわまちづくり事業	建設交通部	道路河川課	90・92								
228	国府事業（各団体・同盟会活動関係経費）	建設交通部	道路河川課	188								
229	土木一般管理事業	建設交通部	道路河川課	188								
230	総合的な治水対策PR事業	建設交通部	道路河川課	190	○	○						
231	道路台帳整備事業	建設交通部	道路河川課	190								
232	道路維持管理事業	建設交通部	道路河川課	190								

No	事業名称	部・室	担当課	附属頁	予算概要	主要事項説明書						R2評価
						当初	5月	6月	9月	12月	3月	
233	除雪関連事業	建設交通部	道路河川課	190・192								
234	道路橋りょう一般管理事業	建設交通部	道路河川課	192								
235	長田野工業団地維持管理事業	建設交通部	道路河川課	192								
236	長田野工業団地利活用増進事業（道路環境整備）	建設交通部	道路河川課	192	○	○						◎
237	中心市街地活性化関連道路整備事業	建設交通部	道路河川課	192								
238	交通安全対策整備事業	建設交通部	道路河川課	192								
239	辺地対策事業	建設交通部	道路河川課	192								
240	防衛施設周辺整備事業	建設交通部	道路河川課	192								
241	道路改良事業	建設交通部	道路河川課	192・194					○			
242	過疎対策事業	建設交通部	道路河川課	194								
243	広域交通網整備促進事業	建設交通部	道路河川課	194								
244	社会資本整備総合交付金事業（道路整備）	建設交通部	道路河川課	194	○						○	
245	地域間交流促進ネットワーク事業（市道整備）	建設交通部	道路河川課	194	○	○						
246	橋りょう長寿命化対策事業	建設交通部	道路河川課	194	○						○	
247	弘法川等河川改修関連橋りょう整備事業	建設交通部	道路河川課	194								
248	持原池管理事業	建設交通部	道路河川課	194								
249	河川維持管理事業	建設交通部	道路河川課	194・196								
250	急傾斜地崩壊対策事業	建設交通部	道路河川課	196							○	
251	由良川水系樋門等施設管理事業	建設交通部	道路河川課	196								
252	由良川改修関連事業	建設交通部	道路河川課	196								
253	排水機場・樋門管理事業	建設交通部	道路河川課	196								
254	調節池整備事業	建設交通部	道路河川課	196	○	○						
255	内水対策事業	建設交通部	道路河川課	196	○	○	○	○				
256	災害対策用機械緊急出動事業	建設交通部	道路河川課	214								
257	排水ポンプ車運転管理事業	建設交通部	道路河川課	216								◎
258	土木施設災害復旧事業	建設交通部	道路河川課	256		○						
259	地域再建被災者住宅等支援事業	建設交通部	建築住宅課	144・146							△	
260	公共施設周辺環境整備事業（市営住宅）	建設交通部	建築住宅課	202								
261	一般管理事業	建設交通部	建築住宅課	202								
262	市営住宅保守管理事業	建設交通部	建築住宅課	202・204								
263	市営住宅修繕事業	建設交通部	建築住宅課	204								
264	市営住宅改善事業	建設交通部	建築住宅課	204								
265	市営住宅明渡し事業	建設交通部	建築住宅課	204								
266	空家対策事業	建設交通部	建築住宅課	204	○							
267	まちづくり協議会支援事業	建設交通部	建築住宅課	204								
268	中村団地建替事業	建設交通部	建築住宅課	204					○			
269	つつじが丘・向野団地建替事業	建設交通部	建築住宅課	204				○				
270	住宅耐震改修事業	建設交通部	建築住宅課	212	○							
271	住宅耐震診断事業	建設交通部	建築住宅課	214	○							
272	民間施設ブロック塀等緊急安全対策支援事業	建設交通部	建築住宅課	214	○	○						
273	KTR支援事業	建設交通部	都市・交通課	82	○	○					○	
274	鉄道利用促進事業	建設交通部	都市・交通課	82								
275	乗合タクシー導入モデル事業	建設交通部	都市・交通課	82	○	○						◎
276	市バス運行事業	建設交通部	都市・交通課	82・84								
277	公共交通維持改善事業	建設交通部	都市・交通課	84	○						○	
278	有償運送運営協議会開催事業	建設交通部	都市・交通課	84								
279	福祉有償運送実施団体活動補助事業	建設交通部	都市・交通課	84								
280	交通空白地域移送サービス支援事業	建設交通部	都市・交通課	84								
281	地域コミュニティ交通導入モデル事業	建設交通部	都市・交通課	84	○	○						
282	敬老乗車券事業	建設交通部	都市・交通課	84								
283	高齢者運転免許証返納推進事業	建設交通部	都市・交通課	84	○							
284	交通安全対策事業	建設交通部	都市・交通課	84								
285	駅周辺公共施設管理事業	建設交通部	都市・交通課	196								
286	土地利用の届出勧告事業	建設交通部	都市・交通課	198								
287	開発関連一般事務事業	建設交通部	都市・交通課	198								
288	都市計画費一般管理事業	建設交通部	都市・交通課	198				○				
289	都市計画マスタープラン策定事業	建設交通部	都市・交通課	198	○							◎
290	地区計画策定事業	建設交通部	都市・交通課	198								
291	鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金積立事業	建設交通部	都市・交通課	198							○	

(3月の△は減額補正)

No	事業名称	部・室	担当課	附属頁	予算概要	主要事項説明書						R2評価
						当初	5月	6月	9月	12月	3月	
292	街路事業（多保市正明寺線 高畑工区）	建設交通部	都市・交通課	198								
293	街路事業（篠尾線 篠尾工区）	建設交通部	都市・交通課	198・200	○						△	
294	都市計画事業用地管理事業	建設交通部	都市・交通課	200								
295	既設公園管理事業	建設交通部	都市・交通課	200								
296	未来につなぐ櫻プロジェクト	建設交通部	都市・交通課	200								
297	長田野工業団地利活用増進事業（緑地等環境整備）	建設交通部	都市・交通課	200	○	○					○	◎
298	三段池公園ユニバーサル化事業	建設交通部	都市・交通課	200	○							
299	福知山城公園整備事業	建設交通部	都市・交通課	200・202								
300	三段池公園カルチャーパーク整備事業	建設交通部	都市・交通課	202								
301	公園施設長寿命化対策支援事業	建設交通部	都市・交通課	202	○						○	
302	用地一般管理事業	建設交通部	用地課	188								
303	官民境界確定事業	建設交通部	用地課	188								
304	地籍調査事業	建設交通部	用地課	188・190	○						△	
305	法定外公共物管理事業	建設交通部	用地課	190								
306	未登記用地測量事業	建設交通部	用地課	192								
307	農業者年金受託事業	農業委員会	農業委員会事務局	164								
308	農政活動推進事業	農業委員会	農業委員会事務局	164・166								
309	農業委員会運営事業	農業委員会	農業委員会事務局	166								
310	農家基本台帳等整備事業	農業委員会	農業委員会事務局	168								
311	水洗化促進補助事業	上下水道部	経営総務課	160	○							

No	事業名称	部・室	担当課	附属頁	予算概要	主要事項説明書						R2評価
						当初	5月	6月	9月	12月	3月	
■と畜場費特別会計						○						
312	と畜場費特別会計	産業政策部	農林業振興課	286								
■宅地造成事業特別会計						○						
313	非農用地造成事業	産業政策部	農政課	290								
■公設地方卸売市場事業特別会計						○						
314	公設市場運営経費	産業政策部	農林業振興課	298								
■農業集落排水施設事業特別会計						○				△		
315	農業集落排水施設事業特別会計	上下水道部	経営総務課・下水道課	304~310								
■石原土地区画整理事業特別会計						○						
316	石原土地区画整理事業	建設交通部	都市・交通課	314								
■下夜久野地区財産区管理会特別会計						○						
317	下夜久野地区財産区管理経費	地域振興部	夜久野支所	338								

決算成果説明書の見方

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	〇〇推進事業 …①												
事業担当	所属	〇〇部 〇〇課 …②					所属長	〇〇 〇〇 …③					
会計情報	④ 事業コード	〇〇	款	〇〇	項	〇〇	目	〇〇	会計	〇〇	決算付属資料	〇〇	頁
施策体系	⑤ 施策コード	〇〇	施策名	〇〇									
計画期間	開始年度	平成〇年度…⑥	終了予定年度	令和〇年度…⑦	関連計画名	〇〇策定計画、〇〇アクションプラン 等 …⑧							
根拠法令等	〇〇法第〇〇条、福知山市〇〇規則、〇〇設置要綱 等 …⑨												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 (…⑩)												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 …⑪												
関連事業	〇〇計画策定事業 …⑫												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	〇〇〇…⑬								
対象者	⑭ 市民のうち〇〇の対象となる者、〇〇地域住民 等	対象者数	77,122			単位あたりコスト	〇〇.〇…⑮		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 (…⑯)								
委託先・実施主体等	〇〇株式会社、〇〇自治会、〇〇協議会 等 …⑰								
事業概要 (箇条書き)	〇〇 …⑱								
主な支出に係る 業務内容と経費	⑲ 支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報酬	100	〇〇委員会 委員報酬						
	報償費	300	〇〇委員会 委員謝礼金						
	旅費	4,800	〇〇委員旅費						
	委託料	15	〇〇業務委託料						
需用費、役務費	50	消耗品、郵送料、庁用備品 等							

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)				
⑳ 予算情報	① 当初予算	5,000	7,000	8,500	予算編成時記入						
	② 補正予算	1,000	0	0							
	③ 繰越予算	0	△ 2,000	△ 2,000							
	前年度繰越	0	0	△ 2,000							
	次年度繰越	0	△ 2,000	0							
小計(①～③)	6,000	5,000	6,500								
㉑ 予算財源内訳	① 一般財源	5,000	4,500	6,500							
	② 国支出金	1,000	0	0							
	③ 府支出金	0	0	0							
	④ 地方債	0	0	0							
	⑤ その他特財	0	500	0							
㉒ 決算情報	① 流充用額	500	0	0							
	② 配当予算 ㉓	6,500	5,000	0							
	③ 執行額	6,500	4,800	0							
	④ 執行率 ㉔	100.0%	96.0%								
㉕ 人概工算	① 従事職員数 ㉖ (正職員/嘱託職員)	0.50 / 0.10	0.45 / 0.00	0.45 / 0.00	0.00 / 0.00						
	② 概算人件費	4,250	3,600	3,600	0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,750	8,400	3,600								
㉗ 主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	〇〇補助金		種類	国支出金		実績金額	400	決算付属資料	38	頁
	特財名称	〇〇使用料		種類	市施設使用料		実績金額	100	決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
㉘ 成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	計画策定率	%	〇 / 〇〇	〇 / 〇〇	〇 / 〇〇	/ 〇〇	●●		
㉙ 活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	〇〇開催回数	回	〇 / 〇〇	〇 / 〇〇	〇 / 〇〇	/ 〇〇	●●		
	単位あたりコスト		〇〇.〇	〇〇.〇	〇〇.〇				
	〇〇補助金交付件数	件	〇 / 〇〇	〇 / 〇〇	〇 / 〇〇	/ 〇〇	●●		
単位あたりコスト		〇〇.〇	〇〇.〇	〇〇.〇					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
㉔ 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	○○
㉕ 効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	○○
㉖ 有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	○○
㉗ 事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価			○○
㉘ これまでの課題及び今後の方向性			○○

VI 他部署評価

㉙ 事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
㉚ 事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

決算成果説明書の解説

	様式中 参照	項目	表の見かた・解説
I 事業 属性	①	事業名	事務事業評価における事業名を記載しています。
	②	所属	事業を実施する担当課を記載しています。
	③	所属長	評価内容に責任を有する者（課長級職）を記載しています。
	④	会計情報	予算の歳出費目を記載しています。
	⑤	施策体系	「未来創造 福知山」基本計画での位置付けを示しています。
	⑥	開始年度	評価の対象となった事業の開始年度を示しています。
	⑦	終了予定年度	事業の終了予定年度を示しています。
	⑧	関連計画名	「未来創造 福知山」基本計画を除き、当該事業の位置付けがある計画等を記載しています。
	⑨	根拠法令等	事業実施の根拠となる法令等を記載しています。
	⑩	事業区分	法定受託事務／国府補助事業／市単独事業／内部庶務的事業／その他 から選択しています。（複数選択可）
	⑪	R2現在の状況	継続中／廃止／休止／他事業へ統合／他事業を統合 から選択しています。
	⑫	関連事業	関連事業や目的が類似した事業があれば記載しています。
II 事業 基礎 情報	⑬	事業目的 (あるべき姿)	事業のあるべき姿をとらえ、「何に対し」「どう働きかけ」「どのような状態」にするかを示しています。
	⑭	対象者、対象者数	事業の対象となる者、人数を示しています。
	⑮	単位あたりコスト	令和元年度トータルコスト(予算ベース)を対象者数で除した数値です。
	⑯	実施方法	事業の実施方法（形態）を示しています。 市による直接実施、民間等への業務委託や指定管理、補助金交付等の手法により区分しています。
	⑰	委託先・実施主体 等	事業の実施主体が市と異なる場合、委託先や実施主体等を記載しています。
	⑱	事業概要	目的を達成するために講じる事業概要等を記載しています。
	⑲	主な支出に係る 業務内容と経費	事業を構成する主な経費について、項目と具体的な経費の内訳を記載しています。（令和元年度実績額）

Ⅲ 予算執行状況	⑳	予算情報	当該年度の当初予算額、補正予算額、繰越予算額を記載しています。
	㉑	予算財源内訳	予算額に対する財源を記載しています。
	㉒	配当予算	㉑予算情報の小計と流充用額を合計した額を記載しています。
	㉓	執行率	予算額（人件費は含まない）に対する執行額の割合（百分率）です。
	㉔	従事職員数	年間当たりの業務量（時間）を人員数で示しています。
	㉕	主な利用特財	利用した特定財源の内、主なものを3つまで記載しています。（令和元年度実績額）
Ⅳ 業績指標	㉖	成果実績 （アウトカム）	事業の目的・あるべき姿が達成されているかどうかを客観的に判断できる指標を示しています。 右側に当初目標を、左側に実績を併記しています。
	㉗	活動実績 （アウトプット）	成果目標を実現するために、必要な活動を行えたかどうかを測ることができる指標を示しています。 単位あたりコストは、執行額を活動実績で除しています。
Ⅴ 事業担当部署評価	㉘	必要性	事業の必要性について、市の関与の度合いや市民ニーズ、優先度等の観点から、「○・△・×」で評価しています。
	㉙	効率性	事業の効率性について、手段や方法の比較、コスト削減のための工夫等の観点から「○・△・×」で評価しています。
	㉚	有効性	事業の有効性について、成果指標等の達成状況等の観点から「○・△・×」で評価しています。
	㉛	事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	必要性、効率性、有効性の評価を踏まえて、目的及び指標等の達成状況に対する担当課による総合的な評価を記載しています。
	㉜	これまでの課題及び今後の方向性	評価を踏まえ、今後改善していくべき課題と事業のあり方、手法等の方向性について記載しています。
Ⅵ 他部署評価	㉝	事後事業評価	令和2年度に事業評価(事後評価及び事中評価)を実施した事業について、それぞれ評価者の主な意見を記載しています。
	㉞	事中事業評価	

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	ハピネスふくちやま管理運営事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室					所属長	高橋 千寿子					
会計情報	事業コード	810432	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	70	頁
施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする									
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等	福知山市民ホール条例、福知山市男女共同参画センター条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	ハピネスふくちやまの管理運営に要する経費								
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.5				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	オリックス・ファシリティーズ株式会社、株式会社西日本エスエスシー								
事業概要 (簡条書き)	ハピネスふくちやまの管理運営に要する経費								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	10,614	消耗品費123,198、光熱水費10,171,044(電気4,015,843、ガス5,528,778、上下水道626,423)、修繕料319,640						
	役員費	205	通信運搬費160,582(郵送料8,200、電信・電話料等152,382)、手数料(ごみ廃棄)2,050、保険料(建物総合損害共済基金分担金)42,528						
	委託料	19,081	施設維持管理業務費19,080,999(施設管理18,966,000・防火設備定期点検114,999)						
	使用料及び賃借料	136	電話機器賃借料135,684						
備品購入費	20	施設備品(消火器)19,800							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	36,626	31,188	31,647					
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	36,626	31,188	31,647		予算編成時記入				
予算財源内訳	① 一般財源	33,509	29,392	29,854					
	② 国支出金	1,259	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	1,858	1,796	1,793					
決算情報	① 流充用額	△ 2,985	△ 1,132	0					
	② 配当予算	33,641	30,056	0					
	③ 執行額	33,503	30,056	0					
	④ 執行率	99.6%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.48/0	0.71 /	0.71 /	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,840	5,680	5,680 / 0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	37,343	35,736	5,680						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市民ホール使用料	種類	総務使用料	実績金額	870	決算付属資料	10	頁
	特財名称	男女共同参画センター使用料	種類	民生使用料	実績金額	366	決算付属資料	10	頁
	特財名称	自動販売機設置貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	268	決算付属資料	34	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	利用者数	人	107,744/78,000	84,637/78,000	50,740 / 78,000	/ 78,000	78,000		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	開館日数	日	359/359	359/359	360 / 360	/ 359	359		
	単位あたりコスト		102.41	93.32	83.49	/			
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	健康・福祉・人権の拠点施設であり、市民ホールを備えた公共施設であることから、継続した維持管理が必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	条例に基づき利用料を徴収している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	多くの市民の利用があり、有効に活用されている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	ハピネスふくちやまは、子ども政策室・中央保健福祉センター・障害者生活支援センター「青空」や男女共同参画センター等が入っており、市民ホールにも多くの市民の利用があるなど有効活用が図られている。 市民ホール及び男女共同参画センターの貸館業務については、新型コロナウイルス対策による使用の制限により、利用者数の減少及び利用料の減額が見込まれる。		
これまでの課題及び今後の方向性	市民の安心・安全な利用を確保する面でも、継続した維持管理が必要である。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	公共施設マネジメントモデル事業(旧三岳小学校)												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室					所属長	大西 巧					
会計情報	事業コード	810495	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	72	頁
施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市公共施設マネジメント計画							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	三岳小学校法面崩壊対策事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	廃校となった小学校を活用し、地域に点在する集会施設や消防団詰所等の機能を集約化・複合化することにより、「小さな拠点」づくりを行い、市民協働による効率的で持続可能な地域活動の実現をめざす。								
対象者	三岳地域住民	対象者数	469	単位あたりコスト	19.8				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	小川建築設計								
事業概要 (簡条書き)	令和元年度は、旧三岳小学校(昭和38年建設、平成27年3月廃校)を改修する予定としていたが、京都府から旧三岳小学校周辺の土地が急傾斜地による土砂災害防止法の対象となり、旧校舎の一部がレッドゾーンに指定される可能性が示されたため、レッドゾーン指定を想定した旧校舎の耐力調査を行った。 旧校舎改修工事を法面の安全対策工事とあわせて行うこととしたため、令和2年3月議会で、校舎改修工事に係る令和元年度当初予算55,000千円全額を減額補正とした。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	3,704	旧三岳小学校校舎棟耐力調査業務						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	5,400	55,000	0	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	△ 55,000	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	5,400	0	0						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	4,800	0	0					
	⑤ その他特財	600	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	4,968	0	0				
	② 配当予算	5,400	4,968	0	0				
	③ 執行額	2,571	3,704	0	0				
	④ 執行率	47.6%	74.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.5/0	0.70 / 0.00	0.70 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,000	5,600	5,600	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,571	9,304	5,600						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁				
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁				
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁				

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	公共施設床面積の削減総量	m ²	-	0/793	0 / 793	/ 793	793		
	校舎改修実施設計進捗率	%	-	100/100	0 / 0	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	事業進捗率	%	-	50 / 100	50 / 100	/ 100	100		
	単位あたりコスト			51.43	74.09	/			
単位あたりコスト					/				

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	閉校した小学校の跡地活用として、公共施設の集約化・複合化により、効率的で持続可能な施設整備を行うもので必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	地域において設置された検討委員会と協議を行うとともに、市内部においてもプロジェクトチームを立上げ、効率的な集約化・複合化の内容を検討した。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	5施設(教育集会所、老人施設、会館、消防団詰所2か所)を集約するものであり、将来的な建物更新費、維持管理費の削減を図ることができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	地域に複数ある公共施設の集約化・複合化についてエリアマネジメントの観点から地域と行政が協働で方向性の検討を行った。		
これまでの課題及び今後の方向性	旧校舎改修工事を法面の安全対策工事とあわせて行うこととしたため、令和2年3月議会で令和元年度当初予算55,000千円を減額補正を行った。令和元年度末をもって一旦事業を休止し、令和2年度に実施予定の三岳小学校法面崩壊対策事業(道路河川課)による法面崩壊対策工事の調査・設計の結果を受けて事業スケジュールの見直しを行う。集約化・複合化が完了した後の施設の管理手法について地元との協議を進める必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	人権文化のつどい事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室				所属長	高橋 千寿子						
会計情報	事業コード	420239	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	110	頁
施策体系	施策コード	010202	施策名	人権教育・人権啓発を推進する									
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	参加者の人権啓発の推進と参加者間の交流を図る。								
対象者	参加を希望する高齢者			対象者数	124	単位あたりコスト	14.7		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	一般財団法人京都府部落解放推進協会								
事業概要 (簡条書き)	一般財団法人京都府部落解放推進協会が主催する京都府人権文化のつどい事業への負担金支援等								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容				
	使用料及び賃借料	266			送迎用バス借上料				
	負担金補助及び交付金	223			参加負担金				

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	554	501	495	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	554	501	495						
予算財源内訳	① 一般財源	554	421	425					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	80	70					
決算情報	① 流充用額	△ 55	0	0	0				
	② 配当予算	499	501	0	0				
	③ 執行額	474	489	0	0				
	④ 執行率	94.9%	97.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.09/0	0.11 / 0.18	0.11 / 0.18	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	720	1,330	1,330	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,194	1,819	1,330						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	人権文化のつどい参加者負担金	種類	雑入	実績金額	62	決算付属資料	46	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	参加者数	人	162 / 160	148 / 160	124 / 160	/ 140	140		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	周知機関数	団体	7 / 7	7 / 7	7 / 7	/ 7	7		
	単位あたりコスト		76.71	67.71	69.90				
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	人権尊重、あらゆる差別撤廃に向けて、高齢者が集い、文化活動の発展、地域交流の輪を広げていく上で支援は必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	令和元年度から参加負担金を徴収し、コスト削減に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	人権啓発、推進のために有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	参加者への人権啓発と交流を図ることができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和元年度から一部自己負担金を徴収し事業を実施しているが、参加人数が減少していることもあり、募集方法の検討等により参加者の増加を図っていく必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	人権推進一般事務事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室				所属長	高橋 千寿子						
会計情報	事業コード	730101	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	116・118	頁
施策体系	施策コード	010201	施策名	人権施策を推進する									
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報										
事業目的 (あるべき姿)	人権推進室の事務の円滑な運営を図る。									
対象者	人権推進室職員	対象者数								単位あたりコスト
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等										
事業概要 (箇条書き)	・人権推進室の一般事務経費 ・公用車の管理経費									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容							
	賃金	1,455	臨時職員賃金							
	需用費	536	消耗品費391,831、燃料費62,747、印刷製本費81,306							
	役務費	271	通信運搬費222,666(郵送料117,632、電信・電話料等105,034)、手数料14,640、保険料(自動車損害賠償保険他)33,464							
	使用料及び賃借料	534	複写機528,588、高速料金4,950							
旅費・備品購入費・公課費	1,018	旅費122,620・備品購入費(公用車)893,827・公課費(自動車重量税)1,200								

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	992	2,628	1,196	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	992	2,628	1,196						
予算財源内訳	① 一般財源	125	1,629	646					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	867	999	550					
決算情報	① 流充用額	423	1,590	0					
	② 配当予算	1,415	4,218	0					
	③ 執行額	1,404	3,813	0					
	④ 執行率	99.3%	90.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.86/0	0.69 /	0.69 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	6,880	5,520	5,520	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,284	9,333	5,520						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	一戸建住宅使用料(現年度分)	種類	土木使用料	実績金額	645	決算付属資料	12	頁
	特財名称	一戸建住宅使用料(過年度分)	種類	土木使用料	実績金額	149	決算付属資料	12	頁
	特財名称	旧部落問題生活相談所光熱水費	種類	雑入	実績金額	69	決算付属資料	44	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	会議等の参加回数	回	11/10	10/10	10 / 10	/ 10	10		
	単位あたりコスト		124.40	140.40	381.28				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	人権推進室の各事業を円滑に実施するため必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	光熱水費や消耗品等のコスト削減に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	人権推進室各事業実施に有効に活用されている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	人権推進室所管事務の円滑な運営を図るという事業目的は達成できている。(定性的評価)		
これまでの課題及び今後の方向性	今後も継続して、コスト削減や効率化に向けた取り組みが必要である。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	部落解放運動補助事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室				所属長	高橋 千寿子						
会計情報	事業コード	730103	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	118	頁
施策体系	施策コード	010201	施策名	人権施策を推進する									
計画期間	開始年度	昭和46年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等	部落解放運動補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	あらゆる差別解消に向けて民間との協働関係を基本として、部落問題の解決はもとより、あらゆる人権問題の解決に向けた取組に対する補助金								
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	部落解放同盟福知山地区協議会								
事業概要 (箇条書き)	本市が差別解消に向けた市民との協働関係の構築を推進するため、部落解放運動による人権問題の解決に向けた取り組み、啓発活動等の事業を実施する団体に対し、補助金を交付する。補助金の交付の対象となる事業が次の各号のいずれにも該当する事業とする。 (1)本市の人権施策推進計画に掲げる理念の具体化を図ることを目的として実施する事業 (2)部落解放運動により人権問題を解決するための事業で、市長が必要と認めるもの 補助金の執行にあたっては、市として事業効果を踏まえた評価点検を行うとともに、補助先の決算額(活動費)の1/2以内の補助としている。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	1,060	令和元年度部落解放運動補助金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,060	1,060	1,000	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,060	1,060	1,000						
予算財源内訳	① 一般財源	1,060	1,060	1,000					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	1,060	1,060	0	0				
	③ 執行額	1,060	1,060	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.12/0	0.06 / 0.00	0.06 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	960	480	480	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,020	1,540	480						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	人権施策推進のための本市との協議回数	回	12/12	12/12	12 / 12	/ 12	12		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	大会、集会、啓発の実施		実施/実施	実施/実施	実施 / 実施	/ 実施	実施		
	単位あたりコスト		/	/	/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	人権問題の早期解決に向けて、あらゆる差別をなくす取り組みを積極的に進めることができる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	補助金の交付については、活動内容の点検、精査を行い、適正化に努める。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市民団体との協働により、あらゆる差別意識の解消に資することができ、基本的人権の確立に大きな意義や効果がある。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	部落解放運動による人権問題の解決に向けた取り組み、啓発活動等の実施に要する経費について財政援助を行うことにより、市民主導の人権教育・啓発の推進が図れた。 また、各種活動に対する適正な支援に向けて活動を精査することにより、平成27年度交付額から3年で約3割縮減する見直しを行った。		
これまでの課題及び今後の方向性	補助金の交付については、常に活動内容の点検、精査を行い、適正化に努める必要がある。 また、平成30年度に補助内容に合わせた事業名の変更を行った。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	人権施策推進計画事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室					所属長	高橋 千寿子					
会計情報	事業コード	730202	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	118	頁
施策体系	施策コード	010202	施策名	人権教育・人権啓発を推進する									
計画期間	開始年度	平成13年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等	人権教育・啓発推進法、障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法、人権教育・啓発活動推進事業補助金交付要綱、福知山市企業人権教育・啓発活動推進事業運営補助金交付要綱、部落解放人権を考える女性の集い補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	第3次福知山市人権施策推進計画の理念を広く浸透させ、同和問題、女性、子ども、高齢者、障害のある人、外国籍の人など、あらゆる人権問題についての理解と認識を深め、人権尊重のまちづくりを進めることによる「人権文化の創造と「共に幸せを生きる」共生社会の実現」をめざす。豊かな人権感覚を身につけた人材の育成、市民協働による人権啓発事業の推進を図る。												
対象者	市民・職員	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.2								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	(株)日本旅行TiS福知山支店、東武トップツアーズ(株)												

事業概要 (箇条書き)	「人権施策推進計画」の理念を広く市民に啓発、浸透させるために各種事業を実施する。 ・バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する施策の推進 ・人権ファシリテーター養成セミナーや職員人権人材バンク等の事業により豊かな人権感覚を身につけた人材の育成を図る。 ・部落差別、女性、子ども、高齢者、障害のある人、外国籍の人など、あらゆる人権問題について理解と認識を深め、人権尊重のまちづくりを進める。												
----------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容									
	報酬	152	人権問題協議会委員									
旅費	393	研修会等への参加旅費										
需用費	1,173	広報ふくちやま人権特集号、人権啓発誌ザツツライト印刷ほか										
負担金補助及び交付金	1,380	人権を考える女性の集い補助金、人権教育啓発推進事業補助金ほか										
その他経費	618	報償費148,000円、役員費5,372円、委託料183,006円、使用料及び賃借料24,100円、備品購入費257,576円										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	4,720	3,950	3,574	予算編成時記入
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①～③)	4,720	3,950	3,574		
予算財源内訳	① 一般財源	3,577	3,105	2,760	
	② 国支出金	355	360	389	
	③ 府支出金	788	485	425	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流用額	△ 142	111	0	
	② 配当予算	4,578	4,061	0	
	③ 執行額	3,807	3,716	0	
	④ 執行率	83.2%	91.5%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	2.39/0	1.44 / 0.65	1.44 / 0.65	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	19,120	13,145	13,145	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	22,927	16,861	13,145		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	人権啓発活動委託金	種類	民生費国庫委託金	実績金額	422	決算付属資料	22	頁
	特財名称	人権問題啓発事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	494	決算付属資料	24	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	ファシリテーター養成講座受講者	人	45 / 30	31 / 30	16 / 30	/ 30	30
ユニバーサルデザイン認知度	%	46 / 100	91 / 100	50 / 100	/ 100	100	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	ファシリテーター養成講座実施回数	回	3 / 4	3 / 4	1 / 4	/ 4	4
	単位あたりコスト		614.33	1269.00	3715.91		
	ユニバーサルデザイン講演会	回	2 / 1	1 / 1	1 / 1	/ 1	1
単位あたりコスト		921.50	3807.00	3715.91			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	人権教育・人権啓発の推進に関する法律、差別解消3法に基づき、市民が人権尊重の意識を高める機会を提供していく必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	内容や経費の見直しを行いながら効果的な啓発となるよう進めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	ファシリテーター養成講座や人権を考える女性の集いへの支援、広報や啓発誌の作成など様々な手法により、幅広く人権問題や人権問題の解消に向けた取組について啓発を行なった。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> 人権ファシリテーター養成セミナーやユニバーサルデザイン推進事業など様々な事業展開によって、人権施策推進計画の理念を浸透させるとともに、人材育成や市民協働の取組によりあらゆる人権問題について訴え、人権尊重が尊重された社会の実現に向けた啓発を行なった。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる人権課題に対応した事業内容としていくため、関係課との連携調整が必要。 人権教育・啓発は継続しなければ市民意識の後退につながるおそれもあるため、継続して取組んでいく。 令和元年度に実施した市民意識調査の結果を結果をふまえた事業展開を図っていく。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	平和・人権の輪つながり広がり事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室					所属長	高橋 千寿子					
会計情報	事業コード	730203	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	118	頁
施策体系	施策コード	010203	施策名	平和事業を推進する									
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等	人権教育・啓発推進法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	差別を許さない人材事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	「恒久平和宣言都市 福知山」を広く市民に浸透させ、平和の大切さを訴えていくため、平和や人権について市民に啓発できる人材の育成をめざす。 また、平和宣言都市として、他府県市町村と連携して平和な社会の実現に向けた啓発活動を行う。								
対象者	市内小・中学生、市内に居住、市内の高校に在学する生徒、18歳未満の社会人			対象者数	10,342	単位あたりコスト	0.9		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	(株)日本旅行TiS福知山支店、東武トップツアーズ(株)								
事業概要 (箇条書き)	・公募により募集した市内に在住・通学する高校生等を長崎、沖縄に派遣する。 ・長崎では8月の平和祈念式典に参加し、原爆や部落差別の問題などの学習を通して、平和、人権に対する意識の高揚を図る。また沖縄では、基地問題やハンセン病の問題、沖縄の歴史や文化などから見える沖縄における人権状況について学習する。学習成果は市民に向けて広く発信する。 ・2020年に戦後75周年を迎えるにあたり、子どもたちが世界平和について学習する。 ・本市が実施している人権や平和を学習する小中学生、高校生を対象とした事業の参加者による学習会や交流会を実施する。 ・平和宣言都市として非核宣言自治体協議会、平和市長会議、世界連邦宣言自治体協議会に参加し、他府県市町村と連携して平和な社会の実現に向けた推進活動を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容				
	報償費	148			講師謝礼				
	需用費	114			色上質紙、ポスター印刷ほか				
	委託料	847			現地学習委託料ほか				
	使用料及び賃借料	16			施設入館料、高速料金				
旅費・負担金補助及び交付金	80			旅費9,900円、負担金70,000円					

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,187	1,716		2,994				予算編成時記入		
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①～③)	1,187	1,716		2,994							
予算財源内訳	① 一般財源	1,187	1,636		520						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	0	80		378						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	0	0		2,096						
決算情報	① 流充用額	64	0		0		0				
	② 配当予算	1,251	1,716		0		0				
	③ 執行額	1,251	1,204		0		0				
	④ 執行率	100.0%	70.2%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.56/0	1.00	/	0.00	1.00	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	4,480	8,000		8,000		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,731	9,204		8,000							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	人権問題啓発事業補助金		種類	民生費府補助金		実績金額	55	決算付属資料	24	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	報告会・講演会の参加者数	人	380 / 350	741 / 700	678 / 700	/	700	700		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	事前・現地・事後学習の回数	回	13 / 13	18 / 17	17 / 17	/	17	17		
	単位あたりコスト		33.38	69.50	70.85					
	事業への参加者数	人	4 / 4	8 / 8	8 / 8	/	8	8		
単位あたりコスト		108.50	156.40	150.56						

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	「恒久平和宣言都市 福知山」を広く市民に浸透させるため、平和の大切さを市民に啓発できる人材の育成と、平和に関係する団体加盟し他自治体との連携を図っている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	参加者だけの学習にとどまらず、人権講演会や文化祭等での報告を行っており、市民への啓発効果が高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	次世代を担う若者が平和について学び、市民に発信することで、市民への意識付けを行えるとともに、参加者自身の意識付けにもつながっている。平和や人権について学習している子どもたちが学習会や交流会を通じてさらに意識を高め、人権の大切さや平和の尊さについて市民に啓発できる人材の育成につながっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価			<ul style="list-style-type: none"> 高校生4名が、被爆地長崎で開催される平和事業への参加や現地フィールドワークを通して、原爆や戦争の悲惨さを学び、人権尊重の意識を高めることができた。 高校生4名が、日本で唯一地上戦が行われた沖縄で戦争の実相に触れ、戦争の悲惨さと平和の尊さ、また人権問題について理解を深めることができた。 学習成果については、報告会や人権ふれあいセンターの文化祭、ヒューマンフェスタなどの場で発表し、広く市民に平和や人権の大切さを訴えた。事業を通じて平和や人権について市民に啓発できる人材の育成につながった。 戦後75周年に向けて世界の状況(貧困、紛争、被災地の実態や支援など)を知ることによって「平和」について子どもたちが考える機会となった。 本市が実施している人権や平和を学習する小中学生、高校生が合同で学習し、世代を超えた学習をするなかで子どもたちが主体的にそれぞれの役割を認識した活動ができた。 加盟している平和に関する団体より提供を受けたポスター等を活用し、ミニミニ原爆展の開催や核兵器禁止条約への参加を求める署名活動などを実施した。
これまでの課題及び今後の方向性			<ul style="list-style-type: none"> 差別を許さない人材育成事業の一環として位置づけており、長崎平和学習の旅・沖縄人権文化体験学習、子ども政策室の所管する広島平和行動、10館合同社会体験交流研修と連携し、より効果的な人材育成を推進していく。 長崎平和学習の旅・沖縄人権文化体験研修の参加者は、応募書類をもとに選考で決定しており、年度によっては目標の4名に満たない場合もある。また、卒業等により福知山を離れることが多いため、年度を越えて市の啓発活動に取組んでもらうことが難しい。 人権の輪つながり広がり事業を実施することで、本市の実施している人材育成事業への継続した参加につながっており、引き続き子どもたちに事業目的等について意識づけをすることが必要である。

VI 他部署評価

事後事業評価	
--------	--

事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	人にいちばん近いまちづくり推進事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室					所属長	高橋 千寿子					
会計情報	事業コード	730204	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	118	頁
施策体系	施策コード	010202	施策名	人権教育・人権啓発を推進する									
計画期間	開始年度	昭和53年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等	人権教育・啓発推進法、人にいちばん近いまちづくり福知山市実行委員会交付金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	国や京都府及び府内各自治体の実行委員会と連携して、人権侵害被害者救済システムの構築をめざす「人にいちばん近いまちづくり実行委員会(25団体と自治会組織、個人で構成)」の活動を支援する。また、「人にいちばん近いまちづくり推進会議(10の市民団体に構成)」を中心に、人権を守りあうことは、社会生活の基本であり、みんながいきいきと暮らせる社会を築くため、「市民が主体となった人権尊重のまちづくりを進め、『幸せの舞台…福知山』の創造をめざす。								
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	人にいちばん近いまちづくり実行委員会、舞台照明CREW・SO・LOOK								
事業概要 (簡条書き)	人にいちばん近いまちづくり実行委員会の主催する活動(国や府の実行委員会の開催される講座への参加、市民向け講座の開催など)への支援を行う。 人にいちばん近いまちづくり実行委員会の広報啓発部会を中心に、8月の人権強調月間、12月の人権週間にあわせて街頭啓発、講演会などの人権啓発事業を実施する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報償費	293	人権を考える市民のつどい講師謝礼、要約筆記・手話通訳・保育サポーター謝礼						
	需用費	256	人権を考える市民のつどいチラシ・ポスター、街頭啓発物品等						
	役員費	195	人権を考える市民のつどい講師派遣手数料等						
	委託料、使用料及び賃借料	84	人権を考える市民のつどいモニタールーム設営委託料22,680、看板借上げ61,040						
負担金補助及び交付金	700	人にいちばん近いまちづくり福知山市実行委員会補助金							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,167	1,665	1,617	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	2,167	1,665	1,617						
予算財源内訳	① 一般財源	1,586	983	1,160					
	② 国支出金	0	410	0					
	③ 府支出金	581	272	457					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	△ 268	△ 79	0					
	② 配当予算	1,899	1,586	0					
	③ 執行額	1,847	1,527	0					
	④ 執行率	97.3%	96.3%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.54/0	0.41 / 0.00	0.41 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,320	3,280	3,280	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,167	4,807	3,280						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	人権問題啓発事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	240	決算付属資料	24	頁
	特財名称	人権啓発活動委託金	種類	民生費国庫委託金	実績金額	223	決算付属資料	22	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	講演会参加者数	人	700 / 700	600 / 700	581 / 700	/ 700			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	講演会の開催回数	回	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2			
	単位あたりコスト		483.50	923.50	763.54				
	広報啓発部会の開催	回	3 / 3	3 / 3	2 / 3	/ 3			
単位あたりコスト		322.33	615.67	763.54					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	人権侵害被害者救済システムの構築は重要な課題であり、国や京都府及び府内各自治体と連携した活動は必要である。 また、市民に対する人権教育・啓発は行政の責務であり、人にいちばん近いまちづくり実行委員会の広報啓発部会を中心に人権教育・啓発を行うことで、行政と市民が協働で事業を展開できた。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	業務執行にあたっては、国及び京都府の補助金を活用し、コストの削減にも努めた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	毎年8月と12月に人権講演会を開催しているが、市民の間にもこの時期に講演会が開催されるということが根付いており、多くの市民に啓発できる機会となっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>実行委員会の活動として、関係団体との連携した取り組みによって差別の解消を目的とした法整備が進むなど、人権救済システムの構築について一定の成果をあげている。</p> <p>広報啓発部会の活動として、8月の人権協強調月間、12月の人権週間中に街頭啓発や講演会等を開催し、目標の参加者数には届かなかったが多くの市民の人権意識の高揚に繋げることができた。 令和元年度については、8月は世界の平和をテーマとして講演会を、12月については性の多様性をテーマとした講演会を開催した。 アンケートでは、20歳未満から70歳以上まで幅広い年齢層の方に会場いただき、8月は8割以上の方から、12月は7割以上の方から講演内容について「わかりやすかった」との回答をいただいた。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・第6次福知山市行政改革実施計画の中に掲げられている、人にいちばん近いまちづくり実行委員会と人にいちばん近いまちづくり推進会議の2団体の統合について、令和元年度に推進会議を実行委員会の広報啓発部会とすることで達成した。 ・講演会に来られない方への働きかけとして、より効果の高い周知方法を検討し、より幅広く効果の高い啓発事業となるよう工夫していく必要がある。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	人権擁護委員活動事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室				所属長	高橋 千寿子						
会計情報	事業コード	730209	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	118	頁
施策体系	施策コード	010202	施策名	人権教育・人権啓発を推進する									
計画期間	開始年度	昭和54年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、人権擁護委員会												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	福知山市、綾部市の人権擁護委員で組織されている福知山人権擁護委員協議会の活動について、福知山市、綾部市の2市で支援を行う。								
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山人権擁護委員協議会								
事業概要 (箇条書き)	・福知山人権擁護委員協議会(福知山市19名、綾部市8名)の活動支援 ・人権問題に関する相談、啓発活動 ・人権の花運動推進事業 ・法務省の人権啓発活動地方委託事業として、市内の幼稚園・保育園・小学校4(園・校)において、京都府の人権の花である水仙の植え付けと人権教室を開催し啓発を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	220	消耗品費(水仙球根・園芸用土・立て札・教材ノート他)190,683、印刷製本費(人権の花運動用シール)29,700						
	役務費	1	運搬料(人権の花運動用立て札)1,000						
	負担金補助及び交付金	517	福知山人権擁護委員協議会負担金517,000						

III 予算執行状況														
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)										
予算情報	① 当初予算	760	728	695	予算編成時記入									
	② 補正予算	0	0	0										
	③ 繰越予算	0	0	0										
	前年度繰越	0	0	0										
	次年度繰越	0	0	0										
小計(①~③)	760	728	695											
予算財源内訳	① 一般財源	522	523	517										
	② 国支出金	238	205	178										
	③ 府支出金	0	0	0										
	④ 地方債	0	0	0										
	⑤ その他特財	0	0	0										
決算情報	① 流充用額	0	10	0	0									
	② 配当予算	760	738	0	0									
	③ 執行額	754	738	0	0									
	④ 執行率	99.2%	100.0%											
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.27/0	0.22 /	0.22 / 0.00	0.00 / 0.00									
	② 概算人件費	2,160	1,760	1,760	0									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,914	2,498	1,760											
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	人権啓発活動委託金	種類	民生費国庫委託金	実績金額	221	決算付属資料	22	頁					
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁					
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁					

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	人権の花運動参加者	人	310 / 200	200 / 200	270 / 200	/ 200	200		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	人権相談実施回数	回	52 / 52	52 / 52	47 / 52	/ 52	52		
	単位あたりコスト		14.00	14.50	15.71				
	人権の花運動実施箇所数	箇所	4 / 4	4 / 4	4 / 4	/ 4	4		
単位あたりコスト		182.00	188.50	184.60					

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	人権擁護委員制度が円滑に運用されるための支援は継続していく必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	必要最小限の経費で実施できている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市民に向けた人権啓発や人権問題に関わる相談先として、活動されている人権擁護委員の支援に資することができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・人権の花運動については、令和元年度は昭和小学校、遷喬小学校、上川口小学校、福知山幼稚園の4校・園で実施し、人権擁護委員とともに、京都府の人権の花である水仙の植え付けと人権教室を実施した。子ども達が命の大切さや、相手への思いやりについて学ぶ機会をつくれた。 ・人権相談については定例相談日を設定し、人権擁護委員が主体となり相談対応を行っている。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスや気象警報などにより中止や縮小を余儀なくされる事業もあったが、所期の目的は達成できたと考えている。 ・人権擁護委員制度に基づいて活動支援を継続していく。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	市民意識調査事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室				所属長	高橋 千寿子						
会計情報	事業コード	730217	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	118・120	頁
施策体系	施策コード	010201	施策名	人権施策を推進する									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	人権に関する市民の意識の変化や動向を把握するための調査を実施し、その結果を令和3年度からの新たな男女共同参画推進計画の策定と、10年計画の後期を迎える第3次人権施策推進計画の中間見直しに反映することで、令和3年度から10年間の男女共同参画、5年間の人権施策の基礎となる計画策定に反映させる。												
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.1								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	(株)地域社会研究所												
事業概要 (簡案書き)	・令和3年度からの10年計画となる新たな男女共同参画推進計画を策定する。 ・令和3年度に10年の計画期間の後期を迎える第3次人権施策推進計画の中間見直しを実施する。 ・市民意識調査結果の概要版を作成した。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	報償費	40	有識者謝礼										
	需用費	549	調査結果概要版印刷製本費等										
	役務費	760	調査票郵送料等										
	委託料	1,353	調査票集計業務委託										
旅費、使用料及び手数料	14	有識者との協議にかかる旅費4400、高速道路通行料9410											

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0	4,378	1,170	予算編成時記入					
	② 補正予算	0	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0	0						
小計(①～③)	0	4,378	1,170							
予算財源内訳	① 一般財源	0	3,568	948						
	② 国支出金	0	0	0						
	③ 府支出金	0	810	222						
	④ 地方債	0	0	0						
	⑤ その他特財	0	0	0						
決算情報	① 流充用額	0	△ 160	0	0					
	② 配当予算	0	4,218	0	0					
	③ 執行額	0	2,716	0	0					
	④ 執行率		64.4%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.47	/	0.00	0.47	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費			3,760			3,760			0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	6,476	3,760							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	人権問題啓発事業補助金		種類	民生費府補助金	実績金額	847	決算付属資料	24	頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	新男女共同参画推進計画策定				調査 / 調査	/	策定
	第3次人権施策推進計画見直し				調査 / 調査	/	見直し
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	男女共同参画意識調査				調査 / 調査	/	策定
	人権問題に関する意識調査	単位あたりコスト			調査 / 調査	/	見直し

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市民の人権に関する意識の変化や動向を把握することで、教育や啓発などの人権施策や一般施策における人権視点を反映に繋げることができる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	作業量が多く専門性が必要な調査票の集計作業は業者に委託し、結果に基づく分析は直接実施した。この分業によりコスト面での効率化を行った。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	新たな男女共同参画推進計画の策定と第3次人権施策推進計画の見直しにあたり、調査の結果を反映することで、人権の視点を反映した施策を展開することができ、多くの市民に対し幅広く配慮した施策を展開することができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	市民の意識の変化や動向を把握し、本市の男女共同参画や同和問題をはじめとするあらゆる人権施策の基礎となる男女共同参画推進計画や人権施策推進計画の策定や見直しに反映する。		
これまでの課題及び今後の方向性	5年に一度実施する調査であり、その結果を分析し次期「男女共同参画推進計画」や「第3次人権施策推進計画」の策定、見直しの基礎資料となるものであるが、令和2年度は本市のまちづくりの柱である「未来創造福知山」の新たな基本計画策定の年であることから、「未来創造福知山」の基本計画の内容との整合を図りながら策定する必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	<ul style="list-style-type: none"> アンケートを実施する業務は、今だに郵送を手段とするものが主流なのが現実ではあるが、LINEを活用するなどの手段があってもよい。(LINEを利用していない年齢層のみ郵送とするなど)次回は4年後になるので、より一層意識していただきたい。 アンケートについて、実施内容を改善してください。本当に市民の意見が回収できたアンケートに反映できているかどうか疑問。 有効回収率が低く、そのことへの対策が何もされていない。 男女共同参画推進計画等の策定に係る基礎調査と言うよりは、概要版も作成されており、意識調査事業で事業が完結していると判断されるので、事業内容及び目的の再考をお願いしたい。計画策定に伴う基礎調査であれば概要版の策定の必要性はないと考える。 成果実績について、定量的な設定ができていないので、アンケートの回収率など達成度の分かりやすい指標を検討すべきと考える。
--------	---

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	差別を許さない人材育成事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室				所属長	高橋 千寿子						
会計情報	事業コード	730223	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	120	頁
施策体系	施策コード	010202	施策名	人権教育・人権啓発を推進する									
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等	人権教育・啓発推進法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	平和・人権の輪つながり広がり事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	STAR(差別を許さない子ども育成協議会)を組織し、子どもたちの主体的な活動や交流による仲間づくりを行うなかで人権問題について理解を深め、あらゆる差別を許さず見逃さない、心豊かな人権感覚を持った人権リーダーとなる子どもの育成をめざす。								
対象者	福知山市内在住の小・中学生	対象者数	6,178	単位あたりコスト	0.7				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	株式会社京都映画センター								
事業概要 (箇条書き)	・人権ワークショップ ・障害のある子どもの社会参加支援事業(神戸ルミナリエハートフルデーへの参加) ・国際交流事業 ・人権文化体験研修 ・ヒューマンフェスタ								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	78	チラシ・ポスター印刷、色上質紙ほか						
	委託料	210	映画上映委託ほか						
	使用料及び賃借料	98	バス借上げ料、高速料金ほか						
	備品購入費	114	人権啓発DVD						
報償費、旅費、役務費	57	報償費7,500円、旅費3,300円、役務費46,200円							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	800	800	731	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	800	800	731						
予算財源内訳	① 一般財源	448	442	420					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	352	358	311					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	△ 35	△ 18	0	0				
	② 配当予算	765	782	0	0				
	③ 執行額	623	556	0	0				
	④ 執行率	81.5%	71.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.56/0	0.48 / 0.00	0.48 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,480	3,840	3,840	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,103	4,396	3,840						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	人権問題啓発事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	252	決算付属資料	24	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	子ども会員登録者数	人	33 / 55	34 / 55	29 / 55	/ 55	55		
	子ども会員参加者数(延べ)	人	35 / 80	22 / 80	49 / 80	/ 80	80		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	年間活動事業数	事業	8/8	6/8	8 / 8	/ 8	8		
	単位あたりコスト		87.75	103.80	69.53				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる差別を許さず見逃さない心豊かな人権感覚を持った子どもの育成のためには、今後必要な事業である。 民間事業者で実施することは難しい。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 人権の輪つながり広がり事業との共催や児童館等関係機関との連携により、多くの参加者を募り、また低コストで効率よく実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	<ul style="list-style-type: none"> 差別を許さない心豊かな子どもがどのくらい育成されたかを数値化することは難しく、参加者数としているが、関係機関等と連携することで継続した参加や子ども同士のつながりもできており有効な取組となっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施回数が前年に比べ多かつたこともあり、参加者数は増加したが目標値を達成することはできなかった。 活動を続けていることで子どもたちの主体的な活動につながっており、また学校や地域、学年を超えた交流をするなかでさまざまな人権問題について理解を深める機会となる事業が実施できた。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>小学生で会員登録し、活動していた子どもたちが中学生になると参加できず退会していく傾向があるが、人権問題について理解と認識を深め、差別を許さず見逃さない豊かな人権感覚をはぐくんでいくためには、継続した地道な活動が必要である。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	共に幸せを生きるまちづくり人権講座事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室					所属長	高橋 千寿子					
会計情報	事業コード	730231	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	120	頁
施策体系	施策コード	010202	施策名	人権教育・人権啓発を推進する									
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等	人権教育・啓発推進法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	「共に幸せを生きる」共生社会の実現に向けて、予断や偏見による差別や人権侵害を解決するために、人権講演会や研修会、ワークショップを行い、人権問題を正しく理解するとともに、一人ひとりがかけがえのない存在であることを認識し、人権が尊重され、誰もが幸せに生きることができるまちづくりを進める。								
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	1 地域公民館、保育園・幼稚園・小学校・中学校と共催の人権講座 2 企業人権教育講座								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報償費	887	講師謝礼						
	需用費	80	色上質紙ほか						
	役務費	152	講師派遣手数料						
	使用料及び賃借料	1	施設使用料						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,511	1,372	1,257		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	1,511	1,372	1,257						
予算財源内訳	① 一般財源	814	735	629					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	697	637	628					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	△ 5	0	0		0			
	② 配当予算	1,506	1,372	0		0			
	③ 執行額	1,060	1,120	0		0			
	④ 執行率	70.4%	81.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.31/0.35	0.27 / 0.35	0.27 / 0.35	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,355	3,035	3,035		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,415	4,155	3,035						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	人権問題啓発事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	558	決算付属資料	24	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	講座への参加者数	人	4,848 / 5,500	5,554 / 5,500	5,682 / 5,500	/ 5,500	5,500	5,500		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	講座の実施回数	回	42/50	40/50	44 / 50	/ 50	50	50		
	単位あたりコスト		31.90	26.50	25.45					
	単位あたりコスト		/	/	/	/				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 地域公民館や企業等が主体となって実施する人権学習を支援する事業であり、必要性は高い。 研修機会の少ない若い保護者世帯も対象にしており、人権について考える重要な機会となっている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 小・中学校やPTAと連携することで、経費負担の軽減や市だけでは招聘が難しい講師を派遣できるなど効率的に実施ができています。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 研修に参加することで人権問題について正しく理解し、意識を高めるとともに、差別に直面したときの行動にもつながっている。参加者数だけでは人権意識を測れないところもあるが、一定の成果となり有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	気象警報やインフルエンザ・新型コロナウイルスなどにより実施を取りやめざるを得ないところもあったが、地域公民館・保育園・幼稚園・小学校・中学校・PTAとの共催や企業人権教育講座として実施することで参加しやすく、またあらゆる世代を対象とした講座を実施することができ参加者の増加につながった。		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 今後も地域公民館や学校・園などに講座の開催を働きかけ、より多くの市民に人権問題を身近な問題として考えてもらう学習の機会を増やす。 関係機関との連携を図り、あらゆる人権問題について理解を深めてもらえるようテーマを設定して実施する。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	男女共同参画推進事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室				所属長	高橋 千寿子						
会計情報	事業コード	730302	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	120	頁
施策体系	施策コード	010302	施策名	男女共同参画の推進体制を充実させる									
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市男女共同参画計画「はばたきプラン2011後期計画」							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	男女共同参画保護救済事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	男女共同参画社会の実現をめざして、福知山市男女共同参画推進条例に基づき策定する「第3次福知山市男女共同参画計画-はばたきプラン2011-後期計画」の趣旨を広く市民に啓発し、同計画に基づく施策を推進する。								
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.3				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス株式会社、舞台照明CREW・SOLOOK								
事業概要 (簡条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画審議会の開催 ・市民協働による啓発事業 ・DV防止啓発関係(ワークショップ、街頭啓発等) ・男女共同参画に関する情報収集と施策展開に関する調査研究 等 ・女性活躍推進事業 ・女性起業家応援プロジェクト事業 								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報酬・報償費・旅費	639	審議会委員報酬、はばたきセミナー等講師謝礼、女性相談研修等参加旅費等						
	需用費・役務費	432	セミナー等チラシ作成用上質紙、ポスター等印刷、郵送料、電話代等						
	委託料	44	はばたきフェスティバル舞台照明委託						
	使用料及び賃借料	81	バス借り上げ料、高速道路使用料等						
	負担金補助及び交付金	113	研修参加負担金、女性活躍応援事業補助金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,457	2,182	1,755	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	2,457	2,182	1,755						
予算財源内訳	① 一般財源	1,924	1,753	1,337					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	533	429	418					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	△ 136	0	0					
	② 配当予算	2,321	2,182	0					
	③ 執行額	1,272	1,309	0					
	④ 執行率	54.8%	60.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	2.47/0.26	2.84 / 0.15	2.84 / 0.15	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	20,410	20,410	20,410	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	21,682	21,719	20,410						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	人権問題啓発事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	311	決算付属資料	24	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	審議会、委員会等の女性委員割合	%	28.5 / 25	29.4 / 27	29.6 / 30	/ 30	30		
	セミナー、講座への参加者数	人	486 / 900	648 / 950	1084 / 1050	/ 1050	1050		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	講座等開催回数	回	16 / 16	20 / 16	16 / 16	/ 16	16		
	単位あたりコスト		31.13	63.60	81.79				
	情報紙発行部数	部	2000	2000	2000 / 2000	/ 2000	2000		
	単位あたりコスト		0.25	0.64	0.65				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> セミナー等については、企業や民間団体等と連携して開催している。また、女性団体の新規登録もあり、市民協働による啓発事業を実施できている。 女性活躍推進事業の実施には、商工団体や民間団体との連携が重要であるが、依然としてつながりは弱い。今後、連携を強化していく必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 国府事業の活用によりコスト削減ができている。また、必要に応じて負担金を求めている。 受益者との負担関係については、他市町村とも比較をしながら、今後も検討を続ける。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 年度ごとに年次報告書を作成し、成果実績についても推進会議、審議会等で審議し、事業の実施状況や効果について、広く公表している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価			<ul style="list-style-type: none"> はばたきプラン2011後期計画に基づいた施策の推進を図ることができた。また、同計画は女性活躍推進計画にも位置づけており、新たに女性活躍推進事業として京都府や商工団体等と連携し、施策を展開している。 はばたきセミナーは、昨年度より1講座減少したが防災食の試食を盛り込んだり、また「女性に対する暴力をなくす運動期間」には要対協と共催し、児童虐待とDVについてセミナーを実施するなど市民のニーズに沿ったセミナーを展開した。 各セミナーの広報についても、テーマにより広報範囲を広げる等工夫した。 女性活躍応援事業補助金については、1団体からの申請があった。 女性の起業支援については、昨年度に引き続き参加者から高い評価を得た。またセミナー終了後に参加者の意見交流会の場を設けた。 DV防止啓発では、自治会等にも幅広い広報を行い、相談窓口の周知に努めた。また街頭啓発を昨年度から2か所加え、4か所で実施した。
これまでの課題及び今後の方向性			<ul style="list-style-type: none"> 今後も、ニーズを把握しながら、より参加に結びつく内容を選定するとともに、早めの広報に心がけ、テーマに応じて広報対象範囲に強弱をつけたり、関係団体等への積極的な参加呼びかけを行なっていく。また、男女共同参画センターだけではなく、人権関連施設等地域に集客力のある施設の協力を求め、広く地域住民への啓発ができるよう、情報紙の発行による情報発信や男女共同参画センター事業の広報とともに、セミナーの開催場所の選定等も工夫し、引き続き参加者の増加をめざす。 女性活躍推進事業については、京都府や商工団体等との連携をさらに強化し、より効果的なものとなるよう引き続き女性の社会参加の促進及び女性活躍の推進を図っていく。 DV防止啓発については、相談者数も増加傾向にあるため、相談窓口の広報や相談員のスキルアップに努め、DVのみならずあらゆる暴力の根絶に向けた啓発や支援を行い、男女共同参画社会の早期実現をめざす。

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	男女共同参画保護救済事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室				所属長	高橋 千寿子						
会計情報	事業コード	730303	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	120	頁
施策体系	施策コード	010301	施策名	性別にかかわらず、個性と能力を発揮できる環境を充実させる									
計画期間	開始年度	平成13年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市男女共同参画計画「はばたきプラン2011(後期計画)」、配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・自立支援に関する計画(第2次)							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	男女共同参画推進事業												

II 事業基礎情報									
事業目的(あるべき姿)	DVや性暴力などの女性に対する暴力は重大な人権侵害であり、女性の人権の確立に向けた行動を大きく阻害するものである。男女共同参画センターを拠点とし、被害者の保護・救済と暴力の防止に向けて積極的な予防啓発を推進するとともに、相談体制の充実・強化や関係機関との連携を強化することにより、迅速かつ適切な被害者の自立支援体制を確立する。								
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	京都弁護士会、女性問題専門カウンセラー、臨床心理士								
事業概要(簡条書き)	DV防止計画に基づき、DVや様々な暴力の根絶に向けた施策を行う。 ・女性相談(年間22回) ・女性弁護士による女性法律相談(年間8回) ・男性のための電話相談(年間4回) ・学生法律相談(年間1回) ・DV被害者支援等・緊急一時保護的宿泊等支援 ・DV相談(緊急のDV相談対応(随時))								
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	17	相談チラシ作成用上質紙						
	役員費	21	電話代、郵送料						
	委託料	1,227	女性相談、女性弁護士による法律相談、男性のための電話相談						
使用料及び賃借料	9	DV被害者緊急一時的避難宿泊等支援							

III 予算執行状況														
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)										
予算情報	① 当初予算	2,253	1,994	1,846	予算編成時記入									
	② 補正予算	0	0	0										
	③ 繰越予算	0	0	0										
	前年度繰越	0	0	0										
	次年度繰越	0	0	0										
小計(①~③)	2,253	1,994	1,846											
予算財源内訳	① 一般財源	2,253	1,994	1,846										
	② 国支出金	0	0	0										
	③ 府支出金	0	0	0										
	④ 地方債	0	0	0										
	⑤ その他特財	0	0	0										
決算情報	① 流用額	0	0	0										
	② 配当予算	2,253	1,994	0										
	③ 執行額	1,259	1,273	0										
	④ 執行率	55.9%	63.8%											
人概工算	① 従事職員数(正職員/嘱託職員)	0.81/0.74	0.85 / 0.15	0.85 / 0.15	0.00	0.00								
	② 概算人件費	8,330	7,175	7,175										
トータルコスト(予算執行額+概算人件費)	9,589	8,448	7,175											
主な利用特財(N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁								
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁								
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁								

IV 業績指標									
成果実績(アウトカム)実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	女性相談の相談者数	人	198/136	198/139	178 / 145	/ 150	150		
活動実績(アウトプット)実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	相談窓口案内カード設置場所	箇所	327/500	384/500	777 / 500	/ 500	500		
	単位あたりコスト		4.28	3.28	1.64				
	女性相談窓口開設数	回	22/22	22/22	22 / 22	/ 22	22		
単位あたりコスト		63.68	57.23	57.86					

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 相談者数は増加傾向にあり、相談内容も多種多様なものとなっている。 また高齢者の相談や、児童虐待と関連する相談や複数回に渡る相談者もあるため、専門相談は不可欠となっている。 今後も相談者のニーズに応じた相談を実施することで、相談事業の充実を図る。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 庁内外各関係部署と連携を密に図ることで、切れ目のない被害者支援を実施することができている。今後もさらに連携を強化し、被害者の自立支援に向けて寄り添った支援を継続していくことが重要と考える。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は達成できた。 リピーターも増加しており、必要に応じて、フェミニストカウンセラーの女性相談から法律相談へつなぐなど、適切な相談業務が実施できた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> 女性相談者数が成果指標に達したのは、継続した相談窓口の周知やDVに対する正しい理解促進といった啓発の成果、関係機関との円滑な連携ができた結果と考えられる。 相談窓口案内カードの設置場所については、今年度新たに自治会の集会所等に設置し、広く広報に勤めた。今後も市内各企業や事業所等新たに設置可能な場所を模索し、積極的に協力を求めるとともに、DVに対する正しい理解をさらに広く周知していく必要がある。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 相談事業の充実を図るためには、今後もDV被害者やその他相談を利用される方が相談しやすいようにさらなる相談窓口の周知と様々な情報を提供するとともに、DVの被害者支援を行う庁内外の関係機関との連携をさらに強化し、被害者が安心して相談できるよう、引き続き切れ目のない支援体制を整備していく必要がある。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	人権ふれあいセンター管理事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室					所属長	高橋 千寿子					
会計情報	事業コード	730105	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	04 社会福祉施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	130・132	頁
施策体系	施策コード	010201	施策名	人権施策を推進する									
計画期間	開始年度	昭和49年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	人権ふれあいセンターの管理に要する経費 施設の適正な管理維持を図り、多くの住民交流の場を提供し、相互理解を推進する。								
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.3				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティサービス(株)、(株)石丸浄化センター、(株)旭開発、(株)西日本SSC、(福)ききょうの社、(福)福知山学園JUMP								
事業概要 (簡条書き)	施設の維持管理費(5館分) 隣保館連絡協議会に係る加盟分担金								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	4,047	消耗品費600,410、燃料費155,669、印刷製本費6,819、光熱水費2,712,297(電気2,420,589、ガス54,155、上下水道237,553)、修繕料571,565						
	役員費	764	通信運搬費613,249(郵送料1,800、電信・電話料等611,449)、手数料(ごみ廃棄他)139,138、保険料(建物総合損害共済基金分担金)11,590						
	使用料及び賃借料	406	電子複写機使用料386,920、テレビ利用料19,356						
	負担金補助及び交付金	205	京都府隣保館連絡協議会負担金165,000、京都府北部隣保館・児童館連絡協議会負担金40,000						
賃金・旅費・委託料・備品購入費	2,845	臨時職員賃金2,104,163・旅費54,840・委託料(施設清掃他)629,566・備品購入費(掃除機、消火器他)56,144							

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	7,489	6,832		6,690		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①~③)	7,489	6,832		6,690							
予算財源内訳	① 一般財源	4,377	3,873		3,829						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	3,111	2,954		2,856						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	1	5		5						
決算情報	① 流充用額	1,119	1,704		0		0				
	② 配当予算	8,608	8,536		0		0				
	③ 執行額	8,570	8,267		0		0				
	④ 執行率	99.6%	96.8%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	1.01/2.75	1.24	/	3.20	1.24	/	3.20	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	14,955	17,920		17,920		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	23,525	26,187		17,920							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	隣保館運営等事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	2,468	決算付属資料	24	頁		
	特財名称	地域交流活性化支援事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	11	決算付属資料	24	頁		
	特財名称	電柱占用料	種類	民生使用料	実績金額	3	決算付属資料	10	頁		

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	利用者数	人	31,217/25,000	29,687/25,000	28,968 / 25,000	/ 25,000	25,000		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	主催事業参加者数	人	8,875/8,000	8,900/8,000	7,863 / 8,000	/ 8,000	8,000		
	単位あたりコスト		1.00	0.96	1.05	/			
	単位あたりコスト				/				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	人権と福祉の拠点施設としてさまざまな事業の円滑な実施のため維持管理及び施設修繕を実施している。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	光熱水費や消耗品等のコスト削減に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	人権と福祉の拠点だけでなく、地域の避難施設としても利用されている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	人権意識の醸成や福祉の向上を図るための大切な拠点施設として、維持管理や関連事務を実施している。		
これまでの課題及び今後の方向性	高齢者・障がいのある人との交流や地域づくりなど各館の特色を生かした施設として、今後も継続して地域における人権と福祉の拠点施設及び地域避難所としての役割を果たしていくため、適切な維持管理を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	共同利用施設維持管理事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室					所属長	大西 巧					
会計情報	事業コード	730111	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	04 社会福祉施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	132	頁
施策体系	施策コード	010201	施策名	人権施策を推進する									
計画期間	開始年度	昭和42年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	共同利用施設の適切な維持管理を行い、住民の福祉、教育、文化等の向上及び増進を図る。								
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	(公益)京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会、(公益)福知山市シルバー人材センター								
事業概要 (箇条書き)	集会所は、各地域の集会施設としての機能を果たしながら、人権問題について理解と認識を深める場として活用されている。また、児童施設や老人施設については、健全な娯楽や高齢者教室等を通して、仲間意識や健康増進を図る場として活用されている。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報償費	166	公園管理謝礼						
	需用費	1,241	消耗品費15,297、燃料費19,414、光熱水費548,005(電気339,176、ガス18,371、上下水道190,458)、修繕料658,110						
	役員費	193	手数料(ごみ搬入)11,480、保険料(建物総合損害共済基金分担金)181,662						
	委託料	812	除草業務135,498、測量・設計業務(公共嘱託登記)676,500						
使用料及び賃借料	50	土地・建物借上料(共同集会所用地借地料)50,000							

III 予算執行状況														
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)										
予算情報	① 当初予算	4,191	3,888	3,867	予算編成時記入									
	② 補正予算	0	0	0										
	③ 繰越予算	0	0	0										
	前年度繰越	0	0	0										
	次年度繰越	0	0	0										
小計(①~③)	4,191	3,888	3,867											
予算財源内訳	① 一般財源	1,595	1,506	1,491										
	② 国支出金	0	0	0										
	③ 府支出金	0	0	0										
	④ 地方債	0	0	0										
	⑤ その他特財	2,596	2,382	2,376										
決算情報	① 流充用額	567	△ 490	0	0									
	② 配当予算	4,758	3,398	0	0									
	③ 執行額	4,758	2,462	0	0									
	④ 執行率	100.0%	72.5%											
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.58/0	0.20 /	0.20 / 0.00	0.00 / 0.00									
	② 概算人件費	4,640	1,600	1,600	0									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,398	4,062	1,600											
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	共同利用施設維持管理事業基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	676	決算付属資料	40	頁					
	特財名称	土地建物貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	599	決算付属資料	32	頁					
	特財名称	電柱占用料	種類	民生使用料	実績金額	63	決算付属資料	10	頁					

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	施設数(維持管理施設)	箇所	39/ 39	37/ 39	36 / 37	/ 36	35		
	単位あたりコスト		101.10	128.60	68.39				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の交流の場として有効に活用されている。 ・地元で管理運営を実施している。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化も進んでおり、施設の有効活用や管理について、地元と調整していく。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の交流の場として活用され、地域コミュニティの形成や活性化に寄与している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	公共施設マネジメント計画に基づき、地元と調整しながら、譲渡等を進めている。(令和元年度は1箇所の集会所を譲渡) 施設が老朽化してくる中で、修繕等の経費の適正化を図る。共同利用施設の機能維持のため、地元自治会等の利用団体と連携しながら適正な修繕等により管理を行った。(定性的評価)		
これまでの課題及び今後の方向性	公共施設マネジメント計画に基づき、地元と調整しながら、より有効な活用を検討していく。管理施設は建設から40年以上経過する建物が多く、破損箇所や故障箇所も増えている。今後においても、適切な施設管理のために現場確認や立会いを行い、修繕箇所等を精査しながら対応していく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	人権ふれあいセンター等改修事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室				所属長	高橋 千寿子						
会計情報	事業コード	730116	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	04 社会福祉施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	132	頁
施策体系	施策コード	010202	施策名	人権教育・人権啓発を推進する									
計画期間	開始年度	昭和42年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	利用者の安心安全な利用を図るため、施設の改修を行う。								
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	南佳屋野会館下水道排水管修繕 金屋ふれあいセンターエアコン更新工事 堀会館玄関・下六人部会館和室・夕陽が丘教育集会所階段手すり設置工事 *平成30年度から「教育集会所改修事業」と統合								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	154	修繕料						
	工事請負費	2,013	金屋ふれあいセンターエアコン更新1,507,000、堀会館ほか手すり設置506,000						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	5,300	3,010	3,300		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	5,300	3,010	3,300						
予算財源内訳	① 一般財源	1,700	410	3,300					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	3,600	2,600	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	△ 147	0	0		0			
	② 配当予算	5,153	3,010	0		0			
	③ 執行額	4,701	2,167	0		0			
	④ 執行率	91.2%	72.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.11/0	0.31 / 0.00	0.31 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	880	2,480	2,480		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,581	4,647	2,480						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	人権ふれあいセンター等改修事業(地域活性化)	種類	民生債	実績金額	400	決算付属資料	50	頁
	特財名称	教育集会所改修事業(過疎対策)	種類	民生債	実績金額	1,500	決算付属資料	50	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	会館利用者数	人	31,217/25,000	29,687/25,000	28,968 / 25,000	/ 25,000	25,000		
	教育集会所利用者数	人	37,391/35,000	38,085/35,000	37,225 / 35,000	/ 35,000	35,000		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	改修工事施工数	館	2/2	2/2	4 / 4	/ 1	0		
	単位あたりコスト		3758.00	2350.50	541.86				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	福祉と人権の拠点施設として有効に活用されており、人権ふれあいセンター・教育集会所機能の向上を図る必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	施設の老朽化も進んでいるため、安全・安心面を確保するためにも一定の経費は必要となる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	人権問題についての理解と認識を深める場としてだけでなく、地域交流及び高齢者の生きがい対策事業等にも有効に活用されている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	大規模改修は困難だが、可能な範囲での改修を実施することにより利便性の向上や利用者の安心安全につながった。		
これまでの課題及び今後の方向性	施設の老朽化も進んでいるため、安全・安心面を確保するためにも一定の改修は不可欠であるが、コストの削減にも配慮しながら公共施設マネジメントをふまえた計画的な改修を行っていく必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	公共施設民間譲渡事業(集会施設)												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室					所属長	大西 巧					
会計情報	事業コード	730141	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	04 社会福祉施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	132	頁
施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする									
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	公共施設マネジメント実施計画							
根拠法令等													
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	公共施設マネジメント実施計画に基づき、集会施設の譲渡に向けた改修工事等を行う。								
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	(公益)京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会								
事業概要 (簡条書き)	公共施設の民間譲渡に向けて、施設整備を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	2,043	測量・設計業務(公共嘱託登記)						
	負担金補助及び交付金	255	譲渡事務費補助						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	200	2,046	3,000	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	200	2,046	3,000						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	200	2,046	3,000					
決算情報	① 流充用額	452	730	0	0				
	② 配当予算	652	2,776	0	0				
	③ 執行額	652	2,298	0	0				
	④ 執行率	100.0%	82.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.18/0	0.28 /	0.28 /	0.00	0.00 /	0.00		
	② 概算人件費	1,440	2,240	2,240	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,092	4,538	2,240						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	公共施設民間譲渡事業基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	2,046	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	集会施設の譲渡申請	箇所	0 / 0	2 / 2	1 / 2	/ 2	5		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	施設改修	箇所	1 / 2	0 / 0	0 / 0	/ 2	5		
		単位あたりコスト	1938.00	0.00					
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・公共施設マネジメント実施計画に基づき、集会所管理者等と譲渡について検討を続けている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・公共施設マネジメント実施計画に基づき、改修箇所や費用を算出し実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・公共施設マネジメント実施計画に基づき実施している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	集会施設は、地元自治会等で管理されている。譲渡については、自治会運営の今後に関わる問題であり、地元の理解を得ながら進める必要がある。令和元年度については、協議を進めていた集会施設(大門集会所)の譲渡が完了した。		
これまでの課題及び今後の方向性	自治会においては、人口減や高齢化により、今後の運営について見通すことが難しい状況になっている。しかし、公共施設マネジメント実施計画の推進として自治会との公共施設の今後のあり方について協議を重ねていき、出来る限り譲渡に向けて取り組んでいく。なお、集会施設の譲渡に関わっては、必要に応じて施設改修等の受け入れに係る協議も検討していく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	人権ふれあいセンター運営事業(地域福祉・地域交流・人材育成)												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室					所属長	高橋 千寿子					
会計情報	事業コード	730210	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	04 社会福祉施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	132	頁
施策体系	施策コード	010202	施策名	人権教育・人権啓発を推進する									
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	人権ふれあいセンター等地域福祉事業、出会いふれあい推進事業(人権ふれあいセンター)、人を大切にする人材育成事業(人権ふれあいセンター)												

II 事業基礎情報									
事業目的(あるべき姿)	人権ふれあいセンター等の周辺地域住民の高齢者及び障がいのある人を対象に、介護予防・地域交流を推進するためデイサービス事業を実施する。 人権施策推進計画の基本理念である人権文化を定着させるために出会いふれあいの場を設け、地域の交流と活性化を図り、自主的な地域力を育成する。 ひとを大切に、あらゆる人権問題について、差別を許さず、なくしていく意欲と実践力を持った人材の育成を図る。								
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.5				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	NPO法人ヒューマンクロスふくちやま、京都ユニオンサービス株式会社、舞台照明CREW・SOLOOK								
事業概要(箇条書き)	・デイサービス事業 ・各種相談事業 ・人権強調月間や人権週間にあわせた文化祭の開催 ・各種サークル活動 ・人権講演会の開催 ・リーダー育成事業 ・小学生施設体験学習								
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	643	消耗品費609,448、燃料費33,173						
	委託料	1,644	給食サービス業務1,579,066、運転代行業務34,465、音響・照明業務30,000						
	使用料及び賃借料	321	自動車借上料210,960、駐車料・高速道路等通行料66,250、その他機器等借上料(調理器具他)43,720						
	負担金補助及び交付金	13	研修会等参加負担金						
	報償費・旅費・役務費・備品購入費	1,258	報償費(講師謝礼)986,600・旅費191,160・役務費(クリーニング代他)7,023・備品購入費(スクリーン)73,440						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,895	4,921	4,487	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,895	4,921	4,487						
予算財源内訳	① 一般財源	665	1,421	1,245					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	1,045	2,699	2,441					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	185	801	801					
決算情報	① 流充用額	△ 514	△ 140	0					
	② 配当予算	1,381	4,781	0					
	③ 執行額	1,135	3,878	0					
	④ 執行率	82.2%	81.1%						
人概工算	① 従事職員数(正職員/嘱託職員)	0.95/2.55	2.62 / 6.62	2.62 / 6.62	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	13,975	37,510	37,510	0				
トータルコスト(予算執行額+概算人件費)	15,110	41,388	37,510						
主な利用特財(N-1年度実績値)	特財名称	隣保館運営等事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	1,606	決算付属資料	24	頁
	特財名称	地域交流活性化支援事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	420	決算付属資料	24	頁
	特財名称	地域福祉事業デイサービス利用者負担金	種類	雑入	実績金額	455	決算付属資料	48	頁

IV 業績指標									
成果実績(アウトカム)実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		人権ふれあいセンター利用者数	人	31,217/25,000	29,687/25,000	28,968 / 25,000	/ 25,000	25,000	
	デイサービス利用者数	人	1,509/1,400	1,230/1,400	1,008 / 1,350	/ 1,350	1,350		
活動実績(アウトプット)実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	主催事業参加者数	人	5,145/6,000	4,070/6,000	7,863 / 8,000	/ 8,000	8,000		
	単位あたりコスト		0.32	0.33	0.49				
	デイサービス開催回数	回	48/48	48/48	44 / 48	/ 44	48		
	単位あたりコスト		260.80	227.00	88.14				

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	地域に根ざした事業であり、住民の文化向上、自主的な地域力を育成するための事業実施が必要である。 デイサービスにより介護予防・地域交流が促進されている。 市民協働の観点からも、差別を許さない人材育成が必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	文化祭等について実施主体のふれあいセンターと地元自治会組織により毎回実施内容について検討・効率化が協議されている。 参加負担金の徴収や、講演会の開催経費の見直しによりコスト削減に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	地元の大学生や中学・高校生のボランティアの協力も得ながら、目的に合致した活動が行われている。 高齢者や障がいのある人の地域交流・介護予防の場となっている。 継続した事業実施により、地域に自主的な学習組織が立ち上げられるなど、有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスや気象警報などにより中止や縮小を余儀なくされる事業もあったが、地域に根ざした事業として住民にも認知され、交流が図れるなど事業の目的は達成されている。 ・高齢化が進む中、周辺地域を含めて高齢者相互の交流の場を確保できるとともに、各種健康プログラムにより健康と生きがいを図る介護予防に寄与している。 ・講演会や研修事業などの開催により、豊かな感性とひとを大切にすることを育み、差別をなくしていくこととする仲間づくりと実践力を高める人材育成につなげることができた。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>人権ふれあいセンター運営事業(地域福祉・地域交流・人材育成)は、令和元年度から人権ふれあいセンター等地域福祉事業、出会いふれあい推進事業、ひとを大切にすると人材育成事業の3事業を統合して実施している事業である。 各種事業は国で定められている「隣保館設置運営要綱」に基づき行っており、福祉と人権の拠点施設として事業を展開しているが、その基本として同和問題の解決をめざす人材や組織の育成が大切であるとされている。 各種講演会や研修事業は生きることの喜びを体得する場であり、単に教養的な内容ではなく、地域コミュニティの活性化につながる事業としても実施しているが、今後も、あらゆる差別を許さず見逃さない、人権感覚を持った人材の育成を図るための継続した取り組みが必要であると考えている。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
--------	--

事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	識字学級開設事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室				所属長	高橋 千寿子						
会計情報	事業コード	730215	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	04 社会福祉施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	132	頁
施策体系	施策コード	010201	施策名	人権施策を推進する									
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	部落差別や貧困その他の社会的境遇・要因の中で学習権が保障されなかった人に対して、文字や教育を取り戻す取り組みを通して、教育の重要性や部落差別などの解消をめざし、自立と自己実現を図る取り組みを推進する。								
対象者	該当者	対象者数	10	単位あたりコスト	45.6				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	・学習教室の実施により学習者の非識字を解消し、生きがいと自己実現の獲得に繋げる。 ・全国識字経験交流会に参加し、識字学級の活動活性化を図る。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報償費	58	識字教室講師謝礼						
	旅費	24	部落解放第18回全国識字経験交流集会参加旅費等						
	需用費	54	識字学級学習用消耗品等						

III 予算執行状況														
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)										
予算情報	① 当初予算	257	229	159	予算編成時記入									
	② 補正予算	0	0	0										
	③ 繰越予算	0	0	0										
	前年度繰越	0	0	0										
	次年度繰越	0	0	0										
小計(①～③)	257	229	159											
予算財源内訳	① 一般財源	158	130	96										
	② 国支出金	0	0	0										
	③ 府支出金	99	99	63										
	④ 地方債	0	0	0										
	⑤ その他特財	0	0	0										
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0									
	② 配当予算	257	229	0	0									
	③ 執行額	125	136	0	0									
	④ 執行率	48.5%	59.4%											
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.21/0	0.04 / 0.00	0.04 / 0.00	0.00 / 0.00									
	② 概算人件費	1,680	320	320	0									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,805	456	320											
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域交流活性化支援事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	54	決算付属資料	24	頁					
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁					
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁					

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	識字教室参加人数	人	210 / 240	190 / 240	160 / 240	/ 240	240		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	開催回数	回	21 / 24	19 / 24	16 / 24	/ 24	24		
	単位あたりコスト		9.14	6.58	8.50				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	部落差別によって文字を奪われた人への教育の保障として必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	事業のコストは、最小限で実施できている。参加者が増加しても大きく増加することはない。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	学習者の学びの場であり、学習により生きがいの対策のばとして活用されている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	識字教室をとおして、生きる力を高め、部落差別解消に向けた意欲に繋げることができた。学習権が保障されなかった全ての人に対して、非識字の解消と、生きがい対策・自己実現につながる取り組みとして有効である。指導者等の都合、感染症拡大防止対策で開催回数が見込みを下回った。		
これまでの課題及び今後の方向性	高齢化により学習者も少なくなっており、進め方を検討する余地はあるが、部落差別によって読み書きができないことを言い出しにくい状況もあり、新たな学習者が増えにくい状況にある。市内における外国籍の方を対象とした日本語教室について、目的や内容などを調査したが、日本語教室では日常生活における日本語の習得が中心として取り組まれており、一定レベルに達すると参加者が来られなくなる等参加者の入れ替わりがある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	教育集会所管理事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室					所属長	高橋 千寿子					
会計情報	事業コード	730235	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	04 社会福祉施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	132・134	頁
施策体系	施策コード	010202	施策名	人権教育・人権啓発を推進する									
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等	福知山市教育集会所条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	教育集会所学習活動事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	啓発・教育活動を通して人権学習の推進を行い、差別を許さない人材の育成と地域の交流の拠点となる教育集会所の管理運営を行う。								
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.5				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティサービス(株)、(株)西日本SSC、(福)ききょうの社、(福)大江作業所、(株)かんと一す、NPO法人おひさまと風の子サロン ほか								
事業概要 (箇条書き)									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	賃金	3,120	臨時職員3名分						
	需用費	6,907	光熱水費、施設修繕料、消耗品費ほか						
	役員費	1,109	電話代、手数料ほか						
	委託料	10,856	指定管理、施設管理、機械警備、廃棄物搬入ほか						
	報酬、使用料及び賃借料、備品購入費	287	報酬38,000円、使用料及び賃借料136,624円、備品購入費112,247円						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	23,752	23,718	23,744	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	23,752	23,718	23,744						
予算財源内訳	① 一般財源	17,904	17,828	17,734					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	5,812	5,850	5,977					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	36	40	33					
決算情報	① 流充用額	36	0	0					
	② 配当予算	23,788	23,718	0					
	③ 執行額	22,225	22,278	0					
	④ 執行率	93.4%	93.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.69/0.7	1.53 / 0.30	1.53 / 0.30	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	7,270	12,990	12,990	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	29,495	35,268	12,990						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	隣保館運営等事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	6,113	決算付属資料	24	頁
	特財名称	電柱占用料	種類	民生使用料	実績金額	32	決算付属資料	10	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	教育集会所の利用者数	人	37,391 / 35,000	38,085 / 35,000	37,225 / 35,000	/ 35,000	35,000		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	主催事業参加者数	人	6524	6925	6,386 / 6,800	/ 6,800	6,800		
	単位あたりコスト		3.67	3.22	3.49				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	人権教育・啓発、相談事業など、差別を許さない人材育成を人権推進施設が中心となり進める必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	節電等の取り組みにより維持管理経費の削減をしている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	集会所ごとに事業を実施することで、地域課題に応じた人権啓発活動に繋がるとともに、集会所が地域の居場所・交流の場となっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	地域に根ざした施設として、住民の交流活動や人権啓発活動の拠点として活用してもらっていることは一定の成果と考える。		
これまでの課題及び今後の方向性	施設の設置目的を推進するための事業を実施する必要があるが、施設も老朽化しているため、公共施設マネジメント実施計画を踏まえながら、各教育集会所の特徴や地元の意向を十分考慮したうえで、周辺の施設との複合化や集約化などを含めた人権施設のあり方を検討する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	教育集会所学習活動事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室				所属長	高橋 千寿子						
会計情報	事業コード	730236	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	04 社会福祉施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	134	頁
施策体系	施策コード	010202	施策名	人権教育・人権啓発を推進する									
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等	福知山市教育集会所条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	教育集会所管理事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	人権教育・啓発、文化活動、住民交流等を推進し、あらゆる人権問題の解決をめざす。								
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス(株)								
事業概要 (簡条書き)	各地域の課題に対応した人権教育啓発活動、文化活動及び住民交流活動の推進。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報償費	1,133	講師謝礼						
	旅費	2	社会見学に係る旅費						
	需用費	151	消耗品費、燃料費ほか						
	委託料	19	バス運転代行						
使用料及び賃借料	205	バス借上げ料ほか							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,184	2,052	1,877	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	2,184	2,052	1,877						
予算財源内訳	① 一般財源	1,040	984	841					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	1,144	1,068	1,036					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	2,184	2,052	0					
	③ 執行額	1,763	1,510	0					
	④ 執行率	80.7%	73.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.52/0.3	0.51 / 0.30	0.51 / 0.30	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,910	4,830	4,830	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,673	6,340	4,830						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	隣保館運営等事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	215	決算付属資料	24	頁
	特財名称	人権問題啓発事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	15	決算付属資料	24	頁
	特財名称	地域交流活性化支援事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	525	決算付属資料	24	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	学習活動の参加者	人	6800 / 7000	6925 / 7000	6386 / 7,000	/ 7,000	7,000		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	啓発、交流事業実施回数	回	900	591	561 / 700	/ 700	700		
	単位あたりコスト		2.37	3.00	2.69				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育・啓発、相談事業など、差別を許さない人材育成を人権推進施設が中心となり進める必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 同一地域内の他の施設と連携しながら、参加者の確保・いろいろな人権課題をテーマとした講座等の実施が行える。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 地域の実態を把握しながら、地域課題に対応した事業を進めることができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	施設の設置目的を推進するための事業を地域の実情に応じて講座を実施し、一定の参加者があることは評価できる。		
これまでの課題及び今後の方向性	施設の設置目的を推進するための事業を実施する必要があるが、施設も老朽化しているため、公共施設マネジメント実施計画を踏まえながら、各教育集会所の特徴や地元の意向を十分考慮したうえで、周辺の施設との複合化や集約化などを含めた人権施設のあり方を検討する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	一戸建住宅維持管理事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室				所属長	大西 巧						
会計情報	事業コード	730112	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	204	頁
施策体系	施策コード	010201	施策名	人権施策を推進する									
計画期間	開始年度	昭和42年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等	福知山市市営一戸建住宅条例、福知山市市営住宅条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	一戸建住宅は、地域の住環境整備を図るとともに、持家化を促進するために建設したものであり、その目的を踏まえて、住宅を適正に管理する。								
対象者	一戸建住宅入居者	対象者数	20	単位あたりコスト	121.9				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	㈱昭和リース								
事業概要 (簡条書き)	一戸建住宅入居者宅の修繕等の維持管理及び住宅使用料の徴収、督促など、的確な債権管理を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	141	施設修繕料(市営一戸建住宅)						
	役務費	79	損害保険料(建物総合損害共済基金分担金)						
	委託料	118	施設清掃業務(白アリ駆除)						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	753	669		583		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①~③)	753	669		583							
予算財源内訳	① 一般財源	0	0		0						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	0	0		0						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	753	669		583						
決算情報	① 流充用額	0	0		0		0				
	② 配当予算	753	669		0		0				
	③ 執行額	466	339		0		0				
	④ 執行率	61.9%	50.6%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.39/0.2	0.20	/	0.20	0.20	/	0.20	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	3,620	2,100		2,100		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,086	2,439		2,100							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	一戸建住宅使用料(現年度分)	種類	土木使用料	実績金額	338	決算付属資料	12	頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	一戸建住宅私下戸数	戸	0 / 2	2 / 2	1 / 2	/ 2	2		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	一戸建住宅管理戸数	戸	23 / 23	21 / 23	20 / 20	/ 19	18		
	単位あたりコスト		15.52	22.19	16.93				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・住環境整備や持家化促進の目的で建設された住宅であり、譲渡を促進することから市で実施する事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・住宅は個人所有地に建設されており、他の入居者が入居できる住宅ではない。空家となった場合は、解体する必要がある。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・耐用年数を経た住宅については、譲渡を進めていく。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	譲渡に向けた協議を行っている物件については、早期に実現させる。令和元年度の譲渡は、一戸が完了した。		
これまでの課題及び今後の方向性	譲渡等により管理戸数の削減を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	住宅新築資金等貸付事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室					所属長	大西 巧					
会計情報	事業コード	730113	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	204	頁
施策体系	施策コード	010201	施策名	人権施策を推進する									
計画期間	開始年度	昭和42年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	住環境改善のために貸し付けた貸付金の回収を進める。								
対象者	住宅新築資金等貸付事業償還者	対象者数	197	単位あたりコスト	1,751.5				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	府内の市町村が住宅新築資金等貸付事業の償還金の回収を円滑に進めるため、管理組合を設立している。管理組合と連携を図り、訪問や電話等により集金や滞納督促等を実施している。 令和元年度の当初歳入予算として、組合収支残額受入金338,102千円を計上する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	15	普通旅費						
	役務費	21	通信運搬費20,677(郵送料16,795、電信・電話料等3,882)						
	積立金	338,102	減債基金積立金(住宅新築資金組合収支残額受入金)						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	103	338,196		83		予算編成時記入		
	② 補正予算	0	0		0				
	③ 繰越予算	0	0		0				
	前年度繰越	0	0		0				
	次年度繰越	0	0		0				
小計(①~③)	103	338,196		83					
予算財源内訳	① 一般財源	103	94		83				
	② 国支出金	0	0		0				
	③ 府支出金	0	0		0				
	④ 地方債	0	0		0				
	⑤ その他特財	0	338,102		0				
決算情報	① 流充用額	0	0		0		0		
	② 配当予算	103	338,196		0		0		
	③ 執行額	70	338,137		0		0		
	④ 執行率	67.7%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.23/1.8	0.30	/	1.80	0.30	/	1.80	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	6,340	6,900		6,900		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,410	345,037		6,900					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	住宅新築資金組合収支残額受入金	種類	雑入		実績金額	338,102	決算付属資料	48 頁
	特財名称		種類			実績金額		決算付属資料	頁
	特財名称		種類			実績金額		決算付属資料	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	住宅新築資金償還率	%	90 / 90	91 / 91	91 / 91	/ 91	91		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	訪問回数	回	632 / 960	550/650	510 / 650	/ 500	500		
	単位あたりコスト		0.13	0.13	663.01				
			/	/	/	/			
単位あたりコスト									

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・住環境整備のために貸付けた貸付金の回収業務であり、市が実施する事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・管理組合による専門的、効果的な回収業務がされており、組合と連携をとりながら業務を進めていく。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・管理組合と連携して業務を実施することで、償還率の向上が図られている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	管理組合と連携し、的確な債権管理を行うことで償還率は向上している。債権件数も減少しているところであるが、対象者との面談等は重要な業務であり、細やかな対応となるよう訪問を重ねていく。		
これまでの課題及び今後の方向性	社会情勢の変化や生活の変化、高齢化などにより対象者の償還状況も困難な課題がある。管理組合においては、適切な債権管理・回収を行う中で、今後の見通しを検討された結果、令和8年度までの組合存続延長を決定された。引き続き、管理組合と連携しながら、債権整理や回収を行っていく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	自治会長関係事業												
事業担当	所属	地域振興部 まちづくり推進課					所属長	山中 忠雄					
会計情報	事業コード	720139	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	60	頁
施策体系	施策コード	010101	施策名	地域コミュニティ活動を活性化する									
計画期間	開始年度	昭和36年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	自治会長に対する事務委嘱要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	自治会長に対する事務委嘱要綱に基づき、自治会長に行政事務の一部を委嘱し、円滑な行政運営と住民自治を実現する。								
対象者	自治会長	対象者数	326	単位あたりコスト	353.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	㈱レントオール福知山、舞台照明CREW SOLOOK								
事業概要 (簡条書き)	・行政事務の円滑化を図るため、自治会長に対する事務委嘱要綱に基づき、自治会長に行政事務の一部を委嘱し、円滑な行政運営を行う。 1 委嘱事務(市広報紙等の配布、周知事項の連絡、各種基金の取扱い等) 2 自治会長運営委員会の開催(年2回) 3 自治会長会の開催(年2回) ・地域(市民)と行政とのパイプを活用した「風通しのよい市役所」の実現を目指すことを目的として、自治会ごとに「地区担当職員」を配置する。 ・地縁団体(自治会)の認可申請等に関する事務を取り扱う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報酬	100,701	自治会長報酬						
	報償費	1,422	自治会長運営委員報償、自治会長運営委員連絡協議会委員報償						
	委託料	1,117	自治会長会会場節理、音響設備設置及び操作						
	役務費	700	郵送料						
	需用費、使用料及び賃借料、備品購入費	596	自治会長会会場節理、音響設備設置及び操作						

III 予算執行状況														
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)										
予算情報	① 当初予算	104,634	105,668	105,322	予算編成時記入									
	② 補正予算	0	0	0										
	③ 繰越予算	0	0	0										
	前年度繰越	0	0	0										
	次年度繰越	0	0	0										
小計(①~③)	104,634	105,668	105,322											
予算財源内訳	① 一般財源	104,619	105,659	105,313										
	② 国支出金	0	0	0										
	③ 府支出金	0	0	0										
	④ 地方債	0	0	0										
	⑤ その他特財	15	9	9										
決算情報	① 流充用額	378	△ 1,054	0	0									
	② 配当予算	105,012	104,614	0	0									
	③ 執行額	104,255	104,537	0	0									
	④ 執行率	99.3%	99.9%											
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.17/0.92	1.10 / 0.70	1.10 / 0.70	0.00 / 0.00									
	② 概算人件費	11,660	10,550	10,550	0									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	115,915	115,087	10,550											
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地縁団体台帳交付手数料	種類	総務手数料	実績金額	15	決算付属資料	14	頁					
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁					
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁					

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	自治会長会開催数	回	2/2	2/2	2 / 2	/ 2	2		
	文書送達件数(各戸配布)	回	40/55	41/55	40 / 55	/ 40	40		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	地区担当職員の活動件数	回	907/1308	997/1308	1019 / 1308	/ 1304	1304		
	単位あたりコスト		121.81	104.57	102.59	/			
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市民にとって最も身近な組織である自治会と市は、連携を保ち円滑な住民サービスの提供及び各種施策の推進を図っていく必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	市民への行政情報提供のための各種お知らせ等の回覧や各戸配布については、自治会のネットワークが非常に効率的な手段となっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	地区担当制度により、地域の代表者である自治会長と定期的に連絡を取って「地域の声」を聞き、地域課題に関する施策や行政事務を円滑に進めることができている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	自治会長事務委嘱要綱に基づき、広報の配布等の事務を委嘱し市政の実施に協働で取り組んでいる。		
これまでの課題及び今後の方向性	公開事業検証において「あり方の見直しが妥当」との意見を受け、自治会長への事務の委嘱のあり方などについて検討を進める。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	国際交流事業												
事業担当	所属	地域振興部 まちづくり推進課					所属長	谷口 智広					
会計情報	事業コード	130116	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	84	頁
施策体系	施策コード	010402	施策名	外国籍市民が住みやすく訪れやすい環境を整備する									
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和2年度									
根拠法令等	関連計画名												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	外国籍市民と日本国籍市民が相互理解を深めながら、お互いに快適に暮らすことができる「誰にも優しい国際化」、市民が自ら地球的視野に立って考え、行動することができる「市民参加の国際化」を図り、誰もが幸せを感じることができる多文化共生社会の実現を目的とする。								
対象者	市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	令和元年度事業概要 ・国際交流ネットワーク会議の運営 ・多文化共生セミナー「やさしい日本語」講座 ・日本語支援ボランティア養成講座・日本語支援ボランティア研修会 ・国際交流発表会 多文化交流フェスタ ・外国籍市民生活支援事業「ゴミの分別講座」 ・文化庁地域日本語教育スタートアッププログラムとの連携事業 ・国際交流ボランティア活動の運営 ・各加盟団体のサポート、イベント支援								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報償費	13	講師謝礼						
	旅費	52	会議、研修旅費						
	需用費	41	消耗品費						
	役務費	21	郵送料						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	178	492	350		予算編成時記入					
	② 補正予算	0	0	0							
	③ 繰越予算	0	0	0							
	前年度繰越	0	0	0							
	次年度繰越	0	0	0							
小計(①～③)	178	492	350								
予算財源内訳	① 一般財源	178	492	350							
	② 国支出金	0	0	0							
	③ 府支出金	0	0	0							
	④ 地方債	0	0	0							
	⑤ その他特財	0	0	0							
決算情報	① 流充用額	30	1	0		0		0			
	② 配当予算	208	493	0		0		0			
	③ 執行額	165	126	0		0		0			
	④ 執行率	79.4%	25.6%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.3/0	0.55 / 0.00	0.55 / 0.00		0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	2,400	4,400	4,400		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,565	4,526	4,526								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	きょうと地域連携交付金		種類	総務費府補助金		実績金額	58	決算付属資料	24	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	イベント参加者数	人	138 / 100	133 / 100	221 / 150	/ 200		200	
	国際交流ボランティア登録者数	人	64 / 70	55 / 70	63 / 70	/ 70		70	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	国際交流イベント回数	回	4 / 5	4 / 5	5 / 6	/ 7		7	
	単位あたりコスト		44.50	41.30	25.21				
	単位あたりコスト		/	/	/				

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	全国的に外国籍住民の数が増加しており、本市でも過去5年間でその数は200人増加し現在は1000人を超える。今後もその数は増加すると見込まれているため、本市に在住・滞在する外国籍住民が社会の一員として地域に溶け込み、安心安全な生活ができるための支援は必要性が高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	国際交流ネットワーク会議、市内の日本語教室、福知山公立大学等、民間団体と連携を取り協働することで、効率的な運営ができています。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	事業ごとに参加者アンケートを取ったり有識者に意見を聞いたりして内容を見直し、次年度の事業へ取り入れている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	国際交流イベントへの参加者数の更なる増加とともに、事業を通じ多文化共生や国際交流へ参画する市民を増やし、多文化共生社会を実現することが必要。		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 本市の多文化共生施策を推進する機関としての国際交流ネットワーク会議の役割を検討する。 市内全体で多文化共生施策を推進していけるよう、庁内PTの設立を検討する。 増加傾向にある外国籍市民が福知山市で安心・安全に生活できるよう、日本語教育や災害時対応など生活支援を検討する必要がある。 福知山公立大学や市内日本語教室、国際交流機関と連携を取りながら、多文化共生社会に対応できる施策を検討する。 		

VI 他部署評価	
事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針	
方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果	
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	地域振興基金造成事業												
事業担当	所属	地域振興部 まちづくり推進課					所属長	谷口 智広					
会計情報	事業コード	130315	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	86	頁
施策体系	施策コード	070102	施策名	持続可能な財政基盤を構築する									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市地域振興基金条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	福知山市地域振興基金条例に基づき、市民の連携の強化及び地域振興に要する資金を地域振興基金に積み立て、今後市民の連帯感の醸成や地域振興に資する事業の財源として活用する。								
対象者	市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト	1.3				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	令和元年度の予算の一般財源分を地域振興基金に積み立て、地域活性化、産業支援、また観光誘客など、将来の地域振興施策の財源として活用する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	積立金	100,000	地域振興基金積立金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	0	0	予算編成時記入				
	② 補正予算	100,000	100,000	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	100,000	100,000	0						
予算財源内訳	① 一般財源	100,000	100,000	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	0	0	0	0				
	③ 執行額	100,000	100,000	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.01/0	0.01 / 0.00	0.01 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	80	80	80	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	100,080	100,080	80						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	基金充当事業	千円	34/30	37/30	38 / 30	- / 30	30
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	基金造成	千円	0/0	100000/0	100000/0	- / 0	
	単位あたりコスト			1.00	1.00		
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	福知山市地域振興基金条例に基づき、市民の連帯の強化及び地域振興に要する資金を地域振興基金に積み立てている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	合併特例債を活用して積み立てた基金を活用している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市民の連帯感の醸成や地域振興に資する事業の財源として有効に活用している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	合併後平成18年度から平成27年度までの10年間は、合併特例債を活用し基金に積み立てを行ってきたが、昨年度に引き続き一般財源を基金に造成することができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	積み立てた基金の運用計画が必要である。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	移住・定住促進事業												
事業担当	所属	地域振興部 まちづくり推進課					所属長	谷口 智広					
会計情報	事業コード	220106	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	86・88	頁
施策体系	施策コード	060501	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する									
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略							
根拠法令等	京都府移住の促進のための空き家及び耕作放棄地等活用条例、福知山市移住促進事業補助金交付要綱、空き家情報バンク制度要綱、空き家改修費補助金交付要綱、福知山市移住支援金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	住み続けたい・守り続けたいと思えるような地域づくり。 若年層や子育て世代をはじめ、あらゆる世代の交流・地域体感などの機会を提供し、移住・定住人口の増加による地域振興を図ることを目的とする。								
対象者	移住希望者・移住者受入地域	対象者数	38,238	単位あたりコスト	1.3				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	株式会社ツナグム(移住促進Webサイト保守管理)								
事業概要 (簡条書き)	(1) 移住希望者、移住者に関する支援・情報発信等(移住促進Webサイト運営、移住情報誌作成、フェア出展等) (2) 農山村地域の活性化、集落維持を目的とした空き家の利活用促進支援(空き家バンク制度運営、改修費補助金等) (3) 受入地域支援など意識醸成(各地域協議会との連携、特別促進区域指定に関する支援) (4) 地域連携都市圏負担金(7市町協働での情報発信、移住希望者分析など)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	199	イベント等参加						
	需用費・備品	1,553	課消耗品、情報発信タブレット購入						
	役員費・使用料	1,202	郵送料、タブレット通信料、郵送料、WEBサーバ使用料、コピー機賃借料						
	委託料	496	移住促進Webサイト保守管理業務 委託料						
補助金	17,542	空き家バンク利用者改修補助金							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	23,071	19,370	34,897				予算編成時記入	
	② 補正予算	0	11,600	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	23,071	30,970	34,897						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	15,602					
	② 国支出金	1,598	1,773	573					
	③ 府支出金	9,603	14,492	18,722					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	11,870	14,705	0					
決算情報	① 流用額	0	△ 19	0		0			
	② 配当予算	23,071	30,951	0		0			
	③ 執行額	15,626	20,992	0		0			
	④ 執行率	67.7%	67.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	2.84/1	3.32 / 1.00	3.32 / 1.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	25,220	29,060	29,060		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	40,846	50,052	29,060						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	きょうと地域連携交付金	種類	総務費府補助金	実績金額	4,263	決算付属資料	24	頁
	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	9,281	決算付属資料	38	頁
	特財名称	京都府農業振興事業費補助金	種類	総務費府補助金	実績金額	4,290	決算付属資料	24	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	制度利用による定住者数	人	10/20	34/20	31 / 20	/ 20	161		
					/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	新規移住希望者名簿登録数	件	65/100	81/100	97 / 100	/ 100	200		
	単位あたりコスト		251.00	192.91	216.41				
	HP閲覧回数	回	17,725/10,000	22641/10,000	32,419 / 10,000	/ 10000	35000		
	単位あたりコスト		0.92	0.69	0.65				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 都市住民の地方への移住志向とニーズは高い。 過疎高齢化、少子化など人口減少に伴う地域活力低下という課題への対応策として、地域住民のニーズは高い。 地域協議会など、民間団体による移住(希望)者支援のためのネットワークづくりに取り組んでいる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 補助制度のあり方、適用範囲など空き家バンク制度の運用方法は近隣市の状況、利用者のニーズも参考にしつつ、対応している。 従来からある府の補助金が利用できる移住特区を拡大することで、移住希望者にとってより広範囲で有利な補助が利用できるよう取り組んだ。 優良物件の確保が本事業の成否を左右する。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> Webサイト、情報誌配架、移住フェア出展など、様々な手段による情報発信と地域意識の醸成で、空き家物件数・情報登録者・空き家物件成約数は増加している。移住者数増加など成果を含め、受入れ地域・移入者の満足度の高い取組みを進める。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> 近年の地方移住の国全体の施策や、本市独自のWEBなどの情報発信、各種支援制度の構築などにより、空き家バンク制度の利用者数や空き家物件、成約数などの実績は全て増加傾向にある。 受入体制が整っている地域も増加しており、地域協議会主催の移住者交流会の開催や空き家物件の登録、農家民宿の開業に向けた取組みなどの効果が出てきている。今後もまちづくり協議会や自治会など受入地域と連携し事業を進めていく。 移住促進Webサイトは内容を充実させ好評である。今後も継続して質の向上に努めるとともに、都市部でのPR活動と併せて移住希望者の新規登録に結びつけていきたい。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> セミナー型福知山暮らし体感ツアーやふくちやまワークステイ、移住特別促進区域の住民説明などを地域協議会等の地域団体と協働で実施することで、受入地域の更なる意識醸成を図るとともに、移住(希望)者と地域を繋げることで、関係人口の増加や人が人を呼ぶ循環を生み出していくとともに、多くの優良空き家物件の掘起しに繋げる。 まちづくり協議会への支援により、府の指定する移住促進特別区域の拡大ができた。特区指定後の空き家情報バンクへの登録を促進する。 移住促進Webサイトや情報誌など、常に内容を更新、精査し移住関心層へ必要な情報が届くよう情報発信に努めていく。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
--------	--

事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	内宮参道活性化事業												
事業担当	所属	地域振興部 まちづくり推進課					所属長	谷口 智広					
会計情報	事業コード	220135	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	88	頁
施策体系	施策コード	060501	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する									
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市地域おこし協力隊員設置要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報										
事業目的 (あるべき姿)	人口減少、高齢化、空き家増加など集落機能の低下や担い手不足が重要な課題となっている農山村地域において、都市部より移住し、地域協力活動を行う地域おこし協力隊を配置し、地域課題の解決や地域の維持・活性化を図る。									
対象者	大江町北部地域の受入地域を中心とした大江地域			対象者数	669		単位あたりコスト	11.5		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	地域おこし協力隊									
事業概要 (箇条書き)	空き家に移住者を受け入れて地域おこしを行う地域に対し、市が委嘱した地域おこし協力隊(ふくちの村来人)を配置する。 ・大江町北部地域(内宮、毛原、北原、佛性寺) 【隊員の活動内容】 ・地域内の交流拠点を活かしたまちづくり活動、地域内外の人的交流の推進及び移住促進に向けた取組 ・移住希望者への情報発信、相談、支援									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容					
	報酬・旅費	2,449			200千円×12か月、研修会参加旅費					
	報償費・負担金	45			イベント講師謝礼、研修参加費					
	需用費	163			ガソリン代、イベントチラシ、プリンターインク等					
	役員費・使用料	666			インターネット通信料、自動車保険、隊員家賃、PC・公用車リース料					

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	3,510	3,509		0				予算編成時記入
	② 補正予算	0	0		0				
	③ 繰越予算	0	0		0				
	前年度繰越	0	0		0				
	次年度繰越	0	0		0				
小計(①～③)	3,510	3,509		0					
予算財源内訳	① 一般財源	3,510	3,509		0				
	② 国支出金	0	0		0				
	③ 府支出金	0	0		0				
	④ 地方債	0	0		0				
	⑤ その他特財	0	0		0				
決算情報	① 流充用額	0	0		0		0		
	② 配当予算	3,510	3,509		0		0		
	③ 執行額	3,418	3,323		0		0		
	④ 執行率	97.4%	94.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.21/0	0.23	/	1.00	/	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,680	4,340		0		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,098	7,663		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額		決算付属資料		頁	
	特財名称	種類		実績金額		決算付属資料		頁	
	特財名称	種類		実績金額		決算付属資料		頁	

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	任期後定住した人数	人	0/1	0/1	0	/	1	/	1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	活動報告	事業	1/1	1/1	1	/	1	/	1
	単位あたりコスト		2837.00	3418.00	3323.17				
	イベント活動参加・実施	回	35/40	86/51	92	/	51	/	51
	単位あたりコスト		81.06	39.70	36.12				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 事業対象地域は、過疎法、山村振興法等のエリアであり、著しく過疎高齢化、少子化の進んだ地域であるため、地域住民のニーズは高い。 移住、定住など民間での取り組みもあるが、効果的に事業を推進する点で優先度は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	<ul style="list-style-type: none"> 地域課題の解決や移住促進など、地域を特定して活動を行う点で効率が良い。 地域活性化という点では、活性化への取組が多岐に渡り、効果発現まで一定の時間を要することから即効性は薄い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	<ul style="list-style-type: none"> 活動の実績は日報等、ミーティングにより把握している。 活動の拠点である「いづみや」において、観光客等の休憩所としての利用や地域住民が参加できるイベントを実施し、地域の資源を活用することができた。 隊員と受入団体や団体、地域などとの調整が不足した点もあり、一定の効果はあったものの、地域活性化には至っていない。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> 地域拠点としての「いづみや」の活用は、地域住民等の協力を得ながら実施できた。 地域課題の解決や地域の維持・活性化については、受入団体や地域住民との調整に困難な点もあり、大きな成果とはなっていないものの、地域活性化や資源の活用について、地域住民に示すことができた。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 隊員活動は、主軸は地域協力活動であり、受入地域との建設的な意見交換と協働が重要であるため、丁寧な信頼関係づくりのための支援が必要。 地域振興を目的とした他課が配置する隊員の活動などの情報収集と共有を意識的に行う必要がある。 各課事業の隊員同士の情報交換の機会を今後もつくっていく。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	全国過疎地域自立促進関連事業												
事業担当	所属	地域振興部 まちづくり推進課					所属長	山中 忠雄					
会計情報	事業コード	520104	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	92	頁
施策体系	施策コード	040402	施策名	環境保全活動を推進する									
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市過疎地域自立促進市町村計画							
根拠法令等	過疎地域自立促進特別措置法、福知山市過疎地域自立促進基金条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	全国の過疎地域が連携することにより、過疎対策関連施策の充実を図る。過疎地域自立促進基金を造成し、過疎対策関連事業への効果的な活用を図る。								
対象者	過疎地域(三和町、夜久野町、大江町)	対象者数	10,685	単位あたりコスト	15.4				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	・全国過疎地域自立促進連盟負担金の支払い。 ・全国過疎地域自立促進連盟主催の担当職員研修会への参加。 ・過疎地域自立促進基金の積立。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	43	過疎対策担当職員研修旅費						
	役務費	1	郵送料						
	負担金補助及び交付金	104	全国過疎地域自立促進連盟会費						
積立金	160,900	過疎地域自立促進基金積立金							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	184	161,075	160,488		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	184	161,075	160,488						
予算財源内訳	① 一般財源	184	175	188					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	160,900	160,300					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	△ 2	0	0		0			
	② 配当予算	182	161,075	0		0			
	③ 執行額	180	161,048	0		0			
	④ 執行率	98.8%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.2/0	0.43 / 0.00	0.43 / 0.00		0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	1,600	3,440	3,440		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,780	164,488	3,440						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	過疎地域自立促進基金造成事業(過疎対策)	種類	総務債	実績金額	160,900	決算付属資料	50	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	充当事業数	事業	18 / 20	13 / 20	10 / 20	/ 20	20		
	過疎対策ソフト事業数	事業	8 / 10	6 / 10	12 / 10	/ 10	10		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	研修会参加数	回	1/1	1/1	1 / 1	/ 1	1		
	単位あたりコスト		139.00	180.00	161047.66				
	基金造成	千円	170100/170100	162400/162400	160900 / 160900	/ 160300	なし		
単位あたりコスト		0.00	0.00	1.00					

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・人口減少や少子高齢化が急速に進んでいる過疎対象地域にとって、過疎対策は喫緊の課題であり、過疎地域自立促進特別措置法に基づいて過疎地域自立促進特別事業に要する資金に充てることができた。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・全国過疎地域自立促進連盟から過疎に関する様々な事例や情報を得ることができた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・元利償還金の70%を普通交付税措置により算入することになっており、地域産業の活性化と過疎地域の自立の促進を図って有効に活用できた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度末に過疎地域自立促進特別措置法の法期限を迎えるにあたって、新たな過疎対策法制定への動向について情報を収集することができた。 ・収集した情報は、庁内の関連課へ資料を閲覧するなど情報の共有を図った。 ・基金を造成し、過疎地域自立促進特別事業に要する資金に充てることができた。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も過疎地域においては、人口減少や少子高齢化により集落機能の維持・存続が困難になることが懸念される。 ・過疎地域の現状と課題を十分に把握し、地域の活性化と住み続けられる地域づくりを進めるため、今後も過疎地域対策事業を実施していく。 		

VI 他部署評価	
事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針		
	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果			
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:)	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性														
事業名	コミュニティ助成事業													
事業担当	所属	地域振興部 まちづくり推進課					所属長	谷口 智広						
会計情報	事業コード	710113	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	92	頁	
施策体系	施策コード	010101	施策名	地域コミュニティ活動を活性化する										
計画期間	開始年度	昭和52年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名									
根拠法令等	コミュニティ助成事業実施要綱													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ((一財)自治総合センター助成事業)													
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合													
関連事業														

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力ある地域づくり等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するものとする。								
対象者	市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.2				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	自治会等								
事業概要 (簡条書き)	一般財団法人自治総合センターが運営するコミュニティ助成事業の受付・申請業務。 申請にあたっては、自治会等の市民団体が事業実施に向けて企画立案される段階から丁寧な説明を心掛け、京都府と申請団体と密に連携を取りながら、申請書類等の点検及び修正依頼を繰り返し行うことで、事業採択に向けて調整を行っている。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	負担金補助及び交付金	13,700		補助金					

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	0	0	予算編成時記入						
	② 補正予算	15,000	13,700	0							
	③ 繰越予算	0	0	0							
	前年度繰越	0	0	0							
	次年度繰越	0	0	0							
小計(①~③)	15,000	13,700	0								
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0							
	② 国支出金	0	0	0							
	③ 府支出金	0	0	0							
	④ 地方債	0	0	0							
	⑤ その他特財	15,000	13,700	0							
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0					
	② 配当予算	15,000	13,700	0	0	0					
	③ 執行額	15,000	13,700	0	0	0					
	④ 執行率	100.0%	100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.05/0	0.14 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00	0.00					
	② 概算人件費	400	1,120	0	0	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	15,400	14,820	0	0	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	コミュニティ助成事業助成金		種類	雑入		実績金額	13,700	決算付属資料	46	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	採択件数	件	1 / 5	1 / 5	1 / 5	/ 5	5		
	決定金額	千円	12,300/5,000	15,000/5,000	13,700 / 5,000	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	申請件数	回	1 / 5	2 / 5	1 / 5	/ 5	5		
		単位あたりコスト	12,300	7,500	13,700	/	/		
		単位あたりコスト			/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	地域コミュニティの拠点施設を整備し、場の提供を図ることにより、地区住民の相互信頼とコミュニケーション意識の向上に効果が生じ、持続可能な地域づくりにつながる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	一般財団法人自治総合センターの財源のみで補助しており、最も有効な手段と考える。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	申請すべてが採択されるわけではないが、京都府と調整して採択されるよう働きかけている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	もともと補助額が高額となるコミュニティセンター助成事業がH29～R1と3年連続で採択され、地域の要望に応えることができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後もコミュニティセンター助成事業の申請が続く予定であり、引き続き地元調整及び京都府との情報交換を行っていく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性														
事業名	元気出す地域活力支援事業													
事業担当	所属	地域振興部 まちづくり推進課					所属長	谷口 智広						
会計情報	事業コード	710115	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	92	頁	
施策体系	施策コード	010101	施策名	地域コミュニティ活動を活性化する										
計画期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名									
根拠法令等	福知山市元気出す地域活力支援事業補助金交付要綱													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()													
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合													
関連事業	令和2年度～みんなで解決支援事業(ふくれボ)と統合し、まちづくり活動応援事業を実施する。													

II 事業基礎情報										
事業目的 (あるべき姿)	地域住民が主体的に参画する団体が行う、地域活力の向上や課題解決に向けた事業に対して支援し、地域住民の連帯強化及び個性ある地域振興を図ることを目的とする。									
対象者	市内で活動し、地域振興に取り組む団体、自治会					対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.0	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	自治会、地域団体等									
事業概要 (箇条書き)	■地域の活力向上や課題解決に向け、地域住民が主体的に参画して行う事業に対して補助金を交付する。 ■補助率 1年目事業 2/3(補助金上限 100千円) 2年目事業 1/2(補助金上限 100千円) ■補助金交付件数 6件									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容					
	負担金補助及び交付金	600			元気出す地域活力支援事業補助金					

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,500	1,300		0				予算編成時記入		
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①～③)	1,500	1,300		0							
予算財源内訳	① 一般財源	0	0		0						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	0	0		0						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	1,500	1,300		0						
決算情報	① 流充用額	0	0		0		0				
	② 配当予算	1,500	1,300		0		0				
	③ 執行額	465	600		0		0				
	④ 執行率	31.0%	46.2%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.45/0	0.40	/	0.00	/	0.00	/	0.00		
	② 概算人件費	3,600	3,200		0		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,065	3,800		0							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金		種類	基金繰入金		実績金額	600	決算付属資料	38	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	補助金交付団体(一般枠)	団体	13 / 20	6 / 15	6 / 13	/	8			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	補助金申請団体	団体	18 / 26	7 / 26	6 / 15	/	8			
	単位あたりコスト		54.80	66.40	100.00	/				
	単位あたりコスト		0.00	0.00		/				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・住民主体のまちづくり活動の呼び水としても優先度が高い事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	・継続実施団体と新規団体、双方による取組があるが、申請件数が減少しており、それに伴い単位コストが増加している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・アンケートの実施や実績報告により適切に把握している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から継続的に実施されている団体だけでなく、新規に活動に取り組まれる団体も多く、住民主体のまちづくり活動の呼び水として機能している。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が主体的かつ自立的に運営されていくための中間支援のあり方の検討が課題である。 ・より市民に活用いただけるような内容になるよう、令和2年度より本事業を「みんなで解決支援事業(ふくレポ)」と統合する。 ・各団体がより自立して充実した活動ができるよう、事前相談会の開催、補助率の変更、審査会において申請者が事業説明を実施するよう変更した。 		

事後事業評価

事中山業評価

事務事業評価後に記入

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	公共施設民間譲渡事業(集会施設)(まちづくり推進課)												
事業担当	所属	地域振興部 まちづくり推進課					所属長	谷口 智広					
会計情報	事業コード	710147	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	92	頁
施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする									
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	福知山市公共施設マネジメント計画							
根拠法令等	福知山市地縁団体に対する市有財産(市有地域集会所(まちづくり推進課所管分))の無償譲渡に関する要領、福知山市市有地域集会所(まちづくり推進課所管分)譲渡事務費補助金交付要領												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的(あるべき姿)	将来にわたって暮らしやすく、安心・安全なまちづくりを進めるため、公共施設マネジメント計画に基づき、地元合意を得て市有集会所の譲渡を推進することで、中長期的展望に立った効率性に高い行政経営の確立を目的とする。								
対象者	市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.7				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	公益社団法人京都公共嘱託登記士地家屋調査士協会 ほか								
事業概要(箇条書き)	・市有集会所譲渡に係る機能補修工事及び工事に伴う設計業務の発注 ・市有集会所譲渡に係る土地境界確定及び建物表題登記業務 ・譲渡に至った市有集会所に対し登録免許税相当額を補助金として交付								
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	4,739	公共嘱託登記業務ほか						
	工事請負費	42,766	集会所補修工事ほか						
	負担金補助及び交付金	397	補助金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	29,456	54,771	14,460		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	29,456	54,771	14,460						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	12,929	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	29,456	41,842	14,460					
決算情報	① 流充用額	0	△ 3,455	0		0			
	② 配当予算	29,456	51,316	0		0			
	③ 執行額	26,851	47,902	0		0			
	④ 執行率	91.2%	93.3%						
人概工算	① 従事職員数(正職員/嘱託職員)	0.7/0	0.75 / 0.00	0.75 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	5,600	6,000	6,000		0			
トータルコスト(予算執行額+概算人件費)	32,451	53,902	6,000						
主な利用特財(N-1年度実績値)	特財名称	防衛施設周辺民生安定施設整備事業	種類	総務費国庫補助金	実績金額	12,929	決算付属資料	18	頁
	特財名称	地域振興基金	種類	基金繰入金	実績金額	34,220	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績(アウトカム)実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	民間譲渡に至った件数(累計)	件	4 / 11	8 / 11	11 / 43	/ 43	43		
活動実績(アウトプット)実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	集会所譲渡に向けた機能補修件数(累計)	件	5 / 11	8 / 11	13 / 43	/ 43	43		
	単位あたりコスト		4183.40	3356.40	3684.75				
	地元合意に至った件数(累計)	件	9 / 11	12 / 11	33 / 43	/ 43	43		
	単位あたりコスト		2324.10	2237.60	1451.57				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化や人口減少が進み、地域の住民同士のつながりが希薄化する中、地域コミュニティを維持していくために拠点となる集会施設を地元へ譲渡し、地元が管理運営することで各地域に応じた利活用を促し、あわせて、将来にわたって市財政負担の軽減を図ることができ、必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	<ul style="list-style-type: none"> 譲渡後のトラブルを防ぐため、集会施設の機能補修、土地の境界確定、譲渡に係る認可地縁団体の設立などの調整・交渉に時間を要する。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標については、公共施設マネジメント基本計画に基づき、43の集会施設すべてを譲渡することとしている。地元で集会施設を管理運営してもらうことで将来的なコスト削減につなげる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	4件の譲渡を予定し3件実施(1件は認可地縁団体の設立が難航のため令和元年度内の譲渡未了)各集会施設を利用している自治会等へ約30回の説明会を実施した。		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 機能補修 地元自治会が求める改修内容とマネジメントに基づいた機能補修のすり合わせが難航する。市施工で実施するため、設計業務と施工で長い期間を要する。 土地建物一体譲渡 土地の境界が不明瞭な場所については、譲渡を行うこと自体が困難である。 災害との関連 被災の恐れがある地域の集会施設については、内水対策等が完了しない限り受け取れないという意思を持つところがある。避難所として活用されている集会所は、今後も同様の形で維持していくべきだという地域からの根強い反対がある。 <p>【方向性】</p> <p>各種課題については、マネジメント担当課及び集会施設所管各課と調整の上、地域に丁寧に対応するなど解決策を検討していく。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	集会所等維持管理関連事務事業												
事業担当	所属	地域振興部 まちづくり推進課					所属長	谷口 智広					
会計情報	事業コード	710202	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	92-94	頁
施策体系	施策コード	010101	施策名	地域コミュニティ活動を活性化する									
計画期間	開始年度	-	終了予定年度	令和2年度		関連計画名							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	公共施設民間譲渡事業(集会所等)(まちづくり推進課)												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	地域活動や防災活動の拠点である集会所の維持により、施設の安全性や機能・利便性が向上し、地域コミュニティの活性化を図る。								
対象者	市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	つじもと工芸社(小牧広報掲示板設置業務)								
事業概要 (簡条書き)	・市有集会所等の維持管理に係る事務経費(旅費、需用費、役務費等)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	41	普通旅費						
	需用費	4	消耗品						
	役務費	336	保険料、郵送料						
	委託料	33	掲示板設置業務						
	使用料及び賃借料	8	高速料						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	421	371	339	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	421	371	339						
予算財源内訳	① 一般財源	77	30	19					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	344	341	320					
決算情報	① 流充用額	88	51	0	0				
	② 配当予算	509	422	0	0				
	③ 執行額	505	422	0	0				
	④ 執行率	99.1%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.1/0	0.14 / 0.00	0.14 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	800	1,120	1,120	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,305	1,542	1,120						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱類設置貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	30	決算付属資料	32	頁
	特財名称	集会所損害保険料	種類	雑入	実績金額	293	決算付属資料	46	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	民間譲渡に至った件数(累計)	件	4 / 43	8 / 43	11 / 43	/ 43	/ 43	43		
	0		/	/	/	/				
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	集会所譲渡に向けた機能補修件数(累計)	件	7 / 43	10 / 43	13 / 43	/ 43	/ 43	43		
	単位あたりコスト		56.40	50.50	32.46					
	地元合意に至った件数(累計)	件	10 / 43	13 / 43	33 / 43	/ 43	/ 43	43		
	単位あたりコスト		39.50	38.80	12.79					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市有集会所の維持管理を実施するうえで必要不可欠な経費である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	市有集会所の維持管理を実施するうえで必要最低限な経費を負担している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市有集会所の維持管理をするうえで、有効な経費であり、また一部の経費については、地元から支出相当額を徴収している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和元年度も市有集会所の管理に必要な経費を適切に執行した。		
これまでの課題及び今後の方向性	集会所の譲渡が進むにつれて、予算額(保険料等)は遞減していくことが想定される。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	集会施設等整備事業												
事業担当	所属	地域振興部 まちづくり推進課					所属長	谷口 智広					
会計情報	事業コード	710210	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	94	頁
施策体系	施策コード	010101	施策名	地域コミュニティ活動を活性化する									
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市集会施設等整備事業補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	地元自治会が所有する集会施設等の整備に対して支援を行うことにより、地域活動や防災活動の拠点である集会施設の機能性や利便性を向上し、地域コミュニティの活性化を図ることを目的とする。								
対象者	市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	・各自治会が主体となって施工する地元所有の集会所整備に対して、補助金を交付(補助率3分の1、補助上限額1,500万円)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	402	集会施設等整備事業補助金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	4,343	402	37,302		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	4,343	402	37,302						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	37,302					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	4,343	402	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0		0	0		
	② 配当予算	4,343	402	0		0	0		
	③ 執行額	4,342	402	0		0	0		
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.2/0	0.18 / 0.00	0.18 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00	0.00		
	② 概算人件費	1,600	1,440	1,440		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,942	1,842	1,440						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金	種類	基金繰入金	実績金額	402	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	補助件数	件	2 / 2	4 / 4	3 / 3	/ 6	-		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	要望に対する実施率	%	2 / 2	4 / 4	3 / 3	/ 6	100%		
	単位あたりコスト		354.00	1086.00	134.00				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	本市内に存する集会所全体が老朽化していることに加え、公共施設マネジメントの進捗により、地元所有の集会所が増えている。また、災害時への備えなどから放送施設の改修要望も増えている。上記の状況から、ニーズは非常に高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	補助率3分の1は、近隣市と比較して妥当な水準である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	施工事業費のみに充当する補助金で、実績は適切に把握しており、有効性も高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和元年度は3件の要望に対して適切に補助を実施した。		
これまでの課題及び今後の方向性	近年では各集会施設の老朽化が進むだけでなく、公共施設マネジメント計画に基づく市有集会所の譲渡により、これまで市有であった集会所も地元所有となるため、今後はさらに本補助金への要望が増えることが予想される。現状では、前年度に提出された要望についてすべて応えることができていたが、要望が急増した場合、必要性を鑑みて一部の要望を次年度以降にずらすといった対応も検討しなければならない。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	市民憲章推進事業												
事業担当	所属	地域振興部 まちづくり推進課					所属長	谷口 智広					
会計情報	事業コード	710305	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	94	頁
施策体系	施策コード	010102	施策名	市民主体のまちづくり活動を支援する									
計画期間	開始年度	平成3年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市市民憲章推進協議会交付金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	豊かな自然に囲まれたふるさと福知山で、市民1人ひとりが生き生きと喜びをもって暮らすことのできる住みよいまちづくりを進めるための行動指針として、平成3年4月1日に福知山市市民憲章が制定された。市民(58団体・21個人)により組織された福知山市市民憲章推進協議会を中心とした取組により、市民の主体的なまちづくりへの参画を促進するとともに、市民憲章の普及と「幸せを生きる」社会の具現化を目指す。								
対象者	市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山市市民憲章推進協議会								
事業概要 (簡易書き)	■福知山市市民憲章の普及、「共に幸せを生きる」社会の具現化を旨とした継続的な事業を展開する。 ・福知山市市民憲章推進大会(ツインクル賞、四季の写真入賞者表彰、高校生による活動発表) ・花いっぱい運動(花時計の花の植替え・維持管理・イルミネーション、キキョウ苗配布) ・ふくちやま四季の写真募集事業 ・市民憲章啓発活動(市内イベント、街頭啓発) ・市民憲章啓発物品作成								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	30	全国市民憲章運動連絡協議会 役員会 参加旅費						
	負担金補助及び交付金	2,015	交付金、全国市民憲章運動連絡協議会負担金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,083	2,076	2,048	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	2,083	2,076	2,048						
予算財源内訳	① 一般財源	2,083	2,076	2,048					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	△ 13	0	0	0	0	0	0	
	② 配当予算	2,070	2,076	0	0	0	0		
	③ 執行額	2,015	2,045	0	0	0	0		
	④ 執行率	97.4%	98.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.5/0	0.60 / 0.00	0.60 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	4,000	4,800	4,800	0	0	0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,015	6,845	4,800						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	市民憲章推進協議会構成団体数(個人会員含む)	団体等	78 / 80	79 / 80	79 / 80	/ 80	80
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	部会等会議開催数	回	28 / 30	43676	7 / 10	/ 10	10
	単位あたりコスト		71.90	287.90	292.17		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市民憲章は、自治基本条例をはじめ、まちづくりの理念であり、市民憲章の普及・啓発は重要であり、市民団体が主体となって実施する点においても適切かつ優先度の高い事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	市民憲章推進協議会も府の補助金や自己資金で事業を運営するなど、妥当な水準である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	協議会の総会終了後、市に事業報告書が提出され、適切に把握している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> 推進大会の出演団体アンケートや参加者アンケートにより、市民の市民憲章に対する思いや普及状況を確認し、事業の改善に役立っている。 LINE、広報カード、市HP、市内各施設及びイベントでのチラシの配布など、多様な手法による広報で、推進大会に大勢の参加があった。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 推進委員の高齢化が進んでいる、時代を担う若者を取り入れた活動を推進していく。 従来のままの事業ではなく、より効果的に推進できるよう、定期的に事業の見直しを行う必要がある。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性														
事業名	みんなのまちづくり推進事業													
事業担当	所属	地域振興部 まちづくり推進課					所属長	山中 忠雄						
会計情報	事業コード	720202	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	94	頁	
施策体系	施策コード	010102	施策名	市民主体のまちづくり活動を支援する										
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名									
根拠法令等	福知山市自治基本条例													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()													
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業を統合													
関連事業	地域づくり組織支援事業、次世代交流ワークショップ事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	平成30年4月に施行した福知山市自治基本条例が掲げる市民主体のまちづくりと持続可能な住民自治を推進していく。								
対象者	市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	自治基本条例推進委員会を設置し、まちづくりへの市民参画の状況把握や自治基本条例が適切に運営されているかどうかを検証・検討する。住民が主体となったまちづくりの推進のために必要な人材育成を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報酬	134	自治基本条例推進委員報酬						
	報償費	200	講師謝礼						
	旅費	146	普通旅費、研修旅費						
	役務費	5	郵送料						
	負担金補助及び交付金	60	研修参加費						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,422	442	1,937	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,422	442	1,937						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	533					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	1,422	442	1,404					
決算情報	① 流充用額	0	132	0	0				
	② 配当予算	1,422	574	0	0				
	③ 執行額	794	546	0	0				
	④ 執行率	55.9%	95.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.85/0.02	0.45 / 0.00	0.45 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	6,850	3,600	3,600	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,644	4,146	3,600						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金	種類	基金繰入金	実績金額	139	決算付属資料	38	頁
	特財名称	地域活性化センター助成金	種類	雑入	実績金額	296	決算付属資料	46	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	地域協議会数	団体	3/3	3/7	3 / 7	/ 7	7		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	自治基本条例推進委員会	回	-	2/1	2 / 2	/ 2	2		
	単位あたりコスト		0.00	397.00	272.81				
	住民自治検討会議数	回	6/6	6/6	0 / 0	/ 0	0		
	単位あたりコスト		238.50	132.30					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 本市の条例の最高規範である自治基本条例に基づく「市民協働によるまちづくり」の推進と市民への条例の周知と理解の取組は重要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 地域でのまちづくり活動を実践されている方や大学教授を委員とし、地域の現状と課題を踏まえ、効率的な議論ができた。 協働のまちづくりについて全国的に活躍されている有識者による講座(別事業)にあわせ、本市への的確なアドバイスを受けることができたことが効果的であった。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な住民自治を推進するためのあるべき姿等の検討について、進めることができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>平成30年度に設置した「自治基本条例推進委員会」を引き続き定期的に開催し、条例推進の取組について具体的な検討を行った結果、市が設置する各種委員への公募委員を広げることができた。 また、研修への参加や地域づくり人材育成に係る検討を行うことで、まちづくりに関わる人材育成を進めることができた。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 自治基本条例推進委員会を引き続き開催し、定期的な取組状況の確認と市民が主体となったまちづくりの推進に向けた方策の検討を行う。 令和2年度より次世代交流ワークショップ事業を統合し、次世代を担う若い人材の育成とあわせ、地域を担う人材育成に力を入れる。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	地域づくり組織支援事業												
事業担当	所属	地域振興部 まちづくり推進課					所属長	山中 忠雄					
会計情報	事業コード	720205	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	94	頁
施策体系	施策コード	010103	施策名	新たな協働の仕組みにより地域力を再生・強化する									
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市自治基本条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	一定のまとまりのある地域においてその地域の住民等により構成された包括的な自治組織である「地域づくり組織」の活動に対して、継続的な活動をしていくために必要な支援を行う。 また、新たに地域づくり組織を設置しようとする組織に対して設立準備のための支援を行う。 さらに、市民協働によるまちづくりについて理解を深めるとともに、自立した地域づくりについて学ぶ機会を提供する。								
対象者	市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.4				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (交付金)								
委託先・実施主体等	三和地域協議会、夜久野みらいまちづくり協議会、大江まちづくり住民協議会、中六人部地域づくり協議会設立準備会								
事業概要 (簡条書き)	・現在、活動されている地域づくり組織(三和地域協議会、夜久野みらいまちづくり協議会、大江まちづくり住民協議会)に対して「地域づくり組織支援事業交付金」を交付した。 ・新たに地域づくり組織の設立を検討している中六人部地域づくり協議会設立準備会に「地域づくり組織設立準備支援補助金」を交付した。 ・近隣市(朝来市・丹波市)と連携し、地域づくりについて学ぶ講演会や地域づくり組織の交流会を開催した。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	役員費	3	郵送料						
	委託料	99	3市連携まちづくり互近助サミット運営業務委託						
	使用料及び賃借料	22	3市連携まちづくり互近助サミット会場使用料						
	負担金補助及び交付金	22,113	地域づくり組織支援事業交付金、地域づくり組織設立準備支援補助金						
報償費、需用費	105	講演会講師謝礼、地域づくり組織支援事業交付金審査謝礼、研修資料代							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	28,821	29,641	32,990	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	28,821	29,641	32,990						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	6,222					
	② 国支出金	0	8,425	0					
	③ 府支出金	0	0	125					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	28,821	21,216	26,643					
決算情報	① 流充用額	0	△ 17	0					
	② 配当予算	28,821	29,624	0					
	③ 執行額	22,285	22,341	0					
	④ 執行率	77.3%	75.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.95/0.02	1.00 /	1.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	7,650	8,000	8,000	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	29,935	30,341	8,000						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	総務費国庫補助金	実績金額	155	決算付属資料	18	頁
	特財名称	地域振興基金	種類	基金繰入金	実績金額	166	決算付属資料	38	頁
	特財名称	過疎地域自立促進基金	種類	基金繰入金	実績金額	20,643	決算付属資料	38	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	地域づくり組織数	団体	3/3	3/7	3 / 7	/ 7	7		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	部会・研修等開催回数	回	153/132	183/132	173 / 132	/ 140	140		
	単位あたりコスト			121.78	129.14	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のニーズに沿ったきめ細かな取り組みを、地域住民が主体となって取り組んでいくために、地域づくり組織が果たす役割は大きい。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・旧3町の3地域協議会の活動による効果等の検証と住民自治検討会議での意見を踏まえ、事業に対する支援を重視する。 ・交付金以外の資金調達を積極的に推進する。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・旧3町地域において、地域の活性化の取組みや移住・定住、空家対策など、行政主導ではなく、地域・市民が主体となった取組みが行われている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地域・市民が主体の住民自治を継続するための活動について支援することができた。 ・指標の地域づくり組織の設立数は満たしていないが、令和2年度から旧市域において地域づくり組織が設立されることになり、設立準備会に対して支援を行った。 ・旧3町の3地域協議会の部会の活動は、目的意識をもって活発に活動されている。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、旧市域で設立の意向を持っておられる地域をモデルとして、他の地域での設立を促進する。 ・地域公民館との関係や地域福祉の取りくみとの連携を踏まえ、地域づくり組織の役割や支援のあり方を検討していく。 ・行政主導ではなく、地域が主体的に組織を設立することが重要であり、そのためにも、地域に寄り添う支援を行う。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	みんなで解決支援事業(ふくれポ)												
事業担当	所属	地域振興部 まちづくり推進課					所属長	山中 忠雄					
会計情報	事業コード	720206	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	94	頁
施策体系	施策コード	010102	施策名	市民主体のまちづくり活動を支援する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名								
根拠法令等	みんなで解決支援事業実施要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	元気出す地域活力支援事業を統合												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	自治会又は自治会を主体として構成される団体とボランティア団体が協働して地域の課題を解決するため、地域での活動に参加しやすい環境をつくり、市民の地域貢献への意識の醸成を図り、市民協働のまちづくりを推進する。								
対象者	市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	自治会及び自治会を主体として構成される団体								
事業概要 (箇条書き)	・地域の課題解決に向けて、地域の住民やボランティア団体が協働で取り組む事業を促進するため、補助金制度について広く周知した。 ・ボランティア団体やNPO団体等の活動の更なる進歩や相互の関係構築のための交流会を開催した。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	役員費	6	郵送料						
	委託料	50	まちづくり活動ステップアップ交流会委託料						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	433	253	1,163	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	433	253	1,163						
予算財源内訳	① 一般財源	433	253	1,163					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	3	0	0				
	② 配当予算	433	256	0	0				
	③ 執行額	75	56	0	0				
	④ 執行率	17.3%	21.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.28/0.02	0.12 / 0.00	0.12 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,290	960	960	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,365	1,016	960						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	セミナー参加者	人		26/15	23 / 15	- /	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	補助金交付件数	件		1/1	0 / 1	- /	
	単位あたりコスト			75.00	/	/	
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	△	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活動に参加しやすい環境をつくり、地域貢献への意識の醸成を図る仕組みは、市民協働を推進していく中で必要なものである。 令和元年度の補助金交付申請件数は0件であり、地域の実情や市民のニーズに沿った事業を考えなければならない。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向けた取組みを事業者に依頼するのではなく、ボランティア団体と協力することで、大幅にコストは軽減される。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	<ul style="list-style-type: none"> 住民がボランティアとの協働により、課題解決を行うことで、地域への貢献を実感し、地域貢献への意識の醸成を図ること併せ、ボランティア団体の育成にも繋がる取組みである。 市内の地域活動団体やNPO法人等が集まる交流会を行い、相互の関係の構築や更なる活動の進歩に寄与したと考える。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の補助金交付申請件数は0件であることから、地域の実情や市民のニーズに沿った事業が必要である。 市内の地域活動団体やNPO法人等が集まる交流会を行い、相互の関係の構築や更なる活動の進歩に寄与した。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 地域活性化や課題解決に結びつく地域主体の取組に対し、財政援助のみならず、きっかけの段階から企画化、成果検証、発展までの活動を支援できるよう、令和2年度から「元気出す地域活力支援事業」と統合し、市民が取り組むまちづくり活動を支援する新たな仕組みである「まちづくり活動応援事業」を実施する。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	次世代交流ワークショップ事業												
事業担当	所属	地域振興部 まちづくり推進課					所属長	山中 忠雄					
会計情報	事業コード	820258	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	94	頁
施策体系	施策コード	010102	施策名	市民主体のまちづくり活動を支援する									
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	みんなのまちづくり推進事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	若者を中心とする市民が福知山市のまちづくりや未来について意見を交わす場を創出し、若者の意見の抽出やまちづくり意識の向上M郷土愛の醸成を図るとともに、にぎわいと活気ある福知山の新時代を切り拓く人材を育成する。								
対象者	市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	・無作為抽出により募集、選出した高校生・大学生を中心とした市民が、グループ討議により福知山のまちづくりに関する多様な議題について意見を交わした。(実施日9月14日、15日 参加者74人)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報償費	96	次世代交流ワークショップ参加者謝礼						
	旅費	52	打ち合わせ旅費						
	需用費	67	ワークショップ消耗品						
	役務費	182	郵送料						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,974	1,020	0	0	予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	1,974	1,020	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	1,037	553	0	0				
	② 国支出金	937	467	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	△ 118	0	0				
	② 配当予算	1,974	902	0	0				
	③ 執行額	571	398	0	0				
	④ 執行率	28.9%	44.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.45/0.02	0.50 / 0.00	/	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,650	4,000		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,221	4,398	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	総務費国庫補助金	実績金額	152	決算付属資料	18	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	アンケートで再度の参加を希望した人の割合	%	97/60	86/70	79 / 70	/	70			
	0		/	/	/	/				
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	ワークショップ参加者	人	94/100	98/100	74 / 100	/	100			
	単位あたりコスト		18.53	5.80	5.38					
	ワークショップ実施数	回	6/9	6/9	2 / 9	/	9			
	単位あたりコスト		290.33	95.20	199.07					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・若者のまちづくり参画意識や郷土愛の醸成のために必要な取組みである。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度からこれまで民間事業者に委託していた部分を市が行うこととし、コスト削減を図ることができた。 ・事業の一部(高校生フューチャーセッション)を令和元年度は総務省委託事業である関係人口創出モデル事業(経営戦略課)として実施したため、有利な財源を活用することができた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・実施回数などの実績は把握できているが、即効性のある事業とは違い、若者のまちづくりへの参画意識、郷土愛の醸成を図る指標を設定することが難しい事業であるが、継続して実施することが重要と考えている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代交流ワークショップの参加者の約7割が10代、20代であり、公立大学や龍谷大学の学生がファシリテーターとして活躍し、若者を中心として福知山の未来について語り合う場を創出できた。 ・次世代交流ワークショップの参加者が年々減少しているため、多くの人に参加してもらえるよう参加者募集の仕方を工夫する必要がある。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代交流ワークショップは、前身の100人ミーティングから始めて7年目の事業であり、マンネリ化している。 また、単発の事業でもあり、若者が将来にわたって地域づくりに参加できる人材に育成するため、継続性があり、若者が主体となって学び活動する事業を令和2年度より、「みんなのまちづくり推進事業」と統合したうえで、福知山公立大学と連携し実施する。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	三和支所一般管理事業												
事業担当	所属	地域振興部 三和支所				所属長	岡部 晴朗						
会計情報	事業コード	810437	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	64	頁
施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	三和支所施設管理事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	住民に対するサービスの拠点施設である三和支所を適正に運営する。												
対象者	支所利用者	対象者数	13,533	単位あたりコスト	3.2								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	三和地域協議会、マンマシン(株)、(有)京都事務機販売												
事業概要 (簡条書き)	・三和支所の臨時職員(宿日直)賃金、役務費(郵便、電話)、委託料(コピー機リース)など一般的な事務経費の管理 ・三和地域協議会に自治会等連携・支援業務(自治会長会の開催、自治会長文書の配布、無線放送の吹込み)を委託する ・防災行政無線の維持管理												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	賃金	6,519	臨時職員賃金(宿日直)										
	委託料	1,132	自治会業務委託費、コピー機保守管理費										
	需用費	264	用度物品の購入、プリンター修繕										
	役務費	2,924	電話代、郵送料										
	旅費、使用料及び賃借料他	162	旅費、コピー機借上げ料、個別受信機購入、										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	7,085	9,646	9,941	予算編成時記入
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①~③)	7,085	9,646	9,941		
予算財源内訳	① 一般財源	6,717	9,311	9,606	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	368	335	335	
決算情報	① 流充用額	△ 78	1,355	0	
	② 配当予算	7,007	11,001	0	
	③ 執行額	7,007	11,001	0	
	④ 執行率	100.0%	100.0%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	4.81/0	4.00 / 0.00	4.00 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	38,480	32,000	32,000	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	45,487	43,001	32,000		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	無線放送施設利用料	種類	総務使用料	実績金額	20	決算付属資料	10	頁
	特財名称	土地建物貸付収入(三和支所)	種類	財産貸付収入	実績金額	75	決算付属資料	32	頁
	特財名称	コピー代	種類	雑入	実績金額	59	決算付属資料	44	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	支所利用者数	人	14,895/15,000	13,522/15,000	13,533 / 15,000	/ 15,000	15,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	在勤職員数	人	20/20	18/18	18 / 18	/ 19	19
	単位あたりコスト		414.00	389.28	611.18		
	支所管理経費	千円	8,280/7,268	7,007/7,085	11,001 / 9,681	/ 9,941	0
	単位あたりコスト		-	-	-		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市東部地域の行政サービスの拠点として継続して管理運営を行なう。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	最低限の予算で運営している。賃金を除いた物件費からみると効率性は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市東部地域の行政サービスの拠点として有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	支所機能を維持するうえで必要最低限の経費であり、今後も必要である。		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・市東部地域の行政サービスの拠点施設として継続して管理運営を行う。 ・人口減少により、地域が衰退していく中、様々な課題に対応していくため、地域協議会と協働し、住民の日常生活を支え、祭りや伝統文化の維持をはじめとするコミュニティー活動や交流を推進していく。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	三和支所施設管理事業												
事業担当	所属	地域振興部 三和支所					所属長	岡部 晴朗					
会計情報	事業コード	810441	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	70	頁
施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	三和支所一般管理事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市域東部地域の行政サービスの拠点である三和支所を適正に運営する。				
対象者	支所利用者数	対象者数	13,533	単位あたりコスト	1.2
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				
委託先・実施主体等	三菱電機ビルテクノサービス(株)、川重冷熱工業(株)、(社)福知山市シルバー人材センター他				
事業概要 (簡条書き)	三和支所庁舎及び公用車両の管理経費の支出				
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容		
	需用費	5,976	庁舎光熱水費、消耗品費、公用車燃料代		
	役員費	279	公用車保険料・法定点検、防火シャッター・地下灯油タンク点検費用、廃棄物処理手数料		
	委託料	2,787	機械保守維持管理業務、清掃業務、市有地除草業務		
	使用料及び賃借料	399	公用車(軽トラ)リース料、電話交換機賃借料		
	備品購入、負担金、公課	170	プリンター、ファクシミリ送受信機、消火器、安全運転管理者講習代、公用車重量税		

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	11,507	10,605	10,774	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	11,507	10,605	10,774						
予算財源内訳	① 一般財源	10,888	9,757	9,921					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	619	848	853					
決算情報	① 流充用額	0	△ 974	0					
	② 配当予算	11,507	9,631	0					
	③ 執行額	11,477	9,611	0					
	④ 執行率	99.7%	99.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	0.88/0	0.81 / 0.00	0.81 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	7,040	6,480	6,480	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	18,517	16,091	6,480						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	三和支所使用料	種類	総務使用料	実績金額	127	決算付属資料	10	頁
	特財名称	三和町農業振興センター使用料	種類	総務使用料	実績金額	157	決算付属資料	10	頁
	特財名称	施設等光熱水費	種類	雑入	実績金額	452	決算付属資料	44	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	支所利用者数	人	14,895/15,000	13,552/15,000	13,533 / 15,000	/ 15,000	15,000
					/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	在勤職員数	人	20/20	18/18	18 / 18	/ 18	17
	単位あたりコスト		598.25	637.61	533.97		
	支所管理経費	千円	11,965/11,700	11,476/11,507	9,611 / 10,605	/ 10,774	0
	単位あたりコスト		-	-	-		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市東部地域の行政サービスの拠点として継続して管理運営を行なう。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	支所の機械設備等が老朽化しており、施設そのものに係る経費が増幅傾向にあるが、コストダウンに努め、効率的な維持管理を行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市東部地域の行政サービスの拠点として有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	住民に対するサービスの拠点施設として管理運営を継続する。		
これまでの課題及び今後の方向性	冷暖房設備の老朽化に伴い大規模改修が必要。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	三和荘等施設管理運営事業												
事業担当	所属	地域振興部 三和支所					所属長	岡部 晴朗					
会計情報	事業コード	130207	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	86	頁
施策体系	施策コード	060302	施策名	観光施設・交流施設を充実させる									
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	三和荘基幹設備整備改修事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	指定管理施設運営に関する経費を計上し、指定管理がスムーズに運営されるよう事業を実施する。指定管理委託をしている三和荘等に対する指定管理業務委託料を支出し、三和地域の中心施設として地域振興、観光、住民の交流・福祉増進を進め、活気あるまちづくりにつなげるべく、健全な施設運営を図る。												
対象者	施設利用者	対象者数	150,000	単位あたりコスト	0.3								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	特定非営利活動法人丹波・みわ												
事業概要 (簡条書き)	マイクロバス車検、修繕、建物共済、排水路土地借上料、自動車重量税に係わる経費及び指定管理業務委託料の支出												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	需用費	491	マイクロバス修繕費										
	役務費	169	マイクロバス車検整備費、建物共済										
	委託料	30,232	三和荘等公の施設運営に関する指定管理業務委託料										
	補償、補填及び賃借料	4,690	新型コロナウイルス感染症に伴う三和荘の休業補償										
公課費ほか	107	マイクロバス自動車重量税、指定管理者選定等委員会委員報酬、三和荘排水路土地賃借料											

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	30,828	31,404	42,713	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	30,828	31,404	42,713						
予算財源内訳	① 一般財源	30,828	1,172	5,081					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	30,232	37,632					
決算情報	① 流充用額	348	4,285	0					
	② 配当予算	31,176	35,689	0					
	③ 執行額	31,136	35,689	0					
	④ 執行率	99.9%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.18/0	0.27 / 0.04	0.27 / 0.04	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,440	2,260	2,260	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	32,576	37,949	2,260						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	三和荘等施設管理運営事業基金繰入	種類	過疎地域自立促進基金繰入金	実績金額	30,232	決算付属資料	38	頁
	特財名称	建物総合損害共済災害共済金	種類	雑入	実績金額	30	決算付属資料	46	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	宿泊者数	人	5,247/7,000	5,213/7,000	5,199 / 7,000	/ 7,000	7,000
	利用者数	人	131,581/150,000	147,801/150,000	130,683 / 150,000	/ 150,000	150,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	三和荘マイクロバス法定点検	回	3 / 3	3 / 3	3 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		10539.33	10378.67	11896.19		
	情報発信(丹波みわの発行等)	回	12 / 12	12 / 12	12 / 12	/ 12	12
	単位あたりコスト		2634.83	2594.67	2974.05		

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 三和荘の施設運営に係わり、マイクロバス等の修繕、点検等は必要な経費である。 利用者の交通手段、建物の管理等に係る事業として優先度は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 光熱費の削減努力等、経営努力が伺える。 コスト比較より安価になるよう工夫している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 施設規模やイベント等から利用者の実績等は適切と言える。 同等施設の研究等、日頃より努力が見える。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>計画的に毎年実施している三和荘の運営に係わる事業として、一定評価できる。マイクロバスについては今後、老朽化に対応するための買い替え時期等も検討していく必要がある。</p> <p>三和荘のPR活動は市内外、各団体、新聞記事での掲載、個別の営業活動等、精力的な営業活動が行われている。また、季節の食事コースや合宿向けの内容等常に変化を加え、結果、毎年15万人近い利用者実績となっており、一定の評価ができるものである。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>建物共済や土地及び建物の借り上げに係わる経費については運営上必要なものであり、継続して実施していく。</p> <p>施設の運営管理に関しては老朽化の問題がある中で、毎年、計画的な点検等を実施していく必要があり、指定管理者においては不要不急の経費削減に努め、市としては指定管理者と連携し、地域の交流施設として指定管理料を含め支援していく。</p> <p>指定管理者制度第三者評価委員会による指定管理施設のあり方検討にかかる調査報告で、「現指定管理者のNPO法人丹波・みわへの貸付の検討を行うとともに、貸付に移行する前に、経営状況の安定と自主自立可能な施設へと成長させるために、指定管理による運営の継続が必要である。そのため、指定期間を2年間延長する必要がある。」との報告を受けている。令和2年度から2年間の指定の期間で、経営状況を安定させるとともに自主自立可能な収益力の高い施設を目指し、専門家による経営指導、施設改修等ソフト面・ハード面からの支援を行う。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	三和荘基幹設備整備改修事業												
事業担当	所属	地域振興部 三和支所					所属長	岡部 晴朗					
会計情報	事業コード	130208	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	86	頁
施策体系	施策コード	060302	施策名	観光施設・交流施設を充実させる									
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	三和荘等施設管理運営事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	指定管理委託をしている三和荘及び関連施設の継続的で効果的な施設運営を確保するため、施設や備品の改修、修繕整備を行い、利用者の満足度の向上と集客の確保を図る。												
対象者	施設利用者	対象者数	150,000	単位あたりコスト	0.1								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	株式会社伊藤・梅原建築設計事務所												
事業概要 (箇条書き)	指定管理委託している三和荘及び関連施設の円滑な運営を行うため、行政側で行うべき施設の改修及び修繕等を行う。三和荘関連施設の修繕、建築設備の定期検査報告。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	需用費	2,888	三和荘 食器洗浄機他修繕										
	委託料	550	特殊建築物定期調査報告委託										
	工事請負費	12,149	三和荘ガスヒートポンプ更新工事										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,200	16,270	9,949	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,200	16,270	9,949						
予算財源内訳	① 一般財源	300	570	4,482					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	15,700	0					
	⑤ その他特財	900	0	5,467					
決算情報	① 流充用額	1,725	△ 683	0	0				
	② 配当予算	2,925	15,587	0	0				
	③ 執行額	2,925	15,587	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.25/0	0.29 / 0.04	0.29 / 0.04	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,000	2,420	2,420	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,925	18,007	2,420						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	三和荘基幹設備整備改修事業(過疎対策)	種類	地域交流推進施設整備事業債	実績金額	12,100	決算付属資料	50	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	宿泊者数	人	5,247/7,000	5,213/7,000	5,199 / 7,000	/ 7,000	7,000
利用者数	人	131,581/150,000	147,801/150,000	130,683 / 150,000	/ 150,000	150,000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	修繕及び改修等件数	件	8 / 3	12 / 1	11 / 2	/ 12	5
	単位あたりコスト		3689.25	243.75	1417.02		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 三和荘の施設運営に係わり、館内及び施設修繕等の経費であり、必要な経費である。 基本協定により、経費負担を分けている。 利用者の為の施設運営を行う上で優先度は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 光熱費の削減努力等、経営努力が伺える。 コスト比較より安価になるよう工夫している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 施設規模やイベント等から利用者の実績等は適切と言える。 同等施設の研究等、日頃より努力が見える。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	指定管理委託をしている三和荘及び関連施設の継続的で効果的な施設運営を確保するため、施設や備品の修繕整備を行い、利用者の満足度の向上と集客の確保を図っている。		
これまでの課題及び今後の方向性	施設の劣化による緊急の修繕対応と多発化が課題。修繕計画のもと優先順位を判断し、指定管理者との密接な連携が不可欠。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	地域農業者ネットワークづくり事業												
事業担当	所属	地域振興部 三和支所					所属長	岡部 晴朗					
会計情報	事業コード	130228	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	86	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和3年度									
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	農林産物の販売方法の多様化を進め、三和地域及び福知山市全体で協力体制を構築する手法を検討し、持続可能な農山村の維持に繋げる。												
対象者	対象者数	3,204											
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	-												

事業概要
(箇条書き)

三和地域の基盤産業である農林業の振興による活性化を図るため、「地域おこし協力隊員」を募集し、協力隊員を任用した。「地域おこし協力隊員」は、都市地域から過疎地域等に移住し、一定期間(平成30年8月1日から令和3年7月31日までの3年間)、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援、農林業への支援、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図るものである。

「地域おこし協力隊員」のミッションとして、「三和地域の農業(農業者)を元気にする」掲げ、目的を達成するために、「新規農産物等の販売機会を増やす」ことを戦略として、大阪の商店街での販売、販売機会への農家の登録、農業者のネットワーク、新規農業者の支援、特産物や商品の開発と商品化などを戦略として実行する。

行政の役割は、地域と「地域おこし協力隊員」の間を取り持つ調整役として隊員を支えることである。隊員の取り組み状況については、毎日の日記の内容を確認することで、コミュニケーションをとり、アドバイスや情報交換を行っている。

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	報酬	2,400	地域おこし協力隊員報酬										
	需用費ほか	127	リース車ガソリン代、出張旅費、隊員活動の旅費(燃料費)										
	役員費	175	自動車賃貸借車(リース車)任意保険料										
	使用料及び賃借料	561	協力隊員居住に係る建物借上料、自動車賃貸借料										
工事請負費	2,401	三和町市有地理設物撤去工事											

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	2,564	3,042	3,179	予算編成時記入
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①~③)	2,564	3,042	3,179		
予算財源内訳	① 一般財源	2,564	3,042	3,179	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	67	2,622	0	
	② 配当予算	2,631	5,664	0	
	③ 執行額	2,230	5,664	0	
	④ 執行率	84.7%	100.0%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	0.8/0	0.35 / 0.04	0.35 / 0.04	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	6,400	2,900	2,900	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,630	8,564	2,900		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	新規農産物等販売機会数	回/年	-	0	4 / 3	/ 4	5回/年(12月)
	販売機会への登録農家数	戸	-	0	8 / 13	/ 33	40戸(累積)
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	団体等との協議等	回/年	-	50/50	153 / 50	/ 50	50回/年(12月)
	単位あたりコスト		-	44.60	37.02	/	
	単位あたりコスト						

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・地域おこし協力隊員の外部からの視点による自由な発想と、制約のある行政職とは違った柔軟で可動域の広いフットワークにより、新しい農業振興の方法を想起することができる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・新しいアイデアや都市部との交流の深化等により、農業を基幹的産業とする三和地域、さらには市の農業が振興し、全体的な経済的効果が期待できる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・農産物の生産量の低下という現実的な課題の把握と克服に向けた考察を行い、販路拡大や流通の強化に向けて取り組んでいる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>地域おこし協力隊員は地域に積極的に入り込み、会議への出席や現場で農業の実地体験を行うなど農家との良好な関係を構築するとともに、三和地域の農業団体、農業生産組織、主要な農家と連携して、地域の農業の最新の現状、課題を把握し、農業振興による地域の活性化をめざして活動している。その成果は短期間で現れるものではないが、今後の協力隊員の取組について期待しており、行政も連携を継続していく。</p> <p>平成30年度は、三和町友洲地域と大阪市都島区友洲町とでつくるすこやか友洲交流会の活性化及び新規の農産物等の販売機会を増やす目的のため、大阪市都島区のまちづくりセンター・蕪村と連携しながら、蕪村通り商店街の店舗を利用し、三和地域の地域紹介や農産物等の販売すること及び農産物等を出荷してもらうため、農家への働きかけと調整を行っている。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>高齢化する農家の後継者不足や農業生産組織の弱体化の中での農業関係者との協力体制と農林産物の年間を通じた安定的な確保。販路開拓に向けた市場の開拓及び顧客の確保等。</p> <p>三和地域においては、人口減少と高齢化が進む中、農業従事者の高齢化と減少、後継者不足及び農業意欲の減退がますます進行している。この状態を回復できるよう、また新規就農者の支援等、三和地域の農業（農業者）を元気づけることが喫緊の課題である。</p> <p>三和地域におけるJAへの出荷を除く、販売機会は、現在すこやか友洲交流会、夕焼け市、JA野菜市（JAとしては令和元年6月末で終了）の3つとなっているが、組織の高齢化等で弱体化していることもあり、販売は不振である。そのため、農業者ネットワークづくり、新しい農業ビジネスの確立及び工夫をこらした販路開拓などにより販売機会数を増やしていく。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	新橋サンダル公園管理事業												
事業担当	所属	地域振興部 三和支所				所属長	岡部 晴朗						
会計情報	事業コード	130231	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	86	頁
施策体系	施策コード	040402		施策名	環境保全活動を推進する								
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	新橋サンダル公園施設管理協定書												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	豊かな自然の中で共に安心して安全に暮らせるまちづくりを目指し、市民はもとより、市域外からの利用がある京都府所管施設「新橋サンダル公園」の維持管理を行うことを目的とする。 大規模管理事業は京都府、小規模管理(除草等)は福知山市で実施。												
対象者	市民及び市外からの利用者		対象者数	3,600		単位あたりコスト	0.1						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	(社)福知山市シルバー人材センター												
事業概要 (簡条書き)	京都府所管の施設である新橋サンダル公園の維持管理経費												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容									
	委託料	167		除草作業委託									

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	234	234	234	234	予算編成時記入	
	② 補正予算	0	0	0	0		
	③ 繰越予算	0	0	0	0		
	前年度繰越	0	0	0	0		
	次年度繰越	0	0	0	0		
小計(①~③)	234	234	234	234			
予算財源内訳	① 一般財源	234	234	234	234		
	② 国支出金	0	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0	0		
	④ 地方債	0	0	0	0		
	⑤ その他特財	0	0	0	0		
決算情報	① 流充用額	△ 11	△ 67	0	0		
	② 配当予算	223	167	0	0		
	③ 執行額	223	167	0	0		
	④ 執行率	100.0%	100.0%				
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	0.06/0	0.04 / 0.00	0.04 / 0.00	0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	480	320	320	0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	703	487	320				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁	
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁	
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	公園利用者数	人	3,000 / 3,600	3,000 / 3,600	3,000 / 3,600	/	3,600
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	除草回数	回	2/2	2/2	1 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		110.50	111.50	166.57	/	
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市、内外の住民の憩いの場であり、農山村や自然環境の持続的な保全管理を継続する。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	必要最小限の予算で運用しており、事業の効率性は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市、内外の住民の憩いの場であり、農山村や自然環境に触れ合える公園として交流の場として有効である。 キャンプもできる公園として紹介されるなど、利用者に親しまれている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	市内外の市民の憩いの場であり、農山村や自然環境の持続的な保全管理を維持している。		
これまでの課題及び今後の方向性	京都府との施設管理協定書に基づき、公園の維持管理を継続していく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	三和ふれあいフェスティバル事業												
事業担当	所属	地域振興部 三和支所				所属長	岡部 晴朗						
会計情報	事業コード	130312	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	86	頁
施策体系	施策コード	060301		施策名	観光客の増加を促進する								
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市三和ふれあいフェスティバル事業補助金交付要綱、福知山市みわ夏まつり事業補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	三和ふれあいフェスティバル及びみわ夏まつりに補助金を交付する事業である。 三和ふれあいフェスティバルは、三和地域最大のイベントとして地元団体等で構成される実行委員会が企画、運営し、住民が主体的に参加する手作りイベントとして実施する。屋外模擬店や農林産物品評会・販売のほか、作品展示、舞台発表など生涯学習の発表の場として、子どもから高齢者まで幅広い世代の参加と地域力を高揚させるイベントとなっており、また、三和地域の取り組みを外部に発信することにより、地域の振興及び活性化を図ることを目的としている。 みわ夏まつりは、三和地域の住民で構成される実行委員会が、三和地域の拠点施設である三和荘を中心として、地域住民及び帰省者の交流やイベントなどを行い地域の活性化を図ることを目的としている。												
対象者	三和地域の市民		対象者数	3,204		単位あたりコスト	1.0						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	業務委託先: 有限会社チームワーク、株式会社フォールズ ・ 実施主体: 三和ふれあいフェスティバル実行委員会												
事業概要 (簡条書き)	三和ふれあいフェスティバルは、三和地域外からも多数の参加がある三和地域における最大のイベントである。住民が主体のイベントで、地元団体等で構成される実行委員会が運営する。事務局は三和地域協議会。昭和40年代の三和町時代の農林業祭からスタートし、現在では作品展示、舞台発表、屋外模擬店及び農林産物品評会・販売、各種啓発の場となっている。 令和2年度よりみわ夏まつりについても補助金の交付を行う。三和地域の拠点施設である三和荘を中心としてステージイベントやビンゴゲーム大会、鉄道模型電動カーこども乗車会、夜店、花火大会を行い地域住民の交流を図っている。 ・令和2年度より 事業見直しにより、事業名を「三和地域活性化事業」に変更。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	委託料	424	交通警備業務、臨時巡回バス及びシャトルバス運行業務										
	負担金補助及び交付金	500	三和ふれあいフェスティバル実行委員会に対する交付金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,000	500	950	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,000	500	950						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	1,000	500	950					
決算情報	① 流充用額	0	424	0	0				
	② 配当予算	1,000	924	0	0				
	③ 執行額	1,000	924	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	0.34/0	0.24 / 0.10	0.24 / 0.10	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,720	2,170	2,170	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,720	3,094	2,170						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	三和ふれあいフェスティバル事業基金繰入	種類	地域振興基金繰入金	実績金額	500	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	来場者数	人	4,500	4,000	4,000 / 4,500	/ 4,500	4,500
延べ参加団体数	団体	62	64	68 / 65	/ 65	65	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	実行委員会開催回数	回	9/9	9/9	9 / 9	/ 9	9
	単位あたりコスト		122.22	111.11	102.61	/	
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで幅広い参加があり、文化的活動の発表の場として、また自主運営による手作りのイベントとして、地域の活性化と交流につながる重要なものである。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・参加団体から参加費を徴収するなどイベントの財源の一部を確保するよう努めている。 ・地元の資源を利用した効率的な手づくりイベントである。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・三和地域の活性化には大きな影響をもたらすイベントである。 ・次世代への地元文化等の継承や人材育成に有効なイベントである。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>参加団体は年々増加しているが、このことは、当地域が人口減、高齢化が進行する中で模擬店の出店、文化活動の発表の場を求める人やグループが増えていることであり、日ごろ文化活動を行う住民の増加や活動内容の多様化の受け皿として、また、地域の自主運営を基底にした参加型イベントとして定着してきたものと評価している。</p> <p>来場者数は当日の天候にも左右されるが、数値的には目的をほぼ達成できていると考える。地域住民の積極的な参加意識・地域おこしの意識を喚起するイベントであることと併せ、地域活性化につながっている。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>将来的に極度の人口の減少、高齢化の進行が予想されることから、自治組織や団体の弱体化、人材不足に伴うイベントそのものの存続が危惧される。本イベントが地域の活性化に繋げられるよう意識し、地域自体が主体性を持って運営する持続可能な身の丈に合った内容を検討していく必要がある。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	三和支所きめ細かな安心安全事業												
事業担当	所属	地域振興部 三和支所					所属長	岡部 晴朗					
会計情報	事業コード	510456	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	92	頁
施策体系	施策コード	030104		施策名	集落環境を保全・整備する								
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名						
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	地域の実情や緊急性を勘案したきめ細かで迅速な対応により、住民満足度の向上を図る。								
対象者	三和地域市民		対象者数	3,204		単位あたりコスト	0.5		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	住民の安心安全を確保するため、重要かつ緊急に対処しなければならないと支所長が判断した事業を実施・市道舗装修繕(3件)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	需用費	476		市道舗装修繕 3件 (共立工業株式会社)					

III 予算執行状況													
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	500		500		500		予算編成時記入					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①~③)	500		500		500								
予算財源内訳	① 一般財源	500		500		500							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	△ 7		△ 24		0		0					
	② 配当予算	493		476		0		0					
	③ 執行額	493		476		0		0					
	④ 執行率	100.0%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	0.13/0		0.13 / 0.00		0.13 / 0.00		0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	1,040		1,040		1,040		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,533		1,516		1,040								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額	決算付属資料		頁			
	特財名称			種類			実績金額	決算付属資料		頁			
	特財名称			種類			実績金額	決算付属資料		頁			

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	道路修繕	回	3 / 4	5 / 4	3 / 4	/ 4	4		
		単位あたりコスト	165.33	98.60	158.81				
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	三和地域における住民生活の安心・安全確保の点で事業は必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	緊急的な小規模事業を支所長判断により対応できる利点がある。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	地域の実情に合わせた対応が出来ることから有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	他の部署で即時対応が困難であった案件等に対し、支所長裁量で迅速な対応ができ、住民生活の安心安全を確保することができた。 【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	きめ細やかな対応に対して市民満足度も高く、住民生活の安心・安全確保のため、今後も事業を継続する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	菟原下定住促進住宅用地販売促進事業												
事業担当	所属	地域振興部 三和支所				所属長	岡部 晴朗						
会計情報	事業コード	510457	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	92	頁
施策体系	施策コード	030401		施策名	住宅・宅地の整備を推進する								
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市定住促進住宅用地分譲要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	平成12年6月に買い取った大松機業の工場等の老朽化に伴い、部材が周囲に飛散するなど危険な状態になっていた。平成26年度から28年度にかけ、既存建物の解体撤去を行い、跡地は定住促進住宅用地として分譲し、地域活性化を図る。												
対象者	市内外の住民	対象者数	80,000		単位あたりコスト	0.0							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (簡条書き)	・5区画の造成をおこなった。 ・平成30年度に事業棚卸しを実施した。 ・平成31年度に2区画を売却した。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	需用費	46	分譲地販売用のぼり旗、分譲地販売促進ポスター										
	使用料及び賃借料	234	新聞、雑誌広告代										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	534	369	421	予算編成時記入	
	② 補正予算	0	0	0		
	③ 繰越予算	0	0	0		
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0	0		
小計(①～③)	534	369	421			
予算財源内訳	① 一般財源	534	369	421		
	② 国支出金	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0		
	④ 地方債	0	0	0		
	⑤ その他特財	0	0	0		
決算情報	① 流充用額	△ 164	△ 9	0	0	
	② 配当予算	370	360	0	0	
	③ 執行額	368	280	0	0	
	④ 執行率	99.4%	77.9%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.15/0	0.15 / 0.00	0.15 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	1,200	1,200	1,200	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,568	1,480	1,200			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	販売区画	区画		0 / 5	0 / 5	2 / 5	/ 3
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	広報周知	回	10 / 10	10 / 10	3 / 10	/ 10	40
		単位あたりコスト	52.00	36.80	93.34	/	
		単位あたりコスト			/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	旧三和町が平成12年6月に買い取った工場跡用地を地元の要望及び地域の課題解決に有効に活用する。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	旧三和町が平成12年6月に買い取った工場跡用地を地元の要望及び地域の課題解決に有効に活用する。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	地元から定住に結びつく整備の要望があり、跡地を整備し、三和地域の定住促進住宅用地として、分譲することにより、人口の減少を食い止める。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	分譲価格も下記のとおり、安価(198万円～253万円)なうえ、下水道負担金50万円も含まれているため、購入価格では大きなメリットがある。、分譲地のメリットは価格面や静かな環境での子育てには適している。 <ul style="list-style-type: none"> ・1号地 297.47㎡ 2,355,000円 R01. 10 売払い済 ・2号地 234.75㎡ 1,979,000円 ・3号地 332.11㎡ 2,529,000円 ・4号地 319.24㎡ 2,470,000円 R02. 04 売払い済 ・5号地 287.80㎡ 2,043,000円 		
これまでの課題及び今後の方向性	定住促進に向けた用地販売を行うため、市内外(長田野工業団地アネックス三和や都市部での移住フェア)に向けた広報等の情報発信を継続して実施する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性														
事業名	お試し住宅管理事業(三和地域)													
事業担当	所属	地域振興部 三和支所					所属長	岡部 晴朗						
会計情報	事業コード	530164	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	92	頁	
施策体系	施策コード	060501	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する										
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名									
根拠法令等	福知山市お試し住宅条例													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()													
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合													
関連事業														

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市外から福知山市へ移住を希望している人が一定期間本市の気候、風土及び生活を体験できる施設として、市営みわ上川合住宅(二戸一棟)をお試し住宅として整備し、移住・定住の促進につなげることを目的とする。												
対象者	市外の住民					対象者数	2		単位あたりコスト	543.4			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (簡条書き)	市営みわ上川合住宅(二戸一棟)の修繕や備品購入等を行い、移住希望者の受け入れ態勢を整える。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)					主な業務内容						
	需用費	8					施設の修繕						
	使用料及び賃借料	39					有線テレビ(光回線)利用料						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	390	389	390	予算編成時記入					
	② 補正予算	0	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0	0						
小計(①~③)	390	389	390							
予算財源内訳	① 一般財源	240	239	240						
	② 国支出金	0	0	0						
	③ 府支出金	0	0	0						
	④ 地方債	0	0	0						
	⑤ その他特財	150	150	150						
決算情報	① 流充用額	△ 235	△ 277	0						
	② 配当予算	155	112	0						
	③ 執行額	152	47	0						
	④ 執行率	98.2%	41.8%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.16/0	0.13 /	0.13 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	1,280	1,040	1,040	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,432	1,087	1,040							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	お試し住宅使用料(三和支所)		種類	総務使用料	実績金額	120	決算付属資料	8	頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	管理戸数	戸	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2	2
入居戸数	戸	2/2	2 / 2	2 / 2	/ 2	2	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	修繕箇所	か所	3 / 2	1 / 2	2 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		119.67	152.00	23.41	/	
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	人口増加につなげるとともに、都市圏の移住希望者の支援策として必要。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	お試し住宅使用料を徴収し、歳入を確保している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	お試し住宅に一定期間居住することで、地域の魅力を感じて、定住につながる。R1年度も1件の定住者があった。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	平成28年度からの事業開始後、入居者が途切れることなくある。都市部から見ると田舎暮らしが魅力であり、応募者多数で入居選定を行っている。地元の受入れ態勢が手厚く、退居後も三和地域への移住につながっている。移住率は75%と高い。		
これまでの課題及び今後の方向性	移住後も三和地域協議会と連携し、移住者交流会などで移住の推進、移住後の支援を行っていく必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	夜久野支所一般管理事業												
事業担当	所属	地域振興部 夜久野支所					所属長	衣川 正彦					
会計情報	事業コード	810443	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	64	頁
施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市支所設置条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	夜久野支所施設管理事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	住民に対するサービスの拠点施設である夜久野支所を、適正に運営する。												
対象者	夜久野支所を利用する人	対象者数	11,240	単位あたりコスト	2.7								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	株式会社HYSエンジニアリングサービス												
事業概要 (箇条書き)	夜久野支所の臨時職員(宿日直)賃金、役務費(通信費)など、一般管理経費を計上 ・宿日直数 366日、日直数 126日、4名雇用し、輪番制で1名勤務 ・防災行政無線の維持管理												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	賃金	4,838	宿日直臨時職員賃金										
	需用費	1,209	防災行政無線屋外子局アンテナ修繕・電池修繕、防災行政無線屋外子局電気料、ほか										
	役務費	581	電話代、郵送料										
	委託料	1,553	防災行政無線設備点検業務委託										
	旅費、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金	342	普通旅費、デジタル複合機賃借料、防災行政無線電波利用料、安全運転管理者講習会手数料										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	9,466	9,257	8,115	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	9,466	9,257	8,115						
予算財源内訳	① 一般財源	9,359	9,192	8,081					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	107	65	34					
決算情報	① 流充用額	△ 262	△ 734	0					
	② 配当予算	9,204	8,523	0					
	③ 執行額	9,204	8,523	0					
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	2.4/0.05	2.78 / 0.05	2.78 / 0.05	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	19,325	22,365	22,365	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	28,529	30,888	22,365						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	コピー代	種類	雑入	実績金額	5	決算付属資料	44	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	支所利用者数	人	9,783 / 11,500	8,660 / 11,500	9,246 / 12,000	/ 13,000	13,000
		0	/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	在勤者数	人	14 / 15	14 / 15	13 / 15	/	15
		単位あたりコスト	680.21	657.43	655.58		
	支所管理経費	千円	9,523 / 9,767	9,204 / 9,466	8,523 / 9,257	/	
	単位あたりコスト	-	-	-			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	旧町及び周辺住民に対するサービスの拠点としてニーズがあり、継続して管理運営を行う。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	最低限の予算で運営している。賃金を除いた物件費から見ると効率性は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	旧町及び周辺住民に対するサービスの拠点として有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	支所機能を維持するうえで必要最小限の経費であり、現在の事業規模で継続的に実施する。		
これまでの課題及び今後の方向性	夜久野支所としては、旧町のイメージが強く、合併当時から旧町の住民が主に訪れる施設であったが、合併から14年が経過する中で、徐々に旧福知山市地域の西部の住民も訪れるようになり、西部地域としてのサービス拠点にすることが期待されることから、継続して管理運営を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	公共施設除却事業(庁舎)(夜久野支所)												
事業担当	所属	地域振興部 夜久野支所					所属長	衣川 正彦					
会計情報	事業コード	810405	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	68・70	頁
施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	公共施設マネジメント							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報

事業目的(あるべき姿)	設置時の目的が概ね達成され、利用者が減少している施設や複数の施設を統合したことにより、余剰となった施設及び老朽化し継続利用の見込めない施設について、施設総量の削減を図るため解体(除却)する。												
対象者	夜久野地域住民	対象者数	3,213	単位あたりコスト	1.2								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	小川建築設計												
事業概要(箇条書き)	・令和元年度、旧門垣支庁解体工事実施設計業務実施 ・令和2年度、旧門垣支庁解体工事実施(予定)												
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	委託料	2,101	旧門垣支庁解体工事に伴う設計業務										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,000	2,650	16,268	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	2,000	2,650	16,268						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	2,300	13,000					
	⑤ その他特財	2,000	350	3,268					
決算情報	① 流充用額	0	△ 549	0					
	② 配当予算	2,000	2,101	0					
	③ 執行額	1,661	2,101	0					
	④ 執行率	83.1%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数(正職員/嘱託職員)	0.2/0	0.21 / 0.00	0.21 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,600	1,680	1,680	0				
トータルコスト(予算執行額+概算人件費)	3,261	3,781	1,680						
主な利用特財(N-1年度実績値)	特財名称	公共施設除却事業基金繰入金(庁舎)	種類	基金繰入金	実績金額	301	決算付属資料	40	頁
	特財名称	公共施設除却事業(庁舎)(除却)	種類	総務債	実績金額	1,800	決算付属資料	50	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績(アウトカム)実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	所管施設解体件数(累計)	件	1 / 2	1 / 2	1 / 2	/ 2	/ 2
活動実績(アウトプット)実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	所管施設解体件数(累計)	件	1 / 2	1 / 2	1 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		25726.00	1661.00	2101.00		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	公共施設に関するコスト削減をめざすものである。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	公共施設の再配置(更新・統合・移譲・廃止)を着実に推進する事業である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	解体後の有効利用を早期に検討する。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>公共施設マネジメント計画により、所管2施設の解体工事を行う計画である。 当初計画では、平成29年度に完了予定であった。 1施設については、平成29年度に解体工事を行い、跡地利用に向けて協議を進めている。 残りの1施設については、市全体の予算調整から遅延となっているが、令和2年度に解体工事を行い、事業完了予定である。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>平成29年度に解体を行った施設の跡地については、地域の小さな拠点としての利用の検討を早期に進めていく。 残りの1施設については、令和元年度に解体工事の実施設計を行い、令和2年度に解体工事を行う。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	夜久野支所施設管理事業												
事業担当	所属	地域振興部 夜久野支所					所属長	衣川 正彦					
会計情報	事業コード	810447	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	70	頁
施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市支所設置条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	夜久野支所一般管理事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	住民に対するサービスの拠点である夜久野支所を、適正に運営する。												
対象者	夜久野支所を利用する人					対象者数	11,240	単位あたりコスト	1.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティサービス株式会社、公益社団法人福知山市シルバー人材センター												
事業概要 (箇条書き)	夜久野支所庁舎及び公用車両の管理経費を計上 ・施設清掃業務(週3回支所負担、週2回生涯学習課負担) ・公用車4台保有 ・夜久野ふれあいプラザ光熱水費(11~3月 5か月支所負担、他の月は生涯学習課負担)												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	需用費	3,902	施設電気料・水道使用料、公用車ガソリン代、施設管理用品、他										
	役員費	130	建物共済分担金、公用車損害保険料、ごみ廃棄手数料										
	委託料	658	夜久野支所日常清掃業務委託料、旧夜久野町中央公民館機械警備料										
	使用料及び賃借料	382	公用車(軽バン、軽トラック)賃借料										
	公課費	7	公用車自動車重量税										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	5,848	5,657	5,562	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	5,848	5,657	5,562						
予算財源内訳	① 一般財源	5,542	5,359	5,344					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	306	298	218					
決算情報	① 流充用額	0	△ 578	0					
	② 配当予算	5,848	5,079	0					
	③ 執行額	5,378	5,079	0					
	④ 執行率	92.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.71/0	0.75 / 0.00	0.75 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	5,680	6,000	6,000	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	11,058	11,079	6,000						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料	種類	総務使用料	実績金額	10	決算付属資料	10	頁
	特財名称	土地貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	227	決算付属資料	32	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	支所利用者数	人	9,783 / 11,500	8,660 / 11,500	9,246 / 12,000	/ 13,000	13,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	在勤者数	人	14 / 15	14 / 15	13 / 15	/ 15	15
	単位あたりコスト		373.36	384.14	390.66		
	支所管理経費	千円	5,227 / 5,760	5,378 / 5,848	5,079 / 5,657	/	
	単位あたりコスト		-	-	-		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	旧町及び周辺住民に対するサービスの拠点としてニーズがあり、継続して管理運営を行う。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	最低限の予算で管理している。無駄を省き、効率的な維持管理を行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	旧町及び周辺住民に対するサービスの拠点として有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	支所機能を維持するうえで必要最小限の経費であり、現在の事業規模で継続的に実施する。		
これまでの課題及び今後の方向性	夜久野支所としては、旧町のイメージが強く、合併当時から旧町の住民が主に訪れる施設であったが、合併から14年が経過する中で、徐々に旧福知山市地域の西部の住民も訪れるようになり、西部地域としてのサービス拠点にすることが期待されることから、継続して管理運営を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	額田ダシまつり補助事業												
事業担当	所属	地域振興部 夜久野支所					所属長	衣川 正彦					
会計情報	事業コード	130321	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	86	頁
施策体系	施策コード	020601	施策名	文化財を適切に保護・保存する									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	額田ダシまつり(額田のダシ振興会)補助金交付に関する要綱、額田ダシまつり(額田区自治会長会)補助金交付に関する要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報

事業目的(あるべき姿)	京都府及び福知山市無形民族文化財に登録されている額田のダシまつり(江戸時代から続く独自の伝統文化)を後世に継承し、観光資源として広くPRする。												
対象者	観光客及び額田地域住民	対象者数	10,000	単位あたりコスト	0.1								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	額田ダシ振興会・額田区自治会長会												
事業概要(箇条書き)	「額田ダシ振興会」及び「額田区自治会長会」に補助金を交付する。 額田ダシまつりの概要 ・実施日：10月第2土曜日、日曜日 ・実施場所：福知山市夜久野町額田地内 ・事業内容：宣伝用チラシやポスターの製作及び案内看板の設置や、上ダシ・下ダシ(五穀豊穣に感謝して野菜等の「つくりもん」)を制作、展示する。												
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	133	額田のダシ振興会の額田ダシまつり広報活動に対する補助										
	負担金補助及び交付金	90	額田区自治会長会のダシ制作に対する補助										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	226	223	223	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	226	223	223						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	226	223	223					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	226	223	0					
	③ 執行額	226	223	0					
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数(正職員/嘱託職員)	0.1/0	0.14 / 0.00	0.14 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	800	1,120	1,120	0				
トータルコスト(予算執行額+概算人件費)	1,026	1,343	1,120						
主な利用特財(N-1年度実績値)	特財名称	額田ダシまつり補助事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	223	決算付属資料	40	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績(アウトカム)実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	入り込み客数	人	5,000/10,000	5,000/10,000	4,000 / 10,000	/ / 10,000	10,000
活動実績(アウトプット)実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	下ダシ製作数	個	7 / 7	7 / 7	7 / 7	/ / 7	7
	単位あたりコスト		32.86	32.29	31.86		
	上ダシ製作数	個	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/ / 2	2
	単位あたりコスト		115.00	113.00	111.50		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	京都府及び福知山市無形民族文化財に登録されており、地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに対する支援が必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	事業の大半は、地元負担で賄っており、数年にわたり補助金の減額を行ってきている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	京都府及び福知山市無形民族文化財に登録されており、地域文化の継承だけでなく、特色ある観光資源としての価値も注目されている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	夜久野学園や保育園のダン制作により、伝統文化の継承目的は達成できているが、入込客数は減少傾向にある。		
これまでの課題及び今後の方向性	入込客数が減少傾向にあるが、地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに向けて、市として支援を継続する必要がある。また、「福知山観光地域づくりセンター」「海の京都、森の京都DMO」等と連携し、インバウンド対策、PR戦略等を検討していく必要性もある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	夜久野高原・道の駅支援事業												
事業担当	所属	地域振興部 夜久野支所					所属長	衣川 正彦					
会計情報	事業コード	220306	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	88	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	「森の京都 福知山」マスタープラン							
根拠法令等	夜久野高原・道の駅支援事業「やくの高原まつり」補助金交付要綱、夜久野農林商工祭補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	夜久野高原は京都府唯一の火山である宝山によって形成された溶岩台地であり、風光明媚で史跡にも恵まれている。その観光拠点となる道の駅「農匠の郷やくの」に関する情報を地域内外へ発信することにより、これらへの集客と住民交流を促進する。												
対象者	観光客及び市民	対象者数	22,600	単位あたりコスト	0.2								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	やくの高原まつり実行委員会・夜久野農林商工祭実行委員会												
事業概要 (箇条書き)	夜久野高原や道の駅「農匠の郷やくの」において実施されるイベントに対して補助金を交付する。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	548	やくの高原まつり実行委員会が実施するイベント経費に対する補助										
	負担金補助及び交付金	154	夜久野農林商工祭実行委員会が実施するイベント経費に対する補助										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	720	702	702	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	720	702	702						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	360	351	351					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	360	351	351					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	720	702	0					
	③ 執行額	720	702	0					
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.55/0	0.36 / 0.00	0.36 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,400	2,880	2,880	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,120	3,582	2,880						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	夜久野高原・道の駅支援事業(きょうと地域連携交付金)	種類	総務費府補助金	実績金額	327	決算付属資料	24	頁
	特財名称	夜久野高原・道の駅支援事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	351	決算付属資料	40	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	高原まつり来場者数	人	18,000/16,000	14,000/16,000	25,000 / 16,000	/ 16,000	16,000
農林商工祭来場者数	人	6,000/6,600	6,500/6,600	6,500 / 6,600	/ 6,600	6,600	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	やくの高原まつり補助額	千円	576/576	562/562	548 / 548	/ 548	548
	単位あたりコスト		-	-	1.28		
	夜久野農林商工祭補助額	千円	162/162	158/158	154 / 154	/ 154	154
単位あたりコスト		-	-	4.56			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	実行委員会により実施される地域に定着したイベントだが、自己資金のみでの開催は困難である。道の駅への集客は年々減少傾向にあり情報発信する事業として必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	受益者負担との負担関係について実施団体と協議を進める必要があるが、補助金額に対する集客数は十分と考える。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	一時的な集客には繋がっているが、年間を通しての集客数は減少傾向にある。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	各イベント実施による集客数は、ほぼ達成しており評価できる。 道の駅「農匠の郷やくの」への集客数については、このイベントが一時的なものであり、年間を通じての集客に繋がっているとは言えない。 イベント開催のあり方について、今後も検討していく必要はある。		
これまでの課題及び今後の方向性	道の駅「農匠の郷やくの」への年間の集客増加につなげるため、事業の目的・成果や事業費の補助等については支援団体と十分に協議を行い、効果的かつ有効的にイベントを実施する必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	玄武岩公園管理事業												
事業担当	所属	地域振興部 夜久野支所					所属長	衣川 正彦					
会計情報	事業コード	230206	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	88	頁
施策体系	施策コード	060302	施策名	観光施設・交流施設を充実させる									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	京都府指定文化財(天然記念物)に指定され、京都府景観資産にも登録されており、やくの玄武岩公園を夜久野地域における観光施設のひとつとして、適正に維持管理することにより夜久野地域への観光客及び交流人口の増加を図る。												
対象者	観光客及び市民	対象者数	159,000	単位あたりコスト	0.0								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	〈委託先・実施主体等〉小倉幸福会												
事業概要 (箇条書き)	やくの玄武岩公園の清掃業務、人工滝の運転や夜間ライトアップ、設備の維持運営等にかかる経費。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	需用費	382	電気・水道代										
	役員費	2	建物総合損害共済にかかる共済分担金										
	委託料	358	やくの玄武岩公園清掃等業務										
	使用料及び賃借料	30	案内看板用地賃借料										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	993	908	908	予算編成時記入	
	② 補正予算	0	0	0		
	③ 繰越予算	0	0	0		
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0	0		
小計(①~③)	993	908	908			
予算財源内訳	① 一般財源	993	908	908		
	② 国支出金	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0		
	④ 地方債	0	0	0		
	⑤ その他特財	0	0	0		
決算情報	① 流充用額	0	△ 42	0	0	
	② 配当予算	993	866	0	0	
	③ 執行額	890	771	0	0	
	④ 執行率	89.6%	89.0%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.14/0	0.14 / 0.00	0.14 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	1,120	1,120	1,120	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,010	1,891	1,120			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		農匠の郷来客数からの想定見込数	千人	142/159	132/159	126 / 159	/ 159
	苦情・クレーム件数	件	0/0	0/0	0 / 0	/ 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	公園内清掃	回	12/12	12/12	12 / 12	/ 12	12
		単位あたりコスト	83.25	74.20	64.26		
		単位あたりコスト	0.00	0.00			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	やくの玄武岩公園は、旧夜久野町が観光施設のひとつとして民間の土地を無償で借り上げて整備した公園であり、将来にわたって適正に管理する必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	公園清掃の委託については入札で地元の団体が受託している。その他に公民館のボランティア活動で清掃が行われている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	やくの玄武岩公園への来客数をカウント出来ないため有効性の分析が困難である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>維持管理に関する苦情クレームは少なく、適正に管理できている。</p> <p>やくの玄武岩公園は、観光における立ち寄りポイントのひとつであり、道の駅「農匠の郷やくの」、宝山、夜久野八十八か所石仏めぐり等の夜久野高原を周遊してもらうことが必要となるが、道の駅への集客は減少傾向にある。</p> <p>平成28年には、玄武岩の柱状節理、板状節理に加え滝があることにより、映画のロケ地となった。</p> <p>平成29年には、「出発ローカル線聞きこみ発見の旅」でやくの玄武岩公園が紹介された。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>やくの玄武岩公園用地は、地元から無償で借り受けているが、令和2年度の玄武岩公園用地整理事業において、福知山市の土地として無償譲渡を受ける予定であり、条例に位置付けた公園として将来に向けて適正管理を続ける。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	やくの木と漆の館事業												
事業担当	所属	地域振興部 夜久野支所					所属長	衣川 正彦					
会計情報	事業コード	230215	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	88・90	頁
施策体系	施策コード	060302	施策名	観光施設・交流施設を充実させる									
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	福知山市ファームガーデンやくの条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	夜久野は古来日本でも有数の漆の産地であり、人々の暮らしを支えてきた生業は漆掻きであった。そんな夜久野の歴史を残し、伝えていくことを目的に平成12年「やくの木と漆の館」は設置された。丹波漆の伝統継承と漆産業の振興を目的に設立された「NPO法人丹波漆」の活動と連携を図りながら、地元の漆を使った夜久野ならではの製品を作り、丹波漆の良さを伝えていくことを目標としている。								
対象者	市民、利用者	対象者数	1,500	単位あたりコスト	8.3				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	やくの木と漆の館の施設管理及び事業運営 ・建物、物品管理、修繕 ・漆器の制作、販売 ・漆に関する資料展示と広報宣伝活動、漆塗り体験教室の運営、ギャラリー展示								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費・原材料費	2,207	電気・水道代、消耗品、木地等加工材料						
	報償費・旅費・負担金補助及び交付金	611	教室講師料、普通旅費、年会費等						
	役員費	214	通信運搬費、手数料、保険料						
	備品購入費・工事請負費	217	漆乾燥装置、火災報知器設置						
	使用料及び賃借料	83	複写機使用料等						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	3,945	3,609	3,779	予算編成時記入
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①~③)	3,945	3,609	3,779		
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	1,678	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	3,945	1,931	1,873	
決算情報	① 流充用額	△ 47	△ 137	0	
	② 配当予算	3,898	3,472	0	
	③ 執行額	3,483	3,331	0	
	④ 執行率	89.3%	95.9%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.17/3.1	0.25 / 2.85	0.25 / 2.85	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	9,110	9,125	9,125	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	12,593	12,456	9,125		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	やくの木と漆の館入館料	種類	総務使用料	実績金額	440	決算付属資料	10	頁
	特財名称	やくの木と漆の館事業(地方創生推進交付金)	種類	総務費国庫補助金	実績金額	1,354	決算付属資料	18	頁
	特財名称	やくの木と漆の館物品	種類	物品売却収入	実績金額	1,537	決算付属資料	34	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	入館者数	人	1,289 / 1,500	1,194 / 1,500	1,319 / 1,500	/ 1,500	1,500
蒔絵・金継ぎ教室参加者	人	234 / 220	216 / 250	187 / 300	/ 300	300	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	蒔絵・金継ぎ教室開催	日	31 / 33	32 / 33	30 / 33	/ 33	33
		単位あたりコスト	126.45	108.80	111.04		
	企画展等開催	回	8 / 12	11 / 12	5 / 12	/ 12	12
	単位あたりコスト	490.00	316.60	666.22			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	丹波漆を福知山市のブランド品にしていくために、NPO法人丹波漆と連携し、この事業を推進していく必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	NPO法人丹波漆が漆を植栽し育て、やくの木と漆の館において漆器の展示・制作・販売・体験等を行う。このように役割分担をすることによって官民が連携し、漆の魅力を発信している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	「農匠の郷やくの」の拠点施設の運営事業として、観光振興分野で本市の総合計画の実現に欠かせない事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	丹波漆の伝統として、また、漆塗りや絵付けなど様々な漆芸が行える体験型施設として運営するとともに、漆器の制作販売や、漆芸作家作品等の展示、各種資料展示、体験教室などを通じて地域文化の活性化を図った。また、文化庁が国宝や重要文化財の修復にかかる上漆を外国産漆から国産漆に切り替える方針を示すなか、京都府も夜久野地域の漆の再生にむけて支援を強化しており、府・市・NPO法人丹波漆との連携が強化された。		
これまでの課題及び今後の方向性	平成28年4月1日より3年間は、地域おこし協力隊員が加わり、丹波漆の伝承館として、新たな商品開発や夜久野で採れた漆を使用した漆器等により丹波漆の情報を発信し、入館者数、売上げの増加を目指した。その後も道の駅「農匠の郷やくの」の特徴ある施設として他の施設と協働し、全体の集客増を図るとともに、「福知山観光地域づくりセンター」「海の京都、森の京都DMO」等との連携、インバウンド対策、PR戦略等を検討している。文化庁が京都府に移転し、国との連携も視野に入れた漆振興策も検討する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	農匠の郷やくの施設管理運営事業												
事業担当	所属	地域振興部 夜久野支所					所属長	衣川 正彦					
会計情報	事業コード	230219	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	90	頁
施策体系	施策コード	060302	施策名	観光施設・交流施設を充実させる									
計画期間	開始年度	平成29年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	-					
根拠法令等	福知山市ファームガーデンやくの条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	民間事業者のノウハウを活かした指定管理方式により、道の駅「農匠の郷やくの」の施設である「夜久野荘、ほっこり館、やくの一道庵、やくの本陣、やくの花あずき館、やくの花あずき館、やくのペゴニア園、その他附属施設」を適正且つ円滑に管理運営していくとともに、指定管理者自らの創意工夫により魅力ある事業を企画・実施し利用者増に向けて利用促進を図る。 ※他の施設としては、市直営のやくの木と漆の館、夜久野町化石・郷土資料館、公設民営のやくの高原市がある。												
対象者	観光客及び市民	対象者数	82,295	単位あたりコスト	1.0								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (工事・修繕等)												
委託先・実施主体等	(株)夜久野ガーデン、伊勢源六たちばなや、(株)西日本エスエスシー共同企業体ほか												

事業概要 (箇条書き)	道の駅「農匠の郷やくの」の施設である「夜久野荘、ほっこり館、やくの一道庵、やくの本陣、やくの花あずき館、やくのペゴニア園、その他附属施設」の管理運営に係る指定管理料及び指定管理者との協定等に基づき市が行うべき整備・修繕・管理運営にかかる経費。												
----------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容									
	委託料	47,076	指定管理料、維持管理業務(機械設備等保守ほか)									
需用費	20,135	電気・水道代、施設修繕料										
役員費	557	手数料、保険料										
旅費・使用料及び賃借料	232	普通旅費、土地賃借料(案内看板用)										
負担金補助及び交付金・補償、補填及び賠償金	1,473	道の駅年会費、不可抗力により発生した費用等の補償金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	68,782	64,994	65,066	予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
小計(①~③)	68,782	64,994	65,066					
予算財源内訳	① 一般財源	52,288	8,587	7,933				
	② 国支出金	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	16,494	56,407	57,133				
決算情報	① 流充用額	△ 788	4,480	0	0			
	② 配当予算	67,994	69,474	0	0			
	③ 執行額	67,988	69,473	0	0			
	④ 執行率	100.0%	100.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.5/0.05	1.35 / 0.05	1.35 / 0.05	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	12,125	10,925	10,925	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	80,113	80,398	10,925					

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	農匠の郷やくの施設管理運営事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	42,917	決算付属資料	38	頁
	特財名称	農匠の郷やくの施設管理運営事業負担金	種類	雑入	実績金額	12,868	決算付属資料	48	頁
	特財名称	地域振興施設維持補修基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	1,892	決算付属資料	38	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	指定管理施設利用者数	人	68,349/79,044	64,140/80,625	67,485 / 82,295	/	82,295	82,295
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	維持管理経費	千円	75,507/79,730	67,988/68,782	64,994 / 64,994	/	65,066	-
		単位あたりコスト	-	-	1.07			
	指定管理料	千円	44,862/44,862	43,788/43,788	42,918 / 43,316	/	43,132	43,132
		単位あたりコスト	-	-	1.62			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	道の駅「農匠の郷やくの」は、夜久野地域における農村都市交流の拠点施設として必要な施設である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	平成28年度から効率性や施設間の連携強化を目的に利用者数の少ない非効率な施設を休園し、3者からなる共同企業体が指定管理者となり運営管理を行っている。設置後20年を迎えようとする老朽化した施設の更新費用が必要である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	利用者数増加や収支改善等の数値目標を設定し、指定管理者との協定を締結しているが、目標達成が困難な状況にある。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	指定管理者の一本化により各施設間の連携、集客への取組は事業者間で行っている。施設によりその成果は異なるが、企業努力で収益性は改善されている。		
これまでの課題及び今後の方向性	設備の老朽化により維持経費は毎年増加するなか、施設の利用者数は減少傾向にある。平成28年度から令和元年度までの指定管理期間においては、指定管理者との協定のなかに、利用者数や収支改善の目標値を定めている。指定管理制度第三者評価委員会の報告を受け、令和元年度にはサウンディング型市場調査を行った。指定管理期間を令和2年度の1年間延長し、新たな管理運営方法について検討を進めていく。		

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	宝山公園等管理事業												
事業担当	所属	地域振興部 夜久野支所					所属長	衣川 正彦					
会計情報	事業コード	230260	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	90	頁
施策体系	施策コード	060302	施策名	観光施設・交流施設を充実させる									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	「夜久野高原金浦公衆便所の設置及び管理に関する協定書」及び「覚書」(相手側:朝来市長)												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	夜久野地域における観光拠点である宝山公園と夜久野高原さわやかトイレを適正に維持管理する。												
対象者	観光客及び市民	対象者数	82,295	単位あたりコスト	0.0								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (朝来市への負担金)												
委託先・実施主体等	あした土木												

事業概要 (箇条書き)	宝山公園維持管理業務及び夜久野高原さわやかトイレ維持管理経費を計上している。 ・業者へ公園内の剪定や除草、公園内のトイレ清掃を委託している。 ・夜久野町平野に設置している「さわやかトイレ」を管理する朝来市へ光熱水費等に係る経費1/2を負担金として支出している。												
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容									
	委託料	983	宝山公園清掃等業務									
負担金補助及び交付金	323	夜久野高原さわやかトイレ維持管理経費負担金										
使用料及び賃借料	42	宝山公園土地賃借料										
需用費	33	電気・水道代										
役務費	1	建物総合損害共済にかかる共済分担金										

III 予算執行状況

区分		H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,580	1,445		1,445		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0		0					
	③ 繰越予算	0	0		0					
	前年度繰越	0	0		0					
	次年度繰越	0	0		0					
小計(①~③)		1,580	1,445		1,445					
予算財源内訳	① 一般財源	1,580	1,445		1,221					
	② 国支出金	0	0		0					
	③ 府支出金	0	0		224					
	④ 地方債	0	0		0					
	⑤ その他特財	0	0		0					
決算情報	① 流充用額	0	△ 7		0		0			
	② 配当予算	1,580	1,438		0		0			
	③ 執行額	1,339	1,383		0		0			
	④ 執行率	84.8%	96.2%							
概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.04/0.10	0.04 / 0.10		0.04 / 0.10		0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	570	570		570		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,909	1,953		570					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	宝山公園等管理事業(きょうと地域連携交付金)		種類	総務費府補助金	実績金額	114	決算付属資料	24	頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	苦情件数	件	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	清掃回数	回	310/310	310/310	310 / 310		310 / 310		310
	単位あたりコスト		4.70	4.30	4.46				
	単位あたりコスト		/	/	/		/		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	観光拠点の維持管理であり必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	現場の維持管理に必要な最小限の経費である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	成果実績の把握について、積極的な情報収集が困難な状況である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	夜久野高原の施設を適正に維持管理することにより、観光地としてのイメージアップにつなげている。対象者数の把握については、観光客数の測定が困難であるため未知数となっている。		
これまでの課題及び今後の方向性	市の施設の適正管理を行うため、事業を継続する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	玄武岩公園用地整理事業												
事業担当	所属	地域振興部 夜久野支所					所属長	衣川 正彦					
会計情報	事業コード	230282	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	90	頁
施策体系	施策コード	060302	施策名	観光施設・交流施設を充実させる									
計画期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	やくの玄武岩公園は、夜久野高原における「宝山公園」、「道の駅農匠の郷やくの」等を結ぶ観光施設のひとつであるが、その用地は小倉自治会から無償で借り受け市で管理している状況である。将来に向けて安定的に公園を維持管理するため、用地を取得するとともに、公園条例を制定する。												
対象者	観光客及び市民	対象者数	82,295	単位あたりコスト	0.0								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会・京都公共嘱託登記司法書士協会												
事業概要 (箇条書き)	平成25年度に業務委託した用地調査を基に公園用地の境界確定を行った。 平成29年度より事業名を「玄武岩公園活性化事業」から「玄武岩公園用地整理事業」に変更した。 令和2年度において、分筆、所有権移転登記を行う。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	委託料	156	公共嘱託登記業務(やくの玄武岩公園に係る用地測量及び境界確定業務)										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,000	1,000	915	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,000	1,000	915						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	915					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	1,000	1,000	0					
決算情報	① 流充用額	0	△ 844	0	0				
	② 配当予算	1,000	156	0	0				
	③ 執行額	1,000	156	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.08/0.2	0.09 / 0.35	0.09 / 0.35	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,140	1,595	1,595	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,140	1,751	1,595						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	玄武岩公園用地整理事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	156	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	公園用地取得	件	0 / 1	0 / 1	0 / 1	/	1	1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	境界確定状況	筆	19/19	4/4	5 / 5	/	44	44
	単位あたりコスト		221.42	250.00	31.24			
			/	/	/	/		
	単位あたりコスト							

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	やくの玄武岩公園は、地元から無償で借り受けて管理している状態で、将来に渡り継続的に維持管理するには、市が所有する必要があり、地元もそれを要望している。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	境界確定等の業務に係る経費は、共通単価となっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	将来に渡り継続的に公園として管理していくことは地元の要望事項であり、公園用地を市の所有にすることについては、無償提供するという地元の内諾を得ている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	平成22年度から玄武岩公園活性化事業として、公園の修景整備を実施し、平成24年度には、拡張計画を作成した。用地調査により境界確定に時間と経費がかさむことが判明し、計画を見直す中、公園用地の確定・取得を目的に進めてきた。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和2年度で玄武岩公園用地整理事業を終了させ、公園用地を取得後、公園設置条例を制定する。公園の適正な維持管理に努め、集客増加と地域振興に繋げていく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	夜久野支所きめ細かな安心安全事業												
事業担当	所属	地域振興部 夜久野支所					所属長	衣川 正彦					
会計情報	事業コード	510454	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	92	頁
施策体系	施策コード	030104	施策名	集落環境を保全・整備する									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	地域の実情や緊急性を勘案したきめ細かで迅速な対応により、住民満足度の向上を図る。												
対象者	夜久野地域住民	対象者数	3,213	単位あたりコスト	0.4								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (修繕)												
委託先・実施主体等	公正産業株式会社、株式会社高尾組												
事業概要 (箇条書き)	住民の安心安全を確保するため、重要かつ緊急に対処しなければならないと支所長が判断した事業を実施 ・市道道路側溝蓋修繕 ・市道道路集水樹修繕												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	需用費	220	向嶋線道路側溝蓋修繕										
	需用費	110	旧府道門田線道路集水樹修繕										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	500	500	500	予算編成時記入	
	② 補正予算	0	0	0		
	③ 繰越予算	0	0	0		
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0	0		
小計(①~③)	500	500	500			
予算財源内訳	① 一般財源	500	500	500		
	② 国支出金	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0		
	④ 地方債	0	0	0		
	⑤ その他特財	0	0	0		
決算情報	① 流充用額	0	△ 170	0	0	
	② 配当予算	500	330	0	0	
	③ 執行額	476	330	0	0	
	④ 執行率	95.3%	100.0%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.18/0	0.13 / 0.00	0.13 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	1,440	1,040	1,040	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,916	1,370	1,040			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	実施件数	件	3 / 2	3 / 2	2 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		101.67	158.70	165.00		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	夜久野地域における住民生活の安心・安全確保の点で事業は必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	緊急的な小規模事業を支所長判断により対応できる利点がある。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	地域の実情に合わせた対応が出来ることから有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	他の部署で即時対応が困難であった案件等に対し、支所長裁量で迅速な対応ができ、住民生活の安心安全を確保することができた。 【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	住民生活の安心・安全確保のため、事業を継続する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	大江支所一般管理事業												
事業担当	所属	地域振興部 大江支所					所属長	吉田和彦					
会計情報	事業コード	810450	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	64・66	頁
施策体系	施策コード	070101 施策名 時代のニーズに即応した行政経営の推進をする											
計画期間	開始年度	平成17年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名						
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	大江地域及び近隣の住民に対するサービスの拠点施設である大江支所の文書管理、自治会業務等の運営管理を図る。												
対象者	大江支所利用者数		対象者数	15,000		単位あたりコスト	0.6						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	大江まちづくり住民協議会												
事業概要 (箇条書き)	・大江地域の自治会長会を開催し、自治会業務の支援を行った。 ・大江地域の自治会文書送達より行政運営を円滑にした。 ・大江支所の事務的経費(郵便、電話、印刷機)及び宿直、日直臨時職員に係る経費を支出し支所としての機能を維持した。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	賃金	4,752	宿日直臨時職員賃金										
	需用費	208	事務関係消耗品										
	役務費	448	電話料金 郵送料										
	委託料 旅費 負担金	449	委託料416千円(自治会文書配達、自治会関係会議案内作成) 旅費28千円 負担金5千円										
	使用料及び賃借料	649	複写機、コピー機										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	6,978	6,873		7,012		予算編成時記入					
	② 補正予算	0	0		0							
	③ 繰越予算	0	0		0							
	前年度繰越	0	0		0							
	次年度繰越	0	0		0							
小計(①~③)	6,978	6,873		7,012								
予算財源内訳	① 一般財源	6,978	6,871		7,010							
	② 国支出金	0	0		0							
	③ 府支出金	0	0		0							
	④ 地方債	0	0		0							
	⑤ その他特財	0	2		2							
決算情報	① 流充用額	△ 278	△ 367		0		0					
	② 配当予算	6,700	6,506		0		0					
	③ 執行額	6,700	6,506		0		0					
	④ 執行率	100.0%	100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	0.4/0	0.36	/	0.00	0.36	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	3,200	2,880		2,880		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,900	9,386		2,880								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	コピー代		種類	雑入		実績金額	2		決算付属資料	44	頁
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	支所利用者数	人	14,267/15,000	13,580/15,000	12,626 / 15,000	/	15,000	15,000
			/	/	/	/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	在勤職員数	人	11/11	10/10	9 / 9	/	9	9
	単位あたりコスト		626.36	670.00	722.86			
	支所管理経費	千円	6,890/7,200	6,700/6,978	6,505 / 6,873	/	7,012	
	単位あたりコスト		-		1.00			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	大江支所は、地域住民にとって行政サービスの提供を受けるために、必要な拠点であり、支所機能を維持するため必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	市役所本庁から遠く離れた地域で、大江地域の住民にとって身近な存在であり、迅速で細やかな対応で、行政サービスを提供している。業務委託による自治会文書の送達により、職員の事務が省力化できている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	活動実績である大江支所利用者数は目標に達していないが、地域住民の必要な施設として、必要不可欠である。また、この事業により大江地域の行政サービスの拠点として、迅速な対応ができることから有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	行政サービスの機能を維持する経費であり、継続的に実施することが必要である。支所管理経費はここ数年において減少傾向ではあるが、限られた予算のなかで適切な行政サービスの提供ができています。		
これまでの課題及び今後の方向性	大江支所は、地域住民にとって行政サービスの提供を受けるために、必要な拠点であり、支所機能を維持するため今後も継続する。		

VI 他部署評価	
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針	
方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果	
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	大江支所施設管理事業												
事業担当	所属	地域振興部 大江支所					所属長	吉田和彦					
会計情報	事業コード	810454	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	70	頁
施策体系	施策コード	070101 施策名 時代のニーズに即応した行政経営の推進をする											
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和2年度		関連計画名							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	大江地域及び近隣の住民に対するサービスの拠点施設である大江支所の維持管理を図る。								
対象者	大江支所利用者	対象者数	15,000	単位あたりコスト	0.9				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	(株)西日本エスエスシー (株)丹新ビルサービス 姫路ナブコ(株) 由良電気設備管理事務所 (社)福知山市シルバー人材センター (株)HYSエンジニアリングサービス関西支店								

事業概要 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> 大江支所の光熱水費を支出し施設の機能を維持した。 大江支所としての施設を維持するため、庁舎の修繕を実施した。 大江支所としての施設を維持するため、法令で定められている設備の保守点検を業務委託により実施した。 大江支所としての施設を長寿命化させるため、庁舎内の清掃を業務委託により実施した。 								
----------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容		
	需用費	6,111	消耗品費 光熱水費 修繕料		
役務費	246	手数料 保険料			
委託料	2,790	機械保守維持管理業務 清掃業務 施設維持管理業務			
使用料及び賃借料 負担金 公課費	458	公用車賃料 防災行政無線電波料金 公用車車検経費			

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	11,477	11,227		10,367		予算編成時記入
	② 補正予算	0	0		0		
	③ 繰越予算	0	0		0		
	前年度繰越	0	0		0		
	次年度繰越	0	0		0		
小計(①～③)	11,477	11,227		10,367			
予算財源内訳	① 一般財源	9,025	8,859		8,068		
	② 国支出金	0	0		0		
	③ 府支出金	0	0		0		
	④ 地方債	0	0		0		
	⑤ その他特財	2,452	2,368		2,299		
決算情報	① 流充用額	0	△ 1,623		0		
	② 配当予算	11,477	9,604		0		
	③ 執行額	10,871	9,604		0		
	④ 執行率	94.7%	100.0%				
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	0.45/0	0.48	/	0.00	0.48 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	3,600	3,840		3,840		0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	14,471	13,444		3,840			

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	大江支所使用料	種類	総務使用料	実績金額	1,054	決算付属資料	10	頁
	特財名称	京都地方税機構事務所経費負担金	種類	雑入	実績金額	935	決算付属資料	48	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	支所利用者数	人	14,267/15,000	13,580/15,000	12,626 / 15,000	/ 15,000	15,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	在勤職員数	人	11/11	10/10	9 / 9	/ 9	9
	支所管理経費	千円	12,056/12,647	10,871/11,477	9,599 / 11,227	/ 10,367	
	単位あたりコスト		-	-	1.00		

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	大江支所は、地域住民にとって行政サービスの提供を受けるために、必要な拠点であり、支所機能を維持するため必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	支所の設備の老朽化が進み、今後は修繕等に要する費用の増額が予想されるなか、定期的に適正な維持管理を行なっている。支所経費の削減の手法として、低料金の電力供給業者と契約締結を行った。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	活動実績である大江支所利用者数は目標に達していないが、地域住民の必要な施設として、必要不可欠である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	建物の維持管理業務により、施設の安全性及び長寿化が図られている。活動実績の大江支所の管理経費は、電力の自由化に伴う低料金の業者との契約により、電気料金の削減に伴い支出額の抑制ができています。		
これまでの課題及び今後の方向性	老朽化した施設を維持管理する経費が必要である。また、職員が今以上に自覚を持ち、さらなるコスト縮減に取り組むことが課題である。大江地域の住民にとっては必要不可欠な施設であるため、適切な維持管理を行う。		

VI 他部署評価	
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針	
方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果	
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	地域振興センター管理事業												
事業担当	所属	地域振興部 大江支所					所属長	吉田和彦					
会計情報	事業コード	130205	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	84・86	頁
施策体系	施策コード	060302	施策名	観光施設・交流施設を充実させる									
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	京都丹後鉄道大江駅の機能を有する施設の特徴を活かし、大江地域を訪れる方々へ大江地域の魅力を発信する施設としての機能を高める。												
対象者	大江駅利用者	対象者数	26,755	単位あたりコスト	0.2								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	大江観光(株) アムス・セキュリティサービス(株) オニテック												
事業概要 (簡条書き)	・地域振興センター施設内の警備を業務委託により実施した。 ・地域振興センター施設内の清掃、周辺の除草を業務委託により実施した。 ・地域振興センターの光熱水費を支出し施設の機能を維持した。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	需用費	813	光熱水費										
	役務費	58	ゴミ処理手数料										
	委託料	828	警備業務:80千円 清掃業務:346千円 除草:352千円 消防点検:50千円										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,520	1,835		1,782		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①~③)	2,520	1,835		1,782							
予算財源内訳	① 一般財源	1,895	1,415		1,225						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	0	0		0						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	625	420		557						
決算情報	① 流充用額	0	△ 48		0		0				
	② 配当予算	2,520	1,787		0		0				
	③ 執行額	2,006	1,699		0		0				
	④ 執行率	79.6%	95.1%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	0.36/0	0.34	/	0.00	0.34	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	2,880	2,720		2,720		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,886	4,419		2,720							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	自動販売機貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	220	決算付属資料	34	頁		
	特財名称	地域振興センター占有者負担金	種類	雑入	実績金額	285	決算付属資料	48	頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	大江駅周辺イベント回数	回	3/3	3/3	2 / 3	/ 3	3
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	大江駅乗降者数	人	34,634/50,000	26,755/50,000	26,755 / 50,000	/ 50,000	50,000
	単位あたりコスト		0.05	0.10	0.06	/	
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	京都丹後鉄道大江駅の機能を有する施設であり、大江観光櫛及び福知山市商工会の業務により、大江地域を訪れる方々にきめ細やかな対応が期待できる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	大江観光櫛及び福知山市商工会には占用割合に応じた施設管理費の負担をさせていただいている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	活動実績である大江駅利用者数は目標に達していないが、一定数を確保している。またこの事業により、施設を良好な環境に保つことができ、利用者へ好印象を与えることができるために有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	施設の適切な清掃業務により、良好な状態が保たれていることから大江地域を訪れる方々に、好印象を与えることができている。また、建物の定期的な点検業務により、施設の安全性及び長寿命化が保たれている。		
これまでの課題及び今後の方向性	当施設は、京都丹後鉄道大江駅の機能を有するため、不可欠な施設であり、現在の事業規模で継続的に実施することが必要である。大江地域の玄関口としての賑わいの創出は、まだ十分ではなく検討が必要と考えている。		

VI 他部署評価

事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	蓼原ロードパーク・猿田彦公園管理事業												
事業担当	所属	地域振興部 大江支所					所属長	吉田和彦					
会計情報	事業コード	130232	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	86	頁
施策体系	施策コード	030402	施策名	公園の整備と適切な維持管理をする									
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	蓼原ロードパークは、国道175号を利用されるドライバーの休息所として、猿田彦公園は、地域住民に親しまれる親水公園として良好な状態を保ち、地域住民等の利用を図る。												
対象者	施設管理件数	対象者数		2	単位あたりコスト		1,770.0						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	(福)大江福祉会大江作業所 (社)福知山市シルバー人材センター												
事業概要 (箇条書き)	・蓼原ロードパーク内の清掃、猿田彦公園内の除草を業務委託により実施した。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容									
	需用費	98		光熱水費									
	役務費	30		ゴミ処理手数料									
	委託料	1,013		蓼原ロードパーク：856千円 猿田彦公園：157千円									

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,207	1,098	1,130	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,207	1,098	1,130						
予算財源内訳	① 一般財源	1,106	1,075	1,107					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	101	23	23					
決算情報	① 流充用額	0	48	0	0				
	② 配当予算	1,207	1,146	0	0				
	③ 執行額	1,078	1,140	0	0				
	④ 執行率	89.3%	99.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.26/0	0.30 / 0.00	0.30 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,080	2,400	2,400	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,158	3,540	2,400						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	自動販売機貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	23	決算付属資料	34	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	業務実施箇所	箇所	2/2	2/2	2 / 2	/ 2	2
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	施設管理業務件数	件	2/2	2/2	2 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		557.00	539.00	569.98	/	
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	蓼原ロードパークは国道175号を通行されるドライバーの休息所として、多くの利用がある。また、猿田彦公園は、地域の住民に親しまれる親水公園として必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	シルバー人材センター及び大江作業所に業務委託を行い、高齢者雇用、障害者の就労支援に資するとともに、蓼原ロードパークの清掃業務においては、除草回数の見直しなどにより、経費の削減にも努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	良好な状態を保つことにより、利用者に好印象を与え、利用者の増加及びイメージアップにつながるため、利用者に親しまれる施設として有効である。業務委託による維持管理で、周辺の良好な状態が保てることができている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	施設の適切な維持管理により、良好な状態が保たれていることから、利用者に好印象を与えている。		
これまでの課題及び今後の方向性	蓼原ロードパークは、国道175号を利用されるドライバーの休息所として、猿田彦公園は、地域住民に親しまれる親水公園であり、現在の事業規模で継続的に実施することが必要である。		

VI 他部署評価

事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	元伊勢八朔祭補助事業												
事業担当	所属	地域振興部 大江支所					所属長	吉田和彦					
会計情報	事業コード	130332	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	86	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	昭和60年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市元伊勢八朔祭補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	明暦4年(1658年)から続く京都府伝統的行事である「元伊勢八朔祭礼」の保存継承に取り組む「元伊勢八朔祭礼練込保存会」に対して支援を行うことにより、福知山の伝統文化の発信や次代への継承及び地域の活性化を図る。また、伝統文化の発信により観光客の入込みを図る。												
対象者	観光客及び市民	対象者数	500	単位あたりコスト	0.7								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	元伊勢八朔祭練込保存会												
事業概要 (簡条書き)	「元伊勢八朔祭礼練込保存会」に補助金を交付する。 【元伊勢八朔祭礼】 事業概要: ■実施日:9月の第1日曜日 ■実施場所:大江町天田内・内宮・二俣地内 ■事業内容: 奴行列、鳥毛廻し、練込み祭礼												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	60	元伊勢八朔祭補助金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	68	60	60	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	68	60	60						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	68	60	60					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	68	60	0	0				
	③ 執行額	0	60	0	0				
	④ 執行率	0.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	0.02/0.05	0.02 / 0.05	0.02 / 0.05	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	285	285	285	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	285	345	285						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	ふるさと創生事業基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	60	決算付属資料	40	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	入込客数	人	500 / 1,500	— / 1,500	500 / 1,500	— / 1,500	1,500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	奴行列・鳥毛廻し実施回数	回	1/1	—/1	1 / 1	— / 1	1
	単位あたりコスト		70.00		60.00		
	鳥毛廻し参加地区数		3/3	—/—	3 / 3	— / 3	3
	単位あたりコスト		23.30		20.00		

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地域組織により京都市伝統的行事として長年にわたり継続実施されているが、高齢化また人口減など取り巻く状況は厳しく、祭り継承者の確保が難しくなっている。伝統の継承及び地域活性化において市の支援が必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・市補助金に依存する運営とならないよう自主財源や他の助成による運営を促すため、団体との協議により補助金の減額を行ってきた。 ・令和元年度から補助率を事業費の1/2以内とした。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・成果の入込客数については、目標数値との乖離はあるが、目的である地域文化の継承においては、団体の活動により次代に引き継がれている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに向けて、「元伊勢八朔祭礼」の保全継承などに取り組む「元伊勢八朔祭礼練込保存会」に対し補助することにより登録無形民俗文化財の継承が行われている。 保存会を核に内宮・二俣・天田内の3地区において毎年練り込みが開催され、各地区での伝統的行事の継承と伝統の発信がされており、目的を達成している。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・地区人口の減による伝統継承者の不足が課題にあり、伝統的行事の保存継承者の確保が必要とされる。 ・江戸時代から続く伝統ある行事を守るため伝統的祭事に対して補助を行っているが、令和元年度に補助率の見直しを行い、補助を事業費の1/2以内とする。 ・伝統文化の発信、PRにおいてマスメディア、SNS等のツールの活用また海の京都DMO等組織との連携により効果的な広報に取組む。 ・保存会の意向を尊重するなか、地域外からの参加協力による伝統的行事の保存継承者の確保等について検討する。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	大雲記念館等管理事業												
事業担当	所属	地域振興部 大江支所					所属長	吉田和彦					
会計情報	事業コード	230207	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	88	頁
施策体系	施策コード	060302		施策名 観光施設・交流施設を充実させる									
計画期間	開始年度	平成17年度		終了予定年度	令和3年度		関連計画名						
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	指定管理者制度を導入し、民間の経営ノウハウを活用する中で施設の有効活用を図る。 鬼力亭は、地域食材を活用し産業振興に寄与するとともに、大雲塾舎は人材交流を目的とした宿泊施設を有する研修施設として地域の活性化に寄与する。また、京都市有形文化財に指定されている大雲記念館は歴史の継承と鬼力亭の別館として活用する。								
対象者	来訪者(観光客等)	対象者数	20,618		単位あたりコスト	0.6			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	大江観光(株)								
事業概要 (簡条書き)	大雲あしぎぬの里施設である大雲塾舎、鬼力亭及び大雲記念館の管理運営に係る指定管理料及び市が行うべき運営に係る経費。 指定管理期間 平成27年4月1日～令和4年3月31日								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	役員費	53	建物損害共済保険料						
	委託料	10,656	指定管理業務委託料						
	使用料及び賃借料	50	大雲記念館借地料						
	補償、補填及び賠償金	906	不可抗力により発生した費用等の補償金						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	11,679	10,959		10,861		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①～③)	11,679	10,959		10,861							
予算財源内訳	① 一般財源	11,644	70		70						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	0	0		0						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	35	10,889		10,791						
決算情報	① 流用額	1	906		0		0				
	② 配当予算	11,680	11,865		0		0				
	③ 執行額	11,680	11,665		0		0				
	④ 執行率	100.0%	98.3%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	0.17/0	0.16	/	0.00	0.16	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,360	1,280		1,280		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	13,040	12,945		1,280							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	過疎地域自立促進基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	10,656	決算付属資料	38	頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	施設利用者数	人	24,625/24,700	23,459/24,700	20,618 / 24,700	/	24,700	24,700
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	企画経営会議	回	12/12	12/12	12 / 12	/	12	12
	単位あたりコスト		974.10	973.30	972.12			
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 当該施設は、手長エビ等地域産品を利用した料理の提供など地域振興に寄与し、由良川を観光資源とする由良川流域の拠点施設として、また、地域の会議研修等に活用されている施設である。 当該施設の運営のための事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 大江観光株式会社が指定管理者となり、民間が持つ、経営力、企画力、接客サービス等のノウハウを活用することで、創意工夫により運営に係る経費を抑えつつ、利用者に寄り添ったサービスにより利用の向上を図り、施設の管理運営を行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者数は、災害等の影響もあり、目標数には達していないが、一定数の利用は確保している。 行政直営による経営と比較し、民間経営により迅速かつ柔軟な対応、接客サービスなどを行っていただいております、また、雇用創出を図る点からも有効に機能している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	指定管理による施設管理運営は、行政直営と比較し、民間の経営ノウハウを活用により、迅速かつ柔軟な対応、住民サービスの向上、雇用の創出等に有効であり、施設の効果的利活用、省力化等による経費節減が行われ、一定目標を達成していると考えられる。		
これまでの課題及び今後の方向性	指定管理者制度第三者評価委員会の調査報告を受け、指定管理から貸付での管理を検討するため、指定期間を令和4年3月31日まで2年延長した。この間に、貸付の検討を行うとともに、指定管理者の経営状況の安定と自主自立可能な収益力の高い施設の確立を目指す。		

VI 他部署評価

事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	大江山鬼瓦工房等管理事業												
事業担当	所属	地域振興部 大江支所					所属長	吉田和彦					
会計情報	事業コード	230210	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	88	頁
施策体系	施策コード	060302		施策名 観光施設・交流施設を充実させる									
計画期間	開始年度	平成17年度		終了予定年度	令和3年度		関連計画名						
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	指定管理者制度を導入し、民間の経営ノウハウを活用する中で施設の有効活用を図る。大江山地域の歴史的及び自然的資源を活用した農林業体験施設、観光関連施設として、都市住民に豊かな自然に親しむ機会を提供するとともに地域の活性化を図る。								
対象者	来訪者(観光客等)	対象者数	5,449		単位あたりコスト	2.1			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	大江観光(株)								
事業概要 (簡条書き)	大江山酒呑童子の里施設である大江山鬼瓦工房、童子荘、バンガロー及び管理棟、自然環境活用センター、バーベキューハウス、大江山グリーンロッジ周辺施設、野鳥の森管理棟、多目的グラウンド、テニスコート、キャンプ場、水車小屋、遊You広場の管理運営に係る指定管理料及び市が行うべき運営に係る経費。 指定管理期間 平成27年4月1日～令和4年3月31日								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	役員費	37	建物損害共済保険料						
	委託料	7,635	指定管理業務委託料						
	使用料及び賃借料	855	酒呑童子の里施設等借地料						
	補償、補填及び賠償金	1,619	不可抗力により発生した費用等の補償金						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	8,668	8,670	17,551	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	8,668	8,670	17,551						
予算財源内訳	① 一般財源	8,668	894	2,811					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	7,776	14,740					
決算情報	① 流充用額	0	1,619	0					
	② 配当予算	8,668	10,289	0					
	③ 執行額	8,667	10,146	0					
	④ 執行率	100.0%	98.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	0.17/0	0.18 / 0.00	0.18 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,360	1,440	1,440	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,027	11,586	1,440						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	過疎地域自立促進基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	7,634	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	施設利用人数	人	9,749/10,000	7,242/10,000	5,449 / 10,000	/ 10,000	10,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	企画経営会議	回	12/12	12/12	12 / 12	/ 12	12
	単位あたりコスト		722.30	722.30	845.51	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 当該施設は、学生等のスポーツ合宿を中心に都市住民の受け入れの拠点施設として活用し、また、国定公園丹後天橋立大江山のエリア内に位置し、大江山登山者のビジターセンターとしての機能を有するなど、大江の地域振興拠点となる施設運営のための事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 大江観光株式会社が指定管理者となり、民間が持つ、経営力、企画力、接客サービス等のノウハウを活用することで、創意工夫により運営に係る経費を抑えつつ、利用者に寄り添ったサービスにより利用の向上を図り、施設の管理運営を行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者数は、災害等の影響もあり、目標数には達していないが、一定数の利用は確保している。 行政直営による経営と比較し、民間経営により迅速かつ柔軟な対応、接客サービスなどを行っていただいております。また、雇用創出を図る点からも有効に機能している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	指定管理による施設管理運営は、行政直営と比較し、民間の経営ノウハウを活用により、迅速かつ柔軟な対応、住民サービスの向上、雇用の創出等に有効であり、施設の効果的利活用、省力化等による経費節減が行われ、一定目標を達成していると考えられる。		
これまでの課題及び今後の方向性	指定管理者制度第三者評価委員会の調査報告を受け、指定管理から貸付での管理を検討するため、指定期間を令和4年3月31日まで2年延長した。この間に、貸付の検討を行うとともに、指定管理者の経営状況の安定と自主自立可能な収益力の高い施設の確立を目指す。		

VI 他部署評価

事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性														
事業名	和紙伝承館管理事業													
事業担当	所属	地域振興部 大江支所					所属長	吉田和彦						
会計情報	事業コード	230211	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	88	頁	
施策体系	施策コード	060302	施策名	観光施設・交流施設を充実させる										
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名									
根拠法令等														
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()													
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合													
関連事業														

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	和紙伝承館は、かつての地場産業であった「丹後和紙」を後世へ伝承することを目的に設置された。本館では和紙の手漉き体験もでき丹後和紙について学習できる施設として観光・産業振興をテーマに地域活性化に寄与することを目的とする。												
対象者	来訪者(市民・観光客等)	対象者数	741	単位あたりコスト	4.1								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	丹後二俣紙保存会、田中製紙工業所、アムスセキュリティサービス㈱												
事業概要 (箇条書き)	和紙伝承館の管理運営を行う経費。 和紙伝承館の開館は、土日祝日の午前10時から午後4時。但し、12月28日～1月3日は休館。 和紙伝承館での企画展を丹後二俣紙保存会に委託する。年4回開催する。 和紙手漉き体験を田中製紙工業所に委託する。10名以上の団体において予約にて対応。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	賃金	664	臨時職員賃金										
	需用費	248	光熱水費、消耗品等										
	役務費	58	建物損害共済保険料、電話代等										
	委託料	1,022	手漉き和紙製作体験業務、和紙関連作品展示業務等										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,037	1,955	1,985	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	2,037	1,955	1,985						
予算財源内訳	① 一般財源	1,659	1,142	1,691					
	② 国支出金	0	513	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	378	300	294					
決算情報	① 流充用額	△ 31	98	0					
	② 配当予算	2,006	2,053	0					
	③ 執行額	1,660	1,991	0					
	④ 執行率	82.8%	97.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	0.03/0.25	0.04 / 0.30	0.04 / 0.30	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	865	1,070	1,070	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,525	3,061	1,070						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	総務費国庫補助金	実績金額	941	決算付属資料	18	頁
	特財名称	和紙伝承館使用料	種類	総務使用料	実績金額	124	決算付属資料	10	頁
	特財名称	和紙伝承館体験料	種類	雑入	実績金額	251	決算付属資料	46	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	施設利用者数	人	644/1,200	566/1,200	741 / 1,200	/ 1,200	1,200
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	開館日数	日	120/120	122/122	126 / 126	/ 116	
	単位あたりコスト		15.80	13.70	15.80	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・文化財の修復に使われる貴重な手漉き和紙の伝統文化を後世に継承するため必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・開館日を誘客の回りやすい土日祝と定め、効率的な運営により、コスト削減を行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 手漉き和紙という貴重な伝統文化を展示や体験を通して後世に継承するために有効な事業である。 また、児童が自ら手漉き和紙で卒業証書を作成するなど体験を通して郷土愛を育む取組の一環として当該施設が活用されている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	和紙伝承館は、地域の伝統産業であり貴重な文化である手漉き和紙の継承と観光の活性化を図るため、歴史と技の展示、製作体験、和紙を活用した作品の展示を行い、広く発信する施設として活用しており、市内児童による手漉き和紙による卒業証書の作成の取組など、継承に向けて一定目標を達成していると考えられる。		
これまでの課題及び今後の方向性	施設利用者数の向上が課題である。文化財の修復に使われる価値の高い手漉き和紙であることを強くPRすることをはじめ、海の京都DMOなど他組織との連携を進め、観光商品としての醸成を図り利用向上を図る。		

VI 他部署評価

事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	大江地域施設改修事業												
事業担当	所属	地域振興部 大江支所					所属長	吉田和彦					
会計情報	事業コード	230256	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	90	頁
施策体系	施策コード	060302	施策名	観光施設・交流施設を充実させる									
計画期間	開始年度	平成5年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	大雲記念館等からなる「あしぎぬ大雲の里」や大江山グリーンロッジ等からなる「酒呑童子の里」の各施設の老朽箇所、損傷箇所の適切な修繕を行うことにより、施設機能の維持・建物の長寿命化及び利用者の安全性・利便性を確保する。												
対象者	観光客及び市民	対象者数	40,080	単位あたりコスト	0.1								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	-												
事業概要 (簡条書き)	「酒呑童子の里」及び「あしぎぬ大雲の里」の施設の老朽箇所等の改修(修繕)を行う。 令和2年度予定 酒呑童子の里施設 1,000千円												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	需用費	732	施設修繕等										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,300	1,080	1,000	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
	小計(①~③)	1,300	1,080	1,000					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	1,300	1,080	1,000					
決算情報	① 流充用額	31	△ 262	0					
	② 配当予算	1,331	818	0					
	③ 執行額	1,331	732	0					
	④ 執行率	100.0%	89.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	0.23/0	0.19 / 0.00	0.19 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,840	1,520	1,520	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,171	2,252	1,520						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興施設維持補修基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	559	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	施設利用者数	人	48,885/44,700	35,896/44,700	40,080 / 44,700	/ 44,700	44,700
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	修繕及び改修等件数	回	6/3	7/5	4 / 2	/ 3	3
	単位あたりコスト		217.50	190.10	183.11		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	施設の適正な維持管理を行うことにより利用者の安全、利便性の確保ができる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	限られた予算のなか、修繕の優先順位を考慮し必要な修繕を行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	適正な施設維持管理により観光客等利用者の安心安全の確保を行い、毎年年間3万～4万の利用者を迎え入れている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	施設の老朽箇所等の施設利用者の安全性・利便性を確保するため、有効な事業であり、3万～4万の施設利用者が見受けられることから一定目標を達成していると考えられる。		
これまでの課題及び今後の方向性	経年劣化により老朽化が著しい施設もあるなかで、今後、統廃合を見据えた施設の精査を行い、施設機能の維持・建物の長寿命化を図る施設を絞り、計画的な改修を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	元伊勢観光センター管理事業												
事業担当	所属	地域振興部 大江支所					所属長	吉田和彦					
会計情報	事業コード	230259	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	90	頁
施策体系	施策コード	060302	施策名	観光施設・交流施設を充実させる									
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	丹後天橋立大江山国定公園の大江山や元伊勢三社の観光案内機能を持たせ、国定公園の玄関口・誘客拠点として維持運営を目指す。施設の有効利用を図るため当施設一部について使用者を公募し、民間による飲食の提供を行っている。												
対象者	来訪者(観光客等)	対象者数	1,903	単位あたりコスト	1.3								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	大江地域観光案内倶楽部 どぶろく研究会												
事業概要 (簡条書き)	元伊勢観光センターの施設維持(建物損害共済保険料、借地料、光熱水費、老朽箇所・損傷箇所修繕)のための経費。大江山、元伊勢3社等大江地域の観光案内所を開設。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	需用費	559	光熱水費等										
	役務費	109	建物損害共済保険料、電話代等										
	委託料	646	大江ふるさと観光案内業務、トイレ等施設清掃業務										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,384	1,158		1,106		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①~③)	1,384	1,158		1,106							
予算財源内訳	① 一般財源	901	897		842						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	0	0		0						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	483	261		264						
決算情報	① 流充用額	△ 1	159		0		0				
	② 配当予算	1,383	1,317		0		0				
	③ 執行額	1,343	1,313		0		0				
	④ 執行率	97.2%	99.7%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.06/0.25	0.06	/	0.30	0.06	/	0.30	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,105	1,230		1,230		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,448	2,543		1,230							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	元伊勢観光センター貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	125	決算付属資料	32	頁		
	特財名称	元伊勢観光センター自販機電気代	種類	雑入	実績金額	55	決算付属資料	44	頁		
	特財名称	元伊勢観光センター使用者負担金	種類	雑入	実績金額	47	決算付属資料	46	頁		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	施設利用者数	人	1,922/2,000	1,516/2,000	1,903 / 2,000	/	2,000	2,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	開設日	件	141/141	136/136	141 / 149	/	116	116
	単位あたりコスト		9.50	9.90	9.31			
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 当該施設は、観光客に対して迅速で細やかなサービスを提供するうえで、重要な拠点であり、パンフレットによる情報だけでなく、ガイドを介して丁寧な情報提供により観光客の満足向上を図り、観光振興を進めるために必要な事業であるとする。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 一部施設の貸付を行い、効率的な維持管理を行っている。 限られた経費において、効果を求めた運営を行うため、週末、祝祭日、夏休み期間等利用が見込まれる日時を主に開設日と開設時間を設定している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ガイドを通じた地域の観光資源のPR、観光客の満足度向上に有効な施設であり、観光振興を支えるため必要な事業であるとする。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	当該施設は、丹後天橋立大江山国定公園や元伊勢三社など多くの観光資源を有し、かつ大江において多くの観光客が訪れる地域の拠点施設として運営し、ガイドを介した丁寧な観光情報の提供により観光客の満足度向上に資するなど観光振興の一端を担っており、一定事業目的を達成していると考えられる。		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 限られた経費のなかで観光案内所として効果ある運営を行うため、観光客のニーズに応えつつ、土日祝日及び夏休みシーズンを主に開設日、開設時間を設定し、案内所を開設している。 市内で行われている観光案内や他市観光との広域での連携による、誘客増を図る。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	観光関連施設管理事業												
事業担当	所属	地域振興部 大江支所					所属長	吉田和彦					
会計情報	事業コード	230261	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	90	頁
施策体系	施策コード	060302		施策名 観光施設・交流施設を充実させる									
計画期間	開始年度	平成24年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名						
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	観光施設のトイレやハイキング道の適正な維持管理により、観光振興の推進、観光客の満足度向上、観光入込客数の増加を図る。				
対象者	来訪者(観光客等)	対象者数	29,180	単位あたりコスト	0.1
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				
委託先・実施主体等	(株)クリア 大江観光(株)				
事業概要 (簡条書き)	観光地の公衆トイレ、ハイキング道など観光施設等の適正な維持管理行う。 公衆トイレ(5か所)の維持管理委託及び光熱水費の経費。 観光関連施設(大江山グリーンロッジ、公衆トイレ5か所)の建物損害共済保険料。 観光関連施設の土地賃借料。				
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容		
	需用費	384	光熱水費		
	役務費	149	建物損害共済保険料、トイレ法定点検手数料		
	委託料	2,148	トイレ維持管理業務(5件)、トイレ清掃管理業務(1件)		
	使用料及び賃借料	15	電線架線のための土地賃借料		

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,668	2,754	2,652	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	2,668	2,754	2,652						
予算財源内訳	① 一般財源	2,388	2,333	2,224					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	280	421	428					
決算情報	① 流充用額	0	4	0					
	② 配当予算	2,668	2,758	0					
	③ 執行額	2,660	2,697	0					
	④ 執行率	99.7%	97.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	0.06/0.25	0.06 / 0.30	0.06 / 0.30	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,105	1,230	1,230	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,765	3,927	1,230						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	大江山グリーンロッジ貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	424	決算付属資料	32	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	大江山入込客数	人	31,690 / 30,000	26,780 / 30,000	29,180 / 30,000	/ 30,000	/ 30,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	管理施設数	件	7/7	7/7	6 / 6	/ 6	6
	単位あたりコスト		422.00	380.00	449.53		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・大江山や周辺を観光される方に安心して快適に過ごしていただくために観光トイレの維持管理に必要な経費である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・専門業者への委託業務により観光トイレの維持管理を行っており、業務内容を精査した上、適正な経費で実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・大江山周辺に年間3万人程の観光客が訪れており、自由使用できるトイレは、観光客が安心して快適に過ごしていただくため必要な施設である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	大江山や周辺を観光される方に安全で快適に過ごしていただくためのハイキング道や観光トイレの維持管理は必要である。大江山や周辺を観光される方に快適に過ごしていただく条件を整備することにより、観光客の満足度を高めることができる。大江山周辺に年間3万人近くの観光客が訪れ、来訪者の満足向上等一定目的を達成していると考えられる。		
これまでの課題及び今後の方向性	現状維持において施設管理を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	大江支所きめ細かな安心安全事業												
事業担当	所属	地域振興部 大江支所					所属長	吉田和彦					
会計情報	事業コード	510455	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	92	頁
施策体系	施策コード	030104		施策名 集落環境を保全・整備する									
計画期間	開始年度	平成23年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名						
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	大江地域での迅速で、きめ細かい対応による市民満足度の向上を図る。								
対象者	大江地域の住民		対象者数	4,000		単位あたりコスト	0.3		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	河守工業(株) 2件 吉村工業(株) 1件								
事業概要 (簡条書き)	・地域から要望のあった修繕を2件実施した。 ・通行者の安全確保するため、道路の危険箇所を修繕した。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	66	施設連絡道陥没修繕(河守工業)						
	"	83	青少年センターカープミラー修繕(河守工業)						
	"	347	新町1号線舗装修繕(吉村工業)						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	500	500	500	500	予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	500	500	500	500					
予算財源内訳	① 一般財源	500	500	500	500				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0	0	0	0
	② 配当予算	500	500	500	500	0	0	0	0
	③ 執行額	495	495	495	495	0	0	0	0
	④ 執行率	98.9%	99.0%	99.0%	99.0%				
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	0.15/0	0.11 / 0.00	0.11 / 0.00	0.11 / 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	② 概算人件費	1,200	880	880	880	0	0	0	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,695	1,375	1,375	1,375	880				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	※定性的評価	-	-	-	/	/			
					/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	実施箇所	箇所	4/2	5/2	3 / 2	/ 2	2		
	単位あたりコスト		121.00	99.00	165.00				
	単位あたりコスト			/	/	/			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	自治会要望の小規模修繕等の迅速な対応が可能であることから、市民満足度の向上を図るうえで必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	小規模修繕等に限られており、また支所長権限によるため、迅速かつきめ細かな対応が可能である。限られた予算のなか、緊急性、必要性などを見極め、事業を実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	小規模修繕等であるため、各自治会からの要望対応ができ、住民生活の安心安全が図れる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	住民の安心安全を確保するための小規模な修繕等が、速やかに対応することができた。「定性的評価」		
これまでの課題及び今後の方向性	小規模な修繕等であるため、複数の案件に対応ができることから継続的に取り組む。		

VI 他部署評価	
事後事業評価	事務事業評価後に記入
事中山業評価	事務事業評価後に記入

VII 評価をふまえた次年度事業方針	
方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和3年度予算編成時に記入

VIII 予算反映結果	
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	鬼の里Uターンプラザ1・2管理運営事業												
事業担当	所属	地域振興部 大江支所					所属長	吉田和彦					
会計情報	事業コード	530101	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	92	頁
施策体系	施策コード	060501	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する									
計画期間	開始年度	平成7年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	鬼の里Uターンプラザ条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	お試し住宅管理事業(大江地域)、定住促進住宅管理運営事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山市に移住定住を希望する人に、一定期間Uターンプラザで生活してもらい、その間に定住に必要なこと(住居・知識・人脈等)を身につけてもらうことにより、本市への移住定住者の増加を図る。												
対象者	福知山市への移住定住希望者	対象者数	40	単位あたりコスト	183.1								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	㈱丹新ビルサービス												
事業概要 (簡条書き)	鬼の里Uターンプラザ1(公庄地内)10室及び同プラザ2(波美地内)30室の維持管理を行う経費												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	報酬	18	Uターンプラザ運営委員報酬										
	需用費	1,054	外壁灯修繕、浴室、トイレ換気扇修繕 他										
	役務費	309	室内クリーニング、建物共済分担金、郵送料										
	委託料	22	消防設備点検業務委託料										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,662	1,638	1,509	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,662	1,638	1,509						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	1,662	1,638	1,509					
決算情報	① 流充用額	△ 152	△ 106	0					
	② 配当予算	1,510	1,532	0					
	③ 執行額	1,421	1,402	0					
	④ 執行率	94.1%	91.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	0.25/0.97	0.49 / 0.80	0.49 / 0.80	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,425	5,920	5,920	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,846	7,322	5,920						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	鬼の里Uターンプラザ使用料(現年度分)	種類	総務使用料	実績金額	1,402	決算付属資料	10	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	入居戸数	戸	14/40	17/40	19 / 40	/ 40	40
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	ハウスクリーニング実施戸数	戸	7/9	7/8	2 / 8	/ 8	8
	単位あたりコスト		307.29	203.00	701.14		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	移住定住者呼び込み、子育て世代の定住者を増加させることで、人口の増加につながり、しいては地域力の向上にも期待がもてるため、市民や社会のニーズに沿った事業である。公営住宅であるため、比較的使用料の額も抑えられており、民間事業者では困難である。福知山市においても年々過疎高齢化が進む中で、定住を促進し、地域活力の増進を目的とした当事業の優先度は高いと考える。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	住宅使用料を徴収して歳入を確保している。状態によってはハウスクリーニングを発注せず、こちらで清掃を実施するなどコスト削減に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	成果目標を満室としているが、経年劣化による外観の汚れ等もあり、入所希望者を増加させることが課題である。活動実績はハウスクリーニングの実施戸数としており、内装はクリーニングを実施し、美しい状態で提供している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	今後益々少子高齢化が進む中で、移住定住者の受け入れ施設を維持管理し、人口増加を図ることを目的とした当事業において、退所者の転居先として市外に流出する数よりも市内に止まる数のほうが多いことは、一定目的を達成していると考えられる。		
これまでの課題及び今後の方向性	経年劣化による外観の汚れ等があり、入所希望者が現地見学の段階で辞退をされることがしばしばあった。入所戸数を増加するためにはどうすればよいかこれがこれまでの課題であった。今後においては、効果的なPR手法を検証し、入所につながりやすい方面への情報提供を推進していく。		

VI 他部署評価	
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針		
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果			
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:)	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性														
事業名	定住促進住宅管理運営事業													
事業担当	所属	地域振興部 大江支所					所属長	吉田和彦						
会計情報	事業コード	530103	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	92	頁	
施策体系	施策コード	060501	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する										
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名									
根拠法令等	福知山市大江町定住促進住宅条例													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()													
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合													
関連事業	鬼の里Uターンプラザ1・2管理運営事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	若者の定住施設の確保により定住を促進し、地域活力の増進を図る												
対象者	福知山市への移住定住希望者					対象者数	30	単位あたりコスト	155.9				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	㈱丹新ビルサービス												
事業概要 (簡条書き)	鬼の里定住促進団地(二俣地内)30室の維持管理を行う経費												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	需用費	44	浴室換気扇取替、キッチン水栓修繕 他										
	役務費	301	室内クリーニング、建物共済分担金、郵送料										
	委託料	11	消防設備点検業務委託料										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	357	353	311	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	357	353	311						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	357	353	311					
決算情報	① 流充用額	△ 91	93	0					
	② 配当予算	266	446	0					
	③ 執行額	208	356	0					
	④ 執行率	78.1%	79.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.28/0	0.54 / 0.00	0.54 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,240	4,320	4,320	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,448	4,676	4,320						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	定住促進住宅使用料(現年度分)	種類	総務使用料	実績金額	356	決算付属資料	10	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	入居戸数	戸	14/30	17/30	18 / 30	/ 30	30
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	ハウスクリーニング実施戸数	戸	1/3	4/4	4 / 4	/ 4	4
	単位あたりコスト		718.00	52.00	89.01	/	
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	移住定住者呼び込み、子育て世代の定住者を増加させることで、人口の増加につながり、しいては地域力の向上にも期待がもてるため、市民や社会のニーズに沿った事業である。公営住宅であるため、比較的使用料の額も抑えられており、民間事業者では困難である。福知山市においても年々過疎高齢化が進む中で、定住を促進し、地域活力の増進を目的とした当事業の優先度は高いと考える。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	住宅使用料を徴収して歳入を確保している。状態によってはハウスクリーニングを発注せず、こちらで清掃を実施するなどコスト削減に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	成果目標を満室としているが、経年劣化による外観の汚れ等もあり、入所希望者を増加させることが課題である。活動実績はハウスクリーニングの実施戸数としており、内装はクリーニングを実施し、美しい状態で提供している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	今後益々少子高齢化が進む中で、移住定住者の受け入れ施設を維持管理し、人口増加を図ることを目的とした当事業において、退所者の転居先として市外に流出する数よりも市内に止まる数のほうが多いことは、一定目的を達成していると考えられる。		
これまでの課題及び今後の方向性	経年劣化による外観の汚れ等があり、入所希望者が現地見学の段階で辞退をされることがしばしばあった。入所戸数を増加するためにはどうすればよいかこれがこれまでの課題であった。今後においては、効果的なPR手法を検証し、入所につながりやすい方面への情報提供を推進していく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: _____) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: _____)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	丹波漆活用事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村 正芳					
会計情報	事業コード	230288	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	76	頁
施策体系	施策コード	020602	施策名	文化財の保護意識を高める									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	文化財保護法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	丹波漆の文化的特性、伝統を活かしながら継承するとともに発展させる。 またシティプロモーションの側面からも、本市の顔となる文化・産業の育成と振興およびブランド化を進める。								
対象者	市民	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	民間業者、NPO丹波漆、やくの木と漆の館								
事業概要 (箇条書き)	丹波漆の活用について伝統文化の継承とともに漆の生産・販売等、育成・振興、ブランド化を目指す。 ■まちづくりの資源として「丹波漆」の魅力を全国に発信し、文化の継承とともに生産・流通・販路等を拡大する取り組みを進める。 ■丹波漆生産拡大のため苗木の購入、漆植栽を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	446	伝統工芸関係展示会出展業務、東京ギフトショーにおける丹波漆PR業務ほか						
	需用費	457	獣害防止柵、漆苗木購入、事務用品						
	委託料	1,210	丹波漆PR企画等業務						
	使用料及び賃借料	88	伝統工芸関係展示会出展料ほか						
原材料費他	153	製品作成用木地、漆材料							

III 予算執行状況												
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	3,150	2,363		950		予算編成時記入					
	② 補正予算	0	0		0							
	③ 繰越予算	0	0		0							
	前年度繰越	0	0		0							
	次年度繰越	0	0		0							
小計(①～③)	3,150	2,363		950								
予算財源内訳	① 一般財源	0	200		600							
	② 国支出金	0	0		0							
	③ 府支出金	3,150	2,163		350							
	④ 地方債	0	0		0							
	⑤ その他特財	0	0		0							
決算情報	① 流用額	8	12		0		0					
	② 配当予算	3,158	2,375		0		0					
	③ 執行額	3,128	2,354		0		0					
	④ 執行率	99.0%	99.1%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.23/0	0.24	/	0.00	0.24	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	1,840	1,920		1,920		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,968	4,274		1,920								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	丹波漆活用事業(豊かな森を育てる府民税市町村交付金)		種類	総務費府補助金		実績金額	2,072		決算付属資料	24	頁
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標	
	漆生産量	g	1,486/5,300	1,400/5,300	1400	/	5300	/	5300	5300
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標	
	漆植栽	本	120/120	290/230	150	/	220	/	220	220
		単位あたりコスト	12.9	10.74	15.69					
		単位あたりコスト			/		/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	本市を代表する伝統文化である丹波漆の更なる振興のため必要な事業である。PRIによってニーズの引き出しや民間事業者との連携も可能となる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	漆振興のための植栽支援、商品開発、販路拡大に取り組むためには、引き続き担い手や流通関連のノウハウを持った専門家との連携が必要である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	漆の植栽は、獣害対策を実施しながら拡大傾向にある。商品開発は、丹波漆の生産量や担い手の現状を踏まえながら、継続していく必要がある。販路拡大については、商品の供給能力なども併せて進めている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ■丹波漆の生産を安定化し、担い手の経済的な安定性を確保するためには継続的な植栽計画が必要である。市の支援及び植栽地の確保等により漆木の増加、生産拡大に繋げている。 ■展示会に出展し、商品化に向けた課題や新たな取り組みについての調査を行った。また、ギャラリーでの展示会や販売店に商品を展示、販売を行う中で顧客の声を確認できた。 ■レンタル漆器を飲食店などで使ってもらう中で、漆製品の魅力などを体験してもらった機会をつくった。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■NPOが進める漆苗の植栽・圃場の管理を支援し、将来的に独立した維持・経営が成り立つよう連携を図る。 ■製品、商品作りに携わる職人を育成し、丹波漆のブランディングを構築するための商品化を進める。 ■伝統的な漆製品とともに新たな漆製品の開発・企画、販売等を進め、展示会等に出品しながらより魅力的な商品づくりを進めていく。 ■丹波漆への理解を深めるため、市民が直に見て、触れて、使って漆の魅力を感じ取っていただける機会を提供する。 		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	厚生会館文化芸術振興自主事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村 正芳					
会計情報	事業コード	650202	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	76	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	福知山市文化公演自主事業補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	市民の文化、厚生、産業等の向上及び振興のため、市内最大規模の舞台・客席を持つホールを活用して、舞台芸術を中心とした文化芸術の振興事業を行う。								
対象者	市民、施設利用者(市内外を対象。営利・非営利) 出演者(市内外を対象) 入場者(市内外を対象)		対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	文化公演自主事業実行委員会、ガラコンサート実行委員会								
事業概要 (簡条書き)	地域の文化振興を図るために厚生会館の特徴を活かした自主運営事業を実施し、厚生会館の空室、備品(スタインウェイピアノ)の有効活用を図る。 ■クラシックコンサートの開催 ■ガラコンサート(福知山近郊演奏家出演) ■スタインウェイ(厚生会館備品ピアノ)を弾いてみよう								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	500	文化公演自主事業補助金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	678	617	603		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	678	617	603						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	14					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	678	617	589					
決算情報	① 流充用額	△ 13	△ 88	0		0			
	② 配当予算	665	529	0		0			
	③ 執行額	665	500	0		0			
	④ 執行率	100.0%	94.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.1/0.12	0.12 / 0.12	0.12 / 0.12		0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	1,100	1,260	1,260		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,765	1,760	1,260						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市町村交付金	種類	雑入	実績金額	447	決算付属資料	48	頁
	特財名称	厚生会館文化芸術振興自主事業参加料	種類	雑入	実績金額	20	決算付属資料	46	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標	
	コンサート等来場者数	人	395/1,000	850/1,000	548	/	1000	/	1000	1000
	ガラコンサート出演者数	人	0/10	9/10	-	/	10	/	10	10
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標	
	文化振興事業実施件数	回	3/4	3/4	3	/	4	/	4	4
	単位あたりコスト		190	221.67	166.67					
	単位あたりコスト				/		/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	京阪神の都市圏に行かずに、“地元で優れた音楽を聞く”とのコンセプトにより、本市での音楽芸術の振興と機会を創出する。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	企画・立案は実行委員会を結成し、無報酬の市民協働により事業推進。コンサート等の入場料により効果ある事業推進を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	「スタインウェイを弾いてみよう」事業は、名器スタインウェイに触れていただく機会の創出するとともに、利用が少ない夏季期間の空き室の有効活用等を図っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	①スタインウェイを弾いてみよう：第14回を迎え、市民の間で定着している(参加49名) ②クラシックガラ・コンサート：令和元年度は実施なし ③文化公演自主事業：「金子三勇士ピアノコンサート」を実施した(来場者548人)		
これまでの課題及び今後の方向性	文化公演自主事業は、市民に良質な音楽に触れる機会を提供するという趣旨で始まった事業であり、毎年の恒例事業として定着している。20回を控え、今後の事業の継続について検討の時期にきている。		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	市展事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村 正芳					
会計情報	事業コード	650203	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	76	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	昭和38年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	多くの市民が芸術活動・創作活動に主体的に参画し、また、発表・鑑賞できる豊かな感性を持った地域社会を構築する。市民に創作活動の発表の場と文化芸術に親しむ機会を提供し、市民の自主的な文化・芸術活動が広範かつ積極的に行われる。								
対象者	市民、出品者(三たん地域のアマチュア芸術愛好者)入場者(市内・市外を対象)	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	日本通運株式会社関西美術品支店ほか								
事業概要 (簡条書き)	三たん地域を対象とした公募美術展の実施 ■さんたん地域で文化芸術活動されている方を対象に作品を一般公募、審査のうえ、入選以上の作品を厚生会館に展示する。 ■市展運営委員会(学識経験者)と事務局による事業 ■絵画、彫刻、工芸、写真、書の5部門。11月の文化の日を中心に展示開催。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報酬	150	運営委員報酬						
	報償費	1,407	審査委員謝礼、賞金、表彰盾						
	需用費	412	消耗品、印刷製本						
	役員費	235	郵送料、看板書き換え、賞状筆耕						
委託料他	1,810	審査補助・会場設営・撤収業務、会場使用料							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	3,408	3,430	3,502		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	3,408	3,430	3,502						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	3,408	3,430	3,502					
決算情報	① 流充用額	387	589	0		0			
	② 配当予算	3,795	4,019	0		0			
	③ 執行額	3,765	4,014	0		0			
	④ 執行率	99.2%	99.9%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.33/0.04	0.35 / 0.04	0.35 / 0.04	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,740	2,900	2,900		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,505	6,914	2,900						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市展事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	250	決算付属資料	36	頁
	特財名称	市町村交付金	種類	雑入	実績金額	2,345	決算付属資料	48	頁
	特財名称	市展作品出品料	種類	雑入	実績金額	635	決算付属資料	48	頁

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標	
	出品点数	点	548/500	552/500	474	/	500	/	500	500
	来場者数	人	2788/3000	2571/3000	2648	/	3000	/	3000	3000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標	
	市展開催	回	1/1	1/1	1	/	1	/	1	1
	単位あたりコスト		3,560	3,766	4,014					
	単位あたりコスト				/		/			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	本市を代表する文化事業として広く認知され、全市的かつ三たん地域(丹後・丹波・但馬)の公募美術展として定着をしている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	会場の設営・展示・撤収作業は専門業者に委託や、共催団体と協働で運営し、効率化を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市展が市民の芸術活動の発表の場と、入選・入賞が目標となっている。高校生や初心者も安価で出品することができ、次世代への投資・人材育成の場となっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	市展55回を数え、三たん地方を中心に活動される方の市民公募展として定着している。新たな作家区分として、委嘱作家賞受賞5回で無鑑査作家とすることとした。		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>出品者及び来場者の高齢化が課題となっている。</p> <p>三たん地域の過疎化・人口減少の中、一定の出品者数を維持できているのは、60歳以上の出品者の創作活動に支えられている。</p> <p>出品者数の増加に向けて、高校生世代にも出品を呼びかけるために学校へのPRを強化する。</p> <p>また、入場者数も減少傾向にあることから、広報についてSNS等での広報を強化する。</p>		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	佐藤太清賞公募美術展事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村 正芳					
会計情報	事業コード	650205	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	76・78	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	平成13年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	福知山市固有の資産である名誉市民佐藤太清画伯の顕彰と文化芸術に携わる人材を育成する。北近畿の中核都市に相応しい本市の文化的イメージの向上と全国的な情報を発信する。市民が誇りを持てる福知山市を確立する。								
対象者	市民、出品者(芸術を志す全国の高校生・大学生など16歳から27歳までの方)、入場者(市内外を対象)	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.2				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	ファイル21、日本通運株式会社関西美術品支店								
事業概要 (箇条書き)	■全国規模の絵画・日本画の公募美術展の開催 対象は高校生・大学生等の若手芸術家や将来芸術家を目指す若年層。 ■入選以上の作品の巡回展の実施 (巡回展会場:福知山・横浜・東京・名古屋・京都の5会場)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報償費	3,088	審査員謝礼、奨学金、受賞記念品						
	旅費	798	委員等旅費、巡回展準備撤収職員旅費						
	需用費	78	消耗品						
	役務費	206	郵送料、看板書き換え						
	委託料他	7,165	美術展運営業務、作品運搬・展示業務、巡回展会場使用料						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	12,411	12,176		12,140		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①~③)	12,411	12,176		12,140							
予算財源内訳	① 一般財源	5,316	2,938		156						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	0	0		0						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	7,095	9,238		11,984						
決算情報	① 流充用額	△ 11	△ 829		0						
	② 配当予算	12,400	11,347		0						
	③ 執行額	12,154	11,335		0						
	④ 執行率	98.0%	99.9%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.23/0.08	0.27	/	0.08	0.27	/	0.08	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	2,040	2,360		2,360		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	14,194	13,695		2,360							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	佐藤太清賞公募美術展事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	2,200	決算付属資料	36	頁		
	特財名称	市町村交付金	種類	雑入	実績金額	7,034	決算付属資料	48	頁		
	特財名称	佐藤太清賞公募美術展出品料	種類	雑入	実績金額	407	決算付属資料	46	頁		

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標	
	出品者数	人	181/250	144/250	154	/	250	/	250	250
	入場者数	人	1,859/2,000	2,067/2,000	1500	/	2000	/	2000	2000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標	
	美術展の開催	回	1/1	1/1	1	/	1	/	1	1
	単位あたりコスト		12,302	12,155	11,335					
	単位あたりコスト				/		/			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	日本各地から応募があり、若手の登竜門として定着した。受賞者の中には日展作家、画業を生業とされる方も輩出しており、福知山市のPRにつながっている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	文化事業として本市独自の資産を活用して全国的に情報発信ができる重要な事業である。地元高校生の出品等もあり次世代育成となっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	事務局機能を業務委託することにより、複雑かつ専門的な業務の効率化を進めている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>全国5会場の巡回展を計画したが、新型コロナウイルスの影響により京都会場での巡回展を中止することとなった。他の会場においても入場者数が伸び悩んだ。 福知山市の芸術文化を全国に発信することができた。 市内出品者から佐藤太清賞や特選の受賞者があった(絵画)。引き続き市内での普及を図っていく。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>出品者の増を図るため、大学・専門学校等への案内の徹底を図るとともに、市内出品者が増えるよう各高校への周知を図っていく。 入場者数の増加に向けて、各会場でのPR方法の検討を行い、専門誌等への有効な広報活動等を行う必要がある。</p>		

VI 他部署評価	
事中学業評価	事務事業評価後に記入
事後事業評価	事務事業評価後に記入

VII 評価をふまえた次年度事業方針	
方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和3年度予算編成時に記入

VIII 予算反映結果	
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	中丹文化芸術祭事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村 正芳					
会計情報	事業コード	650208	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	78	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	昭和61年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	市民が芸術活動・創作活動を主体的に参画して作り上げ、また発表・鑑賞することによって、豊かな感性を持った心豊かな地域社会を構築する。また、優れた芸術鑑賞の機会を提供するとともに、中丹・丹後地域の文化団体の文化交流によって、新たな文化創造を行う。								
対象者	市民、文化活動団体、事業参加者(市内、市外を対象)			対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 () 負担金交付								
委託先・実施主体等	中丹文化芸術祭実行委員会								
事業概要 (簡条書き)	■中丹3市と中丹文化事業団の共催で、市民及び文化団体の舞台芸術や創作活動等の総合的な発表会を提供する。運営については、各市文化団体を含めた実行委員会を組織して実施している。 開催場所は、3市で分担し、3市が持ち回りで事務局を担当し、令和元年度は福知山市が事務局を担当した。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容				
	委託料	49			駐車場警備業務				
	使用料及び賃借料	220			施設使用料				
	負担金補助及び交付金	400			中丹文化芸術祭負担金				

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	600	703		620				予算編成時記入
	② 補正予算	0	0		0				
	③ 繰越予算	0	0		0				
	前年度繰越	0	0		0				
	次年度繰越	0	0		0				
小計(①～③)	600	703		620					
予算財源内訳	① 一般財源	600	703		620				
	② 国支出金	0	0		0				
	③ 府支出金	0	0		0				
	④ 地方債	0	0		0				
	⑤ その他特財	0	0		0				
決算情報	① 流充用額	50	△ 35		0		0		
	② 配当予算	650	668		0		0		
	③ 執行額	650	668		0		0		
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.08/0.04	0.13 / 0.04		0.13 / 0.04		0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	740	1,140		1,140		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,390	1,808		1,140				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	出演者数	人	1,597/2,300	1,371/2,300	1300	/	2300	/	2300
	来場者数	人	2,591/3,000	2,518/3,000	2500	/	3000	/	3000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	開催種目数	事業	6/9	6/9	6	/	9	/	9
		単位あたりコスト		80.2	108.3	111.36			
					/		/		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	文化団体相互の他市活動者との交流によって、新たな文化創造を行う。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	中丹文化事業団、中丹3市文化担当職員及び各市文化協会委員による実行委員会により運営されており、会場使用料等及び負担金で効率的に事業実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	出演種目にあわせ、次世代育成も視野に入れた事業が展開されており、他団体との共催などによりレベルアップの動機づけや活動の振興の機会として有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	中丹3市の文化団体の共通の発表の場であり、各市団体の交流の場、レベルアップにつながっている。		
これまでの課題及び今後の方向性	京都府と中丹3市の協調で実施している事業でもあり、互いに課題や情報の共有を行いながら実施していく必要がある。		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	市民文化活動推進事業他文化振興関連事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村 正芳					
会計情報	事業コード	650209	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	78	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	福知山市文化協会運営補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	多くの市民が文化芸術活動・創作活動に自主的・主体的に参画でき、また発表・鑑賞できる豊かな感性を持った地域社会を構築することを目的とする。								
対象者	市民、文化活動(文化協会)事業参加者(市内外を対象)	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	シルバー人材センター								
事業概要 (簡条書き)	■公益社団法人福知山市文化協会への運営補助 ■公益社団法人福知山市文化協会との共催事業 ■ジュニア世代の全国大会等への派遣費補助 ■文化団体への後援等(賞状筆耕、副賞の購入) ■文化・スポーツ振興課における事務処理全般 ■その他(まちなかトイレ清掃業務)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	賃金	1,665	臨時職員賃金						
	報償費	50	懇話会委員謝礼						
	需用費	649	消耗品、文化振興基本方針印刷						
	役務費	149	電話代、郵送料						
	負担金補助及び交付金他	3,949	文化協会補助金、共催事業負担金、まちなかトイレ清掃業務						

III 予算執行状況														
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)										
予算情報	① 当初予算	3,840	5,242	5,293	予算編成時記入									
	② 補正予算	0	0	0										
	③ 繰越予算	0	0	0										
	前年度繰越	0	0	0										
	次年度繰越	0	0	0										
小計(①~③)	3,840	5,242	5,293											
予算財源内訳	① 一般財源	3,358	3,226	4,909										
	② 国支出金	0	0	0										
	③ 府支出金	0	0	0										
	④ 地方債	0	0	0										
	⑤ その他特財	482	2,016	384										
決算情報	① 流充用額	2,070	2,186	0	0									
	② 配当予算	5,910	7,428	0	0									
	③ 執行額	5,861	6,462	0	0									
	④ 執行率	99.2%	87.0%											
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.28/0	0.28 / 0.00	0.28 / 0.00	0.00 / 0.00									
	② 概算人件費	2,240	2,240	2,240	0									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,101	8,702	2,240											
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市民文化活動推進事業他文化振興関連事業(きょうと地域連携交付金)	種類	総務費府補助金	実績金額	1,519	決算付属資料	24	頁					
	特財名称	福知山市史等図書	種類	物品売払収入	実績金額	1,054	決算付属資料	34	頁					
	特財名称	夜久野町史	種類	物品売払収入	実績金額	52	決算付属資料	34	頁					

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	共催事業参加者数	人	10,000/12,000	10,000/12,000	7000 / 12000	/	12000	12000		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	文化協会との共催事業数	件	7/10	7/10	6 / 10	/	10	10		
	単位あたりコスト		638	837.28	1077.02					
	文化協会加盟団体数	団体	43/43	42/43	42 / 43					
	単位あたりコスト		103.86	139.54	153.86					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	本市の文化推進団体である文化協会の事業を補助することで市民文化の基本的な枠組みを維持し文化振興を図ることができる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	市民主体の自主的な活動を支援することで、行政事業を補完し、官民一体となった推進体制を構築することができる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	文化協会が主体となる福知山市文化祭事業や各種講演、発表会を福知山市共催事業として実施できている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	福知山市文化協会への運営補助金により、市民の多様なニーズに対応した文化事業を、市民の自主的・主体的な参画により実施できた。年度末の新型コロナウイルスの影響で、共催事業を中止するなど集客に大きな影響があった。		
これまでの課題及び今後の方向性	補助金等による支援を通じて本市の文化振興を図る。文化振興基本方針をふまえ、文化協会と連携して新たな文化振興事業の取り組みの検討を進める。文化関連のジュニアの全国大会出場の派遣費補助について、活用しやすい形に見直す。		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	福知山市ジュニア文化賞表彰事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村 正芳					
会計情報	事業コード	650216	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	78	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	福知山市ジュニア文化賞表彰要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報										
事業目的 (あるべき姿)	高校生以下のジュニアを対象に全国大会で優秀な成績を収めたものを表彰する。									
対象者	市内に在住・在学する小学生・中学生及び高校生			対象者数	1,000	単位あたりコスト	0.6			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等										
事業概要 (簡条書き)	■ジュニア文化賞は文化賞が若者の文化活動の発展・継承または動機づけとなるような存在にするため成績優秀者を表彰する。 【表彰基準】(1)文部科学省及び文化庁等、国の省庁が主催又は共催する全国大会 (2)国が管轄する公益法人が主催する全国大会 (3)その他市長が全国的な水準として適当と認めたもの ※上記大会において、入賞(8位相当)以上の成績を収めたもの 【表彰内容】表彰状及び記念品									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容					
	報酬	5			選考委員報酬					
	報償費	35			表彰盾					
	需用費	12			表彰状					
	役務費	18			表彰状筆耕					

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	52	54	54		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	52	54	54						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	52	54	54					
決算情報	① 流充用額	17	20	0		0			
	② 配当予算	69	74	0		0			
	③ 執行額	63	69	0		0			
	④ 執行率	91.0%	93.3%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.07/0	0.07 / 0.00	0.07 / 0.00		0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	560	560	560		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	623	629	560						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山市ジュニア文化賞表彰事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	51	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標	
	文化賞表彰件数	人	5/5	4/5	5	/	5	/	5	5
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標	
	文化賞委員会	回	1/1	1/1	1	/	1	/	1	1
	単位あたりコスト		78	63	69.3					
	単位あたりコスト				/		/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	若年層の活動を激励し、文化活動参加への後押しを行う点で、次世代育成の事業として必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	候補者について、市内の各学校からの推薦を受け、選考委員会により決定しており、効率的な選考を行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	本市から表彰されることによって本市の代表として意識の向上、郷土愛の醸成と若年層の文化の底上げを図ることができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	本表彰を通じた若年層の文化活動への動機付けや次世代育成につながっている。		
これまでの課題及び今後の方向性	積極的な広報に努め、本市の文化の担い手である若年層の意識啓発を進める。		

VI 他部署評価

事中学業評価	事務事業評価後に記入
事後事業評価	事務事業評価後に記入

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和3年度予算編成時に記入

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	佐藤太清記念美術館企画・展示品等充実事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村 正芳					
会計情報	事業コード	650302	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	78	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	平成2年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	福知山市佐藤太清記念美術館条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	福知山市佐藤太清記念美術館管理運営事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	本市の名誉市民である日本画家佐藤太清を顕彰するとともに、佐藤太清画伯の作品を中心とした美術品及び美術に関する資料等の収集保管及び活用により、市民に優れた芸術作品を鑑賞する機会の提供と、本市の文化的な情報発信を行い、市民文化の発展に寄与することを目的とする。								
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)施設利用者(市内外を対象)	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	株式会社アートサービス ほか								
事業概要 (簡条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ■ちいさな絵画展の開催 ■企画展、特別展の開催 ■美術館コンサートの開催 ■収蔵作品及び佐藤太清賞受賞作品の修理・額装 								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報償費	768	講師謝礼、審査員謝礼						
	需用費	474	消耗品、印刷製本						
	役務費	200	郵送料、看板書き換え						
	使用料及び賃借料	26	美術館コンサート機器借上げ料						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	850	2,009		822		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①~③)	850	2,009		822							
予算財源内訳	① 一般財源	250	934		0						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	0	0		0						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	600	1,075		822						
決算情報	① 流充用額	0	△ 540		0						
	② 配当予算	850	1,469		0						
	③ 執行額	756	1,469		0						
	④ 執行率	89.0%	100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.09/0.47	0.09	/	0.47	0.09	/	0.47	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,895	1,895		1,895		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,651	3,364		1,895							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	美術館コンサート入場料	種類	雑入	実績金額	70	決算付属資料	48	頁		
	特財名称	市町村交付金	種類	雑入	実績金額	605	決算付属資料	48	頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	入館者数	人	9,063/8,000	8,964/9,000	20000 / 10000	/ 10000	10000		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	開館日数	日	286/295	281/295	280 / 307	/ 307	307		
		単位あたりコスト	2.65	2.69	5.25	/			
		単位あたりコスト			/	/			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	美術館の使命である芸術作品の収集・保管、活用を図るため収蔵品の適切な管理を行う。美術館環境を活用したワークショップやコンサート等の普及事業が求められおり、市民にも定着している。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	収蔵資料の額装等、専門性を要するものは業務委託し効率的に管理を行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	福知山市の文化資産を管理・活用することで文化的イメージの向上を図ることができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	「わかり易く、誰もが楽しめる楽しい展覧会」を目指し各種企画を開催した。魅力ある展示内容、ワークショップ等の市民参加型の体験会を実施し、入場者増を図っている。		
これまでの課題及び今後の方向性	見たい展覧会、参加したいワークショップ等、市民ニーズに合致した企画運営を図り施設を有効に活用する。図書館、学校等関連事業とも連携し入館者数増につながる特別展・展示内容が必要であり、展示計画を策定して進めていく。収蔵資料の適切な保存・管理を進めるとともに、文化資源を活用した普及啓発事業を進めていく。令和2年1月から2階展示室で「福知山光秀ミュージアム」を開催しており、既存の展示会やワークショップ事業については丹波生活衣館等とも連携し進めていく。		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	福知山城天守閣管理運営事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村 正芳					
会計情報	事業コード	650303	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	78・80	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	昭和61年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	福知山城天守閣条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	福知山城観光誘客強化事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	本市の歴史資料、民俗資料、考古資料等の保存・収集及び歴史と文化的な特徴を展示し、市民や本市来訪者へ普及啓発を図り、生涯学習活動の推進と市民文化の発展に寄与する。 福知山城の歴史や特色を紹介し、福知山に対する愛着と理解を深める。 本市の歴史的シンボル、市民の心の拠り所である「福知山城」天守閣建物の適正な管理・運営を行う。								
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者(市内外を対象)	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティサービス株式会社 ほか								
事業概要 (簡条書き)	■施設・設備の維持・管理。特別展・企画展の企画・開催 ■受付・案内業務 ■歴史資料・郷土資料ノ収集と保存・保管、研究 ■企画展・体験会等普及活動の実施 ■福知山城関連の観光イベント、メディア等の取材協力								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	賃金	2,795	臨時職員賃金						
	需用費	2,164	光熱水費、消耗品、修繕料						
	役務費	531	電話代、除草作業、看板書き換え						
	委託料	3,318	機械設備維持管理業務、機械警備業務、清掃業務、受付業務						
使用料及び賃借料他	1,245	コピー機使用料、AED借上げ料、基金積立金							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	5,610	6,794	11,992	予算編成時記入				
	② 補正予算	2,690	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	8,300	6,794	11,992						
予算財源内訳	① 一般財源	2,150	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	6,150	6,794	11,992					
決算情報	① 流用額	1,093	3,481	0					
	② 配当予算	9,393	10,275	0					
	③ 執行額	9,114	10,054	0					
	④ 執行率	97.0%	97.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.21/2.88	0.25 / 2.88	0.25 / 2.88	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	8,880	9,200	9,200	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	17,994	19,254	9,200						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山城天守閣入館料等	種類	総務使用料	実績金額	8,997	決算付属資料	10	頁
	特財名称	福知山城指定寄附金	種類	総務費指定寄付金	実績金額	249	決算付属資料	36	頁
	特財名称	福知山城御城印	種類	物品売払収入	実績金額	803	決算付属資料	36	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	入館者数	人	37,043/36,000	40,072/38,000	101,238 / 50000	/ 50000	50000		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	開館日数	日	308/308	287/310	280 / 334	/ 365	365		
	単位あたりコスト		23.56	31.75	35.91	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	本市のランドマーク、シンボルとして広く親しまれ、本市の歴史を紹介する数少ない施設である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	施設管理に伴う業務について、入札により長期継続契約を締結しており、効率的な運営ができています。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	来館者に適切な施設環境を整えらるとともに安心・安全な施設運営を進めている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	市内外から多くの来館者を迎え、本市の歴史や文化、福知山城の歴史や特色を紹介し普及啓発を図ることができた。また、本市の歴史的シンボル、市民の心の拠り所である「福知山城」の適正な管理・運営を行った。		
これまでの課題及び今後の方向性	平成28年度に天守閣再建30年を迎え施設の老朽化が課題となっている。2020年大河ドラマ放送も見込み、福知山城観光誘客強化事業により修繕・改修等を進めているが、今後10年20年先を見据え、運営等の面も含めた対策を計画的に進めていく必要がある。		

VI 他部署評価	
事中学業評価	事務事業評価後に記入
事後事業評価	事務事業評価後に記入

VII 評価をふまえた次年度事業方針		
	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和3年度予算編成時に記入

VIII 予算反映結果			
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:)	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	佐藤太清記念美術館管理運営事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村 正芳					
会計情報	事業コード	650306	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	80	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	平成2年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	佐藤太清記念美術館条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	本市の名誉市民である日本画家佐藤太清を顕彰するとともに、佐藤太清画伯の作品を中心とした美術品及び美術に関する資料等の収集保管及び活用により、市民に優れた芸術作品を鑑賞する機会の提供と、本市の文化的な情報発信を行い、市民文化の発展に寄与することを目的とする。								
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)施設利用者(市内外を対象)	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	三菱ビルテクノサービス株式会社 他								
事業概要 (簡条書き)	■福知山市佐藤太清記念美術館の管理運営。 ■佐藤太清画伯の作品を中心とした日本画の収集保管・展示。 ■佐藤太清画伯に関わる資料の収集・保管。 ■美術館専用のホームページを運営し、広く全国へ情報発信。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	172	美術館顧問旅費						
	需用費	6,272	光熱水費、消耗品、施設修繕料						
	役務費	229	電話代、郵送料、看板書き換え						
	委託料	2,553	機械設備維持管理業務、機械警備業務、施設清掃業務、受付業務						
使用料及び賃借料	193	コピー機使用料、AED借上げ料							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	8,447	7,444	6,911	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	8,447	7,444	6,911						
予算財源内訳	① 一般財源	5,728	1,633	5,485					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	2,719	5,811	1,426					
決算情報	① 流充用額	△ 876	2,014	0					
	② 配当予算	7,571	9,458	0					
	③ 執行額	7,412	9,419	0					
	④ 執行率	97.9%	99.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.13/1.71	0.15 / 1.71	0.15 / 1.71	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	5,315	5,475	5,475	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	12,727	14,894	5,475						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	佐藤太清記念美術館入館料	種類	総務使用料	実績金額	1,955	決算付属資料	10	頁
	特財名称	自動販売機設置貸付収入(美術館売店)	種類	財産貸付収入	実績金額	210	決算付属資料	34	頁
	特財名称	美術絵はがき等	種類	物品売払収入	実績金額	349	決算付属資料	34	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	入館者数	人	9,063/8,000	8,964/9,000	20000 / 10000	/ 11000	11000		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	開館日数	日	286/295	281/295	280 / 307	/ 307	307		
	単位あたりコスト		26.13	26.38	33.64	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	京都府北部唯一の美術館として、福知山市の文化水準を全国に発信するための存在意義は大きい。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	施設の運営において、美術品等に関わる専門性が求められる業務もあり、学芸員等有資格者の嘱託職員を配置し、効率的におこなっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	美術館は全国的に情報発信できる福知山市固有の文化的資産を有しており、福知山市の対外的な文化的イメージの向上をはかる数少ない事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>展示や資料整理、施設管理等適切に運営することができた。また、わかり易く、楽しい展覧会を目指し各種企画・特別展を開催した。魅力ある展示内容、ワークショップやギャラリートーク等の市民参加型の体験会を実施し、市民に文化芸術に触れていただく機会を創出している。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>施設設置後30年近くを経て、設備等の老朽化が進んでおり、運営も含めて計画的に検討する必要がある。大河ドラマ放送にあわせ特別展として「福知山光秀ミュージアム」を令和3年1月まで開催しており、多数の来館者に快適な観覧環境を提供していく。</p>		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	丹波生活衣館管理運営事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村 正芳					
会計情報	事業コード	650309	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	80	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	丹波生活衣館条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	丹波生活衣の歴史と特色を紹介し、本市の文化発信の拠点とする。地域文化の伝承活用を通じて、新たな地域文化の創造と情報発信を行い、市民が地域の文化・歴史について理解を深め、愛着と誇りを持つ。								
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者(市内内外を対象)	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	株式会社昭利リース ほか								
事業概要 (箇条書き)	丹波生活衣を中心とする文化資料の収集及び保存、展示会の開催による文化資料の展示及び供覧、調査及び研究、ギャラリーや研修室の活用をほかり、展示発表その他の文化活動の利用に供する。市民と協働し、自主事業や寄贈資料の整理作業を実施。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	賃金	2,530	臨時職員賃金						
	報償費	32	染色教室講師謝礼						
	需用費	1,084	光熱水費、消耗品、						
	役員費	116	電話代、除草作業						
委託料他	2,794	機械設備保守管理業務、警備業務、施設清掃業務、用地賃借料、AED借上げ料							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	4,780	4,403	4,959	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	4,780	4,403	4,959						
予算財源内訳	① 一般財源	4,360	3,875	4,361					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	420	528	598					
決算情報	① 流充用額	994	2,182	0					
	② 配当予算	5,774	6,585	0					
	③ 執行額	5,765	6,555	0					
	④ 執行率	99.8%	99.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.11/2.11	0.12 / 2.01	0.12 / 2.01	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	6,155	5,985	5,985	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	11,920	12,540	5,985						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	丹波生活衣館使用料	種類	総務使用料	実績金額	202	決算付属資料	10	頁
	特財名称	丹波生活衣館講座材料費	種類	雑入	実績金額	143	決算付属資料	48	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	入館者数	人	6,480/10,000	8,751/10,000	8000 / 10000	/ 10000	10000		
	施設貸し室件数	件	49/130	87/130	80 / 100	/ 100	100		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	展示会・講座・教室の回数	件	28/25	32/25	30 / 25	/ 25	25		
	単位あたりコスト		190.82	180.15	218.51	/			
単位あたりコスト				/	/				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	庶民の服飾資料として全国的に例のないもので、貴重な文化遺産として保存と活用を進める。本市の文化的、歴史的な特徴と魅力を発信することができる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	市民参加を促す市民ギャラリーを活用し観覧者増加を図っている。体験学習会との材料は受益者負担として事業経費の支出を節減している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	丹波生活衣同好会と市民協働で資料の調査・整理、活用を行っている。服飾のみならず工芸等、伝統技術を基にした多くの体験学習会を実施しており大変好評である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	各種企画展示、ギャラリー貸出しを行い情報発信している。伝統素材や技術を基本とした各種体験学習会等を積極的に開催しており、概ね募集案内直後には定員を満たしている。丹波生活衣同好会のみなさんに、ボランティアで運営の支援をいただいている。		
これまでの課題及び今後の方向性	丹波生活衣館並びに事業の広報につとめ、入館者にギャラリー等貸し館の利用案内を徹底し、利用率向上を図る。さらに福知山城・美術館・ゆらのガーデン等周辺施設からの周遊促進を図る。令和2年1月から佐藤太清記念美術館の2階展示室で「福知山光秀ミュージアム」を開催しており、既存の展示会やワークショップ事業については丹波生活衣館等とも連携し進めていく。		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	治水記念館管理運営事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村 正芳					
会計情報	事業コード	650311	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	80	頁
施策体系	施策コード	020701		施策名	文化活動を振興する								
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	福知山市治水記念館条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	治水記念館改修事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	由良川の水害、治水等に関する歴史的資料及び町屋を保存、活用するとともに、地域文化向上に寄与する。市民や来館者へ水害や治水の歴史や防災情報を紹介し、治水防災に対する理解を深める。								
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者(市内外を対象)	対象者数	1,000,000		単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	柳菱クラブ(施設管理の一部は直営)								
事業概要 (簡条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ■施設の管理 ■受付案内業務 ■企画展・関連イベントの企画開催・運営 ■明治初期に建てられた福知山の典型的な町家建物であり、歴史的建造物として保存活用する。 ■防災センターと連携して、水害や治水の歴史・防災情報を紹介することにより市民の防災意識の向上を図る。 ■より多くの来場者を得て市民全体の防災意識向上を図るため、入館料を無料としている。 								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	67	消耗品、印刷製本						
	役員費	50	保険料						
	委託料	3,539	指定管理料						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,995	3,896		3,826		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①~③)	3,995	3,896		3,826							
予算財源内訳	① 一般財源	3,995	3,896		3,826						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	0	0		0						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	0	0		0						
決算情報	① 流充用額	0	△ 239		0		0				
	② 配当予算	3,995	3,657		0		0				
	③ 執行額	3,964	3,656		0		0				
	④ 執行率	99.2%	100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.12/0	0.19	/	0.00	0.19	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	960	1,520		1,520		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,924	5,176		1,520							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	延べ語り部活動従事者数	人	-	700/1,000	600 / 1000	/	1000		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	開館日数	日	305	305	290 / 305	/	305		
	単位あたりコスト		12.66	13	12.61				
	入館者数	人	3,202/3,200	2,159/3,300	2570 / 3300	/	3300		
単位あたりコスト		1.2	1.8	1.42					

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	由良川の洪水、治水に関する歴史的資料及び町家を保存活用し、後世に伝えていくことは責務である。地域コミュニティの創造・活性化を図るなど妥当性も高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	指定管理者制度を導入し、効率的な運営を図っている。地元組織が運営に当たることによって、地域と施設が連携して効率的に運営されている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	歴史的建造物である町家建物の保存活用を行い、洪水や治水の歴史や防災情報を紹介し、治水防災に対する理解を深めるための有効活用ができています。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	記念館の目的の治水と洪水に対する洪水体験を身近に感じていただくとともに、明治初年建築の町家の構造や見学を知ることができる施設として地元小学生が授業で来訪している。また、指定管理者による多様なテーマの自主事業実施により、館の魅力を発信するとともに、中心市街地の回遊のコースとして位置づけている。		
これまでの課題及び今後の方向性	指定管理者は治水記念館の地元有志で組織され、「昭和28年洪水」の貴重な体験談が聞ける施設として地域づくり防災の観点からも有用であるが、語り部が高齢化しており、次世代への継承が課題である。施設の運営については、令和2年度より直営で管理運営を行う。		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	芦田均記念館管理運営事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村 正芳					
会計情報	事業コード	650316	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	80	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	芦田均記念館条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	芦田均元首相に関する資料を保存及び活用するとともに、地域文化の向上に寄与する。福知山市名誉市民である芦田均元総理大臣の事跡を紹介し、顕彰する。								
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	芦田均元首相顕彰会								
事業概要 (簡条書き)	■施設・設備の維持管理 ■受付案内、施設使用許可申請業務 ■芦田均関係資料の収集・整理・保管・展示 ■企画展・関連イベントの企画・開催・展示 ■資料展示により、福知山市出身である芦田均元首相を顕彰するため、入館料を無料としている。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	1	消耗品						
	役員費	30	損害保険料						
	委託料	3,833	指定管理料						

III 予算執行状況														
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)										
予算情報	① 当初予算	3,907	3,907	3,918	予算編成時記入									
	② 補正予算	0	0	0										
	③ 繰越予算	0	0	0										
	前年度繰越	0	0	0										
	次年度繰越	0	0	0										
小計(①~③)	3,907	3,907	3,918											
予算財源内訳	① 一般財源	3,807	3,806	3,863										
	② 国支出金	0	0	0										
	③ 府支出金	0	0	0										
	④ 地方債	0	0	0										
	⑤ その他特財	100	101	55										
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0									
	② 配当予算	3,907	3,907	0	0									
	③ 執行額	3,851	3,864	0	0									
	④ 執行率	98.6%	98.9%											
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.11/0	0.11 / 0.00	0.11 / 0.00	0.00 / 0.00									
	② 概算人件費	880	880	880	0									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,731	4,744	880											
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	芦田均記念館使用料	種類	総務使用料	実績金額	12	決算付属資料	10	頁					
	特財名称	電柱占用料(芦田均記念館)	種類	総務使用料	実績金額	2	決算付属資料	10	頁					
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁					

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	入館者数	人	3,020/3,100	2,730/3,200	2729 / 3200	/	3500	3500		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	開館日数	日	307	305/310	300 / 310	/	310	310		
	単位あたりコスト		12.32	12.62	12.88					
	イベント開催回数	回	5	6	7 / 5	/	5	5		
単位あたりコスト		756.2	642	551.97						

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市内唯一の総理大臣経験者である芦田均元首相の高い業績を顕彰することは、郷土愛やシビックプライドの醸成、人材育成の観点からも妥当性の高いものである。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	効率的な運営を図るため、指定管理者制度を導入している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	芦田均元首相に関する資料等を保存・活用するとともに、地域コミュニティの創造・活性化に寄与している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	指定管理者によって実施している著名な有識者を招いての講演会が記念館事業のメイン事業となっており、他にも多様なテーマの自主事業を実施している。 帰郷者が多く訪れる正月三が日にも自主的に臨時開館するなど、指定管理者の積極的な運営がみられる。		
これまでの課題及び今後の方向性	郷土出身の芦田均元首相を顕彰する施設であり、芦田均に関する資料の収集や紹介、発信方法等を検討していく。 施設の運営については、指定管理者制度の見直し等もふまえて適切に対処していく。		

VI 他部署評価	
事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針		
	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果	
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	厚生会館管理運営事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	西村 正芳						
会計情報	事業コード	650318	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	80	頁
施策体系	施策コード	020701		施策名	文化活動を振興する								
計画期間	開始年度	昭和37年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	福知山市公共施設マネジメント基本計画・福知山市文化振興基本方針					
根拠法令等	福知山市厚生会館条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	市民の文化、厚生、産業などの向上及び振興に寄与し、市内最大規模の舞台・客席を持つホールとして、利用促進と情報発信を行う。市民に芸術活動の発表の場と鑑賞の機会を提供し、市民文化の向上につなげる。多目的ホールとして公共・民間の各種催事の開催運営が円滑に行える状態を維持する。厚生会館の利用促進及び文化の拠点としての充実を図り、地域の文化振興を図る。								
対象者	施設利用者(出演者、入場者など市内外を問わず)			対象者数	77,600		単位あたりコスト	0.4	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	株式会社浄美社、株式会社西日本エスエスシー、姫路ナブコ株式会社、三精テクノロジーズ、株式会社オクムラ楽器、アムス・セキュリティサービス株式会社								
事業概要 (箇条書き)	■厚生会館の施設・設備維持管理、受付・案内業務、施設利用の申請・許可業務、文化事業の企画運営を実施 ■市民の文化、厚生、産業等の向上及び振興に寄与し、市内最大規模の舞台客席を持つ多目的ホールとして公共・民間の各種催事の開催運営が円滑に行える状態を維持する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容				
	賃金	2,148			臨時職員賃金				
	需用費	7,221			光熱水費、修繕料、消耗品				
	役員費	159			電話代				
	委託料	9,262			機械設備保守管理業務、警備業務、施設清掃業務				
使用料及び賃借料	183			コピー機賃借料、AED借上げ料					

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	18,995		17,547		14,387		予算編成時記入	
	② 補正予算	0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0			
小計(①~③)	18,995		17,547		14,387				
予算財源内訳	① 一般財源	4,268		2,699		3,859			
	② 国支出金	0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0			
	⑤ その他特財	14,727		14,848		10,528			
決算情報	① 流充用額	△ 233		1,430		0		0	
	② 配当予算	18,762		18,977		0		0	
	③ 執行額	18,408		18,973		0		0	
	④ 執行率	98.1%		100.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.12/2.8		0.17 / 2.80		0.17 / 2.80		0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	7,960		8,360		8,360		0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	26,368		27,333		8,360				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	厚生会館使用料		種類	総務使用料		実績金額	8,701	
	特財名称	自動販売機設置貸付収入(厚生会館)		種類	財産貸付収入		実績金額	213	
	特財名称	アンテナ設置占用料		種類	総務使用料		実績金額	52	

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	施設使用料	千円	9,028/17,500	9,000/17,500	9000 / 14500	/ 14500	14500		
	施設利用者数	人	58,000/75,000	55,000/75,000	50000 / 75000	/ 75000	75000		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	施設利用件数	件	1,080/1,500	950/1,500	800 / 1500	/ 1500	1500		
	単位あたりコスト		15	19.37	23.72	/			
	単位あたりコスト				/				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市内最大のホール、多目的施設として代替性はなく、必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	公的利用、民間利用、営利、非営利ともに土日の利用はほぼ90%に近い状態で有効に活用されている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	受益者負担の原則から使用料負担により年間事業費の約60%、自動販売機の貸付等収入で約1%の収入を確保しているが、より利用率を向上させる必要がある。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>■平成29年度の年度当初に改修工事実施のため、予約不可のアナウンスをしていたため、他施設に利用が流出し使用者が減少傾向にある。また、市内他施設に対して設備の老朽化も進んでいることも原因の一つと想定する。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>■厚生会館施設及び設備の老朽化により、改善箇所が多数ある。 ■平成30年3月竣工を目前に厚生会館改修を実施する計画があったが耐震補強が必要となり多額の経費が必要となることが判明し、一旦立ち止まって再検討を行うこととしている。 ■平成30年度に策定した「文化振興基本方針」の中で施設の整備について、「老朽化している他の施設との効果的な機能集約も図るなかで、文化活動の核となる文化ホールについて、新たな建設も含め検討する」としている。このことを踏まえて施設の今後の在り方を検討する。</p>		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	新町文化センター管理運営事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村 正芳					
会計情報	事業コード	650321	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	80・82	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市公共施設マネジメント基本計画・福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	福知山市新町文化センター条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	市民に文化活動の場を提供し、もって市民文化の向上に寄与する。三階・四階部分は文化資料を所蔵している。								
対象者	市民、施設利用者(市内を対象)	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	公益財団法人福知山市文化協会								
事業概要 (簡条書き)	■施設・設備の管理 ■受付案内、施設使用許可申請業務								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	1,635	光熱水費、修繕料						
	役員費	69	電話代						
	委託料	1,927	指定管理料						
	使用料及び賃借料	1,650	土地建物賃借料						

III 予算執行状況										
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	5,230	4,722	2,884		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0	0						
小計(①～③)	5,230	4,722	2,884							
予算財源内訳	① 一般財源	4,555	4,517	2,884						
	② 国支出金	0	0	0						
	③ 府支出金	0	0	0						
	④ 地方債	0	0	0						
	⑤ その他特財	675	205	0						
決算情報	① 流充用額	190	559	0		0				
	② 配当予算	5,420	5,281	0		0				
	③ 執行額	5,416	5,281	0		0				
	④ 執行率	99.9%	100.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.12/0	0.19 / 0.00	0.19 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	960	1,520	1,520		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,376	6,801	1,520							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	新町文化センター使用料		種類	総務使用料	実績金額	109	決算付属資料	10	頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標	
	利用件数	件	514/600	438/600	400	/	600	/	-	-
	施設利用人数	人	4,618/5,500	3,641/5,500	/		/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標	
	開館日数	日	289/300	290/300	290	/	300	/	-	-
		単位あたりコスト		19.5	18.7	18.21		/		
	単位あたりコスト				/		/			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	文化協会所属団体に限定した文化活動の場となっている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	賃借料等維持管理費の支出に見合った効率的な運営を図っているが、使用対象が限定されるため、効果は限られている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	施設の利用を一部制限している事情もあり、活用も限定的であるが、中心市街地の文化活動の拠点として活用されている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	本施設は令和元年度をもって廃止となった。令和元年度までの開館時は施設の耐震化がされていない等の事情から活用を制限している部分があるが、文化協会に所属する団体を中心に市民に文化活動の場を提供し、もって市民文化の向上に寄与するという設置目的について、一定の目的を果たしてきた。		
これまでの課題及び今後の方向性	新町文化センターの指定管理期間は平成29年度までであり、建物の賃貸借更新も含めて機能移転先等の候補地の選定を進めたが、適当な移転先を選定できなかったため、2年間に限り指定管理期間を延長し、令和元年度末までとした。令和元年度末に新町文化センターを廃止し、それにともない指定管理も終了する。令和2年度末には不動産賃貸借契約を締結する株式会社京都銀行に建物を返却する予定である。		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	新町文化センター資料移転事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村 正芳					
会計情報	事業コード	650352	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	82	頁
施策体系	施策コード	020701		施策名	文化活動を振興する								
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市公共施設マネジメント基本計画・福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	新町文化センター管理運営事業、文化財資料移転事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	新町文化センターの施設廃止、建物の京都銀行返却を見据え、収蔵資料を整理・移転する。								
対象者	市民	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	岡山県貨物運送株式会社								
事業概要 (箇条書き)	■旧文化資料館収蔵の民俗資料、北丹鉄道関連資料、丹波生活衣資料等の整理・移転 ■移転先の保管棚購入								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	3,236	収蔵品運搬業務						
	備品購入費	238	物品用棚購入						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	4,000	2,100		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	0	4,000	2,100						
予算財源内訳	① 一般財源		4,000	2,100					
	② 国支出金		0	0					
	③ 府支出金		0	0					
	④ 地方債		0	0					
	⑤ その他特財		0	0					
決算情報	① 流充用額	0	△ 526	0		0			
	② 配当予算	0	3,474	0		0			
	③ 執行額	0	3,474	0		0			
	④ 執行率		100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)		0.17 / 0.00	0.17 / 0.00		0.00 / 0.00			
	② 概算人件費		1,360	1,360		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	4,834	1,360						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額		決算付属資料		頁	
	特財名称		種類	実績金額		決算付属資料		頁	
	特財名称		種類	実績金額		決算付属資料		頁	

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	資料の移転	%			60 / 60	/ 40	100		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	資料の移転	%			60 / 60	/ 40	100		
	単位あたりコスト				57.90	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市で収蔵している民俗資料等を継続的に保管していく必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	資料の移転作業を専門業者に委託するとともに、資料を運搬する際の梱包を必要最小限にするなどの工夫をすることで、コストや効率性を担保している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	令和元年度と2年度の2か年で移転する計画としており、令和元年度計画分については、予定どおり移転できた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和元年度と2年度の2か年で移転させる計画としており、令和元年度分については予定していた資料の移転を完了した。これにより移転した資料を継続して保管することができる。		
これまでの課題及び今後の方向性	移転した収蔵資料の整理、活用などについて検討していく必要がある。活用方法としては、所管施設や市役所庁舎ロビーなどでの展示や小・中学校の学習活動への協力、収蔵施設でのバックヤードツアーなどが考えられる。		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	福知山市伝統文化後継者育成事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村 正芳					
会計情報	事業コード	650378	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	82	頁
施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	丹波漆、丹後和紙等の伝統技術、工芸製品は市民の「心の豊かさ」や「地域の魅力」を創造し、本市の歴史・文化の個性と魅力を引き出す観光・地域資源となっている。この貴重な伝統文化を未来へ継承するため新たな後継者の育成を図る。								
対象者	後継者、市民	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	補助先：田中製紙工業所、伝統文化を守る会								
事業概要 (簡条書き)	福知山市内に伝承される伝統的な工芸・技術を文化としてまた地域産業として継承させる。 ■本市の魅力ある伝統文化(伝統技術・工芸製品)の後継者育成に係る生産者及び伝承活動団体等の事業に対し支援を行う。 ■(1)後継者1人につき3年を限度に補助金を交付する。後継者の育成支援 月額上限50千円、年額600千円。 ■(2)後継者となる人材の発掘を目的とする伝統的工芸品等の製造に係る調査及び研究の体験研修等を行う事業に補助金を交付する。事業費の1/2、上限10万円。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	334	伝統工芸品等後継者育成事業補助						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,100	1,400	0	0	予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	1,100	1,400	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	550	700	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	550	700	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	1,100	1,400	0	0				
	③ 執行額	432	334	0	0				
	④ 執行率	39.3%	23.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.15/0	0.15 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,200	1,200	0	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,632	1,534	0	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	伝統文化後継者育成(地方創生推進交付金)	種類	総務費国庫補助金	実績金額	167	決算付属資料	18	頁
	特財名称	福知山市伝統文化後継者育成事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	167	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	伝統工芸に対する市民の理解度(新聞等掲載数)	件	-	4/3	4 / 3	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	年間勤務日数	日	170/240	168/240	168 / 240	/	/			
	後継者の育成	人	1/1	1/1	2 / 1	/	/			
	単位あたりコスト		2.12	2.57	1.99					
	単位あたりコスト		360	432	167					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	本市を代表する伝統文化を保護し、継承を支援する事業であり、必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	伝統文化の後継者育成に受益者との負担割合等妥当な水準で実施できている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	後継者活動のPRや本市事業への協力のあり方を検討する必要がある。今後の本市への定着等に課題がある。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ■本市の誇る伝統文化(伝統技術、工芸製品)の伝承と後継者育成を図っている。 ■地域の文化を継承する定住の促進に寄与している。 ■本市の文化資源を有効に活用し、文化振興と本市伝統文化の後継者発掘促進を進めるため、体験活動や調査研究活動に対して補助金を設けている。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■本市の誇る伝統文化(伝統技術、工芸製品)の伝承と後継者育成を図るため、後継者の独り立ち、生業としての定着が求められる。 ■今後、人材を活用し、文化振興を図る手法を探る。 ■丹波漆等伝統文化活用・支援育成事業に統合し、伝統文化の保存・継承を行う団体の支援を行うとともに、普及啓発活動を協働で実施し、本市の誇る伝統文化のPRを行う。 		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	福知山城観光誘客強化事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村 正芳					
会計情報	事業コード	650381	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	82	頁
施策体系	施策コード	020703	施策名	文化施設を整備する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	福知山城天守閣条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	福知山城管理運営事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	本市シンボルである福知山城の魅力を再確認して、市内外に発信し、市民の愛着と誇りを育み、知名度アップやイメージ向上を図る。大河ドラマの放送決定を受け、多くの来場者が見込まれるため、環境整備を図る。								
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者(市内外を対象)	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	工事請負事業者等								
事業概要 (箇条書き)	大河ドラマ決定を受けて福知山城に多数の来館者が訪れることが見込まれるにあたっての環境整備 ■館内展示設備、解説のリニューアル ■天守閣玄閣部分の改修 ■高圧受電設備の改修 ■天守閣ライトアップ設備の改修 ■特別展、企画展実施にあたっての美術運送経費								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	5,260	多言語パンフレット作製、展示ケース等修繕、展示ケース証明修繕						
	委託料	7,036	ライトアップリニューアル、展示パネルリニューアル、古文書表装、展示資料運搬						
	使用料及び賃借料	439	展示資料借用量、スポットクーラーレンタル						
	工事請負費	12,703	天守閣玄閣改修、高圧受電設備更新						
	備品購入費他	2,081	移動式エアコン、福知山城絵図購入						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	39,563		27,961				予算編成時記入		
	② 補正予算	23,150	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①~③)	23,150	39,563		27,961							
予算財源内訳	① 一般財源	150	3,732		0						
	② 国支出金	0	7,581		0						
	③ 府支出金	0	0		0						
	④ 地方債	20,800	24,000		0						
	⑤ その他特財	2,200	4,250		27,961						
決算情報	① 流充用額	△ 594	△ 7,167		0		0				
	② 配当予算	22,556	32,396		0		0				
	③ 執行額	17,846	27,519		0		0				
	④ 執行率	79.1%	84.9%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.33/0.1	0.38	/	0.10	0.38	/	0.10	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	2,890	3,290		3,290		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	20,736	30,809		3,290							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山城誘客強化事業(地方創生推進交付金)	種類	総務費国庫補助金	実績金額	6,391	決算付属資料	16	頁		
	特財名称	福知山城観光誘客強化事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	3,432	決算付属資料	42	頁		
	特財名称	福知山城観光誘客強化事業(地域活性化)	種類	総務債	実績金額	11,400	決算付属資料	50	頁		

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	入館者数	人		40,072/38,000	100000 / 50000	/	100000	100000	
					/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	開館日数	日		287/310	313 / 323	/	365	365	
	単位あたりコスト			62.18	87.92	/	/		
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	2020年大河ドラマの集客増に対応するため、築後30年以上経過し老朽化した施設内の整備を進め、来館者に安心・安全に見学使用できるよう整備した。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	効率的な業務発注ができています。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	来館者に適切な施設環境を整えるとともに安心・安全な施設運営を進めている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	工事期間中やイベント開催中も安心・安全な施設運営を図ることができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	平成28年度に天守閣再建30周年を迎え、施設の老朽化には福知山城観光誘客強化事業により修繕・改修を進めているが、今後10年20年先を見据え運営も含めて計画的に対策を図っていく。		

VI 他部署評価	
事中学業評価	事務事業評価後に記入
事後事業評価	事務事業評価後に記入

VII 評価をふまえた次年度事業方針		
	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和3年度予算編成時に記入

VIII 予算反映結果				
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	<input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合	(統合事業名:)	<input type="checkbox"/> 他事業へ統合	(統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	治水記念館整備改修事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村 正芳					
会計情報	事業コード	650382	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 文化振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	82	頁
施策体系	施策コード	020602	施策名	文化財の保護意識を高める									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	福知山市治水記念館条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	治水記念館管理運営事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	平成22年に、長屋形式で接していた隣接建物の解体に伴いギャラリー部分の土壁の補修を行った。平成30年の台風により補修した壁が隣接民家側に倒壊する恐れが生じたため、倒壊する恐れのある壁と周辺の屋根を撤去することにより隣接民家への危険性を除去する。								
対象者	市民	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	■倒壊する恐れのあるギャラリー部分の屋根及び外壁の撤去								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	工事請負費	3,905	離れ棟改修工事						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	2,387	0	0	予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	0	2,387	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0				
	② 国支出金		0	0	0				
	③ 府支出金		0	0	0				
	④ 地方債		0	0	0				
	⑤ その他特財		2,387	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	1,518	0	0				
	② 配当予算	0	3,905	0	0				
	③ 執行額	0	3,905	0	0				
	④ 執行率		100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)		0.17 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費		1,360	0	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	5,265	0	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	治水記念館整備改修事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	3,905	決算付属資料	40	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	改修工事				完了 / 完了	/	完了			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	改修工事				完了 / 完了	/	完了			
	単位あたりコスト				/	/				
	単位あたりコスト									

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市の所管する施設が、市民の財産に危険を及ぼしかねない状況となっているため、市の責任で解消しなければならない。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	工事の実施にあたっては、建具などの部材を再利用し、コスト削減に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	事業が完了することにより、隣接民家に対する危険性を除去するとともに、入館者に対して安全、安心を提供できた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	■市の責任で実施するものであり、事業が完了したことで、市民に安全、安心を提供できた。		
これまでの課題及び今後の方向性	■施設の老朽化もあるが、施設の活用について国の協力を受けており、施設の在り方や今後の活用については、市だけでなく国などの関係機関とも調整が必要である。		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	スポーツ賞表彰事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	森田 哲也						
会計情報	事業コード	650131	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	13 体育振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	96	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
計画期間	開始年度	昭和46年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画							
根拠法令等	福知山市スポーツ賞基金条例、福知山市スポーツ賞に関する規則												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	全国大会等で活躍した競技者の栄誉を称え、競技力の更なる向上とスポーツの普及・振興を図ることを目的とする。								
対象者	全市民	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	福知山市スポーツ賞基金条例及び福知山市スポーツ賞に関する規則に基づき、運動競技で優秀な成績を収めた者(日本記録を樹立した者、又は全国競技会で優勝し表彰に値すると認められる者)を表彰する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報酬	15	スポーツ賞選考委員報酬						
	報償費	48	功労表彰等						
	需用費	13	印刷製本費						
	役務費	21	筆耕料						

III 予算執行状況										
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	280	214	172		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0	0						
小計(①～③)	280	214	172							
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0						
	② 国支出金	0	0	0						
	③ 府支出金	0	0	0						
	④ 地方債	0	0	0						
	⑤ その他特財	280	214	172						
決算情報	① 流充用額	0	5	0		0				
	② 配当予算	280	219	0		0				
	③ 執行額	114	97	0		0				
	④ 執行率	40.7%	44.3%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.05/0	0.33 / 0.00	0.33 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	400	2,640	2,640		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	514	2,737	2,640							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	スポーツ賞表彰事業基金繰入		種類	基金繰入金	実績金額	75	決算付属資料	36	頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	受賞者数	人	9/5	6/5	5 / 5	/	5		5
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	候補者照会先	団体	20/20	20/20	20 / 20	/	20		20
	単位あたりコスト		6.30	5.75	4.86				
	単位あたりコスト				/				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	優秀な成績を挙げた選手に対し、市長自ら表彰する事業であり、選手や競技団体の意識の向上が期待でき、その意義は大きい
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	事業の性格上、受益者(受賞者)に負担を求めるものではなく、受賞者の栄誉を顕彰するものであり妥当な水準である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市内の競技者の栄誉を顕彰することで、競技者意識や競技力の向上にも有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	受賞者については全国大会で優勝した者、選考委員会で大会の規模や出場者数なども勘案して選考をする。		
これまでの課題及び今後の方向性	競技スポーツに対する本市の姿勢を示すことにより、競技者及び競技団体の意欲を喚起し、競技力の向上を通じて、市民のスポーツ意識の高揚を目指す。		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	文化財保全事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村正芳					
会計情報	事業コード	640103	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	240	頁
施策体系	施策コード	020601	施策名	文化財を適切に保護・保存する									
計画期間	開始年度	平成4年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	福知山市文化財保全補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	国・府・市指定文化財の保全・保護を図り、後世に貴重な文化財を伝える。								
対象者	国・府・市指定文化財	対象者数	261	単位あたりコスト	31.6				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	所有者の実施する指定文化財にかかる修理・保全・防災事業について助言を行うとともに補助金を交付する。補助割合 国・府1/2以内 市は所有者負担額の1/2以内。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	1,102	指定文化財所有者が行う自火報維持管理費や修繕への補助						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,800	1,800	1,800	予算編成時記入				
	② 補正予算	930	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	2,730	1,800	1,800						
予算財源内訳	① 一般財源	1,800	1,800	1,800					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	930	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0			
	② 配当予算	2,730	1,800	0	0	0			
	③ 執行額	2,730	1,102	0	0	0			
	④ 執行率	100.0%	61.2%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.45/0.15	0.83 / 0.20	0.83 / 0.20	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,975	7,140	7,140	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,705	8,242	7,140						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	維持管理・修繕未解決事項	-	0	0	/ 0	/ 0	0		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	維持管理・修繕実施件数	件	16/11	17/12	11 / 12	/ 10	-		
	単位あたりコスト		131.81	160.50	100.18	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理、修繕のニーズは高い 財団等の補助はあるが確実性は低い 後世に伝えるため文化財の保護・保存ため優先度は高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 所有者負担は全事業費の1/4以上であり妥当な割合である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 年度ごとに申請件数の増減があり、成果目標を立てにくい。事前相談などで次年度以降の見込み目標数値を決めていく必要がある。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>貴重な文化財を後世に伝え残すことは地域資源として次世代への投資ともなっており、補助事業としては有効である。達成状況については、年度ごとに増減があるため件数としての評価は難しい。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>補助事業の実施により、貴重な文化財を保護し未来へと伝えることができ、今後も継続して実施していく。未指定文化財への補助について京都府の補助制度を有効に活用できるよう周知の啓発を図っていく必要がある。</p>		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	夜久野町化石・郷土資料館運営事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村正芳					
会計情報	事業コード	640105	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	240	頁
施策体系	施策コード	020602	施策名	文化財の保護意識を高める									
計画期間	開始年度	昭和53年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	夜久野町化石・郷土資料館条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	・市民共有の財産である文化財の適切な保管と収集 ・文化財保護・愛護のための普及啓発活動 ・地域学習のための生涯学習資料の提示								
対象者	全市民	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティサービス(株)								
事業概要 (簡条書き)	夜久野町化石・郷土資料館の管理運営								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	賃金	425	臨時職員賃金						
	需用費	82	消耗品費・燃料費・光熱水費						
	役務費	58	建物共済・電話代						
	委託料	47	機械警備						
	負担金補助及び交付金	117	農匠の郷やくの管理費負担金・農匠の郷やくの連協負担金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,508	717	729		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,508	717	729						
予算財源内訳	① 一般財源	1,466	675	683					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	42	42	46					
決算情報	① 流充用額	17	11	0		0			
	② 配当予算	1,525	728	0		0			
	③ 執行額	1,525	728	0		0			
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.15/0.3	0.15 / 0.15	0.15 / 0.15		0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	1,950	1,575	1,575		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,475	2,303	1,575						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	夜久野町化石・郷土資料館使用料	種類	教育使用料	実績金額	34	決算付属資料	12	頁
	特財名称	電柱占用料(夜久野町化石・郷土資料館)	種類	教育使用料	実績金額	2	決算付属資料	12	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	入館者数	人	598/1000	603/1000	693 / 300	/	/	500	500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	体験学習と企画展示	件	1/1	1/1	1 / 1	/	/	1	1
	単位あたりコスト		1533.00	1525.00	728.19				
	単位あたりコスト				/		/		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・近隣にはこれだけ数多くの化石の展示を行っている類似施設はなくニーズは高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・土・日・祝日の開館とし、運営の効率化を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・収蔵資料の有効性をたかめる企画展を実施した。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	化石という地域資源を活かした施設としては特徴的である。目的及び指標は達成している。		
これまでの課題及び今後の方向性	施設の老朽化に伴う設備の課題、専門的人員の確保の課題、資料の保管に関する課題など課題が多い。		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	日本の鬼の交流博物館運営事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村正芳					
会計情報	事業コード	640106	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	240	頁
施策体系	施策コード	020602	施策名	文化財の保護意識を高める									
計画期間	開始年度	平成5年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	福知山市日本の鬼の交流博物館条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	・世界の鬼にかかわる資料の収集と保存と公開、情報発信 ・大江山に関する資料の収集と保存と公開、情報発信 ・有形、無形民俗文化財資料の収集と保存と公開								
対象者	全市民	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.2				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティサービス(株)、(株)クリア、(株)スリーエス、タキノデンキ(株)、姫路ナブコ、西岡電気設備、(社)福知山市シルバー人材センター								
事業概要 (箇条書き)	・施設の管理・運営 ・来館者への案内、レファレンス ・主な利用特財 鬼文化研究所使用料 教育使用料 13千円								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	4,178	消耗品・光熱水費・印刷製本費・修繕料						
	役務費	133	建物共済・電話料・浄化槽法定点検						
	委託料	1,082	機械警備・浄化槽保守点検・床清掃・除雪・除草等						
	使用料及び賃借料	326	AED・複写機・印刷機等						
工事請負費	1,010	屋根雨漏り防止工事							

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	6,123	6,947		5,273		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①～③)	6,123	6,947		5,273							
予算財源内訳	① 一般財源	3,858	3,079		3,073						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	0	0		0						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	2,265	3,868		2,200						
決算情報	① 流充用額	△ 68	0		0						
	② 配当予算	6,055	6,947		0						
	③ 執行額	6,055	6,728		0						
	④ 執行率	100.0%	96.9%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.3/3	0.30	/	3.20	0.30	/	3.20	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	9,900	10,400		10,400		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	15,955	17,128		10,400							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	日本の鬼の交流博物館使用料	種類	教育使用料	実績金額	1,868	決算付属資料	12	頁		
	特財名称	文化財関係図書・図録	種類	物品売払収入	実績金額	153	決算付属資料	34	頁		
	特財名称	地域振興施設維持補修基金繰	種類	基金繰入金	実績金額	1,498	決算付属資料	38	頁		

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	入館者数	人	8406/10000	10611/10000	7483 / 10000	/ 10000	10000		
	取材等に伴うマスメディア登場回数	回	27/25	39/25	26 / 25	/ 25	25		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	特別(企画)展の回数	回	3/3	3/3	5 / 3	/ 3	3		
	単位あたりコスト		2153.00	2018.00	1345.65	/			
単位あたりコスト				/	/				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 鬼をテーマとした地域づくりの拠点である 現状では営利目的の運営は厳しい 地域づくりの手段として必要な施設であり管理運営は優先度が高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 入館に際しては入館料を徴収しており受益者負担は妥当である
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 活動実績については年3回の展示を行うことができた。 日本中の鬼に関する資料を収集し、情報発信を行うことができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>福知山市の地域資源である鬼をテーマにした全国的にも珍しい施設である。鬼文化の資料収集を積極的に行うことにより、報道関係・冊子等の取材、資料の貸し出しに関する問い合わせも多く、福知山市の文化的施策としてのPR効果は大きい。入館者が目標値より大幅に低くなってしまったが、特別展の内容に左右されるものと考えられる。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化に伴う設備の課題、維持管理、修繕費等の発生 専門的職員の配置 		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	文化財整理事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村正芳					
会計情報	事業コード	640107	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	240	頁
施策体系	施策コード	020601	施策名	文化財を適切に保護・保存する									
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	・文化財資料の整理作業 ・埋蔵文化財収蔵庫(天津)の維持管理費 以上2点を事業目的とする。								
対象者	文化財資料	対象者数	100,000	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティサービス(株)								
事業概要 (箇条書き)	・埋蔵文化財保管倉庫と文化財収蔵庫の管理運営 ・埋蔵文化財出土品及び民具等の適切な保管と管理を行うため施設管理と運営を行う。 ・未整理文化財の整理を行い、展示及び教材として活用を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	賃金	360	臨時職員賃金						
	需用費	312	消耗品・燃料費・光熱水費						
	役務費	183	建物共済・電話代						
	使用料及び賃借料	92	複写機						
共済費・委託料	108	臨時職員労災保険993・機械警備107256							

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	735	1,283		1,122		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①~③)	735	1,283		1,122							
予算財源内訳	① 一般財源	735	1,283		1,122						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	0	0		0						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	0	0		0						
決算情報	① 流充用額	△ 104	△ 4		0						
	② 配当予算	631	1,279		0						
	③ 執行額	631	1,055		0						
	④ 執行率	100.0%	82.5%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.33/0.05	0.40	/	0.10	0.40	/	0.10	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	2,765	3,450		3,450		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,396	4,505		3,450							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標	
	資料の保管状況	-	異常なし	異常なし	異常なし	/	異常なし	/	異常なし	異常なし
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標	
	ミニ企画展	回	1/2	7/2	2	/	2	/	2	2
	単位あたりコスト		1225.00	90.10	527.70					
	単位あたりコスト				/					

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・文化財資料は地域資源である。この地域資源の保管は市民の財産であり今後の活用が期待できる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	・展示回数が多ければ良いものでもなく、受益者との負担関係、単位あたりコストを明確にするのは難しい。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・資料の保管は文化財保護の基本であり成果目標は適切である
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	文化財資料の整理作業及び文化財資料を保管する施設の維持管理は後世に貴重な文化財を伝え残すのに不可欠なものである。また、資料の劣化、散逸を防ぎ後世に伝えるためにも有効である。		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化に伴う設備の課題、維持管理、修繕費等の発生。 保管資料の利活用を図るため展示や資料の貸出を更に進める必要がある。 		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	文化財資料移転事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村正芳					
会計情報	事業コード	640123	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	240	頁
施策体系	施策コード	020602	施策名	文化財の保護意識を高める									
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市公共施設マネジメント計画 福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	公共施設マネジメント計画に基づき、文化財資料収蔵施設の統廃合を進める。市内各所に点在している資料を一括管理できるとともに、集約した資料の分類・整理を行う。								
対象者	統合文化財施設	対象者数	7	単位あたりコスト	463.6				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	・集約した資料の分類・整理(埋蔵文化財コンテナ200箱、民具資料1000点)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	共済費		2	臨時職員労災保険					
	賃金	594	臨時職員賃金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	690	620	1,636		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	690	620	1,636						
予算財源内訳	① 一般財源	690	620	1,636					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	△ 73	△ 7	0		0			
	② 配当予算	617	613	0		0			
	③ 執行額	617	595	0		0			
	④ 執行率	100.0%	97.2%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.23/0.05	0.30 / 0.10	0.30 / 0.10	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,965	2,650	2,650		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,582	3,245	2,650						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	施設を統合した数	件	6/7	0/0	0 / 0	/ 0	0		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	移転件数	件	1/2	0/0	1 / 1	/ 1	0		
	単位あたりコスト		973.00	0.00	595.46	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・公共施設マネジメント計画に基づき実施している事業でありニーズ・優先度ともに高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・資料整理にかかる人件費は妥当なコストである。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・計画通りに実施がなされ有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	公共施設マネジメント計画に基づき計画的に文化財資料収蔵施設の統合を進めた。このことにより、市内各所に保管してある資料を一括管理することができ、後世に貴重な文化財を伝えることができる。		
これまでの課題及び今後の方向性	保管のみでなく、資料の整理・分類を続けていく必要があり、今後も資料の整理・分類に力を入れていく。		

VI 他部署評価	
事中学業評価	事務事業評価後に記入
事後事業評価	事務事業評価後に記入

VII 評価をふまえた次年度事業方針		
	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和3年度予算編成時に記入

VIII 予算反映結果	
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	市内遺跡発掘調査事業(国庫補助事業)												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村正芳					
会計情報	事業コード	640125	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	240・242	頁
施策体系	施策コード	020601	施策名	文化財を適切に保護・保存する									
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	文化財保護法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	範囲・内容等詳細不明な遺跡の実態調査のため測量及び試掘等を行い、調査範囲周辺での開発計画に対応する遺跡の保存保護資料を得る。								
対象者	埋蔵文化財	対象者数	1	単位あたりコスト	6,813.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	(社)京都府シルバー人材センター、(株)アコード								
事業概要 (簡条書き)	上ヶ市遺跡の範囲内容確認								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	共済費・賃金	77	臨時職員労災保険211・臨時職委員賃金76550						
	旅費	7	福知山-京都						
	需用費	124	消耗品・燃料費・印刷製本費						
	役務費・委託料	1,268	汲み取り6800・作業委託841742・測量419760						
	使用料及び賃借料	537	自動車借借上・重機使用料・仮設トイレ借上						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	2,000	2,000	2,000		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	2,000	2,000	2,000						
予算財源内訳	① 一般財源	500	500	500					
	② 国支出金	1,000	1,000	1,000					
	③ 府支出金	500	500	500					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	112	13	0		0			
	② 配当予算	2,112	2,013	0		0			
	③ 執行額	2,112	2,013	0		0			
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.5/0	0.60 / 0.00	0.60 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,000	4,800	4,800		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,112	6,813	4,800						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市内遺跡発掘調査事業	種類	教育費国庫補助金	実績金額	1,000	決算付属資料	22	頁
	特財名称	市内遺跡発掘調査事業	種類	教育費府補助金	実績金額	500	決算付属資料	30	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標	
	調査件数	件	1/1	1/1	1	/	1	/	1	0
	保存処理点数	点	14/13	/	/	/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標	
	調査件数	件	1/1	1/1	1	/	1	/	1	0
	単位あたりコスト		2044.00	2112.00	2013.11					
	保存処理点数	点	14/13	0	/		/			
	単位あたりコスト		146.00	0.00						

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	埋蔵文化財の保護の観点からも事業実施の必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	直営ではあるが、事業に必要な業務については複数業者から見積もりを徴取するなどコスト比較をおこなっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	計画通り事業が実施され有効性は高い
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	埋蔵文化財の範囲内容が確認されることにより、開発行為から埋蔵文化財保護のため方針を立てることができ、市民の貴重な財産である埋蔵文化財の保護につながる。また、調査により得られた資料は市民が郷土学習の資料として活用することができる。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和2年度も引き続き周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲内容確認の発掘調査を行う必要がある。		

VI 他部署評価	
事中学業評価	事務事業評価後に記入
事後事業評価	事務事業評価後に記入

VII 評価をふまえた次年度事業方針	
方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和3年度予算編成時に記入
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	

VIII 予算反映結果	
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	文化財保護啓発事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	西村正芳					
会計情報	事業コード	640139	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	242	頁
施策体系	施策コード	020602	施策名	文化財の保護意識を高める									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針							
根拠法令等	福知山市文化財保護に関する条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	市内の文化財を未来へとつないでいくため文化財の保護と啓発を推進する								
対象者	市民	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	北広島町神楽協議会 (有)チームワーク								
事業概要 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護審議会の開催 府市指定文化財候補の調査 未指定文化財の調査 資料館、博物館での展示 出前講座の実施 各種開発に対する埋蔵文化財保護のための調整 埋蔵文化財包蔵地の照会件数 378件(うち発掘調査届出166件) 埋蔵文化財発立会・試掘調査 118件 								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報償・報酬	136	審議委員会報酬120000・現地調査謝礼16000						
	旅費	138	審議委員費用弁償・職員普通旅費						
	需用費	301	消耗品・燃料費・印刷製本費・光熱水費						
	役務費・使用料及び賃借料	270	郵送料・筆耕料・看板賃借他						
	委託料・備品購入・負担金補助及び交付金	626	企画展展示委託・庁内LAN端末購入・負担金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,802	1,671	1,410	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,802	1,671	1,410						
予算財源内訳	① 一般財源	1,802	1,671	1,410					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	△ 17	△ 86	0					
	② 配当予算	1,785	1,585	0					
	③ 執行額	1,778	1,471	0					
	④ 執行率	99.6%	92.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.75/0.15	0.82 / 0.25	0.82 / 0.25	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	6,375	7,185	7,185	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,153	8,656	7,185						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	文化財指定件数	件		12/1	25 / 1	/ 1	1		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	展示回数	回		4/3	8 / 3	/ 3	3		
	単位あたりコスト			444.50	183.91	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 展示は市民のニーズを把握しながら行っている。また、文化財保護のため指定や普及啓発活動を行うことは、未来へと文化財をつないでいくことにつながり優先度は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な調査の実施を行うことがコスト削減に直結している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 事業は計画通り実施されている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> 未指定文化財の調査研究結果に基づき、文化財保護審議会での審議を経て目標通り年1件以上の指定を行っており適切に業務をおこなっている。 展示についても計画どおり実施されている。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 時代の流れを反映した指定が必要である。 市民に福知山市の歴史を知ってもらう機会として、資料の展示や講座の開催は有効な手段である。 		

VI 他部署評価	
事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針	
方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果	
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	スポーツ振興協働化事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	森田 哲也						
会計情報	事業コード	650102	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	250	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
計画期間	開始年度	昭和56年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画							
根拠法令等	スポーツ振興協働化事業振興協働化事業補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	一般財団法人福知山市スポーツ協会の円滑な運営を支援し、福知山市との協働による市民スポーツの活性化や生涯スポーツを普及し、本市のスポーツ振興を促進することを目的とする。								
対象者	(一財)福知山市スポーツ協会・全市民			対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.1		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	市民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図り、生涯スポーツの普及発展に寄与することを目的に設立された(一財)福知山市スポーツ協会への運営補助金								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容				
	負担金補助及び交付金	8,835			スポーツ振興協働化事業補助金				

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	8,835	8,835	8,835		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	8,835	8,835	8,835						
予算財源内訳	① 一般財源	8,835	8,835	8,835					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0		0	0		
	② 配当予算	8,835	8,835	0		0	0		
	③ 執行額	8,835	8,835	0		0	0		
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.06/0	0.22 / 0.00	0.22 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00	0.00		
	② 概算人件費	480	1,760	1,760		0	0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,315	10,595	1,760						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	スポーツ主催事業参加者数	人	1644/2000	1808/2000	946 / 2000	/ 2000	2000		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	スポーツ主催事業開催数	回	7/8	7/8	5 / 8	/ 8	8		
	単位あたりコスト		1262.10	1262.10	1767.00	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	スポーツ協会加盟団体を統括し、市民スポーツの普及・高揚のため、スポーツ協会の果たす役割は大きく、事務局の安定化は重要である
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	スポーツ協会加盟団体ほか、市民スポーツ全般を事業対象としており、コストは妥当と考える。 また、平成29年度には5%の削減を行った。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	スポーツ協会加盟団体が事業効果を発現すべく、本市のスポーツ行政の中心的役割を担っており、その活動は有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	本市と共催による福知山マラソンをはじめとした市民参加型のスポーツイベントの実施により、スポーツ協会の果たす役割は大きく、一定の成果を果たせた。		
これまでの課題及び今後の方向性	本市のスポーツ関係団体の統括や、市民スポーツの普及等、スポーツ協会の果たす役割は大なるものがある。 東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、市民のスポーツへの関心が高まるなか、本市スポーツ推進計画の理念である「する」「みる」「ささえる」「はじめる」スポーツを推進するため、スポーツ協会が担う役割は重要であり、今後は、更なる市との協働により取組みを進めていく必要がある。 そのためには、民間資本の活用なども検討して、財源の確保に努めて行く必要がある。		

VI 他部署評価	
事中学業評価	事務事業評価後に記入
事後事業評価	事務事業評価後に記入

VII 評価をふまえた次年度事業方針	
方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和3年度予算編成時に記入

VIII 予算反映結果	
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	スポーツ推進委員会事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	森田 哲也					
会計情報	事業コード	650103	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	250	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
計画期間	開始年度	昭和37年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画							
根拠法令等	スポーツ基本法、福知山市スポーツ推進委員に関する規則												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	スポーツ基本法に基づき委嘱を受けたスポーツ推進委員が、本市のスポーツ振興のために市民のスポーツへの感心を高め、幅広いスポーツ活動を推進することを目的とする。								
対象者	全市民	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	スポーツ推進委員が主体となって「歩け歩け大会」や「スポーツレクリエーション大会」などの市民参加型の事業を主管するほか、地域への指導者派遣など、市民のスポーツ活動への支援や健康増進のための各種事業を実施している。 ■市民歩け歩け大会(2回/年)、スポーツレクリエーション大会 ■派遣指導(随時)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報酬	2,078	スポーツ推進委員						
	旅費	126	委員等実費弁償、研修旅費						
	需用費	60	消耗品費						
	使用料及び賃借料	10	駐車料・高速道路等通行料						
	負担金補助及び交付金	125	研修等参加負担金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,472	3,091	2,997	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	3,472	3,091	2,997						
予算財源内訳	① 一般財源	3,472	3,091	2,997					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	△ 844	△ 692	0					
	② 配当予算	2,628	2,399	0					
	③ 執行額	2,614	2,399	0					
	④ 執行率	99.5%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.17/0	0.27 / 0.00	0.27 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,360	2,160	2,160	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,974	4,559	2,160						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁				
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁				
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁				

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	派遣講習受講者数	人	772/1200	967/1200	925 / 1200	/ 1200	1200
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	講師派遣回数	事業	27/50	34/50	27 / 50	/ 50	50
	単位あたりコスト		80.52	59.40	88.85		
	広報誌発行回数	回	2/2	2/2	2 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		1167.50	1306.50	1199.42		

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市民からのスポーツ指導派遣依頼も多く、障害者の水泳指導など社会的意義の高い講座もあり、優先度は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	スポーツに関する基礎的・専門的な知識のある推進員の指導を受ける事業として効率的である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市民のスポーツ活動の入口として、市民も取り組みやすく有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	参加者や、派遣指導が固定化しつつあり、更なる市民への認知度を高めるため、スポーツ推進委員の取組み状況やニュースポーツを紹介する広報誌等の発行も新たに行い、市民への周知に取り組んでいるところである。		
これまでの課題及び今後の方向性	スポーツ基本法に則った法定事業であり、継続実施する。 スポーツに対する市民ニーズの多様化や、数多く生まれるニュースポーツなど、ニーズに的確に対応した活動を引き続き実施する。		

VI 他部署評価	
事中学業評価	事務事業評価後に記入
事後事業評価	事務事業評価後に記入

VII 評価をふまえた次年度事業方針		
	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和3年度予算編成時に記入

VIII 予算反映結果				
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	<input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合	(統合事業名:)	<input type="checkbox"/> 他事業へ統合	(統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	スポーツ少年団育成事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	森田 哲也						
会計情報	事業コード	650104	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	250	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
計画期間	開始年度	昭和42年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画							
根拠法令等	福知山市スポーツ少年団育成補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	生涯スポーツ推進事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	スポーツ少年団活動を通じた団相互・団員相互の交流が深められ、少年スポーツの振興と青少年の健全育成を図るとともに、誰もが参加しやすい居場所づくりと、スポーツを通じた地域と家庭が支えあう関係づくりに繋げることを目的とする。								
対象者	スポーツ少年団員	対象者数	700	単位あたりコスト	1.9				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	スポーツ少年団登録団体への育成補助金並び少年団活動の支援、主催共催事業を実施し、少年団活動を活発化させる。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	16	普通旅費						
	負担金補助及び交付金	145	スポーツ少年団育成補助金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	190	172	172		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	190	172	172						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	172					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	190	172	0					
決算情報	① 流充用額	△ 35	△ 11	0		0			
	② 配当予算	155	161	0		0			
	③ 執行額	155	161	0		0			
	④ 執行率	99.9%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.05/0	0.15 / 0.00	0.15 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	400	1,200	1,200		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	555	1,361	1,200						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	生涯スポーツ推進事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	161	決算付属資料	40	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	団員数	人	678/860	622/860	637 / 860	/ 860	860		
					/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	助成単位団数	団	32/37	33/37	32 / 37	/ 37	37		
	単位あたりコスト		4.84	4.70	5.04				
	広報誌の発行	回	1/1	1/1	1 / 1	/ 1	1		
	単位あたりコスト		155.00	155.00	161.20				

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	日本スポーツ少年団、京都府スポーツ少年団の下部組織に位置し、スポーツを通じた青少年の健全育成など実績も大きく、必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	少年団活動は、登録料を主な財源として運営されており、登録各団も会費等により自主的に活動しており効率性は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	少子化により、団員の増加は厳しい現状にはあるものの、少年スポーツの普及や青少年の健全育成への有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	広報誌の発行や、交流大会の開催により加盟団体以外にも参加を呼びかける機会を設けて、拡充を図っている。		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>スポーツの多様化や少子化により団員数や登録団は減少傾向にあるとともに、指導者養成も重要な課題であるが、スポーツ少年団の認知度を高める取り組みなどを実施し、単位団相互の交流などのコミュニティ活動を活性化させ、スポーツ少年団活動をより促進することが重要である。</p> <p>スポーツ少年団活動を通じた団相互・団員相互の交流を深め、少年スポーツの振興と青少年の健全育成を図るとともに、誰もが参加しやすい居場所づくりやスポーツを通じた地域と家庭が支え合う関係づくりにおいて、スポーツ少年団が果たしている役割は大きく、組織の育成や継続のためにも事業を展開していくことが必要である。</p>		

VI 他部署評価	
事中学業評価	事務事業評価後に記入
事後事業評価	事務事業評価後に記入

VII 評価をふまえた次年度事業方針		
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和3年度予算編成時に記入

VIII 予算反映結果			
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:)	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	生涯スポーツ推進事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	森田 哲也					
会計情報	事業コード	650105	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	250・252	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	スポーツ推進委員会事業、スポーツ少年団育成事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	生涯スポーツ社会の実現に向けて、児童生徒から高齢者まで幅広くスポーツに親しむ機会を提供し、市民の多様なスポーツニーズに対応したスポーツ振興を図ることを目的とする。								
対象者	全市民	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 () 協会への交付金								
委託先・実施主体等	一般財団法人福知山市スポーツ協会								
事業概要 (簡条書き)	スポーツ協会加盟団体等と連携したスポーツ教室の実施や、ニュースポーツ用品の貸し出しなど市民のスポーツ実施機会の提供と充実を図る。 ■スポーツ教室実施種目(キンボール、ソフトボール、ラグビー、バスケットボール、バレーボール、ターゲット・バードゴルフ、少林寺拳法、柔道、剣道、合気道、空手道) ■ニュースポーツ用品貸出(コップインゴルフ、グラウンド・ゴルフ、ペタンク 他)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	賃金	2,616	臨時職員賃金						
	旅費	7	研修旅費						
	需用費	331	印刷製本費、消耗品費						
	役務費	452	電信電話料等、郵送料						
	使用料及び賃借料他	726	施設使用料・入館料、スポーツ教室競技団体交付金(負担金補助及び交付金)						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	4,068	4,376	3,839		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	4,068	4,376	3,839						
予算財源内訳	① 一般財源	3,556	3,876	3,839					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	512	500	0					
決算情報	① 流充用額	△ 57	△ 243	0		0			
	② 配当予算	4,011	4,133	0		0			
	③ 執行額	3,928	4,133	0		0			
	④ 執行率	97.9%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.16/0	0.26 / 0.00	0.26 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,280	2,080	2,080		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,208	6,213	2,080						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	保険料返戻金	種類	雑入	実績金額	23	決算付属資料	46	頁
	特財名称	生涯スポーツ推進事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	385	決算付属資料	40	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	スポーツ教室受講者数	人	547/500	665/500	607 / 500	/ 500	500		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	スポーツ教室数	教室	15/16	16/16	15 / 16	/ 16	16		
	単位あたりコスト		262.56	245.60	275.51	/	/		
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	スポーツに対する市民ニーズも高く多様化しており、福知山市スポーツ推進計画に基づく生涯スポーツの振興は必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	スポーツ用品の貸し出しやスポーツ教室の開催など、市民が気軽に参加するための費用として妥当と考える。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	受講者数も目標数を達成しており、スポーツを始めるきっかけとして非常に有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	スポーツ教室の実施やスポーツ用品の貸出等、市民のスポーツ実施機会を提供することができた。また、児童・生徒をはじめとする市民へのスポーツの実施機会を提供することができており、「はじめる」きっかけとしての役割を果たし、生涯スポーツの振興を進めることができています。		
これまでの課題及び今後の方向性	アンケート調査などにより、市民ニーズに即した教室等を実施し、スポーツを「する」機会を創出して行く必要がある。また、スポーツ推進委員事業やスポーツ少年団育成事業とも連携して、本市の生涯スポーツ振興を図ることが必要である。		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	四都市体育大会事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	森田 哲也					
会計情報	事業コード	650107	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	252	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (北部4市の輪番により実施)												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	広く市民の間にスポーツを普及し、健康増進と体力の向上をはかり、スポーツを通じて、両丹地方相互の友好並びに親睦を図ることを目的とする。 (四都市体育大会趣旨)								
対象者	四都市体育大会参加者			対象者数	200	単位あたりコスト	22.7		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (大会当番市への負担金交付)								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	北部四市(福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市)の体育・スポーツ協会所属の団体・競技者による競技会の実施。 競技会は、年次で実施し、冬季大会(スキー種目)・春季大会(陸上競技等 18競技22種目)の各競技の結果により、四市の総合順位を決定する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容				
	報償費	11			功労表彰等				
	需用費	34			印刷製本費、消耗品費				
	使用料及び賃借料	163			施設使用料・入館料等				
負担金補助及び交付金	415			四都市体育大会負担金					

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	981	879	779		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	981	879	779						
予算財源内訳	① 一般財源	981	879	779					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	50	△ 256	0		0			
	② 配当予算	1,031	623	0		0			
	③ 執行額	847	623	0		0			
	④ 執行率	82.2%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.39/0	0.49 / 0.00	0.49 / 0.00	0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	3,120	3,920	3,920		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,967	4,543	3,920						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額		決算付属資料		頁		
	特財名称	種類	実績金額		決算付属資料		頁		
	特財名称	種類	実績金額		決算付属資料		頁		

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	参加者数(市)	人	626/600	687/690	615 / 690	/ 690	690		
	総合順位	位	2/1	1/1	1 / 1	/ 1	1		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	実施競技数	競技	19/19	19/19	18 / 19	/ 19	19		
	単位あたりコスト		50.63	44.60	34.60	/			
	単位あたりコスト				/				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	四市のスポーツを通じた交流として、各市に定着し、歴史・実績を積み重ねており、市民注目度も高い。 スポーツ協会加盟の四市の各競技協会が自ら競技会を運営しており、交流や親睦を目的達成のためには必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	競技協会が中心となって大会運営をおこなっており、事業の効率性は高い。 しかし、施設の老朽化等に伴う、会場確保なども課題であり、広域的な施設利用や開催日の分散化など実施体制について、四市による協議が必要である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	北部四市におけるスポーツ振興・競技力向上において、十分な実績を果たしている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	北部四市におけるスポーツ振興・競技力向上と四市の親睦を図る大会として、歴史を積みかさね競技者のみならず市民にも定着しており、十分な実績を果たしている。		
これまでの課題及び今後の方向性	長年の実施により定例化しているが、国体予選など他大会も同時期に開催されているため、選手確保が困難な競技もあり、実施競技・分散開催も含めた実施時期や会場等、現在の状況に応じた見直し等の検討が必要である。		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	福知山マラソン大会支援事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	森田 哲也					
会計情報	事業コード	650109	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	252	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
計画期間	開始年度	平成3年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画							
根拠法令等	福知山マラソン交付金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	本市の一大イベントであり全国からの多数の参加により、全国有数の歴史・実績・規模を誇る福知山マラソン大会を支援することで、大会を通じた地域活性化を図ることを目的とする。								
対象者	市民、マラソン大会参加者、応援者			対象者数	100,000	単位あたりコスト	0.2		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山マラソン実行委員会								
事業概要 (簡条書き)	フルマラソン10,000人、サブ種目(5km、ファンラン)1700人の参加者を募り、三段池公園をスタート・フィニッシュとした福知山マラソン(日本陸連公認大会)の実施にかかる支援として、実施主体である福知山マラソン実行委員会に対して交付金を交付する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容				
	負担金補助及び交付金	12,000			福知山マラソン実行委員会交付金				

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	12,000	12,000	12,000	14,000	予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	12,000	12,000	12,000	14,000					
予算財源内訳	① 一般財源	5,600	5,600	5,600	5,600				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	6,400	6,400	8,400					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	12,000	12,000	0	0				
	③ 執行額	12,000	12,000	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.68/0	0.79 / 0.00	0.79 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	5,440	6,320	6,320	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	17,440	18,320	6,320						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	参加者申込人数	人	10270/11700	10272/11200	9480 / 11200	/ 11200	11200		
	RUNNET大会レポート評価点	点	86.3/100	71.8/100	71 / 100	/ 100	100		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	事務局会議開催回数	回	10/12	14/12	8 / 12	/ 12	12		
	単位あたりコスト		2000.00	857.00	1500.00	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	全国有数のフルマラソン大会として、内外に認知されており、他のイベントによる代替はできない。開催に係る許認可や医療・救急体制など安全性の確保の面で、民間事業者単独による実施はできない。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	参加料は全国平均を見ても妥当なレベルである。過去のノウハウも最大限に活かし、効率的に運営されている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	多様な参加者ニーズにも対応するため、他大会の情報収集の積極的に行っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	京都府北部地域最大のイベントであるとともに全国有数のマラソン大会として内外で認知されており、大会運営においては堅実に実績を積み重ねている。		
これまでの課題及び今後の方向性	全国的にマラソン大会は増加の傾向にある。地方大会として大規模大会や都市型マラソンと競合していくためには、地域の特色を活かした大会運営をしていく必要がある。市民参加型のマラソン大会として、地域と一体となり、質の高い大会運営により参加者を確保し、地域活性化を図っていく必要がある。		

VI 他部署評価	
事中学業評価	事務事業評価後に記入
事後事業評価	事務事業評価後に記入

VII 評価をふまえた次年度事業方針		
	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和3年度予算編成時に記入

VIII 予算反映結果	
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	スポーツ振興事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	森田 哲也						
会計情報	事業コード	650111	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	252	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画							
根拠法令等	福知山市補助金交付要綱・福知山市スポーツ振興事業補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	トップアスリート育成支援事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	全国規模の大会等を誘致・開催し、市民のスポーツへの関心を高めるとともに、市民の「みる」「ささえる」スポーツ大会を創出し、市民のスポーツへの関心と競技力を高め本市の更なるスポーツ振興を進めることを目的とする。								
対象者	市民	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	(一財)福知山市スポーツ協会								
事業概要 (簡条書き)	○スポーツ協会との共催事業開催のための負担金 ○本市で開催する近畿規模、全国規模の大会に対する補助金								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	1	協議旅費						
	負担金補助及び交付金	2,270	共催事業負担金、全国規模等大会補助金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	2,970	3,270	2,605		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	2,970	3,270	2,605						
予算財源内訳	① 一般財源	1,070	1,370	1,105					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	1,900	1,900	1,500					
決算情報	① 流充用額	△ 490	△ 299	0		0			
	② 配当予算	2,480	2,971	0		0			
	③ 執行額	2,220	2,271	0		0			
	④ 執行率	89.5%	76.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.06/0	0.46 / 0.00	0.46 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	480	3,680	3,680		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,700	5,951	3,680						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	スポーツ振興事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	1,200	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	主催大会参加選手・役員数	人	2,330/3,000	1,842/3,000	766 / 3000	/ 3000	3000		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	補助対象大会数	回	5/10	5/10	4 / 10	/ 10	10		
	単位あたりコスト		468.40	444.00	567.83				
	主催事業大会数	回	6/8	6/8	5 / 8	/ 8	8		
	単位あたりコスト		390.33	370.00	454.26				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	大規模大会の市内開催により市民のスポーツを「みる」機会の提供に繋がっている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	大会運営は補助金のほか、主催団体の自主財源(参加費、協賛金等)により行っている。また、全国各地から多くの参加者が本市を訪れることによる経済効果も期待できる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	大規模大会開催のインセンティブとなっているスポーツ協会との共催事業については、競技団体が主管することにより組織力の強化にも寄与している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価			<ul style="list-style-type: none"> ○全日本ソフトテニス実業リーグのように、本市での開催が定着している大会もあり、本市の知名度向上につながっている。 ○全国大会等やスポーツ協会との共催事業は、競技団体が主管として競技運営に携わっており、各競技団体の組織力向上や運営ノウハウの蓄積に寄与している。 ○新型コロナウイルスの影響により市民駅伝、全関西卓球大会を、雪不足により市民スキー大会を中止したため参加者が減少した。
これまでの課題及び今後の方向性			<ul style="list-style-type: none"> ○トップアスリートの育成や指導者の育成が課題である。 ○全国規模の大会の継続的開催による市民スポーツの関心向上に繋げるため「する」「ささえる」スポーツとして市民が参画できる環境整備が必要である。

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	国際大会開催準備事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	森田 哲也						
会計情報	事業コード	650113	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	252	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	ワールドマスターズゲームズ2021関西(WMG)の成功に向け、準備体制の強化を図り、受入態勢を整える。								
対象者	全市民	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.8				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (WMG実行委員会への負担金)								
委託先・実施主体等	(株)JTB京都中央支店福知山営業所・(株)ウエスコ京滋支店・福知山地方森林組合・東武トップツアーズ(株)京都支店								
事業概要 (箇条書き)	○三段池公園テニスコートの増設 ○WMG福知山市実行委員会及び京都府実行委員会への負担金 ○WMGのPR旅費 ○基金積立金								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	862	三段池公園テニスコートクラブハウスシャワー修繕 等						
	委託料	20,933	三段池公園テニスコート設計業務、WMG2021関西福知山市実施計画策定業務、三段池公園テニスコート樹木伐採業務 等						
	工事請負費	32,600	三段池公園テニスコート増設工事						
	負担金補助及び交付金	877	チャレンジデー補助金、WMG京都府実行委員会補助金						
共済費・賃金・旅費・役員費	539	三段池公園テニスコート増設に伴う発掘作業経費 等							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	374	112,694	145,895	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	86,844	0					
	③ 繰越予算	0	△ 147,642	147,642					
	前年度繰越	0	0	147,642					
	次年度繰越	0	△ 147,642	0					
小計(①~③)	374	51,896	293,537						
予算財源内訳	① 一般財源	374	5,499	15,042					
	② 国支出金	0	0	90,000					
	③ 府支出金	0	2,947	16,400					
	④ 地方債	0	42,800	150,600					
	⑤ その他特財	0	650	21,495					
決算情報	① 流充用額	2	4,582	0	0				
	② 配当予算	376	56,478	0	0				
	③ 執行額	348	55,811	0	0				
	④ 執行率	92.5%	98.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.16/0	0.83 / 0.00	0.83 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,280	6,640	6,640	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,628	62,451	6,640						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	国際大会開催準備事業(京都地連携)	種類	教育費府補助金	実績金額	10,430	決算付属資料	30	頁
	特財名称	国際大会開催準備事業(公適債)	種類	教育債	実績金額	29,300	決算付属資料	54	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		WMG実施計画策定	計画			1 / 1	/	1	
	チャレンジデーの参加率	%			39.4 / 50	/ 50	50		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	実行委員会	回			2 / 2	/ 3	3		
	単位あたりコスト				27905.42				
	主要大会等でのPR	回			4 / 5	/ 10	10		
	単位あたりコスト				13952.71				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	世界最大級の生涯スポーツの祭典である「ワールドマスターズゲームズ2021関西」ソフトテニス競技を円滑に運営し成功に繋げるための準備として必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	「ワールドマスターズゲームズ2021関西」ソフトテニス競技を実施する福知山市実行委員会には民間各種団体の参画を得ており、多くの意見を踏まえることにより効率的な準備をすすめている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	「ワールドマスターズゲームズ2021関西」を円滑に開催するための事業として有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	○市民のスポーツ参加の促進や、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」等のPRのため、チャレンジデーを実施し全市民のうち39.4%の参加を得た。		
これまでの課題及び今後の方向性	○「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の市内での機運醸成や参加者獲得が課題である。 ○大会終了後においても、市内に大会レガシーを残すことができるよう、市全体で事業に取り組む。 ○市内での大規模大会開催による市民の「みる」「する」「ささえる」スポーツへの参画を促進するための取り組みを引き続きすすめていく。		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	トップアスリート育成支援事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	森田 哲也					
会計情報	事業コード	650123	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	252	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画							
根拠法令等	○福知山市トップアスリート全国大会出場事業補助金交付要綱、○福知山市ジュニア育成大会等運営補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	競技者やジュニアスポーツの支援に加え、市外スポーツ団体との交流を促進し、本市の競技スポーツの普及と振興を図り全国大会等へ出場するトップアスリートの育成を目的とする。								
対象者	トップアスリートをはじめとする市内競技者(各競技協会登録者数)	対象者数	8,400	単位あたりコスト	0.6				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	—								
事業概要 (箇条書き)	○トップアスリート全国大会出場補助金:全国大会出場にかかる用具費、旅費の一部を補助(1/2:上限20千円) ○ジュニア育成大会等運営補助金:小中学生の競技力向上事業の実施に必要な(団体内謝金等は対象外)経費の一部を補助(1/2:上限100千円) ○スポーツ合宿補助金:本市で実施する本市学校、競技団体等との交流等を伴う合宿に対して経費の一部を補助(1500円/1人泊)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	517	福知山市トップアスリート全国大会出場補助金						
	負担金補助及び交付金	100	福知山市ジュニア育成大会等運営補助金						
	負担金補助及び交付金	1,554	福知山市スポーツ合宿補助金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	4,200	2,700		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	0	4,200	2,700						
予算財源内訳	① 一般財源	0	2,700	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	1,500	2,700					
決算情報	① 流充用額	0	△ 1,886	0		0			
	② 配当予算	0	2,314	0		0			
	③ 執行額	0	2,171	0		0			
	④ 執行率		93.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0/0	0.33 / 0.00	0.33 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	2,640	2,640		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	4,811	2,640						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	トップアスリート育成支援(きょうと地域)	種類	教育費府補助金	実績金額	574	決算付属資料	30	頁
	特財名称	スポーツ合宿補助事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	1,554	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	全国大会出場者(団体)	人			99 / 200	/ 200	200		
					/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	補助金申請件数	件			33 / 50	/ 50	50		
	単位あたりコスト				65.79	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	オリンピック・パラリンピックイヤーを迎え、全国的にスポーツへの関心が高まる中、本市競技者が全国大会等に出場することは競技力の向上に加え、市民のスポーツへの関心の高揚につながる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	各事業の実施後、事業費報告により精査を行っており、補助金の使途は明確である。各競技協会等には、経費の節減等に関する助言を行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	福知山市スポーツ推進計画の理念である「する」「みる」「ささえる」「はじめる」スポーツの推進に寄与している。本市のジュニア層の選手の競技力向上と心身の健全な発達をより一層促進することができる。全国大会等への出場の際の負担軽減になる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	福知山市スポーツ推進計画の理念のうち、競技スポーツの振興に関り、全国大会出場にあたってスポーツ協会と協働で激励会を実施するなどし、市のPRにつながる取組を通じて福知山市を全国に発信することができている。オリンピック・パラリンピックイヤーを迎え、青少年にもスポーツへの興味が高まっていくことを機に、将来的にトップアスリートとして本市を代表して全国で活躍することのできる競技者の育成につながるものである。		
これまでの課題及び今後の方向性	R01年度からの新規事業であり、更に事業内容の周知を行い利用者増を図る。また、様々なニュースポーツの誕生等、スポーツの多様化が著しい今日、広く市民のスポーツ競技力の向上を図れるよう制度について検討する必要がある。将来的には、スポーツ振興協働化事業と合わせ民間資金や活力を活用し、柔軟な事業運営を行い、本市の競技者の競技力向上と郷土愛をはぐくむとともに、全国で活躍するトップアスリートの育成を図る事業とする。		

事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針	
方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果	
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	オリンピック聖火リレー事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	森田 哲也					
会計情報	事業コード	650129	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	252	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	全国47都道府県をリレーする東京2020オリンピック聖火リレーのうち、福知山市を通過する聖火リレーを、東京2020組織委員会、東京2020オリンピック聖火リレー京都府実行委員会と連携して実施する。								
対象者	全市民	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	アートボックス								
事業概要 (箇条書き)	○ミニセレブレーション(出発式)の運営 ○聖火リレーの運営 ○市内小学生観覧会の実施								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	507	聖火リレーPR用品(ノボリ等)の購入 等						
	役務費	12	郵送料						
	委託料	154	聖火リレー交通規制看板作成						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	0	7,258		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	2,177	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	0	2,177	7,258						
予算財源内訳	① 一般財源		0	0					
	② 国支出金		0	0					
	③ 府支出金		0	1,850					
	④ 地方債		0	0					
	⑤ その他特財		2,177	5,408					
決算情報	① 流充用額	0	△ 1,505	0		0			
	② 配当予算	0	672	0		0			
	③ 執行額	0	672	0		0			
	④ 執行率		100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0/0	0.72 / 0.00	0.72 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	5,760	5,760		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	6,432	5,760						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	オリンピック聖火リレー事業補助金	種類	教育費府補助金	実績金額	142	決算付属資料	30	頁
	特財名称	オリンピック聖火リレー事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	400	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	観覧者数(小学生)	人				/ 700	700		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	イベント周知事業所数	件			255 / 150	/ 150	300		
	単位あたりコスト				2.64				
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	東京2020オリンピック聖火リレーは、市民の注目度も高く東京2020組織委員会が実施主体となり官民協働により実施する事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	必要物品の多くは東京2020組織委員会が指定する仕様であり、統一のものである。聖火リレーの運営方法も組織委員会で細部まで定められている中でコスト意識をもって実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	全国が注目する聖火リレーを実施することは、市民のスポーツへの関心の高揚に非常に有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	○世紀のスポーツイベントである東京2020オリンピックの機運醸成や、ボランティアとして参加したり観覧するなど聖火リレーを通じて市民の地域への愛着の醸成に繋がる事業である。		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>○交通規制による市民生活への影響を最低限に抑えるため、市民への周知を徹底することが必要である。</p> <p>●令和2年3月に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため東京2020オリンピック・パラリンピックは翌年への延期が決定された。これに伴い聖火リレーも延期となった。</p>		

VI 他部署評価	
事中学業評価	事務事業評価後に記入
事後事業評価	事務事業評価後に記入

VII 評価をふまえた次年度事業方針	
方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和3年度予算編成時に記入

VIII 予算反映結果	
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	インターハイ準備事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	森田 哲也					
会計情報	事業コード	650151	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	252・254	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (全国高等学校体育連盟等との連携)												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	令和2年度に三段池公園で開催される令和2年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技を全国高等学校体育連盟等と連携し円滑に運営するための準備をすすめる								
対象者	インターハイソフトテニス競技参加者	対象者数	3,000	単位あたりコスト	0.9				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	○常任委員会等会議出席 ○令和元年度開催地視察								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	420	R1年度インターハイ(宮崎市)視察旅費 等						
	需用費	2	燃料代						
	使用料及び賃借料	28	R1年度インターハイ(宮崎市)視察レンタカー						
	備品購入費	120	庁内端末購入						

III 予算執行状況														
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)	R3(要求年度)									
予算情報	① 当初予算	0	922	0	予算編成時記入									
	② 補正予算	0	0	0										
	③ 繰越予算	0	0	0										
	前年度繰越	0	0	0										
	次年度繰越	0	0	0										
小計(①~③)	0	922	0											
予算財源内訳	① 一般財源		0	0										
	② 国支出金		0	0										
	③ 府支出金		0	0										
	④ 地方債		0	0										
	⑤ その他特財		922	0										
決算情報	① 流充用額	0	△ 352	0	0									
	② 配当予算	0	570	0	0									
	③ 執行額	0	570	0	0									
	④ 執行率		100.0%											
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)		0.28 / 0.00											
	② 概算人件費		2,240	0	0									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	2,810	0											
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	インターハイ準備事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	570	決算付属資料	40	頁					
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁					
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁					

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	実行委員会総会	回			2 / 2		2		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	開催地視察	回			1 / 1		1		
	単位あたりコスト				570.27				
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ○全国高等学校総合体育大会は、全国の約6,000校、約3万6千人の選手や指導者が参加する国内最大規模のスポーツ大会であり、高校生のスポーツ活動の成果を発揮する場として必要である。 ○高校生の課外活動のひとつでもあり、民間事業者などが参入して実施する事業ではない。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ○インターハイ出場校には、参加費として負担を求めている。 ○大会は、一定の基準により積算された負担金により運営される。 ○全国高体連として協賛金やクラウドファンディングなどにより資金の確保もしている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ○先事例等を研究の上、最低限のコストで実施するよう検討しつつ事業をすすめている。 ○大会運営は、高体連を構成している学校教諭によって運営され、効率性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	○高等学校体育連盟や競技団体と連携し、着実にインターハイの開催準備をすすめている。		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年度インターハイは、東京2020オリンピック・パラリンピックの影響で初めての全国分散開催となったものであり、運営ノウハウについて前例踏襲できない部分が多くある。また、従前に比べ、全国高体連からの負担金が削減されており、より低コストでの運営を求められている。 ○事業の内容や会場設置費などの精査をすすめ、低コストでの事業運営をすすめていく。 ●令和2年4月に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)は中止が決定された。 		

VI 他部署評価	
事中学業評価	事務事業評価後に記入
事後事業評価	事務事業評価後に記入

VII 評価をふまえた次年度事業方針		
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和3年度予算編成時に記入

VIII 予算反映結果	
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	体育施設維持管理事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	森田 哲也						
会計情報	事業コード	650323	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	02 体育施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	254	頁
施策体系	施策コード	020801	施策名	スポーツを振興する									
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画・福知山市公共施設マネジメント基本計画							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	体育施設設備整備事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	体育施設の適切な維持管理により、市民ニーズに即した安心・安全なスポーツ環境を提供する。								
対象者	全市民	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.7				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	(一財)福知山市スポーツ協会、株式会社クリア他								
事業概要 (簡条書き)	・指定管理制度による主要体育施設の管理運営 ・体育施設の必要な小規模修繕 ・その他の体育施設の維持管理								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	26	普通旅費						
	需用費	3,908	消耗品費、電気料他						
	役員費	376	電信・電話料等						
	委託料	42,645	公の施設の管理業務(指定管理)、夜久野町農業者トレーニングセンター合併浄化槽清掃及び保守点検業務他						
使用料及び賃借料他	2,024	土地・建物借上料、指定管理業務の覚書に基づく補償金(補償補填及び賠償金)							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	48,616	48,921	45,719		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	48,616	48,921	45,719						
予算財源内訳	① 一般財源	45,824	45,051	41,972					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	2,792	3,870	3,747					
決算情報	① 流充用額	702	444	0		0			
	② 配当予算	49,318	49,365	0		0			
	③ 執行額	48,541	48,978	0		0			
	④ 執行率	98.4%	99.2%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.45/0	0.82 / 0.00	0.82 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,600	6,560	6,560		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	52,141	55,538	6,560						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	鹿倉運動公園他使用料	種類	教育使用料	実績金額	1,548	決算付属資料	12	頁
	特財名称	自動販売機設置貸付収入(温水プール)他	種類	財産貸付収入	実績金額	823	決算付属資料	34	頁
	特財名称	ネーミングライツ料他	種類	雑入	実績金額	1,403	決算付属資料	44	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	指定管理施設利用者数	人	192,831/200,000	170,185/200,000	140000 / 200000	/ 200000	200000		
					/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	指定管理施設数	施設	3/3	3/3	3 / 3	/ 3	3		
	単位あたりコスト		17680.00	16180.00	16325.98	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	体育施設の適正かつ安心・安全な利用に向けて必要な事業であり、主要施設は、指定管理者制度を導入し民間事業者により運営している。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	指定管理者制度により、効果的・効率的に運営している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<p>市民のスポーツ環境を把握するために施設利用者数を計上することは適当である。また、利用者数も指定管理者により適正に把握されている。</p> <p>ネーミングライツを導入するなど認知度を高めてきた。</p> <p>団体の定期的な利用があるなど施設の有効性は高い。</p>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	適切に施設の管理運営を行っており、開館時間の柔軟な対応等、ニーズに即して対応もされており、利便性も向上し、利用件数・利用者数についても一定の成果があった。		
これまでの課題及び今後の方向性	本市スポーツ推進計画に基づき、効率性の高い施設の管理運営手法についても検討することが必要である。		

VI 他部署評価	
事中学業評価	事務事業評価後に記入
事後事業評価	事務事業評価後に記入

VII 評価をふまえた次年度事業方針		
	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和3年度予算編成時に記入

VIII 予算反映結果			
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:)	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)	<input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/>

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	体育施設設備整備事業												
事業担当	所属	地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	森田 哲也						
会計情報	事業コード	650337	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	02 体育施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	254	頁
施策体系	施策コード	020802	施策名	スポーツ施設を整備する									
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画・福知山市公共施設マネジメント基本計画							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	国際大会開催準備事業、体育施設維持管理事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	体育施設の維持保全と機能充実により、施設利用者の利便性と安全性の向上を図ることを目的とする。								
対象者	全市民	対象者数	77,600	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	体育施設の維持・機能性向上に向け、改修整備等を実施する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	2,891	消耗品費、施設修繕料						
	役務費	84	その他手数料(公認継続検定他)						
	使用料及び賃借料	23	施設使用料・入館料等						
	工事請負費	4,316	体育施設改修工事(第4種公認陸上競技場継続検定整備工事)						
	備品購入費	501	施設備品(温水プール用 水中ポンプ2台)						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	10,500	12,331	2,000		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	10,500	12,331	2,000						
予算財源内訳	① 一般財源	6,700	4,631	900					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	3,800	5,700	0					
	⑤ その他特財	0	2,000	1,100					
決算情報	① 流充用額	△ 335	△ 2,548	0		0			
	② 配当予算	10,165	9,783	0		0			
	③ 執行額	8,651	7,814	0		0			
	④ 執行率	85.1%	79.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.08/0	0.24 / 0.00	0.24 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	640	1,920	1,920		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,291	9,734	1,920						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	体育施設設備整備事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	1,230	決算付属資料	40	頁
	特財名称	体育施設設備整備事業(一般事業債)	種類	教育債	実績金額	3,200	決算付属資料	54	頁
	特財名称	ネーミングライツ料	種類	雑入	実績金額	1,000	決算付属資料	44	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	所管体育施設利用者数	人	228,585/230,000	199,609/230,000	180000 / 230000	/ 230000	230000		
					/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	改修・修繕実施施設数	事業	1/1	4/3	2 / 2	/ 1	3		
	単位あたりコスト		36427.00	2162.80	3907.22	/	/		
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	多様化するスポーツニーズに対応した機能向上と、施設老朽化に伴う維持保全は必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 改修工事等の執行にあたっては、競争入札等を採用し、競争の原理のもと適正に実施している。 対象とする施設についても福知山市スポーツ推進計画及び福知山市公共施設マネジメント基本計画に基づき選定している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	施設整備により、利用者の利便性の向上と安全確保を図ることができるとともに、機能性向上による大規模大会の誘致にも有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	三段池公園テニスコートの整備により、「全日本実業団ソフトテニス選手権大会」や「全日本シニアソフトテニス選手権大会」などを開催した。また、利用者も増加傾向にあり、施設利用者のニーズに沿った整備となった。		
これまでの課題及び今後の方向性	施設の老朽化や市内各地に点在する多くのスポーツ施設の機能集約や利活用についての検討が必要であり、本市スポーツ推進計画及びアセットマネジメントに基づき、効率の良い施設の維持管理修繕が必要である。		

VI 他部署評価

事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

事後事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	昭和新町駐車場管理事業									
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	芦田 直也		
会計情報	事業コード	810498	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費	会計	01 一般会計 決算付属資料 72 頁
施策体系	施策コード	020105	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする						
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名					
根拠法令等										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	(財)福知山市開発公社の解散に伴い、本市に移管された昭和新町226番地ほか4筆を最終的な活用方針が決定するまでの間、月極駐車場として管理運営する。								
対象者	月極駐車場利用者	対象者数	8	単位あたりコスト	149.4				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	公益社団法人 福知山市シルバー人材センター								

事業概要 (簡条書き)	(財)福知山市開発公社の解散に伴い本市に移管された、昭和新町月極駐車場の貸付料収納及び払込と維持管理委託								
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	75	その他維持管理業務						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	121	105	106	予算編成時記入
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①~③)	121	105	106		
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	121	105	106	
決算情報	① 流充用額	0	△ 30	0	
	② 配当予算	121	75	0	
	③ 執行額	119	75	0	
	④ 執行率	98.0%	100.0%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.07/0	0.14 / 0.00	0.14 / 0.00	
	② 概算人件費	560	1,120	1,120	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	679	1,195	1,120		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	土地建物貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	75	決算付属資料	32	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	駐車場利用区画数	区画	11 / 12	7 / 12	7 / 12	/ 12	0
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	駐車場新規利用区画数	区画	0	0	0	/ 0	0
	単位あたりコスト						
	単位あたりコスト						

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	△	現状として、土地の有効活用による財源確保の面からも継続した事業展開が必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	利用者の利便性及び財源の確保が図れる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	最終的な活用方針が決定するまでの間の活用方法として実施している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	駐車場として貸付を行い、活用方針が決定するまでの土地を活用できた。		
これまでの課題及び今後の方向性	最終的な活用方針が決定するまでの間、新規貸し出しはせず、現在の利用者のみ引き続き同一条件により駐車場として貸付を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	お城で忍者事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治					
会計情報	事業コード	230106	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	88	頁
施策体系	施策コード	060301		施策名						観光客の増加を促進する			
計画期間	開始年度	平成9年度		終了予定年度	令和元年度		関連計画名						
根拠法令等	お城で忍者事業実行委員会補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山城の魅力を全国に発信する。												
対象者	イベント参加者				対象者数	50		単位あたりコスト	48.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	お城で忍者事業実行委員会												
事業概要 (箇条書き)	■福知山城の魅力を全国に発信することを目的として、忍術大会及び忍術体験会を開催する。 実行委員会を組織し企画運営を行い、まちづくり団体や市民ボランティアの協力で競技に関する大道具・会場運営を行い、市民協働で実施する。 実行委員会:福知山観光協会、尼子騷兵衛事務所(忍たま乱太郎の原作者「尼子騷兵衛」事務所)、福知山市で構成。 主な事業:「忍たま武道大会」や「忍者でまちぶら」を実施。 令和元年度の「忍者でまちぶら」は、警報発令のため中止。												
主な支出に係る 業務内容と経費			支出実績(R1)	主な業務内容									
	役務費			1 通信運搬費									

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	604	394		0		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①~③)	604	394		0							
予算財源内訳	① 一般財源	38	0		0						
	② 国支出金	0	179		0						
	③ 府支出金	0	0		0						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	566	215		0						
決算情報	① 流充用額	△ 9	0		0		0				
	② 配当予算	595	394		0		0				
	③ 執行額	567	1		0		0				
	④ 執行率	95.2%	0.2%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.3/0	0.30	/	0.00	0.30	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	2,400	2,400		2,400		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,967	2,401		2,400							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		メディア取材件数	回	8 / 9	0 / 9	0 / 9	/ -
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	実施回数	回	1 / 1	1 / 2	1 / 2	/ -	-
	単位あたりコスト		449.00	567.00	0.91		
	応募者人数	人	102 / 100	38 / 100	57 / 100	/ -	-
単位あたりコスト		4.40	14.92	0.02			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	事業開始初期において福知山城を全国にPRするためアニメキャラクターや原作者の影響力を活用して事業を展開。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	予算の範囲内で市民の協力も得ながら実施。年々参加数は減少傾向となっていた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	事業開始初期は忍者大会等のイベントによる福知山城のPRは有効に機能。平成30年度以降は「明智光秀築城の城」としてのPR戦略に移行している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和元年度は台風等大雨警報発令により「忍者でまちぶら」は中止となったが、平成31年4月のお城まつりの一つのプログラムとして「光秀忍たま武道大会」の開催により、子どもたちに福知山城のPRができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	事業開始当初は「忍たま乱太郎」のアニメや原作者の尼子騷兵衛氏の全面的な協力によりイベントを行い、イベントの情報とともに事業目的である福知山城や福知山市のパブリシティの獲得ができた。一方で20年以上継続したイベント、「くノ一武道大会」など忍たま乱太郎原作者の全面的な協力が得られにくいことや参加者数の減少など事業継続に課題があり、令和元年度に福知山観光協会と尼子騷兵衛事務所と協議し、令和2年度より実行委員会事務局を観光協会に移管。今後お城まつりの中のプログラムの一つとして予算を伴わず市民の協力も得ながら子どもをターゲットとした取り組みを継続していく。		

VI 他部署評価	
事中学業評価	事務事業評価後に記入
事後事業評価	事務事業評価後に記入

VII 評価をふまえた次年度事業方針		
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和3年度予算編成時に記入

VIII 予算反映結果			
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:)	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	再エネ・省エネ推進事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	芦田 直也					
会計情報	事業コード	540709	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	05 環境保全費	会計	01 一般会計	決算付属資料	158	頁
施策体系	施策コード	040501	施策名	環境を大切にしたい生活・事業活動を推進する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名	福知山市再生可能エネルギープラン、福知山市環境基本計画							
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、福知山市家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金交付要綱、福知山市雨水貯留槽設置補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	SDGsやエシカル消費等の動きに呼応し、地球温暖化等の気候変動対策として市内の再エネ・省エネ導入を進めるとともに、地域内でエネルギーと経済の循環を図ることで、様々な地域課題の解決につなげ、持続可能で豊かな地域を実現する。												
対象者	全市民	対象者数	79,471	単位あたりコスト	0.2								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	市民、事業所、金融機関、龍谷大学等												

事業概要 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> 再エネ活用プラン及び事業化検討会議の提言を基本的スタンスとして、地域貢献型再エネ協定に基づく事業を進める。 各家庭でのエネルギーの自給自足を促進するため、再エネ・省エネ設備導入に対し、予算の範囲内で補助金を支給する。 <ul style="list-style-type: none"> ○家庭向け自立型再エネ補助 次の①と②の合計額(上限:補助対象経費の1/2以内) <ul style="list-style-type: none"> ①太陽光公称最大出力1kW当たり1万円(上限4万円) ②蓄電池蓄電容量1kWh当たり3万円(上限18万円)に1万円加算 ○雨水貯留槽設置費補助 雨水貯留槽購入費の3/4(限度額4万円) 福知山市クールチョイス宣言に基づく各種啓発を実施する。 CO2ポテンシャル診断調査を実施する。 												
----------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容									
	委託料	6,269	クールチョイス啓発、CO2削減ポテンシャル診断等									
	負担金補助及び交付金	3,408	再エネ補助 15件 3,298千円、雨水補助 4件 110千円									
	役員費	130	掲載広告、新聞折込									
	旅費	53	普通旅費									

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	10,280	11,293	6,653	予算編成時記入				
	② 補正予算	△ 6,000	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	4,280	11,293	6,653						
予算財源内訳	① 一般財源	680	716	1,153					
	② 国支出金	0	7,077	0					
	③ 府支出金	3,600	3,500	3,500					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	4,280	11,293	0					
	③ 執行額	3,508	9,861	0					
	④ 執行率	82.0%	87.3%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.86/0	0.80 / 0.00	0.80 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	6,880	6,400	6,400	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,388	16,261	6,400						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	CO2排出抑制対策事業費等補助金	種類	衛生費国庫補助金	実績金額	4,239	決算付属資料	18	頁
	特財名称	CO2削減ポテンシャル診断推進事業補助金	種類	衛生費国庫補助金	実績金額	1,962	決算付属資料	18	頁
	特財名称	家庭向け自立型再エネ事業補助金	種類	衛生費府補助金	実績金額	3,148	決算付属資料	26	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	再エネ自給率	%	0	3.6(未確定のため直近数値)	3.6(直近数値) / 3.8	/ 4	6.40%
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	家庭向け再エネ補助件数	件	0	10/10	15 / 20	/ 15	累計50
	単位あたりコスト		0.00	350.80	657.39		
	雨水補助件数	件	0	5/20	4 / 20	/ 15	累計50
	単位あたりコスト			701.60	2465.21		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<p>パリ協定の発効やSDGsなど国際的に持続可能な発展に向けた取り組みが進む中、本市もこの取り組みを強化するため、平成31年4月23日に「福知山市クールチョイス宣言」を行った。近年の度重なる浸水被害等、市内でも気候変動の影響が生じ、その原因となる化石燃料の使用により域外に約200億円もの資金が流出している現状があり、市が率先して市民や事業者をはじめとするステークホルダーに呼びかけることで、地域全体が理解を深め、一体となってエネルギーと経済の地域内循環に取り組みるよう推進した。</p>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<p>事業の実施に当たっては、関係団体や民間事業者等との協働や、国や府の補助金を最大限活用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭向け自立型再エネ補助…府補助 雨水貯留槽設置費補助…府補助 クールチョイス推進…環境省補助 CO2ポテンシャル診断調査…環境省補助
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	<p>環境省や龍谷大学、京都大学、地球温暖化防止活動推進センター等の研究調査結果及び先進事例を十分活用し、地域貢献型再エネ協定に基づく事業を推進している。成果実績であるエネルギー自給率は年々上昇しており、最終目標に近づいている。しかし、電力自由化等により、近年、自給率の把握が困難になってきている。</p>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> H30年度から「地球温暖化対策再エネ・省エネ推進事業」と「災害対策再エネ・省エネ推進事業」と統合し、新たに「再エネ・省エネ事業」として実施。環境政策室の環境・再生エネルギー係を廃止し、産業観光課の産業・エネルギー係(旧産業振興係)へ移管。従事する人員削減を図った。 H30年度は、再エネの事業化を図るため、龍谷大学等5者で地域貢献型再エネ協定を締結した。 R1年度は、福知山市クールチョイス宣言を行い、地域全体を巻き込んだ「環境・経済・社会」の域内好循環の取り組みを開始。温暖化やエネルギー、経済の各種課題の共通認識と解決方法の啓発に努めた。(地域公共交通の利用促進や、省エネルギーの普及促進、再生可能エネルギーの普及促進、エコ防災の推進、地球温暖化対策を担う人材の育成など、脱炭素社会に貢献できる行動、サービス、商品などを賢く選ぶ「クールチョイス(賢い選択)」を地域全体で共有。小学生向けオリジナル教材も作成し配布) 成果実績であるエネルギー自給率は年々上昇しており、最終目標に近づいている。しかし、電力自由化等により、自給率の把握が困難になっている。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>環境省の地域経済循環分析(2013年)によれば、福知山市域のGDP約3300億円のうち、約200億円がエネルギー代金として域外に流出している。この代金を域内ですくった再生可能エネルギーや、エネルギーの消費を減らす省エネ設備に切り替えることができれば、費用を域内に留めて循環させることができ、地域経済の活性化につながる可能性がある。</p> <p>今後はSDGsの「つくる責任 つかう責任」についての取り組みにおいて、クールチョイスやエシカル消費といった「つかう側」だけに訴求するのではなく、「つくる側」への働きかけも進め、エネルギーの地産地消による地域経済付加価値の向上を図るとともに、持続可能な脱炭素型の社会を次代を担う子ども達に示す取り組みも行い、専門機関の研究調査結果及び先進事例を十分活用しながら、国・府をはじめ、教育機関・金融機関等と連携して、地域貢献型再エネ協定に基づく事業に取り組む。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
--------	--

事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	労働組合関連事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	芦田 直也					
会計情報	事業コード	320203	款	05 労働費	項	01 労働諸費	目	01 労働諸費	会計	01 一般会計	決算付属資料	164	頁
施策体系	施策コード	060402	施策名	働きやすい環境づくりを促進する									
計画期間	開始年度	昭和35年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市労働団体等補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	労働組合活動等を支援することで、勤労者の安全で快適な労働環境や生活環境の改善につなげるとともに、若者の定住促進やボランティア活動の推進などにより地域活力の向上に寄与する。												
対象者	市内の労働団体数	対象者数	4,736	単位あたりコスト	0.4								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	株式会社西日本エスエスシー												

事業概要 (簡条書き)	労働団体等の健全な労働運動を支援するため、市内の労働団体の活動に対し補助金の交付を行う。労働組合活動の拠点である労働会館の適正な維持管理に努める。												
----------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容									
	需用費	8	労働会館修繕費									
	役務費	47	建物共済保険料等									
	委託料	33	労働会館消防用設備点検									
	旅費	4	普通旅費									
	負担金補助及び交付金	1,318	連合京都、地労協、活動事業補助金									

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	2,002	1,823	1,598	予算編成時記入
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①~③)	2,002	1,823	1,598		
予算財源内訳	① 一般財源	1,888	1,653	1,371	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	114	170	227	
決算情報	① 流充用額	0	0	0	
	② 配当予算	2,002	1,823	0	
	③ 執行額	1,856	1,410	0	
	④ 執行率	92.7%	77.3%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.28/0	0.07 / 0.00	0.07 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	2,240	560	560	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,096	1,970	560		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	土地建物貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	170	決算付属資料	32	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	労働組合組合員数	人	5355/5000	4574/5000	4736 / 5000	/ 5000	5000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	労福協事業推進に係る会議	回	10	10	8 / 8	/ 8	8
	単位あたりコスト		148.50	185.60	176.24		
	単位あたりコスト		0	/	/	/	

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	労働団体等の健全な活動を支援することにより、勤労者全体の福祉の向上及び就労環境の改善並びに労働者の地位向上を図り、地域を支える人材の確保に寄与する。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	補助金の額は漸減させており、団体でもコスト削減に努力されている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	勤労者全体の福祉及び資質向上のための取組みや、ボランティア活動の実施などにより、地域社会に貢献している
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	勤労者全体の福祉の向上及び労働環境の改善、地域活力の維持・向上を推進していくため、労働団体等の活動に対し必要な支援を行った。労働会館の維持管理ができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	これまで無償で貸し付けていた労働会館について、平成29年度から賃貸借料を徴収することとした。ただし、経過措置として、平成29年度は80%減免、平成30年度は60%減免、平成31年度は40%減免、令和2年度は20%を減免する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	勤労者住宅融資制度利子補給事業									
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	芦田 直也		
会計情報	事業コード	320205	款	05 労働費	項	01 労働諸費	目	01 労働諸費		
施策体系	施策コード	060402	施策名	働きやすい環境づくりを促進する						
計画期間	開始年度	平成5年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名					
根拠法令等	福知山市勤労者住宅金融融資要綱									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本市に居住または居住しようとする勤労者に対し、住宅の新築、購入等を行うための資金の一部を低利かつ長期に融資することにより、住生活の向上を図り、若者の定住を促進する。								
対象者	本市居住または居住しようとする勤労者			対象者数	4	単位あたりコスト	45.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	労働金庫								
事業概要 (箇条書き)	勤労者住宅金融融資制度取扱い金融機関の近畿労働金庫に対し、金庫所定の融資利率と本市制度利率の差額を補助することで勤労者に対し低利融資を実現し、住生活の向上と若者の定住を図る。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	20	勤労者住宅融資制度利子補給金						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	133	42	22	予算編成時記入		
	② 補正予算	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0			
小計(①~③)	133	42	22				
予算財源内訳	① 一般財源	133	42	22			
	② 国支出金	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0			
	⑤ その他特財	0	0	0			
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0		
	② 配当予算	133	42	0	0		
	③ 執行額	44	20	0	0		
	④ 執行率	33.3%	47.2%				
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.05/0	0.02 / 0.00	0.02 / 0.00	0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	400	160	160	0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	444	180	160				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁	
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁	
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	利用者数	人	7	6	4	/	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	新規利用者数	人	0	0	0	/	0
	単位あたりコスト		0.00	0.00			
	単位あたりコスト		0	0	0	/	

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	△	現在の低金利社会において、近年新規の制度利用者はなく、現利用者の利子補給を行っているのみである。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	現在の制度利用者に対する融資分について利子補給を行うことで勤労者の生活支援に寄与する。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	現在の低金利社会において新規の利用者がいない状況である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	現在は低金利社会であるため、新規制度利用者がいないが、制度利用者がいる限り継続して事業を行う必要がある。		
これまでの課題及び今後の方向性	新規の制度利用者が無い状況が10年以上続いているが、制度利用者がいる間は継続して事業を行い、勤労者の生活支援に寄与する。平成31年度に新規受付を中止する要綱改正を行った。		

VI 他部署評価	
事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針	
方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果	
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	シルバー人材センター支援事業									
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	芦田 直也		
会計情報	事業コード	420102	款	05 労働費	項	01 労働諸費	目	01 労働諸費	会計	01 一般会計 決算付属資料 164 頁
施策体系	施策コード	050101	施策名	高齢者の生きがいを創出する						
計画期間	開始年度	昭和60年	終了予定年度	令和2年	関連計画名					
根拠法令等	福知山市高齢者労働能力活用事業費等補助金交付要綱									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	高齢者の就業機会の増大と福祉の増進(生きがいを得る)を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある社会づくりに寄与する。								
対象者	公益社団法人福知山市シルバー人材センター			対象者数	単位あたりコスト				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	60歳以上の高齢者が会員として構成され、高齢者に就業の機会を提供する公益社団法人福知山市シルバー人材センターの運営費及び各種事業に対して助成する。(補助金交付)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	15,887	高齢者労働能力活用事業費等補助金						
	役員費	7	保険料						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	17,138	15,905	15,898	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	17,138	15,905	15,898						
予算財源内訳	① 一般財源	16,616	15,366	15,354					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	522	539	544					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	17,138	15,905	0	0				
	③ 執行額	17,130	15,894	0	0				
	④ 執行率	100.0%	99.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.22/0	0.39 / 0.00	0.39 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,760	3,120	3,120	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	18,890	19,014	3,120						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	土地貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	410	決算付属資料	32	頁
	特財名称	土地建物貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	229	決算付属資料	32	頁
	特財名称	公社継承土地貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	11	決算付属資料	32	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	シルバー会員数	人	719 / 720	695 / 720	680 / 720	/ 720	720
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	業務受注件数	件	5593 / 5817	5236 / 5593	5149 / 5236	/ 5149	5149
	単位あたりコスト		3.06	3.27	3.09		
			0	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	高齢化社会において、元気な高齢者の就労による社会参加は、地域活力の向上とともに、高齢者福祉の視点からも重要である。高齢者に対し就業機会や生きがいの提供を行うシルバー人材センターの運営を引き続き支援する必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	高齢者に対する就業機会を提供し、また最低賃金の保障など現行の運営基盤を維持するためにも引き続き市が支援を行っていく必要がある。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	シルバー人材センターは高齢者に対し就業機会を提供することで、高齢者の生きがい創出や健康増進に寄与し、さらにボランティア活動の積極的な取り組みなどによる地域社会への貢献度も大きい。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>令和元年度は市補助金の削減を行った。(17,019千円⇒15,787千円) 少子高齢化の進展や生産年齢人口の減少に伴う労働力不足の中、再雇用、定年の延長などの影響もあり高齢者の雇用環境が厳しくなっている。 シルバー人材センターは高齢者の就労の場、生きがいの充実を図る場としての役割を担っており、会員の能力と希望に応じた公平で適正な就業機会を提供できるよう努めている。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>再雇用、定年の延長等、60歳以降の人生の選択肢が増えたことにより、シルバー人材センターの会員数が減少傾向にあるが、今後、ますます進行する高齢化社会において、元気な高齢者の就労による社会参加は、地域活力の向上とともに、高齢者福祉の視点からも重要である。 シルバー人材センターについては、自立されることが望ましい形ではあるが、市として高齢者に対し就業機会の提供を行うシルバー人材センターの運営を引き続き支援する必要がある。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	商工会議所商工業振興対策支援事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治					
会計情報	事業コード	310104	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
施策体系	施策コード	060201 施策名 商業を活性化する											
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和2年度		関連計画名	-						
根拠法令等	福知山商工会議所商工業振興対策支援事業補助金交付要領												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山商工会議所が実施する商工業振興施策や専門員による経営相談・助言、地域振興に関する各種事業を支援し、本市商工業、地域商工業者の振興及び育成支援を図る。								
対象者	市内商工業者		対象者数	3,842		単位あたりコスト	2.3		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山商工会議所								
事業概要 (簡条書き)	福知山商工会議所が実施する商工業振興及び地域振興に関わる次の各種事業を支援するため、補助金を交付するもの。 1 地域経済を担う事業者の育成を行う地域ビジネスサポートセンター事業 2 中心市街地活性化を推進する事業 3 小規模事業者に対して経営改善の普及等を行う小規模企業指導事業 4 長田野工業団地立地企業と市内既存企業の交流機会の提供や各種研修を行う工業生産支援事業								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	7,670	福知山商工会議所商工業振興対策支援事業補助金						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	7,670	7,670	7,670	予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
小計(①~③)	7,670	7,670	7,670					
予算財源内訳	① 一般財源	7,670	7,670	7,670				
	② 国支出金	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	110	0	0	0			
	② 配当予算	7,780	7,670	0	0			
	③ 執行額	7,780	7,670	0	0			
	④ 執行率	100.0%	100.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.13/0	0.13 /	0.13 /	0.00 /	0.00 /	0.00	
	② 概算人件費	1,040	1,040	1,040	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,820	8,710	1,040					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	組合加入率	%		31/35	31/35	31 / 35	/ 35
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	経営改善普及事業経営支援員の相談件数	件	1,880/1,800	1,861/1,800	1,583 / 1,800	/ 1,800	1,800
	単位あたりコスト		4.13	4.18	4.85		
	経営改善普及事業個別指導相談	件	108/125	85/125	91 / 125	/ 125	125
単位あたりコスト		71.83	91.53	84.29			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	福知山商工会議所は1,000余りの事業所が加入しており、市内中小企業を支える重要な経済団体である。本市の地域経済の維持・発展に向けて、市内商工業者の健全な経営の確立や、商工業の振興を図る観点から、欠かすことのできない事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	福知山商工会議所は、市内商工業者を取り巻く経営環境の変化に敏感かつ柔軟に対応し、本市の商工業振興や地域振興において重要な役割を果たしている。また、経営指導等、中小企業の振興・育成を図る上で、福知山商工会議所と連携した取組みが非常に有効である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	京都府とともに支援することにより、円滑な運営が可能となっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	組合員数は減少傾向にあるものの目標値は概ね達成できており、地域の商工業の健全な発展が図られている。		
これまでの課題及び今後の方向性	地域商工業の健全な発展には、行政施策だけでは行き届かないきめ細やかな商工会議所の事業が不可欠である。企業が経営改善に向けて能動的な動きが取れるよう、環境を整える取組を進めるよう指導する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	商工会商工業振興対策支援事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治					
会計情報	事業コード	310105	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化する									
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	福知山市商工会商工業振興対策支援事業補助金交付要領												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山市商工会が実施する商工業振興施策や専門員による経営相談・助言、地域振興に関する各種事業を支援し、本市商工業、地域商工業者の振興・育成支援を図る。												
対象者	市内商工業者	対象者数	3,842	単位あたりコスト	2.5								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	福知山市商工会												
事業概要 (簡条書き)	福知山市商工会が実施する商工業振興及び地域振興に関わる次の各種事業に対し、支援するため補助金を交付するもの。 商工業振興と経営指導対策(経営支援員による個々の相談及び巡回指導の強化等)、税務対策(適正な納税指導と納税知識の習得及び高揚)、金融対策(府制度融資、市制度融資、日本政策金融公庫融資及び各種制度融資の斡旋)、福利厚生対策(小規模企業共済等各種共済制度の加入促進、会員研修実施)、その他経営改善普及事業の実施												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	8,400	福知山市商工会商工業振興対策支援事業補助金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	8,400	8,400	8,400		
	② 補正予算	0	0	0		
	③ 繰越予算	0	0	0		
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0	0		
小計(①~③)	8,400	8,400	8,400		予算編成時記入	
予算財源内訳	① 一般財源	8,400	8,400	8,400		
	② 国支出金	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0		
	④ 地方債	0	0	0		
	⑤ その他特財	0	0	0		
決算情報	① 流充用額	0	0	0		
	② 配当予算	8,400	8,400	0		
	③ 執行額	8,400	8,400	0		
	④ 執行率	100.0%	100.0%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.13/0	0.13 /	0.13 /	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	1,040	1,040	1,040 / 0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,440	9,440	1,040			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	組合加入率	%	75/75	76/75	75 / 75	/ 75	75
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	巡回支援件数	件	3,010/3,000	2,412/3,000	2,461 / 3,000	/ 3,000	3,000
	単位あたりコスト		2.79	3.48	3.41		
	窓口支援・創業支援の件数	件	360/890	605/890	622 / 890	/ 890	890
単位あたりコスト		23.33	13.88	13.50			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	本市の地域経済の維持、発展に向けて、旧三町地域の商工業者の健全な経営の確立や、商工業の振興を図る必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	福知山市商工会は、旧三町地域内の商工業振興や地域振興に重要な役割を果たしている。また、経営指導等、中小企業の振興、育成を図る上で、福知山市商工会と連携した取り組みは非常に有効である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	京都府とともに支援することにより、円滑な運営が可能となっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	福知山市商工会が行う事業を側面から支援することにより、地域の商工業の健全な発展が図られている。		
これまでの課題及び今後の方向性	地域商工業の健全な発展には、行政施策だけでは行き届かないきめ細やかな商工会の事業が不可欠である。企業が経営改善に向けて能動的な動きが取れるよう、環境を整える取組を進めるよう指導する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	商店街等振興事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治					
会計情報	事業コード	310107	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化する									
計画期間	開始年度	平成19年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市中心市街地活性化基本計画							
根拠法令等	福知山市商店街等イベント事業補助金交付要領、福知山市商店街活性化施設等整備事業補助金交付要領												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	商店街は古くから「まちの顔」として重要な役割を果たしてきたが、経営者の高齢化や後継者の不在などに起因した空き店舗の増加や来街者の減少により賑わいが失われ、街全体の活力の低下に大きく影響している。地域商業全体を底上げするための取り組みが求められている背景を踏まえ、意欲的に商店街振興事業に取り組む商店街等に対して補助金を交付することにより、商店街や周辺地域の活性化を図る。												
対象者	市内商店街組織及び商業団体	対象者数	10	単位あたりコスト	248.8								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	-												
事業概要 (簡条書き)	商店街のにぎわいの創出を図り、当該商店街の活性化を促進することを目的として、商店街組織、商業者団体等が自発的・自主的に行う事業に対し、福知山市商店街等イベント事業補助金を交付した。(1回の事業につき20万円を限度に補助(補助率1/2以内)。1団体年間3回を限度とする。) 商店街が行うアーケード改修等商店街施設の改修に対し、府・市で1/3ずつ支援した。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	1,048	福知山市商店街等イベント事業補助金、福知山市商店街活性化施設等整備事業補助金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,910	2,246	1,200	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,910	2,246	1,200						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	600					
	② 国支出金	955	0	0					
	③ 府支出金	0	223	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	955	2,023	600					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	1,910	2,246	0	0				
	③ 執行額	403	1,048	0	0				
	④ 執行率	21.1%	46.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.22/0	0.18 /	0.18 /	0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	1,760	1,440	1,440	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,163	2,488	1,440						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	京都府商店街にぎわい施設・設備整備事業補助金	種類	商工費府補助金	実績金額	223	決算付属資料	28	頁
	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	762	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	歩行者自転車通行量	人	4,066/4,025	3,330/4,115	4,052 / 4,160	/	4,200	4,200
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	イベント実施回数	件	17/15	5/10	6 / 10	/	10	10
	単位あたりコスト		76.24	80.60	174.67			
	イベント実施団体数	団体	9/12	4/10	5 / 10	/	10	10
	単位あたりコスト		144.00	100.75	209.60			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	商業を活性化するのみならず、街全体の活性化につながる事業であり、その必要性は高い。中心市街地活性化基本計画においても「人・もの・情報が集まり、誰もが楽しく快適に暮らせるまち」を達成するための事業となっている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	商店街の活力、結束、イメージの維持向上と街全体の活力の向上に有効である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	単独の商店街だけでなく、複数の団体の連携によるより効率的で効果の高いイベント等にも取り組まれている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	商店街団体の会員数の減少や高齢化が進み、同時にイベントの実施回数が減少している。一定集客があるイベント実施に向けて商店街に取り組んでいただく必要がある。		
これまでの課題及び今後の方向性	イベント事業の経済効果と集客が一時的なものではなく、継続性のあるものになるような工夫が必要。市内全域の活性化に向け、対象となる団体に広く利用を呼びかける。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	販路開拓支援事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	芦田 直也					
会計情報	事業コード	310108	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
施策体系	施策コード	070102	施策名	既存産業を活性化する									
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市販路開拓支援事業補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市内の小規模企業者が、自社商品及びサービスの販路開拓のため、市外での展示会等イベントに出展するには、会場費や旅費等の経費がかかり、意欲があっても出展しにくい状況があるため、展示会等のイベント参加に係る経費の一部を補助し、市内小規模企業者の販路開拓を支援し、産業の振興を図る。												
対象者	市内小規模企業者	対象者数	4,135	単位あたりコスト	0.4								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	市内の小規模企業者が自社の技術や製品・サービス等の販路開拓のために市外で開催される展示会、見本市等への出展や商談会に係る経費の1/2(物販を伴う場合は1/4)を助成する。補助金額の上限については、出展場所が関西圏内の場合は10万円、関西圏外であって日本国内の場合は15万円、海外は20万円。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	317	販路開拓支援事業補助金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,700	1,050	1,050	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,700	1,050	1,050						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	525	0					
	③ 府支出金	850	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	850	525	525					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	1,700	1,050	0					
	③ 執行額	487	317	0					
	④ 執行率	28.6%	30.2%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.13/0	0.15 / 0.00	0.15 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,040	1,200	1,200	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,527	1,517	1,200						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	商工費国庫補助金	実績金額	158	決算付属資料	20	頁
	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	45	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	本制度を利用し、新規成約に結びついた件数	件		24/67	9/67	4 /67	/67
	0		/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	補助金利用者数	件	18/23	9 / 23	3 / 23	/ 23	
	単位あたりコスト		87.61	54.10	105.67		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	販路拡大を積極的に行う事業者を支援するために必要である。市外の展示会へ出展することは、自社商品を広く広報するための有益な方法であるため、小規模事業者の負担軽減のためにも出展料をはじめ、旅費、交通費等の補助を行う必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	展示会によって補助率を調整。物販のない展示会は補助率1/2。物販を伴う展示会の場合は販売による収益が見込めるため補助率は1/4とし、効率的な交付処理を実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	平成30年度の要綱改正により、補助対象事業者が中小企業者→小規模企業者へ、また1事業者あたりの通算利用回数に制限を設けたため、申請事業所が減少した。展示会終了後一定期間経過後に補助金利用者に調査を行い、展示会終了後の継続的なやり取りにより成約した商談件数等を集計している。(平成30年度受付分は実施無し。令和元年度分は未調査。)
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	平成30年度より、中小企業者から小規模企業者へ対象者が変更したことに加え、通算申請回数を5回に制限したことにより、申請者が減少しており、成果目標と大きく乖離が生じた。制度改正に合わせた成果指標の見直しの検討が必要である。成果指標である新規成約件数を増加させるためには、市内小規模事業者に本制度を利用いただき、市外展示会へ積極的に参加いただく必要がある。そのためにも、引き続き市内小規模事業者へ展示会出展への声掛けや、HPでの展示会開催情報の紹介、補助金制度の広報が必要。		
これまでの課題及び今後の方向性	制度利用者への追跡調査により成果を明確にするとともに、販路開拓に繋がった要因や小規模企業者のニーズを調査・分析し、引き続き需要に合致した制度となるよう検討する。また、今後とも産業支援センター等と連携し、まだ利用されなかった小規模事業者への制度周知を行う必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
--------	--

事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	福知山産業フェア事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	芦田 直也					
会計情報	事業コード	310110	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
施策体系	施策コード	060202		施策名 既存産業を活性化する									
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和2年度		関連計画名							
根拠法令等	福知山産業フェア事業補助金交付要領												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	商業・工業・農業等に関わる関係団体が一体となり、三段池公園体育館及び周辺で本格的な物産展を開催し、情報交換、交流などを通じて取引機会の拡大、異種業者との情報交換、交流産業育成と活性化を推進する。								
対象者	市内事業者	対象者数	4,135		単位あたりコスト	1.2			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山産業フェア実行委員会								
事業概要 (箇条書き)	「福知山産業フェア」は、企業・団体による製品の展示・技術PR・即売や農協・観光協会による地場産品・観光土産品販売、料理飲食業組合等による飲食グルメコーナー、各種イベント等が行われる。この大規模物産展の開催に対して補助金を支出するもの。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	3,800	福知山産業フェアの開催						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,800	3,800	3,800	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	3,800	3,800	3,800						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	1,900	1,900	1,900					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	1,900	1,900	1,900					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	3,800	3,800	0	0				
	③ 執行額	3,800	3,800	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.11/0	0.13 /	0.13 /	0.00 /	0.00 /	0.00		
	② 概算人件費	880	1,040	1,040	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,680	4,840	1,040						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	1,900	決算付属資料	38	頁
	特財名称	地方創生推進交付金	種類	商工費国庫補助金	実績金額	1,900	決算付属資料	20	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	来場者数	人	-	69,000/70,000	60000 / 70000	/	70000	70000
取引機会拡大に繋がった出展者	者	-	41/150	83 / 50	/	50	50	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	出店企業数	者	-	108/150	125 / 150	/	150	150
	単位あたりコスト		-	35.19	30.40	/		
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	本事業のような規模の物産展は市内での開催はあまりなく、本市の産業振興にとって必要性は高い。また、当フェアでは子ども向けの職業体験「ふくザニア」も開催され、親子連れでの来場も多く、地域の将来を担う子ども達が地元産業を知る良い機会にもなっている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	本事業は、実行委員会形式であるが、その主管となっている福知山商工会議所は、本事業の開催実績もあり、多くの商工業関係団体との連携も強く、より多くの事業所出展が期待できるため、効率的である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	これまでは「来場者数」を重視していたが、平成30年度の事業棚卸しにより、出店者の取引機会拡大が重要な成果と考え、「来場者数」と「取引機会拡大に繋がった出展者数」を成果指標とした。出展者のアンケート調査において、令和元年度は、125事業所中83事業所が拡大に繋がったと回答。また、取引拡大に繋がっただけでなく、自社商品(サービス)の感想が直接聞けたことや、企業PRに繋がったなどの意見が多数あがった。本事業は企業活動に有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	取引機会の拡大に繋がった事業者は、出展者125社のうち83社であり、半数以上の出展者は、出展したことによる成果を実感している。取引機会の拡大以外では、本フェアの集客力の高さを実感されており、企業PRができたことや自社商品(サービス)の感想を来場者から直接聞くことができたなどの意見も寄せられ、出展者の満足度は高い。		
これまでの課題及び今後の方向性	本市で開催されているイベントの中でも集客のあるイベントであることから、出展者にとって魅力的である。成果目標達成のためにも、より多く来場いただけるようイベント広報等に努めるとともに、今後は出展者自身によるSNS等での自発的な発信や、来場者がより地元産業を知って、普段から応援するといった機運醸成も必要である。また、出展者の取引機会拡大も重視しつつ、地域の将来を担う子ども達が、地元産業を知り、将来の起業や地元就職に繋がるようなイベントになるよう、実行委員会や関連団体により一層働きかけていく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	小規模企業融資制度事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	芦田 直也					
会計情報	事業コード	310118	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
施策体系	施策コード	060202		施策名	既存産業を活性化する								
計画期間	開始年度	平成19年度	終了予定年度	令和2年度		関連計画名							
根拠法令等	福知山市設備強化利子補給金交付要領、福知山市小規模企業融資制度取扱要領												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	日々の経営安定を図るために必要とする事業資金を金融機関から借り受ける小規模事業者を支援することで産業の活性化を図り、地域経済の発展に寄与することを目的とする。									
対象者	市内小規模事業者			対象者数	4,135		単位あたりコスト	1.3		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等										
事業概要 (簡条書き)	(1) 企業者への利子補給 福知山市設備強化利子補給金: 設備強化(導入)を目的として市内金融機関及び日本政策金融公庫から借り入れた設備資金について6ヶ月分の利子を補給する。 (2) 金融機関への利子補給 京都府の小規模企業おうえん資金の金利0.5%を市が負担することで金融機関が低利で融資を行う。(平成29年3月31日受付終了。現在は支払いのみ。)									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容							
	負担金補助及び交付金	133	福知山市設備強化利子補給金							
	負担金補助及び交付金	2,770	マル福利子補給							

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	13,383	7,903	3,270	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	13,383	7,903	3,270						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	1,200					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	13,383	7,903	2,070					
決算情報	① 流充用額	△ 1,359	0	0					
	② 配当予算	12,024	7,903	0					
	③ 執行額	6,236	2,903	0					
	④ 執行率	51.9%	36.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.13/0	0.31 / 0.00	0.31 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,040	2,480	2,480	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,276	5,383	2,480						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	816	決算付属資料	38	頁
	特財名称	きょうと地域連携交付金	種類	商工費府補助金	実績金額	775	決算付属資料	28	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	設備資金融資件数	件	20 / 42	12 / 42	10 / 42	/ 42	
設備資金融資件数/利子補給件数	%	21/30	21/30	100 / 30	/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	利子補給件数	件	105 / 130	58 / 140	16 / 130	/ 20	
	単位あたりコスト		95.12	107.50	181.46	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	利子補給制度は、民間事業者が行えず、資金繰りの円滑化には有効な手段である。平成30年度より設備投資を行う融資に限定しており、企業の成長、安定化が見込めるだけでなく、労働力不足の解消や生産性の向上に寄与している。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	利子補給制度については、コスト負担は小さくないが、設備投資による税収増加が見込めることから妥当であると判断できる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	設備投資件数及び設備投資額を把握するようにしたことから利子補給効果が適切に把握できるようになった。目標値については、平成30年度から新規受付を終了する制度が複数あったことなどにより、2年連続で受付件数を伸ばせず目標を達成できていないため、再度検討が必要である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	市内の全金融機関の融資が対象となっており、市内全域の小規模事業者の支援に繋がっている。平成30年度より新設された設備投資に対する利子補給金については徐々に金融機関や事業所への周知が広まってきている段階であり、引き続き今後の経済情勢に合わせた制度内容の見直しや更なる制度周知を続ける必要がある。		
これまでの課題及び今後の方向性	市内事業所、金融機関への制度内容・手続き方法の周知を徹底すること。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	災害復旧融資特別支援事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	芦田 直也					
会計情報	事業コード	310119	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
施策体系	施策コード	060202		施策名	既存産業を活性化する								
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	福知山市平成29年度災害復旧融資特別支援事業要領・福知山市平成30年7月豪雨災害復旧融資特別支援事業要領												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	平成29年台風21号、平成30年7月豪雨災害による災害復旧のための融資を受けた市内の中小企業者に対し、事業再建のために資金繰りの円滑化及び経営の安定化を図る。								
対象者	市内事業所	対象者数	4,135	単位あたりコスト	2.7				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	京都府の実施する災害対策緊急資金、他災害復旧に要する融資を利用する中小企業者に対し、融資実行から12回目までの支払利子相当額の補給、13回目から60回目までの支払利子相当額の2分の1の額を補給する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	8,199	災害復旧融資特別支援事業利子補給金						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	7,812	13,030	1,322	予算編成時記入	
	② 補正予算	0	0	0		
	③ 繰越予算	0	0	0		
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0	0		
小計(①~③)	7,812	13,030	1,322			
予算財源内訳	① 一般財源	7,812	13,030	1,322		
	② 国支出金	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0		
	④ 地方債	0	0	0		
	⑤ その他特財	0	0	0		
決算情報	① 流充用額	0	0	0		
	② 配当予算	7,812	13,030	0		
	③ 執行額	7,452	8,199	0		
	④ 執行率	95.4%	62.9%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.22/0	0.35 / 0.00	0.35 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	1,760	2,800	2,800	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,212	10,999	2,800			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	交付件数	件	155 / 167	152/ 140	128 / 140	/ 23	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	利子補給金額	千円	7,591/ 7570	7452 / 7812	8199 / 13030	/ 1322	
	単位あたりコスト		1.00	1.00	1.00		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	平成29年台風21号、平成30年7月豪雨災害により被災した中小企業者について、経営再建に向けて長期的に支援する必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	毎年同時期に申請書を送付しているため、事業所にも申請事務があることを理解してもらっており、スムーズに行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	長期的な利子補給を実施することで資金繰りの安定化を図っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	繰上げ返済(完済)により利子補給額、件数は着実に減少しており、豪雨災害後の経営の安定化が見込まれている。		
これまでの課題及び今後の方向性	平成26年8月豪雨災害に係る融資に対する利子補給金については令和元年度をもって交付が終了した。既に申込されている平成29年台風21号、平成30年豪雨災害に係る融資に対する利子補給金については、引き続き要領に基づいた交付を行う。また、今後の災害対応においては、被災状況に応じて対応を検討する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	福知山市産業支援事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	芦田 直也					
会計情報	事業コード	310164	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
施策体系	施策コード	070102		施策名	既存産業を活性化する								
計画期間	開始年度	平成29年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	福知山市まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略					
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	あらゆる産業分野において、経営上の課題を抱える中小企業・小規模事業者・農業従事者等や起業を志す人の課題解決に向けた支援を行うために、福知山産業支援センターを運営し、地域経済の活性化を図る。												
対象者	市内事業者		対象者数	4,445		単位あたりコスト	9.4						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	一般社団法人福知山産業支援機構(福知山産業支援センター)												
事業概要 (箇条書き)	福知山産業支援センターは、センター長による相談業務により、相談者自身が気づいていない「強み」を見つけ出し、その強みを活かせるアイデアを提案し、支援する。 福知山産業支援センターの運営については、本市及び関係機関で構成する一般社団法人福知山産業支援機構に委託する。中小企業支援に関して構成団体等の意見を反映するとともに、構成団体等による適正な監査を実施して透明性を確保し、成果等をホームページ等により公表する。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	委託料	25,498	福知山産業支援センター運営業務 委託費										
	旅費	598	全国BIZサミット参加他										
	需用費	78	光熱水費										
	役務費	103	電話代										
	使用料及び賃借料	116	電話交換機借り上げ料										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	30,794	31,465	30,361	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	30,794	31,465	30,361						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	14,978	15,441	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	15,816	16,024	15,582					
決算情報	① 流充用額	△ 210	16	0					
	② 配当予算	30,584	31,481	0					
	③ 執行額	23,895	26,393	0					
	④ 執行率	78.1%	83.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.03/2	1.28 / 2.00	1.28 / 2.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	13,240	15,240	15,240	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	37,135	41,633	15,240						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	商工費国庫補助金	実績金額	12,779	決算付属資料	20	頁
	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	11,425	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	販路拡大や売上up等につな がった件数/年	件	/	19/30	155 / 30	/30	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	相談件数/月	件	91/30	79/30	82 / 30	/ 30	250
	単位あたりコスト		252.60	302.50	321.87		
	アンケートでの満足度	%	/	77/70	/	/	70
	単位あたりコスト		0.00	310.30			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	誰でも何度でも無料で相談でき、お金をかけずにビジネスの流れを変える知恵だしができるため、市内の産業振興にとっては必要性が高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	本事業の委託先である「一般社団法人福知山産業支援機構」は、本事業を行うために市内商工団体により組織された法人であり、各関係機関との連携も密にとれるため、効果的に事業が行える。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	全国で実績をだしている富士市産業支援センターをモデルにしているため、先行事例同様の成果が期待できる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	相談件数について、当初目標としていた60件/月を上まわる件数となっている。相談者の約8割がリピーターとして複数回利用している。また、成功事例も着実に増えており、相談者への聞き取り調査でも、センターに相談したことで前向きになった、相談対応に満足したとの結果もでている。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後はセンターの認知度をあげることで、新規相談者を増やし、先行事例を増やしていく必要がある。そのためにも、ホームページやSNS等で積極的に情報を発信していくことが重要である。また、産学官連携など様々な組織団体との連携強化を図っていく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	中心市街地誘客・回遊促進事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治					
会計情報	事業コード	310166	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化する									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市中心市街地活性化基本計画							
根拠法令等	福知山市中心市街地誘客・回遊促進事業補助金交付要領												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	中心市街地の特色を住民自らの力で引き出していくことを目指した取り組みを行い、回遊性を高めるとともに、中心市街地の魅力を発信し、誘客を促進することで、中心市街地に賑わいを生み出す。												
対象者	観光客及び市民	対象者数	1,116,577	単位あたりコスト	0.0								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	福知山まちなかフェスティバル実行委員会												
事業概要 (箇条書き)	商工業関係者及び鉄道関係者、行政等で構成する実行委員会が実施する事業に対して補助金を交付する。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	600	福知山市中心市街地誘客・回遊促進事業補助金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,000	600	500	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,000	600	500						
予算財源内訳	① 一般財源	0	300	0					
	② 国支出金	500	0	0					
	③ 府支出金	0	0	250					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	500	300	250					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	1,000	600	0	0				
	③ 執行額	1,000	600	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.45/0	0.35 /	0.35 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,600	2,800	2,800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,600	3,400	2,800						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	きょうと地域連携交付金	種類	商工費府補助金	実績金額	279	決算付属資料	28	頁
	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	300	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	来場者数	人	中止/20,000	18,800/10,000	18,580 / 10,000	/ 10,000	10,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	同時開催イベント数	事業	中止/13	8/10	8 / 10	/ 10	10
	単位あたりコスト		0.00	125.00	75.00		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	中心市街地活性化基本計画1期計画で整備した3拠点(お城・広小路・駅)を繋ぐ回遊性向上を図るという課題・社会ニーズに対して実施。まちなかでの特色あるコンテンツの集積に対する市民や観光客のニーズの高さがうかがえた。企業等団体からの広告協賛金受け入れなどを通じて、補助金に依存しない形での事業継続を目指して取り組まれている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	実行委員会主体で取組み、さらに民間業者への業務委託も有効に活用することで、事業の円滑な実施を行うことができる。街なみ環境整備やテナントミックス事業など、他の事業と複合的に相乗効果をもたらしている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	成果目標は過去に開催されていた「鉄道ワンダーランド」の開催内容を分析し、適切に設定されている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	駅正面通りや広小路通り、ゆらのガーデンでのテナントミックス事業や、新町商店街でのマーケット事業など、公民の取組みにより魅力あるコンテンツを集積させ、一体的に情報発信することで市民や観光客の誘客に繋げる。		
これまでの課題及び今後の方向性	商店街、鉄道関係者などとの連携をさらに深め、市民が注目し、訪れてみたいと思えるような魅力ある事業を実施し、来訪者を増やし、中心市街地の賑わいを生み出していく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	福知山城憩いの広場(ゆらのガーデン)管理事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治					
会計情報	事業コード	310202	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化する									
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市中心市街地活性化基本計画							
根拠法令等	福知山城憩いの広場条例、福知山城憩いの広場条例施行規則												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的(あるべき姿)	出店者協議会や市民参加のガーデニングサークルと連携を図りながら官民協働での維持管理を行う。また、中心市街地への回遊の拠点として、市民や来街者が憩える場を提供するとともに、まちなかの活性化につなげる。												
対象者	観光客及び市民	対象者数	1,116,577	単位あたりコスト	0.0								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	㈱西日本エスエスシー、(一社)福知山シルバー人材センター、福知山ガーデニングサークルゆらら、アムス・セキュリティサービス㈱												

事業概要(箇条書き)	「四季の彩りに満ちた和み空間」をテーマに魅力的な空間として維持するため、施設設備管理、清掃及び植栽剪定等実施。 委託業者、ゆらのガーデン出店者協議会及び市民団体(ガーデニングサークル等)と連携を図りながら、官民協働での良好な維持管理を実施。												
------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容									
	需用費	1,190	消耗品、光熱水費、修繕料									
	役員費	293	通信費、保険料									
	委託費	1,905	植栽・芝等維持管理、日常清掃等維持管理、警備									
	備品購入費	188	デジタルサイネージ									
	負担金補助及び交付金	450	ガーデニングサークル運営交付金									

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	4,159	3,758	3,811	予算編成時記入
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①~③)	4,159	3,758	3,811		
予算財源内訳	① 一般財源	2,026	3,669	3,361	
	② 国支出金	2,026	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	107	89	450	
決算情報	① 流充用額	△ 354	357	0	
	② 配当予算	3,805	4,115	0	
	③ 執行額	3,660	4,026	0	
	④ 執行率	96.2%	97.8%		
人概工算	① 従事職員数(正職員/嘱託職員)	0.43/0	0.40 /	0.40 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	3,440	3,200	3,200	0
トータルコスト(予算執行額+概算人件費)	7,100	7,226	3,200		

主な利用特財(N-1年度実績値)	特財名称	電柱等占用料	種類	商工使用料	実績金額	61	決算付属資料	10	頁
	特財名称	福知山城憩いの広場占用使用料	種類	商工使用料	実績金額	77	決算付属資料	12	頁
	特財名称	福知山城憩いの広場電気使用料	種類	雑入	実績金額	2	決算付属資料	44	頁

IV 業績指標

成果実績(アウトカム)実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	来場者数	人	117,173/140,000	124,865/140,000	166,906 / 140,000	/ 140,000	140,000
活動実績(アウトプット)実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	ガーデニングサークル活動参加人数	人	281/220	198/220	217 / 220	/ 220	220
	単位あたりコスト		14.17	18.48	18.55		
	広場利用回数	回	13/12	10/12	9 / 12	/ 12	12
単位あたりコスト		306.38	366.00	447.28			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市民参加型サークルと協働で管理することにより、中心市街地への回遊の拠点として、中心市街地活性化と福知山の魅力発信につながる必要不可欠な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	官民協働で維持管理を行うことで効率的に事業が実施できており、街のシンボルとなるべくより多くの市民や来街者に憩える場が提供できている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	福知山市中心市街地活性化基本計画ファーストプロジェクトであり、広場の活性化を図ることとは、中心市街地への回遊の拠点であるため、有効な事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	委託業者により、清掃及び植栽剪定が実施され、適切な維持管理が図れている。また、市民参加のガーデニングサークルとの協働により、広場全体の植栽管理やゲートのリース作成等で、中心市街地の活性化の拠点として整備するとともに、観光客等へのおもてなしにも努めている。		
これまでの課題及び今後の方向性	市、ガーデニングサークル、福知山まちづくり会社及び ゆらのガーデン出店者協議会が連携し、今後も適切な維持管理を継続する。また、出店者協議会や福知山まちづくり株式会社と連携し、福知山城の来館者を広場の来場につなげ、広場内テナントへの集客及びまちなかの活性化につなげる。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	中心市街地活性化基本計画推進事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治					
会計情報	事業コード	310212	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	180・182	頁
施策体系	施策コード	060201 施策名 商業を活性化する											
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和2年度		関連計画名	福知山市中心市街地活性化基本計画						
根拠法令等	中心市街地の活性化に関する法律												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	中心市街地活性化基本計画に掲載している事業について、商工会議所等の関係団体並びに市民グループ等と連携を図りながら着実に実行し、中心市街地の活性化につなげる。								
対象者	観光客及び市民	対象者数	1,116,577	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山まちづくり株式会社、(株)コム計画研究所、(一社)シルバー人材センター、SL保存会、中心市街地活性化協議会								
事業概要 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化基本計画に掲載している事業の推進に係る業務について福知山まちづくり(株)に委託 ・中心市街地活性化基本計画の推進に係るタウンマネージャーの配置 ・中心市街地内の通行量調査 ・中心市街地活性化協議会に対する運営補助 ・中心市街地活性化基本計画に係る協議などに要する旅費、印刷費 ・福知山鉄道館ポッポランド2号館の維持管理経費 ・地域おこし協力隊派遣費用 								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報酬・報償費	1,700	中心市街地地域おこし協力隊員報酬、福知山鉄道館ポッポランド2号館SL清掃作業謝礼						
	旅費・需用費	166	中心市街地活性化基本計画推進事業に係る協議、研修、水道・電気代、印刷費等						
	委託料	5,565	中心市街地活性化基本計画推進業務委託、福知山鉄道館ポッポランド2号館開錠・施錠・清掃業務						
	使用料及び賃借料	465	電子計算機等賃借料						
負担金補助及び交付金	59	中心市街地活性化基本計画補助金							

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	8,130	9,274	10,028	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	8,130	9,274	10,028						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	3,828					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	4,065	3,229	3,100					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	4,065	6,045	3,100					
決算情報	① 流充用額	14	△ 685	0					
	② 配当予算	8,144	8,589	0					
	③ 執行額	8,091	7,955	0					
	④ 執行率	99.3%	92.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.75/0	0.45 /	0.45 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	6,000	3,600	3,600	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	14,091	11,555	3,600						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	きょうと地域連携交付金	種類	商工費府補助金	実績金額	2,272	決算付属資料	28	頁
	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	3,476	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	歩行者・自転車通行量	人	4,066/4,025	3,330/4,115	4,052 / 4,160	/ 4,200	4,200
歴史・文化交流施設入館者数	人	409,753/370,348	386,774/377,470	460,713 / 384,592	/ 390,000	390,000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	中心市街地活性化基本計画掲載事業着手数	事業	44/46	44/46	45 / 46	/ 46	46
	単位あたりコスト		175.23	183.89	176.78	/	
単位あたりコスト				/	/		

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	中心市街地を活性化するため、市民・民間企業・行政が一体となって計画の着実な推進に取り組む必要がある重要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	民間に業務委託することで、事業の企画・運営等を民間ならではのスピード感と豊富な活性化事業の経験による即時対応が可能となり、事業推進の強化と省力化を図ることができる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	5年間と限られた期間で中心市街地活性化基本計画の各事業を着実に推進するために、専門人材を配置し、事業の企画・運営等を具体的に推進していくことが出来るので有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>福知山市中心市街地活性化基本計画は、5年間と限られた期間での事業実施が求められるなかで、事業の推進について、市民・民間企業・行政が一体となって、各事業の連携を図りながら推進できている。</p> <p>令和元年度から、新町商店街を中心とした中心市街地内を活動拠点とする地域おこし協力隊を設置し、福知山ワンダーマーケット・地域情報の取材及び情報発信等を行い、地域の魅力を市内外に広くPRできている。将来的に空き店舗等を活用して、新規開業を目指す人を応援する仕組みを構築する等、新たな展開にも期待ができる。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>中心市街地活性化基本計画に掲載している事業を、効果的に着実に進めていくために、市民・民間企業・行政が一体となって推進する必要がある。今後も、関係団体等と連携を図り、目標達成に向けて現状分析・課題解決に取り組む。</p> <p>第2期中心市街地活性化基本計画の最終年度になるため、実施する事業効果の検証等を行い、来年度以降の実施事業等を検討する。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	まちづくり会社活動支援事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治					
会計情報	事業コード	310219	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化する									
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市中心市街地活性化基本計画							
根拠法令等	福知山まちづくり株式会社事業支援補助金交付要領												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	中心市街地活性化法に基づく法定構成員である福知山まちづくり株式会社が、中心市街地活性化基本計画に係る各事業を着実に推進することを目的に、その実施事業に対して支援を行う。												
対象者	観光客及び市民	対象者数	1,116,577	単位あたりコスト	0.0								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	福知山まちづくり株式会社												
事業概要 (箇条書き)	福知山まちづくり株式会社が実施する中心市街地活性化基本計画の推進のための事業に対して補助金を交付(中心市街地活性化基本計画1期計画事業「福知山城周辺賑わい創出施設整備事業」及び「広小路商店街テナントミックス事業」において整備を行ったエリア及びテナントに係る管理運営、出店者や商店街組織との連携調整等による集客拠点化を図る事業)												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	1,847	福知山まちづくり株式会社事業支援補助金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,909	1,847	1,817	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,909	1,847	1,817						
予算財源内訳	① 一般財源	847	816	780					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	846	815	821					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	216	216	216					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	1,909	1,847	0					
	③ 執行額	1,909	1,847	0					
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.18/0	0.18 /	0.18 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,440	1,440	1,440	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,349	3,287	1,440						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	きょうと地域連携交付金	種類	商工費府補助金	実績金額	859	決算付属資料	28	頁
	特財名称	まちづくり会社配当金	種類	利子及び配当金	実績金額	216	決算付属資料	34	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		ゆらのガーデン・広小路テナントミックス店舗数	軒	11/12	12/12	12 / 12	/ 12
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	出店者協議会回数	回	9/12	11/12	9 / 12	/ 12	12
	単位あたりコスト		326.33	173.55	205.22		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	福知山市中心市街地活性化基本計画の着実な推進のためには、集客・交流拠点として整備したエリア施設の安定的な運営が必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	集客・交流拠点として整備したエリアのブランディングも含めた運営について、福知山まちづくり㈱の民間ならではのスピード感と豊富なネットワークを活かした取組みが実施されている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	集客・交流拠点を適切に運営することで、中心市街地への誘客・回遊を促し、地域経済の活性化に繋がっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	福知山まちづくり株式会社の中活計画事業の推進にかかる事業について支援することで、中心市街地活性化基本計画の円滑な推進を図ることができる。		
これまでの課題及び今後の方向性	第2期中心市街地活性化基本計画の中核的な実施主体の1つである福知山まちづくり㈱を引き続き指導・支援することで、計画の着実な実行を図る必要がある。 第2期中心市街地活性化基本計画の最終年度になるため、福知山まちづくり㈱が実施する事業効果の検証等を行い、来年度以降の実施事業等を検討する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	城下町福知山・まち歩き観光促進事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治					
会計情報	事業コード	310226	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
施策体系	施策コード	060201		施策名 商業を活性化する									
計画期間	開始年度	平成27年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名 福知山市中心市街地活性化基本計画						
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	福知山パーキング管理事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	まちなか観光ルートの拠点でもある広小路界隈周辺には無料の駐車場がなく、ゆっくりまち歩き観光や買い物等を楽しむことができないため、既存の御霊公園福知山パーキングの駐車料金を一定時間無料化することで、まちなかへの来街の動機付けと滞在時間の延長を促し、まちなかの回遊性の強化と賑わいの創出を図る。								
対象者	観光客及び市民	対象者数	1,116,577		単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金)								
委託先・実施主体等	福知山まちづくり株式会社								

事業概要 (箇条書き)	福知山まちづくり株式会社が運営する御霊公園福知山パーキングの駐車料金の一定時間を無料化するための経費を負担。(駐車料金の最初の30分を無料化するための経費のうち、市が1/2(5/10)、福知山まちづくり会社が3/10、協力店が2/10を負担する)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	682	城下町福知山・まち歩き観光促進事業負担金						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,871	753	965	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,871	753	965						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	1					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	935	376	482					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	936	377	482					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	1,871	753	0					
	③ 執行額	530	682	0					
	④ 執行率	28.3%	90.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.25/0	0.11 /	0.11 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,000	880	880	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,530	1,562	880						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	きょうと地域連携交付金	種類	商工費府補助金	実績金額	242	決算付属資料	28	頁
	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	303	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		広小路通り歩行者自転車通行量	人	754/867	579/884	533 / 900	/ 917
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	パーキング利用台数	台	49,605/49,000	42,917/44,000	40,924 / 42,000	/ 41,000	41,000
	単位あたりコスト		0.15	0.01	0.02		
	まち歩き事業利用率	%		33/40	36 / 40	/ 40	40
	単位あたりコスト			16.06	18.96		

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	中心市街地活性化の推進に、重要な役割を担う広小路界隈への来訪者増加を図ることで中心市街地のにぎわい創出や商業の活性化につながる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	利害関係者である福知山まちづくり株式会社及び協力店舗に一部負担を求める形で協力を仰ぎ、市の負担の減少につながっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	本事業の利用者の内訳がわかる形で報告を求めており、効果的な事業実施のための検証につながる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>継続して事業を実施することで広小路界隈への観光客や買い物客の誘客を図るとともに、まちなかの活性化につなげるものである。H30年度5月から事業の実施形態を変更し、他のステークホルダーにも負担を求めることで、市の単独負担を是正した。さらに、無料券の発行を店舗で行うようにしたこと、本制度の利用率や利用者がどこを訪れたのかが確認できるようになり、効果的な事業の実施や検証につながる形で実施できている。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>さらなる利用率向上のため、協力店舗数の拡大を図る。協力店舗と連携し、来店者へ本制度のさらなる周知を図り、利用者増を図る。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
--------	--

事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	街なみ環境整備事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治					
会計情報	事業コード	310243	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化する									
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市中心市街地活性化基本計画							
根拠法令等	福知山市街なみ環境整備事業補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業、地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	地域資源を活かした魅力ある街並みを形成することで、まちなかへの誘客・回遊を促すとともに来訪者や居住者の増加を図る。												
対象者	観光客及び市民	対象者数	1,116,577	単位あたりコスト	0.0								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	株式会社COM計画研究所												
事業概要 (箇条書き)	・駅正面周辺地区における外観修景事業に対する補助金交付。 ・中心市街地内に統一したデザインの観光誘導看板を7基設置。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	1,331	街なみ環境整備事業補助金										
	委託料	4,779	福知山市まちなか観光誘導看板制作・設置業務										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,000	9,180	4,400	予算編成時記入				
	② 補正予算	△ 2,000	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	0	9,180	4,400						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	3,700	2,200					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	5,480	2,200					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	0	9,180	0					
	③ 執行額	0	6,110	0					
	④ 執行率		66.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.32/0	0.27 /	0.27 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,560	2,160	2,160	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,560	8,270	2,160						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	社会資本整備総合交付金	種類	商工費国庫補助金	実績金額	1,727	決算付属資料	20	頁
	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	4,383	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	歴史・文化交流施設入館者数	人	409,753/370,348	386,774/377,470	460,713 / 384,592	/	390000	390000
歩行者・自転車通行量	人	4,066/4,026	3,330/4,103	4,052 / 4,181	/	4,200	4,200	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	修景実施件数	件	42/45	42/45	43 / 45	/	45	45
	単位あたりコスト		0.00	0.00	142.09			
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	令和元年度からは、平成30年度に新たに街づくり協定の承認をおこなった駅正面周辺地区で事業を実施しており、引き続き実施する。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	地元住民により定められた街づくり協定に基づく景観整備に対して支援を行うことにより、市民独自の投資も促されることで効率的な街なみの形成と維持・向上が図られる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	福知山フロント株式会社等と連携し、常に地元の動向を把握しながら事業を展開している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	東部地区においては城下町風情を活かした景観形成が進むなど、地元住民らによって策定された街づくり協定に従った景観形成が行われ、魅力あるまちづくりが進んでいる。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和元年度から対象地域となる駅正面周辺地区では、福知山フロント株式会社によるテナントミックス推進事業により平成28年度からの令和元年度までで8店舗が開業しており、本事業により既存店舗の投資を喚起するなど、商業地域に相応しい景観の形成を公民連携により推進する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	福知山パーキング管理事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治					
会計情報	事業コード	310247	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化する									
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	城下町福知山・まち歩き観光促進事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	中心市街地の大型駐車場である福知山パーキングの維持管理を適切に行うことで、市民や来街者が円滑に駐車することができるようにし、まち歩きやまちなか観光を促進させ、中心市街地の活性化を図る。												
対象者	観光客及び市民	対象者数	1,116,577	単位あたりコスト	0.0								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	福知山パーキングに設置している駐車管理機器の賃貸借 エレベーターの修理の実施 トイレの雨漏り修繕の実施												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	需用費	222	福知山パーキングトイレ雨漏り等修繕										
	使用料及び賃借料	1,879	御霊公園福知山パーキング駐車管理機器賃貸借										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	4,680	2,147	1,968	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	4,680	2,147	1,968						
予算財源内訳	① 一般財源	3,153	620	441					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	1,527	1,527	1,527					
決算情報	① 流充用額	154	0	0					
	② 配当予算	4,834	2,147	0					
	③ 執行額	4,698	2,101	0					
	④ 執行率	97.2%	97.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.15/0	0.12 /	0.12 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,200	960	960	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,898	3,061	960						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	御霊公園福知山パーキング貸付料	種類	財産貸付収入	実績金額	1,527	決算付属資料	32	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		広小路通り歩行者自転車通行量	人	754/867	579/884	533/900	/ 917
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	パーキング利用台数	台	49,605/49,000	42,917/44,000	40,924 / 41,000	/ 41,000	41,000
	単位あたりコスト		0.04	0.11	0.05		
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	広小路界限、御霊公園など中心市街地の回遊の拠点となる重要な駐車場である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	計画的に修繕や管理機器の賃貸借をすることで、コスト削減や効率化が図られている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	計画的に機器の更新や施設修繕等を実施していくことで、施設利用者の利便性の向上につながる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	まちなか回遊の拠点のひとつとして、まち歩き観光促進事業と併せて利用台数増加の取組に努めた。施設の老朽化に伴う事務所やトイレの雨漏りについては、必要に応じて修繕を実施し、施設の維持管理に努めている。		
これまでの課題及び今後の方向性	まち歩き観光促進事業の協力店舗と連携し、来店者に対する事業の周知を図り、更なるパーキング利用者増加に繋げる。施設利用者の利便性向上のため、必要に応じて修繕等を行い、適切な維持管理に努める。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治					
会計情報	事業コード	310252	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
施策体系	施策コード	060201		施策名 商業を活性化させる									
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名 福知山市中心市街地活性化基本計画								
根拠法令等	地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略事業補助金交付要領												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業、街なみ環境整備事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	地方の商店街は、いずれの地域も郊外型やロードサイドへの大型店の進出、後継者難や店主の高齢化等により個店だけでなく組織としても新たな投資が困難となっている所が増加している。このため、従来にない公民協働の新たな事業モデルを戦略的に組み立て実施することで地域経済全体の循環を促し、中心市街地の賑わいと交流人口の倍増を図る。								
対象者	観光客及び市民	対象者数	1,116,577	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山フロント株式会社								
事業概要 (箇条書き)	福知山フロント株式会社が実施するテナントミックス事業等に対して補助金を交付。福知山フロント株式会社戦略会議への出席。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	4,000	地域資源の活用と交流人口倍増戦略事業補助金						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	6,000	4,000	6,000	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	6,000	4,000	6,000						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	3,000	0	0					
	③ 府支出金	0	2,000	3,000					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	3,000	2,000	3,000					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	6,000	4,000	0	0				
	③ 執行額	5,998	4,000	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.18/0	0.25 /	0.25 /	0.00 /	0.00 /	0.00		
	② 概算人件費	1,440	2,000	2,000	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,438	6,000	2,000						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	きょうと地域連携交付金	種類	商工費府補助金	実績金額	1,861	決算付属資料	28	頁
	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	2,000	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
		駅正面通りの歩行者・自転車の通行量	人	1,059/713	864/727	894 / 740	/ 755	755
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
		駅正面通りでの新規開業数	件	3/10	7/10	8 / 10	/ 10	10
		単位あたりコスト		6000.00	856.86	500.00		
		単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	駅正面通りリニューアル事業は、第2期中心市街地活性化基本計画の主要事業の1つであり、駅正面通りの有志で設立された福知山フロント(株)と一体となり、着実に推進していく必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	地元に誇りと愛着を持つ人たちが構成された組織に対して補助金を交付することで、迅速に創意工夫をこらした取り組みが実施されている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	事業の展開にあたっては、福知山フロント株式会社と情報を共有し取り組んでおり、無理・無駄がないように進めている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>駅正面通り商店街の再生計画の策定、駅正面通り商店街(周辺含む)の空き店舗等の調査、ゲストハウスや飲食店の開設に取り組んできた。令和元年度においては、1件の新規開業を誘致したとともに、計画段階から施主及び開発企業との協議に参画していた駅前低未利用地の活用によるマンション建設が着工した。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>今後は、これまでの事業の認知度をあげることで、空き店舗所有者の理解・協力のもと、更なるテナントの誘致を図る。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性													
事業名	中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治					
会計情報	事業コード	310256	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
施策体系	施策コード	060201		施策名	商業を活性化する								
計画期間	開始年度	平成23年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	福知山市中心市街地活性化基本計画					
根拠法令等	空き家・空き店舗等ストックバンク制度要綱、空き店舗等対策支援事業補助金交付要領、中心市街地テナントミックス推進事業補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	空き家、空き店舗が増え、空洞化が進む中心市街地において、不動産の流通を促進し、まちなかでの居住・開業の推進による居住人口の増加と商業活性化を図る。												
対象者	まちなかへの移住・開業希望者等					対象者数	不特定多数		単位あたりコスト				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	福知山まちづくり株式会社												

事業概要 (箇条書き)	中心市街地エリアの空き家、空き店舗、空き地の情報を収集・登録し、情報発信を行う。ストックバンクを利用し、新規開業をする際に、店舗改修に係る補助金を交付する。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	委託料	3,439	中心市街地空き家・空き店舗等ストックバンク登録業務										
	負担金補助及び交付金	3,637	福知山市空き店舗等対策事業補助金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	10,945	7,700	8,959					
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	10,945	7,700	8,959		予算編成時記入				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	5,472	0	0					
	③ 府支出金	0	3,850	4,479					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	5,473	3,850	4,480					
決算情報	① 流充用額	△ 2,945	0	0					
	② 配当予算	8,000	7,700	0					
	③ 執行額	7,886	7,076	0					
	④ 執行率	98.6%	91.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.11/0	0.17 /	0.17 /	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	880	1,360	1,360 / 0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,766	8,436	1,360						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	きょうと地域連携交付金	種類	商工費府補助金	実績金額	3,291	決算付属資料	28	頁
	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	3,506	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	新店舗開業数(年)	件	3/4	4/4	4 / 5	/ 5	5
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	新規登録物件数(年)	件	12/10	3/10	8 / 10	/ 10	10
	単位あたりコスト		580.64	2628.67	884.50		
	新規利用登録者数(年)	人	26/20	16/20	13 / 20	/ 20	20
単位あたりコスト		255.50	492.88	544.31			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	中心市街地において増加する空き家・空き店舗等の活用を促進するためには、地域の情報の集まりやすい行政が関わる必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	福知山まちづくり株式会社と連携して事業を実施することで、専門的に取り組む人材を確保し、事業の遂行にあたることができている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	新規物件の掘り起こしを行い、登録件数及び成約件数を効果的に伸ばすことが課題となっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	中心市街地における空き家・空き店舗等の不動産の流動化を進める上で、新規物件の獲得、福知山まちづくり株式会社による情報発信や空き家を活用したイベント等の開催を通じて、まちなかへの移住や開業に対するニーズを喚起できている。		
これまでの課題及び今後の方向性	自治会との連携、物件所有者や利用希望者への情報提供により、遊休不動産の流動化に向けた啓発を行い、物件登録件数の増加と積極的な利用を促すことが必要。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	(仮称)福知山鉄道館ポッポランド建設事業									
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治		
会計情報	事業コード	310258	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計 決算付属資料 182 頁
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化する						
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名					
根拠法令等										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	鉄道のまちの歴史継承及び観光誘客の拠点として(仮称)福知山鉄道館ポッポランドを建設する。								
対象者	市民及び観光客	対象者数	1,116,577	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	株式会社井之上パブリックリレーションズ								
事業概要 (箇条書き)	・(仮称)福知山鉄道館ポッポランドの基本構想作成に向けたコンサルティング業務の実施。 ・受納した寄附金の「福知山鉄道館ポッポランド(仮称)整備事業等浅田基金」への積立。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	22	「福知山鉄道館ポッポランド(仮称)整備に係る意見交換会」委員等実費弁償						
	委託料	7,865	(仮称)福知山鉄道館ポッポランド建設事業コンサル委託業務						
	使用料及び賃借料	3	駐車場・高速道路等通行料						
積立金	100,000	福知山鉄道館ポッポランド(仮称)整備事業等浅田基金積立金							

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	0	37,877	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	108,000	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
次年度繰越	0	0	0						
小計(①~③)	0	108,000	37,877						
予算財源内訳	① 一般財源		0	0					
	② 国支出金		0	0					
	③ 府支出金		0	0					
	④ 地方債		0	0					
	⑤ その他特財		108,000	37,877					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	0	108,000	0					
	③ 執行額	0	107,890	0					
	④ 執行率		99.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.70 /	0.70 /	0.00 /	0.00 /				
	② 概算人件費		5,600	5,600	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	113,490	5,600						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	7,882	決算付属資料	38	頁
	特財名称	商工費指定寄附金	種類	商工費指定寄附金	実績金額	100,000	決算付属資料	36	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		基本構想策定	回			1 / 1	/ 1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	意見聴取回数	回			10 / 10	/ 15	20
	単位あたりコスト				10789.00		
	単位あたりコスト						

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	平成30年度の福知山鉄道館ポッポランドあり方検討委員会において存続・移設となり、その後もメディアでの掲載及び多額の寄附をいただくなど市民や社会のニーズが高く、優先度の高い事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	周辺環境や多様な主体からの意見などを踏まえて、施設の基本構想策定に向けた取組みを進めることができた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	多様な団体等からヒアリングを行い、さまざまな意見をいただきながら基本構想を策定した。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和4年度の開館に向けて、令和元年度においては多様な意見をいただきながら基本構想を策定し、令和2年度の設計に繋げることができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	建物及び展示品の詳細な部分について、引き続き多様な方々に意見をいただきながら決定していく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	商工・産業政策事務管理事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治					
会計情報	事業コード	320102	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化する									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山市の商工業振興及び産業の発展並びに雇用の促進、中心市街地活性化等を図るための各事業の更なる充実と向上及び産業政策管理事務の適切な運営。												
対象者	市民	対象者数	79,471	単位あたりコスト	0.1								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	セコム株式会社福知山支社												
事業概要 (簡条書き)	福知山市の商工業振興及び産業の発展並びに雇用の促進、中心市街地活性化等に係る事業を行うための事務的経費。その他産業政策管理業務に係る事務的経費。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	旅費・需用費	1,785	消耗品、電気代										
	役務費・委託料	978	郵送料、電話代、農林商工部書庫(旧上川口保育園)火災監視業務、経済講演会講師派遣委託手数料										
	使用料及び賃借料	547	プリンター、レンタカー使用料										
	備品購入費	115	シュレッダー										
	負担金補助及び交付金	15	負担金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	4,779		3,855		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①~③)	0	4,779		3,855							
予算財源内訳	① 一般財源		4,729		3,855						
	② 国支出金		0		0						
	③ 府支出金		0		0						
	④ 地方債		0		0						
	⑤ その他特財		50		0						
決算情報	① 流充用額	0	△ 155		0		0				
	② 配当予算	0	4,624		0		0				
	③ 執行額	0	3,440		0		0				
	④ 執行率		74.4%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)		0.22	/	0.20	0.22	/	0.20	0.00	/	0.00
	② 概算人件費		2,260		2,260		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	5,700		2,260							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁			
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁			
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
						/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	経済講演会の実施	回			2 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト				1720.00		
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	必要物品等を滞りなく用意することにより、産業政策部内の運営に貢献した。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	事務管理的経費として、一括管理ができることで、各事業の事務処理を円滑に行うことができた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	事務管理的経費として、各事業の円滑な推進に寄与している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	商工業振興及び産業振興を推進するための事務については最小の経費で実施している。本事業により、その他の各事業が円滑に行っている。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	令和元年度より、課内管理事業と部内管理事業を統合し新たに「商工・産業政策事務管理事業」として実施している。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	企業交流促進事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	芦田 直也					
会計情報	事業コード	320104	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
施策体系	施策コード	060202	施策名	既存産業を活性化する									
計画期間	開始年度	平成9年度	終了予定年度	令和2年度		関連計画名							
根拠法令等	福知山市企業交流促進事業補助金交付要領												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	長田野工業団地立地企業と工業団地以外の企業の結びつき及び交流の促進、企業間の交流、情報交換、受発注の醸成等を目的として実施される福知山企業交流会の活動を支援し、市内企業同士の受発注の活発化等を図ることにより企業活動の活性化、地域の発展につなげる。												
対象者	会員企業	対象者数	110	単位あたりコスト	13.6								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	福知山企業交流会												
事業概要 (簡条書き)	福知山企業交流会の活動に補助金を交付し、研修会や受発注懇談会等を通して企業間交流を図る。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	540	研修会や受発注懇談会の開催										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	600	540	540	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	600	540	540						
予算財源内訳	① 一般財源	600	270	540					
	② 国支出金	0	270	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	600	540	0					
	③ 執行額	600	540	0					
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.12/0	0.12 / 0.00	0.12 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	960	960	960	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,560	1,500	960						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	商工費国庫補助金	実績金額	270	決算付属資料	20	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	受発注(市内発注/長田野総発注)	%		21/25	24/25	21 / 25	/ 25
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	受発注懇談会、視察等の参加者数	人	145/140	74/145	60 / 145	/ 110	140
	単位あたりコスト		4.64	8.10	9.00		
	受発注懇談会、視察等の開催	回	3/4	0.5	2 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		224.67	300.00	270.00		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	受発注懇談会や研修会など、市内事業者と長田野工業団地企業が定期的に情報交換を行う場を創出することで両者の信頼構築・受発注率向上が期待されるため、今後とも会員企業のニーズや補助金のあり方について検討を続ける。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	受発注懇談会の内容や形式を一部見直すなど改善はみられるものの、ここ数年大幅な活動内容は見直されていないため、他地域での企業交流事業等を情報収集し、社会・経済情勢に合わせた会のあり方を検討していく必要がある。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	成果目標とする受発注率の上昇につながる有効的な事業を検討し実施していくことに加え、会員企業へのヒアリングをもとにした事業の検討が必要である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	企業間交流を目的として懇談会や研修会等を計画に基づき実施し、市内企業の長田野工業団地企業から市内企業への受発注率は20%を維持している。		
これまでの課題及び今後の方向性	会員企業のニーズや補助金のあり方について検討を行い、企業交流会がどの程度受発注率の増加に寄与しているのか効果も含めて検討する必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	ふるさと就職おうえん事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	芦田 直也					
会計情報	事業コード	320207	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
施策体系	施策コード	060401	施策名	就業支援を充実させる									
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和2年	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	高校生をはじめとする若者の地元企業への理解と関心を高め、地元への定着と地元企業の人材確保につなげるとともに、福知山地域の事業所と求職者との出会いの場を創出することで雇用の安定を図り、持続可能な地域雇用を実現をめざす。												
対象者	市内事業所・就職希望者	対象者数	1,959	単位あたりコスト	5.7								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	福知山雇用連絡会議、京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会、北京都ジョブパーク												
事業概要 (箇条書き)	・合同就職面接会、企業説明会を開催し、市内企業と一般求職者・UIターン希望者等とのマッチング機会を提供する。 京都府北部7市町合同企業説明会、綾部・福知山合同就職フェア、ふくちやま就職フェスタ2020、福知山・綾部合同就職フェア など ・高校生ワークショップを開催し、若者に地元企業を知る機会を提供する。 ・北京都ジョブパークとの共催で、常時、各種セミナーやカウンセリングを実施し、市民の就業とスキルアップを支援する。 ・その他、新入社員合同研修、企業ガイド発行、公正採用啓発、人権ふれあいセンターでのパソコン講座、就職支援セミナー、個別就職相談会を開催。												
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	2,465	就職フェアの開催、企業ガイドの発行、高校生ワークショップの開催										
	負担金補助及び交付金	458	京都北部7市町合同就職説明会の開催										
	賃金	307	臨時職員賃金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,412	3,587	2,923	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	3,412	3,587	2,923						
予算財源内訳	① 一般財源	0	664	0					
	② 国支出金	473	229	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	2,939	2,694	2,923					
決算情報	① 流充用額	△ 89	0	0					
	② 配当予算	3,323	3,587	0					
	③ 執行額	3,323	3,231	0					
	④ 執行率	100.0%	90.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.74/0	0.98 / 0.00	0.98 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	5,920	7,840	7,840	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,243	11,071	7,840						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	ふるさと就職応援基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	2,694	決算付属資料	38	頁
	特財名称	地方創生推進交付金	種類	商工費国庫補助金	実績金額	229	決算付属資料	20	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	就職内定者数	人	47 / 40	85 / 40	36 / 40	/ 40	40
ワークショップ参加高校生数	人	125 / 150	235 / 150	184 / 150	/ 150	150	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	就職面接会参加企業数	社	174 / 160	443 / 160	429 / 160	/ 160	160
	単位あたりコスト		18.03	7.50	7.53		
	就職面接会参加者数	人	273 / 300	776 / 250	498 / 200	/ 200	200
単位あたりコスト		11.49	4.28	6.49			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	持続可能な地域の実現には、雇用の定着、促進、安定化が必要不可欠である。特に昨今では、若者の都市部への流出や人材不足が全国的な課題となっている。国や府、商工会議所、商工会、長田野工業センター、シルバー人材センター等の関係機関が連携して、各種の雇用をめぐる課題へ取り組む必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	関係機関で「福知山雇用連絡会議」を組織し、主に福知山市・ハローワーク福知山・北京都ジョブパーク・福知山商工会議所の4つの機関が業務を分担し、効率的な業務の推進を図っている。 また、府北部の総合就業拠点である「北京都ジョブパーク」が福知山市内にあることから、共催により、市民の就業支援にあたっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	福知山管内の毎月の有効求人倍率や、全国的な雇用情勢などの動きを「福知山雇用連絡会議」を構成する各機関で共有し、効果的な取り組みとなるよう努めている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価			<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度から「北京都ジョブパーク事業」を統合して実施しており、就職面接会の人数は、平成30年度から「北京都ジョブパーク事業」分も含めている。 福知山公立大学や都市部の大学生(特に3回生)を対象とした「業界・企業研究会in福知山公立大学」を初めて開催し、一般求職者だけでなく若者のUターンや業界研究を直接的に支援する事業を行ったところ、企業数14社に対し、162名の参加があった。 都市部の大手企業が取り組んでいる学生のインターンシップ受入れを、地方でも進めるため、合同企業面接会の会場で、インターンシップ可能な企業の紹介を行っている。
これまでの課題及び今後の方向性			<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の雇用情勢としては、福知山公共職業安定所管内の有効求人倍率は1年以上の期間高い倍率で推移し、求職者にとっては雇用環境の改善といえる状況であった一方で、事業所側から見れば非常に厳しい人手不足の状況に至っている業種もあり、事業所の人材確保が喫緊の問題となっていた。そのため合同企業面接会への参加状況も、求職者の参加は減少し、逆に事業所の出展希望は増加傾向にあったが、令和2年度においては、今後予測される経済情勢の変動により、今後は逆転の立場になる可能性がある。経団連の就活ルール撤廃への対応ともあわせ、市内求職者と事業所のマッチングや若者のUターン促進をめざし、移住定住事業や北京都ジョブパークなどとの連携を強化し、柔軟に対応していく。

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	起業おうえん事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	芦田 直也					
会計情報	事業コード	320212	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	182・184	頁
施策体系	施策コード	070102	施策名	起業支援を推進する									
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市創業支援事業計画							
根拠法令等	福知山市起業おうえん助成金交付要綱 他												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市内の事業所数が減少傾向にある中、市内で新たに事業を営む者に対し助成制度を実施することで、創業時の経費負担を軽減するとともに、創業時のノウハウ取得のためのセミナー等の開催により、創業しやすい環境を整え、起業及び雇用を促進することで産業の活性化を図る。本事業は国から認定を受けた福知山市創業支援計画に基づき実施する。								
対象者	市内での起業予定者及び起業後1年未満の者			対象者数	不特定多数		単位あたりコスト		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山商工会議所、福知山市商工会(創業セミナーのみ)								

事業概要 (箇条書き)	1 創業セミナー 専門家による創業セミナーを2回実施 2 起業家支援事業補助金(補助率:ソフト事業1/2 上限200千円、ハード事業1/4 上限500千円) 市内で新たに起業する者、起業して1年未満の者に対し、起業に係る経費の一部を補助 3 起業おうえん助成金 創業関連融資利用者に対し、6か月分の利子相当額を全額補給する。								
----------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	48	創業希望者向けパンフレット作成業務						
	役員費	127	広告料						
	委託料	330	創業セミナー・スクール業務委託						
	負担金補助及び交付金	3,175	起業家支援事業補助金、起業おうえん助成金						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	5,783	5,167	5,118	予算編成時記入
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①~③)	5,783	5,167	5,118		
予算財源内訳	① 一般財源	379	417	417	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	5,404	4,750	4,701	
決算情報	① 流充用額	△ 47	0	0	
	② 配当予算	5,736	5,167	0	
	③ 執行額	5,028	3,680	0	
	④ 執行率	87.7%	71.2%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.34/0	0.40 / 0.00	0.40 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	2,720	3,200	3,200	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,748	6,880	3,200		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	ふるさと就職応援基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	1,722	決算付属資料	38	頁
	特財名称	地方創生推進交付金	種類	商工費国庫補助金	実績金額	222	決算付属資料	20	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	市内での創業者数	人	26/32	23/32	24/32	/32	128
セミナー参加者のうち、創業者数	人	2/5	4/5	3/5	/5	20	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	セミナー参加者数	人	24/50	30/50	45 / 40	/ 50	180
	単位あたりコスト		138.00	167.60	81.78		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	△	市内の廃事業所数が増加していく中で、市内の事業所数を確保するためにも新規創業者への支援は必要である。創業時の知識習得、費用面の負担において支援することで、毎年一定の創業者は確保できている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	セミナーの実施については商工会議所、商工会へ委託することで、効率的に開催できている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	補助金、利子補給、セミナー等あらゆる角度から創業希望者の支援を行っており、利用者アンケートの結果でも、その有効性は高い。補助金制度について、創業時の経費面での負担軽減に有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	本事業は国から認定を受けた福知山市創業支援事業計画に基づき実施しており、計画内での目標である年間32人の創業者数をめざしている。		
これまでの課題及び今後の方向性	より効果的な地域創業支援を促進するため、従来から実施している市内金融機関等とのネットワーク会議にて創業支援に関する情報を共有し、連携を強める必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	アネックス京都三和企業誘致対策事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	芦田 直也					
会計情報	事業コード	320302	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	184	頁
施策体系	施策コード	060203		施策名 企業誘致を推進する									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度		関連計画名							
根拠法令等	福知山市企業誘致促進及び操業支援条例、京都北部中核工業団地企業立地促進条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	企業誘致の促進と既存企業の定着による雇用創出・若者定住等を図り、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。												
対象者	アネックス京都三和立地企業及び接触企業					対象者数	300		単位あたりコスト	22.8			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	一般財団法人 電源地域振興センター												
事業概要 (箇条書き)	・アネックス京都三和の団地PRのための、企業展示会への出展。 ・アネックス京都三和立地企業に対する、水道使用料に係る奨励金の交付。 ・企業誘致セミナー、企業アンケート業務委託。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	2,113	立地企業用水経過的奨励金、企業立地促進条例奨励金、出展負担金										
	旅費	409	旅費										
	委託料	307	企業誘致支援サービス事業、有害鳥獣死骸処分										
	需要費	176	電気代、消耗品										
	報償費	25	記念品										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,597	3,127	2,713	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	3,597	3,127	2,713						
予算財源内訳	① 一般財源	465	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	3,132	3,127	2,713					
決算情報	① 流充用額	99	0	0					
	② 配当予算	3,696	3,127	0					
	③ 執行額	3,681	3,030	0					
	④ 執行率	99.6%	96.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.45/0.45	0.35 / 0.40	0.35 / 0.40	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,725	3,800	3,800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,406	6,830	3,800						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	立地企業等従業員住宅使用料	種類	商工使用料	実績金額	2,838	決算付属資料	10	頁
	特財名称	土地貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	218	決算付属資料	32	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		アネックス京都三和分譲区画数	区画	3 / 1	2 / 1	1 / 2	/ 2
			0	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	直接接触企業数	件	247/300	305/300	362 / 300	/ 300	300
	単位あたりコスト		13.79	12.07	8.37		
			0	0	/	/	
	単位あたりコスト		0.00	0.00			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済の活性化に繋がる重要な事業 ・アネックス京都三和は京都府土地開発公社の保有地であり、行政が先頭に立って誘致することで、企業の安心感も高い ・直接的に雇用創出につながり、優先度は非常に高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・H22以前の立地企業のみを対象とした水道使用奨励金については、それ以降の立地企業との差を低減するため、条例を廃止し、通減して補助する制度を創設した。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・活動実績について、事業費全てを対象とする直接接合企業数を挙げた
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・企業展で積極的にPRを展開し、接合企業数も目標を達成することができた。 ・4年間で9区画の分譲が進んでおり、成果も着実に上がってきている。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスによる企業活動や世界的な経済活動の低下など、景気に暗雲が立ち込めている。 ・長田野工業団地立地企業や、市内の既存企業との取引先企業にアプローチをはかり、企業誘致が市内全体の経済活性化に繋がるような取組みを図りたい。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	企業誘致対策一般管理事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	芦田 直也					
会計情報	事業コード	320303	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	184	頁
施策体系	施策コード	060203		施策名 企業誘致を推進する									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度		関連計画名							
根拠法令等	福知山市企業誘致促進及び操業支援事業												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	長田野工業団地及びアネックス京都三和への操業支援並びに誘致活動を推進する								
対象者	長田野工業団地及びアネックス京都三和立地企業			対象者数	53		単位あたりコスト	84.5	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	シルバー人材センター								
事業概要 (箇条書き)	・長田野工業団地立地企業と周辺住民の交流及び相互理解に関する支援 ・アネックス京都三和の操業環境を整備するための除草業務等 ・企業誘致や支援に係る企業訪問のための旅費								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	委託料	627		除草、企業見学会					
	需要費	261		修繕費、消耗品費、燃料費ほか					
	役務費	122		電話料、郵送料					
	使用料及び賃借料	89		高速道路等					
	旅費、負担金及び交付金	93		旅費					

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,755	1,250	1,314	予算編成時記入	
	② 補正予算	0	0	0		
	③ 繰越予算	0	0	0		
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0	0		
小計(①~③)	1,755	1,250	1,314			
予算財源内訳	① 一般財源	1,682	789	0		
	② 国支出金	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0		
	④ 地方債	0	0	0		
	⑤ その他特財	73	461	1,314		
決算情報	① 流充用額	△ 273	0	0		
	② 配当予算	1,482	1,250	0		
	③ 執行額	1,485	1,192	0		
	④ 執行率	100.2%	95.3%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.27/0.4	0.27 / 0.45	0.27 / 0.45	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	3,160	3,285	3,285	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,645	4,477	3,285			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		アネックス京都三和分譲区画数	区画	3 / 1	2 / 1	1 / 2	/ 2
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	直接接企業数	件	247/300	305/300	362 / 300	/ 300	300
	単位あたりコスト		6.29	4.87	3.29		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	
	単位あたりコスト		0.00	0.00			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 長田野工業団地やアネックス京都三和での操業環境を整備し、福知山の経済振興に寄与するという社会ニーズを捉えている。 長田野工業団地は本市の税収の20%を占め、5,000人以上の市民にとって就労の場であることから、優先度は非常に高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 長田野工業団地スポーツ大会の補助金は、長田野工業団地の立地企業と近隣住民の交流を深める、500人もの人が参加する重要なイベントであり、30,000円の補助支出はコスト的にも適正である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 本市経済の活性化と市民の就労の場を確保するという最終目的のための、成果目標として、アネックスの区画分譲数は適正である。 区画分譲のための活動内容として、分かりやすく数値化できる直接接企業数は適正と考える
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> 地道ではあるが、アネックス京都三和の団地PRが確実に成果を結びつつある。 現在13社の企業進出と18区画の土地譲渡契約が締結され、北近畿の雇用の創出と地域経済の活性化を担っている。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問を始め関係機関との情報交換等、企業ニーズや企業の動向を早期に把握し、継続的な取組みにおいて企業誘致の促進を図る。 企業の設備投資に対する融資元となる金融機関に対しても、訪問やパンフレットの送付などPR活動を実施する。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	企業誘致促進特別対策事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	芦田 直也					
会計情報	事業コード	320304	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	184	頁
施策体系	施策コード	060203		施策名						企業誘致を推進する			
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度		関連計画名							
根拠法令等	福知山市企業誘致及び操業支援条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	長田野工業団地アネックス京都三和への企業誘致の促進と、長田野工業団地をはじめとする市内既存企業の奨励措置など設備投資の推進に向けた支援によって、企業の域内定着・雇用創出・若者定住等を図り、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。								
対象者					対象者数	5	単位あたりコスト	4,403.1	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	○工場等の増設建替えに係る奨励金交付 新設・増設・建替 1㎡につき2,000円を交付 / 雇用奨励金 10万円/1人(アネックスは5万円加算)、U・Iターン者の雇用は別途10万円加算 ○企業進出に対する奨励金交付 新設 1㎡につき2,000円を交付 / 雇用奨励金 10万円/1人(アネックスは5万円加算) ○企業誘致に係る協議会負担金 京都府・福知山市 各500千円、京都府80千円 ・京都府北部中核工業団地企業誘致推進協議会(京都府・福知山市 各500千円) ・京都府市町村企業誘致推進連絡協議会(構成団体:京都府・府内市町村、市町村負担金80千円)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金及び交付金	17,590	操業支援事業費						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	67,180	71,992	47,930	予算編成時記入				
	② 補正予算	92,005	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	159,185	71,992	47,930						
予算財源内訳	① 一般財源	99,585	580	580					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	59,600	18,011	47,350					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	159,185	71,992	0					
	③ 執行額	155,694	17,590	0					
	④ 執行率	97.8%	24.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.4/0.65	0.35 / 0.65	0.35 / 0.65	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,825	4,425	4,425	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	160,519	22,015	4,425						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	企業誘致促進特別対策事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	17,010	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	奨励金対象雇用者数	人	63/ 50	97/ 50	43 / 50	/ 50	50
アネックス京都三和分譲区画数	区画	3/ 1	2/ 1	1 / 1	/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	奨励金交付企業	企業	4 / 7	9 / 7	5 / 7	/ 7	7
	単位あたりコスト		3683.25	17299.33	3518.10		
	直接接合企業数	件	247/300	305/300	362 / 300	/ 300	300
単位あたりコスト		59.65	510.47	48.59			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 企業の工場建設や設備更新に対する支援により、工業団地への資金投下を刺激し、地域経済の活性化や雇用創出に大きな役割を果たしている
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> アネックス京都三和の新規立地企業だけでなく、長田野工業団地立地企業においても、数百億円という大規模な設備投資が今後複数計画されており、当事業のコストは高いとは言えない。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 直接的に雇用を促す事業として、奨励金対象の雇用者数を挙げている。 本市経済の活性化と市民の就労の場を確保するという最終目的のための、成果目標として、アネックスの区分譲数は適正である。 区分譲のための活動内容として、分かりやすく数値化できる直接接合企業数は適正と考える
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> 雇用難ともいえる求人倍率の高さのため、企業の雇用がなかなか進まない状況であった。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスによる企業活動や世界的な経済活動の低下など、景気に暗雲が立ち込めている。 長田野工業団地立地企業や、市内の既存企業との取引先企業にアプローチをはかり、企業誘致が市内全体の経済活性化に繋がるような取組みを図りたい。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	企業向け従業員住宅一般管理事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	芦田 直也					
会計情報	事業コード	320317	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	184	頁
施策体系	施策コード	060203		施策名 企業誘致を推進する									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度		関連計画名							
根拠法令等	福知山市三和町立地企業等従業員住宅条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	長田野工業団地アネックス京都三和周辺の住環境を整備することにより、当該団地へ立地、または操業する企業等の従業員へ住宅を提供し、企業の労働力確保の一助として企業誘致の促進を図る。								
対象者	アネックス京都三和立地企業従業員		対象者数	250		単位あたりコスト	8.5		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	・ヴィラージュみわ入居管理 ・フォレストサイドみわ入居管理 ・設備等環境整備								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需要費	698	修繕費、電気代、消耗品						
	役員費	223	建物総合損害共済、清掃						
	委託料	31	除草						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	895	1,640	1,329	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	895	1,640	1,329						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	895	1,640	1,329					
決算情報	① 流充用額	△ 53	0	0					
	② 配当予算	842	1,640	0					
	③ 執行額	708	952	0					
	④ 執行率	84.1%	58.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.22/0.25	0.06 / 0.28	0.06 / 0.28	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,385	1,180	1,180	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,093	2,132	1,180						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	フォレストサイドみわ貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	952	決算付属資料	32	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	入居戸数	戸	12 / 26	13 / 26	14 / 26	/ 26	26
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	直接接企業数	件	247 / 300	305 / 300	362 / 300	/ 300	300
	単位あたりコスト		2.28	2.32	2.63		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	
単位あたりコスト		0.00	0.00				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・アネックスの近隣には民間賃貸住宅の供給は少なく、必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・アネックス京都三和立地企業及び従業員に対しては、家賃の減額措置を図り、企業立地の優遇性と立地促進を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・毎年度、新規従業員の入居申し込みもあり、アネックス京都三和立地企業従業員の住環境の向上に寄与している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業は企業誘致のインセンティブとして建設された住宅の管理であり、最終目的は企業の誘致であるが、事業単体の成果実績としては、入居戸数としている。 ・ただし、ヴァイラージュみわについては永住を目的とした施設ではなく、単身者向け住宅であるため、住民の入れ替わりを前提と考えている。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>基本的に住宅を適正に管理する事業であり、移住定住に向けた取り組みについては、企業誘致特別対策事業におけるU・ターン者雇用奨励金加算などがある。</p> <p>ただし、今後誘致企業の操業が進み満室になるなどの場合は、まちづくり推進課との連携により、企業からの移住先相談に応じるなどの取り組みを進めたいと考える</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	福知山鉱山坑廃水処理場管理運営事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	芦田 直也					
会計情報	事業コード	540601	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	184	頁
施策体系	施策コード	040502	施策名	公害対策を充実させる									
計画期間	開始年度	H11	終了予定年度	令和2年度		関連計画名							
根拠法令等	鉱山保安法、鉱山保安法施行規則、水質汚濁防止法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	旧福知山鉱山の坑道より排出される強酸性(pH3)で金属成分を含む廃水を、鉱山保安法、鉱山保安法施行規則及び水質汚濁防止法に基づき適正な処理を行い、河川に放流することで市民生活の安全の確保と流域の自然環境の保全を図る。												
対象者	在田川 流域の市民	対象者数	215	単位あたりコスト	118.7								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	維持管理業務委託:トミタ環境株												

事業概要 (箇条書き)	旧福知山鉱山の坑道より排出される強酸性(pH3)で金属成分を含む廃水を導水管により処理場まで流し、消石灰により中和するとともに、重金属を高分子凝集剤により沈殿させ、ろ過した処理水を河川に放流する。沈殿した汚泥は脱水し産業廃棄物として埋立処分する。年間365日稼働。												
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	委託料	11,921	維持管理委託、水質検査、機械警備等										
	需用費	8,265	光熱水費、薬剤費、修繕費等										
	役務費	96	浄化槽点検、建物共済保険										
	旅費	15	大阪出張費										
	使用料	14	土地賃貸借料										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	20,520	20,044	19,905	予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
小計(①~③)	20,520	20,044	19,905					
予算財源内訳	① 一般財源	2,589	2,529	433				
	② 国支出金	15,366	15,009	0				
	③ 府支出金	2,561	2,501	2,781				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	4	5	5				
決算情報	① 流充用額	1,478	467	0	0			
	② 配当予算	21,998	20,511	0	0			
	③ 執行額	21,998	20,311	0	0			
	④ 執行率	100.0%	99.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.66/0	0.65 /	0.65 /	0.00	0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	5,280	5,200	5,200	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	27,278	25,511	5,200					

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	休廃止鉱山公害防止事業	種類	商工費国庫補助金	実績金額	14,832	決算付属資料	20	頁
	特財名称	休廃止鉱山公害防止事業	種類	商工費府補助金	実績金額	2,473	決算付属資料	28	頁
	特財名称	電柱等占用料	種類	商工使用料	実績金額	4	決算付属資料	10	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	処理日数のうち水質が目標基準内で処理できた日数	日	日	365/365	365/365	365 / 365	/ 365
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	処理日数	日	365/365	365/365	365 / 365	/ 365	365
	単位あたりコスト		57.91	60.20	55.65		
	水質検査	回	12/12	12/12	12 / 12	/ 12	12
	単位あたりコスト		1761.50	1833.20	1692.62		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	現在でも処理前の原水は基準値を逸脱した水質であり廃水処理の必要がある。また、鉱山事業主が不在となった鉱山のため行政が行う必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	受益者である在田川流域の住民は少数であるが、広域的な見方をすると在田川が合流する由良川下流域にも影響する事業である。維持管理費や薬剤費、運搬業務等は毎回複数業者による入札(見積徴収)を実施しているため、経費削減に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	維持管理運転及び施設修繕等を計画的に実施しており、365日基準内の水質で廃水処理が行えている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	施設の維持管理や施設等修繕を計画的に行うほか、緊急修繕等にも対応し、目標基準内での排水処理を実行している。豪雨や台風による影響が少ない年であったが、設備の維持管理上で必要な緊急を要する修繕が発生した。		
これまでの課題及び今後の方向性	本施設は稼働から18年が経過しており、毎年、老朽化や磨耗劣化等により部品等の交換や修繕を実施している。本施設を運転し続けることが、市民生活の安全の確保と流域の自然環境の保全を図るためには必要と考えるが、処理費用は年間20,000千円を超えている。コスト削減や効率化のため本施設に反映できる最先端の処理方法がないか調査研究機関へ接触を図っており、令和2年度以降に実施予定。		

VI 他部署評価

事後事業評価			
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	日本鬼文化交流事業									
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治		
会計情報	事業コード	130117	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計 決算付属資料 184 頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する						
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等	酒呑童子祭り事業補助金交付要綱									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	大江山酒呑童子祭りを通じて全国に鬼伝説が残る「福知山市大江町の鬼」を情報発信するとともに、「日本鬼師の会」の活動を支援することにより、有形の鬼瓦や、無形の鬼伝説を観光・交流コンテンツとして大江地域の活性化を図る。また鬼に関係する市町(兵庫県川西市、静岡県小山町)との相互交流により絆を深める。								
対象者	酒呑童子祭り来場者	対象者数	1,500	単位あたりコスト	1.6				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	大江山酒呑童子まつり実行委員会、日本鬼師の会、(有)チームワーク								

事業概要 (箇条書き)	・大江山酒呑童子祭り実行委員会に対する事業費支援 ・日本鬼師の会に対する活動支援								
----------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	8	普通旅費						
	委託料	23	バス運転業務委託						
	負担金補助及び交付金	1,100	補助金						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,591	2,134	1,744	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	2,591	2,134	1,744						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	2,591	2,134	1,744					
決算情報	① 流充用額	△ 67	△ 106	0					
	② 配当予算	2,524	2,028	0					
	③ 執行額	2,521	1,131	0					
	④ 執行率	99.9%	55.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.1/0	0.15 / 0.00	0.15 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	800	1,200	1,200	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,321	2,331	1,200						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	1,108	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	観光入込客数	人	946,618 / 960,000	927,086 / 980,000	1,116,577 / 1,000,000	/500,000	1,050,000
大江山酒呑童子祭参加者	人	中止/2,500	2,500 / 2,500	1,500 / 2,500	/2,500	2,500	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	日本鬼師の会大会・理事会	回	3 / 4	3 / 4	2 / 4	—	4
	単位あたりコスト		224.00	840.30	565.46		
	鬼にかかわる相互交流	回	3 / 6	3 / 6	3 / 6	—	3
単位あたりコスト		224.00	840.30	337.00			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	大江町の鬼伝説や鬼瓦を交流コンテンツとして活用した事業であり、大江地域の個性を活かした地域づくりには必要である。収益性が低く民間事業者は参入しにくい。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	住民組織の中でイベント参加負担金や協賛金を募り経費削減と財源確保について意識が高い。しかしながら自主財源が乏しく何らかの支援は必要。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	イベント自体は30年以上の活動実績があるが、イベント自体のマンネリ化は避けられず、先進的事例など調査が不足している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	日本鬼師の会全国研修大会では、福知山城の瓦をはじめとする内容の講演や日本の鬼の交流博物館において全国各地の鬼師が作成した作品を展示することで幅広い世代に鬼瓦文化に親しんでもらえる機会となったが高齢化により活動は令和元年度をもって休止された。大江地域の地域づくりや地域の醸成の一体化においては事業の目的からも達成している。		
これまでの課題及び今後の方向性	補助金での事業実施のため、大江山酒呑童子祭り実行委員会が継続的に事業を実施していくには自主財源の確保が課題。日本鬼師の会は、後継者の確保が課題となっており当会は令和元年度をもって活動を休止とされた。「鬼力の由良川夏まつり」と「酒呑童子祭り」を大江の夏、秋イベントとして実施していくことで、大江地域の一体化と地域に訪れる交流人口の拡大による活性化また持続可能なまつりとなるよう大江まちづくり住民協議会の中で主体的に検討を行っていく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	観光おもてなし促進事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課				所属長	大西 孝治						
会計情報	事業コード	230101	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計	決算付属資料	184	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和2年度		関連計画名							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	一般市民を対象とした観光ガイド養成講座を開催し、観光客の方に歴史・文化・観光スポット等、本市の魅力をより効果的に案内することができる観光ガイドを養成する。								
対象者	ディスカバーウエストハイキング参加者	対象者数	266	単位あたりコスト	4.5				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	○本市への来訪者を市民自らがもてなす「まちづくり観光」を実践するため、観光ガイド養成講座を実施する。 ○JR西日本との連携によるディスカバーウエストハイキングを実施する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報償費	393	報奨金						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	421	402	402	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	421	402	402						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	421	402	402					
決算情報	① 流充用額	0	△6	0	0	0			
	② 配当予算	421	396	0	0	0			
	③ 執行額	368	393	0	0	0			
	④ 執行率	87.3%	99.3%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.05/0	0.10 /	0.10 /	0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	400	800	800	0	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	768	1,193	800						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	329	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	観光ガイド数	人	29/30	35/30	42/30	/30	30
受講者数	人	18/30	8/30	27/30	/30	30	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	養成講座実施数	回	6/6	7/7	8/7	/7	7
	単位あたりコスト		64.00	52.50	49.50		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	おもてなしの心をもって福知山の魅力を十分に案内することで、観光客の満足度を高め、何度も福知山を訪れていただくためのおもてなしプランを市として充実させている。また、ディスカバーウエストハイキングは、JR西日本が事業として広報し、観光協会や観光ボランティアガイドが観光客に観光スポットをより魅力的に伝え地域資源を活性化させるために実施している。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	ガイドツアーが催行された場合におけるガイド団体謝金であり最小限度の支出をしている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	ガイド養成講座の実施により、ガイド人材確保と観光客の満足度を高めリピーターとして訪れてもらうようガイドの質の向上を図っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	サポート会員新設などにより、目標のガイド人数は到達し、維持することができている。ディスカバーウエストハイキングについては、聞いてみないと分からない地域の魅力を定期的に発信する場として、また地元の方が自分の言葉で伝える貴重な場である。毎年平均約200名の個人での申し込みがありニーズもあることから有効な手段である。		
これまでの課題及び今後の方向性	講座を修了された方が実際にガイドとして活躍されるのは少人数であり、受講者に対してのフォローが必要である。また、現役ガイドの高齢化が進んでおり、新たな観光ガイドの育成が急務である。観光協会が事務局を持ち市の受託事業として実施していくことが最も効果的である。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	観光振興一般管理事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治					
会計情報	事業コード	230125	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計	決算付属資料	184・186	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和2年度		関連計画名							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	観光振興業務を円滑に執行する。								
対象者	—		対象者数	—		単位あたりコスト			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	観光振興業務を円滑に行うための内部事務経費								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	334	普通旅費						
	需用費	56	修繕費						
	役務費	485	通信運搬費						
	使用料及び賃借料	48	高速道路使用料						
負担金補助及び交付金	1,035	負担金							

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,300	1,575	1,750	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,300	1,575	1,750						
予算財源内訳	① 一般財源	1,265	1,540	1,715					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	35	35	35					
決算情報	① 流充用額	1,297	417	0	0				
	② 配当予算	2,597	1,992	0	0				
	③ 執行額	2,597	1,958	0	0				
	④ 執行率	100.0%	98.3%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.3/0	0.50 /	0.50 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,400	4,000	4,000	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,997	5,958	4,000						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	観光テレホンカード	種類	物品売払収入	実績金額	1	決算付属資料	34	頁
	特財名称	福知山十景絵葉書	種類	物品売払収入	実績金額	17	決算付属資料	34	頁
	特財名称	きょうと地域連携交付金	種類	商工費府補助金	実績金額	46	決算付属資料	28	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	観光入込客数	人	946,618 / 960,000	927,086 / 980,000	1,116,577 / 1,000,000	/	500,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	連携する広域観光団体	団体	3/3	3/3	3 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		626.30	865.70	652.55	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	観光行政全般の事務経費であり、関係団体との連携や各施設の維持管理を適正に実施するため必要。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	海の京都や森の京都と連携しながら、観光プロモーションなど単独でできないことはスケールメリットをいかし広域で取り組んでいる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	DMO以外の観光団体に関する負担金の予算を計上し毎年定額を支払っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	観光振興を進めるための経費、かつ観光入込客数を増加させるためには必要な事業である。各自治体や各種観光団体と連携することで福知山への入込客数増加に繋がっている。		
これまでの課題及び今後の方向性	近年、DMOが地域に設立され、自治体も参画している。これまで加入されてきた広域観光団体を脱退されるなど、市町の状況にも変化が出てきている。本市においても、2つのDMOへの参画を始めこれまで加入している京都府広域観光連盟や北近畿広域観光連盟、大江山観光開発協議会などがあり、連携をさらに強化していく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	福知山踊り振興事業									
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治		
会計情報	事業コード	230130	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計 決算付属資料 186 頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する						
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和2年度		関連計画名				
根拠法令等										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業	福知山ドッコイセまつり事業補助金・ドッコイセフェスティバル事業補助金									

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市内の各団体に対して、福知山踊りの講師を派遣することにより、市無形民俗文化財であり400年の伝統ある「福知山踊り」の振興と発展及び踊り手の育成を図り、福知山踊りの伝統を後世に伝えていく。また、「福知山踊り」を普及することで、「ドッコイセまつり」や「ドッコイセフェスティバル」等の関連イベントの活性化を図り踊り参加者増加や観光誘客につなげる。								
対象者	観光客及び市民	対象者数	10,500	単位あたりコスト	0.3				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山踊り振興会、福知山ドッコイセまつり実行委員会								
事業概要 (箇条書き)	○「福知山ドッコイセまつり実行委員会」への補助金 【福知山ドッコイセまつり】 実施日：8月14日(水)～16日(金)、24日(土)、25日(日) 実施場所：広小路通り、御霊神社、福知山駅北口公園 ○「福知山踊り振興会」への補助金 【ドッコイセフェスティバル】 実施日：8月3日(土) 実施場所：厚生会館 ○市内の各団体からの要望により福知山踊りの講師を派遣する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	371	業務委託料						
	負担金補助及び交付金	1,580	補助金						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	5,101	2,365	1,945	予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
小計(①～③)	5,101	2,365	1,945					
予算財源内訳	① 一般財源	5,101	2,365	0				
	② 国支出金	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	1,945				
決算情報	① 流充用額	△ 228	△ 414	0	0			
	② 配当予算	4,873	1,951	0	0			
	③ 執行額	4,676	1,951	0	0			
	④ 執行率	96.0%	100.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.08/0	0.10 /	0.10 /	0.00	0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	640	800	800	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,316	2,751	800					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁		
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁		
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	受講者数	人	1815 / 1500	2124 / 1500	2,048 / 1,500	/1,500	1,500
踊り参加者	人	7600 / 9000	11300 / 9000	10,500 / 9,000	/9,000	9,000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	派遣回数(単価契約)	回	37 / 45	44 / 45	39 / 45	/45	45
	単位あたりコスト		9.50	9.50	9.50		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに向け、福知山踊りの振興と発展、次代への継承のため、団体を市が支援する必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	必要最小限の経費の支出としており、福知山ドッコイセまつり事業補助金は令和元年度に500千円の減額を行った。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	講師派遣については、特に保育園・小学校からの要望が多く、伝統文化である「福知山踊り」を次世代へ継承していくために有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	本市の伝統文化を保存・継承する役割を果たしている。福知山踊り講師派遣については毎年年間約40件程度派遣があり、参加総人数も2000人で推移していることから一定ニーズがある。		
これまでの課題及び今後の方向性	ドッコイセ花火大会が開催されていた時代は、花火大会も含めイベントとして観光担当部署が所管していた。ドッコイセまつり自体はイベント行事であるためこのまま産業観光課の所管で問題はない。しかしながら福知山踊りの歴史的背景や子どもから高齢者まで踊り文化の伝承といった側面がある。踊りの伝承である講師派遣事業については文化振興活動であり所管の整理も必要。		

事後事業評価

事中山業評価

事務事業評価後に記入

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性														
事業名	観光案内所管理運営事業													
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治						
会計情報	事業コード	230131	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	186	頁
施策体系	施策コード	060302		施策名						観光施設・交流施設を充実させる				
計画期間	開始年度	平成1年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名							
根拠法令等														
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()													
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合													
関連事業														

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	JR福知山駅北口に設置した観光案内所の管理・運営や福知山観光のPR活動を行う。													
対象者	観光客	対象者数	24,728		単位あたりコスト	0.4								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()													
委託先・実施主体等	(一社)京都北部地域連携都市圏振興社 海の京都DMO福知山地域本部、アムス・セキュリティサービス(株)													
事業概要 (箇条書き)	観光案内所への来場者に対する案内業務 観光ギャラリーの管理業務。観光情報の発信業務													
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容											
	需用費	26	光熱水費											
	委託料	6,900	業務委託料											
	使用料及び賃借料	407	土地建物使用料											
	負担金補助及び交付金	546	負担金											

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	7,425	7,813	8,625	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	7,425	7,813	8,625						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	7,425	7,813	8,625					
決算情報	① 流充用額	15	66	0					
	② 配当予算	7,440	7,879	0					
	③ 執行額	7,438	7,879	0					
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.2/0	0.20 /	0.20 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,600	1,600	1,600	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,038	9,479	1,600						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	7,678	決算付属資料	38	頁
	特財名称	駅レンタカーギャラリー光熱水費	種類	雑入	実績金額	49	決算付属資料	44	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	観光入込客数	人	946,618 / 960,000	927,086 / 980,000	1,116,577 / 1,000,000	/	500,000	1,050,000
推奨土産品登録数	個	149 / 162	158 / 166	158 / 166	/	/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	観光案内所開所日数	日	359 / 359	359 / 359	359 / 359	/	365	365
	単位あたりコスト		22.21	20.70	21.95	/	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	福知山の観光情報などを発信する拠点であるため必要である。自然や歴史、文化等の観光資源をPRし観光による交流人口や関係人口増加に繋がることで、地域の活性化に寄与するもので継続して事業を行う必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	委託業務として観光案内所の管理運営業の経費を支出。観光土産品販売を平成30年から観光協会が開始された。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	観光による交流人口や関係人口の拡大がもたらす経済効果は極めて大きい。しかしながら現在管理運営が主体となる業務委託のため、海の京都DMO地域本部としての(福知山観光協会)独自性が発揮されていない。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	大河ドラマの影響で観光案内所への来場者が増加しており、観光案内所の管理運営、観光情報の提供について情報発信効果が見込まれる。職員のスキルアップにも繋がっている。(観光会案内所来訪者:平成30年度15,746人 令和元年度24,728人 福知山観光協会調べ)		
これまでの課題及び今後の方向性	海の京都DMO管内の地域本部(各観光協会)で旅行造成、販売など観光地域づくりと絡めて事業を開始しているが海の京都DMO福知山地域本部(福知山観光協会)については未実施。今後海の京都DMOと連携した観光コンテンツの造成、販売を行えるよう海の京都DMO福知山地域本部(福知山観光協会)への業務委託内容の見直し、人材確保も含めて対応していく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性														
事業名	観光パンフレット作成事業													
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治						
会計情報	事業コード	230139	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	186	頁
施策体系	施策コード	060305		施策名	観光情報の発信力を高める									
計画期間	開始年度	平成20年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名							
根拠法令等														
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()													
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合													
関連事業														

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山を効果的にPRするためパンフレット等を作成する。													
対象者	観光入込客	対象者数	1,116,577		単位あたりコスト	0.0								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()													
委託先・実施主体等														
事業概要 (箇条書き)	福知山市の魅力を描載したPR媒体(パンフレット等)を作成した。 道の駅等や周辺観光施設への配架やキャンペーンの実施、首都圏、京阪神の旅行社・メディアに対する商談活動や関西国際空港での本市のPRにより誘客を図った。													
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容											
	需用費	449	印刷製本費											

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,000	399	2,471	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	2,000	399	2,471						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	2,000	399	2,471					
決算情報	① 流充用額	△ 106	138	0					
	② 配当予算	1,894	537	0					
	③ 執行額	1,552	449	0					
	④ 執行率	81.9%	83.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.15/0	0.10 /	0.10 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,200	800	800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,752	1,249	800						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	449	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	観光入込客数	人	946618/	927,086 / 980,000	1,116,577 / 1,000,000	/ 500,000	1,050,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	観光キャンペーン	回数		7/10	10/10	/ 10	10
	単位あたりコスト			221.80	44.90	/	
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	道の駅や観光施設への配架、キャンペーンでの配布は本市を知らない人に対して魅力を伝えるために必要な手段である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	福知山の魅力をPRするのに紙媒体が適切なのか、アプリ等ほかのツールを検討する必要がある。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	大河ドラマを機に本市を訪れる方に配布することで周遊を促進できる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	本市の魅力を効果的に伝えるためにパンフレットの作成は必要である。観光パンフレットの送付依頼も多く、大河ドラマの影響もあり効果的に配布できた。		
これまでの課題及び今後の方向性	インバウンド用に英語・韓国語・簡体字・繁体字を発行しているが、日本語版を翻訳した内容になっている。各言語版ごとに内容を作り変え、より訴求力のあるパンフレットを作成する必要がある。紙媒体以外にもアプリやデジタルサイネージなどの他の媒体も検討していく必要がある。直接実施ではなく民間委託も検討し広告収入など財源確保も検討する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	観光案内看板(道路サイン)整備事業									
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治		
会計情報	事業コード	230143	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計 決算付属資料 186 頁
施策体系	施策コード	060305	施策名	観光情報の発信力を高める						
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名					
根拠法令等										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山の主要道路において、観光サインを設置して市外から自動車等を利用して訪れる方に対し観光サインで適切な情報を提供する。								
対象者	市外からの流入者			対象者数	-		単位あたりコスト		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	国道9号、国道175号線、主要市道において、福知山城や三段池公園へ誘導させる看板を設置する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	工事請負費	4,644	観光道路サイン6箇所設置						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	13,900	0	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	△ 8,400	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	0	5,500	0						
予算財源内訳	① 一般財源		1,400	0					
	② 国支出金		0	0					
	③ 府支出金		0	0					
	④ 地方債		12,500	0					
	⑤ その他特財		0	0					
決算情報	① 流充用額	0	△ 300	0					
	② 配当予算	0	5,200	0					
	③ 執行額	0	4,644	0					
	④ 執行率		89.3%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.10 /	0.10 /	0.00 /					
	② 概算人件費		800	800					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	5,444	800						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域活性化事業債	種類	商工債	実績金額	4,100	決算付属資料	52	頁
	特財名称	きょうと地域連携交付金	種類	商工費府補助金	実績金額	385	決算付属資料	28	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	観光案内看板	箇所				6 / 6	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		単位あたりコスト			/	/	
		単位あたりコスト			/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	大河ドラマの影響により、大型バス、自家用車等で福知山城等に訪れる観光客等に関し道路観光サインを設置することは必要。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	設置の箇所及び大きさを道路管理者等協議するなかで、コスト低減に努めた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	計画通り設置が完了した。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	主要道路に福知山城や三段池公園といった道路サインを設置する当初目的は適切な工事施行によって達成。		
これまでの課題及び今後の方向性	この事業完了により一定主要道路のサイン整備は完了した。今後設置した道路サインの点検を行いながら老朽化対策も検討していく。令和元年9月にJAFと観光協定を締結したことから、JAFとの協力により車ユーザーへの観光情報の発信を進める。		

事後事業評価

・看板の大きさ等の規格もあることから、今後の可能性については、必要性の高い所のみに限る必要があると感じた。
 ・デジタルも含め、観光サインの新たな方向性をとり入れるべきと考える。

事中山業評価

事務事業評価後に記入

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	福知山お城まつり支援事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治					
会計情報	事業コード	230147	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計	決算付属資料	186	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山お城まつり事業補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	春の福知山を代表する「福知山お城まつり」を実施することにより、福知山市のシンボルであり、明智光秀が築城した「福知山城」を市外に向けて広くPRする。また、イベントを通じて観光客の誘客促進につなげ交流人口の拡大を目指す。												
対象者	観光客及び市民	対象者数	30,000	単位あたりコスト	0.1								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	福知山お城まつり実行委員会												
事業概要 (簡条書き)	「福知山お城まつり実行委員会」への補助金 【福知山お城まつり】 事業内容: 食の祭典、福知山踊りパレード、光秀行列等 実施日: 4月13日(土)、14日(日) 実施場所: 広小路通り、御霊神社、福知山城												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	3,000	補助金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,000	3,000	3,000	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	3,000	3,000	3,000						
予算財源内訳	① 一般財源	3,000	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	3,000	3,000					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	3,000	3,000	0					
	③ 執行額	3,000	3,000	0					
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.06/0	0.11 /	0.11 / 0.00					
	② 概算人件費	480	880	880					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,480	3,880	880						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金	種類	基金繰入金	実績金額	3000	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	イベント入込客数	人	12,000/12,000	11,000/12,000	10,000 / 12,000	/12,000	12,000
観光入込客数	人	946,618 / 960,000	927,086/980,000	1,116,577 / 1,000,000	/500,000	1,050,000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	光秀行列	回	1 / 1	1 / 1	1 / 1	/	
	単位あたりコスト		3000.00	3000.00	3000.00		
	開催日数	日	2/2	2/2	2 / 2	/	
単位あたりコスト		1500.00	1500.00	1500.00			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	本市のシンボルである「福知山城」を広くPRし、イベントを通じて本市の個性と魅力を継承・発信し、交流・集客の促進につなげていくことができる事業である。市として「福知山お城まつり実行委員会」を支援する必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	平成21年度から類似事業であった「城フェスティバル」と統合された。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	福知山の春を代表するイベントとして定着しており、毎年多くの入込客がある。また、「明智光秀が築いた城下町 福知山」を全国に発信し、本市のPRや誘客を図るものとして有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	「福知山お城まつり」は福知山城天守閣の再建を機に始まったもので、本市の春を代表するイベントとして観光誘客の増加や賑わい創出に寄与している。また、本市のシンボルで明智光秀ゆかりの福知山城や御霊神社のPRにも役立っている。		
これまでの課題及び今後の方向性	福知山市の春を代表するイベントであり、その誘客効果と本市のPR効果は高い。大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を機に、「明智光秀が築いた城下町 福知山」を全国に発信し、本市のPRや誘客を図る。財源確保や同時期開催イベントとの連携を検討しつつ継続して事業を実施するため、平成29年度から収支決算状況を精査し補助金額を減額した。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	観光友好都市交流事業									
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治		
会計情報	事業コード	230166	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計 決算付属資料 186 頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する						
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	平成24年に「観光友好都市連携」及び「災害時における相互応援協定」を締結した大江山の酒呑童子伝説とゆかりのある金太郎の生誕地 静岡県小山町と観光分野における地域交流を通して住民福祉の向上と地域社会の発展に資するため交流を促進し将来にわたる絆を深める。									
対象者	交流事業参加小中学生	対象者数	25	単位あたりコスト	83.9					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等										
事業概要 (簡条書き)	○「夏休み富士山チャレンジ自然体験」の実施 事業内容: 富士登山と小山町との交流 参加対象: 市内の中学1~3年生 実施日: 8月5日(月)~7日(水) ○「鬼伝説交流事業」の実施 事業内容: 小山町の児童を本市に招き、本市の子どもたちと交流を図る 参加対象: 市内の小学5, 6年生 実施日: 8月3日(土)~5日(月) 平成29年度に大江支所「観光友好都市鬼伝説交流事業」を統合									
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容							
	旅費	30	普通旅費							
	需用費	5	消耗品費							
	役務費	30	手数料							
	使用料及び賃借料	832	施設使用料、自動車借り上げ料							

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,142	1,082	1,227	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,142	1,082	1,227						
予算財源内訳	① 一般財源	832	0	221					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	310	1,082	1,006					
決算情報	① 流充用額	△ 682	△ 158	0					
	② 配当予算	460	924	0					
	③ 執行額	431	897	0					
	④ 執行率	93.6%	97.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.3/0	0.15 /	0.15 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,400	1,200	1,200	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,831	2,097	1,200						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	友好都市交流参加者負担金	種類	雑入	実績金額	56	決算付属資料	46	頁
	特財名称	観光友好都市交流事業参加者負担金	種類	雑入	実績金額	200	決算付属資料	48	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	富士山登山参加数	人	16	14	14	—	14
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	最終目標	
	実施回数	回	2/2	1/2	2 / 2	/	
	単位あたりコスト		291.00	431.00	448.64		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	平成24年に提携した観光友好都市静岡県小山町との交流を今後も継承し、将来にわたる絆を深めるために必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	H30から富士山登山参加者から負担金を徴収して財源確保を行っている。鬼文化交流事業と合わせて令和元年度ふるさと納税型クラウド・ファンディングを実施した。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	市民(小学生、中学生同士)が交流することにより、両市町の親交を更に深めることができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	小山町の子どもたちと交流を図ることで、お互いのまちに対する愛着心の醸成につながっている。募集については、各中学校へ案内を配布、参加申込は毎年30名程度を受付している状況であるが、参加は受入先の態勢で14名である。(夏休み富士山チャレンジ自然体験)		
これまでの課題及び今後の方向性	受け入れ先の関係上、14名が限度とされ、毎年30名程度の応募があるが結果的に一部の中学生の富士山登山に係る経費の負担となっている。長時間移動や山小屋での宿泊、富士山特有の密集状態での登山など3密を避けることが今後できないことから、翌年度以降小山町と事業自体の在り方について検討を行う。行政間での総合調整を行い、人的交流以外にモノ、金、情報などの交流ができる仕組みづくりを考えていく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性														
事業名	福知山観光地域づくりセンター運営事業													
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治						
会計情報	事業コード	230184	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	186	頁
施策体系	施策コード	060301		施策名 観光客の増加を促進する										
計画期間	開始年度	平成29年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名							
根拠法令等														
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()													
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合													
関連事業	海の京都DMO事業、森の京都DMO													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	『北近畿の玄関口としての特性を活かし、市民主体で持続可能な観光コンテンツをつくる』を戦略テーマとし、過疎化や高齢化等により活力を失いつつある地域の地域資源と経営感覚のある事業者を繋いで、観光を切り口としながら持続可能な観光地域づくりを進める。								
対象者	上六人部地区、三岳地区、大原地区			対象者数	2,000		単位あたりコスト	6.2	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	株式会社localize								
事業概要 (箇条書き)	上六人部地区：上六人部活性化協議会を中心にAtoZでまとめた地域の魅力を内外に発信するまち歩きイベントの実施や農業体験を通じて地域の魅力を知る体験コンテンツの造成を行い、交流人口や関係人口の拡大による観光地域づくりを計画。 三岳地区：里の駅みたけを核として、かかしづくり体験のコンテンツ化と特産品のブラッシュアップ、販路開拓の支援。農泊も絡めた体験商品の造成を行う。 大原地区：大原ウエディング事業の商品化								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	報償費	75		委員報償					
	委託料	8,690		観光地域づくり戦略マネジャー・地域づくり担当業務					

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	13,138	8,784		6,794		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①~③)	13,138	8,784		6,794							
予算財源内訳	① 一般財源	0	0		0						
	② 国支出金	6,569	4,392		0						
	③ 府支出金	0	0		0						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	6,569	4,392		3,440						
決算情報	① 流充用額	△ 283	0		0		0				
	② 配当予算	12,855	8,784		0		0				
	③ 執行額	12,777	8,765		0		0				
	④ 執行率	99.4%	99.8%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.4/0	0.45	/	0.00	0.45	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	3,200	3,600		3,600		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	15,977	12,365		3,600							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金		種類	商工費国庫補助金	実績金額	4,345	決算付属資料	20	頁	
	特財名称	地域振興基金		種類	基金繰入金	実績金額	4,420	決算付属資料	38	頁	
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標	
	観光入込客数	人	946,618 / 960,000	927,086 / 980,000	1,116,577	/	1,000,000	/	500,000	1,050,000
			0	0	/		/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標	
	事業着手地区数	回	2/ 3	3/ 3	3	/	3	/	2	3地区の自走化
	単位あたりコスト		6505.00	4259.00	2921.67					
	単位あたりコスト		/	/	/		/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	地域資源を観光という視点で見つめ直し、交流人口や関係人口を拡大させることによって、持続可能な地域づくりを展開する上で必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	地域が主体的に取り組むことが必須条件であり、一定期間の試行時間等がかかるため、必然的にコストはかかるが、民間事業者を繋げることで地域資源を観光コンテンツ化できるとともに民間事業者との連携による効果的かつ効率的な事業運営が可能となる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	この事業を有効に機能させるためには、まず地域が主体的に取り組むことが不可欠であり、一定期間継続して取り組む必要があるが、地域によっては、事業継続が出来ない場合もあるため見極めが必要である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>事業着手地域においては、地域資源の見直しを進められるなど地域が主体となり、機運の醸成ができた。持続可能な住民主体による事業展開を目指すことを目的としており、3地区で取り組みを進めたところ1地区が自走化できた。今後についても観光を切り口とした地域主体で持続可能な事業展開を行う理念は継続していく。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>本事業を地域住民が主体的に取り組むにはまず、地域の中での人材が必要不可欠である。また地域と団体等を繋ぐコーディネート人材も必要である。今後観光地域づくりを更に機動的に効果を発揮させるためには、海の京都DMOなどが事業主体となり、開発したコンテンツの販売を促進させていくことが必要。市が地域を指定し事業実施してきているため、地域住民の主体性が低くなる傾向であった。今後地域からの要望に対して支援策を提案するといった公募形式も検討していく。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	「肉のまち福知山」事業									
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治		
会計情報	事業コード	230186	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計 決算付属資料 186 頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する						
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等	肉まち協議会補助金交付要綱									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業	まちなかフェスティバル									

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	かつて西日本の三大家畜市場が存在し、全国の流通を支えた歴史的な背景から、現在も精肉店や焼肉店を中心に様々な「肉」を扱った店舗が多く存在している。食文化としての肉を新たな観光コンテンツとし「肉のまち福知山」を食のイベントに絡めてPRすることで観光振興による地域活性化を図る。								
対象者	近隣市町の住民及び市民	対象者数	10,000	単位あたりコスト	0.5				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山肉まち協議会								

事業概要 (簡条書き)	○福知山肉まち協議会に対する活動支援経費 【ふくちやまMEET×MEATフェスティバル2019】 事業内容: 飲食ブースの出店(29店舗) 実施日: 10月27日(日) 実施場所: 福知山駅北口広場								
----------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容	
	負担金補助及び交付金	1,800	補助金	

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,000	1,800	1,255	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	2,000	1,800	1,255						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	1,000	900	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	1,000	900	655					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	2,000	1,800	0					
	③ 執行額	2,000	1,800	0					
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.42/0	0.35 /	0.35 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,360	2,800	2,800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,360	4,600	2,800						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	商工費国庫補助金	実績金額	900	決算付属資料	20	頁
	特財名称	ふるさと納税基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	900	決算付属資料	40	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	観光入込客数	人	946,618 / 960,000	927,086 / 980,000	1,116,577 / 1,000,000	/	500,000
イベント参加者数	人	中止	7000 / 3000	10,000 / 3,000	/	3,000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	実施回数	回	0 / 1	1 / 1	1 / 1	/	1
	単位あたりコスト		0.00	2000.00	1800.00	/	

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	「肉のまち福知山」として食イベントによる福知山をPRする中心的な事業であり、交流人口の拡大と観光消費額増加に効果がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	出店料を徴収する仕組みとし、財源の確保に努めた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	令和元年度は10,000人の来場者があり、広く「肉のまち福知山」をPRできた。直前にテレビ番組で告知ができたこともあり、府外からも来場者があった。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	H30は来場者約7,000人、R1は来場者約10,000人と増加しており、新たな観光コンテンツ「肉のまち福知山」が浸透しており、交流人口の拡大に寄与している。また、イベントを機に店舗を訪れる人の流れができるなど、参加事業者からも評価を受けている。		
これまでの課題及び今後の方向性	イベントだけでなくとどまらず、恒常的に「肉のまち福知山」を感じられる仕組みづくりやPRが必要。補助金終了後の組織体制づくりを民間主導で行うなど取り組みが課題。今後も食というコンテンツとしてPRするとともに、観光入込客数の拡大と観光消費額の増加に努めていく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	海の京都DMO事業									
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治		
会計情報	事業コード	230344	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計 決算付属資料 186 頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する						
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府・他市協調実施)									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業	森の京都DMO事業									

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	京都府北部(宮津市・京丹後市・舞鶴市・福知山市・綾部市・伊根町・与謝野町)を「海の京都」と位置付け、全国有数の競争力ある観光圏となることを目的に地域活性化と観光振興を資する事業を実施								
対象者	観光入込客	対象者数	1,116,577	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	海の京都DMO								
事業概要 (簡条書き)	一般社団法人京都府北部連携都市圏振興社(海の京都DMO)への負担金 インバウンドプロモーション、着地型観光旅行造成、ランドオペレート、特産品販売、マーケティング調査、観光地域づくり人材の育成								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	11,288	負担金						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	11,851	11,288	11,419	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	11,851	11,288	11,419						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	4,338	4,068	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	7,513	7,220	7,305					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	11,851	11,288	0					
	③ 執行額	11,851	11,288	0					
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.2/0	0.20 /	0.20 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,600	1,600	1,600	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	13,451	12,888	1,600						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	商工費国庫補助金	実績金額	4,068	決算付属資料	20	頁
	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	7,220	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	観光入込客数	人	946,618 / 960,000	927,086 / 980,000	1116577 / 1,000,000	/	500,000	1,050,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	特産品販売額	万円	1,100/2,000	691/2,000	631 / 2,000	/	2,000	2,000
	単位あたりコスト		10.74	17.10	10.10			
			/	/	/	/		
	単位あたりコスト							

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	観光による地域経済の活性化と地域づくりを継続していくためには日本版DMOといった法人化による組織は必要。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	民間主導につなげる仕組みがDMOとして必要であり、海の京都DMOでは今後5か年の中期戦略を令和2年度で策定し効率を求めた経営改善を図る。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	圏域のプロモーション活動などにおいてはスケールメリットをいかせることから観光による地域振興の取組みとして有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>○北部全体で観光による集客力を底上げするための施策を展開。 [R1主要事業] ・継続的データ収集・整備・分析 ・着地型旅行商品造成 ・インバウンド誘客 ・情報発信・プロモーション 等</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>事業費の市町負担、運営形態など今後調整を要する事項が多く関係市町と連携しつつ注視する必要がある。 今後DMO福知山地域本部(福知山観光協会)とDMO総合企画局との業務分担など明確にしなが、地域が稼ぐ仕組みづくりと持続可能な組織体制の確立を目指し協力して旅行造成や情報発信など連携強化をさらに図っていく必要がある。 市として観光入込客数の拡大と観光消費額の増加に努めていくが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染拡大による影響で減少すると見込んでいる。</p>		

事後事業評価	
--------	--

事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性														
事業名	森の京都DMO事業													
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治						
会計情報	事業コード	230345	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	186	頁
施策体系	施策コード	060301		施策名						観光客の増加を促進する				
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度		令和2年度		関連計画名						
根拠法令等														
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府・市協調実施)													
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合													
関連事業	海の京都DMO事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	京都府中部地域(亀岡市、南丹市、京丹波町、福知山市、綾部市、京都市右京区京北)において、生命と文化を育んできた「森」を多面的な角度から、観光資源として捉え、観光地域づくりを推進し国内外の観光交流による地域活性化を図る。								
対象者	観光入込客	対象者数	1,116,577		単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	森の京都DMO								
事業概要 (簡条書き)	一般社団法人 森の京都地域振興社(森の京都DMO)に対する負担金 森の京都が実施する主な事業 インバウンド対策(ファミトリップ、プロモーション)、ローカルガイド講座、着地型旅行造成・販売、マーケティング調査、観光地域づくり人材支援等								
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	9,124	負担金						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	9,552	9,124	9,118	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	9,552	9,124	9,118						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	3,666	3,337	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	5,886	5,787	5,798					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	9,552	9,124	0					
	③ 執行額	9,552	9,124	0					
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.17/0	0.50 /	0.50 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,360	4,000	4,000	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,912	13,124	4,000						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	商工費国庫補助金	実績金額	3,150	決算付属資料	20	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	観光入込客数	人	946,618 / 960,000	927,086 / 980,000	1,116,577 / 1,000,000	/	500,000	1,050,000
			/	/	/	/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	地域人材育成研修回数	回	5/8	43532	3 / 8	/	8	8
	単位あたりコスト		2020.00	3184.00	3,041			
	観光コンテンツ造成		/	/	/	-	/	3
	単位あたりコスト							

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	観光による地域経済の活性化と地域づくりを継続していくためには日本版DMOといった法人化による組織は必要。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	民間主導につなげる仕組みがDMOとして必要であり、森の京都DMOでは今後5か年の中期戦略を令和2年度で策定し効率を求めた経営改善を図る。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	圏域のプロモーション活動などにおいてはスケールメリットをいかせることから観光による地域振興の取組みとして有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>当該DMOにおいて以下の取組みが実施されており、圏域での観光誘客が図られた。</p> <p><令和元年度 事業抜粋></p> <p>国内外プロモーション(森の京都の主導による亀岡市及び大津市と連携した東名阪エリアの旅行会社キャラバンの実施 等)</p> <p>マーケティング調査(スマートフォンを活用したアンケート調査の実施 等)</p> <p>着地型旅行商品開発・販売(市内イベントを観光目的としたツアー造成 等) 他</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>インバウンド対策も行いながら、ウィズコロナ社会を見据えたマイクロツーリズムなどDMO自体が事業の見直しを実施された。各DMOと協力しつつ観光入込客数の拡大と観光消費額の増加に努めていく方針であるが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少すると見込んでいる。</p>		

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針	
方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果	
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	福知山城公園観光駐車場管理運営事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課				所属長	大西 孝治						
会計情報	事業コード	650312	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計	決算付属資料	186・188	頁
施策体系	施策コード	060302		施策名	観光施設・交流施設を充実させる								
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山城公園観光駐車場の管理・運営を行う。福知山市郷土資料館・佐藤太清記念美術館などの来館者に駐車場を提供する。								
対象者	観光客及び市民(福知山城、美術館及びゆらのガーデン利用者)	対象者数	256,295	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	公益社団法人シルバー人材センター、株式会社フォールズ								
事業概要 (箇条書き)	○福知山城公園観光駐車場の維持管理(ゴールデンウィーク期間中の警備、修繕等) ○駐車場内のトイレの維持管理								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	744	消耗品、光熱水費						
	役務費	29	手数料						
	委託料	615	維持管理業務委託						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,089	1,079	1,878	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,089	1,079	1,878						
予算財源内訳	① 一般財源	0	10	200					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	1,089	1,069	1,678					
決算情報	① 流充用額	0	363	0	0				
	② 配当予算	1,089	1,442	0	0				
	③ 執行額	776	1,388	0	0				
	④ 執行率	71.3%	96.2%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.2/0	0.10 /	0.10 /	0.00	0.00 /	0.00		
	② 概算人件費	1,600	800	800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,376	2,188	800						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山城天守閣入城料	種類	総務使用料	実績金額	1,388	決算付属資料	10	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	観光入込客数	人	946,618 / 960,000	927,086 / 980,000	1,116,577 / 1,000,000	/	500,000
福知山城入館者数	人	38,500 / 38,500	39,000 / 38,500	75,246 / 50,000	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	警備日数	日	3/3	3/3	6 / 3	/365	3
	単位あたりコスト		1189.00	388.00	231.33		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	福知山城やまちなか観光の基点となる駐車場施設、トイレ施設として必要であり適切に管理する必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	現在は受益者負担を求めず無料駐車場として提供している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	大河ドラマの放送を機に福知山城、福知山光秀ミュージアムを訪れる観光客が増加したため、現在の駐車可能台数(70台)では不足している。そのため、福知山光秀プロジェクト推進協議会が近隣の民間駐車場を借上げを行い、協議会と連携して駐車場対応にあたった。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	ゆらのガーデン前にあることから福知山城の観光客やゆらのガーデン利用者などへの効果は大きい。大河ドラマの好影響もあり、平日の昼前後は駐車場が満車状態になるなど、トイレも含めた管理については必要でありその目的は達成している。		
これまでの課題及び今後の方向性	ゆらのガーデンのイベント時には満車になりやすいため、更なる駐車場確保の検討が必要である。老朽化したトイレの使用頻度が高く管理経費が上昇傾向にあること、観光客から改修の意見も寄せられている。令和2年度は官民連携組織・福知山光秀プロジェクト推進協議会で駐車場警備を1月11日まで行う。駐車場管理を直接実施で行っているが包括委託など民間事業者への委託についても検討を進める。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	農政事務管理事業												
事業担当	所属	産業政策部 農政課				所属長	西畑 信寿						
会計情報	事業コード	220103	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	02 農業総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
施策体系	施策コード	040403	施策名	人と自然が共生する社会を推進する									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	農政課の所管する全事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本事業は、経常経費の事業であり、積算システムなどの経費や課で使用する消耗品などの管理、調達に関する費用である。農政課の事務的経費を一元的に管理していくことにより、過不足なく、効率的な執行ができる。													
対象者	-											対象者数	-	単位あたりコスト
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()													
委託先・実施主体等	京都府土地改良事業団体連合会、北陵地域公民館運営協議会													
事業概要 (箇条書き)	農政事務の総括的な運営を行う。													
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容										
	需用費	1,282		公用車車検整備 他										
	役務費	386		郵送料 他										
	委託料	176		京都府版標準積算システム運用支援委託業務										
	旅費	57		普通旅費、研修旅費										
	使用料及び賃借料、備品購入費、負担金補助及び交付金、公課費	129		使用料及び賃借料21、備品購入費44、負担金補助及び交付金31、公課費33										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	5,974	2,897	2,897	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	5,974	2,897	2,897						
予算財源内訳	① 一般財源	5,777	2,692	2,569					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	197	205	328					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	5,974	2,897	0	0				
	③ 執行額	5,382	2,030	0	0				
	④ 執行率	90.1%	70.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.82 / 0.40	0.22 / 0.30	0.22 / 0.30	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	7,560	2,510	2,510	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	12,942	4,540	2,510						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料(農政課)	種類	農林使用料	実績金額	547	決算付属資料	10	頁
	特財名称	土地改良事業データ証明手数料	種類	農林手数料	実績金額	1	決算付属資料	16	頁
	特財名称	中山間ふるさと水と土保全対策事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	32	決算付属資料	36	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	農区長会の開催	回	1/1	1/1	- / -	- / -	-
農区長会の参加者数	人	216/248	199/248	- / -	- / -	-	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	農政事務の運営	式	1/1	1/1	1 / 1	1 / 1	1
	単位あたりコスト		6455.00	5382.00	2030.27	/	/
単位あたりコスト				/	/		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	農政課で共通する経費について、一元的に管理することで、課内で事務が重複することなく執行できる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	経常経費的な事務経費を共通に管理することにより、効率的な執行ができる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	農政事務全般を総括する庶務的事業として、目的を果たしている。共通経費の執行にあたり、一元的に管理することで無駄がないように努めている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農政課に共通する経常経費的な事務経費事業であり、コスト縮減や効率化が図れる部分については、見直しに努めている。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	農政課に共通する事務経費について、一元的に管理し執行していくことで、効率的な事務執行ができる。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	農村研修集会施設等管理事業												
事業担当	所属	産業政策部 農政課					所属長	西畑 信寿					
会計情報	事業コード	220168	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	02 農業総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
施策体系	施策コード	040403	施策名	人と自然が共生する社会を推進する									
計画期間	開始年度	昭和50年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市公共施設マネジメント計画							
根拠法令等	福知山市山村基幹集落センター条例、同施行規則												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	こぶし荘管理事業、公共施設民間譲渡事業(集会施設)(農政課)												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	持続可能な農村づくり、また地域コミュニティを形成する拠点施設とするため、地域の農村研修集会施設等の適切な維持管理を図る。								
対象者	対象地域住民	対象者数	20,444	単位あたりコスト	0.3				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	西川電気設備管理事務所、(株)かんと一す、(株)丹新ビルサービス、(株)高見組 他								
事業概要 (箇条書き)	農村研修集会施設等を適切に維持管理するため、必要な施設の点検等を行う。 特財名称:台頭コミュニティセンター浄化槽費用地元負担分 種類:雑入 実績金額:48 決算附属資料:46頁 特財名称:農村研修集会施設等損害保険料 種類:雑入 実績金額:164 決算附属資料:48頁								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	1,596	北陵総合センター浄化槽維持管理業務、農村研修集会施設消防設備等点検業務 他						
	需用費	1,291	光熱水費、北陵総合センター漏水修繕						
	役員費	695	中六人部会館絶縁油PCB含有検査、北陵総合センター蜂の巣撤去業務 他						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	7,315	5,368	2,516	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	7,315	5,368	2,516						
予算財源内訳	① 一般財源	6,740	3,975	1,736					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	575	1,393	780					
決算情報	① 流充用額	108	52	0	0				
	② 配当予算	7,423	5,420	0	0				
	③ 執行額	7,203	3,581	0	0				
	④ 執行率	97.0%	66.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.32 / 0.05	0.35 / 0.20	0.35 / 0.20	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,685	3,300	3,300	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,888	6,881	3,300						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料(農政課)	種類	農林使用料	実績金額	315	決算付属資料	10	頁
	特財名称	施設用地使用料(農政課)	種類	農林使用料	実績金額	94	決算付属資料	10	頁
	特財名称	定住促進センター庵我会館貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	172	決算付属資料	32	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	稼働施設数	施設	31/31	31/31	30 / 30	/ 26	26		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	管理施設数	施設	31 / 31	31 / 31	31 / 31	/ 30	30		
	単位あたりコスト		244.00	232.30	115.53				
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	農林水産省補助金により建設した農村研修集会施設は、地域のコミュニティ活動等の拠点施設として活用されており、適切な維持管理を行うために市が取り組む必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	施設を維持していく上で必要最低限の修繕料等を計上しているものであり、妥当な水準である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	地域住民が主体的に行う活動の拠点施設として、地域の活性化、都市農村研修集会施設交流等への役割を果たしている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	施設の点検や修繕を適宜実施することにより適切な維持管理を図り、地域のコミュニティ活動等の拠点施設としての役割を果たしている。		
これまでの課題及び今後の方向性	福知山市公共施設マネジメント計画に基づき、各施設とも一定の改修や修繕また土地整理をもって地縁団体に無償譲渡していく予定である。譲渡対象としていない施設については、今後も計画的に修繕等を実施することにより適切な維持管理を図る。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	公共施設民間譲渡事業(集会施設)(農政課)												
事業担当	所属	産業政策部 農政課					所属長	西畑 信寿					
会計情報	事業コード	220199	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	02 農業総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする									
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	福知山市公共施設マネジメント計画							
根拠法令等	福知山市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例、福知山市市有農村研修集会施設譲渡事業費補助金交付要領、福知山市地縁団体に対する市有財産(市有農村研修集会施設)の無償譲渡に関する要領												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	公共施設マネジメント事業												

II 事業基礎情報									
事業目的(あるべき姿)	大きく変貌する社会環境に適応し、将来にわたって暮らしやすく安心・安全なまちづくりを進めるため、中長期的展望に立ち、効率性の高い行政経営の確立を目的とする。								
対象者	対象地域住民	対象者数	14,024	単位あたりコスト	0.8				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	公益社団法人京都公共嘱託登記士地家屋調査士協会								
事業概要(簡条書き)	農村研修集会施設の地域への譲渡に向けた土地整理及び建物調査、登記等を行う。								
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	1,131	河西上生活改善センター用地調査業務ほか4件						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,000	8,480	23,414	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,000	8,480	23,414						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	1,000	8,480	23,414					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	1,000	8,480	0	0				
	③ 執行額	983	1,131	0	0				
	④ 執行率	98.3%	13.3%						
人概工算	① 従事職員数(正職員/嘱託職員)	1.25 / 0.05	1.05 / 0.50	1.05 / 0.50	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	10,125	9,650	9,650	0				
トータルコスト(予算執行額+概算人件費)	11,108	10,781	9,650						
主な利用特財(N-1年度実績値)	特財名称	公共施設民間譲渡事業基金繰入(集会施設・農政課)	種類	基金繰入金	実績金額	1,130	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績(アウトカム)実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	譲渡等完了施設数	施設	0 / 14	1 / 14	4 / 14	/ 28	28		
活動実績(アウトプット)実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	意向調査施設数	施設	2 / 14	14 / 14	23 / 14	/ 28	28		
	単位あたりコスト		379.50	70.21	49.17				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	福知山市公共施設マネジメント計画の推進により、①財政支出の適正化への効果、②公共施設サービスの向上、③まちづくりビジョンの明確化、の3つの効果が得られ、市民や社会のニーズを的確に捉えた事業であり必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	福知山市公共施設マネジメント計画に基づく市有集会施設の譲渡にあたって、必要となる土地、建物の調査・登記業務を庁内統一的に実施し、必要最小限の費用で、効果的、効率的に事業の実施を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	本事業は、福知山市公共施設マネジメント計画の削減目標を達成するために実施しており、公共施設の更新問題等、将来的に生じる財政負担の軽減を図ることから、有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>福知山市公共施設マネジメント計画において短期計画(H27～R1年度)の目標としている14施設について合意に向けた協議を行った。また、公共施設マネジメントは引き続き中期計画(R2～R6年度)として継続するが、中期計画で取り組む14施設についても合意に向けた協議を行った。これにより、28施設すべての協議を完了した。</p> <p>成果実績としては、4施設の廃止が完了した。(短期2施設、中期2施設)</p> <p>活動実績としては、23施設の意向調査が完了した。(短期14施設(内、譲渡12施設、廃止2施設)、中期9施設(内、譲渡5施設、廃止3施設、存続1施設))</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>土地建物の調査及び登記と施設の譲渡に係る建物の改修実施設計及び工事を進める。</p> <p>意向調査が完了していない5施設については早期に地元協議を完了させ、公共施設マネジメントの期間内での譲渡を進める。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性														
事業名	大呂自然休養村管理事業													
事業担当	所属	産業政策部 農政課					所属長	西畑 信寿						
会計情報	事業コード	220211	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	02 農業総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁	
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する										
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名									
根拠法令等	福知山市大呂自然休養村センター条例、同施行規則													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()													
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合													
関連事業	大呂自然休養村整備事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	豊かな自然環境の中で、農村と都市住民との交流を促進するとともに、地域の活性化を図る。								
対象者	上川口地域住民	対象者数	1,451	単位あたりコスト	14.3				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	(株)丹波悠遊の森協会								
事業概要 (簡条書き)	指定管理者が持つ経営等の民間ノウハウを活用し、宿泊、グラウンドゴルフ、キャンプ等への集客を図り、効率的に施設の管理運営を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	14,100	指定管理料						
	補償、補填及び賠償金	2,099	不可抗力によって発生した費用等の補償						
	役員費	89	建物総合共済基金分担金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	17,088	14,365	9,092	予算編成時記入				
	② 補正予算	61	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	17,149	14,365	9,092						
予算財源内訳	① 一般財源	17,029	14,222	8,949					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	120	143	143					
決算情報	① 流充用額	30	2,099	0	0				
	② 配当予算	17,179	16,464	0	0				
	③ 執行額	17,179	16,288	0	0				
	④ 執行率	100.0%	98.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.14 / 0.00	0.55 / 0.00	0.55 / 0.00	0.00	0.00			
	② 概算人件費	1,120	4,400	4,400	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	18,299	20,688	4,400						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料(農政課)	種類	農林使用料	実績金額	143	決算付属資料	10	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	施設利用者数(宿泊利用のみ)	人	0/0	896/1,600	1,139 / 1,680	/ 1,760	1,840		
	上記以外の施設利用者数	人	/	7,550/11,400	9,115 / 12,600	/ 12,800	15,000		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	施設開館日数	日	311/311	315/311	302 / 311	/ 311	311		
	単位あたりコスト		51.82	54.50	53.93				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	農村地域へ都市住民を誘客し、地域の活性化を図る施設であることから、市が指定管理施設として民間の能力を活用しつつ、サービスの向上、経費の削減等を図り、運営する必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	指定管理者制度を取り入れることで、民間のノウハウによる施設利用者の増加やコスト削減を行い、市の直営ではできない施設運営の効率化を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	宿泊棟及びグラウンドゴルフ場、キャンプ場等の施設と複合して運営することで、施設利用者の増加が図られ、農村と都市住民の交流による地域の活性化に寄与している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和元年度の宿泊利用者数は、目標の1,680人に達することができなかったが、実績の1,139人は前年度比243人の増加であった。また、宿泊者の8割超が市外からの利用者であった。以上から、豊かな自然環境の中で農村と都市住民との交流の促進と地域の活性化を図るとした目的に沿った利用があったものと一定の評価ができる。		
これまでの課題及び今後の方向性	指定管理1年目の平成30年度は豪雨による災害、また、2年目の令和元年度には新型コロナウイルス感染症の拡大と連続して休業を余儀なくされ、施設利用者数に影響があった。方向性としては、設置目的である「農村地域へ都市住民を誘客し地域の活性化を図る」ために、指定管理期間5年間で大呂自然休養村センターの運営基盤を確立し、安定した経営が図れるよう支援を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	こぶし荘管理事業												
事業担当	所属	産業政策部 農政課				所属長	西畑 信寿						
会計情報	事業コード	220212	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	02 農業総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166・168	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	昭和55年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市こぶし荘条例、同施行規則												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	農村研修集会施設研修等管理事業/北陵総合センター施設除却事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	平成30年7月豪雨災害により被災し、営業休止したこぶし荘の維持管理を行うとともに、今後の施設方針を決定する。								
対象者	雲原・金山地域住民	対象者数	599	単位あたりコスト	3.9				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	北陵地域公民館運営協議会								
事業概要 (箇条書き)	営業休止後、直営施設となったこぶし荘の施設維持に必要な経費(上下水道料、建物総合共済基金分担金)を支出。急傾斜地や広大地を含む敷地の除草業務を実施。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	292	除草業務						
	需用費	16	上下水道料						
	役員費	14	建物総合共済基金分担金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	3,033	611	0	予算編成時記入				
	② 補正予算	3,673	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	6,706	611	0						
予算財源内訳	① 一般財源	6,706	606	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	5	0					
決算情報	① 流充用額	△ 222	△ 100	0	0				
	② 配当予算	6,484	511	0	0				
	③ 執行額	5,562	321	0	0				
	④ 執行率	85.8%	62.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.55 / 0.00	0.25 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,400	2,000	0	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,962	2,321							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料(農政課)	種類	農林使用料	実績金額	13	決算付属資料	10	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	施設利用者数	人	8,103/9,000	1,673/9,200	0 / 0	/	-		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	施設会館日数	日	359/359	97/359	0 / 0	/	-		
	単位あたりコスト				/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	高圧受電設備等を保持する施設であるため、適切な維持管理を行うために市が取り組む必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	施設を維持していく上で必要最低限の業務経費を計上しているものであり、妥当な水準である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	施設の維持管理を適切に行っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	地域住民や関係機関との協議により、施設の今後のあり方を決定し、用途廃止するまで必要最小限の経費で維持管理を行った。[定性的評価]		
これまでの課題及び今後の方向性	令和2年度に用途廃止(取壊し)を行うため、令和元年度をもって事業を廃止する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	里の駅みたけ管理事業												
事業担当	所属	産業政策部 農政課				所属長	西畑 信寿						
会計情報	事業コード	220311	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	02 農業総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	農村研修集会施設等管理事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	豊かな自然環境に育まれた地域資源を活用し、高齢者がいきいきとした活動をし、持続的な地域コミュニティの形成や地域の活性化を図る。								
対象者	三岳地域住民	対象者数	469	単位あたりコスト	6.1				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	三岳高齢者活動促進施設運営委員会								
事業概要 (簡易書き)	指定管理者により民間ノウハウを活用し、効率的かつ効果的に施設の管理運営を行う。 「見守り弁当」の活動を通して、自宅で生活する高齢者の孤立防止を図る。 令和元年度末をもって指定管理を終了し、「里の駅みたけ」を普通財産として地縁団体に貸し付け、地域で暮らす高齢者の活動の場として運営を図る。 三岳地域で採れる農作物やその加工品、近隣事業者が製作した様々な製品の販売を通して三岳地域の魅力発信を図る。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	392	指定管理料						
	需用費	189	里の駅みたけ 女子トイレ便器取替修繕						
	補償、補填及び賠償金	21	不可抗力によって発生した費用等の補償(福知山市里の駅みたけ)						
	役務費	10	建物総合共済基金分担金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	453	601	660	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	453	601	660						
予算財源内訳	① 一般財源	453	601	358					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	302					
決算情報	① 流充用額	84	69	0	0				
	② 配当予算	537	670	0	0				
	③ 執行額	537	613	0	0				
	④ 執行率	100.0%	91.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.14 / 0.00	0.28 / 0.00	0.28 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,120	2,240	2,240	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,657	2,853	2,240						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	施設利用者	人	14,425/21,000	11,993/21,000	10,772 / 21,000	/ 9,620	9,620		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	施設開館日数	日	311 / 311	313 / 311	285 / 311	/ 260	260		
	単位あたりコスト		1.77	1.70	2.15	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	三岳地域の高齢者のいきいきとした活動を支援する施設であり、指定管理施設として市が取り組む必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	施設の維持管理に必要な最低限の予算で施設運営に取り組んでいるため、コスト削減は厳しい現状である。令和2年3月末をもって指定期間が終了するため、今後より効率的な運営を図るために地元と協議を行った。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	施設利用者数や売上は減少傾向にあり、成果目標の達成には至っていないが、新鮮な地場野菜や地域の特産品販売、「見守り弁当」の活動等を通じて、農産物生産意欲向上や高齢者の活動促進、地域の活性化に大きな役割を担っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	指定管理者は地域の高齢者で構成される団体であり、過疎、高齢化が進む中コミュニティが形成されており、地域振興を図ることができている。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和元年度をもって現在の指定管理者の指定期間が終了するため、令和2年度以降の運営方針について地元と協議を進め、高齢者活動促進施設「里の駅みたけ」について、高齢者の活動促進及び地域コミュニティ活動の場として公共用に使用することを目的に普通財産として地元地縁団体に貸し付ける方向で調整を行った。道路事情の変化等により利用者数は減少しており、より効果的なPR方法の検討や更なる地産地消の推進等、時代のニーズに応じた事業展開が必要である。引き続き観光地域づくりセンター等の支援を受けて販路の拡大などに取組み、地域の魅力発信を図っていく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	水土里ネット京都関連事業												
事業担当	所属	産業政策部 農政課					所属長	西畑 信寿					
会計情報	事業コード	210109	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	05 農地費	会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	京都府土地改良事業団体連合会定款												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (京都府土地改良事業団体連合会事業)												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	本市の農業基盤整備を実施するにあたり、京都府土地改良事業団体連合会と連携して事業を推進することで施策の効率化と円滑化を図る。								
対象者	全農区	対象者数	248	単位あたりコスト	79.7				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	京都府土地改良事業団体連合会、山喜エンジニアリング(株)、(株)畿北スキル、福知山市堀井口堰土地改良区								
事業概要 (箇条書き)	農業農村整備事業を行う府内の市町村、土地改良区、農業協同組合等で構成する京都府土地改良事業団体連合会に賦課金を支出し、当該連合会より会員である市町村が技術的援助等を受ける。また、本市が加入する京都府土地改良事業団体連合会から交付金を受けて、農業用施設の更新・改修を行い、施設の適正な維持管理と長寿命化を図る。 当該事業は土地改良施設維持管理適正化事業と水土里ネット京都活動支援事業が統合され平成30年度から開始した事業である。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	工事請負費	10,043	農業用施設の更新・改修工事						
	負担金補助及び交付金	5,695	適正化事業賦課金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	4,656	13,749	38,605	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	2,500	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	4,656	16,249	38,605						
予算財源内訳	① 一般財源	1,841	3,804	5,465					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	2,815	12,445	33,140					
決算情報	① 流充用額	△ 251	0	0					
	② 配当予算	4,405	16,249	0					
	③ 執行額	4,405	15,738	0					
	④ 執行率	100.0%	96.9%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.28 / 0.40	0.38 / 0.40	0.38 / 0.40	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,240	4,040	4,040	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,645	19,778	4,040						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	水土里ネット京都関連事業	種類	農林業費分担金	実績金額	3,415	決算付属資料	8	頁
	特財名称	水土里ネット京都関連事業交付金	種類	雑入	実績金額	9,000	決算付属資料	46	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	更新施設数	箇所	0	0/0	2 / 2	/ 5	-		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	事業新規加入施設数	箇所	0	2/2	2 / 2	/ 3	-		
	単位あたりコスト		0.00	2202.50	7868.80	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	設置、改良等から20年以上経過した施設が多く、揚水機、水路などの施設の維持管理の要望は高いため、事業を実施していく必要がある。 また、京都府土地改良事業団体連合会の定款により定められた義務的経費であるため、継続して支出する必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	農業用施設にかかる専門知識が豊富な京都府土地改良事業団体連合会に対して、定款に定められた義務的経費を支払うことにより専門的な施設診断を無償で受けることができ、施設の更新計画を迅速に決定することができるため、効率性が高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	本事業は、施設全体を改修するのではなく、改修の必要な箇所だけを実施していく事業であり、施設全体の長寿命化を行うなど、経済性に優れた事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>老朽化した農業用施設の改修を行い長寿命化を図るため、対象団体に対して京都府土地改良事業団体連合会が実施する京都府土地改良施設維持管理適正化事業の活用を促進し、施設整備に向けた環境整備を行うことができた。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>農業用施設について、改修の必要があれば修繕や補修を行う長寿命化の事業であり、今後も計画的に実施し、持続的な営農活動を支援する。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	府営ため池整備事業									
事業担当	所属	産業政策部 農政課				所属長	西畑 信寿			
会計情報	事業コード	210114	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	05 農地費	会計	01 一般会計 決算付属資料 174 頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める						
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名	-				
根拠法令等	農村地域防災減災事業実施要綱									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府営事業)									
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	豊富用水池は造成後70年が経過し、府営事業による施設診断において改修・改良が必要という結果が出たため、府営によるため池整備事業を実施し、適正な水利管理と住民の安心・安全の確保を図る。								
対象者	豊富用水池受益者	対象者数	752	単位あたりコスト	5.2				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金支出)								
委託先・実施主体等	京都府								
事業概要 (簡条書き)	豊富用水池において、府営事業により取水施設等の改良を行うことで、農業者の水利確保及び治水機能を高める。府営事業により老朽化した豊富用水池を改修するにあたり、事業費の一部を負担する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	2,876	豊富用水池整備事業 工事負担金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,630	5,000	0	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,630	5,000	0						
予算財源内訳	① 一般財源	230	500	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	1,400	4,500	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0	0	0	
	② 配当予算	1,630	5,000	0	0	0	0		
	③ 執行額	1,630	2,876	0	0	0	0		
	④ 執行率	100.0%	57.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.17 / 0.00	0.13 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	② 概算人件費	1,360	1,040	0	0	0	0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,990	3,916	0	0	0	0	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	府営ため池整備事業(防災・減災・国土強靱化緊急対策)	種類	農林業債	実績金額	2,800	決算付属資料	50 頁	
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁	
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁	

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	整備進捗率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ / -	100		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	整備箇所数	箇所	1 / 1	1 / 1	1 / 1	/ / -	1		
	単位あたりコスト			1630.00	2876.00				
	単位あたりコスト			/	/	/	/		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	当該ため池は造成後70年以上が経過しており、堤体や取水施設等の老朽化が顕著になっている。大規模な改修工事の実施により、農業者の水利確保のみならず治水機能の向上を図ることができるため、必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	当該ため池にかかる施設診断についても府営事業により実施されたため、引き続き府営事業によりため池改修工事を実施することで、効率的に施工管理を行うことができる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	危険なため池の改修は、農業者の水利確保だけでなく、治水施設として地域全体を守るべき施設であるため、有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	年次計画に基づき工事が施工されており、府営事業に対して負担金を支出することにより、老朽化した豊富用水池を整備し、農業者の水利確保を図るとともに、治水施設として住民の安心・安全の確保を図ることができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和元年度をもって事業完了。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	稚児野台地跡地調査事業									
事業担当	所属	産業政策部 農政課					所属長	西畑 信寿		
会計情報	事業コード	210115	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	05 農地費	会計	01 一般会計 決算付属資料 174 頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める						
計画期間	開始年度	令和1年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	稚児野台地跡地活用基本計画				
根拠法令等	-									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	国が行う国道9号道路改良事業(夜久野トンネル開削工事)に伴い、稚児野台地の養豚場跡地の有効利用を図るとともに、地域の活性化に寄与するため、地域の歴史・伝統文化である漆の活用に向けた「漆の畑」構想の実現をめざす。								
対象者	夜久野町住民	対象者数	3,213	単位あたりコスト	2.5				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	公益社団法人京都公共嘱託登記士地家屋調査士会								
事業概要 (簡条書き)	稚児野台地跡地活用基本計画に基づき、関係地権者と協議を行い、漆植栽にかかる事業用地を取得する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	委託料	1,293		用地調査業務					
	旅費	53		地権者協議					

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0	3,183	3,004	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	0	3,183	3,004						
予算財源内訳	① 一般財源	0	283	404					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	2,900	2,600					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	14	△ 58	0	0				
	② 配当予算	14	3,125	0	0				
	③ 執行額	0	1,346	0	0				
	④ 執行率	0.0%	43.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.85 / 0.00	0.85 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	6,800	6,800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	8,146	6,800						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	事業用地取得面積	ha	0/1.6	0/1.6	0 / 1.6	/ 1.6	1.6		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	地権者協議回数	回	0/15	0/15	5 / 15	/ 15	15		
	単位あたりコスト		0.00	0.00	269.11				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	国道9号夜久野トンネルは老朽化が著しいためトンネル開削工事は緊急性が高く、また夜久野町合併前から養豚団地の地域外への移転と地域振興につながる跡地活用について、地域要望が強い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	国道9号夜久野トンネル開削事業と一体的に整備を進めることから、事業を効率的に進めることができる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	関連する国道9号夜久野トンネル開削事業の進捗と地域振興にかかる有効な事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	稚児野台地跡地活用基本計画に基づき、漆の植栽にかかる事業用地の取得に向けて関係地権者と交渉を行った。また、関連事業である国道9号道路改良事業(夜久野トンネル開削工事)について、関係課及び国交省と協議を行い、事業の進捗等について確認した。		
これまでの課題及び今後の方向性	引き続き用地買収に向けて関係地権者と協議を行う。また、漆の植栽にかかる関係機関等と情報共有を行い、用地買収後の円滑な活動の実施を目指す。		

VI 他部署評価

事中学業評価	<ul style="list-style-type: none"> 用地取得は難しいと思うが、跡地活用計画も含めて着実に進めていただきたいと思う。
--------	---

事後事業評価

事務事業評価後に記入

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	農業施設維持修繕事業												
事業担当	所属	産業政策部 農政課				所属長	西畑 信寿						
会計情報	事業コード	210117	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	05 農地費	会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成10年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	基幹産業である農業の体質強化のため、老朽施設の更新や農作業道など農業インフラ環境を整え、生産・流通基盤の充実を図るとともに、新たな産地づくりや担い手の確保、定住化等、魅力ある農林業の確立をめざす。								
対象者	全農区	対象者数	248	単位あたりコスト	5.5				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	セイリョウ建設㈱								
事業概要 (簡条書き)	地元に対して砕石及び真砂土を提供することで、未舗装農道の修繕や維持管理の軽減を図る。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	394	農道補修のための砕石支給						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)			R2(本年度)		R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	650	500	500	500	予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	650	500	500	500					
予算財源内訳	① 一般財源	650	500	500	500				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	7,349	△ 106	0	0				
	② 配当予算	7,999	394	0	0				
	③ 執行額	7,999	394	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.12 / 0.00	0.12 / 0.00	0.12 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	960	960	960	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,959	1,354	960						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	整備箇所	箇所	15/25	6/25	8 / 20	/ 20	-		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	資材配布箇所	箇所	15/25	6/25	8 / 20	/ 20	-		
	単位あたりコスト		115.80	1333.17	49.31				
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	各地域で維持管理されている未舗装農道において、今年度は激甚災害などの影響により農道自体の復旧に迫られた。しかし、今後経年または豪雨等によるわだち掘れにより進行に支障を来し、農産物の輸送等にも影響がでるおそれがあるため、事業として継続していく必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	農道補修費用資材の配付後は地元により敷設されるため、効率性は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	過疎高齢化が進み後継者不足の中、農道の維持管理への碎石支給は地元負担の軽減と、農業放棄を食い止める政策であり今後とも実施していく必要があり有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	小規模で緊急かつ公共性のあるものについて、地域で維持修繕を行う事業にたいし碎石等の資材配布を行い、地域の農業支援を図ることができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	各地域が維持管理をしている未舗装の農道において、わだちによる通行困難や農作業効率の低下を招くことから適切な補修が必要である。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	ため池等農地災害危機管理対策事業												
事業担当	所属	産業政策部 農政課					所属長	西畑 信寿					
会計情報	事業コード	210169	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	05 農地費	会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	農業水路等長寿命化・防災減災事業実施要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府営事業)												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	近年、自然災害が激甚化し、農業水利施設が被災し農用地のみならず地域住民への被害が頻発するなか、効果的な防災・減災対策を講じ、農業生産の維持や農業経営の安定化及び地域住民の安心・安全の確保を図り、災害に強い農村づくりを推進する。								
対象者	全農区	対象者数	248	単位あたりコスト	323.9				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金支出)								
委託先・実施主体等	(株)エース、キタイ設計(株)、サンスイコンサルタント(株) 他								
事業概要 (簡条書き)	農業用ため池において、ため池の防災強化により老朽化したため池の改修計画策定及び環境調査並びに測量設計を行い、改修工事を実施する。また、防災重点ため池ハザードマップを作成し、地域住民に対しワークショップを実施することで、ため池の位置や災害時の避難経路を周知し、地域住民の安心・安全の確保を図る。 特財名称:ため池等農地災害危機管理対策事業 種類:農林業債 実績金額:3,000 決算付属資料: 50頁								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	62,651	ため池ハザードマップ作成業務、古地池計画策定及び実施設計業務						
	負担金補助及び交付金	5,133	ため池等農地災害危機管理対策事業の工事負担金						
	工事請負費	5,000	ため池改修工事(塩津古池)						
	需用費	200	地元協議						
	旅費、役務費	78	京都府協議						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	33,500	26,100	98,965	予算編成時記入				
	② 補正予算	10,000	46,500	0					
	③ 繰越予算	△ 3,500	△ 48	43,548					
	前年度繰越	40,000	43,500	43,548					
次年度繰越	△ 43,500	△ 43,548	0						
小計(①~③)	40,000	72,552	142,513						
予算財源内訳	① 一般財源	1,400	2,502	713					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	32,000	67,750	134,125					
	④ 地方債	4,600	1,800	4,900					
	⑤ その他特財	2,000	500	2,775					
決算情報	① 流充用額	9,212	3,668	0	0				
	② 配当予算	49,212	76,220	0	0				
	③ 執行額	49,212	73,062	0	0				
	④ 執行率	100.0%	95.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.40 / 0.00	0.80 / 0.35	0.80 / 0.35	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,200	7,275	7,275	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	52,412	80,337	7,275						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	ため池等農地災害危機管理対策事業	種類	農林業費分担金	実績金額	1,711	決算付属資料	8	頁
	特財名称	ため池等農地災害危機管理対策事業	種類	農林業費府補助金	実績金額	19,130	決算付属資料	26	頁
	特財名称	ため池等農地災害危機管理対策事業(繰越明許費分)	種類	農林業費府補助金	実績金額	43,500	決算付属資料	26	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	ため池ハザードマップ周知箇所数	池	20/64	20/64	48 / 93	/ 93	93		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	ため池ハザードマップ作成箇所数	池	5/5	0/28	28 / 28	/ 45	93		
	単位あたりコスト		5670.00	0.00	2609.35				
	ため池改修工事実施箇所数	池	/	1/1	0 / 1	/ 2	3		
	単位あたりコスト		0.00	49212.00					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	老朽化したため池への改修要望は高く、安心・安全の確保のためにも事業を実施していく必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	ハザードマップ作成の対象となるため池について下流域住民が多くいる中、地元負担を伴わずに専門家による避難経路を設定し、各自治会内で危機管理意識を共有することができるため、効率的である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	危険なため池の改修は、農業者の水利確保だけでなく、治水施設として地域全体で守るべき施設であるため、有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	市内の防災重点ため池についてハザードマップを作成し、地域住民に対しワークショップを実施することで、ため池の位置や災害時の避難経路を周知し、地域住民の安心・安全の確保を図ることができた。 また、老朽化した農業用水路について、長寿命化のための実施計画を策定した。		
これまでの課題及び今後の方向性	地域の安心・安全を確保するため年次計画に基づき改善を行う。また、防災重点ため池ハザードマップを作成し、地域住民の防災・避難の意識向上を図る。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	府営川北地区ほ場整備事業												
事業担当	所属	産業政策部 農政課					所属長	西畑 信寿					
会計情報	事業コード	210173	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	05 農地費	会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	-							
根拠法令等	農業競争力強化基盤整備事業実施要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府営事業)												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	社会資本整備総合交付金事業(道路整備)												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	農地集積の加速化や農業の高付加価値化の推進、また担い手育成の環境整備等を図るため、農業の経営基盤及び生産基盤を強化する。								
対象者	川北地域づくり委員会、地権者	対象者数	121	単位あたりコスト	433.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金支出)								
委託先・実施主体等	京都府、京都府土地改良事業団体連合会								
事業概要 (箇条書き)	川北地区において、平地地であるが「ほ場」が小区画であり、かつ里道水路も狭く農業経営の集約化が困難な耕作条件の下、近年の豪雨災害時にも冠水被害を被り易い地形条件であるため、由良川築堤事業の実施に際し、関連する河川や市道の整備と一体的に大区画ほ場整備事業を導入し、集約化が可能な生活基盤の整備と併せて経営体の育成を行い、農用地の利用集積による高度利用の条件整備を実施する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	40,500	府営川北地区ほ場整備事業の負担金						
	委託料	6,292	川北地区換地業務委託						
	報償費	1,211	川北地元委員報償費						
	旅費	28	京都府協議						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	23,250	14,425	30,878	予算編成時記入				
	② 補正予算	12,375	40,811	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	35,625	55,236	30,878						
予算財源内訳	① 一般財源	475	1,600	1,138					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	12,000	7,536	4,140					
	④ 地方債	7,400	14,300	7,900					
	⑤ その他特財	15,750	31,800	17,700					
決算情報	① 流充用額	△ 17,665	△ 4,183	0	0				
	② 配当予算	17,960	51,053	0	0				
	③ 執行額	17,960	48,031	0	0				
	④ 執行率	100.0%	94.1%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.57 / 0.40	0.53 / 0.05	0.53 / 0.05	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	5,560	4,365	4,365	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	23,520	52,396	4,365						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	府営川北地区ほ場整備事業	種類	農林業費分担金	実績金額	27,000	決算付属資料	8	頁
	特財名称	府営川北地区ほ場整備事業	種類	農林業費府委託金	実績金額	7,502	決算付属資料	32	頁
	特財名称	府営川北地区ほ場整備事業(公共事業等)	種類	農林業債	実績金額	12,100	決算付属資料	50	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	担い手農地集積率	%	0/100	0/100	0 / 100	/ 100	100		
	作物生産増加量	t	0/121	0/121	0 / 121	/ 121	121		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	整備進捗率	%	28	44	53 / 100	/ 100	100		
	単位あたりコスト		851.79	1122.50	906.25				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	当該事業は、由良川の築堤や関連府管理河川修繕工事等の事業に併せて、府営事業により実施することで、効率的なほ場整備を実施することができる。ほ場整備を実施することにより、効率的な農業経営を図ることができるため、必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	府営事業により実施することで、市及び地元の負担額を軽減することができ、また関連事業である府管理河川の改修工事等とも効率的に連携をとることができる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	営農担い手不足とされる中、従来の小区画ほ場を大区画に整備し、農作業の効率化及び生産性向上を図ることで、地元の負担を軽減することができ、安定的な農業経営を行うことができるため有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	府営事業において、年次計画に基づき換地事務や面的整備が実施された。京都府等関係機関と調整しながら打ち合わせの場を設けることで、営農法人設立にかかる地元の疑問を解消し、地元営農組織の立ち上げについて進めることができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	事業期間は平成26年度から令和3年度であり、府営事業にたいし負担金を支出し、年次計画に沿った工事完成をめざす。また、ほ場整備の完成に伴う地元営農組織の設立にむけて支援する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	農地耕作条件改善事業												
事業担当	所属	産業政策部 農政課				所属長	西畑 信寿						
会計情報	事業コード	210194	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	05 農地費	会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	農地耕作条件改善事業実施要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	農地集積の加速化や農業の高付加価値化の推進また担い手育成の環境整備等を図るため、農業の経営基盤及び生産基盤を強化する。								
対象者	全農区	対象者数	248	単位あたりコスト	107.3				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	(株)京都イングス、三和建設工業(株)、(有)キョウギ建設								
事業概要 (簡条書き)	・農業基盤の基礎となる農道の路面改良や老朽化した揚水機を更新することで、草刈、わだち等の改良作業の労力を軽減し、作業効率の向上、農作物の生産性の向上を図る。 特財名称：農地耕作条件改善事業(繰越明許費分) 種類：農林業費府補助金 実績金額：6,724 決算付属資料：26頁 特財名称：農地耕作条件改善事業(一般補助) 種類：農林業費 実績金額：8,600 決算付属資料：50頁								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	工事請負費	22,020	土地区農道舗装工事他						
	委託料	1,544	夜久野地区土質調査業務						
	需用費	51	印刷用品の購入他						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	8,200	30,100	30,165	予算編成時記入				
	② 補正予算	12,540	0	0					
	③ 繰越予算	△ 14,638	△ 4,266	18,904					
	前年度繰越	0	14,638	18,904					
	次年度繰越	△ 14,638	△ 18,904	0					
小計(①~③)	6,102	25,834	49,069						
予算財源内訳	① 一般財源	△ 579	△ 3,455	1,848					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	3,476	14,658	29,313					
	④ 地方債	2,600	12,000	14,000					
	⑤ その他特財	605	2,631	3,908					
決算情報	① 流充用額	0	100	0	0				
	② 配当予算	6,102	25,934	0	0				
	③ 執行額	6,102	23,616	0	0				
	④ 執行率	100.0%	91.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.48 / 0.00	0.28 / 0.30	0.28 / 0.30	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,840	2,990	2,990	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,942	26,606	2,990						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	農地耕作条件改善事業(繰越明許費分)	種類	農林業費分担金	実績金額	1,478	決算付属資料	8	頁
	特財名称	農地耕作条件改善事業	種類	農林業費分担金	実績金額	123	決算付属資料	8	頁
	特財名称	農地耕作条件改善事業	種類	農林業費府補助金	実績金額	926	決算付属資料	26	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	実施地区数	箇所	2/2	2/2	2 / 2	/2	8		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	整備延長	m	1,411.5/1,411.5	302.7/302.7	776.8 / 2,222.80	/ 2,982	5,473		
	単位あたりコスト		15.62	20.16	30.40				
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	設置、改良等から20年以上経過した施設が多く、揚水機、水路などの施設の維持管理の要望は高いため、事業を実施していく必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	当該事業については地元負担率が一般地域と過疎地域で異なり、ひとり当たりの負担額が地域の実情に合わせたものとなっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	営農活動に必要な農業用施設の更新及び改修は欠かせないものであり、各地域において担い手不足が深刻な問題となる中において、農作業効率の回復を図ることは地元にとって有効性が高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和元年度工事実施予定箇所の土質調査を行った。 入札不調が相次ぎ年度内に工事が完了しなかったため、活動実績の目標値に比べて実績が低くなった。		
これまでの課題及び今後の方向性	年次計画に基づき、各地域の農道舗装等を実施し、安定的な農業経営の基盤整備を図る。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	農村地域防災減災事業												
事業担当	所属	産業政策部 農政課				所属長	西畑 信寿						
会計情報	事業コード	550161	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	05 農地費	会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
施策体系	施策コード	040102		施策名	治山・治水対策を強化する								
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	由良川流域(福知山市域)における総合的な治水対策					
根拠法令等	農村地域防災減災事業実施要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府営事業)												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	平成26年8月豪雨災害に伴い、由良川治水対策協議会が国、府、市連携で立ち上げられ、その計画に基づき、法川及び弘法川流域の農業用ため池6池に洪水調整機能を付与する改修を実施することにより、下流域の住民の安心・安全な生活を確保することを目的とする。								
対象者	全市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.3				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金支出)								
委託先・実施主体等	京都府、(株)高見組、(株)富士興業								
事業概要 (箇条書き)	由良川治水対策において、法川及び弘法川流域の農業用ため池6池に洪水調整機能を付与するための改修工事等を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	23,216	福知山(その1)、福知山(その2)改修工事にかかる負担金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	30,087	22,638	330		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	15,719	0	0					
	前年度繰越	15,719	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	45,806	22,638	330						
予算財源内訳	① 一般財源	5,019	0	330					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	39,200	21,500	0					
	⑤ その他特財	1,587	1,138	0					
決算情報	① 流充用額	222	578	0		0			
	② 配当予算	46,028	23,216	0		0			
	③ 執行額	35,772	23,216	0		0			
	④ 執行率	77.7%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.38 / 0.00	0.35 / 0.00	0.35 / 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	② 概算人件費	3,040	2,800	2,800		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	38,812	26,016	2,800						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	農村地域防災減災事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	16	決算付属資料	40	頁
	特財名称	農村地域防災減災事業(防災・減災・国土強靱化緊急対策)	種類	農林業債	実績金額	23,200	決算付属資料	50	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	整備完了箇所数	箇所	0/0	2/6	3 / 6	/ 6	6		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	整備実施箇所数	箇所	6/6	6/6	6 / 6	/ 6	-		
	単位あたりコスト		3066.83	5962.00	3869.33				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	平成26年8月豪雨災害により甚大な被害が発生しており、農業用ため池のみならず、河川改修や排水機場の整備など包括的な改修が必要であるため、優先度は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	当該事業によるため池改修工事は、由良川流域における総合的な治水対策において市管理河川の改修や排水機場の整備など一体的な工事が必要とされるため、受益者負担を伴わないものとなっている。 また、ため池容量調査については、関係課と連携を図り、効率化を図った。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	対象となる農業用ため池に洪水調整機能を付与することにより、下流域の住民の安心・安全を図ることができるため、有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	府営事業において、入札不調が相次ぎ工事着手に遅延が生じたため、年次計画の変更が生じた。		
これまでの課題及び今後の方向性	入札不調が相次ぎ、工事完了時期に遅延が生じたが、府営事業に対し負担金を支出し、早期完成をめざす。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	農地・農業用施設災害復旧事業												
事業担当	所属	産業政策部 農政課					所属長	西畑 信寿					
会計情報	事業コード	210183	款	11 災害復旧費	項	02 農林施設等災害復旧費	目	01 農林施設等災害復旧費	会計	01 一般会計	決算付属資料	258	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律 他												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	豪雨、暴風、地震その他の異常な自然現象により激甚災害を受けた農地及び農業用施設について復旧を行い、農業生産の維持を図ることで、農業経営の安定化に寄与するとともに、遊林荒廃農地化を未然に防止する。								
対象者	全農区	対象者数	248	単位あたりコスト	1,550.5				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	月御工業、桑原建設(株)、上田土建(株) 他								
事業概要 (箇条書き)	激甚災害により被災した農地及び農業用施設について、早期の測量や設計業務を行い、国の査定を経て復旧工事を実施する。 また、小規模な災害箇所については地元が行う復旧工事に補助金を交付し、農地及び農業用施設の機能回復を支援する。 特財名称：農地・農業用施設災害復旧事業 種類：農林業費府補助金 実績金額：9,581 決算附属資料：30頁 特財名称：農地・農業用施設災害復旧事業 種類：災害復旧債 実績金額：500 決算附属資料：54頁 特財名称：農地・農業用施設災害復旧事業(繰越明許費分) 種類：災害復旧債 実績金額：4,900 決算附属資料：54頁								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	工事請負費	326,514	農地・農業用施設災害復旧工事						
	負担金補助及び交付金	38,956	市単独補助金						
	賃金	1,428	臨時職員賃金						
	委託料	497	農災害復旧断面(雲原地区ほか)検討業務						
	需用費、旅費、役務費、使用料及び賃借料	1,177	印刷用品の購入他						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0	80,000	0	0	予算編成時記入			
	② 補正予算	630,282	0	0	0				
	③ 繰越予算	△ 267,677	395,456	11,000	11,000				
	前年度繰越	138,779	406,456	11,000	11,000				
次年度繰越	△ 406,456	△ 11,000	0	0					
小計(①~③)	362,605	475,456	11,000	11,000					
予算財源内訳	① 一般財源	194,879	78,805	110	110				
	② 国支出金	0	0	10,791	10,791				
	③ 府支出金	68,769	371,778	0	0				
	④ 地方債	90,100	15,700	0	0				
	⑤ その他特財	8,857	9,173	99	99				
決算情報	① 流充用額	△ 1,010	△ 853	0	0				
	② 配当予算	361,595	474,603	0	0				
	③ 執行額	302,639	368,572	0	0				
	④ 執行率	83.7%	77.7%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	2.30 / 0.70	1.40 / 1.90	1.40 / 1.90	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	20,150	15,950	15,950	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	322,789	384,522	15,950						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	農地・農業用施設災害復旧事業(繰越明許費分)	種類	農林業費分担金	実績金額	5,436	決算付属資料	8	頁
	特財名称	農地・農業用施設災害復旧事業	種類	農林業費分担金	実績金額	576	決算付属資料	8	頁
	特財名称	農地・農業用施設災害復旧事業(繰越明許費分)	種類	災害復旧費府補助金	実績金額	251,176	決算付属資料	30	頁

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
					/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	復旧箇所数	箇所			295 / 296	/	-
	単位あたりコスト				1249.40	/	
	単位あたりコスト				/	/	

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	災害による被害を受けた農地・農業用施設の復旧要望は大変多く、持続的な営農活動に向けて今後も実施していく必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	国庫補助の有利な財源を確保しており、また近接箇所について併せて工事発注することにより、入札事務にかかるコストの削減を見込むことができ、効率的である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	過疎高齢化が進み後継者不足の中、遊休農地を増やさないためにも今後も実施していく必要があり有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	平成30年発生災害において、国・府また地域と連携して復旧工事を行った。また、小規模な被災箇所については地元が行う復旧工事に補助金を交付することで、農地及び農業用施設の機能回復を図ることができた。活動実績について、当初市が実施する工事及び市が交付する補助金を活用して復旧予定であったが、多面的機能支払交付金等の別事業により復旧されたため、目標値に比べて実績が低くなった。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	国・府また地域と連携して、耕作放棄地の拡大や農業意欲の低下をまねかないよう、迅速な農業用施設の機能回復を図る。		

事後事業評価	
事当事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	北陵総合センター災害復旧事業												
事業担当	所属	産業政策部 農政課					所属長	西畑 信寿					
会計情報	事業コード	220220	款	11 災害復旧費	項	02 農林施設等災害復旧費	目	01 農林施設等災害復旧費	会計	01 一般会計	決算付属資料	258	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	福知山市こぶし荘条例、同施行規則、福知山市山村基幹集落センター条例、同施行規則、福知山市公民館条例、同施行規則												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	北陵総合センター施設除却事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	平成30年7月豪雨により被災した施設の復旧を行い、施設の設置目的の遂行を図る。								
対象者	雲原・金山地域住民	対象者数	599	単位あたりコスト	38.1				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (工事発注)								
委託先・実施主体等	(株)東光コンサルタンツ京都北営業所、(株)衣川組								
事業概要 (箇条書き)	平成30年7月豪雨災害により北陵総合センターの敷地法面が崩落したことで、建物周辺を含め広範囲にわたり地割れが生じたことから、復旧工事を実施する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	工事請負費	12,100	災害復旧工事(前払金)						
	委託料	8,750	測量設計業務						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0	0	0	予算編成時記入				
	② 補正予算	12,000	33,500	0					
	③ 繰越予算	△ 10,239	△ 11,161	21,400					
	前年度繰越	0	10,239	21,400					
	次年度繰越	△ 10,239	△ 21,400	0					
小計(①~③)	1,761	22,339	21,400						
予算財源内訳	① 一般財源	1,961	39	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	△ 200	22,300	21,400					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	644	853	0	0				
	② 配当予算	2,404	23,192	0	0				
	③ 執行額	2,404	20,850	0	0				
	④ 執行率	100.0%	89.9%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.15 / 0.00	0.25 / 0.00	0.25 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,200	2,000	2,000	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,604	22,850	2,000						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	北陵総合センター災害復旧事業(過年・単独)	種類	災害復旧債	実績金額	12,100	決算付属資料	54	頁
	特財名称	北陵総合センター災害復旧事業(現年・単独)(繰越明許費分)	種類	災害復旧債	実績金額	8,700	決算付属資料	54	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	設計業務完了件数	件			1/1	- / -	/ -	-	
復旧工事完了件数	件			0/0	0 / 1	/ 1	1		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	設計業務発注件数	件		1/1	- / -	/ -	1		
	単位あたりコスト			2404.08					
	復旧工事発注件数	件		1/1	1 / 1	/ -	1		
単位あたりコスト				20850.16					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	既存施設は解体し新たに地域公民館を整備することとなるが、被災した状態では施設の解体工事を実施することができないため、安全性確保の観点からも必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	広範囲にわたる法面の復旧工事となるため、経済性・安全性に優れた復旧工法を選定し、必要最低限の復旧工法を採用した。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	法面の復旧により、地域の活動拠点としての北陵地域公民館の整備を効果的に図ることができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	復旧工法の選定にあたっては、経済性・安全性を考慮し、切土のみの施工を採用したため敷地面積が減少することとなるが、建物の解体工事を実施するためにも法面の復旧は不可欠である。		
これまでの課題及び今後の方向性	法面復旧工事は、適正な工期確保のため繰越手続きを行うが、令和2年度内完成を目指した工程管理により実施する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性														
事業名	大呂自然休養村センターキャンプ場災害復旧事業													
事業担当	所属	産業政策部 農政課					所属長	西畑 信寿						
会計情報	事業コード	220222	款	11 災害復旧費	項	02 農林施設等災害復旧費	目	01 農林施設等災害復旧費	会計	01 一般会計	決算付属資料	258	頁	
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する										
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名									-
根拠法令等	福知山市大呂自然休養村センター条例、同施行規則													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()													
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合													
関連事業														

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	平成30年7月豪雨により被災した施設の復旧を行い、施設の設置目的の遂行を図る。								
対象者	上川口地域住民	対象者数	1,451	単位あたりコスト	3.1				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (工事発注)								
委託先・実施主体等	(株)梅田組								
事業概要 (簡条書き)	平成30年7月豪雨災害により被災した、大呂自然休養村センターキャンプ場及び親水公園の復旧工事を実施する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	工事請負費	3,462	災害復旧工事						

III 予算執行状況										
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	予算編成時記入				
	② 補正予算	5,500	0	0	0					
	③ 繰越予算	△ 3,667	3,667	0	0					
	前年度繰越	0	3,667	0	0					
次年度繰越	△ 3,667	0	0	0						
小計(①~③)	1,833	3,667	0	0						
予算財源内訳	① 一般財源	△ 67	67	0	0					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	1,900	3,600	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	367	0	0	0					
	② 配当予算	2,200	3,667	0	0					
	③ 執行額	2,200	3,462	0	0					
	④ 執行率	100.0%	94.4%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.20 / 0.00	0.13 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	1,600	1,040	0	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,800	4,502	0	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	大呂自然休養村センターキャンプ場災害復旧事業(現年・単独)(繰越明許費)		種類	災害復旧債	実績金額	3,400	決算付属資料	54	頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	災害復旧完了件数	件		0/1	1 / 1	/ -	1		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	災害復旧発注件数	件		1/1	- / -	/ -	1		
	単位あたりコスト			2200.00	/	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	被災した状態では施設を利用することができないため、施設の設置目的を遂行するためにも必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	指定管理者による管理運営を適切に行うために必要な経費であり、基本協定及びリスク分担に基づき実施するものである。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	災害復旧を実施することでキャンプ場の運営を再開し、指定管理者の安定した運営継続を図ることができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	キャンプ場の運営再開に向けて、災害復旧工事を実施し、完了した。		
これまでの課題及び今後の方向性	災害復旧工事が完了したため、令和元年度をもって事業廃止する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	市営林管理事業									
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	小西 晴之		
会計情報	事業コード	210123	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費	会計	01 一般会計 決算付属資料 68 頁
施策体系	施策コード	040102	施策名	治山・治水対策を強化する						
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-				
根拠法令等	-									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市有林の専門家の意見を取り入れた経営方針の作成を行い、それぞれの市有林の今後のあり方を検討していく。このあり方により財産である市有林の有効な活用を図る。また頻発している山林の土砂流出を防止する観点で、市有林の間伐を行う。緑のオーナーに対するの情報発信を目的に、オーナーとの交流を図る									
対象者	緑のオーナー	対象者数	97	単位あたりコスト	45.8					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	福知山地方森林組合									
事業概要 (箇条書き)	・市有林の今後の在り方を検討するための、基礎資料となる調査を行った。 ・市営林の間伐を業務委託により行った。 市民参加による森づくりを推進するため、大江町北原の市有林10.4ha(おもいで森)を対象とした分収事業を行っている。現在緑のオーナー97人と契約締結し、令和5年度末には入札により立木を売却し、利益を緑のオーナーと按分する。									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容							
	役員費		6 緑のオーナー通信送付に係る郵送料							
	委託料	3,718	市営林経営方針のための基礎調査業務、市営林間伐業務							

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	5,041	6,698	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	△ 1,280	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	0	3,761	6,698						
予算財源内訳	① 一般財源	0	3,720	6,373					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	41	325					
決算情報	① 流充用額	0	△ 37	0					
	② 配当予算	0	3,724	0					
	③ 執行額	0	3,724	0					
	④ 執行率		100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0/0	0.09 / 0.00	0.09 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	720	720	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	4,444	720						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	おもいで森づくり事業基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	6	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	オーナーへの情報発信	人	0	0	96 / 97	/ 97	97
森林整備面積(市全体)	ha	/	/	(集計中) / 565	/ 587	587	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	情報誌送付回数	回	0	0	1 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		0.00	0.00	3724.46		
	森林整備面積	ha	/	/	10.32 / 10	/ 16	50
単位あたりコスト		0.00	0.00	360.90			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<p>市の財産である市有林を適正に管理するため必要である。</p> <p>また、緑のオーナーについては、平成6年度に大江町が締結している契約を履行するために必要である。</p>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・市営林であるため、市が行う ・適正な歩掛により積算の上、入札により業者を選定し、本数調整伐を行った。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標は市全体の間伐面積として把握している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>平成31年度から施行された森林環境譲与税を活用し、市の財産である市有林の今後の在り方を決定するための、基礎資料となる調査を行う。この調査は令和2年度にかけて行う予定をしている。</p> <p>また森林環境譲与税を活用し、市有林の本数調整伐を実施することにより、防災面に寄与し市有林の適正な管理を行うことが出来た。</p> <p>緑のオーナーに対しては、現状を情報発信することで契約満期に向けて必要な情報を発信することが出来た。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>木材価格が下落傾向の今、市有林の今後の在り方を検討する必要があるため、調査結果を用い、令和3年度以降に市営林の在り方を決定する予定をしている。</p> <p>国の中でも防災面において、森林整備が喫緊の課題とされているため、今後も市営林の適正な管理を目指す必要があると考えられるが、木材として成長を目指すか針広混交林化を目指すべきかの検討が必要である。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	と畜場運営費												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	小西 晴之					
会計情報	事業コード	210614	款	04 衛生費	項	05 と畜場費	目	01 と畜場施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	164	頁
施策体系	施策コード	060106	施策名	公設市場等を活性化する									
計画期間	開始年度	平成9年	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市食肉センターに関する協定書、と畜場法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	食用に供するために行なう獣畜(牛・馬・豚・めん羊・山羊)の処理を適正に行なうため、北部四市(福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市)の共同利用施設として連携を図りながら公衆衛生の見地から施設を維持、運営し、その財源として使用料収入との差額を北部四市で拋出する運営負担金のうち本市分に充てている。												
対象者	福知山市(と畜場特別会計)	対象者数	1	単位あたりコスト	23,552.1								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	福知山市(と畜場特別会計)												
事業概要 (簡潔書き)	と畜場運営費の福知山市負担金												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	14,672	と畜場運営負担金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	15,219	17,862	18,466	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	15,219	17,862	18,466						
予算財源内訳	① 一般財源	15,219	17,862	18,466					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	1,802	△ 47	0	0				
	② 配当予算	17,021	17,815	0	0				
	③ 執行額	17,021	14,672	0	0				
	④ 執行率	100.0%	82.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.01/0	1.11 / 0.00	1.11 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	80	8,880	8,880	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	17,101	23,552	8,880						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	きょうと地域連携交付金	種類	衛生費府補助金	実績金額	5,194	決算付属資料	26	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	総利用頭数	頭	560/662	426/662	323 / 662	/	662
本市分利用頭数	頭	15/18	22/21	25/21	/	21	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	負担金決算額	百万円	12.8/16.4	17 / 15.2	14.6 / 17.8	/	16.4
	単位あたりコスト		-	-	1004.94		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	△	・利用頭数は大幅に減少しており、社会的必要性については存続を検討する時期に来ていると考える。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	福知山市食肉センターに関する協定書により本市の運営負担金が運営負担金負担総額の1/2に加え残りの1/2の北部4市の入場頭数に占める本市入場頭数の割合を負担しており、本市運営負担金が多くなり、本市財政を圧迫していることからと畜場の継続について検討する必要がある。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	全体の入場頭数の減少が著しく、成果については理にかなわなくなっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	・北部四市の入場頭数だけでなく、府外からの入場頭数の減少による施設使用料の減により、予算額が増加傾向にあり近年特にこの傾向が強い。		
これまでの課題及び今後の方向性	・上記のことから、北部四市及び京都府(畜産関係、保健所関係)、と畜業者(福知山食肉組合)、入場者、業務委託業者等関係機関と今後の施設の閉鎖について協議を進める必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	農林漁業施設維持管理事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210122	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	公共施設マネジメント実施計画							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	公共施設民間譲渡事業(農業施設(共同作業所))、公共施設除却事業(農業施設(共同作業所))												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	農林業振興課所管の農林漁業施設の維持管理を行う。												
対象者	総農家数(2015農林業センサスデータ)	対象者数	3,915	単位あたりコスト	1.2								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	(公社)福知山市シルバー人材センター												
事業概要 (簡潔書き)	農林業振興課所管施設の損害保険料を支出する。また、施設使用者(地元)により行なうこととしている修繕について、災害等使用者の責任に帰することができない場合において、地元との協議により修繕を行なう。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	報償費	16	謝礼金										
	需用費	3	消耗品										
	役務費	166	損害保険料、手数料										
	委託料	336	市有地除草業務										
工事請負費	1,738	農林産物展示販売所解体工事 1件											

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	993	928	870	予算編成時記入	
	② 補正予算	0	0	0		
	③ 繰越予算	0	0	0		
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0	0		
小計(①~③)	993	928	870			
予算財源内訳	① 一般財源	993	928	870		
	② 国支出金	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0		
	④ 地方債	0	0	0		
	⑤ その他特財	0	0	0		
決算情報	① 流充用額	0	1,750	0		
	② 配当予算	993	2,678	0		
	③ 執行額	380	2,259	0		
	④ 執行率	38.2%	84.4%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.12/0.1	0.25 / 0.12	0.25 / 0.12	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	1,210	2,300	2,300	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,590	4,559	2,300			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	保険料	千円	88	44	47	/	-
公共施設除却、譲渡(延数)	施設	14/56	15/56	16/56	/	56	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	公共施設除却、譲渡数	施設	3/3	1/7	1/3	/	-
	単位あたりコスト		28.33	380.00	2258.96	/	
	単位あたりコスト				/		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・農業施設の修繕に備える必要がある ・管理用地等の地元貸与を促進する必要がある
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・施設修繕等による作業効率の向上 ・除草等業務の経済比較
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・管理用地の民間利用可能な条件整備を促進
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農林業振興課所管の農林漁業施設の損害保険料の支出を行い、施設の維持管理を行った。		
これまでの課題及び今後の方向性	資産の有効な活用を図るため、福知山市公共施設マネジメント計画に則り、施設利用者(地元)との合意形成を進める。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	公共施設民間譲渡事業(農業施設(共同作業所))									
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香		
会計情報	事業コード	210161	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計 決算付属資料 168 頁
施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする						
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	公共施設マネジメント実施計画				
根拠法令等	-									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業	農林漁業施設維持管理事業、公共施設除却事業(農業施設(共同作業所))									

II 事業基礎情報									
事業目的(あるべき姿)	地域住民による施設の管理運営が適切な場合や民間事業者が継続的に運営することが可能かつ妥当な場合において、地域コミュニティや民間事業者等に施設を委譲することにより、当該施設の機能・サービスの継続やサービスの向上を図る。								
対象者	譲渡組織	対象者数	5	単位あたりコスト	937.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	(委託)公益社団法人京都公共嘱託登記士地家屋調査士協会、(補助)畑共同作業所組合他								
事業概要(簡潔書き)	農林業振興課所管の施設の継続利用により事業効果の見込まれる施設について、施設管理者へ譲渡を行う。								
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	86	建物表示登記業務						
	工事請負費	1,839	農作業所改修工事 1件						
	負担金補助及び交付金	600	農業施設(共同作業所)譲渡事務費補助金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	11,403	3,850	400	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	11,403	3,850	400						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	11,403	3,850	400					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	11,403	3,850	0	0				
	③ 執行額	8,396	2,525	0	0				
	④ 執行率	73.6%	65.6%						
人概工算	① 従事職員数(正職員/嘱託職員)	0.28/0	0.27 / 0.00	0.27 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,240	2,160	2,160	0				
トータルコスト(予算執行額+概算人件費)	10,636	4,685	2,160						
主な利用特財(N-1年度実績値)	特財名称	公共施設等総合管理基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	2,524	決算付属資料	40	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績(アウトカム)実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	譲渡件数	件	0 / 5	0 / 7	0 / 3	/	56		
活動実績(アウトプット)実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	譲渡件数	件	0 / 5	0 / 7	0 / 3	/	56		
	単位あたりコスト		-	-	-	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	継続利用による事業効果が見込まれる施設について、施設管理者へ譲渡することで財政負担を軽減するとともに、譲渡により貴重な財源をより意義のあるサービスへ転換することができる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	施設譲渡の条件である改修工事については入札を実施し、登記経費等は単価が設定されており、コストは妥当なものである。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	当該年度中に施設の譲渡には至らなかったが、公共施設マネジメント計画に沿った事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・対象施設のマネジメントに係る地元説明は完了しているが、地元の施設処分等にかかる合意形成に時間を要している。 ・継続利用による事業効果が見込まれる施設については、管理者へ譲渡することで維持管理費の削減を図る。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の地元での利用、管理状況を的確に把握し、早期に施設処分等に係る合意形成を図る。 ・マネジメント計画の着実な実施により事業の縮減を図る。 ・現在施設の維持管理費が損害保険料のみとなっている中、一定の大きな修繕を行ったうえで民間に譲渡することとのコストの再比較が必要である。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	農業振興事務管理事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210189	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報										
事業目的 (あるべき姿)	農業振興に係る一般的経費を当事業で支出する。									
対象者						対象者数	-	単位あたりコスト	-	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等										
事業概要 (簡潔書き)	農業振興施策に関する一般管理費									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容							
	賃金	624	臨時職員賃金							
	需用費	570	消耗品ほか							
	役務費	629	郵送料ほか							
	使用料及び賃借料	448	複写機使用料、公用車リース料							
その他事務経費	175	報償費、旅費								

III 予算執行状況										
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0	2,059		2,050		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0		0					
	③ 繰越予算	0	0		0					
	前年度繰越	0	0		0					
	次年度繰越	0	0		0					
小計(①~③)	0	2,059		2,050						
予算財源内訳	① 一般財源		1,671		1,662					
	② 国支出金	0	0		0					
	③ 府支出金	0	0		0					
	④ 地方債	0	0		0					
	⑤ その他特財	0	388		388					
決算情報	① 流充用額		450		0					
	② 配当予算		2,509		0					
	③ 執行額		2,446		0					
	④ 執行率		97.5%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.22	/	0.00	0.22	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費		1,760		1,760		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	4,206		1,760						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料	種類	農林使用料	実績金額	4	決算付属資料	10	頁	
	特財名称	携帯電話アンテナ使用料	種類	農林使用料	実績金額	385	決算付属資料	10	頁	
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁	

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
					/	/	-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
					/	/	-
	単位あたりコスト				/	/	
	単位あたりコスト						

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	農業振興を円滑に進めるため必要な事務的経費である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	旅費の精査・物品購入時の価格比較等、コスト削減に努めている
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	成果の設定は困難である
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農業振興を推進するための事務経費として適切に支出した【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	農業振興事務を円滑に進めるために必要な経費であり、今後も継続する必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性							
事業名	河川種苗放流事業						
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課			所属長	中島 美香	
会計情報	事業コード	210211	款	06 農林業費	項	01 農業費	
				目	03 農業振興費	会計	01 一般会計
						決算付属資料	168
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める			
計画期間	開始年度	昭和50年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名		
根拠法令等	漁業法、内水面漁業振興対策事業費補助金交付要綱、福知山市内水面漁業振興対策事業費補助金交付要領、由良川漁業協同組合強化育成事業費交付要領						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合						
関連事業							

II 事業基礎情報			
事業目的 (あるべき姿)	自己利益の向上を目指すだけでなく、由良川水系の漁業権を持つことで遊漁期間や遊魚区域、漁具を限定し、由良川における水産資源の保全にも大きな役割を果たしている由良川漁協を支援することで、あゆやふな等の水産資源の保全と増殖を図る。		
対象者	由良川漁業協同組合	対象者数	1
		単位あたりコスト	10,318.0
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()		
委託先・実施主体等	由良川漁業協同組合		
事業概要 (箇条書き)	あゆやふな等の放流にかかる種苗費用に対して、予算の範囲内で2/3を補助する。由良川漁業協同組合の経営基盤強化、体制整備に対し支援を行う。		
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容
	負担金補助及び交付金	9,248	由良川漁業協同組合強化育成事業補助金、河川種苗放流事業補助金

III 予算執行状況									
区分		H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	9,448		9,248		10,880		予算編成時記入	
	② 補正予算	0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0			
小計(①~③)		9,448		9,248		10,880			
予算財源内訳	① 一般財源	1,624		0		0			
	② 国支出金	0		0		0			
	③ 府支出金	1,624		1,624		2,440			
	④ 地方債	0		0		0			
	⑤ その他特財	6,200		7,624		8,440			
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0	
	② 配当予算	9,448		9,248		0		0	
	③ 執行額	9,448		9,248		0		0	
	④ 執行率	100.0%		100.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.23/0		0.04 / 0.30		0.04 / 0.30		0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	1,840		1,070		1,070		0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		11,288		10,318		1,070			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	河川種苗放流事業補助金		種類	農林業費府補助金		実績金額	2,071	
	特財名称	淡水漁業振興基金繰入金		種類	基金繰入金		実績金額	7,071	
	特財名称			種類			実績金額		

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	水産物の販売、遊魚券の売上げ	千円	14678	9648	10906	/	17000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	種苗放流量(あゆ、ふな等)	千匹	333/350	348/350	255/350	/	350
	単位あたりコスト		33.06	27.15	36.27	/	
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	河川種苗放流事業は由良川水系の水産資源保護に大きく寄与しており、漁業者からのニーズが高く今後も必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	水産資源の保全のためには、外来種による淘汰や天敵の捕食による損失分を考慮し、ある程度の数の種苗を放流することが必要である。このため、一定のコストはかかるが、現在の事業費総額は補助金額の倍以上あり、補助金額に対する事業の効果は大きい。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	本事業の実施により、天然あゆをはじめとする由良川水系の水産資源を守ることは、淡水漁業の振興に寄与している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>種苗放流数は、目標に届かないものの、一定数の放流はできている。今後も継続し、放流量を増やして由良川水系の水産資源を維持する必要がある。</p> <p>販売、売り上げについては目標を大きく下回り、加えて減少傾向にあるため、販路拡大等への改善へ向けた検討が必要である。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>業績指標が目標に達していないので、少しでも目標に近づき、福知山市の水産業の振興に努めていく必要がある。</p> <p>今後も同様の内容を実施し、水産業の振興を継続する。</p> <p>また、あゆの漁業量減少は、カワウによる食害の影響が大きいと思われるため、今後有害鳥獣対策担当とも連携しながらカワウ対策を推進していく必要がある。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	京野菜生産加速化事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210215	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	京野菜生産加速化事業実施要綱、福知山市京野菜生産加速化事業実施要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	パイプハウス等を導入し、京野菜の産地規模の拡大に寄与するとともに農業経営の安定に資する。(府補助) 新規就農者に対して施設や機械導入を支援することで、次期の農業担い手を育成し産地拡大を目指す。(市補助)								
対象者	総農家数(2015農林業センサスデータ)	対象者数	3,915	単位あたりコスト	1.8				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山ハウス部会、パイプハウスを導入する新規就農者								
事業概要 (簡潔書き)	ブランド京野菜の産地拡大を図る組織や新規就農者のパイプハウス、資材等導入助成								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	5,855	京野菜生産加速化事業補助金						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	12,090	11,291		29,435		予算編成時記入				
	② 補正予算	1,088	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①~③)	13,178	11,291		29,435							
予算財源内訳	① 一般財源	0	0		0						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	12,338	10,451		28,595						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	840	840		840						
決算情報	① 流充用額	0	△ 1,750		0		0				
	② 配当予算	13,178	9,541		0		0				
	③ 執行額	12,232	5,855		0		0				
	④ 執行率	92.8%	61.4%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.21/0	0.14	/	0.00	0.14	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,680	1,120		1,120		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	13,912	6,975		1,120							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	京野菜生産加速化事業補助金	種類	農林業費府補助金	実績金額	5,662	決算付属資料	26	頁		
	特財名称	ふるさと納税基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	193	決算付属資料	40	頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	万願寺とうがらしの販売額	百万円	125 / 120	146 / 140	129 / 150	/	150		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	施設園芸(パイプハウス増棟数)	棟	6 / 15	8 / 15	5 / 15	/	15		
	単位あたりコスト		1239.50	1529.00	1171.00				
	万願寺とうがらしの生産量	t	223 / 240	182 / 240	180 / 240	/	240		
単位あたりコスト		33.35	67.21	32.53					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	計画的なパイプハウス等導入による栽培面積の拡大を図り、農家経営の安定と京野菜を中心とした特産物の振興を図るため必要である
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	補助率は同類の他事業と比較して妥当な水準である
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	施設栽培(パイプハウス等導入)による京野菜の生産性及び品質向上を図ることにより、市場や消費者等への高品質で安定した京野菜の供給を図るために有効である
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	パイプハウスは毎年一定数の導入があり、今後も安定した導入が見込まれる。特にこの事業を活用して万願寺とうがらしの生産者(新規就農者を含む)がパイプハウスを導入しており、高収益化が見込まれるブランド京野菜の生産拡大に寄与している。		
これまでの課題及び今後の方向性	将来的に高齢化や後継者不足による栽培面積の縮小が懸念されるが、今後もブランド京野菜の需要は大いに期待でき、担い手や新規就農者の推進を図ることにより産地拡大を目指す。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
--------	--

事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	農業生産組織等指導強化事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210217	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168・170	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	地域農業担い手組織活動支援事業費補助金交付要領、農業生産組織等指導強化事業補助金交付要領、福知山市地域農業再生協議会活動補助金、福知山市農村女性活動支援事業補助金												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	経営所得安定対策等推進事業、農業振興推進事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	生産組織や担い手組織等の育成強化を通じて、生産農家の生産力強化及び販売力の向上を図る。												
対象者	総農家数(2015農林業センサスデータ)	対象者数	3,915	単位あたりコスト	0.4								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	福知山農業経営者会議、福知山市地域農業再生協議会、福知山市農村女性協議会												
事業概要 (簡潔書き)	生産組織や担い手組織等の育成補助												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	987	地域農業担い手組織活動支援事業補助金、農村女性協議会活動支援事業補助金、中丹米振興協議会負担金 農業生産組織等指導強化事業補助金、福知山市地域農業再生協議会活動補助金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,989	1,318	1,079	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	2,989	1,318	1,079						
予算財源内訳	① 一般財源	2,201	1,068	1,079					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	400	250	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	388	0	0					
決算情報	① 流充用額	250	117	0	0				
	② 配当予算	3,239	1,435	0	0				
	③ 執行額	2,843	987	0	0				
	④ 執行率	87.8%	68.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.31/0.08	0.05 / 0.00	0.05 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,680	400	400	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,523	1,387	400						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	きょうと地域連携交付金	種類	農林業費府補助金	実績金額	41	決算付属資料	28	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		農産物年間生産数量	トン	450 / 520	363 / 520	375 / 520	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	農産物年間生産者数(水田活用農家)	戸	721 / 1000	798 / 1000	607 / 1000	/	1000
	単位あたりコスト		3.92	3.56	1.63	/	
	単位あたりコスト				/		

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	生産農家の組織活動の育成助成を行う事で、生産農家の生産力の強化及び販売力の向上を図るために必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	各種団体の事業実施に対する支援を、他事業と比較し妥当な水準で行っている。また、団体の事業の内容についてもコスト削減の観点から実施するよう指導している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	生産者相互の研鑽と連携の強化を図ることにより、生産性及び品質の向上を目指し、市場や消費者などへの安心・安全な農作物の供給に有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農業生産組織等の育成強化を図るために必要な施策である。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後においても生産農家の生産力の強化及び販売力の向上のため、本事業において生産組織の育成強化を図る。		

VI 他部署評価	
事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針	
方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果	
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	農産物価格安定対策事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210218	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	170	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	昭和61年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	野菜生産出荷安定法・施行令・施行規則、特定野菜等供給地育成価格差補給事業実施要領、豆類価格安定対策事業等実施要領 他												
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	特産野菜及び豆類の価格低下の際の価格補填を行うことで、特産作物の生産振興を図るとともに、特産作物の育成を通して地域農業の活性化を推進する。								
対象者	農業者数(2015農林業センサスデータ)	対象者数	3,915	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金支出)								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡潔書き)	京都府の農産物価格安定対策事業に取組むことにより、特産野菜及び豆類の価格低下の際の価格補填を行うことで、特産作物の生産振興を図るとともに、特産作物の育成を通して地域農業の活性化を推進する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	207	農産物価格安定対策事業負担金、ふるさと産品協会会費						

III 予算執行状況										
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,613	1,903	1,765	予算編成時記入					
	② 補正予算	0	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0	0						
小計(①~③)	1,613	1,903	1,765							
予算財源内訳	① 一般財源	1,613	1,903	1,765						
	② 国支出金	0	0	0						
	③ 府支出金	0	0	0						
	④ 地方債	0	0	0						
	⑤ その他特財	0	0	0						
決算情報	① 流充用額	307	△ 404	0	0					
	② 配当予算	1,920	1,499	0	0					
	③ 執行額	1,914	207	0	0					
	④ 執行率	99.7%	13.8%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.14/0.09	0.04 / 0.00	0.04 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	1,345	320	320	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,259	527	320							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁				
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁				
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁				

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	価格安定加入品目等の販売額(7品目)	百万円	199 / 176	143 / 220	235 / 220	/	250		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	資金造成品目	品	8 / 10	8 / 10	8 / 10	/	10		
		単位あたりコスト	164.50	239.25	25.91	/			
		単位あたりコスト				/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	野菜等の粗収益(手取収入)が、事前に定めた保証基準額を下回った場合に、府、市町村、契約出荷団体、生産者があらかじめ積み立てた交付準備金から補給金を交付する。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	JA支店単位で、契約農家の作付計画を基に、必要な交付準備金を積立する。それぞれの団体から準備金の拠出がある。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	京ブランド作物が保証対象となる。需要拡大が見込まれる作物が多く、作物の金額保証を行うことでより多くの農家が取り組む可能性があるため、有効的な施策といえる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	対象生産者に補給交付金を交付し、野菜等生産農家の粗収益を一定水準に安定させる価格対策により、対象生産者の再生産を確保するとともに、生産振興対策と一体となった集団産地育成、保全を図る。		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から開始された「収入保険」は、あらゆる作物・被害の損失に対応できるため大規模農家が当事業から離れた。(収入保険と当事業は併用して加入できない) ・京ブランド野菜に位置づけられた野菜が当事業の対象作物となる。府内でもかなりの需要が見込まれるため小規模農家が当事業を利用して生産拡大を図れるようにする。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	京の水田農業確立支援事業									
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香		
会計情報	事業コード	210222	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計 決算付属資料 170 頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める						
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-				
根拠法令等	京の水田農業総合対策事業費補助金交付要綱									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	中山間地の多い本市において、実需評価が高く収益性のある小豆、黒大豆、特別栽培米、酒米等を生産するための農業機械導入に対する支援を行い、特産物の振興と農家所得の向上を図る。									
対象者	農業法人、営農組織	対象者数	6	単位あたりコスト	1,282.5					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	集落営農組織等									
事業概要 (簡潔書き)	小豆、黒大豆、特別栽培米(低肥料、低農薬)、酒米等の生産拡大をはかるため、これらの作物生産に必要な農業機械導入に対する支援を行う。									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容							
	負担金補助及び交付金	5,855	京の水田農業確立支援事業補助金							

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	9,000	11,630	7,495	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	△ 5,775	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	9,000	5,855	7,495						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	9,000	5,855	7,495					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	9,000	5,855	0					
	③ 執行額	8,907	5,855	0					
	④ 執行率	99.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.18/0.04	0.23 / 0.00	0.23 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,540	1,840	1,840	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,447	7,695	1,840						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	京の水田農業確立支援事業補助金	種類	農林業費府補助金	実績金額	5,855	決算付属資料	26	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	小豆栽培面積	ha	102 / 100	96 / 100	95 / 100	/	/	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	助成組織数	組織	4 / 6	4 / 6	3 / 6	/	/	6
	単位あたりコスト		1512.75	2226.75	1951.67	/	/	
	単位あたりコスト				/	/		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	集落営農組織の存続、強化のためには、農業用機械の導入に対する支援が必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	補助率は同類の他事業と比較して妥当な水準である
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	導入機械の利用状況や組織の経営内容を把握している
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	小豆や酒米などの土地利用型作物の栽培には大型機械が必須であり、これを支援することは集落営農組織の育成強化に有効である。また、そのことで主食用米の価格低下等により作付けされなくなっている水田が増える中、水田の有効活用及び保全を図ることができる。		
これまでの課題及び今後の方向性	農業機械の購入は営農組織の大きな負担となっている。高性能機械の導入を支援することにより、生産性の向上と組織の経営改善が期待できる。財源の全てが京都府補助で市に裁量のない事業であるため、京都府の直接執行等事務のあり方について京都府と協議を進める。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	茶業振興対策事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210239	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	170	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	昭和55年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	茶業振興対策事業実施要領(市・府)												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	被覆棚等の茶生産設備の整備により優良均質で高品質な茶生産を行うことにより茶業経営の安定を図り、本市の茶業振興を図る。												
対象者	市内茶生産農家	対象者数	14	単位あたりコスト	115.8								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	市内茶生産農家												
事業概要 (簡潔書き)	製茶品質及び茶生産力の向上と効率的経営を推進し、本市の茶業振興を図ることを目的に、集団茶園の造成や優良品種の新植・改植・土地改良対策及び施設整備による茶品質向上にかかる助成を実施する。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	報償費	454	両丹茶品評会出品奨励金ほか										
	旅費	8	研修旅費										
	負担金補助及び交付金	120	両丹お茶まつり開催負担金、関西茶業振興大会京都府大会開催負担金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	450	1,044	1,769	予算編成時記入	
	② 補正予算	0	0	0		
	③ 繰越予算	0	0	0		
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0	0		
小計(①~③)	450	1,044	1,769			
予算財源内訳	① 一般財源	0	744	809		
	② 国支出金	0	0	0		
	③ 府支出金	450	300	960		
	④ 地方債	0	0	0		
	⑤ その他特財	0	0	0		
決算情報	① 流充用額	0	0	0		
	② 配当予算	450	1,044	0		
	③ 執行額	322	582	0		
	④ 執行率	71.6%	55.7%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.14/0.04	0.13 / 0.00	0.13 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	1,220	1,040	1,040	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,542	1,622	1,040			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	荒茶生産金額	千円	62,528 / 68,000	63,000 / 68,000	49,852 / 68,000	/	68,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	茶業振興対策事業	事業	0 / 1	1 / 1	0 / 1	/	1
	単位あたりコスト		-	322.00	-	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	製茶品質及び茶生産力の向上と効率的経営を推進し、本市の茶業振興を図るために必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	補助率は同類の他事業と比較して妥当な水準である
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	被覆棚等の整備により優良均質で高品質な茶生産を行うことにより、取引単価の上昇につながっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	茶の品質及び生産力の向上につながる事業である。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和元年度、両丹茶品評会関連事業を統合した。品評会関連と、施設面の整備事業を統合したことで、ソフト面、ハード面の両方から、本市の茶の品質向上と生産拡大の推進を統一的に推進する。茶農家の高齢化等により荒茶の生産量が減少傾向にあるが、品質向上による農家の所得確保や新規就農者の確保に努める。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	経営所得安定対策等推進事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210255	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	170	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	京都府経営所得安定対策等推進事業実施要綱、福知山市経営所得安定対策事業等推進事業実施要綱、福知山市地域農業再生協議会補助金交付要綱												
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	農業振興推進事業、農業生産組織等指導強化事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	国の経営所得安定対策事業を有効活用することにより、本市の農業の振興を図る。												
対象者	農家数(細目書配布農家数)	対象者数	7,782	単位あたりコスト	2.0								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	福知山市地域農業再生協議会												
事業概要 (簡潔書き)	福知山市地域農業再生協議会と連携し、経営所得安定対策事業の円滑な推進を図る。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	職員手当等	1,035	福知山市地域農業再生協議会担当職員の超過勤務手当										
	賃金	3,730	臨時職員賃金										
	旅費	22	説明会旅費										
	使用料及び賃借料	137	複写機使用料										
	負担金補助及び交付金	4,395	福知山市地域農業再生協議会補助金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	10,004	9,413	9,414	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	10,004	9,413	9,414						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	10,004	9,413	9,414					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	10,004	9,413	0	0				
	③ 執行額	8,877	9,319	0	0				
	④ 執行率	88.7%	99.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.22/0.07	0.77 / 0.16	0.77 / 0.16	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	9,935	6,560	6,560	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	18,812	15,879	6,560						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	経営所得安定対策等推進事業補助金	種類	農林業費府補助金	実績金額	9,319	決算付属資料	28	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		不作付け水田の面積	ha	689 / 650	702 / 650	754 / 650	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	経営所得安定対策加入者数	人	2477 / 3000	798 / 1200	608 / 1200	/	1200
	単位あたりコスト		3.96	11.12	15.33	/	
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	国の施策である経営所得安定対策を本市において運営するために必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	地域農業再生協議会に補助金を支出し、協議会においてコスト削減に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市内の多くの農業者が加入し、令和元年度実績で約1億円の補償を受けている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農業法人、集落営農組織、担い手を中心に経営所得安定対策事業を有効に活用できている		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 年々、高齢化や離農によって申請者が減少傾向にある。 不作付地の面積がかなりのペースで増加している。 <p>(方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 産地交付金の対象を従前の作物だけでなく、新たな作物にも広げることで新規取組者を増やす。 不作付地の増加を抑えるために、戦略作物(麦や飼料用米・加工用米など)などの、より効率的に面積確保しやすい作物への上乘せ助成を検討する。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	担い手確保・経営強化支援事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210258	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	170	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名	-							
根拠法令等	担い手確保・経営強化支援事業実施要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	地域の担い手が経営発展に意欲的に取り組む際に必要となる農業用機械・施設の導入等について支援し、担い手の確保・育成と農地の集積を図る。								
対象者	認定農業者・認定就農者等	対象者数	187	単位あたりコスト	24.9				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	認定農業者等・認定就農者等								
事業概要 (簡潔書き)	付加価値額の拡大などの経営発展に意欲的に取り組む地域の担い手が、融資を活用して機械等の導入等を行う際に、融資額を除いた自己負担部分について助成を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	3,134	担い手確保・経営強化支援事業費補助金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	予算編成時記入			
	② 補正予算	3,137	0	0	0				
	③ 繰越予算	△ 3,137	3,137	0	0				
	前年度繰越	0	3,137	0	0				
	次年度繰越	△ 3,137	0	0	0				
小計(①~③)	0	3,137	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	3,137	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	0	3,137	0	0				
	③ 執行額	0	3,134	0	0				
	④ 執行率		99.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.25 / 0.12	0.19 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,300	1,520	0	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,300	4,654	0	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	担い手確保・経営強化支援事業補助金	種類	農林業費府補助金	実績金額	3,134	決算付属資料	28	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	導入機械数	台			5	/	-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	助成対象者数	人(団体)			2	/	-
	単位あたりコスト				1567.00	/	
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	担い手の確保・育成のためには、農業用機械の導入に対する支援が必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	補助率は同類の他事業と比較して妥当な水準である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	事業完了後も導入機械の利用状況や組織の経営内容を調査し、補助金の有効活用を確認している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農業用機械等の導入支援を行うことで、担い手の育成・確保及び農地集積の促進を図ることができ、農業振興に有効な事業である		
これまでの課題及び今後の方向性	農業用機械の導入は担い手の大きな負担であるため、継続した支援が必要である。高性能機械の導入を支援することにより、生産性の向上と担い手の経営改善が期待できる事業であり、今後も農業者の要望があれば継続して行う必要がある		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	地場産農産物推進事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210337	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	170	頁
施策体系	施策コード	060105	施策名	地産地消を推進する									
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市地産地消推進計画							
根拠法令等	学校給食導入野菜出荷資金造成事業実施要領												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	地場産農産物(福知山産農産物)の生産と需要の拡大を図るため、地産地消(福知山産農産物を福知山市内で消費する)を推進する。								
対象者	農業者数(2015農林業センサスデータ)	対象者数	3,915	単位あたりコスト	0.6				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 (負担金支出)								
委託先・実施主体等	京都府学校給食会								
事業概要 (簡潔書き)	・福知山市地産地消推進協議会の開催 ・学校給食の米飯に福知山産コシヒカリを使用し、府内産ブレンド米との差額負担								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	1,138	地場産米学校給食活用支援事業負担金						

III 予算執行状況												
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	5,529	1,802		4,734		予算編成時記入					
	② 補正予算	0	0		0							
	③ 繰越予算	0	0		0							
	前年度繰越	0	0		0							
	次年度繰越	0	0		0							
小計(①~③)	5,529	1,802		4,734								
予算財源内訳	① 一般財源	0	0		4,734							
	② 国支出金	0	0		0							
	③ 府支出金	2,764	0		0							
	④ 地方債	0	0		0							
	⑤ その他特財	2,765	1,802		0							
決算情報	① 流充用額	0	0		0		0	0				
	② 配当予算	5,529	1,802		0		0	0				
	③ 執行額	4,848	1,138		0		0	0				
	④ 執行率	87.7%	63.2%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.28/0.2	0.07	/	0.29	0.07	/	0.29	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	2,740	1,285		1,285		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,588	2,423		1,285								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金繰入金		種類	基金繰入金		実績金額	1,100		決算付属資料	38	頁
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		学校給食への地場野菜納入率	%	11 / 20	13 / 30	17 / 30	/	30	
	学校給食への福知山産米納入率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/	100		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	学校給食センター地場産野菜導入支援品目	件	25 / 40	20 / 40	17 / 40	/	40		
	単位あたりコスト		227.16	242.40	66.94	/			
	単位あたりコスト				/				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	地場産農産物の生産と需要の拡大を図るため、地産地消を推進することは農業者だけでなく、食育等の教育の観点からも必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	学校給食への地場産農産物の導入に係る負担であり、妥当な水準である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	地場産農産物の納入率が向上しており、地産地消の推進に有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	地場産農産物(福知山市農産物)の生産と需要の拡大を図るため地産地消(福知山市産農産物を福知山市内で消費する)を推進するため、主として学校給食への地場産農産物の導入を支援しており、その納入率も向上している。		
これまでの課題及び今後の方向性	福知山市地産地消推進計画に基づき、より一層の地産地消を推進するには今後の方向性について再検討が必要である。また、学校給食会計の公会計化に備え、求められている地場産野菜等の窓口の統一について関係機関との早急な協議が必要である。学校給食への地場野菜の納入率(重量ベース)は増加しているが、納入品目は減少しており、その要因等の分析が必要である。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	認定担い手農家育成助成事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210443	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	170	頁
施策体系	施策コード	060102		施策名 担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成16年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名						
根拠法令等	認定担い手農家育成助成金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	担い手農家への農地集積を進めることで、経営規模拡大と効率化を支援し、担い手農家の経営の安定を図る。												
対象者	認定農業者	対象者数	175		単位あたりコスト	21.9							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	認定農業者												
事業概要 (簡潔書き)	認定担い手農家の各年基準日における利用権設定面積が、過去最大面積よりも増加している場合に増加面積に対して助成する。 助成額 10aあたり10千円												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	2,858	認定担い手農家育成助成事業助成金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	3,050	2,400	2,110	予算編成時記入	
	② 補正予算	0	0	0		
	③ 繰越予算	0	0	0		
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0	0		
小計(①~③)	3,050	2,400	2,110			
予算財源内訳	① 一般財源	3,050	2,400	2,110		
	② 国支出金	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0		
	④ 地方債	0	0	0		
	⑤ その他特財	0	0	0		
決算情報	① 流充用額	0	458	0	0	
	② 配当予算	3,050	2,858	0	0	
	③ 執行額	2,522	2,858	0	0	
	④ 執行率	82.7%	100.0%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.09/0.25	0.06 / 0.20	0.06 / 0.20	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	1,345	980	980	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,867	3,838	980			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	担い手農家農地集積率	%	22.7 / 30	22.2 / 30	23.5 / 30	/	30
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	農地集積面積	ha	28.7 / 20	25.3 / 20	28.7 / 20	/	20
	単位あたりコスト		99.41	99.68	99.58	/	
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	農地の荒廃化防止において地域における担い手農家への期待は大きく、農地を守っていくために必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	認定担い手に対し、利用権設定面積を拡大した場合に交付しているもので、助成額10aあたり10,000円としており、効率性のある妥当な支援である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	担い手農家の経営規模の拡大を支援することにより、さらに農地集積を加速化させ農地の荒廃化を防止するために有効な支援である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>過疎高齢化により農地保全に対する担い手農家への期待は高く、耕作放棄地を増やさないためにも担い手への農地集積は重要である。担い手農家の農地集積に対する支援により、地域農業の維持を図ることができる。より農地集積に効果的な支援とするため、令和元年度に制度改正を行い、前年に6年以上の利用権設定した面積を交付対象としていたものを、年を問わず、過去最大の利用権設定面積よりもさらに増加した場合のみを交付の対象とした。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>担い手が高齢化している中、集落営農組織等の担い手登録や育成、法人化の推進により、担い手を維持確保することが重要である。本事業は、担い手の規模拡大を後押しする事業として確実に成果を上げている。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	新規就農総合支援事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課				所属長	中島 美香						
会計情報	事業コード	210445	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	170	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成7年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	農業人材強化総合支援事業実施要綱、京都府就農研修資金償還金助成事業実施要綱、担い手養成実践農場整備支援事業実施要領、福知山市農業次世代人材投資事業実施要領												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	過疎・高齢化で農業従事者が減少する中、農業後継者・新たな農業者・中核的担い手の確保・育成を図る。あわせて、若者への就農意欲の喚起と新規就農者の定着により、農業就業者数の増加及び農業就業者の若返りを図る。												
対象者	新規就農者等	対象者数	19	単位あたりコスト	1,551.1								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	新規就農者、新規就農者後見人												
事業概要 (簡潔書き)	【担い手養成実践農場整備支援事業】 ・農業研修農地を設定し、その農地で最大2年間農業研修体験を行うため、指導者や後見人を設置するとともに農機具の借り上げなど、研修に必要な条件整備を支援する。 【新規就農支援資金償還助成事業】 ・就農研修終了後5年後においても本市で就農し、営農継続している場合、府就農研修資金償還にかかる経費を支援する。 【新規就農総合支援事業(人材投資資金)】 ・就農時の年齢が50歳未満の独立・自営就農者に対して、経営開始から最大5年間、就農給付金を支援する。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	18,510	農業次世代人材投資事業補助金、担い手養成実践農場整備事業補助金、新規就農支援資金償還助成										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	33,310	27,610	19,820	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	△ 9,100	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	33,310	18,510	19,820						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	32,030	17,880	18,910					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	1,280	630	910					
決算情報	① 流充用額	418	0	0					
	② 配当予算	33,728	18,510	0					
	③ 執行額	24,532	18,510	0					
	④ 執行率	72.7%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.77/0.25	1.22 / 0.48	1.22 / 0.48	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	6,785	10,960	10,960	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	31,317	29,470	10,960						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	新規就農総合支援事業補助金	種類	農林業費府補助金	実績金額	17,880	決算付属資料	28	頁
	特財名称	ふるさと納税基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	630	決算付属資料	40	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	新規就農者の営農継続者数	人	27 / 30	31 / 30	32 / 30	/	30
人材投資資金新規受給者数	人	5 / 5	3 / 5	0 / 5	/	5	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	研修農場の設置	箇所	1 / 3	1 / 3	1 / 3	/	3
	単位あたりコスト		27810.00	24532.00	18510.00		
	研修資金償還助成対象者数	人	2	2	2	/	-
単位あたりコスト		13905.00	12266.00	18510.00			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	農業就業者数人口の増加と農業就業者の若返りを図るために必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	新規就農者・青年就農者を支援するために、コスト的に妥当なものであり、就農者の生活支援として効率性の高い事業である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	新規就農者・青年就農者を支援することで、今後の本市の農業を担うものを増やし育てるため有効な支援である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	3事業とも、新規就農の促進と農業者の定着に有効な施策である。		
これまでの課題及び今後の方向性	過疎・高齢化で農業従事者が減少する中、農業後継者・新たな農業者・中核的担い手の確保・育成を図るため、引き続き本事業を継続する。また、移住定住施策担当課と連携し、新規就農者の確保・定着を図る。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性							
事業名	制度資金利子補給事業						
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課			所属長	中島 美香	
会計情報	事業コード	210450	款	06 農林業費	項	01 農業費	
				目	03 農業振興費	会計	01 一般会計
						決算付属資料	170
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める			
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名		
根拠法令等	福知山市地域農業担い手農業近代化資金利子補給金交付要綱						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合						
関連事業							

II 事業基礎情報													
事業目的 (あるべき姿)	意欲をもって農業を営むものに対し、長期・低利の資金を融資し、効率的かつ安定的な農業経営の確立を支援する。												
対象者	認定農業者 対象者数 175 単位あたりコスト 4.1												
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	農業近代化資金等利用者												
事業概要 (簡潔書き)	機械導入等、農業近代化資金等の制度資金を活用した場合、制度資金利用から5年間、利子補給の助成を行う。												
主な支出に係る 業務内容と経費	<table border="1"> <tr> <th>支出に係る主な費目</th> <th>支出実績(R1)</th> <th>主な業務内容</th> </tr> <tr> <td>負担金補助及び交付金</td> <td>5</td> <td>福知山市地域農業担い手農業近代化資金利子補給金</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容	負担金補助及び交付金	5	福知山市地域農業担い手農業近代化資金利子補給金						
	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
負担金補助及び交付金	5	福知山市地域農業担い手農業近代化資金利子補給金											

III 予算執行状況								
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	182	40	0	予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
小計(①~③)	182	40	0					
予算財源内訳	① 一般財源	182	40	0				
	② 国支出金	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0		
	② 配当予算	182	40	0	0	0		
	③ 執行額	40	5	0	0	0		
	④ 執行率	21.9%	13.6%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.08/0	0.09 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00	0.00		
	② 概算人件費	640	720	0	0	0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	680	725	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁		
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁		
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁		

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	資金の新規借入金額	千円	0	0	0	/	-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	資金の新規借入人数	人	0	0	0	/	-
	単位あたりコスト		-	-	-	/	
	単位あたりコスト					/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	△	利子補給による、効率的・安定的な営農を推進するための施策であるが、近年、低金利が続いており必要性は低い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	借入利子のうち、府1.25%。市が残りを負担しており、省力化・効率的な農業を支援するために必要な事業であったが、近年、低金利が続いており、効率性は低い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	意欲を持ち、効率化・経営拡大を図る農家を支援する施策であり、地域農業者の育成の観点から有効性は高い事業であったが、近年、低金利が続いており、有効性は低い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	平成27年度までの事業採択者に対して要綱に基づき事業実施した		
これまでの課題及び今後の方向性	平成30年度以降、新規事業採択は行っていない。 過去の採択者の利子補給が完了する令和元年度をもって事業を廃止した。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	稼げる農業応援事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210453	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	170	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	福知山市国際水準GAP認証取得支援補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	産業支援事業、販路開拓支援事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	自ら「稼ぐ」ことに取り組み、将来展望を切り開こうとする意欲ある農業者を支援することで、農業で稼げるモデルを作り、農業が魅力的な就業先の一つとなることを目指す。												
対象者	農業者(2015農林業センサスデータ)	対象者数	3,915	単位あたりコスト	3.2								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	㈱グッドテーブルズ、㈱ファイル二十一、合同会社ネイビープランニング、GAP認証を取得した農業者、学校給食に地場野菜を納入した農業者												
事業概要 (簡潔書き)	①ふくちやまのエエもん発掘事業 発掘審査会開催 農産物・加工品セミナーの開催 個別相談会の開催(商品のブラッシュアップ支援) 認定品の販路開拓支援 GAP研修会の開催 国際水準GAP認証の新規取得にかかる経費支援 ②国際水準GAP認証取得支援事業												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	報償費	733	審査員謝礼										
	事務経費	733	旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料										
	委託料	3,063	ふくちやまのエエもん発掘業務委託										
	負担金補助及び交付金	3,754	学校給食地場野菜導入支援事業補助金、GAP認証取得支援補助金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,998	10,220	5,881	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	3,998	10,220	5,881						
予算財源内訳	① 一般財源	1,999	8,476	3,132					
	② 国支出金	0	1,744	2,749					
	③ 府支出金	1,999	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	46	△ 54	0					
	② 配当予算	4,044	10,166	0					
	③ 執行額	3,340	8,283	0					
	④ 執行率	82.6%	81.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.34/0	0.53 / 0.00	0.53 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,720	4,240	4,240	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,060	12,523	4,240						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	農林業費国庫補助金	実績金額	1,974	決算付属資料	18	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		農業所得が対前年度比5%UPLした認定者	人	-	3 / 12	0 / 12	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	エエもん認定品	品	-	4 / 3	7 / 3	/	3
	単位あたりコスト		-	834.98	1183.23		
	GAP認証を取得する農業者 経営体		-	1 / 2	1 / 2	/	3
	単位あたりコスト			3339.93	8282.60		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	農業で生計を立てるのが難しく、後継者が激減する中、経営の観点でやる気を持って稼げる農業に取り組もうとする農業者に対して支援することで、農業で稼げるモデルを作り、農業を就業先の一つとして考える若者が増えることを目指すものであり、優先度が高い事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	審査員として関わった専門家から、認定品のブラッシュアップだけでなく、かかわりのある方面への認定品の紹介もあり、市の販路拡大の取組以上の成果を得ている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	認定を受けた品について、前年度より所得が上がったものが多くあり、有効な取り組みである。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<input type="checkbox"/> 福知山のええもん発掘事業 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度：応募件数67件。その中から7品目を認定した。 ・平成30年度認定品に対する令和元年度の取組：認定した4品目について、東京都の商談会に出品し販路拡大に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> GAP認証取得支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度・令和元年度 各1経営体が認証を取得。 現在1経営体が認証取得に向け経営・管理の見直しを行うなどし準備中。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<input type="checkbox"/> ふくちやまのええもん発掘事業 <ul style="list-style-type: none"> ・市内で販売促進につながる展示・販売スペースの確保や、スマホ等を利用したSNSによる情報発信が今後必要。 ・都市部での販路拡大を行うための商談会について、どの商談会を選定するのが有効かの情報収集が必要。 ・認定品に対する需要が格段に増える中、生産体制に限界があり、今以上の生産の増加が見込めなくなっている。 ・人件費を増やすコストとの関係から現状維持となる可能性あり。 <input type="checkbox"/> GAP認証取得支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・GAP取得は直接商品の高価格化に直結するものではないことから、GAP認証について消費者の理解を広げる必要がある。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	農地中間管理事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210460	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	170	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	農地中間管理事業の推進に関する法律、福知山市農地中間管理事業交付金交付要領												
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	農地中間管理機構に対し農地を貸し付けた地域及び個人を支援することにより、農地中間管理機構を活用した担い手への農地集積・集約化を加速する。												
対象者	農業者(2015農林業センサスデータ)	対象者数	3,915	単位あたりコスト	2.1								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	農地を中間管理機構に貸し付けた者・地域、地区営農推進協議会												
事業概要 (簡潔書き)	農地中間管理機構に農地を貸し付けた、地域及び個人へ助成を行う。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	旅費	7	説明会旅費										
	需用費	93	消耗品費										
	役務費	39	郵送料										
	使用料及び賃借料	31	複写機使用料										
負担金補助及び交付金	2,749	地区推進協議会体制強化事業補助金											

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	5,333	7,560	5,339	予算編成時記入				
	② 補正予算	△ 3,374	△ 3,965	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,959	3,595	5,339						
予算財源内訳	① 一般財源	0	2,226	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	1,959	4,695	4,695					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	639	644					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	1,959	3,595	0					
	③ 執行額	1,708	2,919	0					
	④ 執行率	87.2%	81.2%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.65/1.78	0.17 / 1.50	0.17 / 1.50	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	9,650	5,110	5,110	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	11,358	8,029	5,110						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	農地中間管理事業補助金	種類	農林業費府補助金	実績金額	526	決算付属資料	28	頁
	特財名称	農地中間管理事業受託事業収入	種類	農林業費受託事業収入	実績金額	2,600	決算付属資料	50	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	機構への農地集積面積	ha	52 / 100	67.4 / 100	26.4 / 100	/	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	地域集積協力金	地域	7 / 5	8 / 5	3 / 5	/	5
	単位あたりコスト		491.57	213.50	972.85		
	集積仕掛け人	人	2 / 3	2 / 3	0 / 3	/	3
単位あたりコスト		1720.50	854.00	-			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	農業者の高齢化・耕作放棄地の拡大が進む中で、地域農業を支える担い手に農地を集積し・集約し、効率的で安定した農業を行う必要性は高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	利用権設定に必要な書類の作成事務に関して、市と農地中間管理機構で役割分担をすることで事務の効率化を図っている
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	成果目標は、京都府の年間1,000haの農地集積目標に基づき、毎年100haの農地集積を目指すものとした
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農地中間管理機構による農地集積は進んでいるが、目標とする年間100haの農地集積には届いていない		
これまでの課題及び今後の方向性	令和元年度に制度が改正され、地域集積協力金の単価が減少し、また段階的に削減されることとなっているが、京力農場プランの実質化に向けた取り組みと連携しながら、更なる農地集積を進めていく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	野菜生産施設災害復旧事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210506	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	170	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名	-							
根拠法令等	農林業者等復興支援事業等実施要領												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	被災農地営農再開緊急支援事業、農作物生産確保緊急対策事業、農林業者生産設備再建支援事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	台風20号により被災したパイプハウス及びこれに付帯する施設の撤去・再建に必要な経費を支援する。								
対象者	農業者が組織する団体等	対象者数	2	単位あたりコスト	614.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	農業者が組織する団体等								
事業概要 (簡潔書き)	被害程度が全壊・大破・中破と判断されたパイプハウスに対して、パイプハウスの撤去・再建にかかる経費を支援した。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	908	パイプハウス再建費等補助金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	予算編成時記入			
	② 補正予算	4,532	0	0	0				
	③ 繰越予算	△ 3,102	3,102	0	0				
	前年度繰越	0	3,102	0	0				
	次年度繰越	△ 3,102	0	0	0				
小計(①~③)	1,430	3,102	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	1,430	3,102	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	1,430	3,102	0	0				
	③ 執行額	1,430	908	0	0				
	④ 執行率	100.0%	29.3%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.17/0.04	0.04 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,460	320	0	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,890	1,228	0	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	野菜生産施設災害復旧事業補助金	種類	農林業費府補助金	実績金額	908	決算付属資料	28	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	パイプハウス再建農業者数	人	3	5	2	/	-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	パイプハウス再建棟数	棟	6	10	3	/	-
	単位あたりコスト		547.17	143.00	302.60	/	
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	万願寺甘とうなどの京野菜の生産復旧及び農業所得の維持の観点から必要な施策である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	パイプハウス再建にはコストがかかるが、資材の再利用等を行いコスト低減に努めている
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	早急な営農再開に対応するため、本事業の実施は有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	平成30年台風20号災害で被害を受けた農業者等に支援することで、早急な営農再開だけでなく、本市の農業振興にもつながり、本事業での効果は大きい。本事業は災害復旧事業であるため、災害の規模及び被災農業者の数により実績数は大きく変動する。また、その性質上、目標数は設定していない。補助事業要件を満たし、事業活用を希望する被災農業者については、すべて補助金交付対象としている。		
これまでの課題及び今後の方向性	本事業は農業者団体に対する支援であり、団体に属しない農業者への支援は対象外であるため、市内で農業経営している農業者へ対して団体へ属していない場合も支援できるよう、京都府へ要望する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	スマート農林水産業実装チャレンジ事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210508	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	172	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	スマート農林水産業実装チャレンジ事業実施要領												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	過疎高齢化による農林水産業の担い手減少に対応するため、AI・ICT(情報通信技術)等先端技術の生産現場への実装を加速化し、作業性及び品質・生産性を向上することにより、農林水産業の成長産業化、魅力向上及び農山漁村コミュニティの維持を目指す。												
対象者	3戸以上の農業者等で組織する団体、個別経営体(認定農業者等)等			対象者数	5		単位あたりコスト	4,429.0					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	3戸以上の農業者等で組織する団体、個別経営体(認定農業者等)等												
事業概要 (簡潔書き)	限られた労働力で効率的に作業性と品質・生産性を向上するための「スマート農業」機械・設備の導入に係る経費について助成を行う。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容									
	負担金補助及び交付金	15,345		スマート農林水産業実装チャレンジ事業費補助金									

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	0	10,590		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	15,324	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	0	15,324	10,590						
予算財源内訳	① 一般財源		0	0					
	② 国支出金		0	0					
	③ 府支出金		15,324	10,590					
	④ 地方債		0	0					
	⑤ その他特財		0	0					
決算情報	① 流充用額	0	22	0		0			
	② 配当予算	0	15,346	0		0			
	③ 執行額	0	15,345	0		0			
	④ 執行率		100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0/0	0.85 / 0.00	0.85 / 0.00	0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	0	6,800	6,800		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	22,145	6,800						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	スマート農林水産業実装チャレンジ事業補助金	種類	農林業費府補助金	実績金額	15,345	決算付属資料	26	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		機械導入台数	台	-	-	6 / 6	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	助成組織数	組織	-	-	5 / 5	/	-
	単位あたりコスト		-	-	3069.00	/	
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	担い手の確保・育成のためには、農業用機械等の導入に対する支援が必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	補助率は同類の他事業と比較して妥当な水準である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	導入機械の利用状況や組織の経営内容を把握している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農業用機械等の導入支援を行うことで、担い手の育成・確保及び農地集積の促進を図ることができ、農業振興に有効な事業である。		
これまでの課題及び今後の方向性	農業用機械等の導入は担い手の大きな負担になる。農業の後継者不足や高齢化が課題となる中、スマート農業機械の導入を支援することにより、生産性の向上と担い手の経営改善が期待できるため、今後も継続して支援を行う必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	中山間地域等直接支払交付事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210568	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	172	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律、中山間地域等直接支払交付金実施要領、京都府中山間地域等直接支払交付金等交付要領、福知山市中山間地域等直接支払交付金交付要領												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	多面的機能支払交付事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	中山間地域等農業生産条件が不利な地域の農業生産活動の継続を推進することにより、農業農村の有する多面的機能の維持・発揮を図る。												
対象者	集落協定締結団体	対象者数	67	単位あたりコスト	2,017.4								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	集落協定締結団体 67地域、(株)パスコ京都支店												
事業概要 (簡潔書き)	中山間地域等において農用地を維持管理していくための協定を締結し、協定に基づき農業生産活動等の継続を推進する取組に対して交付金を交付する。対象農用地は、特定農山村法、山村振興法、過疎法など8法で指定された地域及び知事特認地域(庵我、下豊富、上豊富、佐賀)内の傾斜がある等の基準を満たす農用地。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	委託料	1,595	システム改修業務										
	負担金補助及び交付金	124,998	中山間地域等直接支払交付事業補助金										
	その他事務経費	971	旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	127,189	129,118	127,570	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	127,189	129,118	127,570						
予算財源内訳	① 一般財源	33,298	36,718	32,898					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	93,891	92,400	94,672					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	△ 134	0	0				
	② 配当予算	127,189	128,984	0	0				
	③ 執行額	125,728	127,564	0	0				
	④ 執行率	98.9%	98.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.85/0.04	0.85 / 0.32	0.85 / 0.32	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	6,900	7,600	7,600	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	132,628	135,164	7,600						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	中山間地域等直接支払交付事業補助金	種類	農林業費補助金	実績金額	92,503	決算付属資料	26	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	集落協定数	協定	66 / 66	67 / 66	67 / 67	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	協定による農地保全面積	ha	941 / 1010	941 / 1010	944 / 1010	/	1010
	単位あたりコスト		133.64	133.61	135.13	/	
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	中山間地域の条件の不利な農用地を所有、管理する農業者の所得格差の是正や高齢化・農業離れによる荒廃農用地の発生を防ぐために必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	交付金交付対象面積が大きいため、要領に定められた現地確認を行うためにはある程度の人と時間が必要になるが、地図情報システムの活用等により時間短縮、省力化に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	交付金の用途を限定していないことから、農地の共同管理のための共同機械の購入や有害鳥獣対策の防護柵の設置など直接農業に関わる取組だけでなく、農業を利用した都市間交流や特産物販売、イベント等の実施により新しい人の流れを生み出す効果が見込まれる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	集落協定数は平成27年度からの第4期対策(H27～H31)で2協定増加し、全67協定で活動が行われている。農地保全面積はほぼ維持されており、今後も継続して取組面積の拡大を図る		
これまでの課題及び今後の方向性	中山間地として農地の保全・管理維持をしていくためには有害鳥獣対策が依然として課題となっているが、交付金を積極的に活用し、耕作放棄地の発生防止等に努める。 高齢化等による耕作放棄地の増加が懸念されるなか、第5期対策では、交付金返還措置の見直しや、加算措置の新設など農業者が安心して取り組めるよう事業の見直しがされたことを集落協定に周知し、前向きな取り組みへの支援を強化する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	農業振興推進事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210569	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	172	頁
施策体系	施策コード	060102		施策名						担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める			
計画期間	開始年度	平成元年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名			-			
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	地域における農業政策の検討と円滑な推進を図る。								
対象者	農区長	対象者数	248		単位あたりコスト	26.2			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	㈱レントオール、舞台照明CREW・SOLOOK								
事業概要 (簡潔書き)	・農業政策の検討と円滑な推進を図る全体農区長会の開催。 ・農区長委嘱要綱に基づく農区長への報酬を支払う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報酬	4,385	農区長報酬						
	報償費	83	農区長会記念品						
	委託料	497	農区長会会場設営業務ほか						
	その他事務経費	345	需用費、役務費、使用料及び賃借料						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	5,412	5,169		8,042		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①~③)	5,412	5,169		8,042							
予算財源内訳	① 一般財源	4,923	5,169		8,042						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	489	0		0						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	0	0		0						
決算情報	① 流充用額	50	195		0		0				
	② 配当予算	5,462	5,364		0		0				
	③ 執行額	5,427	5,310		0		0				
	④ 執行率	99.4%	99.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.4/0	0.15	/	0.00	0.15	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	3,200	1,200		1,200		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,627	6,510		1,200							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	活動に協力した農区長数	人	248 / 248	248 / 248	248 / 248	/	248		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	農区長会開催数	回	3 / 3	3 / 3	1 / 3	/	3		
	単位あたりコスト		1784.67	1809.00	5309.56	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	地域において農業世帯の検討と円滑な推進を図るために、本事業を実施し地域の農区長の協力を得る必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	農区長の協力に対して適切な報酬費を支出することとしている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	農区長会の開催を通して、各農区長に効率的に協力依頼や情報発信ができています。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	地域の農区長に効率的に協力依頼や情報発信するために、計画通り農区長会を開催することができている。		
これまでの課題及び今後の方向性	本市の農業政策の検討と円滑な推進を図るために、地域の農区長の協力が不可欠であるため、継続して事業を実施する。農業後継者の不足や高齢化により、農区長が農業に従事されていなかったり、毎年交代されたりする中、地域の農業委員や最適化推進員、また集落営農などの農業法人とも連携することで、地域に対する農林行政等の情報発信ができるようにしていく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	多面的機能支払交付事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課				所属長	中島 美香						
会計情報	事業コード	210576	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	172	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成19年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律、多面的機能支払交付金実施要領、環境保全型農業直接支払交付金実施要領(領)、農と環境を守る地域共同活動支援事業交付金交付要綱、福知山市多面的機能支払交付金交付要領、福知山市環境保全型農業支援対策事業実施要領												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	中山間地域等直接支払交付事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	農地・農業用水等の保管理のための地域の共同活動や自然環境の保全に資する農業生産活動を推進することにより農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図る。												
対象者	多面的機能支払交付事業活動組織				対象者数	54		単位あたりコスト	3,197.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	対象事業実施活動組織、㈱/パソコ京都支店												

事業概要 (簡潔書き)	農地の多面的機能を支える共同活動や農地・水路・農道等の質的向上を図る共同活動の取組と環境保全効果の高い営農活動の取組を支援する。												
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容									
	賃金	638	臨時職員賃金									
	委託料	1,595	システム改修業務									
	負担金補助及び交付金	160,764	多面的機能支払交付金									
	その他事務経費	847	旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料									

III 予算執行状況

区分		H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	181,065	171,615	164,943	予算編成時記入			
	② 補正予算	△ 12,186	△ 6,506	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
小計(①~③)		168,879	165,109	164,943				
予算財源内訳	① 一般財源	42,743	43,050	41,536				
	② 国支出金	0	0	0				
	③ 府支出金	126,136	122,059	123,407				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	△ 361	△ 25	0				
	② 配当予算	168,518	165,084	0				
	③ 執行額	167,156	163,844	0				
	④ 執行率	99.2%	99.2%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.21/0.35	1.00 / 0.32	1.00 / 0.32	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	10,555	8,800	8,800	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		177,711	172,644	8,800				

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	多面的機能支払交付事業補助金	種類	農林業費府補助金	実績金額	121,748	決算付属資料	28	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29		H30		R1		R2		最終目標
	共同活動の取組面積	ha	2011 / 2100	2012 / 2100	1966 / 2100	/	/	2100			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29		H30		R1		R2		最終目標
	活動組織数	組織	49 / 50	51 / 50	52 / 52	/	/	51			
	単位あたりコスト		3476.57	3277.57	3150.84	/	/				
	単位あたりコスト					/	/				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	非農業者を含む地域活動組織が、農業資源の保全活動や農村環境の向上活動を行うことにより、農業振興の推進と人材育成に寄与する。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	交付金交付対象面積が大きいため、要領に定められた現地確認を行うためにはある程度の人と時間が必要になるが、地図情報システムの活用等により時間短縮、省力化に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	地域における施設等の保安全管理及び共同活動を行うことにより、将来にわたり農地、水路、農道などを地域で守っていくための地域づくりに有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農業の有する多面的機能の維持・発揮を図るための事業であり、近年、高齢化等による耕作放棄地の増加が懸念されるなか、有効的な対策である。		
これまでの課題及び今後の方向性	過疎化、高齢化などによる耕作放棄地や遊休農地などの増加が懸念され、その影響が心配されるが、今後も新規取組地域を増やす等により、取組面積の拡大を目指す。 令和元年度から新規対策がスタートし、7組織が新たに取り組みを開始したことにより前期対策より1組織増加の52組織が多面的事業に取り組むこととなったが、協定農用地面積は約50ha減少したため、耕作放棄地や遊休農地の発生防止のためには新規取組組織への呼びかけ等による協定農用地面積の増加を促進していく必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	農業振興計画策定事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林振興課				所属長	中島 美香						
会計情報	事業コード	210579	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	172	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	農業振興地域整備計画							
根拠法令等	農業振興地域の整備に関する法律												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	農家の高齢化や有害鳥獣の被害等により不作付農地が拡大しつつある中、「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき、本市の農地利用の方向性を示す「福知山市農業振興地域整備計画」を定め、優良な農地の確保・保全及び計画的な農地利用及び農業施策の実施を目指すとともに、農村・農地を守るための人材確保や所得向上を図るため、今後の農業・農業振興に関する指針となるマスタープランを策定する。												
対象者	市民(世帯数)	対象者数	36,382	単位あたりコスト	0.2								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	株式会社バスコ京都支店												
事業概要 (簡潔書き)	農業振興地域整備計画の定期的な見直し及び農用地区域の開発防止を図るための指導等を行う。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	賃金	251	臨時職員賃金										
	役務費	68	郵送料										
	委託料	2,961	農業振興地域管理システム更新業務・保守業務										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	818	7,498	527	予算編成時記入	
	② 補正予算	0	0	0		
	③ 繰越予算	0	0	0		
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0	0		
小計(①~③)	818	7,498	527			
予算財源内訳	① 一般財源	818	7,498	527		
	② 国支出金	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0		
	④ 地方債	0	0	0		
	⑤ その他特財	0	0	0		
決算情報	① 流充用額	△ 818	0	0	0	
	② 配当予算	0	7,498	0	0	
	③ 執行額	0	3,280	0	0	
	④ 執行率		43.7%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.1/0	0.30 / 0.00	0.30 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	800	2,400	2,400	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	800	5,680	2,400			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	審議会等開催数	回	0 / 1	1 / 1	0 / 1	/	1
農用地内の遊休農地割合	%	0 / 0	0.34 / 0	2 / 0	/	0	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	審議会等出席委員	人	-	14 / 18	-	/	18
	単位あたりコスト			210.89			
	計画変更(一般管理)	件	0	2 / 3	1 / 3	/	3
単位あたりコスト			-	1476.20	3280.00		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・農林業全般にわたる計画に関する事項、その他重要事項の調査及び審議を行う機関として市が取り組む必要がある。 ・農業振興地域整備に関する法律に基づく業務として行政が行う必要がある事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・必要最低限の会議運営費のみで実施している。 ・地図は平成24年度よりデジタル化しており、維持管理経費は以前より削減されている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会での意見などを参考にしして各種施策へ反映するという手段は有効的である。 ・各種農業振興事業の基本方針となる計画であり、有効性は高い。 ・すべての農地の振興を図ることは困難であるため、振興を図るべき農地を線引きすることは有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和元年度において、農業振興地域整備計画案をまとめ、守るべき農地を明確にした。次年度以降、本市の農業振興の指針として活用する。		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会の定期開催の必要性について再検討する必要がある。 ・補助整備等公的資源が投入されている農業の振興を図るべき農振農用地であっても、山間部においては農地の保全、有効利用が難しくなっている。今後は社会情勢の変化等を鑑み、活用を推進する必要がある。 令和元年度「農村計画対策事業」「農業振興地域整備促進事業」を統合		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	畜産関連事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	小西 晴之					
会計情報	事業コード	210235	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	04 畜産業費	会計	01 一般会計	決算付属資料	172	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名 担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める										
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	畜産振興推進事業実施要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

乳牛、肉牛(繁殖)、肉牛(肥育)、鹿、馬、めん羊、山羊、豚、いのしし、採卵鶏、肉用鶏、自家用家きん、飼育者の延べ数

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	家畜伝染病等の発生を防ぐため、畜産農家の訪問指導等により衛生対策の徹底を図る。								
対象者	畜産農家・飼育者	対象者数	102	単位あたりコスト	17.7				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡潔書き)	中丹家畜保健衛生所と共に畜産農家の巡回指導等を実施した。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	14	出張旅費						
	負担金補助及び交付金	30	公益社団法人京都府畜産振興協会会費						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	114	133		133		予算編成時記入		
	② 補正予算	0	0		0				
	③ 繰越予算	0	0		0				
	前年度繰越	0	0		0				
	次年度繰越	0	0		0				
小計(①~③)	114	133		133					
予算財源内訳	① 一般財源	68	78		83				
	② 国支出金	0	0		0				
	③ 府支出金	46	55		50				
	④ 地方債	0	0		0				
	⑤ その他特財	0	0		0				
決算情報	① 流充用額	107	0		0		0		
	② 配当予算	221	133		0		0		
	③ 執行額	216	44		0		0		
	④ 執行率	97.8%	32.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.13/0	0.22	/	0.00	0.22	/	0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	1,040	1,760		1,760		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,256	1,804		1,760					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	京都府家畜伝染病予防事業	種類	農林業費委託金	実績金額	3	決算付属資料	32	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	伝染病等の発生件数	件	0/0	0/0	0/0	/ 0	0		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	巡回指導等の回数	回	25/30	25/30	36 / 30	/ 30			
	単位あたりコスト		4.88	8.64	/	/			
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	家畜伝染病を発生させないため、この事業は必要不可欠である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	他市町と比較し市の負担は妥当である。負担金や伝染病対策消耗品費等、必要最低限の経費で実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	家畜伝染病予防、高原性鳥インフルエンザ、豚熱対応に有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ、豚熱の発生を防ぐため有効である。		
これまでの課題及び今後の方向性	R2.7現在、京都府内で豚熱に感染した野生イノシシが確認されており、今後も中丹家畜保健衛生所と協力して、畜産農家の衛生対策を継続することが必須である。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	畜産業等調査支援事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課				所属長	小西 晴之						
会計情報	事業コード	210236	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	04 畜産業費	会計	01 一般会計	決算付属資料	172	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	かつては「天田牛」の肥育が盛んだった当地域の畜産業が衰退の一途を辿り、現在殆ど繁殖農家だけになってしまっている現状の中、本市の畜産農家の現状や意向について調査し、課題解決に向けた方策を新たに創造することができるかどうかを検討する。また、このことで「肉のまち、福知山」へのアプローチを図る。												
対象者	畜産農家(牛)	対象者数	14	単位あたりコスト	82.1								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	株式会社 グッドテーブルズ												
事業概要 (簡潔書き)	・天田牛のルーツを辿り、「肉のまち」としての可能性を現状調査を踏まえ実施した。 ・本市の畜産業のありかた、方向性について助言を得るためアドバイザーを設置した。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	委託料	990	肉のまち福知山に係る畜産業調査業務委託料										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,000	1,000	0	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	1,000	1,000	0						
予算財源内訳	① 一般財源	1,000	1,000	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	△ 107	0	0					
	② 配当予算	893	1,000	0					
	③ 執行額	7	990	0					
	④ 執行率	0.8%	99.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.15/0	0.02 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,200	160	0	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,207	1,150	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	畜産振興対策事業	種類	農林業費府補助金	実績金額	90	決算付属資料	28	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		肉のまちへアプローチできる事業の新設	事業		0	0	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	農業者への意向調査	件		16	/	/	
	単位あたりコスト			0.44			
	販売業者への意向調査				4	/	
	単位あたりコスト						

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	「福知山のブランド牛」等を生産し、畜産農家の所得向上につなげることができれば「肉のまち 福知山」としての市の取組につながる施策となる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	市内畜産農家の現状を把握し、今後の方針を決定する上でも当該事業は必要であり、事業経費については適切であると考えます。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	現在、輸入牛と比べ和牛は高値で取引されている。また、「神戸牛」や「近江牛」等の有名ブランドでなくても、地域ブランド牛にも一定の需要がある中、かつて「天田牛」というブランド牛が肥育されていた本市において、これを復活生産することができれば畜産農家の所得向上につなげることができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	畜産農家や流通業者(精肉店)等に聞き取りを行い、また、天田牛の歴史を調べることで可能性を模索した結果、天田牛の系統が途絶えていることと、新たな「天田牛」基準によるブランドを立ち上げたとしても、市内流通業者がそこに魅力を感じておらず生産—販売までのルートが確保できないことから、新たな肉ブランドを立ち上げることは困難である。		
これまでの課題及び今後の方向性	天田牛としてのブランド化の復活は、生産・流通・飲食部門から総合的に判断しても難しいと言える。ただ、本市に天田牛が福知山地方にいたことは明らかであり、そのことを肉のまち観光のコンテンツとして使用することは有効であると考えます。また、今後も既存の畜産振興への支援が引き続き必要であるが、本事業については令和元年度をもって終了する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	畜産経営安定化支援事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課				所属長	小西 晴之						
会計情報	事業コード	210253	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	04 畜産業費	会計	01 一般会計	決算付属資料	172	頁
施策体系	施策コード	060102		施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める								
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名						
根拠法令等	家畜人工授精助成事業補助金交付要綱、家畜伝染病予防推進事業補助金交付要領、優良牝牛導入促進事業補助金交付要領												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	畜産農家の経営安定を目指すため、人工授精、伝染病予防、優良牝牛導入に係る経費の一部を助成する。								
対象者	農業協同組合	対象者数	2		単位あたりコスト	1,394.6			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	京都農業協同組合、京都丹の国農業協同組合								
事業概要 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜人工授精助成事業 畜産農家の家畜改良、増頭の意欲向上及び経営安定化を図った。 ・家畜伝染病予防推進事業 家畜の健全な育成を図るため、家畜伝染病の予防を推進し畜産振興を図った。 ・優良牝牛導入促進事業 認定優良牝牛の導入を推進することにより、優良牛の生産を図り、農家の経営安定につなげた。 								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	1,029	家畜人工授精助成事業・家畜伝染病予防推進事業・優良牝牛導入促進事業補助金						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,319	1,098		1,068		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①～③)	1,319	1,098		1,068							
予算財源内訳	① 一般財源	1,319	1,098		1,068						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	0	0		0						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	0	0		0						
決算情報	① 流充用額	0	0		0						
	② 配当予算	1,319	1,098		0						
	③ 執行額	1,061	1,029		0						
	④ 執行率	80.4%	93.7%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.14/0	0.22	/	0.00	0.22	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,120	1,760		1,760		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,181	2,789		1,760							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁			
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁			
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁			

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	牛の頭数	頭	382/400	335/400	341 / 400	/ 400	400		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	実施頭数(人工授精+伝染病予防)	頭	362/400	595	425 / 400	/ 400	400		
	単位あたりコスト		2.80	1.78	2.42				
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	畜産農家の経営改善に必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	市の負担は最小限であり、妥当である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	家畜改良、畜産農家意欲向上には、有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	優良な子牛生産に有効な施策であり、人工授精・伝染病予防・優良牝牛導入について、畜産農家の経営安定を目指すための支援を行うことができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	畜産農家の経営安定のため引き続き支援が必要である。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	家畜市場運営事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	小西 晴之					
会計情報	事業コード	210606	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	04 畜産業費	会計	01 一般会計	決算付属資料	172・174	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	昭和50年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市営家畜市場条例、福知山市営家畜市場規則、福知山市営家畜市場の書類等の様式に関する規則、福知山市営家畜市場飼料販売規定条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山市営家畜市場を、仔牛・成牛の購買の場とし畜産振興に資する。												
対象者	畜産農家(牛)	対象者数	14	単位あたりコスト	257.8								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (簡潔書き)	施設維持管理を適切に行い、全農京都の使用による家畜市場の開催(年5回)に寄与した												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	需用費	529	上下水道料、電気代など										
	役務費	140	通信料										
	委託料	140	警備業務										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,189	1,297	1,443	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,189	1,297	1,443						
予算財源内訳	① 一般財源	0	86	232					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	1,189	1,211	1,211					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	1,189	1,297	0					
	③ 執行額	837	809	0					
	④ 執行率	75.9%	62.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.26/0	0.35 / 0.00	0.35 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,080	2,800	2,800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,917	3,609	2,800						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	家畜市場使用料	種類	農林使用料	実績金額	1,001	決算付属資料	10	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		市内農家市場取引実績(年間)	頭			124 / 150	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	中丹家畜市場取引実績(年間)	頭	549/590	553 / 590	459 / 590	/	
	単位あたりコスト		-	-	1.76	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	京都府唯一の家畜市場であり、年間約500頭の取引があり、繁殖農家・肥育農家両農家にとって必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	年間約1,000千円以上の使用料収入が見込め、支出バランスから効率的といえる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	成果目標と活動実績が同じ指標であったため、令和元年度分から成果指標を、市内農家との取引実績に変更した
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	中丹家畜市場の開場は、仔牛・成牛の購買の場とし福知山の畜産振興に有効である。		
これまでの課題及び今後の方向性	市営家畜市場は平成17年以降休場状態になっているため、今後、施設のあり方について検討が必要である。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	林業関係事務事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課				所属長	小西 晴之						
会計情報	事業コード	210124	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	01 林業総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	174・176	頁
施策体系	施策コード	060102		施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める								
計画期間	開始年度	平成30年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	-					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	総会等の職員旅費及び林業を振興するにあたっての事務経費を当事業で支出する。													
対象者	-											対象者数	-	単位あたりコスト
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()													
委託先・実施主体等	-													
事業概要 (簡潔書き)	工事実施に必要な需用費などの執行 関係団体との調整に要する旅費や、事務事業を円滑に行うための需用費、役務費の執行 各関係団体への負担金や、旧慣使用权に伴う補償料													
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容										
	旅費	216		林業振興に係る職員旅費										
	役務費、需用費	375		郵送料、消耗品購入費用等										
	使用料及び賃借料、備品購入費	239		森林情報システム用パソコン及びプリンター購入費用等										
	負担金補助及び交付金、公課費	419		各種団体年会費、公用車重量税										
補償、補填及び賠償金	273		旧慣使用权の一部廃止に伴う保証料											

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	579	1,607	3,790	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	579	1,607	3,790						
予算財源内訳	① 一般財源	541	477	2,660					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	38	1,130	1,130					
決算情報	① 流充用額	△ 159	0	0					
	② 配当予算	420	1,607	0					
	③ 執行額	420	1,521	0					
	④ 執行率	100.0%	94.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.02/0.04	0.07 / 0.00	0.07 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	260	560	560	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	680	2,081	560						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	土地貸付収入(旧慣関係)	種類	財産貸付収入	実績金額	546	決算付属資料	32	頁
	特財名称	電柱類設置貸付収入(山林関係)	種類	財産貸付収入	実績金額	589	決算付属資料	34	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	林業振興を円滑に進めるにあたり必要な事務経費である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	交通費等のコスト比較を行ったうえ、また物品購入の際は精査したうえで購入しており、支出を最小限にとどめている
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	成果指標の設定は困難
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>「定性的評価」 総会等の職員旅費及び林業を振興するにあたっての事務経費として適正に支出した</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	林業振興を円滑に進めるために必要な事務経費であるため、今後も継続する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	森林経営管理事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課				所属長	小西 晴之						
会計情報	事業コード	210104	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	森林経営管理法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報			
事業目的 (あるべき姿)	「新たな森林経営管理制度」により、手入れされていない市域内の森林の適正な経営管理を促進する。		
対象者	意向調査対象者(観音寺地区)	対象者数	86
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()		
委託先・実施主体等	福知山地方森林組合		
事業概要 (簡潔書き)	・新たな森林管理制度における意向調査を実施した。 ・森林経営管理意向調査実施計画意見交換会を実施した。		

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容
	賃金	1,279	臨時職員賃金
	委託料	825	意向調査実施業務委託
	役務費	76	郵送料(意向調査票送付)
	旅費	41	事業に係る職員研修旅費等
	積立金	19,580	森林環境譲与税基金積立

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	12,492		45,406		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	1,280		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①~③)	0	13,772		45,406							
予算財源内訳	① 一般財源	0	13,772		35,059						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	0	0		0						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	0	0		10,347						
決算情報	① 流充用額	0	8,385		0						
	② 配当予算	0	22,157		0						
	③ 執行額	0	21,800		0						
	④ 執行率		98.4%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0/0	0.60	/	0.00	0.60	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	0	4,800		4,800		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	26,600		4,800							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	森林整備面積(市全体)	ha	0	0	(集計中) / 565	/ 587	587
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	森林経営管理権設定地区	箇所	0	0	0 / 1	/ 1	31
	単位あたりコスト		0.00	0.00			
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	温室効果ガス排出削減目標の達成や、近年多発する大規模災害等の防災面において、森林整備が喫緊の課題とされており必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	財源として、森林環境譲与税が国から譲与され充当し事業を実施している。事業内容においては、見積徴収や国の単価参考資料と比較する等してコスト削減を実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	森林経営管理権を設定することで、手入れされていない森林を、市又は林業事業者が管理することになることから、市全体の森林整備面積の増加に寄与すると考えられる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和元年度に関しては、目標であった森林経営管理権の設定まで到達はしなかったものの、初年度のため今後の本制度の長期計画の設定に向けた会議の実施等を行うことが出来た。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和2年度においては、国の示す「概ね15年間で市域内に存する対象森林について意向調査を実施する」ことを目標に、本事業の長期計画の策定を行う。 また、令和元年度に実施した観音寺地区の森林経営管理集積計画の作成及び森林経営管理権の設定に加え、2地区目の意向調査実施を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	<ul style="list-style-type: none"> 概ね15年で意向調査を実施し、順次事業目的に沿った森林経営が出来るよう計画的に事業を進められたい。 森林経営管理法に基づく法定事業であり、対象森林を15年を目標に行う必要があり、非常に難度の高い事業であると感じた。
--------	--

事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	林地保全事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	小西 晴之					
会計情報	事業コード	210120	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
施策体系	施策コード	040102	施策名	治山・治水対策を強化する									
計画期間	開始年度	-		終了予定年度	令和元年度		関連計画名						
根拠法令等	福知山市林地保全事業補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	台風・豪雨により被災した人家裏林地の崩壊箇所の内、国・府の補助採択を満たさない規模のもので、民地等に直接被害を及ぼしている林地について、関係住民の安心と安全な生活を守るため、市単独事業により地元自治会の復旧対策工事を支援する。								
対象者	被災自治会	対象者数	19	単位あたりコスト	195.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	林地崩壊のあった自治会								
事業概要 (箇条書き)	平成30年7月豪雨災害により崩壊した、個人住宅等に隣接する林地で、人命・財産等に直接被害を及ぼす恐れのある箇所について、再発防止工事を直接実施した自治会に対し、その工事費の1/2を支援した。(補助上限額 1,000千円) 19地区中5地区(繰越し分)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	3,705	人家等の裏山における土砂流出防止等の工事に対する補助金交付						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0	0	0	予算編成時記入				
	② 補正予算	20,000	0	0					
	③ 繰越予算	9,266	5,000	0					
	前年度繰越	14,266	5,000	0					
	次年度繰越	△ 5,000	0	0					
小計(①~③)	29,266	5,000	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	29,266	5,000	0			0		
	② 国支出金	0	0	0			0		
	③ 府支出金	0	0	0			0		
	④ 地方債	0	0	0			0		
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	29,266	5,000	0	0				
	③ 執行額	16,425	3,705	0	0				
	④ 執行率	56.1%	74.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.35/0	/	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,800	0	0	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	19,225	3,705	0	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	補助金交付自治会	地区	1 / 10	14/19(内5件繰越)	5 / 5	/	
		単位あたりコスト	734.00	912.50	740.94	/	
		単位あたりコスト	0.00	0.00	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	平成30年7月豪雨により発生した人家裏林地崩壊箇所の復旧工事でありニーズは高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	国・府の補助事業の対象とならない復旧工事で、自治会が1/2負担しており妥当な事業である
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	災害復旧のため成果指標の設定は困難であるため、定性的評価とする。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>「定性的評価」 住民の安心・安全な生活を守るため、自治会との連携により事業を実施した。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>近年台風や豪雨等による林地被害が多く発生しており、1/2の負担があるため自治会の負担が大きくなっている。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	森林整備地域活動支援推進事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課				所属長	小西 晴之						
会計情報	事業コード	210131	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	意欲的林業者グループ活動支援事業補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	林業の健全な発展を目指し、望ましい林業構造の確立を図るものである。												
対象者	林業者グループ	対象者数	5	単位あたりコスト	202.1								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (簡潔書き)	・林業の健全な発展を目指し、望ましい林業構造の確立を図るため林業者等で構成し、意欲的に活動するグループに対し補助を行った。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	291	意欲的に活動する林業グループに対する補助										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	900	500	400	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	900	500	400						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	900	500	400					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	△ 200	0	0				
	② 配当予算	900	300	0	0				
	③ 執行額	214	291	0	0				
	④ 執行率	23.8%	96.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.06/0	0.09 / 0.00	0.09 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	480	720	720	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	694	1,011	720						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	森林整備地域活動支援推進事業(豊かな森を育てる府民税)	種類	農林業費府補助金	実績金額	291	決算付属資料	28	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	森林整備面積(市全体)	ha	268 / 521	243 / 544	(集計中) / 565	/ 587	587
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	森林経営計画認定	地区	1 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 20	30
		単位あたりコスト	208.00	107.00	145.35	/	
		単位あたりコスト	/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	林業の振興のために意欲的な林業者グループを支援することは必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	補助対象者の事業内容を十分に精査し、コストも考慮している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	実施報告書の内容を確認し、その上で補助を行っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	意欲的な林業者グループに補助を行うことで、林業振興を行ううえでの地元のリーダー的存在の育成につなげ、さらなる林業振興の推進を図っている。		
これまでの課題及び今後の方向性	林業振興は円滑に、より進めていくために必要な事業であるため、引き続き補助を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	森林適正整備推進事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課				所属長	小西 晴之						
会計情報	事業コード	210133	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
施策体系	施策コード	060102		施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める								
計画期間	開始年度	平成14年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	-					
根拠法令等	福知山市森林適正整備推進事業補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	奥地条件不利地におけるスギ・ヒノキの人工林の健全な成長を促進させるため、緊急的な間伐を支援する。								
対象者	福知山地方森林組合	対象者数	5,916		単位あたりコスト	0.4			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山地方森林組合								
事業概要 (簡潔書き)	・条件不利地での高齢級間伐の事業費に対し支援した。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	1,945	条件不利地における間伐に対する補助金の交付						

III 予算執行状況												
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0	2,244		0		予算編成時記入					
	② 補正予算	0	0		0							
	③ 繰越予算	0	0		0							
	前年度繰越	0	0		0							
	次年度繰越	0	0		0							
小計(①~③)	0	2,244		0								
予算財源内訳	① 一般財源	0	375		0							
	② 国支出金	0	0		0							
	③ 府支出金	0	1,869		0							
	④ 地方債	0	0		0							
	⑤ その他特財	0	0		0							
決算情報	① 流充用額	0	0		0		0					
	② 配当予算	0	2,244		0		0					
	③ 執行額	0	1,945		0		0					
	④ 執行率		86.7%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.07	/	0.00	0.07	/	0.00	0.00	/	0.00		
	② 概算人件費			560			560			0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	2,505		560								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	緑の公共事業(森林適正整備推進事業)		種類	農林業費府補助金		実績金額	1,620		決算付属資料	28	頁
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	森林整備面積(市全体)	ha			(集計中) / 565	/ 587	587		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	森林整備面積	ha			13 / 40	/ 150	150		
	単位あたりコスト				149.64	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・森林の持つ多面的機能を発揮させるには、森林整備が必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	京都府が定めた標準単価を採用しており、コストは妥当である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標については、H25実績の1.5倍としており、十分に理にかなったものとは言い難い。 活動実績は見込みに届いていない。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	京都府の予算配分により12.51haの事業実施となった。市が実施する事業のみで成果実績の達成は困難であるが、今後も京都府と調整して必要な箇所の整備を行い、市全体の森林整備面積を増加させる必要がある。		
これまでの課題及び今後の方向性	森林整備は今後も重要な事業となるが、本市の実施事業のみで成果実績の達成が困難であるため、成果実績目標の検証が必要である。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	小西 晴之					
会計情報	事業コード	210153	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
施策体系	施策コード	060103		施策名	有害鳥獣対策を強化する								
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市鳥獣被害防止計画							
根拠法令等	鳥獣による農林水産業等にかかる被害の防止のための特別措置に関する法律												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (中丹3市共同事業)												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	有害鳥獣捕獲事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	有害鳥獣により増加する農作物被害を軽減させるため、共通の課題を抱える中丹3市(福知山市、綾部市、舞鶴市)の共同利用施設として設置した「中丹地域有害鳥獣処理施設」の適正な管理運営を行うことにより駆除隊員の埋設労力負担を軽減し計画的な捕獲を推進し、農作物被害の軽減を図る。								
対象者	福知山市有害鳥獣駆除隊員	対象者数	209	単位あたりコスト	216.9				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	PSSユニオン								
事業概要 (簡潔書き)	中丹有害鳥獣処理施設の管理運営と必要備品の購入、設備修繕を行った。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	17,829	施設維持修繕料、燃料費 ほか						
	役務費	45	建物総合損害共済共済基金分担金						
	委託料	22,385	施設運転・維持管理業務ほか業務委託料						
	使用料及び賃借料	116	土地借上料、ネット通信料						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	44,162	46,338		58,094		予算編成時記入		
	② 補正予算	0	0		0				
	③ 繰越予算	0	0		0				
	前年度繰越	0	0		0				
	次年度繰越	0	0		0				
小計(①~③)	44,162	46,338		58,094					
予算財源内訳	① 一般財源	25,712	24,673		23,427				
	② 国支出金	0	0		0				
	③ 府支出金	0	0		0				
	④ 地方債	0	0		8,100				
	⑤ その他特財	18,450	21,665		26,567				
決算情報	① 流充用額	△ 713	△ 684		0		0		
	② 配当予算	43,449	45,655		0		0		
	③ 執行額	39,653	40,375		0		0		
	④ 執行率	91.3%	88.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.65/0	0.62	/	0.00	0.62	/	0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	5,200	4,960		4,960		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	44,853	45,335		4,960					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	きょうと地域連携交付金	種類	農林業費府補助金	実績金額	6,947	決算付属資料	28	頁
	特財名称	中丹地域有害鳥獣処理施設管理運営他市負担金	種類	雑入	実績金額	20,746	決算付属資料	48	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		有害鳥獣による農作物年間被害額	千円	34,806 / 30,000	33,237 / 30,000	36,921 / 30,000	/	31,242	27,251
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	年間処理頭数	頭	7,305 / 4,205	7,525	8,082 / 4,205	/	4,205	4,205	
	単位あたりコスト		6.10	5.27	5.00				
	単位あたりコスト		/	/	/	/	/		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	施設の処理頭数は年々増加している。焼却処分をしない場合は、埋設するしか方法がなく、環境への負荷や隊員の埋設労力軽減等効率面から考えても、当該施設の必要性は高いといえる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	出来るだけコストを抑えるべく、電力、灯油の節約に努め、価格を抑える努力をしている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	成果目標については、当事業が直接的にかかわるものではなく、他の関連事業の実施と併せて期待される目標としている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	計画処理頭数4,205 頭に対し、元年度実績は、約2倍となり、計画を大きく上回る結果となった。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後、施設維持面からは、大規模な修繕が前倒しになることを念頭に入れ、舞鶴、綾部、福知山の中丹地域3市が共同で事業を実施という側面から、互いに課題や情報共有を行いながら継続して実施する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	林道・作業道維持管理等事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課				所属長	小西 晴之						
会計情報	事業コード	210162	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	森林管理、森林施業の基盤である作業道が大雨等で被災した場合、国等の補助事業である災害復旧事業の対象とならないため、地元の申請に基づき、市が所有する建設機械を派遣して復旧作業を行い機能を回復することにより、森林整備の早期再開を図る。 また、地元の要望に基づき同様の内容で作業道を開設する。												
対象者	林道・作業道管理者	対象者数	384路線	単位あたりコスト	25.0								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	福知山地方森林組合												
事業概要 (簡潔書き)	災害等で被災した作業道の復旧を行った。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	役員費		7 ごみ廃棄手数料										
	委託料	9,603	林道・作業道維持管理業務										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	8,337	0	0	予算編成時記入				
	② 補正予算	23,320	0	0					
	③ 繰越予算	△ 10,348	10,348	0					
	前年度繰越	0	10,348	0					
	次年度繰越	△ 10,348	0	0					
小計(①~③)	21,309	10,348	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	19,487	9,314	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	1,822	1,034	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	21,309	10,348	0	0				
	③ 執行額	21,308	9,610	0	0				
	④ 執行率	100.0%	92.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.33/0	/	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,640	0	0	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	23,948	9,610	0	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	林道・作業道維持管理等事業	種類	林業費分担金	実績金額	756	決算付属資料	8	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	木材搬出量	m3	7500/8200	3300 / 8500	3430 / 9300	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	作業道維持路線	路線	35/35	39/39	13 / 13	/	
	単位あたりコスト		364.63	546.36	739.25	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市民のニーズを的確に捉えた事業であり、成果実績達成のために必要な事業である、
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	適正な歩掛により単価を出し、単価契約を締結している。復旧の工法については、職員による確認を行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	成果実績は毎年確認できている。森林所有者等の一部負担はあるものの、国庫補助とならない作業道等の復旧を市独自で行うことで、森林への関心を高める有効な事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	一部負担を取りながら作業道等の復旧や開設等を行い、基盤整備を推進している。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和元年度「安心・安全の森づくり事業」に統合した。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	地域間交流促進ネットワーク事業(林道整備)												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	小西 晴之					
会計情報	事業コード	210165	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	地域再生計画(道路整備)							
根拠法令等	地域再生法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	地域再生計画に基づき、通常の林道機能に加え次の視点を視野にいれて事業を実施する。 大江山線 観光道路としての位置づけを含む。 額田大油子線 国道9号線の迂回路として、また小さな拠点へのアクセス道路としての位置づけを含む。												
対象者	森林所有者(額田大油子線、大江山線)	対象者数	195	単位あたりコスト	226.2								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	株式会社衣川組ほか												
事業概要 (簡潔書き)	地域再生計画のうち、予算配分のあった額田大油子線・大江山線の法面改良工事を実施した。(線越工事含む) 設計協議及び資材調達に時間を要した大江山線は線越をした。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	工事請負費(線越分)	22,155	林道額田大油子線、林道大江山線法面改良工事										
	工事請負費(現年分)	17,226	林道額田大油子線、林道大江山線法面改良工事										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	10,000	2,400	10,000	予算編成時記入				
	② 補正予算	14,880	22,720	0					
	③ 線越予算	△ 22,500	14,506	7,994					
	前年度線越	0	22,500	7,994					
	次年度線越	△ 22,500	△ 7,994	0					
小計(①~③)	2,380	39,626	17,994						
予算財源内訳	① 一般財源	△ 174	1,540	534					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	1,454	20,786	9,460					
	④ 地方債	1,100	17,300	8,000					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	396	100	0	0				
	② 配当予算	2,776	39,726	0	0				
	③ 執行額	2,776	39,381	0	0				
	④ 執行率	100.0%	99.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.18/0	0.59 / 0.00	0.59 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,440	4,720	4,720	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,216	44,101	4,720						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域間交流促進ネットワーク事業(地方創生道整備交付金)(線越分)	種類	農林業費府補助金	実績金額	11,586	決算付属資料	28	頁
	特財名称	地域間交流促進ネットワーク事業(地方創生道整備交付金)(現年分)	種類	農林業費府補助金	実績金額	6,600	決算付属資料	28	頁
	特財名称	地域間交流促進ネットワーク事業(公共事業等)	種類	農林業債	実績金額	7,200	決算付属資料	52	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	木材搬出量	m3	7500/7700	3300/8500	3430 / 9300	/	10000
国定公園への来訪者数	人	341000 / 257000	131000/257000	123000 / 257000	/	257000	257000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	事業実施延長(大江山線)	m	0/150	0/33	27 / 48	/	合計延長300m
	単位あたりコスト		-	0.00	1458.57		
	事業実施延長(額田大油子線)	m	80/90	0/59	79 / 79	/	合計延長620m
単位あたりコスト		228.63	0.00	498.50			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	観光道路及び災害時の迂回路として市が管理する林道整備を行う事業であり、市道とあわせてネットワークを構築するために必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	市管理林道であるため、市が実施する。適正な歩掛により精算のうえ、入札により業者を選定し、法面改良工事を実施した。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	成果実績は毎年度把握している。地域再生計画に基づき実施している事業である
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	市道とともにネットワークを構築する事業であり、この事業を実施することで森林整備につながる林道改良により間伐材搬出の促進や大江山への観光客の誘客に寄与している。		
これまでの課題及び今後の方向性	地域再生計画として認定されている事業計画に基づき、継続して実施する必要がある。地域再生計画はR2年度が最終年度であるが、未施工箇所もあるため、関係機関と調整をし計画変更を検討する必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	森林組合間伐補助事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課				所属長	小西 晴之						
会計情報	事業コード	210170	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名 担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める										
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	森林組合間伐補助事業補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	優良材生産や健全な森林育成の基本である間伐施策を推進するため、主たる事業主体である森林組合に支援することで、市民(森林所有者)の負担軽減を図り、森林整備を促進する。 また、間伐した木材の搬出に対して支援することで一層の木材利用の推進を図る。												
対象者	福知山地方森林組合	対象者数	5,916	単位あたりコスト	1.9								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	福知山地方森林組合												
事業概要 (簡潔書き)	・森林環境保全直接支援事業(搬出間伐) 標準経費の20%補助 ・環境林整備事業(切捨間伐:条件不利地など) 標準経費の20%補助 ・間伐材出材奨励補助 2,400円/m ³ 補助												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	10,570	福知山地方森林組合に対する補助金交付										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	20,787	19,041	17,541	予算編成時記入	
	② 補正予算	0	△ 4,041	0		
	③ 繰越予算	0	0	0		
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0	0		
小計(①~③)	20,787	15,000	17,541			
予算財源内訳	① 一般財源	16,827	12,450	12,573		
	② 国支出金	0	0	0		
	③ 府支出金	3,960	2,550	4,968		
	④ 地方債	0	0	0		
	⑤ その他特財	0	0	0		
決算情報	① 流充用額	0	0	0		
	② 配当予算	20,787	15,000	0		
	③ 執行額	13,625	10,570	0		
	④ 執行率	65.5%	70.5%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.13/0	0.10 / 0.00	0.10 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	1,040	800	800	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	14,665	11,370	800			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	森林整備面積(市全体)	ha	268/ 521	243/ 544	(集計中) / 565	/ 587	587
		0	/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	森林整備面積(間伐)	ha	126.92/250	162.84/ 180	95.01 / 130	/ 250	250
	単位あたりコスト		116.43	83.67	111.26		
	間伐材搬出	m ³	2588/3900	1741/3300	1733 / 3680	/ 4000	4000
	単位あたりコスト		5.71	7.83	6.10		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	森林のもつ多面的機能を発揮させるには、森林整備が必要である。また、国レベルでも防災の面から森林整備は喫緊の課題とされており、森林整備の促進は必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	京都府が定めた標準単価を採用しており、コストは妥当である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	成果目標については、平成25年実績の1.5倍としており、十分に理にかなったものとは言い難い。活動実績は見込に届いていない。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和元年度間伐面積については、概ね計画面積の間伐を行っているが、全体的に木材が細かったことにより搬出数量は計画数量より減少した。		
これまでの課題及び今後の方向性	森林整備は今後も重要な事業であり、国・府支援のもと事業を推進していく必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	林道橋りょう長寿命化事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	小西 晴之					
会計情報	事業コード	210171	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	176・178	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	インフラ長寿命化計画(行動計画)							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	林道が開設から相当な期間が経過しており、老朽化した橋りょうが増加することが懸念される。林野庁が策定したインフラ長寿命化計画(行動計画)に基づき、将来にわたって林道施設が求められる機能を適切に発揮し続けるための長寿命化対策の充実を図る。												
対象者	各路線地域住民					対象者数	3,914		単位あたりコスト	0.9			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	牧草総合設計株式会社福知山支店												
事業概要 (簡潔書き)	林道橋りょう全66橋のうち9橋の点検診断を実施し、全ての林道橋梁の点検が完了した。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容									
	委託料(繰越分)	399		林道橋りょう点検業務									
	委託料(現年分)	1,927		林道橋りょう点検業務									

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	1,566	0	予算編成時記入				
	② 補正予算	12,590	0	0					
	③ 繰越予算	△ 650	650	0					
	前年度繰越	0	650	0					
	次年度繰越	△ 650	0	0					
小計(①~③)	11,940	2,216	0						
予算財源内訳	① 一般財源	5,273	1,176	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	6,667	1,040	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	182	584	0	0				
	② 配当予算	12,122	2,800	0	0				
	③ 執行額	12,122	2,327	0	0				
	④ 執行率	100.0%	83.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.27/0	0.17 / 0.00	0.17 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,160	1,360	1,360	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	14,282	3,687	1,360						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	林道橋りょう長寿命化(農山漁村地域整備交付金)(現年分)	種類	農林業費府補助金	実績金額	1,060	決算付属資料	28	頁
	特財名称	林道橋りょう長寿命化(農山漁村地域整備交付金)(繰越分)	種類	農林業費府補助金	実績金額	220	決算付属資料	28	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	点検橋りょう数	橋			57/57	9 / 9	/
個別施設計画策定等	橋				/	/ 66	66
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	点検橋りょう数	橋		57/57	9 / 9	/	66
	単位あたりコスト			212.66	258.50	/	/
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	森林整備や林業経営に不可欠な基盤施設である林道橋りょうの点検診断である
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	適正な歩掛により精査のうえ、入札により業者を選定し、林道橋りょう点検を実施した
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	林野庁が策定したインフラ長寿命化計画(行動計画)に基づき実施しているものであり、有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	林野庁が策定したインフラ長寿命化計画(行動計画)に基づき点検を行い、個別施設計画を策定することで、林道橋りょうの機能を安全かつ適切に発揮し続けるため、長寿命化対策を図る。		
これまでの課題及び今後の方向性	林道の利用度、優先度を整理し、利用が見込めない林道の存続について、地元や関係機関との協議を行い、点検結果により策定する個別施設計画に基づいた修繕計画の策定を進める。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
--------	--

事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	有害鳥獣捕獲事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	小西 晴之					
会計情報	事業コード	210174	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
施策体系	施策コード	060103	施策名	有害鳥獣対策を強化する									
計画期間	開始年度	平成25	終了予定年度	令和2	関連計画名	福知山市鳥獣被害防止計画							
根拠法令等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律、福知山市有害鳥獣捕獲事業デジタル簡易無線機導入補助金交付要領、福知山市有害鳥獣捕獲対策狩猟免許取得支援事業補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	有害鳥獣防除事業、中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本市におけるシカ・イノシシ等の野生鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、「福知山市鳥獣被害防止計画」に基づき、有害鳥獣駆除隊による捕獲を効果的に実施する。												
対象者	福知山市有害鳥獣駆除隊員	対象者数	209	単位あたりコスト	366.0								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	福知山市有害鳥獣駆除隊												

事業概要 (簡潔書き)	・有害鳥獣駆除隊による野生鳥獣の捕獲を実施し、狩猟免許の取得及びデジタル簡易無線機の導入に対して支援を行った。 ・駆除隊員が安心して活動できるよう、ハンター保険等への支援を行った。 ・より効果的な有害鳥獣捕獲に取り組むため、ニホンジカの生息密度推定調査業務を委託した。												
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容	
	賃金	1,732	臨時職員賃金	
報償費	59,113	有害鳥獣捕獲奨励金		
役務費など	1,165	旅費、役務費、需用費、備品購入費、使用料及び賃借料		
委託料	3,056	ニホンジカ生息密度推定調査業務委託料		
負担金補助及び交付金	939	福知山市有害鳥獣駆除隊員賠償責任保険等補助金 ほか		

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	77,518	70,698	88,891	予算編成時記入
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①~③)	77,518	70,698	88,891		
予算財源内訳	① 一般財源	43,397	43,752	54,803	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	34,109	26,934	34,076	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	12	12	12	
決算情報	① 流充用額	△ 685	0	0	
	② 配当予算	76,833	70,698	0	
	③ 執行額	64,953	66,005	0	
	④ 執行率	84.5%	93.4%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.64/0	1.31 / 0.00	1.31 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	5,120	10,480	10,480	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	70,073	76,485	10,480		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業補助金	種類	農林業費府補助金	実績金額	21,200	決算付属資料	28	頁
	特財名称	緑の公共事業	種類	農林業費府補助金	実績金額	8,157	決算付属資料	28	頁
	特財名称	きょうと地域連携交付金	種類	農林業費府補助金	実績金額	1,421	決算付属資料	28	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	有害鳥獣による農作物年間被害額	千円	34,806/30,000	33,237 / 30,000	36,921 / 30,000	/	31,242	27,251
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	年間捕獲頭数	頭	4,576/5,795	4,228/5,795	3,659 / 5,795	/	5,965	5,965
	単位あたりコスト		17.12	15.00	18.04			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	本市における有害鳥獣の駆除活動は、福知山市有害鳥獣駆除隊員に委ねている。駆除の要望は年々増加しているなど市民ニーズが高く、継続が必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	駆除隊員に対する報償費について、項目を細分化し効率的な駆除活動の実施を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	成果目標は、事業の実施により直接的に有効なものである。活動実績は、有害鳥獣の削減に直結する捕獲頭数であり、数値の管理もできている
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	年間捕獲頭数は前年度に比べ、569頭減少しており、有害鳥獣による農作物被害は前年度に比べ増加している。更に農作物被害を縮減するため、引き続き有害鳥獣の捕獲を継続する必要がある。		
これまでの課題及び今後の方向性	有害鳥獣駆除隊員の高齢化等、捕獲しにくい状況が続いているが、課題解決対策に取り組み、今後も引き続き駆除隊による有害鳥獣の捕獲を実施していくことで、農作物被害を 방지農業生産意欲の減少を防ぐため、事業の継続が必要がある		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	有害鳥獣防除事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	小西 晴之					
会計情報	事業コード	210177	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
施策体系	施策コード	060103	施策名	有害鳥獣対策を強化する									
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市鳥獣被害防止計画							
根拠法令等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律・有害鳥獣防除施設設置事業実施要領、有害鳥獣捕獲施設整備事業実施要領												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	有害鳥獣捕獲事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	シカ・イノシシ等の野生鳥獣による農作物等への被害は、農家の営農意欲や農地保全にも大きく影響しており、捕獲対策とあわせて金網柵等および捕獲柵を設置し、農作物被害の軽減を図る。								
対象者	総農家数(2015農林業センサスデータ)	対象者数	3,915	単位あたりコスト	2.7				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山市有害鳥獣対策協議会								
事業概要 (簡潔書き)	・野生鳥獣による被害を防止するため、福知山市有害鳥獣対策協議会が実施する侵入防止柵の新設及び災害復旧事業、大型捕獲柵の設置、二ホンザルの生息状況調査・対策支援事業に対して支援を行った。 ・大丹波地域サル対策広域協議会に所属する関係市町・関係機関との情報共有等を行った。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	971	野生鳥獣被害防止総合対策事業補助金、大丹波地域サル対策広域協議会市町負担金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,790	1,870	4,554					
	② 補正予算	7,949	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	9,739	1,870	4,554		予算編成時記入				
予算財源内訳	① 一般財源	9,739	1,060	4,554					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	810	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	9,739	1,870	0					
	③ 執行額	1,365	971	0					
	④ 執行率	14.0%	51.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.75/0	1.20 / 0.00	1.20 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	6,000	9,600	9,600					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,365	10,571	9,600						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	きょうと地域連携交付金	種類	農林業費府補助金	実績金額	451	決算付属資料	28	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	有害鳥獣による農作物年間被害額	千円	34,806/30,000	33,237/30,000	36,921 / 30,000	/	31,242	27,251	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	有害鳥獣侵入防止柵設置(協議会事業)	km	144/90	49/90	26 / 90	/	27.9	5962.4	
	単位あたりコスト		22.56	27.90	37.35				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	野生鳥獣による農作物等への被害が農家の営農意欲や農地保全に大きな影響を与える中、福知山市有害鳥獣対策協議会が実施する「侵入防止柵」と「大型捕獲柵」の設置は、地元のニーズを的確に捉えている。これらの事業を支援する本事業は、必要性・優先度ともに高い事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	有害鳥獣の被害は続いており、元年度実施の委託調査等からもシカの頭数が増加していることが分かっている。農業被害軽減につながる経費としては適切であると考ええる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	成果目標については、本事業の実施は間接的なものであるが、協議会事業を支援することにより成果の向上を図る。活動実績は協議会事業によるものである。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	有害鳥獣対策として捕獲と防除の両面から実施しており、更なる防除対策の実施が必要な状況である。平成30年7月豪雨により被災した防除施設の災害復旧については、災害復旧工事の進捗状況に合わせて、再整備事業にて実施をしていく。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後も防除対策に対する、国の財政支援の強化を継続して要望する。鳥獣侵入防止柵の設置は、地元施行で実施されているが、高齢化が進む中で地元の労力確保が課題となっている。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	安心・安全の森づくり事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	小西 晴之					
会計情報	事業コード	210199	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	安心・安全の森づくり事業補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	災害の発生により、溪流から流出する土砂を防止する補助を減災、防災を目的に実施する。 また、被災した林道、作業道の復旧を行い、森林整備の早期再開を図る。 京都府施行の治山事業と併せて、治山施設の下流域の水路整備を行うことで、下流域の安全を確保する。												
対象者	林道作業道管理者 (対象数は路線数)	対象者数	384	単位あたりコスト	56.2								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	林道・作業道復旧:福知山地方森林組合、治山流末水路:中小路建設ほか												
事業概要 (簡潔書き)	・豊かな森を育てる府民税市町村交付金を活用し、自治会が実施する山林からの流出土砂を防止する工事に対する補助を行った。 ・被災した林道・作業道の復旧を行った。 ・治山施設の流末水路の整備を行った。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	委託料	5,186	林道・作業道の維持管理業務										
	工事請負費	3,002	治山流末整備事業に係る工事請負費										
	負担金補助及び交付金	660	人家等裏の林地における溪流からの土砂流出及び流木を防ぐ工事に対する補助										
	需用費、役務費、使用料及び賃借料	574	市所有バックホー修繕料及び点検手数料等										
	積立金	7,827	豊かな森を育てる府民税基金積立金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	29,327	38,157	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	△ 3,713	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	0	25,614	38,157						
予算財源内訳	① 一般財源		16,937	29,177					
	② 国支出金		0	0					
	③ 府支出金		8,287	5,274					
	④ 地方債		0	0					
	⑤ その他特財		390	3,706					
決算情報	① 流充用額	0	△ 8,185	0					
	② 配当予算	0	17,429	0					
	③ 執行額	0	17,248	0					
	④ 執行率		99.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0/0	0.54 / 0.00	0.54 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	4,320	4,320	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	21,568	4,320						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	安心・安全の森づくり事業(林道・作業道維持管理等)	種類	農林業費分担金	実績金額	348	決算付属資料	8	頁
	特財名称	安心・安全の森づくり事業(豊かな森を育てる府民税市町村交付金)	種類	農林業費府補助金	実績金額	8,487	決算付属資料	28	頁
	特財名称	林道占用料	種類	農林使用料	実績金額	20	決算付属資料	10	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	木材搬出量	m ³				3430 / 9300	/ 10000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	補助金交付件数	件			1 / 12	/ 8	
	単位あたりコスト				17248.26		
	林道・作業道維持路線		/	/	34 / 41	/ 22	
	単位あたりコスト				507.30		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 被災し、溪流等から流れ出る土砂や流木を防止する工事を一部補助することは、市民の安心、安全を守るために必要である。 木材搬出をするために、必要な林道等の基盤を整備することは必要である。 近年の豪雨等により多くの治山事業が必要で実施されており、その下流域の水路整備はニーズは高い。 水路等であるため、公共で整備する必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<p>補助金は事業費の一部を負担しており妥当であり、事業実施前に補助対象工事の見積、図面を確認している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 復旧の工法については、職員の確認も行っている。 林道・作業道復旧は、適正な歩掛により、単価を出し、単価契約を締結している。 治山事業の実施に地元負担がないことや、治山事業に関連した水路整備であり、地元負担は徴収していない。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 補助金に関しては、災害復旧関連事業であり、成果目標については、設定が困難である。 成果実績は毎年確認できている。森林所有者等の一部負担はあるものの、国庫補助とならない作業道等を復旧を市独自で行うことで、森林への関心を引きとめられる有効な事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>「定性的評価」</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業も災害復旧事業的な事業として捉えており、定性的評価としている。 令和元年度は京都府施工の治山工事に合わせ、流末水路の整備を行うことで更なる災害防止を図っている。 一部負担を取りながら作業道等の復旧を行うなどして基盤整備を推進している。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 今後も京都府の治山事業の実施箇所の現場状況に応じ、流末水路整備等事業実施の必要がある。 私有山林等の間伐促進及び、間伐材を搬出するためにも重要な事業であり、継続して実施する。 令和元年度において、安心・安全の森づくり事業の新設及び本事業に「林道・作業道維持管理等事業」及び「治山流末整備事業」を統合した。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	「スイーツのまち福知山」事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210228	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	スイーツフェスティバル事業補助金交付要領、福知山市スイーツの森づくり支援事業補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	①丹波くりの生産振興とブランド化支援 ②「スイーツのまち」PRIによる観光誘客の増加を図る												
対象者	総農家数(2015農林業センサスデータ)	対象者数	3,915	単位あたりコスト	1.6								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	・栗の新植・改植にかかる補助金の交付 補助率 1ha以上:1/2 1ha未満:1/4 ・スイーツフェスティバル開催 スイーツフェスティバル実行委員会への補助金交付 ・スイーツコンテストの開催 《経過》平成25年度から、本市を「スイーツのまち」としてPRI観光誘客を図るため「スイーツフェスティバル」を開催してきた(観光担当課) ・平成18年度から、「丹波くり」に対し「特用林産物」の一つとして、苗の購入補助や苗の配布等の支援を京都とともに行ってきたが、「丹波くり」の生産量は5年間で1/3に減少した。 ・もともと付加価値の高い「丹波くり」を「スイーツ」と結び付け、「丹波くり」を使ったオリジナルスイーツを開発し、「スイーツのまち」の発信と併せてPRすることで、高値の栗の出荷先を増やし生産拡大の栗生産者の所得向上を図る												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	2,823	スイーツフェスティバル事業補助金及び丹波くり新植・改植に係る補助金										
	報償費	560	スイーツアイデアコンテスト審査員報償及び受賞者の賞賜金										
	需用費	151	スイーツアイデアコンテスト実施に係る事務消耗品費等										
	委託料	115	丹波くり新植・改植補助金に係る木製看板作成										
	役務費、使用料及び賃借料	64	スイーツアイデアコンテストに係る郵送料等										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,538	6,038	6,538	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	△ 1,800	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	3,538	4,238	6,538						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	500	0	0					
	③ 府支出金	3,038	2,200	4,500					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	2,038	2,038					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	3,538	4,238	0					
	③ 執行額	2,423	3,713	0					
	④ 執行率	68.5%	87.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.3/0	0.31 / 0.00	0.31 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,400	2,480	2,480	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,823	6,193	2,480						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	「スイーツのまち福知山」事業(豊かな森を育てる府民税)	種類	農林業費府補助金	実績金額	2,110	決算付属資料	28	頁
	特財名称	地域振興基金繰入金(スイーツのまち)	種類	基金繰入金	実績金額	1,525	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	栗の生産量	t	0	0	24.8 / 42.6	/	47	47
観光入客数	千人	947	927	1000(見込) / 1000	/	1050	1050	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	栗の新植面積	ha	0	1	3.5 / 4	/	4.5	4.5
	単位あたりコスト		0.00	973.09	1060.77			
	スイーツフェスティバル参加者数	人	4800	6000	0 / 0	/	7500	7500
単位あたりコスト		0.21	0.40					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	(スイーツコンテスト) 京ブランドとして府が推奨する「丹波くり」は、すでに付加価値がある農産物であるため、市のブランド産品として売り出せるよう生産量を増やしていくために必要な事業である。 (スイーツフェスティバル) ・スイーツ店が多い本市の特性を生かした取り組みであり、まち歩きにより市内事業者への経済効果も期待される。 ・イベントに絡めたツアー造成がされる等、「スイーツのまち」が市内外問わず定着し始めている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	(スイーツコンテスト) 生産量増加のため、大きく栽培面積を増やそうとする意欲的な農業者に対し、より高い補助率で支援することで、規模拡大の推進を図っている (スイーツフェスティバル) イベントの開催だけでなく他の取り組みを実施することで福知山市の多様なスイーツを効率的にPRできる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	(スイーツコンテスト) JAを通さず自家出荷する農家が増えているため、正確な生産量を把握できにくい状況にある (スイーツフェスティバル) ・イベント等の参加者は年々増加傾向。 ・スイーツをきっかけとした他部署からの協力により学校と農業者の連携が図られている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価			(くり補助金) ・丹波くりの新植に対する補助金に関しては、補助金の周知をHPIより行ったが、周知しきれていなかったことが見受けられたため、周知方法を検討する必要がある。 (スイーツコンテスト) ・令和元年度よりスイーツコンテストの実施を市直営で行った ・スイーツコンテストについては、昨年と比較すると応募数が少なかったが、最優秀作品を観光案内所や産業フェアで販売することが出来、スイーツとともに、丹波くりの振興に寄与できた。 (スイーツフェスティバル) ・メインイベントであるスイーツフェスティバルは台風の影響により中止。 ・スイーツスタンプラリーでは過去最多の参加者があった。また、市公式Instagramと連動した新たな企画を実施し、市内外にスイーツのまちを発信することができた。
これまでの課題及び今後の方向性			(くり補助金) ・丹波くりの新植に対する補助金に関しては、特に年配の方々の農家向けに周知方法を検討し、補助金を活用した丹波くりの新植面積増加を目指す (スイーツコンテスト) ・スイーツコンテストにて受賞したスイーツを市内スイーツ店にて販売してもらうことを促し、スイーツの販売とともに福知山産丹波くりの消費拡大に寄与することを目指す (スイーツフェスティバル) ・事業者間のさらなる連携が課題。意見を出し合うワークショップを開催しているため、その参加者を中心にさらなる連携強化を目指す。

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	林業の担い手支援事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課				所属長	小西 晴之						
会計情報	事業コード	210463	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成6年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	緑の担い手育成事業費補助金交付要綱、福知山市林業労働者新共済事業補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	森林管理、森林整備の主要な事業体(森林組合など)の作業員を安定的に確保・雇用するため、新規就労者に対する助成及び、労働環境改善に対する経費、並びに作業員の退職金掛金の一部を助成する。												
対象者	林業労働者	対象者数	21	単位あたりコスト	142.7								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	森林組合、林業事業体												
事業概要 (簡潔書き)	・森林組合、林業事業体などに対して、新規就労者支援として新規就労者の林業に必要な機械器具等の貸与するための費用の一部を支援した。 ・森林組合、林業事業体などに対して、労働環境改善として健康診断や振動病検診などに要する費用の一部を支援した。 ・林業労働者の退職金助成として、国及び府の制度を活用し支援した。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	2,116	新規就労者支援、労働環境改善に対する補助及び林業労働者の退職金助成										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,407	2,855	2,612	予算編成時記入				
	② 補正予算	△ 1,275	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	2,132	2,855	2,612						
予算財源内訳	① 一般財源	781	1,946	1,716					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	1,351	909	896					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	2,132	2,855	0					
	③ 執行額	2,131	2,116	0					
	④ 執行率	99.9%	74.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.18/0	0.11 / 0.00	0.11 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,440	880	880	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,571	2,996	880						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	林業の担い手支援事業(緑の担い手育成)	種類	農林業費府補助金	実績金額	629	決算付属資料	28	頁
	特財名称	林業の担い手支援事業(林業労働者新共済)	種類	農林業費府補助金	実績金額	149	決算付属資料	28	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	森林整備面積(市全体)	ha		268/ 521	243/ 544	(集計中) / 565	/ 587
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	対象作業員数	人	25 / 41	25/ 41	21 / 39	/ 41	41
	単位あたりコスト		76.56	85.24	100.75		
	新規就労者	人	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2	2
単位あたりコスト		957.00	1065.50	1057.87			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	森林整備を推進するうえで必要な林業の担い手の確保のため、必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	経費の一部を支援しており、コスト等妥当である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	新規就労者に対する助成や労働環境改善に対する経費の助成等を行い、森林整備を推進しているが、市全体の間伐面積は市以外の計画によるものが大きく影響している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度については新規就労者2名の確保に至ったが、高齢に伴う退職者が3名あり、総林業労働者については減少となってしまった。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も就労者の高齢化は伴っていくので、引き続き新規の就労者確保が必要である。 ・他課との連携等により、新規の就労者を募集する場の提供等も検討していきたい。 ・成果実績としている市全体の森林整備を進めるため、林業の担い手の新規採用・離職抑制のための対策について、関係事業者と協議していく必要がある。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	福知山千年の森づくり事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	小西 晴之					
会計情報	事業コード	220401	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山千年の森づくり基本計画							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	「福知山千年の森づくり基本計画」に基づき、丹後天橋立大江山公園内の施設整備を進めるとともに、市民参加の森づくり運動を推進して、国定公園エリアの文化と景観の保全・継承・整備を行い、周辺集落の維持活性化を図りながら、「オンリーワン」の森林公園を目指す。												
対象者	国定公園来訪者数	対象者数	111,000	単位あたりコスト	0.0								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金支払)												
委託先・実施主体等													
事業概要 (簡潔書き)	食害からブナ原生林を保全するための獣害柵設置を行った。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	委託料	242	獣害対策用金網設置業務										
	負担金補助及び交付金	30	全国棚田学会年会費										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	30	422	2,826	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	30	422	2,826						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	300	2,826					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	30	122	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	30	422	0					
	③ 執行額	30	272	0					
	④ 執行率	100.0%	64.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.13/0	0.26 / 0.00	0.26 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,040	2,080	2,080	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,070	2,352	2,080						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山千年の森づくり事業(豊かな森を育てる府民税市町村交付金)	種類	農林業費府補助金	実績金額	242	決算付属資料	28	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		国定公園への来訪者数	人	341000 / 257000	131000 / 257000	123000 / 257000	/ 257000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	千年の森づくり活動参加者数	人	43 / 121	242 / 127	292 / 133	/ 146	146
	単位あたりコスト		64.93	0.00	0.93		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<p>国定公園に指定されたエリアを「福知山千年の森づくり事業エリア」と位置づけ、市民と一緒に森づくりを進めるものであり、本市の自然環境保全、環境拠点となることから、市が関与する必要性は高い</p>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	見積徴収等を行い、コストを削減しながら事業を実施している
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<p>国定公園を活かし、市民に対して自然環境保全、地域振興などにつなげることと、小学生などの次世代への環境教育、市民の財産である自然を保全管理していく事業であり、有効性は高い</p>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	大江山の貴重な資源であるブナ林の下層植生の食害対策として、獣害対策用の金網を設置し、効果については今後継続的な観察が必要である。		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>国定公園内への案内看板などの施設整備は、年次計画に基づき実施した。 今後どのような方向で千年の森を守り活かしていくのか検討が必要である。 ハード事業からソフト事業へ転換し、大江山への誘客を目指し、今後福知山千年の森づくり計画の見直しを実施する。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	災害に強い森づくり事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課				所属長	小西 晴之						
会計情報	事業コード	550319	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
施策体系	施策コード	040102		施策名	治山・治水対策を強化する								
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	-					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (京都府委託事業)												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	台風等により保全機能が低下した森林において、森林荒廃の拡大、土砂等の流出による再度被害を防止するため治山施設を設置する。												
対象者	保全対象戸数					対象者数	6		単位あたりコスト	11,382.5			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	森下建設株式会社、株式会社いとう												
事業概要 (箇条書き)	・平成29年1月からの豪雪により被害を受けた河守地区の山腹の復旧工事を実施した。(繰越工事) (現年分の河守地区山腹の復旧工事は入札不調により繰越) ・平成30年7月豪雨により被害を受けた波江地区の山腹の復旧工事を実施した。(繰越工事)												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	需用費	34	公用車ガソリン代ほか										
	委託料	2,505	波江地区測量設計業務										
	工事請負費	63,437	河守地区治山工事、波江地区治山工事										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	40,000	0	35,000	予算編成時記入				
	② 補正予算	26,000	4,000	0					
	③ 繰越予算	△ 23,348	61,975	4,000					
	前年度繰越	42,627	65,975	4,000					
	次年度繰越	△ 65,975	△ 4,000	0					
小計(①~③)	42,652	65,975	39,000						
予算財源内訳	① 一般財源	△ 1,848	△ 25	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	44,500	66,000	39,000					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	42,652	65,975	0					
	③ 執行額	42,652	65,975	0					
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.25/0	0.29 / 0.00	0.29 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,000	2,320	2,320	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	44,652	68,295	2,320						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	災害に強い森づくり事業委託金(繰越分)	種類	農林業費府委託金	実績金額	66,000	決算付属資料	32	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	整備地区数	地区		0/2	2/3	2 / 3	/ 1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	整備地区数	地区	0/2	2/3	2 / 3	/ 1	
	単位あたりコスト			21326.00	32987.58		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	平成29年に発生した豪雪及び豪雨により被災した、民家裏の山林復旧事業であり、ニーズは高い複数の土地に影響する事業であるので、市民自らが実施することは困難である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	京都府から委託を受けた治山事業であるため、受益者負担は発生しない。コスト削減については、京都府と調整し、十分配慮している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	災害復旧であり成果指標の設定は困難であるため、定性的評価とする。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>「定性的評価」 事業を実施することで、地域住民の安心・安全な生活を確保した。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>本事業の実施が必要な箇所があるため、関係自治会と調整の上、京都府に対し事業採択の要望を継続する必要がある。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	林道施設災害復旧事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課				所属長	小西 晴之						
会計情報	事業コード	210179	款	11 災害復旧費	項	02 農林施設等災害復旧費	目	01 農林施設等災害復旧費	会計	01 一般会計	決算付属資料	258	頁
施策体系	施策コード	040102	施策名	治山・治水対策を強化する									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	台風・豪雨等により被災した林道施設を復旧する。												
対象者	被災路線	対象者数	23	単位あたりコスト	4,097.0								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	中丹住工株式会社ほか												
事業概要 (箇条書き)	平成30年7月豪雨及び台風21号豪雨により発生した林道施設の災害復旧を実施した。(繰越16路線33箇所中8路線14箇所完成) (現年7路線10箇所中1路線1箇所完成) 他工事との工程調整や入札不調があった路線については繰越をした。 (特定財源(N-1年度分)) ・林道施設災害復旧 府補助金 53,904,000円(繰越分:47,813,000円、現年分:6,091,000円) ・林道施設災害復旧 地元分担金 1,365,616円(繰越分:1,341,130円、現年分:24,486円) ・林道施設災害復旧 災害復旧債 1,600,000円(過年:100,000円、繰越分:1,500,000円)												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	旅費、役務費	17	会議出席のための職員旅費、郵送料										
	需用費	329	公用車ガソリン代ほか										
	使用料及び賃借料	328	デジタル複合機賃借料										
	工事請負費(繰越分)	79,829	河谷線災害復旧工事ほか										
工事請負費(現年分)	6,366	滝谷線災害復旧工事ほか											

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	12,100	0	予算編成時記入				
	② 補正予算	378,827	47,340	0					
	③ 繰越予算	△ 182,271	68,477	172,122					
	前年度繰越	58,328	240,599	172,122					
	次年度繰越	△ 240,599	△ 172,122	0					
小計(①~③)	196,556	127,917	172,122						
予算財源内訳	① 一般財源	3,649	62,845	7,114					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	125,270	55,787	159,979					
	④ 地方債	57,700	7,000	900					
	⑤ その他特財	9,937	2,285	4,129					
決算情報	① 流充用額	△ 2,909	0	0					
	② 配当予算	135,320	127,917	0					
	③ 執行額	112,067	86,870	0					
	④ 執行率	82.8%	67.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.9/0.1	0.92 / 0.00	0.92 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	7,450	7,360	7,360	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	119,517	94,230	7,360						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	林道施設災害復旧事業(現年・繰越)	種類	災害復旧費府補助金	実績金額	53,904	決算付属資料	30	頁
	特財名称	林道施設災害復旧事業(現年・繰越)	種類	農林業費分担金	実績金額	1,365	決算付属資料	8	頁
	特財名称	林道施設災害復旧事業(現年・繰越)	種類	災害復旧債	実績金額	1,600	決算付属資料	54	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	整備路線工事完成	路線		6/9	3/25(うち3路線は繰越分)	12 / 23	/ 23
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	整備路線設計数	路線	9/9	22/22	23 / 23	/	
	単位あたりコスト			5093.95	3776.95		
	整備路線工事発注数	路線	7/9	4/24(うち2路線は繰越分)	23 / 23	/	
単位あたりコスト				28016.75	3776.95		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	被災した林道施設の復旧工事でニーズは高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	コスト削減などについては、京都府と調整し、十分配慮している
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	災害復旧であり、成果指標の設定が困難であるため、定性的評価とする。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	「定性的評価」 完成した路線について、安全な通行を確保した。また、繰越した路線について早期完成を目指す。		
これまでの課題及び今後の方向性	早期に復旧工事を完了する必要があるため、適切な進捗管理を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	かわまちづくり事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	荒木 正人					
会計情報	事業コード	550313	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	90-92	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	福知山市域を流れる由良川と隣接した地域において、水辺空間を活かしたまちづくりを進める。								
対象者	市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	由良川の水辺空間を活かしたまちづくりを進めるため、国・府・地元団体等と連携した地域活性化策となる事業を展開していく。 【令和元年度の主な事業】 ・庁内関係各課による推進会議及び関係各課若手職員を中心としたPTを組織し、国府市連携のもと事業を実施していくことについて相互に確認、また、国と市の合同で現地踏査や事業者ヒアリングを実施した。 ・令和2年度にかわまちづくりに係るシンポジウムを実施するため、一般財団法人自治総合センターの助成事業に申請し、採択の内示を受けた。 ・大江においては、国のかわまちづくり制度の認定を受けるべく、地元住民とともにワーキンググループを組織し、協議を重ねている。 ・PTを中心に今後の由良川と防災を絡めたまちづくりの指針となる「福知山市由良川防災まちづくり基本構想(案)」を作成した。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	75	先進地先視察旅費等						
	消耗品費	1	物品(DVD-RW)購入費						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	333	253	6,000		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	333	253	6,000						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	333	253	6,000					
決算情報	① 流充用額	△ 90	0	0		0			
	② 配当予算	243	253	0		0			
	③ 執行額	10	76	0		0			
	④ 執行率	4.1%	29.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.05/0	0.21 / 0.00	0.21 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	400	1,680	1,680		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	410	1,756	1,680						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	76	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	委員提案事業数	件	10 / 10	0 / 10	0 / 10	/ -	-		
	シンポジウム開催	回			/ -	/ 1	1		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	検討会議等開催数	回	6/6	0/6	6 / 6	/ 20	-		
	単位あたりコスト		69.80	0.00	12.61	/			
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	民間事業者や市民だけでなく、国府市も連携しなければ実施できない事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	かわまちづくり制度認定後の河川整備は国交省施工となるため、市は少額の負担で最大の効用を得ることができる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	河川を防災の観点だけでなく資源の観点からも活用検討する事業であり、大きな河川が市内を貫流する本市においては有効性が高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度においては国府市の連携体制の構築、庁内推進会議及びプロジェクトチームの結成、地元ワーキンググループの結成、基本構想の策定など事業が大きく進んだ。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・かわまちづくり事業については、民間事業者が主体となる必要があるため、主体となる事業者の掘り起こしが事業の成否を握っている。 ・国のかわまちづくり制度においては、費用対効果や認定を受ける必要性が重視されるため、社会実験を実施し具体的な事業について検討を進める。 ・令和2年度にかわまちづくりに係るシンポジウムを実施するため、一般財団法人自治総合センターのシンポジウム助成事業に申請し、採択の内示を受けたため、実施に向けた検討を進める。 <p>令和2年度～道路河川課「かわまちづくり整備事業」として実施</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	国府事業(各団体・同協会活動関係経費)												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	荒木 正人						
会計情報	事業コード	110472	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	188	頁
施策体系	施策コード	030301	施策名	国・府道の整備を促進する									
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	国道9号、国道429号等の整備並びに砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業等の確実な事業推進のための予算確保を目的として、国会議員及び国土交通省等に対して要望活動を実施する。また、各種全国大会に参加することにより各事業の予算確保と事業進捗を図り、事業の早期着手・完成を目指す。その結果、事業の確実な進捗が図られ、市民の安心・安全並びに利便性の向上が期待される。												
対象者	全市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.3								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	—												

事業概要 (箇条書き)	○国道9号整備促進期成同盟会は、年度当初に総会を開催し、国土交通省(東京)・近畿地方整備局(大阪)、地元選出国会議員への要望活動を行う。 ○京都府高速道路網整備促進協議会、京都府道路協会、砂防・治水・防災協会は、事務局(京都府)主導により、国土交通省や地元選出国会議員に要望活動を行う。 ○国道426号、国道429号等の同盟会は、府・県議会議員とともに京都府、兵庫県に要望する。												
----------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	旅費	483	要望活動、各種会議参加等										
	需用費	21	印刷製本費(要望書印刷)										
	使用料及び賃借料	21	高速道路通行料										
	負担金補助及び交付金	1,215	各種同盟会・協議会等会費										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	1,758	1,762	1,784	予算編成時記入
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①~③)	1,758	1,762	1,784		
予算財源内訳	① 一般財源	1,758	1,762	1,784	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0
	② 配当予算	1,758	1,762	0	0
	③ 執行額	1,694	1,741	0	0
	④ 執行率	96.4%	98.8%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.45/0	2.74 / 0.00	2.74 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	11,600	21,920	21,920	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	13,294	23,661	21,920		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	福知山道路(5.8km)の進捗率	%	75 / 75	76 / 75	76 / 76	/ 77	100
国道429号事業箇所数	箇所	1 / 1	2 / 2	2 / 2	/ 3	3	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	同盟会総会、要望活動	回	33 / 31	36 / 33	32 / 33	/ 33	33
	単位あたりコスト		48.45	47.06	54.39	/	
	単位あたりコスト		0.00	0.00	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・道路改良、歩道整備等は自治会から多数の要望があり、市民の関心も高い。 ・同盟会活動は、地元自治会、商工関係者も会員となり活動している。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会や協会の分担金は府・市町で公平に負担している。 ・同盟会の会費・負担金も各市町や各組織で負担している。 ・一度の出張で複数の要望を行うなど経費削減に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・国会議員や府・県議会議員とともに要望活動を実施しており、国道・府道等の整備は着実に進んでいる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	地域の実情を踏まえ、本市の要望を京都府や国土交通省等に訴えることで、国・府道の整備が進み、交通アクセスの向上や安心安全なまちづくり、企業誘致など大きく貢献するものである。 事業促進を望む市民の声もある中、国土交通省や京都府、兵庫県への要望により着実に事業が進んでいる。		
これまでの課題及び今後の方向性	少子高齢化、人口減少などにより国や府の財政状況は厳しくなる見込みである。 国道9号では福知山道路や夜久野改良、付加車線整備、歩道整備、並びに国道429号榎峠トンネル化等の要望が早期に実現されるよう、要望活動の取組を充実・強化する必要がある。 今後も事業の促進を図れるよう国土交通省や京都府、兵庫県などへ同盟会として要望活動を積極的に行っていきたい。 要望活動の日程を同盟会同士で調整するなどして要望経費の軽減を図っていきたい。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	土木一般管理事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	荒木 正人					
会計情報	事業コード	510117	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	188	頁
施策体系	施策コード	030101	施策名	計画的な土地利用を推進する									
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	システムや電子機器などの維持管理や部、課で使用消耗品などの管理、調達を行う。建設交通部及び道路河川課の事務的経費を一元的に管理していくことにより、過不足なく、効率的に執行する。								
対象者	-		対象者数	-		単位あたりコスト	-		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	事務機器業者等								
事業概要 (簡条書き)	デジタル複合機、土木積算システム、CADシステムなどの維持管理や部、課で使用消耗品などの管理、調達を行う。建設交通部及び道路河川課共通の事務執行経費であり、経常経費的的事业である。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	費目を挙げきれないため欄の合計≠執行額			主な業務内容			
	需用費	4,104	事務用品等購入						
	役務費	1,408	道路賠償責任保険料、郵送料						
	委託料	1,837	デジタル複合機賃借、京都府土木工事設計積算システム保守業務ほか						
	使用料及び賃借料	2,891	大型デジタル複合機賃借、資材単価データ利用料ほか						
旅費ほか	327	研修参加、各種会議参加ほか							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	10,665	10,651	10,664		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	10,665	10,651	10,664						
予算財源内訳	① 一般財源	5,523	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	5,142	10,651	10,664					
決算情報	① 流充用額	0	0	0		0			
	② 配当予算	10,665	10,651	0		0			
	③ 執行額	10,364	10,566	0		0			
	④ 執行率	97.2%	99.2%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.51/0	1.70 / 0.00	1.70 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	12,080	13,600	13,600		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	22,444	24,166	13,600						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路占用料	種類	土木使用料	実績金額	10,482	決算付属資料	10	頁
	特財名称	土木積算単価データ利用料下水道課負担分	種類	雑入	実績金額	82	決算付属資料	46	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標	
	執行額	千円	10,192/12,310	10,364/10,665	-	/	-	/	-	-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標	
	トナー購入数(カラー・モノクロ)	本	34/34	20/20	75	/	75	/	50	-
	単位あたりコスト		299.70	533.30	140.88					
	PPC用紙購入数(A4)	箱	1500/1500	570/570	460	/	460	/	460	-
単位あたりコスト		6.80	18.10	22.97						

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・経常経費的の事業であり、必要不可欠である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・建設交通部で共通する経費について、一元的に管理することで、部内で事務が重複することなく執行できる。 ・経常経費的な事務経費を共通に管理することにより、効率的な執行ができる。 ・複写機の契約更新時にはコスト比較を行い、経費削減に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・共通経費の執行にあたり、一元的に管理することで無駄がないように努めている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>内部庶務事業であり、コスト縮減や効率化が図れる部分については、随時見直しに努めている。とくに複写機の賃貸借契約については、契約更新時に導入について十分に検討を行なったことから、削減効果がでている。 管理事業であり、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	引き続き適正な事務執行に努める。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	総合的な治水対策PR事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	荒木 正人						
会計情報	事業コード	550330	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	190	頁
施策体系	施策コード	040102	施策名	治山・治水対策を強化する									
計画期間	開始年度	令和1年度	終了予定年度	令和1年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	平成26年8月豪雨を受け、国・府・市で連携して治水対策を行う「福知山市街地における総合的な治水対策」の目標年度であるため、成果を現場見学会やシンポジウムにより市の内外にPRする。 安心安全のまちをPRすることにより、定住人口の増加、商業施設の誘致、並びに観光振興等を図る。												
対象者	全市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.0								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	○現地見学会やシンポジウムにニュースソースが高まるような高名な講師を招聘する。 ○市内外への効果的なPRが期待できるメディアを招致する。 ○見学会やシンポジウムがメディアに取り扱われやすくするためのアドバイスを受ける。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	旅費	20	シンポジウム関連打ち合わせ等										
	需用費	360	シンポジウムチラシ印刷、消毒液購入等										
	役員費	160	広告料										
	使用料及び賃借料	6	高速道路通行料										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)	R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0	1,000	0	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	0	1,000	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	500	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	500	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	0	1,000	0	0				
	③ 執行額	0	547	0	0				
	④ 執行率		54.7%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0/0	0.20 / 0.00	/	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	1,600		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	2,147		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	きょうと地域連携交付金	種類	土木費府補助金	実績金額	254	決算付属資料	28	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		治水シンポジウムへの市外からの来場者数	人			0 / 300	/ -
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	現地見学会、シンポジウムの回数	回			0 / 1	/ -	-
	単位あたりコスト				/	/	
	単位あたりコスト						

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	直近5年間で4回の甚大な浸水被害があり、「災害のまち」という負のイメージからの脱却をどのようにPRできるかは多くの市民から注目されている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	効果的なPR方法についての業務について、イベントや企画については職員で検討するなどコスト削減に努めた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	新型コロナウイルスの発生を受け、令和2年度の秋以降まで延期する決断となったが、メディアに特化したイベントの企画等、今後の参考になることもあった。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	治水効果の向上による安心・安全なまちを市内外へPRすることが目的で開催直前まで進めたが、新型コロナウイルスの発生により、市民に対して新たな感染拡大を懸念し延期を余儀なくした。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和2年の秋以降に、再度、治水と防災を絡めた大規模なシンポジウムを開催する予定であり、関係部局と密に調整をする中で取り組む必要がある。 (令和2年度から由良川改修関連事業へ統合)		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	道路台帳整備事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	荒木 正人					
会計情報	事業コード	120121	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	01 道路橋りょう総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	190	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名	市道などの整備を推進する								
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	-					
根拠法令等	道路法第28条												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	道路台帳を正確に補正し、調査及び図面を整備することにより最新の情報に更新していく。道路行政の執行及び市民の経済活動その他に寄与する。								
対象者	市民、道路・橋りょう利用者、業者及び市職員			対象者数	78,000		単位あたりコスト	0.2	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	地図作成、測量設計業者等								
事業概要 (箇条書き)	道路法第28条により規定されている道路台帳の整備を行う。 道路工事などにより、形状などに変更があった箇所について、以下のとおり道路台帳の補正更新。 ①台帳補正：補正対象路線 新規認定路線、廃止路線、拡幅・区域変更・改良路線、路面種別変更路線 ②路線網データ作成：世界測地系に変換されたデータを京都府1/2500を背景にし、データ作成 毎年1回定期的に補正をしており、前年度認定・廃止・区域変更等告示した路線や改良した道路、帰属を受け認定した道路等を現地測量等実施して整備している。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	委託料	14,454		道路台帳更新業務委託					

III 予算執行状況												
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,000		6,000		3,300		予算編成時記入				
	② 補正予算	0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0						
小計(①~③)	3,000		6,000		3,300							
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0						
	⑤ その他特財	3,000		6,000		3,300						
決算情報	① 流充用額	834		8,454		0		0				
	② 配当予算	3,834		14,454		0		0				
	③ 執行額	3,834		14,454		0		0				
	④ 執行率	100.0%		100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.89/0		0.54 / 0.00		0.54 / 0.00		0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	7,120		4,320		4,320		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,954		18,774		4,320							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路占用料		種類	土木使用料		実績金額	14,446		決算付属資料	12	頁
	特財名称	道路幅員証明手数料		種類	土木手数料		実績金額	2		決算付属資料	16	頁
	特財名称	コピー代(道路台帳)		種類	雑入		実績金額	5		決算付属資料	44	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	台帳更新業務	件	2/2	1/1	2 / 2	/ 2	-		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	補正路線数	路線	58/58	20/20	33 / 60	/ -	-		
	単位あたりコスト		87.52	191.70	438.00				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・道路法に基づく道路行政の執行及び市民の経済活動その他に道路台帳の情報が必要であるため、新しい情報に更新することは必要不可欠である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	・道路台帳は紙媒体が基本であるが、情報処理には電子媒体が効率的であり、双方の整備が必要である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・道路台帳は、インフラに関する基礎的なデータとしてあらゆる行政その他の活動に資するものである。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>毎年1回必ず補正をしており、調書及び図面を整備することにより最新の情報に更新している。 補正する路線数についてはその年の事業内容等によるため年度によってばらつきがあるが、変更すべき箇所については漏れなく更新できている。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>道路台帳を整備することは、道路法において規定されており、道路行政の執行及び道路管理事務の円滑な遂行等にも道路台帳の情報が必要となる。毎年、道路工事などで道路の形状変更があり、継続的な修正が必要となるので、できるだけ簡易な方法で修正を行ったうえで、閲覧に供するようにしていく必要がある。 今後、台帳の電子化について、内容等を検討していく。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	道路維持管理事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	芦田 裕人					
会計情報	事業コード	120122	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費	会計	01 一般会計	決算付属資料	190	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名	市道などの整備を推進する								
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	-					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報										
事業目的 (あるべき姿)	市道を適正に維持管理することにより、市民の安心・安全な道路交通を確保する。									
対象者	全市民 市道・高齢化が進行した自治会の幹線道路等			対象者数	78,000		単位あたりコスト	1.4		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	土木工事施工業者等									
事業概要 (箇条書き)	道路パトロール及び地元からの通報などにより、道路施設の損傷を迅速に調査し必要に応じて緊急修繕を実施する。 地元要望による危険箇所等の改修を行う。 市街地や福知山駅周辺の街路樹剪定と落葉除去等を計画的に実施するとともに、市内の幹線道路の除草、側溝の堆積土砂の除去、照明灯の維持管理などを行ない道路の保全を図る。									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	費目を挙げきれないため欄の合計≠執行額				主な業務内容			
	報償費	2,429	市道法面除草作業謝礼							
	需用費	21,760	道路修繕、道路維持管理用品等購入ほか							
	役員費	12,882	道路清掃業務、ごみ廃棄手数料ほか							
	委託料	35,262	街路樹剪定業務委託、市道等除草業務委託ほか							
	工事請負費ほか	1,307	防犯灯設置工事、側溝蓋設置工事							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	93,375	59,289	69,281	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	93,375	59,289	69,281						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	93,375	59,289	69,281					
決算情報	① 流充用額	15,549	14,351	0	0				
	② 配当予算	108,924	73,640	0	0				
	③ 執行額	108,795	73,640	0	0				
	④ 執行率	99.9%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	2.85/2	3.66 / 2.00	3.66 / 2.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	27,800	34,280	34,280	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	136,595	107,920	34,280						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路占用料	種類	土木使用料	実績金額	67,586	決算付属資料	12	頁
	特財名称	放置自転車保管料	種類	雑入	実績金額	4	決算付属資料	46	頁
	特財名称	放置自転車買取代	種類	雑入	実績金額	41	決算付属資料	46	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
					- / -	/ -	-		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	委託件数(土砂撤去等)	箇所	130/100	45/100	54 / 100	/ -	-		
		単位あたりコスト	1022.25	2417.67	1363.71				
	修繕件数	箇所	221/150	114/150	100 / 150	/ -	-		
		単位あたりコスト	601.32	954.34	736.40				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市民の安心・安全な道路交通を確保をはじめ、市民生活の基盤を支えていく上で、市道管理者として道路の適正な維持管理を行うことは必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	地区ごとに道路パトロールを実施し、同一地区の修繕をまとめて行うことで効率的な事業実施を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市道を適正に維持管理することによる市民生活の向上の観点からも、事業実施による有効性は増加している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>市道を適正に維持管理することにより市民の安心・安全な道路交通を確保することを目的としており、損傷などがあった場合には修繕等の対応を可能な限り迅速に行わなければならない。</p> <p>道路パトロール、各自治会、市民からの要望、通報など、様々な方法で情報収集するよう努めており、情報を得たら地区等関係なくその時に動ける職員がすぐに対応することで迅速に対応出来ている。</p> <p>維持管理事業であり、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>市道の維持管理は、市民生活に密接に関係しており、生活利便性の向上、車両・歩行者等の交通安全の確保、治水機能の維持として重要な業務である。</p> <p>街路樹剪定、落葉清掃、除草、側溝清掃、街路灯修繕等を計画的に実施することにより、道路環境の保全を図っているが、街路樹、除草等、年々樹木も大きくなり経費がかかることから維持管理できる範囲が減ってきている。限られた財源を効率的、効果的に実施していけるよう配分を行なうとともに、緊急度・優先度を考慮しながら危険箇所を優先的に実施していく。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	除雪関連事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	荒木 正人					
会計情報	事業コード	120123	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費	会計	01 一般会計	決算付属資料	190・192	頁
施策体系	施策コード	030302	施策名	市道などの整備を推進する									
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市地域防災計画、福知山市除雪計画、福知山市除雪機械整備費補助金交付基準							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山市除雪計画に沿って主要生活道路の除雪作業を行なうことにより、市民の生活道路を確保し安心・安全な生活に寄与する。								
対象者	市民、除雪対象市道、市民以外の通行者			対象者数	78,000	単位あたりコスト	1.2		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	除雪受託業者								

事業概要 (箇条書き)	福知山市除雪計画に沿って、市内の除雪路線340路線、協議路線76路線、計416路線を市内38業者に委託して除雪を実施する。凍結防止対策として、2業者による凍結防止剤の機械散布と、職員による必要箇所への凍結防止剤の設置を行う。除雪計画で対応できない市道路線を除雪してもらうため、自治会等が除雪機械を購入する際の費用を助成する。								
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	費目を挙げきれないため欄の合計≠執行額	主な業務内容
	需用費	3,728	除雪車輛点検整備・修繕、凍結防止剤購入ほか	
役員費	1,172	除雪車輛点検整備、除雪車輛自動車保険加入		
委託料	36,495	市道除雪業務委託		
使用料及び賃借料	41,972	除雪車輛・車庫賃貸借		
負担金補助及び交付金ほか	803	除雪機械等購入補助金ほか		

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	59,213	61,887	108,357	予算編成時記入
	② 補正予算	49,000	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①~③)	108,213	61,887	108,357		
予算財源内訳	① 一般財源	62,197	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	46,200	
	⑤ その他特財	46,016	61,887	62,157	
決算情報	① 流充用額	△ 9,527	22,283	0	
	② 配当予算	98,686	84,170	0	
	③ 執行額	90,220	84,170	0	
	④ 執行率	91.4%	100.0%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.45/0	0.75 / 0.00	0.75 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	3,600	6,000	6,000	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	93,820	90,170	6,000		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	社会資本整備総合交付金	種類	土木費国庫補助金	実績金額	5,620	決算付属資料	20	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	除雪・協議路線	km	258.4/258.4	260.3/260.3	265.1 / 265.1	/ 265.1	265.1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	業者出動日数	日	36/36	18/18	11 / 30	/ 30	30
	単位あたりコスト		3282.56	5012.22	7651.84		
	出動業者数	者	186/186	106/106	64 / 222	/ 222	222
	単位あたりコスト		635.33	851.13	1315.16		

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 道路の通行確保及び凍結防止対策に対する住民ニーズは高い。 冬期の道路網の確保という観点で、市道の管理者として取組む必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 除雪計画に沿って積雪状況等により必要性・緊急度等を考慮し実施している。 固定経費については、長期継続契約の期間延長などを検討していく。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 住民ニーズに応えるとともに、冬期における市民生活の確保と安全性の向上の観点から有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>福知山市除雪計画に沿って主要な生活道路の除雪を行なうことにより、冬期における道路交通の確保を行い、積雪による市民生活への影響を抑え市民生活の維持を図っている。 迅速に除雪作業、凍結防止剤散布作業を行なうことにより、市道の安心・安全な交通を確保している。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>積雪の多い地域を有する本市において、冬期における基幹市道の通行及び円滑な交通の確保に除雪業務は今後も必要不可欠である。年々、除雪業者における除雪車両の維持やオペレーターの確保等が難しい状況や事故が発生してきており、地元企業の少ない地域においては除雪業者の確保に苦慮する状況が生じている。今後、除雪作業を担っている業者の負担が少なくなるように、舗装路面の平滑化(突起物をなくすこと)や除雪業者と実施路線の点検・見直し等を行っていく。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	道路橋りょう一般管理事業									
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	荒木 正人		
会計情報	事業コード	120203	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費	会計	01 一般会計 決算付属資料 192 頁
施策体系	施策コード	030302	施策名	市道などの整備を推進する						
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-				
根拠法令等	-									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	道路・橋りょうを適切に維持管理し安全性を高めることで、安全・安心のまちづくりの推進を図る。								
対象者	市民、道路・橋りょう利用者及び市職員	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.2				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	おもに道路・橋りょうの街路灯の維持管理経費。 その他、道路・橋りょうについての研修会等に参加する予算を確保し、職員の技術力アップを図る。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	232	研修等参加、各種協議(府、地権者等)、裁判出席ほか						
	需用費	15,544	事務用品、電気料金ほか						
	負担金補助及び交付金	40	講習会受講料(iMec)						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	14,108	14,578	14,709	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	14,108	14,578	14,709						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	14,108	14,578	14,709					
決算情報	① 流充用額	1,984	1,238	0	0				
	② 配当予算	16,092	15,816	0	0				
	③ 執行額	16,092	15,816	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.03/0	0.04 / 0.00	0.04 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	240	320	320	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	16,332	16,136	320						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路占用料	種類	土木使用料	実績金額	15,815,769	決算付属資料	12	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	執行額	千円	14,445/14,708	16,092/14,108	/ -	/ -	-		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	講習会等参加	回			2 / 2	/ 2	-		
	単位あたりコスト				7907.88				
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・道路、橋りょうの利用者の安全な通行を確保するために、街路灯の維持管理は必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	・街路灯にかかる電気代は年々、微増傾向にあり、光熱水費の削減を図るため、更新時に電気代及び耐用年数の高い、LEDへの更新を検討する。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・道路管理者として、設置しているものであり、通行者の安全確保のために有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	道路・橋りょうの利用者のために街路灯を設置しているものであり、利用者の安全確保のために必要不可欠な事業である。維持管理事業のため、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	市域にはかなり多くの街路灯があり、維持管理にかかる費用は増えつつあり、光熱水費の道路、橋りょうの利用者の安全な通行を確保するために、街路灯の適正な維持管理は必要不可欠である。街路灯にかかる経費は微増傾向にあることから、コスト削減を図るためにLEDへの更新は検討しているが、なかなか増えていない状況である。今後、LED灯への計画的な更新など検討していく必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	長田野工業団地維持管理事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	芦田 裕人					
会計情報	事業コード	120207	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費	会計	01 一般会計	決算付属資料	192	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名	市道などの整備を推進する								
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	-					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報										
事業目的 (あるべき姿)	長田野工業団地内の道路の維持管理を行う。									
対象者	市民・長田野工業団地企業、長田野工業団地内市道の利用者			対象者数	6,395		単位あたりコスト	2.3		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	土木工事施工業者等									
事業概要 (箇条書き)	長田野工業団地内の道路における、老朽化などにより破損した道路構造物の補修、修繕を行う。 併せて道路上に繁茂した街路樹の剪定及び除草を行なう。 団地内の街路灯の電気料を支払う(街路灯にかかる協定書に基づき、維持管理にかかる電気料金の50%以内について長田野工業センターに費用負担を求める)。 団地内の部分改良工事を計画的に実施し道路を維持管理することにより、安全性・利便性の向上を図る。									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容					
	需用費	8,447			電気料金、As舗装修繕、街路灯修繕ほか					
	役員費	292			長田野工業団地本線道路清掃業務					
	委託料	4,587			市道維持管理業務委託、除草剪定伐採業務委託					

III 予算執行状況													
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	16,300		13,800		8,300		予算編成時記入					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①~③)	16,300		13,800		8,300								
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	16,300		13,800		8,300							
決算情報	① 流充用額	△ 3,506		△ 474		0		0					
	② 配当予算	12,794		13,326		0		0					
	③ 執行額	12,794		13,326		0		0					
	④ 執行率	100.0%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.28/0		0.16 / 0.00		0.16 / 0.00		0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	2,240		1,280		1,280		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	15,034		14,606		1,280								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	長田野工業団地街路灯維持管理負担金			種類	雑入		実績金額	2,734		決算付属資料	48	頁
	特財名称	道路占用料			種類	土木使用料		実績金額	10,591		決算付属資料	12	頁
	特財名称				種類			実績金額			決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
							/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	工事・修繕	箇所	13/13	3/3	6 / 7	/	10	-	
		単位あたりコスト		1162.46	4264.67	2220.92			
	業務(剪定・除草)	箇所	6/6	4/4	9 / 5	/	5	-	
単位あたりコスト			2518.67	3198.50	1480.61				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 団地内において、道路や付属施設の老朽化が著しくなっており修繕要望も多く、事業を継続して実施していく必要性は大きい。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 長田野工業団地を適正に維持管理していくうえで必要最低限度の経費であり、業者への委託のほか可能な範囲で直営作業も実施することでコスト削減に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 工業団地内の企業及び道路利用者の安全性・利便性の維持及び向上において、本事業の実施は有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	道路パトロール、長田野工業センターなどからの連絡、通報などにより、道路施設の損傷、不具合について迅速に調査し修繕を実施している。街路樹の剪定、除草などについても適正に維持管理することで道路環境の保全を図ることができている。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	団地内において、老朽化が著しい道路構造物が増えつつあるなかで、要望も多く迅速に対応できていない。団地内街路樹の巨木化と老朽化が進行しており、道路や付属施設の老朽化も年々著しくなっていることから、維持管理に要する費用は増加傾向になると予想されるため、限られた財源のなか、より効率的な執行を行っていく必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	長田野工業団地地利活用増進事業(道路環境整備)												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	芦田 裕人					
会計情報	事業コード	120232	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費	会計	01 一般会計	決算付属資料	192	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名						市道などの整備を推進する			
計画期間	開始年度	令和元年度		終了予定年度	令和3年度		関連計画名			長田野工業団地地利活用増進計画			
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	長田野工業団地内における街路樹について、繁茂により視距不良や横断幅員の減少及び根などによる路面の凹凸等が課題となっているため、同工業団地地利活用増進計画に基づき、街路樹伐採等を行い団地内の交通環境の改善を図る。								
対象者	市民・長田野工業団地企業、長田野工業団地内市道の利用者		対象者数	6,395		単位あたりコスト	1.6		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	土木工事施工業者等								
事業概要 (簡条書き)	団地内企業等の意見を聴きながら計画的に街路樹伐採を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	委託料	8,842		長田野工業団地本線ほか街路樹伐採業務					

III 予算執行状況												
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0	10,000		23,460				予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0		0							
	③ 繰越予算	0	0		0							
	前年度繰越	0	0		0							
	次年度繰越	0	0		0							
小計(①~③)	0	10,000		23,460								
予算財源内訳	① 一般財源	0		0								
	② 国支出金	0		0								
	③ 府支出金	0		0								
	④ 地方債	0		0								
	⑤ その他特財	10,000		23,460								
決算情報	① 流充用額	0	△ 1,158		0		0					
	② 配当予算	0	8,842		0		0					
	③ 執行額	0	8,842		0		0					
	④ 執行率	100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.18 / 0.00		0.18 / 0.00		0.00 / 0.00						
	② 概算人件費	1,440		1,440		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	10,282		1,440								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	長田野工業団地地利活用促進事業(道路環境整備)基金繰入		種類	基金繰入金		実績金額	8,841		決算付属資料	40	頁
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	街路樹伐採本数	本			223 / 100	/ 400	1229		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	街路樹伐採本数	本			223 / 100	/ 400	1229		
	単位あたりコスト				39.65	/			
	単位あたりコスト				/				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・長田野工業団地内における交通安全確保のため、必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・現場の企業等の意見を聴くことで、必要なところから効率的に実施できている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・道路環境を整備することで利用者の安心・安全を確保するほか、工業団地のイメージアップにも繋がるものであり、有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	計画的に管理することで道路環境の向上を図ることができている。		
これまでの課題及び今後の方向性	団地内街路樹の巨木化と老朽化が進行していることに加え、道路や付属施設の老朽化も年々著しくなっている。限られた財源のなか、より効率的な執行を行なっていく必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	<ul style="list-style-type: none"> 市と企業側と調査し計画策定をしたうえで事業であり妥当だと考える。 長田野工業センターの意見を聞いた上で実施されており、対応も早急に必要で、必要な事業と考える。 この事業には歩道の整備も今後行われることが必要と考えているが、実施されるとのこと方向性は良いと考える。 成果実績、活動実績の設定値を事業内容に合わせて再整理すべき。
--------	---

事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	中心市街地活性化関連道路整備事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	芦田 裕人					
会計情報	事業コード	120173	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	192	頁
施策体系	施策コード	030103		施策名	中心市街地を活性化する								
計画期間	開始年度	平成24年度		終了予定年度	令和元年度		関連計画名	社会資本総合整備計画、福知山市中心市街地活性化基本計画					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報										
事業目的 (あるべき姿)	まちなみに配慮した道路舗装、路上施設を整備することで、リニューアルと一体化したまちづくりに寄与する。安心、安全な道路交通を確保するとともに、中心市街地の賑わい創出にも寄与する。									
対象者	市民・中心市街地内市道			対象者数	3,871		単位あたりコスト	37.1		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	土木工事施工業者等									
事業概要 (簡条書き)	中心市街地活性化基本計画に基づく街並み環境整備事業の一環として、広小路界隈のリニューアル化に伴い、歩行者、商店の利用者と通行車両の安全性を考慮しつつ、景観に配慮した道路整備を行う。									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容					
	工事請負費	107,089			(繰越)広小路本町線道路改良ほか					
	補償、補填及び賠償金	36,707			(繰越)広小路本町線電線共同溝工事に伴う入線等補償					

III 予算執行状況										
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	183,000	0		0				予算編成時記入	
	② 補正予算	0	0		0					
	③ 繰越予算	96,495	158,505		0					
	前年度繰越	255,000	158,505		0					
	次年度繰越	△ 158,505	0		0					
小計(①～③)	279,495	158,505		0						
予算財源内訳	① 一般財源	13,945	8,055		0					
	② 国支出金	88,050	60,750		0					
	③ 府支出金	0	0		0					
	④ 地方債	177,500	89,700		0					
	⑤ その他特財	0	0		0					
決算情報	① 流充用額	△ 13,056	0		0		0			
	② 配当予算	266,438	158,505		0		0			
	③ 執行額	262,995	143,796		0		0			
	④ 執行率	98.7%	90.7%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.51/0	0.00 / 0.00		/		0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	4,080	0		0		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	267,075	143,796		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	社会資本整備総合交付金(繰越)		種類	土木費国庫補助金	実績金額	60,750	決算付属資料	20	頁
	特財名称	旧合併特例債		種類	土木債	実績金額	21,100	決算付属資料	52	頁
	特財名称	公共事業等債		種類	土木債	実績金額	54,600	決算付属資料	52	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	完成路線数	路線	1 / 2	1 / 2	2 / 2	/	-	2	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	工事件数	工事	4/5	4/5	5 / 5	/	-	5	
	単位あたりコスト		21150.75	65748.75	28759.21	/			
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地活性化基本計画に基づく街なみ環境整備事業の一環として、歴史的資産や文化を活用し、快適で調和の取れた中心市街地の形成と向上を図っていく上で必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 本来ならば市単費で行わざるを得ない市道の道路改良について、国庫支出金を活用することで大幅にコストを削減した上で実施することが出来る。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 街づくり協定に基づく景観整備との同調により、地元住民との協働による道路環境の整備及び街並みの形成が実現できる。 当該路線を街なみの景観と調和した道路環境に整備することにより、当該路線の状況改善だけでなく中心市街地全体の活性化に寄与することができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>中心市街地において、歴史的資産や文化を活用し、快適で調和の取れた街なみの形成と向上を図るために、中心市街地活性化基本計画に基づいて、環境整備を進めてきた。 本事業にて、平成29年度に京町線の整備を、令和元年度に広小路本町線の整備をそれぞれ完了した。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>令和元年度をもって本事業は終了となる。今後また何か必要なことが出てきた時には、その必要に応じた事業の展開を検討していく。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	交通安全対策整備事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	芦田 裕人						
会計情報	事業コード	120208	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	192	頁
施策体系	施策コード	010401	施策名	ユニバーサルデザインを普及させる									
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市通学路交通安全プログラム							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	市道の道路管理者として適切な交通安全対策を実施し、予測できる危険の軽減をはかり、通行する人や車両の安全を確保する。市内の学校の通学路についても対策を実施していくことで通学中の児童・生徒などの安全性を高めるとともに、保護者や地域住民の不安を軽減する。高齢者や障がいのある人、子どもなど誰にでも安全でやさしい交通施設の整備を促進する。								
対象者	市民、通学中の児童・生徒、市道全域、市道上交通安全施設		対象者数	78,000		単位あたりコスト	0.4		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	土木工事施行業者等								
事業概要 (簡条書き)	市道や通学路における危険箇所について、交通安全対策(道路反射鏡・防護柵・区画線・交差点改良など)を行なう。交通施設のバリアフリー化を実施する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	2,976	修繕料(As舗装、カーブミラー等)						
	役員費	597	樹木伐採(通学路安全対策 平野本線・平野12号線)						
	委託料	446	公共嘱託登記委託料(用地課)						
	工事請負費	20,405	交通安全施設設置工事、小谷ヶ丘本掘線緊急安全対策工事、内田蛇ヶ端線ほかバリアフリー化工事ほか						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	14,600	24,600	31,800		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	14,600	24,600	31,800						
予算財源内訳	① 一般財源	13,000	23,000	30,000					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	1,600	1,600	1,800					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	△ 176	0		0			
	② 配当予算	14,600	24,424	0		0			
	③ 執行額	10,994	24,424	0		0			
	④ 執行率	75.3%	100.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.38/0	0.61 / 0.00	0.61 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,040	4,880	4,880		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	14,034	29,304	4,880						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域活性化	種類	土木債	実績金額	2,200	決算付属資料	52	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	改良箇所数	箇所	28/28	52/52	50 / 40	/ 50	-		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	工事件数	工事	4/4	10/10	4 / 6	/ 10	-		
		単位あたりコスト	3823.75	1099.40	6105.91				
			/	/	/	/			
		単位あたりコスト							

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・市道管理者として、市道の危険箇所等の交通安全対策を実施し、事故防止、交通の円滑化を図る必要がある。 ・通学路についても、通学中の児童・生徒等の安全性を高めることは必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地元、学校、PTAなどから交通安全対策に関する要望が数多くあるなかで、緊急度、優先度を見極めながら実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に交通環境の改善を行うことで、交通事故防止、交通の円滑化を図れる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・めまぐるしく変化する道路交通状況のなか、交通安全対策に対するニーズに応えることにより、予測できる危険の軽減を図り、通行する人や車両の安全の確保に努めている。とくに通学路については福知山市通学路安全推進会議で策定された福知山市交通安全プログラムに基づき、道路管理者として市道における通学路の危険箇所の安全対策を進めている。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路を含めた市道の交通安全対策を進めていくが、地元、学校、PTAなどからの交通安全対策に関する要望に応える必要がある。通学路についても、福知山市交通安全プログラムに基づき、実施可能分について順に実施していく必要がある。 ・数多くある要望のなかから緊急度、優先度などを見極めながら検討していくが、本事業の交通安全対策にかかる分については交通安全対策交付金見合いで実施しているため、事業費確保に影響がある。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	辺地対策事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	芦田 裕人					
会計情報	事業コード	120307	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	192	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名	市道などの整備を推進する								
計画期間	開始年度	平成23年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	辺地計画					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	交通条件及び自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれず、ほかの地域に比較して住民の生活文化水準が著しく低い山間地、離島その他のへんぴな地域である辺地地域における交通基盤を確保するとともに、地域の活性化を図る。								
対象者	地元住民、道路利用者・辺地指定地域内の市道・過疎指定地域内の市道		対象者数	1,062		単位あたりコスト	6.6		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	土木工事施工業者等								
事業概要 (簡条書き)	辺地計画に基づいて市道の新設改良を行ない、良好な生活道路を確保する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	工事請負費	4,725		中佐々木キタ線道路舗装改良工事					

III 予算執行状況													
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	5,000		5,000		5,000		予算編成時記入					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①~③)	5,000		5,000		5,000								
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	5,000		5,000		5,000							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	0		△ 276		0		0					
	② 配当予算	5,000		4,725		0		0					
	③ 執行額	4,690		4,725		0		0					
	④ 執行率	93.8%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.17/0		0.28 / 0.00		0.28 / 0.00		0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	1,360		2,240		2,240		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,050		6,965		2,240								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	辺地対策債		種類	土木債		実績金額	4,600		決算付属資料	52	頁	
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁	
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁	

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	工事実施路線	路線	1/1	1/1	1 / 1	/ 1	-		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	工事実施路線	路線	1/1	1/1	1 / 1	/ 1	-		
	単位あたりコスト		4668.00	4690.00	4724.50				
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・辺地地域における生活道路の老朽化及び不便さを解消し、良好な交通基盤を確保するため、必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・有利な財源である辺地対策債を活用し、辺地計画に基づいて事業実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・辺地地域の住民ニーズに応えるとともに、市道改良により市民生活の向上と安全性の向上が図れる。辺地地域の活性化に寄与することで有効性は増加している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	本市における辺地地域において、辺地対策事業の対象自治会からの要望に対し、辺地計画に基づき辺地対策債という有利な財源を活用しながら計画的に市道の道路舗装改良を実施しており、快適な生活環境の確保や辺地地域の活力の創造に資することができている。		
これまでの課題及び今後の方向性	有利な財源である辺地対策債を活用して計画的に事業実施していく必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価			
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	防衛施設周辺整備事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	芦田 裕人						
会計情報	事業コード	120312	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	192	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名	市道などの整備を推進する								
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	防衛施設周辺の道路整備を行うことにより、安全な車輛経路の確保及び周辺住民の民生安定化を図る。												
対象者	地元住民・市民・市道	対象者数	31,285	単位あたりコスト	0.9								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													

事業概要 (箇条書き)	防衛施設周辺道路にあたる市道室3号線ほか2線は、幅員が狭小で車両の離合が困難なことや車両通行による歩行者の危険性が高いこと等、住民生活に支障をきたしている。地元自治会は、高齢化が進行し、公共交通機関として唯一バスが当該路線を運行している集落であることなどから、早期に拡幅整備をし、周辺住民の生活の安心・安全化を図る。 福知山射撃場付近において万一火災が発生した場合、近隣に水源がなく、近隣住民は不安を感じている。不安解消のため空口池を緊急の消防水利として利用できるよう、アクセス道路となっている路線を整備する。												
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	費目を挙げきれないため欄の合計≠執行額	主な業務内容
	旅費	81	実施計画書提出等	
需用費	24	事務用品購入等		
委託料	21,157	不動産鑑定評価業務(用地課)、室3号線調査設計業務ほか		
使用料及び賃借料	263	デジタル複合機賃借		
公有財産購入費ほか	3,406	防衛施設周辺整備事業(室3号線ほか2線)に係る土地売買契約(用地課)、ほか		

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	16,341	26,410	28,286	予算編成時記入
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①~③)	16,341	26,410	28,286		
予算財源内訳	① 一般財源	4,903	2,023	7,549	
	② 国支出金	11,438	18,487	20,737	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	5,900	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	△ 1,480	0	
	② 配当予算	16,341	24,930	0	
	③ 執行額	16,059	24,930	0	
	④ 執行率	98.3%	100.0%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.3/0	0.33 / 0.00	0.33 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	2,400	2,640	2,640	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	18,459	27,570	2,640		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	防衛施設周辺整備事業国庫補助金	種類	土木費国庫補助金	実績金額	18,168	決算付属資料	20	頁
	特財名称	一般補助債	種類	土木債	実績金額	5,700	決算付属資料	52	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	実施路線	線	/	0/3	3 / 3	/	3
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	実施路線	線	/	0/3	3 / 3	/	3
	単位あたりコスト		0.00	0.00	8309.94		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 当路線は、周辺住民にとって主要な生活道路であるが、部分的に現道の幅員は狭小であり、緊急車両との離合は危険な状態であるため、道路整備が必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の生活の安全確保のために必要な整備について、補助率(70%)が良い防衛補助金を活用することでコストを抑えながら効率的に実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施することにより、バス及び緊急車両と一般車両の安全な離合が可能となり、利便性と安全性が向上し、駐屯地周辺の民生安定が図れる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	補助率がよい防衛省の補助金を活用し、必要な整備を効率よく実施できている。		
これまでの課題及び今後の方向性	防衛施設周辺整備事業については、旭が丘小谷ヶ丘線をもって一旦終了することとなるため、今後は、防衛施設との因果関係を明確にし、新たな事業箇所の検討、選定を実施する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	道路改良事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	芦田 裕人					
会計情報	事業コード	120313	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	192・194	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名	市道などの整備を推進する								
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	地元からの市道改良要望路線等について、拡幅改良及び道路新設等を行う。 地元の要望に応えるだけでなく、車両の通行確保や市民生活の利便性向上、沿道住民及び市民生活の安心・安全性の向上を図る。								
対象者	地元住民・市民・市道	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.5				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	測量設計業者、土地家屋調査士協会等								
事業概要 (簡条書き)	地元からの市道改良要望路線等について、必要度・緊急度、経済効果等を考慮し拡幅改良及び道路新設等を行う。 (令和2年度実施予定路線数:4路線 うち新設改良2路線、部分改良1路線、舗装改良1路線)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	役員費		1 収入印紙代(西町市寺線道路改良に伴う土地売買契約)(用地課)						
	委託料	875	公共嘱託登記業務(土師8号線、西町市寺線)						
	工事請負費	31,198	道路新設改良(法林寺長田野工団地線ほか)、道路舗装改良(荒木正明寺線ほか)、道路部分改良(鴨野団地本線)						
公有財産購入費		107	道路改良事業(西町市寺線)に係る土地売買契約(用地課)						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	19,392	10,000	13,000		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	24,000	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	19,392	34,000	13,000						
予算財源内訳	① 一般財源	15,617	12,260	12,860					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	3,600	21,600	0					
	⑤ その他特財	175	140	140					
決算情報	① 流充用額	13,056	△ 1,819	0		0			
	② 配当予算	32,448	32,181	0		0			
	③ 執行額	24,528	32,181	0		0			
	④ 執行率	75.6%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.63/0	0.96 / 0.00	0.96 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	5,040	7,680	7,680		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	29,568	39,861	7,680						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路橋りょう費分担金	種類	土木費分担金	実績金額	179	決算付属資料	8	頁
	特財名称	公共施設等適正管理推進債	種類	土木債	実績金額	21,100	決算付属資料	52	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	工事実施路線	路線	15 / 15	6 / 6	5 / 5	/ 4	-		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	工事実施路線	路線	15 / 15	6 / 6	5 / 5	/ 4	-		
	単位あたりコスト		2760.33	4088.00	6436.21				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・住民のニーズに応じた事業である。 ・道路の拡幅改良等により、緊急自動車の通行や沿道住民及び市民生活及び安全性の向上を確保するものである。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地元要望路線について必要性、緊急性、経済効果などを考慮し適正な事業実施を行なっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・住民のニーズに応えるとともに、改良による市民生活及び安全性の向上の観点から、有効性は増加している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	地元の要望に応えながら、市民生活の利便性や安全性の向上を図れている。		
これまでの課題及び今後の方向性	道路改良に対する地元からの要望は多いため、必要性、緊急性、経済効果などを考慮しながら精査し、事業箇所を決定し実施している。しかしながら、財政状況は厳しいことから、施工路線についてはさらに精査し、優先度をつけて計画的に実施していく必要がある。また、社会資本整備総合交付金など、交付金が活用できるものは活用を検討する必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	過疎対策事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	芦田 裕人					
会計情報	事業コード	120315	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	194	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名	市道などの整備を推進する								
計画期間	開始年度	平成22年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	過疎計画					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	二												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	過疎地域における交通基盤を確保し、過疎地域の活性化を図る。 安心安全な道路交通を確保することにより、過疎地域における市民生活の向上を図る。								
対象者	地元住民、道路利用者・過疎指定地域内の市道			対象者数	10,791		単位あたりコスト	2.3	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	測量設計業者、土木工事施工業者								
事業概要 (簡条書き)	過疎計画に基づき市道の改良を行ない、安心安全で良好な交通基盤を確保する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	工事請負費	22,641		山田線改良工事(現年11,326,700、繰越11,314,560)					
	補償、補填及び賠償金	453		山田線道路改良工事に係る電気設備等移転補償					

III 予算執行状況													
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	19,800		19,000		55,300		予算編成時記入					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	△ 6,397		5,594		7,220							
	前年度繰越	6,417		12,814		7,220							
次年度繰越	△ 12,814		△ 7,220		0								
小計(①~③)	13,403		24,594		62,520								
予算財源内訳	① 一般財源	3		△ 6		20							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	13,400		24,600		62,500							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0					
	② 配当予算	13,403		24,594		0		0					
	③ 執行額	13,006		23,094		0		0					
	④ 執行率	97.0%		93.9%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.27/0		0.28 / 0.00		0.28 / 0.00		0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	2,160		2,240		2,240		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	15,166		25,334		2,240								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	過疎対策(現年・繰越)			種類	土木債		実績金額	23,000		決算付属資料	52	頁
	特財名称				種類			実績金額			決算付属資料		頁
	特財名称				種類			実績金額			決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	実施路線	線	3/4	2/2	1 / 2	/ 4	13		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	実施路線	線	3/4	2/2	1 / 2	/ 4	13		
	単位あたりコスト		7763.33	6503.00	23094.39				
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト		0.00	0.00					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・過疎地域における生活道路の老朽化及び不便さを解消し、良好な交通基盤を確保するために必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・過疎計画に基づき、有利な財源である過疎対策債を活用しながら事業実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・過疎地域の住民ニーズに応えるとともに、市道改良により市民生活の向上と安全性が図られる。辺地地域の活性化に寄与することで有効性は増加している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	本市における過疎地域において、対象自治会からの要望に対して、過疎計画に基づき過疎対策債という有利な財源を活用し、計画的に市道の道路舗装改良等を実施しており、快適な生活環境の確保や過疎地域の活力の創造に資することができる。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後も有利な財源を活用しながら効果的に事業実施していく必要がある。 現計画は平成28年度から始まっているが、自治会からの要望全てに応えられているわけではないため、前期の過疎計画から継続となっている路線等については、重点的に整備する必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	広域交通網整備促進事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	芦田 裕人					
会計情報	事業コード	120333	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	194	頁
施策体系	施策コード	030303		施策名 道路のネットワークを充実させる									
計画期間	開始年度	平成23年度		終了予定年度	令和4年度		関連計画名	未来創造 福知山					
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	国道9号及び駅南地域の交通混雑を解消し、郊外幹線道路へ通行車両を誘導するため、道路の新設改良を行ない、市街地の交通体系の充実を図る。								
対象者	道路利用者・地元住民		対象者数	78,000		単位あたりコスト	0.1		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	福知山停車場奥榎原線は、トラック等の走行が多く渋滞が頻繁に起こっている。本路線を整備することで、地域間交通や連携を強化するとともに、安全で円滑な交通の確保を図る。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	工事請負費	8,362		福知山停車場奥榎原線道路新設改良工事					

III 予算執行状況													
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	8,000		10,000		2,600		予算編成時記入					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	60,900		6,982		0							
	前年度繰越	67,881		6,982		0							
	次年度繰越	△ 6,982		0		0							
小計(①～③)	68,900		16,982		2,600								
予算財源内訳	① 一般財源	3,499		882		2,600							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	65,400		16,100		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	0		△ 1,638		0		0					
	② 配当予算	68,900		15,344		0		0					
	③ 執行額	56,889		8,362		0		0					
	④ 執行率	82.6%		54.5%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.11/0		0.23 / 0.00		0.23 / 0.00		0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	880		1,840		1,840		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	57,769		10,202		1,840								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	旧合併特例債		種類	土木債		実績金額	7,900		決算付属資料	52	頁	
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁	
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁	

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	工事予定路線	路線	1 / 2	1 / 2	1 / 2	/ 2	2		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	工事完了路線	路線	1/2	1/2	1 / 2	/ 2	2		
	単位あたりコスト		105833.00	56889.00	8362.20				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・駅南地域や国道429号及び国道9号沿線周辺における交通混雑を解消するため道路網の整備は必要。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・合併特例期間において、充当率の高い合併特例債を活用して計画通りに効率よく事業実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・広域交通網として、道路網を整備することは市民生活の利便性の向上が図れる。 ・またアクセス性の向上が図れることから、有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	本事業により、国道9号及び駅南地域など市街地周辺において頻繁に発生している交通混雑の解消、市街地周辺とのアクセス性の向上を図るとともに、住民交流や観光施設への利用の活性化、さらには、緊急避難路として位置付けることで安全で円滑な交通体系の充実化も図っている。すでに完成した路線もあり、その事業効果については今後検証していく必要がある。		
これまでの課題及び今後の方向性	公図と現況が合致していないところもあり用地買収などに時間を要しているが、用地買収が整ったところから工事を進めるなど、全体工程を圧縮する方向で事業を進めていく。これまでに完了した路線に続き、福知山停車場奥榎原線についても早期の全線開通を目指して事業を継続していく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	社会資本整備総合交付金事業(道路整備)												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	芦田 裕人					
会計情報	事業コード	120336	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	194	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名	市道などの整備を推進する								
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	社会資本総合整備計画					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報										
事業目的(あるべき姿)	府が設定する社会資本整備計画である「丹後・中丹地域の観光と産業の振興を支援する交通基盤施設の整備と安心安全なまちづくり」に関連した整備により、道路新設改良を行なう。									
対象者	市民・沿線住民・市内市道			対象者数	78,000		単位あたりコスト	7.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	測量設計業者、土木工事施工業者等									
事業概要(簡条書き)	道路改良等を実施することで交通基盤の整備を図り、観光及び産業の振興を支援する。 由良川水系河川整備計画に伴い、府道福知山綾部線と府道舞鶴綾部福知山線に接続している川北荒木線の川北橋を整備するほか、道路改築、舗装修繕、歩道整備などの工事を実施する。									
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	費目を挙げきれないため欄の合計≠執行額				主な業務内容			
	委託料	19,242	本線(川北橋)左岸道路設計、小谷ヶ丘堀山線用地測量ほか							
	使用料及び賃借料	6,965	(繰越)川北橋仮橋覆工板(左岸・右岸)賃借							
	工事請負費	457,862	川北橋上下部工工事、同両岸築堤工事、川北荒木線道路新設改良工事ほか							
	公有財産購入費	36,920	川北荒木線、小谷ヶ丘堀山線に係る土地売買							
補償、補填及び賠償金ほか	12,126	川北荒木線改良工事に係る土地の使用に関する補償ほか								

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	336,317	422,000		330,000				予算編成時記入
	② 補正予算	163,000	49,766		0				
	③ 繰越予算	△ 126,058	130,744		295,017				
	前年度繰越	299,702	425,761		295,017				
次年度繰越	△ 425,761	△ 295,017		0					
小計(①~③)	373,259	602,510		625,017					
予算財源内訳	① 一般財源	21,905	23,412		27,696				
	② 国支出金	72,253	303,798		339,621				
	③ 府支出金	0	0		0				
	④ 地方債	279,100	275,300		257,700				
	⑤ その他特財	0	0		0				
決算情報	① 流充用額	0	△ 30,326		0		0		
	② 配当予算	373,259	572,183		0		0		
	③ 執行額	359,535	533,115		0		0		
	④ 執行率	96.3%	93.2%						
人概工算	① 従事職員数(正職員/嘱託職員)	1.23/0	1.98 / 0.00		1.98 / 0.00		0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	9,840	15,840		15,840		0		
トータルコスト(予算執行額+概算人件費)	369,375	548,955		15,840					
主な利用特財(N-1年度実績値)	特財名称	社会資本整備総合交付金(現年・繰越)	種類	土木費国庫補助金	実績金額	285,998	決算付属資料	20	頁
	特財名称	公共事業等(現年・繰越)	種類	土木債	実績金額	141,700	決算付属資料	52	頁
	特財名称	防災・減災・国土強靱化緊急対策	種類	土木債	実績金額	27,100	決算付属資料	52	頁

IV 業績指標									
成果実績(アウトカム)実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	実施路線	路線	7/7	5/5	4 / 6		/ 3		6
			/	/	/		/		
活動実績(アウトプット)実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	実施路線	路線	7/7	5/5	4 / 6		/ 3		6
		単位あたりコスト	14523.29	71907.00	133278.69				
			/	/	/		/		
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・安心・安全なまちづくりに関連した道路整備を行うことで、利用者、沿線住民の安全確保、利便性の向上を図る。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・国の交付金である社会資本整備総合交付金を活用し、計画的に事業実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・道路を整備することにより、市民生活の安全性の向上を図るとともに、生活環境の整備が行なわれる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	道路は市民生活や経済活動の基盤となる重要な社会資本であり、事業実施することで利用者、沿線住民の安全を確保するとともに、利便性の向上、観光及び産業の振興を図っている。幹線道路などにおいて新設改良を計画的に実施している。		
これまでの課題及び今後の方向性	通学路等の交通安全対策の推進や、道路構造物の老朽化対策、防災・減災対策と安心・安全な道路整備の推進に対する交付金制度を活用するなかで、安心安全な道路網の整備や道路状況を保持していくためには、本事業として効果は大きく、今後についても継続していく。国の交付金を活用して事業を実施するが、国からの交付金については、全国的に要望が多いことから本市の要望どおりに予算確保ができないことが課題である。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	地域間交流促進ネットワーク事業(市道整備)												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	芦田 裕人					
会計情報	事業コード	120353	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	194	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名	市道などの整備を推進する								
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	『北近畿の拠点"福知山"のネットワークを強化する道づくり計画(地域再生計画)』					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報										
事業目的(あるべき姿)	市内の道路網を整備し、交通の利便性、地域間交流の促進、交流ネットワークの強化を通じて、災害時における避難経路の確保、安全・安心な道路環境、観光入込客数の増加を図る。									
対象者	市民・地元住民・市道			対象者数	78,000		単位あたりコスト	2.0		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	土木工事施工業者等									
事業概要(簡条書き)	地域版総合戦略(まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略)に基づいて、地域再生計画に位置付けて、自主的・主体的で先導的な事業を実施する。地方創生推進交付金により、市道及び林道の道路改良・舗装改良を行う。									
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容						
	委託料	17,733		笹場小野線測量設計業務						
	工事請負費	133,765		道路舗装改良工事(二瀬川大江山線、小倉線、上荒河観音寺線)、歩道新設工事(広小路勅使線)						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	20,000	10,000	7,000	予算編成時記入				
	② 補正予算	115,347	43,074	0					
	③ 繰越予算	△ 114,699	96,625	18,074					
	前年度繰越	0	114,699	18,074					
	次年度繰越	△ 114,699	△ 18,074	0					
小計(①~③)	20,648	149,699	25,074						
予算財源内訳	① 一般財源	6,674	△ 6,395	2,332					
	② 国支出金	4,174	81,794	11,742					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	9,800	74,300	11,000					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	1,800	0	0				
	② 配当予算	20,648	151,499	0	0				
	③ 執行額	20,648	151,499	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数(正職員/嘱託職員)	0.32/0	0.67 / 0.00	0.67 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,560	5,360	5,360	0				
トータルコスト(予算執行額+概算人件費)	23,208	156,859	5,360						
主な利用特財(N-1年度実績値)	特財名称	地方創生道整備推進交付金(現年・繰越)	種類	土木費国庫補助金	実績金額	81,794	決算付属資料	20	頁
	特財名称	旧合併特例(現年・繰越)	種類	土木債	実績金額	27,000	決算付属資料	52	頁
	特財名称	補正予算・公共事業等(繰越)	種類	土木債	実績金額	45,000	決算付属資料	52	頁

IV 業績指標									
成果実績(アウトカム)実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	工事完成路線	路線	0 / 8	0 / 8	2 / 8	/ 8	8		
			/	/	/	/			
活動実績(アウトプット)実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	事業実施路線	路線	1 / 1	2 / 2	4 / 4	/ 1	8		
	単位あたりコスト		23184.00	10324.00	37874.64	/			
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・地方再生、定住化を進めていくためには、道路などの社会インフラが整っていることが基本であり、道路整備は必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・本来ならば市単費で行わざるを得ない市道の道路改良について、国庫支出金を活用することで大幅にコストを削減した上で実施することが出来る。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・平成28年度から令和2年度までの5箇年で策定した地域再生計画に、市道及び林道の道路改良・舗装改良等を位置付け整備を行なうことは有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>地方版総合戦略(まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略)に基づいて、北近畿の拠点としてのネットワークづくりを強化して地域を再生していくために、地域再生計画「北近畿の拠点”福知山”のネットワークを強化する道づくり計画」を策定した。この地域再生計画に、市道及び林道の道路改良・舗装改良等を位置付け、平成28年度から令和2年度までの5箇年をかけて計画的に事業に取り組むことで、地方創生の推進に寄与できる。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>地域再生計画では、少子高齢化・人口減少などの社会経済情勢の変化に対応した地域の再生を図ることを目的としているが、計画に掲載している市道を整備することで、観光客の流入を図り、地域経済の活性化を図るなど地方創生への効果を見えるようにしていく必要がある。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
--------	--

事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	橋りょう長寿命化対策事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	芦田 裕人						
会計情報	事業コード	120324	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	04 橋りょう維持費	会計	01 一般会計	決算付属資料	194	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名	市道などの整備を推進する								
計画期間	開始年度	平成20年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	-					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	橋りょうの定期的な修繕計画である長寿命化計画の策定を行い、予防的な修繕及び計画的な架け替えを行う。								
対象者	市民、利用者、市道の橋りょう			対象者数	78,000		単位あたりコスト	0.5	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	測量設計業者、土木工事業業者等								
事業概要 (簡条書き)	橋りょうを良好な状態で維持するため、現況調査及び長期的な修繕計画である長寿命化計画の策定を行い、今後老朽化する道路橋の増大に対し予防的な修繕及び計画的な架け替えを進める。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容				
	委託料	34,734			(繰越)橋りょう点検				

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	106,600	13,000	8,500	予算編成時記入						
	② 補正予算	0	20,500	0							
	③ 繰越予算	4,242	7,283	27,500							
	前年度繰越	39,025	34,783	27,500							
	次年度繰越	△ 34,783	△ 27,500	0							
小計(①~③)	110,842	40,783	36,000								
予算財源内訳	① 一般財源	2,696	12,380	7,123							
	② 国支出金	56,546	22,553	18,577							
	③ 府支出金	0	0	0							
	④ 地方債	0	0	10,300							
	⑤ その他特財	51,600	5,850	0							
決算情報	① 流充用額	△ 9,813	△ 6,000	0	0						
	② 配当予算	101,028	34,783	0	0						
	③ 執行額	74,174	34,734	0	0						
	④ 執行率	73.4%	99.9%								
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.43/0	0.66 / 0.00	0.66 / 0.00	0.00 / 0.00						
	② 概算人件費	3,440	5,280	5,280	0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	77,614	40,014	5,280								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	社会資本整備総合交付金(繰越)		種類	土木費国庫補助金		実績金額	19,005	決算付属資料	20	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	橋りょう点検実施数	橋	337/1,101	113/1,081	269 / 1081	/ 1081	1081		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	橋りょう点検実施数	橋	337/1101	113/1081	269 / 1081	/ 1081	1081		
	単位あたりコスト		353.77	656.41	129.12				
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 橋りょう施設を長く良好な状態で維持していくことは、市民、利用者の安心安全な通行に必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 策定計画に基づいて計画的に補修を行なっていくことで、予防的な修繕及び計画的な架け替えに方針転換でき維持管理費の縮減につなげることができる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理費の縮減を図ることができる。 道路橋の安全性、信頼性を確保することができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	平成26年7月より、5年に1度の近接目視点検を行ない、点検結果により長寿命化計画を策定して維持管理を実施している。健全度を4段階で評価しており、市内の橋りょうについては現在の状況を踏まえた上での維持管理を行えている。		
これまでの課題及び今後の方向性	5年に1度の点検が必要であり、限られた期間で、点検を完了していかなければならないため、計画的に進めていくことはもちろん、執行にかかる予算、財源についても確保していく必要がある。 点検費用が莫大であるため、職員による点検を実施するための技能取得や、国に対し点検期間・内容も含めたルール改善を要望している。業績指標については、計画策定後に設定する予定である。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	弘法川等河川改修関連橋りょう整備事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	芦田 裕人					
会計情報	事業コード	550402	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	04 橋りょう維持費	会計	01 一般会計	決算付属資料	194	頁
施策体系	施策コード	040103		施策名	市街地の浸水対策を推進する								
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和元年度		関連計画名	-					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金)												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	平成26年8月豪雨による内水被害対策として、国・府・市3者での「由良川流域(福知山市域)における総合的な治水対策協議会」での指針に基づいて、必要な整備を行う。 整備目標を定め、計画的に事業を進めていくことで、由良川流域住民はもとより、市民の安心・安全に寄与する。								
対象者	市民、利用者、市道の橋りょう		対象者数	10,284		単位あたりコスト	8.1		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	土木施工業者等								
事業概要 (簡条書き)	京都府による弘法川の河川改修にあわせて、弘法川に架かっている市道橋の改修を行ない、流れの阻害となる橋脚をなくすなど河川断面の阻害が少なくなるように架け替える。 事業にかかる費用のうち、市道管理者として1/2を負担する。対象：篠尾新町地内の新弘橋1橋(市道篠尾新町呉服線)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	負担金補助及び交付金	83,091		弘法川河川改修新弘橋改築工事受託負担金(市道篠尾新町呉服線)					

III 予算執行状況													
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	80,000		0		0		予算編成時記入					
	② 補正予算	3,091		0		0							
	③ 繰越予算	△ 83,091		83,091		0							
	前年度繰越	0		83,091		0							
	次年度繰越	△ 83,091		0		0							
小計(①~③)	0		83,091		0								
予算財源内訳	① 一般財源	△ 3,000		3,091		0							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	3,000		80,000		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0					
	② 配当予算	0		83,091		0		0					
	③ 執行額	0		83,091		0		0					
	④ 執行率			100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.02/0		0.02 / 0.00		/		0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	160		160		0		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		160		83,251		0							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	防災対策債(繰越)		種類	土木債		実績金額	80,000		決算付属資料	52	頁	
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁	
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁	

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	工事完了	件	0 / 1	0 / 1	1 / 1	/ -	1		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	工事完了	事業	0 / 1	0 / 1	1 / 1	/ -	1		
	単位あたりコスト		0.00	0.00	83091.00				
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 国・府・市3者による治水対策協議会で示された方針に基づいて、内水被害対策のひとつとして進めており、治水対策上、必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 京都府管理河川であるため、市道橋を京都府施工で架け替えるものであり、工事費については河川管理者である府と、市道管理者である市とで1/2ずつ負担する。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 内水被害対策については、整備目標を定め、計画的に事業を進めていくことで市民の安心・安全に寄与することができ、事業として有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> 当該事業は、平成26年8月豪雨による内水被害対策のひとつとして、国・府・市3者による「由良川流域(福知山市域)における総合的な治水対策協議会」での方針に基づき進められている。計画的に事業を進めていくことで、市民の安心・安全に寄与することができる。 		
これまでの課題及び今後の方向性	事業自体は完結したが、今後同様の案件がある場合は有利な財源も含め検討・調整を行う。		

VI 他部署評価	
事後事業評価	
事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針	
方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果	
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	持原池管理事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	芦田 裕人						
会計情報	事業コード	550305	款	08 土木費	項	03 河川費	目	01 河川総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	194	頁
施策体系	施策コード	040102	施策名	治山・治水対策を強化する									
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	農業用ため池「持原池」について、地元と管理協定を結び洪水調整池として使用し、市街地の安全確保を図る。								
対象者	河川流域住民、市民	対象者数	12,128	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	土木工事事業者等								
事業概要 (簡条書き)	持原池管理協定書に基づき、持原池使用料を篠尾農区及び厚自治会に支払う。洪水調整池としての維持管理(除草業務)を行なう。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	使用料及び賃借料	50	持原池使用料						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	266	266	266	266	予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	266	266	266	266					
予算財源内訳	① 一般財源	266	266	266	266				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	△ 216	0	0				
	② 配当予算	266	50	0	0				
	③ 執行額	266	50	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.05/0	0.10 / 0.00	0.10 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	400	800	800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	666	850	800						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	管理回数(除草実施)	回	1/1	1/1	1 / 1	/ 1	1		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	管理回数(除草実施)	回	1/1	1/1	1 / 1	/ 1	1		
	単位あたりコスト		266.00	266.00	50.00				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 西川流域の市街地整備に伴い、持原池を洪水調整池として使用することは、洪水調整機能を正常に維持するうえで必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 持原池管理協定書に基づき、持原池権利者である地元農区及び自治会と、持原池の使用及び管理を行なっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 市街地の浸水を防止し、市民の安全を守るためには有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> 治水対策として、持原池を洪水調整池として使用するにあたり、農業用水の円滑な利用を図りつつ、洪水調整機能を正常に維持していくことで、市街地の浸水防止を図り、市民の安心を守ることができる。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>R2年度以降、調整池維持管理事業として市全体の調整池を管理していく予定である。持原池は地元で管理を依頼しているのに対し、他の調整池は直営で管理することから、現時点では別事業としているが、今後、事業の統合も含め方針を検討する。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
--------	--

事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	河川維持管理事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	芦田 裕人						
会計情報	事業コード	550317	款	08 土木費	項	03 河川費	目	01 河川総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	194・196	頁
施策体系	施策コード	040102	施策名	治山・治水対策を強化する									
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	河川を適正に管理し、周辺環境の保全をはかるとともに、出水時の被災を未然に防止し市民生活の安全性の向上をはかる。								
対象者	市民、特に河川流域住民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	土木工事施工業者等								
事業概要 (箇条書き)	市管理河川の維持管理経費。 市全域で管理する380の河川を適正に管理し健全性を保つために、河川護岸及び河床などの損壊箇所の補修を行なう。 河川内に堆積している土砂の浚渫を行ない、流下能力を確保し、災害防止を図る。 河川への流入を抑制するため、調節池の管理を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	役務費	898	西谷川土砂浚渫・撤去業務						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	2,300	1,200	9,450		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	2,300	1,200	9,450						
予算財源内訳	① 一般財源	2,115	902	9,115					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	185	298	335					
決算情報	① 流充用額	△ 1,188	△ 302	0		0			
	② 配当予算	1,112	898	0		0			
	③ 執行額	822	898	0		0			
	④ 執行率	74.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.07/0	0.09 / 0.00	0.09 / 0.00		0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	560	720	720		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,382	1,618	720						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	準用河川占用料	種類	土木使用料	実績金額	368	決算付属資料	12	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	浚渫河川数	河川	2 / 3	0 / 0	0 / 1	/ 5	380		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	浚渫工事	件	2 / 3	0 / 0	0 / 1	/ 5	380		
	単位あたりコスト		2357.50	0.00					
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・出水時の被災を軽減し、河川流域住民の安心・安全を守るために必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・安心・安全な河川環境の確保のため、コスト削減を意識しながら適正に維持管理するよう努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・河川の流下能力の確保により災害防止効果を高め安全性を向上させることは、河川周辺の生活環境の向上に繋がり、市民生活の安全性の向上の観点からも有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	市内の河川を適正に維持管理し、流下能力を確保し、災害防止を図ることを目的としており、市民生活の安心安全を守るために事業実施している。		
これまでの課題及び今後の方向性	市管理管理河川は380河川、全体の延長が約371kmあり範囲が広範囲にわたっている。そのほとんどが河川法が適用されない普通河川で、交付金、補助金の対象とならないため河川占用料など限られた財源で、維持管理を実施している。このことから、すべての要望を実施することは困難であるが、未然に災害を防止するために、河川浚渫や緊急的な修繕等を効果的・効率的に実施していきたいと考えている。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	急傾斜地崩壊対策事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	荒木 正人						
会計情報	事業コード	550318	款	土木費	項	河川費	目	河川総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	196	頁
施策体系	施策コード	040102	施策名	治山・治水対策を強化する									
計画期間	開始年度	令和1年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	地方財政法、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律、福知山市土木事業分担金徴収条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	急傾斜地の崩壊対策事業により、人家、避難所、避難路の災害からの被害を低減する。								
対象者	住家、避難所、避難道路	対象者数	237	単位あたりコスト	15.2				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	○京都府が実施する急傾斜地崩壊対策事業に対し市が負担金を支払い、地元自治会が市の負担金額の2分の1を地元分金として負担している。 ○令和元年度は、三河、西岡(北岡)が事業箇所となっている。 【根拠法令】 急傾斜地の崩壊による災害防止に関する法律(急傾斜地法) 福知山市公共土木事業分担金徴収条例第4条に基づく急傾斜地崩壊対策事業及び災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業に係る分担金規定								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	急傾斜地崩壊対策事業負担金	1,600	全体事業費の5%、20%を負担						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	予算編成時記入			
	② 補正予算	5,500	1,600	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	5,500	1,600	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	2,750	500	0	0				
	② 国支出金		0	0	0				
	③ 府支出金		0	0	0				
	④ 地方債		600	0	0				
	⑤ その他特財	2,750	500	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	0	1,600	0	0				
	③ 執行額	5,500	1,600	0	0				
	④ 執行率	100%	100%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.25 / 0.00	0.25 / 0.00	0.25	0.00				
	② 概算人件費	2,000	2,000	2,000	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,006	3,600	2,000						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	急傾斜地崩壊対策事業地元分担金	種類	土木費分担金	実績金額	500	決算付属資料	8	頁
	特財名称	緊急自然災害防止対策債	種類	土木債	実績金額	600	決算付属資料	52	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	事業実施後の土砂崩れによる家屋被害発生件数	件	0	0	0	/ 0	0		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	事業箇所	数	3	2	2	/ 2	0		
	単位あたりコスト		0.00	0.00	800.00				
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・急傾斜地崩壊対策事業を行われることにより、急傾斜地の崩壊による災害から、市民の生命、財産を保護する
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・急傾斜地崩壊対策に係る分担金については、市、地元で半半ずつ負担している。 ・京都府による施工により、効率的かつ速やかに事業が行われている。 ・京都府と地元の間に福知山市が入り調整することで円滑な事業進捗が図られている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府による施工により、有効的かつ着実に事業が進められている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度末をもって、下小田急傾斜地崩壊対策事業が終了し、現在、2箇所(三河、西岡(北岡))の対策が行われている。 ・対策工事が完成すれば、現在、事業箇所となっている、府道二俣三河線、住家などの対象が保全されることになる。 ・現在、三河の一部の急傾斜地指定協議が終了し、事業が進捗している。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>少子高齢化、人口減少などにより国や府の財政も厳しくなる見込みである。 福知山市の財源のみで急傾斜地事業を行える事は難しく、国や京都府に対して、今後とも予算確保につとめて頂く様に要望して行きたい。 対策が必要な避難所、避難路、人家が多数あるが、事業を行うにあたっての採択基準は決まっており、事業化する箇所は限られている。 今後については、対策が必要な箇所について、他の事業も含め、事業採択基準に適合するかどうか検討していく。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	由良川水系樋門等施設管理事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	荒木 正人					
会計情報	事業コード	550382	款	08 土木費	項	03 河川費	目	01 河川総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	196	頁
施策体系	施策コード	040102	施策名	治山・治水対策を強化する									
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	由良川など河川に設置された河川管理施設(樋門)を委託により適正に維持管理し、由良川水位上昇時には樋門操作を行い、由良川本川からの逆流による家屋の浸水被害を低減することで、市民の安心・安全に寄与する。								
対象者	全市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.2				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	自治会長・樋門操作員								
事業概要 (箇条書き)	由良川本川の水位上昇の際、樋門操作員により外水位・内水位等を定期的に観測、および樋門操作により逆流を防ぐことを目的とする。平常時は樋門操作員による平常点行い(5月～10月は2回/月、それ以外は1回/月)、樋門施設の良好な維持管理に務める。市内全体で29施設(由良川12箇所、京都府管理河川17箇所)を管理する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	1,064	樋門維持管理用消耗品購入費、修繕費、電気代ほか						
	役務費	943	損害保険料						
	委託料	10,143	樋門管理業務委託料						
	工事請負費	1,202	安井谷川災害復旧工事						
備品購入費	981	樋門管理施設用備品(ベッド、エアコン等)購入費							

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	13,509	14,004		17,566		予算編成時記入				
	② 補正予算	4,901	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①～③)	18,410	14,004		17,566							
予算財源内訳	① 一般財源	12,332	7,828		10,829						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	6,078	6,176		6,737						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	0	0		0						
決算情報	① 流充用額	△ 762	451		0		0				
	② 配当予算	17,648	14,455		0		0				
	③ 執行額	17,231	14,334		0		0				
	④ 執行率	97.6%	99.2%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.41/0	0.39	/	0.00	0.39	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	3,280	3,120		3,120		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	20,511	17,454		3,120							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	河川費委託金	種類	土木費府委託金	実績金額	5,666	決算付属資料	32	頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	由良川本川逆流被害発生件数	件	0/0	0/0	0 / 0	/ 0	0		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	樋門・樋管実操作出動回数	回	6/0	7/0	1 / 0	/ -	-		
	単位あたりコスト		2276.17	2461.57	14334.11				
	出動回数								
	単位あたりコスト								

出動回数になっていましたが、日数の定義が不明確であるため、回数に変更した。

出勤日数になっていたが、日数の定義が不明確であるため、回数に変更した。

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	樋門操作を行うことで由良川本川からの逆流を防ぎ、外水被害の軽減を図る事業である。治水効果を挙げるためには不可欠である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	由良川および支川を合わせて29箇所の樋門を地元自治会等協力の上で管理している。安全性を重視しながらも毎年ではなく3年に1度の点検を行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	樋門操作を実施することで由良川水位上昇による支川への逆流をふさぐことを目的としており、治水対策の進捗により操作・発生件数ともに減少していくことを期待している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>平常時から河川管理施設(樋門)を良好に管理しており、洪水時には由良川水位の上昇に合わせた基準により樋門操作員に待機・出動・操作を指示し、的確な樋門操作により由良川本川からの逆流を防止している。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 樋門操作員の高齢化が問題となってくる中で、今後の樋門管理体制について国土交通省や専門家の意見も聞きながら検討していく必要がある。 樋門の点検(業務委託)を3年に1度実施しているが、経年劣化等により補修が必要になってくる中で、長寿命化計画により計画的、効果的に対応する必要がある。 樋門管理業務の業務委託と契約事務の一本化が課題となっている。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	由良川改修関連事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	荒木 正人					
会計情報	事業コード	550390	款	08 土木費	項	03 河川費	目	01 河川総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	196	頁
施策体系	施策コード	040102	施策名	治山・治水対策を強化する									
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	由良川河川整備計画												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	由良川治水促進同盟会等により要望活動を実施することで、由良川緊急治水対策を含む由良川改修事業の促進が図られ、沿川住民の安全・安心に寄与する。 国及び関係機関と地元との調整を行うことで由良川改修事業の促進を図る。 由良川の環境保全等に関し国土交通省をはじめ関係機関並びに地元との調整をおこない、市民の防災意識の向上に努める。												
対象者	福知山市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.2								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	由良川改修にかかる着実な予算確保を目的に、由良川沿川5市1町で構成する由良川治水促進同盟会による要望活動の展開や関係団体の活動に参加する。 由良川改修事業の円滑な進捗のため、関係部署や地元自治会、地権者との協議・調整を行う。 由良川の良好な環境保全や取り組み等について活動や支援を行う。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	報償費	50	堤防愛護会清掃謝礼										
	旅費	785	要望活動、各種会議出席、各種研修・講習会参加										
	需用費	282	公用車燃料費、消耗品等購入										
	役員費	243	電話料、郵送料、ごみ廃棄手数料ほか										
	負担金補助及び交付金ほか	421	由良川治水促進同盟会年会費ほか										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,966	2,708	2,817	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	3,966	2,708	2,817						
予算財源内訳	① 一般財源	2,570	1,861	2,667					
	② 国支出金	1,396	847	0					
	③ 府支出金	0	0	150					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	142	△ 451	0	0				
	② 配当予算	4,108	2,258	0	0				
	③ 執行額	4,098	1,780	0	0				
	④ 執行率	99.8%	78.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.78/0	2.21 / 0.00	2.21 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	14,240	17,680	17,680	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	18,338	19,460	17,680						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	河川費委託金	種類	土木費国庫委託金	実績金額	3,508	決算付属資料	22	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	緊急治水対策における堤防整備率	%		44 / 40	68 / 60	85/80	/100
緊急治水対策における宅地嵩上げ契約数	戸		34 / 30	67 / 65	91/91	/91	91
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	同盟会活動回数	回	12 / 10	12 / 11	11 / 11	/11	11
	単位あたりコスト		290.00	341.60	161.79		
	単位あたりコスト					/	

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 5年間で4回の浸水被害があり、治水事業の促進は市民のニーズが非常に高い。 由良川治水促進同盟会は、沿川5市1町の首長で組織して活動している。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 会費は会員市町で公平に負担している。 他の同盟会と要望活動の日程を合わせ旅費の削減、効率的な出張を行っている。 国と地元間に福知山市が入り調整することで円滑な事業進捗が図られ、地元要望を踏まえた工事が実施されている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 要望活動を実施することで、緊急治水対策をはじめとする治水事業の予算確保が保たれており、着実に事業が進んでいる。 連続堤防、輪中堤、宅地嵩上げ着実に進んでおり、いずれもできるだけ早い時期での完成を目指している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>築堤、宅地嵩上げ等の治水対策実施エリアにおいては、由良川本川からの浸水を防ぐ事ができたと考える。中流部では連続堤防、河道掘削等、下流部では輪中堤、宅地嵩上げの緊急治水対策が鋭意実施された。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>公共事業予算が益々厳しくなる中で、早期に治水対策を完成するため、関係機関や地元自治会等との調整を今後も綿密に行う必要がある。国の財政は厳しくなる見込みであり、また、近年の災害は全国的に激甚化しており治水対策の推進には公共事業費を確保しなければならない。引き続き要望活動を展開し、由良川改修の更なる促進を図る必要がある。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	排水機場・樋門管理事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	荒木 正人					
会計情報	事業コード	550391	款	08 土木費	項	03 河川費	目	01 河川総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	196	頁
施策体系	施策コード	040102	施策名	治山・治水対策を強化する									
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	国土交通省の委託を受け、荒河・法川の排水機場の平常時の維持管理及び由良川増水時の機場運転・操作を行う。国・府・市・地元が連携して治水対策に取り組むことで、河川流域住民、市民の安心安全な生活を守る。								
対象者	河川流域住民、市民	対象者数	18,558	単位あたりコスト	0.9				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	地元住民								
事業概要 (箇条書き)	国土交通省から委託を受けている排水機場(法川・荒河)に嘱託職員を各2名配置し、運転・操作業務等を行う。由良川増水時には、各排水機場ごとに、嘱託職員1名、部内職員2名の計3名で法川・荒河排水機場の樋門の開閉及び排水ポンプの運転・操作などを行う。台風などの豪雨の影響で由良川が増水し支流への逆流の恐れがある場合に、樋門の操作を行わない河川流域住民の安心・安全な生活を守る。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	11	私有車公務使用燃料代						
	委託料	711	弘法川樋門管理業務委託						
	負担金補助及び交付金	31	法川排水機場への職員出務に係る負担金						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,993	1,225		1,284		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①~③)	1,993	1,225		1,284							
予算財源内訳	① 一般財源	0	0		0						
	② 国支出金	1,195	1,225		1,284						
	③ 府支出金	798	0		0						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	0	0		0						
決算情報	① 流充用額	1,188	0		0						
	② 配当予算	3,181	1,225		0						
	③ 執行額	3,181	753		0						
	④ 執行率	100.0%	61.4%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.42/4	0.66	/	4.00	0.66	/	4.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	13,360	15,280		15,280		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	16,541	16,033		15,280							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	河川費委託金	種類	土木費国庫委託金	実績金額	12,848	決算付属資料	22	頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
							-		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	平常時点検(各施設)	回	72/72	72/72	72 / 72	/ 70	54		
	単位あたりコスト			44.18	10.45				
	排水機場出動時間(延べ)	時間	1,402/1,000	842/1,000	105 / 1000	/ -	-		
単位あたりコスト		2.08	3.78	0.00					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 近年、とくにここ数年において台風や集中豪雨等による自然災害が発生しており、有事に備えて適切な体制、対策を講じることは必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 国庫委託金により排水機場及び樋門等について受託している。費用については公共工事設計労務単価を基準にしており、適正である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 国・府・市と地元が連携して治水対策に取り組んでいくことが、河川流域住民はもとより市民の安心安全な生活を守るうえで有効な事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>由良川水系排水機場を平時から適切に維持管理し台風や豪雨による由良川の増水に備えておくとともに、有事の際には迅速かつ的確に機場の操作を行なうことで河川流域住民の安心安全な生活を守ることを目的としている。常駐の嘱託職員により出水期は2回/月、非出水期は1回/月、それぞれ欠かさず点検を実施している。点検の際には法川⇄荒河でそれぞれ職員が行き来し、異常の有無やよりよい運用方法について意見交換をしながら、有事に備えている。</p> <p>令和元年度については平成29年や平成30年のような大きな出水がなかったため、出勤時間が抑えられている。当該事業としては出勤がないこと＝大きな出水がないことが理想であり事業評価と活動実績が比例するものではないため、数値目標は設定しない。【定性的評価】</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 近年は、台風や集中豪雨などにより自然災害が頻繁に発生しており、洪水警戒態勢になると出勤状況が長期化し地元操作員の出勤時間も長期化することとなり、操作員の確保が難しくなる。また、ここ数年は、出水期に限らず、出水期以外でもまとまった降雨などの影響により、突発的に出勤指示がでることがあり、負担増となっている。 また総合治水対策により新たに、国府の排水機場が新設されることにより、施設の平常時の体制及び緊急時の体制を構築していく必要がある。 国、府、市と地元が連携して治水対策に取り組んでいくことは、引き続き取り組んでいく必要がある。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
--------	--

事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	調節池整備事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	芦田 裕人						
会計情報	事業コード	550401	款	08 土木費	項	03 河川費	目	01 河川総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	196	頁
施策体系	施策コード	040103	施策名	市街地の浸水対策を推進する									
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	平成26年8月豪雨による内水被害対策として、国・府・市3者での「由良川流域(福知山市域)における総合的な治水対策協議会」での指針に基づいて、必要な整備を行う。 整備目標を定め、計画的に事業を進めていくことで、由良川流域住民はもとより市民の安心・安全に寄与する。								
対象者	市民、特に法川、弘法川流域住民	対象者数	18,558	単位あたりコスト	40.2				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	測量設計業者、土木工事施工業者等								
事業概要 (箇条書き)	法川及び弘法川上流において、調節池・調整池を整備することで、流量調節による治水対策として、西川調節池の工事、草池・小谷ヶ丘調節池の工事を実施する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	役員費	968	(現年 899,300、繰越 68,500) 西川浚渫業務、土地売買契約書収入印紙代						
	委託料	35,511	(現年 7,252,300、繰越 28,258,740) 調整池用地測量業務、公共嘱託登記士地家屋調査士協会業務ほか						
	工事請負費	578,327	(現年 218,714,454、繰越 359,613,006) 調節池整備工事、排水管設置工事ほか						
	公有財産購入費	106,267	(現年 13,611,815、繰越 92,655,368) 調節池整備事業に係る土地売買契約						
補償、補填及び賠償金	5,649	(繰越) 調節池整備事業に係る物件移転補償契約							

III 予算執行状況														
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)										
予算情報	① 当初予算	549,268	707,000	0	予算編成時記入									
	② 補正予算	18,000	0	0										
	③ 繰越予算	△ 273,083	38,531	449,985										
	前年度繰越	215,434	488,516	449,985										
	次年度繰越	△ 488,516	△ 449,985	0										
小計(①~③)	294,185	745,531	449,985											
予算財源内訳	① 一般財源	△ 19,182	28,480	2,036										
	② 国支出金	50,300	192,551	137,149										
	③ 府支出金	0	0	0										
	④ 地方債	228,700	478,600	310,800										
	⑤ その他特財	34,368	45,900	0										
決算情報	① 流充用額	0	△ 16,537	0	0									
	② 配当予算	294,185	728,995	0	0									
	③ 執行額	289,643	726,722	0	0									
	④ 執行率	98.5%	99.7%											
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.87/0	2.41 / 0.00	2.41 / 0.00	0.00 / 0.00									
	② 概算人件費	6,960	19,280	19,280	0									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	296,603	746,002	19,280											
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	社会資本整備総合交付金(現年・繰越)	種類	土木費国庫補助金	実績金額	192,721	決算付属資料	20	頁					
	特財名称	調節池整備事業公共施設総合管理基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	825	決算付属資料	40	頁					
	特財名称	防災・減災・国土強靱化緊急対策債	種類	土木債	実績金額	145,800	決算付属資料	52	頁					

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	調節池・調整池	池	0/4	0/4	0 / 4	/ -	4		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	事業件数	本	4/4	6/6	4 / 4	/ -	4		
	単位あたりコスト		69077.25	48273.83	181680.62				
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 国・府・市3者による治水対策協議会で示された方針に基づいて、内水被害対策のひとつとして進めており、治水対策上、必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 定められた整備目標に沿って進めていく必要があり、事業の進捗に応じて都度活用可能な国の交付金などの財源を活用することで、可能な限りコストを抑えながら効率化を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 内水被害対策については、整備目標を定め、計画的に事業を進めていくことで市民の安心・安全に寄与することができ、事業として有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> 当該事業は、平成26年8月豪雨による内水被害対策のひとつとして、国・府・市3者による「由良川流域(福知山市域)における総合的な治水対策協議会」での方針に基づき進められている。整備目標を定め、計画的に事業を進めていくことで、市民の安心・安全に寄与することができる。 		
これまでの課題及び今後の方向性	令和元年度予算にて事業完了(R元繰R2予算あり)。令和2年度以降は調節池維持管理事業にて維持管理を行う。		

VI 他部署評価	
事後事業評価	
事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針	
方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果	
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	内水対策事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	芦田 裕人					
会計情報	事業コード	550403	款	08 土木費	項	03 河川費	目	01 河川総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	196	頁
施策体系	施策コード	040103	施策名	市街地の浸水対策を推進する									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名	由良川水系河川整備計画							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	由良川沿川の内水被害が発生する区域において、被害軽減対策を実施する。								
対象者	河川流域住民、市民	対象者数	33,510	単位あたりコスト	0.6				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	土木工事等施工業者等								
事業概要 (箇条書き)	内水被害が発生する区域において、被害軽減対策に係る設計等業務を実施する。 市民及び行政機関において内水位上昇時の現地の水位情報リアルタイムに得るための「危機管理型水位計」を設置する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	168	各種協議参加						
	委託料	12,650	内水対策検討業務						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	24,500	210,000		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	99,000	0					
	③ 繰越予算	0	△ 127,737	127,737					
	前年度繰越	0	0	127,737					
	次年度繰越	0	△ 127,737	0					
小計(①~③)	0	△ 4,237	337,737						
予算財源内訳	① 一般財源	0	△ 24,237	41,837					
	② 国支出金	0	0	103,000					
	③ 府支出金	0	0	30,000					
	④ 地方債	0	20,000	162,900					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	17,055	0		0			
	② 配当予算	0	12,818	0		0			
	③ 執行額	0	12,818	0		0			
	④ 執行率		100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)		0.72 / 0.00	0.72 / 0.00		0.00 / 0.00			
	② 概算人件費		5,760	5,760		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	18,578	5,760						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額		決算付属資料		頁	
	特財名称		種類	実績金額		決算付属資料		頁	
	特財名称		種類	実績金額		決算付属資料		頁	

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	危機管理型水位計設置	箇所			0 / 3	/ 3	3		
	池及びポンプ施設整備	箇所			/ -	/ -	1		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	危機管理型水位計設置	箇所			0 / 3	/ 3	3		
	単位あたりコスト				/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・今後自然災害が発生した場合の内水被害を軽減するために必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・定められた整備目標に沿って進めていく必要があり、事業の進捗に応じて都度活用可能な国の交付金などの財源を活用することで、可能な限りコストを抑えながら効率化を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害を少しでも軽減することができれば、市民の生活において有効であるといえる。 ・内水被害を軽減することはその後の災害復旧などにかかる負担を抑えることにも繋がる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>内水被害が発生する区域において、被害軽減対策に係る対策を実施する。 整備目標を定め、計画的に事業を進めていくことで、河川流域住民の安心・安全に寄与することができる。 市民及び行政機関において内水位上昇時の現地の水位情報リアルタイムに得るための「危機管理型水位計」を設置する。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>概ね5ヶ年で事業を実施するため、関係機関との協議を早急に完了させることが課題となる。 関係機関との連携を密に行い、事業を実施していく。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
--------	--

事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性							
事業名	災害対策用機械緊急出動事業						
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課			所属長	荒木 正人	
会計情報	事業コード	550119	款	09 消防費	項	01 消防費	
				目	05 災害対策費	会計	01 一般会計
						決算付属資料	214
施策体系	施策コード	040103	施策名	災害に対する危機対応力を強化する			
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名		
根拠法令等							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合						
関連事業	排水ポンプ車運転管理事業						

II 事業基礎情報						
事業目的 (あるべき姿)	大雨等により甚大な浸水被害が発生、又は浸水被害の発生が予測されるときに、国土交通省所有の等災害対策用機械(排水ポンプ車)の排水ポンプ車を運用するための出動要請を行い、排水ポンプ車により内水を排水することで、住家並びに主要幹線道路等の浸水被害の低減を図り市民の安心安全に寄与する。					
対象者	全市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.0	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()					
委託先・実施主体等	タキノデンキ株式会社、創成建設株式会社					
事業概要 (簡条書き)	国土交通省が所有する災害対策機械(主に排水ポンプ車)を出動要請し内水を排除することで、住家ならびに主要幹線道路等の浸水被害の低減を図る。					
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容			
	需用費		2 消耗品(すべり止め手袋等)購入			

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	506	3,540	3,563		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	506	3,540	3,563						
予算財源内訳	① 一般財源	506	3,540	3,563					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	1,877	0	0		0			
	② 配当予算	2,383	3,540	0		0			
	③ 執行額	2,383	2	0		0			
	④ 執行率	100.0%	0.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.3/0	0.14 / 0.00	0.14 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	2,400	1,120	1,120		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,783	1,122	1,120						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	前進配置の排水ポンプ車が出動した出水における浸水被害発生回数	回	0/0	0/1	0 / 0	/ 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	前進配置の排水ポンプ車出動回数	回	0/0	1/0	0 / 0	/ -	-
	単位あたりコスト		0.00	1191.50	/	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	由良川堤防整備が進むにつれて、内水対策が課題となってくる中で、排水ポンプ車への関心は非常に高いものがあり、治水効果を高めるためにも必要不可欠である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	排水ポンプ車等の災害対策用機械は国が所有しており機械操作は民間委託されているため、非常に低コストで事業が実施できる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	災害対策用機械を要請するのは大規模洪水発生時となるため、排水ポンプ車による能力で全ての内水を排水することは困難な状態である。排水ポンプ車の出動要請(回数)による作業により、一定の浸水被害低減が成されたものとする。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>平成29年度 台風21号災害の際に出動要請をかけたが、直轄河川に起因する被害に伴うものであったため、国交省判断での排水ポンプ車出動であり、費用の負担は無かった。</p> <p>平成30年度 7月豪雨は29年と同様国交省判断での出動であったため成果実績には反映しない。その豪雨を受け国交省所有の排水ポンプ車2台を市に前進配置として貸与いただけることになり、市の直轄となった。加えて1台市で購入した排水ポンプ車が追加され、直轄台数は3台となった</p> <p>平成31年度 台風の襲来はなく、出動実績はない。</p> <p>稼働実績 近年2回の台風の際に出動したが排水活動を行ったのは台風24号時。 2台を河守地区、1台を尾藤地区に出動させたが両地区において浸水家屋の発生を押さえ込めたことは、排水ポンプ車の効果といえる。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>由良川改修の築堤等整備が進捗するに伴い、内水対策が必要になると想定される中で、より効果的な排水ポンプ車の配備が求められることから、福知山市に限らず広域的な配備についての検討・調整が必要となってくる。 併せて、洪水時の排水ポンプ車に動員する職員の確保、車両の確保等、課題がある。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性							
事業名	排水ポンプ車運転管理事業						
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課			所属長	荒木 正人	
会計情報	事業コード	550196	款	09 消防費	項	01 消防費	
				目	05 災害対策費	会計	01 一般会計
						決算付属資料	216
施策体系	施策コード	040103	施策名	災害に対する危機対応力を強化する			
計画期間	開始年度	令和1年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名		
根拠法令等							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()						
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合						
関連事業	災害対策用機械緊急出動事業						

II 事業基礎情報			
事業目的 (あるべき姿)	浸水被害が発生したとき又は浸水被害の発生が予測されるときに、市が所有する排水ポンプ車を使用し内水等を強制的に河川に排水することにより、家屋等への浸水被害を軽減し、又は防止することで市民の安心・安全に寄与する。		
対象者	全市民	対象者数	78,000
		単位あたりコスト	0.1
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()		
委託先・実施主体等	オカモトデンキ(株)		
事業概要 (簡条書き)	市所有の配水ポンプ車を使用し内水を排除することで、住家ならびに主要幹線道路等の浸水被害の低減を図る。		
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容
	需用費	468	消耗品費(排水ポンプ車格納カバー一式等)
	役務費	27	自動車損害賠償保険料
	委託料	713	排水ポンプ車運転管理業務
	備品購入費	4,484	排水ホースブリッジ等

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0	8,289	3,294	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	0	8,289	3,294						
予算財源内訳	① 一般財源		3,089	3,294					
	② 国支出金		0	0					
	③ 府支出金		0	0					
	④ 地方債		5,200	0					
	⑤ その他特財		0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	0	8,289	0	0				
	③ 執行額	0	5,692	0	0				
	④ 執行率		68.7%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0/0	0.10 / 0.00	0.10 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	800	800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	6,492	800						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	市直轄の排水ポンプ車が出動した出水における浸水被害発生回数	件	-	-	0 / 0	/ 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	市直轄の排水ポンプ車出動回数	回	-	-	0 / 0	/ 0	0
	単位あたりコスト		-	-			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	由良川堤防整備が進むにつれて、内水対策が課題となってくる中で、排水ポンプ車への関心は非常に高いものがあり、治水効果を高めるためにも必要不可欠である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	市が所有している排水ポンプ車については、日常の管理・実操作を含め民間委託されており、低コストで事業が実施できる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	排水ポンプ車を出動させるのは大規模洪水発生時となるため、排水ポンプ車の能力で全ての内水を排水することは困難な状況である。しかし、排水ポンプ車の出動(回数)による作業により、一定の浸水被害低減効果を発揮している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>平成31年度 台風の襲来はなく、出動実績はない。 稼働実績 本事業は、平成31年度から事業化された。 なお、市の排水ポンプ車自体は平成30年度に購入したものであり、同年に災害対策用機械緊急出動事業の中で出動した実績がある。その際には、国の排水ポンプ車を含め、2台を河守地区、1台を尾藤地区に出動させたが、両地区において家屋の浸水被害をなしとすることができた。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>由良川改修の築堤等整備が進捗するに伴い、内水対策が必要になってくると想定される中で、より効果的な排水ポンプ車の配備が求められることから、福知山市に限らず広域的な配備についての検討・調整が必要となってくる。 併せて、洪水時の排水ポンプ車に動員する職員、職員移動用公用車の確保等、課題がある。</p>		

VI 他部署評価	
事後事業評価	<ul style="list-style-type: none"> 排水ポンプ車運転管理事業は、必要な事業なので廃止することはできないが、道路河川課と上下水道部で協議して、ホースブリッジの共有や車検事務の一元化など、効率的な運用、維持管理に努められたい。 浸水被害にあわれた方の不安等の軽減に効果があり、現行どおり実施をいただきたい。ただし、事業内容でシートに記載はなかったが啓発にも使用されていると言うことであり、今後も積極的な活用をお願いしたい。 成果実績については、能力規模が小さいポンプ車において、規模の大きい自然災害を対象として浸水被害発生回数を0とする目標は厳しいと考える。予算算定の排水ポンプ車出動日数(運転時間)をベースとした排水量等で見直しを検討してもいいのではないかと考える。 広域的な配置については重要なことであると考えているが、委託業者選定段階での調整なども必要であると考えている。
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針	
方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果	
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	土木施設災害復旧事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	芦田 裕人						
会計情報	事業コード	120185	款	11 災害復旧費	項	01 土木施設災害復旧費	目	01 土木施設災害復旧費	会計	01 一般会計	決算付属資料	256	頁
施策体系	施策コード	040102		施策名	治山・治水対策を強化する								
計画期間	開始年度	平成30年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	-					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報										
事業目的 (あるべき姿)	台風や集中豪雨等により被災を受けた、道路・河川等を緊急的に復旧することにより、市民の安心・安全な生活を確保し、市民生活の向上につなげる。									
対象者	市民	対象者数	78,000		単位あたりコスト	17.6				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	測量設計業者、土木工事施工業者等									
事業概要 (簡条書き)	平成30年7月豪雨、9月豪雨及び台風24号により発生した公共土木災害について、災害復旧工事を行う。									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	■費目を挙げきれないため欄の合計≠執行額		主な業務内容					
	工事請負費	1,284,283	(現年 227,225,885、繰越 1,057,056,720)		災害復旧工事					
	需用費	23,597	(現年 23,469,173、繰越 127,600)		道路及び河川等修繕、システムライセンス利用料ほか					
	役員費	13,400	災害土砂撤去業務							
	委託料	1,478	(現年 1,272,700、繰越 205,200)		公共嘱託登記業務委託、災害復旧特別単価調査ほか					
	旅費ほか	3,482	(繰越)協議(国・府)、工場製品検査ほか							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	830,000		0				予算編成時記入
	② 補正予算	1,940,156	120,000		0				
	③ 繰越予算	△ 700,766	376,435		681,225				
	前年度繰越	356,893	1,057,660		681,225				
次年度繰越	△ 1,057,660	△ 681,225		0					
小計(①~③)	1,239,390	1,326,435		681,225					
予算財源内訳	① 一般財源	△ 120,884	△ 36,316		73,290				
	② 国支出金	469,973	944,651		417,235				
	③ 府支出金	0	0		0				
	④ 地方債	890,300	418,100		190,700				
	⑤ その他特財	0	0		0				
決算情報	① 流充用額	△ 4,405	0		0		0		
	② 配当予算	1,234,984	1,326,435		0		0		
	③ 執行額	1,122,504	1,326,240		0		0		
	④ 執行率	90.9%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	6.75/0	5.78	/	0.00	5.78	/	0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	54,000	46,240		46,240		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,176,504	1,372,480		46,240					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	公共土木施設災害復旧費負担金(現年・繰越)	種類	災害復旧費国庫負担金	実績金額	794,988	決算付属資料	16	頁
	特財名称	公共土木施設災害復旧費補助金	種類	災害復旧費国庫補助金	実績金額	16,687	決算付属資料	22	頁
	特財名称	土木施設災害復旧事業(現年・繰越)	種類	災害復旧債	実績金額	408,000	決算付属資料	54	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	災害復旧工事(査定箇所)		81/81	252/252	98 / 50	/ 20	0		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	工事件数	件	24/24	67/67	30 / 20	/ 20	0		
	単位あたりコスト		7598.92	16753.79	44208.00				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	集中豪雨や台風などにより、被災した箇所の復旧を迅速に行ない市民の生命や生活の安心・安全を守る。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	被災状況を速やかに把握するなかで、必要性・緊急性を考慮し、災害復旧工事を適正に実施していく。できる限り、公共災での復旧を行ない補助金を活用していく。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	災害復旧を行なうことにより、市民の生命や生活の安心・安全を確保するとともに、今後の被害拡大防止の観点から大変有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	自然災害により道路・河川に被害が発生した場合には必須の事業であり、被災箇所が多くある中で必要性、緊急性等を考慮しながら復旧工事を進めてきた。		
これまでの課題及び今後の方向性	近年は、線状降水帯などによる集中豪雨や、勢力の非常に強い台風などによる災害が顕著に発生しており、本市においても甚大な被害が発生している。市民の生命や生活の安心・安全を守るために被災箇所の災害復旧を迅速に実施していきたいが、平成25、26年のように被災規模が大きい場合、復旧に時間を要することになる。今後も、温暖化などにより想定を超える集中豪雨などにより、被害が甚大化することも予想され、日常の維持管理も大切になってくると考える。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	地域再建被災者住宅等支援事業												
事業担当	所属	建設交通部 建築住宅課					所属長	中川 博文					
会計情報	事業コード	530155	款	03 民生費	項	04 災害救助費	目	01 災害救助費	会計	01 一般会計	決算付属資料	144・146	頁
施策体系	施策コード	030401		施策名	住宅・宅地の整備を推進する								
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	-							
根拠法令等	福知山市大規模自然災害に係る地域再建被災者住宅等支援事業補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	大規模災害により生活基盤となる住宅に被害を受けた市民に対し、被災住宅の再建に要する費用の一部を補助する。また、早期に安定した生活を取り戻すことで地域コミュニティの崩壊を防止すると共に被災者の活力を取り戻す。								
対象者	大規模自然災害被災者(全壊、半壊、床上浸水)			対象者数	252		単位あたりコスト	71.3	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	・被災者が生活を再建するために必要となる住宅補修について、その費用を対象として限度額以内で補助した。 ・復旧に当たって被災者が対象融資の貸付を受けた場合、その貸付の日から5年以内の利子相当額を要綱に沿って補助した。 【平成30年7月豪雨災害に伴う特例措置】 平成29年台風18号及び21号災害に引続き、連年で被災した被災者に対しては、費用的、精神的な負担を考慮し、生活関連経費として5万円を上限とした上乗せ補助を実施した。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容				
	負担金補助及び交付金	13,509			現年度分				
	負担金補助及び交付金	500			繰越明許分				

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	200	31,620	195	予算編成時記入				
	② 補正予算	120,830	△ 10,200	0					
	③ 繰越予算	59,500	△ 4,000	4,500					
	前年度繰越	60,000	500	4,500					
	次年度繰越	△ 500	△ 4,500	0					
小計(①～③)	180,530	17,420	4,695						
予算財源内訳	① 一般財源	58,460	5,267	1,500					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	117,320	10,653	3,195					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	4,750	1,500	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	180,530	17,420	0	0				
	③ 執行額	84,363	14,009	0	0				
	④ 執行率	46.7%	80.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.55/0.3	0.40 / 0.30	0.40 / 0.30	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	5,150	3,950	3,950	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	89,513	17,959	3,950						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域再建被災者住宅等支援事業	種類	民生費府補助金	実績金額	19,033	決算付属資料	26	頁
	特財名称	地域再建被災者住宅等支援事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	50	決算付属資料	40	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	住宅再建戸数(現年度発生災害)	戸	48/84	134/252	0 / 0	/ 0	-		
	住宅再建戸数(前年度発生災害)	戸	/	19/36	27 / 118	/ 0	-		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	補助件数(現年度)	件	48/84	134/252	26 / 117	/ 3	-		
	単位あたりコスト		367.25	629.57	538.81				
	補助件数(繰越分)	件	/	19/36	1 / 1	/ 4	-		
	単位あたりコスト		-	4440.00	14009.00				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	被災者の生活再建において、住宅の復旧は欠かすことのできないものであり、復旧に係る補助支援は、行政施策として優先度は非常に高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	復旧を行う被災者本人に対する補助であり、復旧費用の実績に応じて支給するため、効率的である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	り災証明の交付内訳に基づき、床上浸水以上の被害を受けた被災者について、補助金交付を行い、被災者の生活再建の一助を成した。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	H30.7月豪雨災害において、一部損壊、床上浸水以上のり災証明の交付件数は252件に対して、H30年度補助実績134件、令和元年度補助実績27件+繰越4件(合計165件65.4%)となっており、また再建費総額に対する補助金の充足率では、床上浸水・一部損壊で平均69.61%、半壊で平均57.46%、大規模半壊・全壊で平均10.32%となっており、床上浸水・一部損壊において本事業が生活再建に資する役割は大きい。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>H30.7月豪雨災害被災者に対する補助支援は、R2.3月をもって申請を完了した。 住宅再建費用の補助に対しては、R元年度中に申請を行い、R2年中に完成するものに対して、補助を行う。 住宅再建に係る融資の利子補給については、融資を受けた日が属する年度から5年間、利子補給を行う。</p> <p>H30.7月豪雨災害の被災者支援にあたっては、H29災害と連続して被災された市民に対して、上乘せ補助を実施したが、今後、災害の内容、被害状況に応じて、府制度によらない追加支援についても、その都度検討する必要がある。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	公共施設周辺環境整備事業(市営住宅)									
事業担当	所属	建設交通部 建築住宅課				所属長	中川 博文			
会計情報	事業コード	530115	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費	会計	01 一般会計 決算付属資料 202 頁
施策体系	施策コード	030401	施策名	住宅・宅地の整備を推進する						
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名	-				
根拠法令等	-									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	市営住宅敷地内の除草、剪定等を行うことにより、市営住宅及び近隣住民の住環境を整備・維持する。								
対象者	市営住宅住民	対象者数	1,518	単位あたりコスト	3.8				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	シルバー人材センター、西日本エスエスシーほか								
事業概要 (箇条書き)	市営住宅の共有スペースの除草、剪定作業を業者委託等により実施した。 令和2年度より「市営住宅保守管理事業」と統合								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	役員費	765	廃棄手数料ほか						
	委託料	2,266	除草・剪定業務委託						

III 予算執行状況														
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)										
予算情報	① 当初予算	3,338	3,496	0	予算編成時記入									
	② 補正予算	0	0	0										
	③ 繰越予算	0	0	0										
	前年度繰越	0	0	0										
	次年度繰越	0	0	0										
小計(①~③)	3,338	3,496	0											
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0										
	② 国支出金	0	0	0										
	③ 府支出金	0	0	0										
	④ 地方債	0	0	0										
	⑤ その他特財	3,338	3,496	0										
決算情報	① 流充用額	887	75	0	0									
	② 配当予算	4,225	3,571	0	0									
	③ 執行額	4,202	3,031	0	0									
	④ 執行率	99.5%	84.9%											
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.55/0	0.35 /	/	0.00	0.00	/	0.00						
	② 概算人件費	4,400	2,800		0									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,602	5,831	0											
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	向野駐車場除草作業地元負担金	種類	雑入	実績金額	22	決算付属資料	46	頁					
	特財名称	団地内占用料	種類	土木使用料	実績金額	560	決算付属資料	12	頁					
	特財名称	市営住宅使用料(現年分)	種類	土木使用料	実績金額	2,372	決算付属資料	12	頁					

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		苦情件数	件	0/0	0/0	0 / 0	/ 0	0	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	除草箇所数	箇所	19/38	16/33	/ 20	/ 20	20/20		
		単位あたりコスト	144.05	262.60					
	剪定箇所数	箇所	6/6	4/5	/ 5	/ 5	5/5		
		単位あたりコスト	456.17	1050.50					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市営住宅敷地内における草木の繁茂は、市営住宅住民のみならず、周辺住民への悪影響もあり、地域の環境整備に不可欠なものである。団地によっては、建物の老朽化から新規募集を行っていないものもあり、高齢化が進み、住民自身による必要最小限の美化作業ができない団地が増加していることが課題である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	シルバー人材センターと除草作業の単価契約を締結し、高齢者雇用の面にも貢献している。かつては予算の関係上、職員で除草作業を実施する団地もあり、道具の維持管理、職員の労力、他の業務への支障など逆にコストがかかるため、効率が悪かったが、現在は業務委託をすることで労力、費用の面で効率よく実施できている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市営住宅周辺の住環境が整備されている。今後は、除草、剪定作業に加え、大きく育った植栽について、大量の落葉の問題や風害による倒木を防止するために計画的に伐採を実施していく必要がある。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	除草、剪定作業を実施することで、景観を維持できるほか、害虫の発生予防、風通しの確保による建物の延命など効果を発揮している。		
これまでの課題及び今後の方向性	市営住宅敷地内の除草作業は、住民が実施する通常美化作業の範囲を除いて、施設管理者である市が実施しなければならない。市営住宅の構造が、長屋式から集合住宅に移行しつつあり、外溝部分や団地内の空地・植樹部分等、住民による管理を行うべき部分か市が管理しなければならない部分かの区分けをしっかりと実施しなければならない。 また、団地内住民の高齢化等により住民の自己管理が不能な場合に、良好な住環境を維持するための対応も検討していかなければならない。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	一般管理事業												
事業担当	所属	建設交通部 建築住宅課					所属長	中川 博文					
会計情報	事業コード	530123	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	202	頁
施策体系	施策コード	030401	施策名	住宅・宅地の整備を推進する									
計画期間	開始年度	昭和50年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市営住宅の適正な維持管理、本市の建築工事の実施に関わる建築住宅課受任工事を実施するために必要となる消耗品、公用車、電子計算機等の維持管理を実施することを目的とする。												
対象者											対象者数	単位あたりコスト	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	(株)システムリサーチ、レンタカーパートナーズ(株) ほか												
事業概要 (箇条書き)	市営住宅管理、受任工事に係る消耗品の購入、公用車・電子計算機等の維持管理費 火災等の不慮の事態に備え、市営住宅全団地について建物損害共済基金に加入 令和元年度より事業名を「市営住宅一般管理事業」から「一般管理事業」に変更 令和2年度より事業名を「住宅費一般管理事業」に変更する。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容									
	報酬	80		市営住宅入居者選考委員報酬									
	旅費	200		一般旅費									
	需用費	3,143		事務用品等、公用車燃料費、図書代ほか									
	役員費	2,011		損害共済基金分担金、電話代、郵送料、公用車法定点検費用ほか									
	委託料ほか	8,283		住宅管理システム保守点検、システムサーバー改修、公用車リース、積算システムリース、									

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	10,056	13,560	9,975	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	10,056	13,560	9,975						
予算財源内訳	① 一般財源	348	18	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	9,708	13,542	9,975					
決算情報	① 流充用額	△ 327	421	0					
	② 配当予算	9,729	13,981	0					
	③ 執行額	8,681	13,716	0					
	④ 執行率	89.2%	98.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.5/0	1.20 / 0.00	1.20 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	12,000	9,600	9,600	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	20,681	23,316	9,600						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市営住宅使用料(現年分)	種類	土木使用料	実績金額	1,413	決算付属資料	12	頁
	特財名称	市営住宅使用料(過年分)	種類	土木使用料	実績金額	4,935	決算付属資料	12	頁
	特財名称	府営住宅団地貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	6,780	決算付属資料	30	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
		システムトラブル	回	0/0	0/0	0 / 0	/ 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
		システム保守対応件数	件	2/2	3/2	2 / 2	/ 2	2/2
		単位あたりコスト		5285.00	2893.70	6858.15		
		単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市営住宅管理システム、積算システムの維持管理や公用車管理など、市営住宅管理及び受任工事を実施するために最低限必要なものであり、建築住宅課の事業の根幹を成すものである。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	市営住宅管理システム、積算システムの導入により、事務効率の向上が図られており、人件費削減に寄与している。また、長期継続契約ができるものは、価格交渉の上、長期継続契約を締結している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市営住宅使用料の徴収及び設計業務において事務の効率化が図られた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	市営住宅管理に係る使用料徴収、入退去管理及び受任工事の設計業務において使用する電子計算機を整備、維持管理しており、適正に維持管理が実施されたことで効率的な事務執行が行えた。		
これまでの課題及び今後の方向性	公用車及び電子計算機のリースについては、リースに係るコストを削減するため、引き続き長期継続契約による維持管理を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	市営住宅保守管理事業												
事業担当	所属	建設交通部 建築住宅課				所属長	中川 博文						
会計情報	事業コード	530127	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	202・204	頁
施策体系	施策コード	030401	施策名	住宅・宅地の整備を推進する									
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市営住宅の共用設備等の保守や住宅管理人の選定など市営住宅の住環境を良好に維持し提供する。												
対象者	市営住宅住民	対象者数	1,518	単位あたりコスト	13.6								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	三菱電機ビルテクノサービス(株)、(株)日立ビルシステム ほか												
事業概要 (簡条書き)	市営住宅の共用設備(エレベーター、消防設備、受水槽、高架水槽等)にかかる法定点検及び保守の実施 住宅管理人及び駐車場管理人の選定、業務管理 新規募集する空家のクリーニング作業 等 令和2年度より「公共施設周辺環境整備事業(市営住宅)」を統合												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	報償費	1,364	住宅管理人報酬										
	役員費	1,538	害虫駆除、室内清掃										
	委託料	5,983	駐車場管理委託業務、消防設備点検、受水槽清掃業務、EV設備保守点検業務ほか										
	使用料及び賃借料	243	日吉ヶ丘団地駐車場敷地賃借料										
備品購入費	74	消火器ほか											

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	10,818	9,962	13,271	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	10,818	9,962	13,271						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	10,818	9,962	13,271					
決算情報	① 流充用額	78	637	0					
	② 配当予算	10,896	10,599	0					
	③ 執行額	7,602	9,203	0					
	④ 執行率	69.8%	86.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.13/0	1.43 / 0.00	1.43 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	9,040	11,440	11,440	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	16,642	20,643	11,440						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	南天田団地太陽光発電売電料	種類	雑入	実績金額	128	決算付属資料	46	頁
	特財名称	団地内駐車場使用料(現年分)	種類	土木使用料	実績金額	9,074	決算付属資料	12	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		エレベーター故障回数	回	0/0	0/0	0 / 0	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	消防設備点検保守	団地	16/16	16/16	16 / 16	/ 16	16/16
	単位あたりコスト		500.81	475.10	575.17		
	エレベータ保守点検	団地	2/2	2/2	2 / 2	/ 2	2/2
単位あたりコスト		4006.50	3801.00	4601.36			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	法定点検の適正な実施と給水設備やエレベーターなどの保守を実施し、安心な生活環境を提供する必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	住宅管理人、駐車場管理人を市営住宅又は所属自治会の住民から選任することにより、地域の自発的な活動が確保される。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	設備を長期に安全に利用するためには定期的な保守点検が必要であり有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	設備が原因となる事故等を未然に防止し、住民の生活に欠かせない設備等の保守点検が効果的に実施できた。		
これまでの課題及び今後の方向性	設備自体の老朽化により、メンテナンスだけでは維持できなくなることを予測し、こまめな点検を継続して実施し、必要に応じて改修、更新作業を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	市営住宅修繕事業												
事業担当	所属	建設交通部 建築住宅課					所属長	中川 博文					
会計情報	事業コード	530129	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	204	頁
施策体系	施策コード	030401	施策名	住宅・宅地の整備を推進する									
計画期間	開始年度	昭和28年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	自力では適正な住宅の確保が困難な世帯に対して、住宅セーフティーネットの機能として、市営住宅の良好な住環境を提供する。								
対象者	市営住宅住民	対象者数	1,087	単位あたりコスト	51.8				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	-								
事業概要 (簡条書き)	市営住宅の老朽化に伴う施設・設備の小修繕、空家募集等に伴う空家修繕・畳の表替え・襖の張替え等を行い住環境整備を図る。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	22,215	市営住宅修繕料						
	役員費	1,431	市営住宅修繕に係る洗浄作業等						
	工事請負費	6,246	市営住宅修繕工事						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	38,060	31,300	24,800		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	38,060	31,300	24,800						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	38,060	31,300	24,800					
決算情報	① 流充用額	△ 2,878	△ 1,351	0		0			
	② 配当予算	35,182	29,949	0		0			
	③ 執行額	34,665	29,891	0		0			
	④ 執行率	98.5%	99.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	2.35/0	3.30 / 0.00	3.30 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	18,800	26,400	26,400		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	53,465	56,291	26,400						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市営住宅使用料(現年分)	種類	土木使用料	実績金額	27,418	決算付属資料	12	頁
	特財名称	市営住宅退去にかかる量・襖修繕料	種類	雑入	実績金額	2,097	決算付属資料	46	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	入居がある団地	戸	824/1089	792/1087	761 / 1086	/ 1086			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	施設修繕	戸	682/	413/650	405 / 650	/ 650			
	単位あたりコスト		69.82	83.90	73.80				
	空家修繕	戸	19/18	18/15	6 / 20	/ 7			
単位あたりコスト		2506.21	1925.70	4981.82					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	改善工事等では対応しきれない個別要望への対応を行うことで居住性の維持を図る。空家募集は応募数を考慮し供給戸数を確保している。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	住宅使用料による。次期募集予定の空家の修繕内容を見直し、コスト削減を行う。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市営住宅の適切な維持管理により、住環境の向上と建物の長寿命化を図る。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>民間では適切な居住が確保しがたい、住確保配慮者に対する住宅セーフティネットとして有効である。また老朽化した建物の住環境の維持、向上のために有効である。</p> <p>修繕を行うことで、住環境の維持はもちろんのこと、市民サービス、満足度の向上にも繋がる。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>マネジメントや代替等で住宅管理戸数の削減や改修、改善工事を行い長寿命化を図り修繕費の削減を行う計画である。昨年度より改修工事の効果があつたのか、これまで多かつた団地の修繕件数は減少している。ただし、手つかずの団地や設備等の修繕費が増加傾向にあり、また老朽化により、その年に軒並み修繕を行うようなこともあるため、年度毎で支出は様々である。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	市営住宅改善事業												
事業担当	所属	建設交通部 建築住宅課					所属長	中川 博文					
会計情報	事業コード	530130	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	204	頁
施策体系	施策コード	030401		施策名	住宅・宅地の整備を推進する								
計画期間	開始年度	平成14年度		終了予定年度	令和3年度		関連計画名	福知山市公営住宅等長寿命化計画					
根拠法令等	福知山市公営住宅等長寿命化計画												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報										
事業目的 (あるべき姿)	福知山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、高齢化対応をはじめ、居住環境の改善を図る。									
対象者	市営住宅 31 団地			対象者数	1,087		単位あたりコスト	90.6		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	(社)京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会									
事業概要 (箇条書き)	高齢者改善工事(室内の段差解消・浴室改修・給水管取替え・手すり取付) 住宅用火災警報器取替工事 など									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容					
	需用費	287			広峯団地駐車場修繕					
	委託料	413			堀口団地公共嘱託登記業務					
	工事請負費	82,623			夕陽が丘団地高齢者向改善工事、日ヶヶ丘団地火災警報器取替工事、南佳屋野団地手すり塗替工事ほか					

III 予算執行状況										
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	74,700	84,460	119,600	予算編成時記入					
	② 補正予算	0	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0	0						
小計(①~③)	74,700	84,460	119,600							
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0						
	② 国支出金	21,220	20,180	41,420						
	③ 府支出金	0	0	0						
	④ 地方債	27,900	20,100	41,400						
	⑤ その他特財	25,580	44,180	36,780						
決算情報	① 流充用額	2,156	565	0	0					
	② 配当予算	76,856	85,025	0	0					
	③ 執行額	70,670	83,323	0	0					
	④ 執行率	92.0%	98.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.55/0	1.90 / 0.00	1.90 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	12,400	15,200	15,200	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	83,070	98,523	15,200							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市営住宅改善事業(社会資本整備総合交付金)		種類	土木費国庫補助金	実績金額	23,180	決算付属資料	20	頁
	特財名称	市営住宅使用料(現年分)		種類	土木使用料	実績金額	37,042	決算付属資料	12	頁
	特財名称	住宅事業債(公営住宅建設)		種類	土木債	実績金額	23,100	決算付属資料	52	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	バリアフリー化	戸	20/20	20/20	18 / 20	/ 51			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	高齢者向改善工事	戸	20/20	20/20	18 / 20	/ 51			
	単位あたりコスト		4263.75	3533.40	4629.04				
	住宅用火災警報器更新工事	戸	286/291	157/162	186 / 191	/ 0			
単位あたりコスト		298.16	450.10	447.97					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市営住宅のバリアフリー化や設備の改善を計画的に行い、居住性の向上及び建物の長寿命化を図っている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	国庫補助の活用と住宅使用料によるが、資機材や人件費の高騰により工事費が増加傾向にある。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	高齢者対応、建物の長寿命化など、住環境の維持、向上のために有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>市営住宅の適切な維持管理により、住環境の向上と建物の長寿命化を図る。</p> <p>住環境の改善はもちろんのこと、市民サービス、満足度の向上にも繋がる。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>市営住宅における高齢化等への対応をはじめ、安心、安全、快適な環境の整備を図る。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	市営住宅明渡し事業												
事業担当	所属	建設交通部 建築住宅課					所属長	中川 博文					
会計情報	事業コード	530133	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	204	頁
施策体系	施策コード	030401		施策名	住宅・宅地の整備を推進する								
計画期間	開始年度	昭和50年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	公営住宅法、福知山市営住宅条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	市営住宅使用料の悪質な滞納や不正同居などを解消し、市営住宅住民の公平性を確保する。								
対象者	市営住宅使用料滞納者			対象者数	187	単位あたりコスト	23.1		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	あした総合法律事務所								
事業概要 (箇条書き)	公営住宅使用料の悪質な滞納者(支払請求に応じない、納入約束を守らない等)に対して明渡し訴訟を2件を行った(明渡し1件、和解1件)。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容				
	役員費	2			郵送料、印紙代				
	委託料	354			弁護士委託料				

III 予算執行状況										
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	1,717	1,705	1,708		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0	0						
小計(①~③)	1,717	1,705	1,708							
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0						
	② 国支出金	0	0	0						
	③ 府支出金	0	0	0						
	④ 地方債	0	0	0						
	⑤ その他特財	1,717	1,705	1,708						
決算情報	① 流充用額	0	△ 237	0		0		0		
	② 配当予算	1,717	1,468	0		0		0		
	③ 執行額	236	356	0		0		0		
	④ 執行率	13.7%	24.2%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.29/0.05	0.34 / 0.50	0.34 / 0.50		0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,445	3,970	3,970		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,681	4,326	3,970							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市営住宅使用料(過年度分)		種類	土木使用料	実績金額	355	決算付属資料	12	頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	判決、和解件数	件	2/2	0/0	2 / 2	/ 4	4		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	訴訟件数	件	0/2	0/2	2 / 2	/ 4	4		
	単位あたりコスト		0.00	0.00	177.98	/			
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	納付の公平性が確保できなければ、行政制度への信頼は揺らぎ、市営住宅の管理運営に大きな支障をきたすことは明白である。市営住宅の使用料は、入居者の所得に応じた応能家賃であり、さらに市独自の減額制度や猶予制度を設けているなかで、悪質な滞納者に対して毅然とした態度を示すため、本事業は必要なものである。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	市営住宅使用料は民事債権であるため、自力執行は法により禁じられており、賃貸借契約の解除や明渡し、債権の強制執行は、訴訟等法的措置に拠らなければならない、他の代替手段がない。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	訴訟にあたっては、督促や催告書等の送達などの事前準備のほか、弁護士費用等、期間・費用を要することや、訴訟の実績を積み重ねることにより他の滞納者に対する抑止力となる効果を考慮すると、現在の成果・実績件数は妥当である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	市営住宅使用料の滞納が長期高額となっているもの2名に対し、明渡し訴訟を提起し、1件については明渡し(請求の内容を認諾)、1件については和解(請求の内容については争いなし)となった。悪質滞納者に対する訴訟の提起は、納付の公平性の確保のため必要なものであり、当該滞納者に対する効果以外にも、他の入居者に対して、不正等に対する毅然とした態度を示す効果がある。		
これまでの課題及び今後の方向性	賃貸借契約の解除を求める場合は、明渡し訴訟による必要があるが、債権保全だけであるなら、支払督促や公正証書等においても債務名義が訴訟に比べ、容易に債務名義が確保できることから積極的な活用を検討していきたい。		

VI 他部署評価

事後事業評価			
事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	空家対策事業												
事業担当	所属	建設交通部 建築住宅課					所属長	中川 博文					
会計情報	事業コード	530144	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	204	頁
施策体系	施策コード	030401	施策名	住宅・宅地の整備を推進する									
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市空家等対策計画							
根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法、福知山市空家等の適正管理に関する条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	適正な管理がされず長期間にわたり放置されている空家等について調査し、所有者等に対して住宅の適正管理に必要な助言・指導、勧告等を行い、住環境の整備を図る。								
対象者	全市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	(株)パスコ京都支店								
事業概要 (箇条書き)	福知山市空家等対策協議会を開催した。 専門家団体(弁護士、土地家屋調査士、建築士、宅地建物取引業士)と空家等対策に係る連携について協定を締結した。 空家等所有者に対する無料相談会を2回実施した。 特定空家等の認定調査、助言・指導、勧告等を行い、管理の適正化を図った。 管理不全の空家の実態調査を行い、危険度の判定を行った。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報酬	126	空家等対策協議会委員報酬						
	旅費	124	委員旅費(実費弁償)、研修旅費						
	需用費	43	公用車燃料費、図書代						
	委務費	95	郵送料						
	委託料、使用料及び賃借料、備品購入費	372	空き家管理システム改修、レンタカー借上げ、撮影機材購入						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,792	1,161		2,321		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①~③)	2,792	1,161		2,321							
予算財源内訳	① 一般財源	2,792	1,161		2,321						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	0	0		0						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	0	0		0						
決算情報	① 流充用額	△ 20	△ 110		0						
	② 配当予算	2,772	1,051		0						
	③ 執行額	2,380	760		0						
	④ 執行率	85.9%	72.3%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.26/0	1.21	/	0.00	1.21	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	10,080	9,680		9,680		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	12,460	10,440		9,680							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	空家倒壊による被害	回	0/0	0/0	0 / 0	/ 0	0		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	協議会開催回数	回	3/3	3/3	2 / 3	/ 3	3/3		
	単位あたりコスト		1369.33	793.00	380.13				
	空家調査戸数	戸	878/1202	324/324	31 / 31	/ 98	0		
	単位あたりコスト		4.60	7.30	24.52				

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	空家問題は、日本国内における重要課題であるが、福知山市の空家率は全国及び府に比しても高くなっており、人口減少、少子高齢化等を勘案すると、市民生活の安全安心を守るため喫緊の重要課題として行政が率先して取り組む必要性の高い事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	空家の実態調査及び所有者調査においては、法に基づき、行政内で保有するデータを有効活用し効率的に調査を実施している。また、関連の専門家団体と協定を締結し、空家対策の推進における協力体制を、費用負担なく構築している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	実態調査により、市内に存在する空家の詳細を把握し、所有者に対して意向確認をすることにより、問題意識の喚起を行うことができた。また、管理不全の空家については、所有者に対する情報提供、行政指導を行うことにより、管理不全の空家の解消を促進することができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>本事業開始時より取り組んできた空家の実態把握については、全自治会報告のあった分について全て完了した。また、所有者調査についても、全体の8割程度まで進んでいる。</p> <p>令和元年度より本格的に取り組んできた管理不全の空家に対する指導においても、切迫した危険性のある空家2件いずれについても指導の結果、所有者による解体除却につながった。</p> <p>予防的施策においては、専門家団体と協定を締結し、協力体制を構築。具体的施策として無料相談会を実施し、所有者に対して具体的な助言を行うことにより、所有者による問題解決を進めることができた。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>所有者が管理に問題のある空家について、問題解決を図る際の支援・補助について、個人の資産物に対する行政の関与と、市民の安心安全の担保と双方の観点からバランスの取れた施策を展開していく必要がある。</p> <p>また、所有者不在の空家の危険性の除去について、行政による直接実施を視野にいれて、準備を進めていかなければならない。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	まちづくり協議会支援事業												
事業担当	所属	建設交通部 建築住宅課					所属長	中川 博文					
会計情報	事業コード	530149	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	204	頁
施策体系	施策コード	030401		施策名						住宅・宅地の整備を推進する			
計画期間	開始年度	平成22年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名			-			
根拠法令等	福知山市営住宅を中心としたまちづくり活動支援事業補助金等交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	市営住宅の住民が中心となって地域の良好なまちづくりの確立を目指すと共に、人権を尊重しつつ地域の健全な発展と秩序ある整備を図り、健康で文化的な生活環境のたる、調査・研究及び学習活動を行うことで、魅力あるまちづくりに寄与する。								
対象者	市営住宅住民		対象者数	1,518		単位あたりコスト	1.0		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	-								
事業概要 (簡条書き)	市営住宅の住民が中心となって実施するまちづくり活動に対し補助金を交付した。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	負担金補助及び交付金	86		福知山市営住宅を中心としたまちづくり活動支援事業補助金					

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	250	250	200	予算編成時記入						
	② 補正予算	0	0	0							
	③ 繰越予算	0	0	0							
	前年度繰越	0	0	0							
	次年度繰越	0	0	0							
小計(①~③)	250	250	200								
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0							
	② 国支出金	0	0	0							
	③ 府支出金	0	0	0							
	④ 地方債	0	0	0							
	⑤ その他特財	250	250	200							
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0						
	② 配当予算	250	250	0	0						
	③ 執行額	75	86	0	0						
	④ 執行率	30.0%	34.4%								
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.55/0	0.18 / 0.00	0.18 / 0.00	0.00 / 0.00						
	② 概算人件費	4,400	1,440	1,440	0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,475	1,526	1,440								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	府営住宅団地貸付収入		種類	財産貸付収入		実績金額	86	決算付属資料	32	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	まちづくりイベント参加者数	人	135/150	130/150	130 / 150	/ 150			
	参加者のイベント評価(アンケート回答)	%	/	/	/	/ 100			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	補助団体数	団体	1/1	1/1	1 / 1	/ 1			
	単位あたりコスト		75.00	75.00	86.00				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	入居者の入れ替わりが激しい集合住宅であるため、地域住民間の交流を促進し、コミュニティを維持することは、市営住宅の管理面からみても必要性が高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	事業に係る経費の半額を補助するものであり、真に地域で必要とする事業に対して効率的に支援が実施できている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市営住宅の入居者が中心となって地域のコミュニティを維持するための活動が図られており有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	地域の実情にあわせた求められる活動を地域が発案し実施することで、住民主体のまちづくりができており、市が支援する必要があるものである。		
これまでの課題及び今後の方向性	市営住宅を核として住民が主体となるコミュニティの形成について、活動内容やニーズを把握し、補助金交付だけでなく支援のあり方を模索する必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	中村団地建替事業												
事業担当	所属	建設交通部 建築住宅課					所属長	中川博文					
会計情報	事業コード	530141	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	02 住宅建設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	204	頁
施策体系	施策コード	030401		施策名	住宅・宅地の整備を推進する								
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和6年度		関連計画名						
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (京都府事業主体)												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	府、市當中村団地については、府・市混在を解消すべく京都府が建替事業を施工しており、完成後は府當中村団地として管理される。								
対象者	市営住宅中村団地入居者			対象者数	16戸		単位あたりコスト		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (京都府実施事業に対する負担金交付)								
委託先・実施主体等	京都府								
事業概要 (簡条書き)	中村団地の建替事業により、市當中村団地入居者の移転補償費の支払い、既存建物の解体除却等に伴う支払を行うもの。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	負担金補助及び交付金	17,754		入居者物件移転補償、建替工事市負担分(解体除却、上下水道施設撤去)					
	工事請負費	2,908		団地内通路整備工事					

III 予算執行状況													
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	17,508		18,108		3,500		予算編成時記入					
	② 補正予算	△ 17,508		7,000		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①~③)	0		25,108		3,500								
予算財源内訳	① 一般財源	0		500		0							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		20,000		0							
	⑤ その他特財	0		4,608		3,500							
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0					
	② 配当予算	0		25,108		0		0					
	③ 執行額	0		20,662		0		0					
	④ 執行率			82.3%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.15/0		0.15 / 0.00		0.15 / 0.00		0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	1,200		1,200		1,200		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,200		21,862		1,200								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市営住宅使用料(現年分)		種類	土木使用料		実績金額	20,662		決算付属資料	12	頁	
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁	
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁	

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	既存市営住宅解体	戸	33/60	33/60	60 / 60	/	60 / 60		
	道路整備工事	%	50/100	50/100	100 / 100	/	100 / 100		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	既存市営住宅解体	戸	33/60	33/60	60 / 60	/	60 / 60		
		単位あたりコスト		0.00	344.37		0.00		
	道路整備工事	%	50/100	50/100	100 / 100	/	100 / 100		
	単位あたりコスト		35.88	0.00	206.62		0.00		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	建替に伴う事業であり、必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	老朽化団地の建替に伴い、府市混在団地の解消を図るため、建替後、団地を所管する京都府が建替え事業を一括して実施し、市が関係分を負担するため、事業の実施がスムーズに行われ、費用・事務作業の効率化が図れた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	スムーズな移転が担保され有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	建替事業の進捗に伴う周辺道路整備等の改修工事を速やかに行えた。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和2年度に建替に伴う解体敷地の電柱移設費を負担する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	つつじが丘・向野団地建替事業												
事業担当	所属	建設交通部 建築住宅課					所属長	中川 博文					
会計情報	事業コード	530145	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	02 住宅建設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	204	頁
施策体系	施策コード	030401		施策名						住宅・宅地の整備を推進する			
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和9年度		関連計画名			つつじが丘・向野団地建替事業基本計画			
根拠法令等	福知山市公営住宅等長寿命化計画												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	福知山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、耐用年数を超過し老朽化した市営住宅団地の建替を行い、市民の安心・安全と居住水準の向上を図る。								
対象者	市営住宅入居者		対象者数	150		単位あたりコスト	60.5		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	(社)京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会								
事業概要 (簡条書き)	老朽化したつつじが丘、向野団地の建替をPFI手法により実施する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	委託料	6,276		つつじが丘団地公共嘱託登記業務					

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0	0	15,497	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	6,500	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	0	6,500	15,497						
予算財源内訳	① 一般財源	0	6,500	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	900					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	14,597					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	0	6,500	0	0				
	③ 執行額	0	6,276	0	0				
	④ 執行率		96.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)		0.35 / 0.00	0.35 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費		2,800	2,800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	9,076	2,800						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
					/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	登記(土地)整理	団地			1 / 1	/	
	単位あたりコスト				6275.50		
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	民間活力導入による建設等のコスト比較を行い、有効な事業推進を検討する。建替に伴う事業であり、必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	民間活力導入による建設等によりコストの削減が期待できる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	民間活力導入による建設等によりコストの削減が期待でき、スムーズな移転が担保され有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	福知山市公営住宅等長寿命化計画に基づく建替事業であり、居住水準の向上のためにも重要な事業である。また、PFI手法による発注を予定しており、VFM効果とスムーズな進捗管理等より、民間活力を最大限生かしたい。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	福知山市で初めてのPFI手法による事業なので、不安要素はあるがスムーズな事業者選定に向け積極的な広報に努めたい。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	住宅耐震改修事業												
事業担当	所属	建設交通部 建築住宅課					所属長	中川 博文					
会計情報	事業コード	550105	款	09 消防費	項	01 消防費	目	05 災害対策費	会計	01 一般会計	決算付属資料	212	頁
施策体系	施策コード	040101	施策名	災害に対する危機対応力を強化する									
計画期間	開始年度	平成21年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市建築物耐震改修促進計画							
根拠法令等	福知山市木造住宅耐震改修等事業費補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	住宅耐震診断事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	大規模震災の教訓から、民間木造住宅の耐震化を推奨することにより、住民の生命、財産を守ることに繋げるため。								
対象者	昭和56年5月以前の木造建築物で耐震改修未実施の所有者	対象者数	4	単位あたりコスト	1,000.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	地震により倒壊のおそれのある民間木造住宅の耐震化に係る本格改修及び簡易改修等の実施に係る助成を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	400	福知山市木造住宅耐震改修等事業費補助金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	2,700	3,100	2,800		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	2,700	3,100	2,800						
予算財源内訳	① 一般財源	675	0	0					
	② 国支出金	675	975	1,400					
	③ 府支出金	1,350	850	700					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	1,275	700					
決算情報	① 流充用額	△ 1,311	0	0		0			
	② 配当予算	1,389	3,100	0		0			
	③ 執行額	900	400	0		0			
	④ 執行率	64.8%	12.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.45/0	0.45 / 0.00	0.45 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,600	3,600	3,600		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,500	4,000	3,600						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	木造住宅(耐震改修)	種類	消防費国庫補助金	実績金額	200	決算付属資料	20	頁
	特財名称	木造住宅(耐震改修)	種類	消防費府補助金	実績金額	100	決算付属資料	28	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	目標戸数	戸	4/4	1/4	1 / 4	/ 2			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	募集に対する実績件数	件	4/4	1/4	1 / 4	/ 2			
	単位あたりコスト		600.00	900.00	400.00				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	△	民間木造住宅の耐震改修を進めることにより、市民の防災意識の向上と、安心・安全なまちづくりを構築する。しかし、費用等で改修まで至らない場合がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	国、府の補助事業を活用し、住宅の耐震に対する安全意識を向上させる有効な広報等を行っていく。特に、地元の防災訓練等を利用し直接制度説明を図るなど効率的に実施する。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	地震に対する備えの重要性の啓発、広報を繰り返すことにより、防災意識の向上と建築物の倒壊防止を図ることができる。しかし意識はあるが、費用等で改修まで至らない場合がある。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	国、府の指導、支援の下行っているものであり、また南海トラフ地震の発生の切迫性が指摘されるなど、この事業の必要性は高いものとする。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	耐震診断までは行うものの、耐震改修となると費用面や家庭環境等の事情でなかなか改修にまで至っておらず、耐震化率の向上を目標とするにあたって現状の件数では目指すところに程遠いが、市民に防災意識の向上が図れるよう繰り返し広報に努める。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	住宅耐震診断事業												
事業担当	所属	建設交通部 建築住宅課					所属長	中川 博文					
会計情報	事業コード	550110	款	09 消防費	項	01 消防費	目	05 災害対策費	会計	01 一般会計	決算付属資料	214	頁
施策体系	施策コード	040101	施策名	災害に対する危機対応力を強化する									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市建築物耐震改修促進計画							
根拠法令等	福知山市木造住宅耐震診断士派遣事業実施要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	住宅耐震改修事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	大地震による木造住宅の倒壊の危険性を回避するための診断士を派遣し、もって耐震改修へ結びつけることにより、生命、財産を守るとともに避難、救命、消火の妨げとなる倒壊家屋の減少にも繋がる。								
対象者	昭和56年5月以上の木造住宅建築物で耐震改修未実施の所有者	対象者数	7件	単位あたりコスト	528.9				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	京都府建築士会(京都府木造住宅耐震診断士)								
事業概要 (簡条書き)	地震による倒壊の危険性を回避すべく、診断士の派遣を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	102	木造住宅耐震診断派遣事業						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	350	350	364	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	350	350	364						
予算財源内訳	① 一般財源	88	0	0					
	② 国支出金	175	175	182					
	③ 府支出金	87	87	91					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	88	91					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	350	350	0	0				
	③ 執行額	250	102	0	0				
	④ 執行率	71.4%	29.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.45/0	0.45 / 0.00	0.45 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,600	3,600	3,600	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,850	3,702	3,600						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	木造住宅(耐震診断)	種類	消防費国庫補助金	実績金額	51	決算付属資料	20	頁
	特財名称	木造住宅(耐震診断)	種類	消防費府補助金	実績金額	25	決算付属資料	28	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	30年目標戸数	戸	7/7	5/7	2 / 7	/ 4			
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	募集に対する実績件数	件	7/7	5/7	2 / 7	/ 4			
	単位あたりコスト		50.00	50.00	51.00				
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	△	民間木造住宅の耐震診断を進めることにより、市民の防災意識の向上と、耐震改修につなげていくが、費用等で改修まで至らない場合がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	国、府の補助事業を活用し、住宅の耐震に対する安全意識を向上させる有効な広報等を行っていく。特に、地元の防災訓練等を利用し直接制度説明を図るなど効率的に実施する。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	地震に対する備えの重要性の啓発、広報を繰り返すことにより、防災意識の向上と建築物の倒壊防止を図ることができる。しかし意識はあるが、費用等で改修まで至らない場合がある。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	国、府の指導、支援の下行っているものであり、また南海トラフ地震の発生切迫性が指摘されるなど、この事業の必要性は高いものとする。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	耐震診断までは行うものの、耐震改修となると費用面や家庭環境等の事情でなかなか改修にまで至っておらず、耐震化率の向上を目標とするにあたって現状の件数では目指すところに程遠いが、市民に防災意識の向上が図れるよう繰り返し広報に努める。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	民間施設ブロック塀等緊急安全対策支援事業												
事業担当	所属	建設交通部 建築住宅課					所属長	中川 博文					
会計情報	事業コード	550130	款	09 消防費	項	01 消防費	目	05 災害対策費	会計	01 一般会計	決算付属資料	214	頁
施策体系	施策コード	040101	施策名	災害に対する危機対応力を強化する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市民間施設ブロック塀等緊急安全対策支援補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	地震発生時における民間施設ブロック塀等の倒壊等による災害を未然に防止するため、除却費に対する支援を行う。								
対象者	対象ブロック塀等の所有者、または管理者	対象者数	15	単位あたりコスト	184.4				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	地震発生時における民間施設ブロック塀等の倒壊等による災害を未然に防止するため、除却費に対する支援を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	366	福知山市民間施設ブロック塀等緊急安全対策支援事業						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	3,000		0		予算編成時記入				
	② 補正予算	300	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①~③)	300	3,000		0							
予算財源内訳	① 一般財源	75	750		0						
	② 国支出金	150	1,500		0						
	③ 府支出金	75	750		0						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	0	0		0						
決算情報	① 流充用額	0	△ 700		0		0				
	② 配当予算	300	2,300		0		0				
	③ 執行額	77	366		0		0				
	④ 執行率	25.7%	15.9%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.25/0	0.30	/	0.00	/		/			
	② 概算人件費	2,000	2,400								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,077	2,766									
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	民間施設ブロック塀等安全対策支援	種類	消防費国庫補助金	実績金額	183	決算付属資料	20	頁		
	特財名称	民間施設ブロック塀等安全対策支援	種類	消防費府補助金	実績金額	91	決算付属資料	28	頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	目標件数	件	-	1/2	3 / 15		/		
						/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	募集に対する実績件数	件	-	1/2	3 / 15		/		
	単位あたりコスト			77.00	122.00		/		
	単位あたりコスト				/				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	△	ブロック塀等の除却を進めることにより、市民の防災意識の向上と安心・安全なまちづくりを構築する。しかし、費用等で除却まで至らない場合がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	国、府の補助事業を活用し、ブロック塀等の地震に対する安全の意識の向上させる有効な広報等を行っていく。特に、福知山市内にあるブロック塀の危険度調査を実施し、所有者に対して直接制度説明等を行うことで効率的に実施する。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	地震に対する備えの重要性の啓発、広報を繰り返すことにより、防災意識の向上と建築物の倒壊防止を図ることができる。しかし、費用等で除却まで至らない場合がある。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	国、府の指導、支援の下行っているものであり、また南海トラフ地震の発生切迫性が指摘されるなど、この事業の必要性は高いものとする。ただし、ブロック塀等の除却となると、市民の意識が低いのが現状である。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	令和元年度でこの事業は終了する中、広報活動を積極的に行ったが募集件数に対する応募件数は少なかったのが残念であった。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	KTR支援事業									
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行		
会計情報	事業コード	110106	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 交通対策費	会計	01 一般会計 決算付属資料 82 頁
施策体系	施策コード	030201	施策名	利用しやすい鉄道機能を確保する						
計画期間	開始年度	平成8年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	—				
根拠法令等	—									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業	鉄道利用促進事業									

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	市民の貴重な移動手段を守り、また、域外からの誘客による地域経済の活性化を図るため、沿線自治体等と連携し、京都丹後鉄道の安心で安全な運行を確保するとともに、安定した経営を支援し、KTRの健全経営を推進する。								
対象者	京都市丹後鉄道利用者	対象者数	1,579,119	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	北近畿タンゴ鉄道株式会社								
事業概要 (簡条書き)	KTRの経営の安定化や、施設の維持管理による安全で安心な公共交通として運行するため、財政支援を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	158,637	KTRへの経営支援						

III 予算執行状況														
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)	R3(要求年度)									
予算情報	① 当初予算	126,010	139,463	124,707	予算編成時記入									
	② 補正予算	11,181	39,097	0										
	③ 繰越予算	480	△ 18,691	29,872										
	前年度繰越	11,661	11,181	29,872										
	次年度繰越	△ 11,181	△ 29,872	0										
小計(①~③)	137,671	159,869	154,579											
予算財源内訳	① 一般財源	893	483	41,023										
	② 国支出金	0	0	0										
	③ 府支出金	0	0	0										
	④ 地方債	26,600	29,300	55,900										
	⑤ その他特財	110,178	130,086	57,656										
決算情報	① 流充用額	△ 1,796	△ 267	0	0									
	② 配当予算	135,875	159,602	0	0									
	③ 執行額	130,155	158,637	0	0									
	④ 執行率	95.8%	99.4%											
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.61/0	0.18 / 0.00	0.18 / 0.00	0.00 / 0.00									
	② 概算人件費	4,880	1,440	1,440	0									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	135,035	160,077	1,440											
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	KTR支援事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	88,950	決算付属資料	38	頁					
	特財名称	KTR支援事業(過疎対策)	種類	基金繰入金	実績金額	42,370	決算付属資料	38	頁					
	特財名称	KTR支援事業(旧合併特例・防災・減災・国土強靱化)	種類	総務債	実績金額	23,100	決算付属資料	50	頁					

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	丹鉄福知山市内駅平均乗客数	人/日	1,385/1,542	1,276/1,572	1,188 / 1,572	/ 1,572	1,572		
	丹後鉄道全体平均乗客数	人/日	4,826/5,355	4,510/5,355	4,326 / 5,407	/ 5,460	5,460		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	丹後鉄道全体平均乗客数	人/日	4,826/5,355	4,510/5,355	4,326 / 5,407	/ 5,460	5,460		
	単位あたりコスト		29.93	31.13	36.67				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市民の貴重な交通手段として、また、福知山駅を中心としたまちづくりや経済活動活性化のために、なくてはならない路線である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	事業内容については、随時京都府や兵庫県、沿線市町等と協議し、取捨選択の上協調して支援しており、事業費や負担割合は妥当である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	経営支援を行うことで鉄道の安全な運行が確保されるとともに、利用者の利便性が確保される。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	京都丹後鉄道は沿線地域の人々の貴重な移動手段であり、京都府北部地域の振興と本市の都市機能に欠かせない交通基盤である。この交通基盤を維持し、地域の活力向上につなげるため、府や関係市町と連携し継続してKTRに支援を行う。		
これまでの課題及び今後の方向性	平成27年4月から上下分離方式による再構築を行い、基盤保有会社〔北近畿タンゴ鉄道(株)(KTR)〕と運行会社〔WILLER TRAINS(株)〕による事業展開を行っている。 京都府をはじめ、沿線自治体と連携して、安全運行に必要な基盤を維持し、沿線地域の活性化と交流の拡大を促進するために引き続きKTRに支援を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	鉄道利用促進事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	110122	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 交通対策費	会計	01 一般会計	決算付属資料	82	頁
施策体系	施策コード	030201	施策名	利用しやすい鉄道機能を確保する									
計画期間	開始年度	昭和61年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	—							
根拠法令等	—												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	KTR支援事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	JR・京都丹後鉄道の利用に対する補助事業や啓発事業を実施することで、鉄道の利用促進を図る。								
対象者	市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山市鉄道利用増進協議会								
事業概要 (簡条書き)	福知山市鉄道利用増進協議会に補助金を交付し、利用促進のための事業を実施する。 京都丹後鉄道利用促進協議会及び福知山線(新三田～福知山間)複線化促進期成同盟会に参画し、国・JR本社等への要望活動や利用促進事業を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	701	福知山市鉄道利用増進協議会への補助金						
	旅費	192	会議等出張費用						
	需用費	269	丹鉄関連施設管理費(光熱水費、修繕費)						
	役務費・使用料及び賃賃料	67	郵送料等						
委託料・工事請負費	4,084	丹鉄関連施設管理業務の委託							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	420	5,481	4,289	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	420	5,481	4,289						
予算財源内訳	① 一般財源	420	5,481	4,289					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	△ 169	0					
	② 配当予算	420	5,312	0					
	③ 執行額	420	5,312	0					
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.16 / 0.00	0.53 / 0.00	0.53 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,280	4,240	4,240	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,700	9,552	4,240						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	丹鉄福知山市内駅平均乗客数	人/日	1,385/1,542	1,276/1,545	1,188 / 1,545	/ 1,550	1,550		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	教育機関補助件数	件	72/	48/	48 / 65	/ 52	52		
	単位あたりコスト		5.83	8.75	110.67				
	企画旅行補助件数	件	3/	2/	1 / 5	/ 4	4		
単位あたりコスト		140.00	210.00	5312.39					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	鉄道網の整備・拡充による福知山駅を中心とした中心市街地活性化や沿線住民の貴重な移動手段である公共交通を維持していくために必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	団体利用を対象とすることで大人数の利用を促進し、大量輸送が可能な鉄道の効率性を高めた。 また、利用者に一定の負担を求めることで、事業の効率的な持続を図った。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	教育機関の団体利用を対象とすることで、クラブ活動や校外活動での利用を促進すると同時に、自家用車の移動が多い園児や児童が鉄道に慣れ親しむ機会を増やすことで、今後の鉄道利用人口の増加及び路線の維持に寄与した。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	教育機関利用団体補助金の申請件数が前年度から減少したことを受け、市内の高等学校に改めて補助制度の周知を行った。さらに、教育機関利用団体補助金や企画旅行補助金の制度案内チラシを作成し、市内の公立幼稚園・保育園・小学校・中学校に送付した。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和元年度より、関係事業であるJR福知山複線化等促進事業、丹鉄利用促進事業、丹鉄関連施設管理事業を本事業に統合し、効率的に各事業を実施した。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	乗合タクシー導入モデル事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	120107	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 交通対策費	会計	01 一般会計	決算付属資料	82	頁
施策体系	施策コード	030203	施策名	公共交通のネットワークを充実させる									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市地域公共交通網形成計画							
根拠法令等	道路運送法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	交通不便地域において、乗合タクシーなどの新しい交通体系の実現のために、必要な運行体系の検討と関係者との調整を支援するとともに、持続可能な運行が確保できるよう財政的な支援策の検討を行う。								
対象者	デマンド型乗合タクシー利用者	対象者数	100	単位あたりコスト	29.4				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	下豊富北部地域デマンドタクシー運営協議会								
事業概要 (簡条書き)	福知山市地域公共交通網形成計画の基本方針に基づき、路線バス再編による補完交通として、また、公共交通の利用が困難な交通不便地域における交通ネットワークとして、地域が主体となって取り組む乗合タクシー事業に対して、モデル事業として運行に係る経費を支援した。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	304	下豊富北部地域デマンドタクシー運営協議会が行うデマンド型乗合タクシー事業に対する支援						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	965	976		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	0	965	976						
予算財源内訳	① 一般財源		483	488					
	② 国支出金		0	0					
	③ 府支出金		482	488					
	④ 地方債		0	0					
	⑤ その他特財		0	0					
決算情報	① 流充用額	0	△ 520	0		0			
	② 配当予算	0	445	0		0			
	③ 執行額	0	304	0		0			
	④ 執行率		68.2%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)		0.33 / 0.00	0.33 / 0.00		0.00 / 0.00			
	② 概算人件費		2,640	2,640		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	2,944	2,640						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域でつくり・支える公共交通システム支援費補助金	種類	総務費府補助金	実績金額	148	決算付属資料	24	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	新たな移動手段の導入・試行件数	件			2 / 2	/ 2	6		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	1便当たり乗車人数	人			1.6 / 1.5	/ 1.5	1.5		
	単位あたりコスト				189.92	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	交通不便地域の移動手段の確保は今後ますます需要が高まり、公共交通の再編を進める上で必要不可欠であるため、その導入に向けてのモデルとなる本事業の必要性は極めて高い。本事業の導入については、自治会要望だけでなく、地域の住民アンケートにより事前にニーズを把握して実施している。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	現在の事業内容が適当かどうかを検証することによって、事業内容の適正性を判断するものであり、効率的な事業である。運行内容等については、地域の代表者で組織する下豊富北部地域デマンドタクシー運営協議会と随時協議を行いながら、効率的かつ一定の利便性確保も図りながら決定している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	事業実施にあたり、他地域の先事例等も参考にした上で、実施団体、対象地域、その他関係者と十分調整を行っており、その有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	平均で見ると便当り乗車人数は1.5人を超えており、一定の乗合需要があるように見えるが、偏りが大きく令和元年10月と令和2年1月以外は全く乗合が発生していない。今後、更なる事業PRを行い、地域と連携した利用促進を図っていく必要がある。		
これまでの課題及び今後の方向性	本事業は乗合タクシー導入のモデル事業であり、事業内容の検証を行い、本格運行或いは他地域での運行につなげていかなければならない。		

VI 他部署評価

事後事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ・事業化に導くためのモデル実施であり、条件見直し等を検討しながら効果を探っていただきたい。 ・事業目的に記載のある「持続可能な運行が確保できる」とは、どういう状態なのか今一度、整理が必要ではないか。 ・当該事業が、「乗合」と「持続可能」を前提にしているのであれば、活動実績の目標設定は低いのではないか。 ・「乗り合い」の有効性を前提とした実証実験であるが、実績値からは有益性を見出すことは難しい。モデル地域の物理的な位置環境等にも影響されるが、今後の交通不便地域での有償運送事業を展開する際の事例として、地域ニーズ(事前・事後)を含めた検討をお願いしたい。 ・利用料金等は利用者人数の実績を検証し、適切な設定が必要ではないか。「乗り合い」に焦点を当てて課題を整理いただきたい。 ・通常のサービスとの関係で実施方法をより良い方向でモデル事業から一般事業へ変換していく必要があると考える。 ・交通不便地域への対応は必要と考えられ、乗合タクシーの手法にとらわれず、地域の実情にあった手法を考えていく必要がある。
--------	--

事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	市バス運行事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	120110	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 交通対策費	会計	01 一般会計	決算付属資料	82・84	頁
施策体系	施策コード	030202	施策名	利用しやすいバス交通を確保する									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市地域公共交通網形成計画							
根拠法令等	道路運送法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	敬老乗車券事業、公共交通維持改善事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	民間バス運行事業者の廃止代替路線として旧3町から引き継いだ路線バスを継続して運行することにより、山間地等の交通不便地域の生活交通を確保し、移動手段を持たない高齢者や学生等の利便性の維持・向上を図る。								
対象者	市バス利用者数	対象者数	36,838	単位あたりコスト	1.5				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	(有)チームワーク								
事業概要 (簡条書き)	三和地域4路線、夜久野地域3路線、大江地域2路線、大江鬼楽バス5路線の市バスを運行する。旧三町地域から引き継いだ市バス路線を継続して運行することにより、山間地等の交通不便地域の生活交通を確保し、自動車等の交通移動手段を持たない高齢者や学生などの利便性の維持・向上を図る。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	1,409	市バス車両の修繕料及びバス停標識の新設、時刻表等に係る消耗品費等						
	役員費	125	市バス車両車検に伴う手数料及び保険料						
	委託料	49,673	市バス運行業務委託料等						
	使用料及び賃借料	108	市バス車庫使用料等						
公課費	152	市バス車両重量税							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	54,784	51,028	51,408		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	54,784	51,028	51,408						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	9,566	9,498	9,381					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	45,218	41,530	42,027					
決算情報	① 流充用額	2,066	439	0		0			
	② 配当予算	56,850	51,467	0		0			
	③ 執行額	56,846	51,467	0		0			
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.53/0	0.53 / 0.00	0.53 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,240	4,240	4,240		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	61,086	55,707	4,240						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市町村運行確保生活路線維持費補助金	種類	総務費府補助金	実績金額	8,748	決算付属資料	24	頁
	特財名称	市バス運行事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	36,123	決算付属資料	38	頁
	特財名称	市バス広告収入	種類	雑入	実績金額	118	決算付属資料	44	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	市バス利用者数	人	42,216/56,000	40,711/56,000	36,838 / 56,000	/ 56,000	56,000		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	1日当たり市バス運行便数	本	53/62	50/50	42 / 42	/ 42	42		
	単位あたりコスト		1163.55	1136.92	1225.40				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	高齢者や学生等の移動手段を確保するとともに、地域活力を維持するため地域の生活路線を維持する必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	京都府補助金や過疎基金を活用し、効率的に実施している。また、地域の実情に応じた再編を進め、効率化を図っている。しかし、未だに利用の少ない路線や便が残っており、利用者の減少に見合った運行形態への再編を今以上に進める必要がある。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	人口減少や高齢化も影響して利用者数は減少傾向にあるが、公共交通の地域における必要性は依然として高く、地域の生活環境を維持する上で移送手段の確保は必須である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	公共交通は、自動車等の移動手段を持たない交通不便地域の高齢者や学生等にとってなくてはならないものである。しかし、路線バスの利用者数は減少傾向にあり、それぞれの地域の特性に応じた効率的で利便性の高い他の移動手段の導入を検討し、転換を図っており、成果実績の達成は困難な状況である。今後、転換の方向性をそれぞれの地域で定めていく中で目標の再設定を検討していく。		
これまでの課題及び今後の方向性	福知山市の路線バス再編の基本方針である「福知山市地域公共交通網形成計画」に基づき、市バスについては平成29年度から随時再編を実施している。具体的には、三和地域においては、利用が少ない便の減便等を行い、その代替移動手段として公共交通空白地有償運送や令和元年度からはスクールバス一般混乗を導入しており、今後は他地域での展開を検討している。また、令和2年度は第2次計画である(仮称)地域公共交通計画を策定し、実績の評価や目標値・方針の見直しを行っていく必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	公共交通維持改善事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	120116	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 交通対策費	会計	01 一般会計	決算付属資料	84	頁
施策体系	施策コード	030202	施策名	利用しやすいバス交通を確保する									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市地域公共交通網形成計画							
根拠法令等	道路運送法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	敬老乗車券事業、市バス運行事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	公共交通の利用者は年々減少傾向にあり、持続可能な地域公共交通を確保するために、地域の実情と市民ニーズに対応した交通体系の再編と利用促進が求められている。本事業では、本市の公共交通再編の基本方針となる「福知山市地域公共交通網形成計画」に基づき、公共交通の維持及び改善に関する事業を展開する。												
対象者	路線バス利用者	対象者数	552,463	単位あたりコスト	0.1								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	福知山市、福知山市地域公共交通会議												
事業概要 (箇条書き)	バス路線の維持確保を目的に、市内で路線バスを運行する事業者に対し、国・府と協調しながら財政支援を行った。 公共交通の利用促進を目的に、市内を運行する路線バスと鉄道の路線及び運行時刻等を掲載したバスマップ付時刻表を作成、配布した。 道路運送法の規定に基づき、専門的立場の関係者による地域公共交通会議を開催し、路線バスの路線変更、運賃改定や利用促進、また交通手段を持たない人に配慮した交通システム導入等に関する協議、調整、検討等を行った。 本事業は、平成30年度に「地方バス路線運行事業」、「市内バス時刻表作成事業」、「地域公共交通会議開催事業」の3事業を統合したものである。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	65,391	民間バス、自主運行バスの収支欠損に対する補助										
	需用費	483	バスマップ&時刻表印刷製本、駅北口用バス時刻表印刷製本、色上質紙購入										
	報酬	416	地域公共交通会議及び調整部会の開催										
	旅費	183	公共交通に関する協議等のための出張										
	役務費	49	公共交通に関する文書の郵送										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,229	1,049	9,577	予算編成時記入				
	② 補正予算	60,913	65,392	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	62,142	66,441	9,577						
予算財源内訳	① 一般財源	54,717	57,988	5,301					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	7,398	8,426	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	27	27	4,276					
決算情報	① 流充用額	50	189	0	0				
	② 配当予算	62,192	66,630	0	0				
	③ 執行額	60,586	66,521	0	0				
	④ 執行率	97.4%	99.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.75/0	0.86 / 0.00	0.86 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	14,000	6,880	6,880	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	74,586	73,401	6,880						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市町村運行確保生活路線維持費補助金	種類	総務費府補助金	実績金額	8,426	決算付属資料	24	頁
	特財名称	市内バス時刻表広告収入	種類	雑入	実績金額	24	決算付属資料	44	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		市民一人あたりの年間路線バス利用回数	回	7.6/7.0	7.3/7.0	7.1 / 7.0	/ 7.0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	補助金額(運行維持費のみ)	千円	55,503/54,762	59,544/54,762	65,391 / 54,762	/ 54,762	54,762
	単位あたりコスト		1.02	1.02	1.02		
	時刻表配布冊数	冊	7,000/5,000	5,000/5,000	5,000 / 5,000	/ 5,000	5,000
	単位あたりコスト		8.09	12.12	13.30		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<p>移動手段を持たない高齢者や学生等の移動手段を確保する必要があり、そのためには、財政支援による公共交通の維持や、バスマップの作成による利用促進が必要である。また、公共交通再編にあたっては、地域住民や運行事業者等様々な視点からの意見を交流する法に基づいた会議の開催が必須となっている。</p>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<p>運行事業者への財政支援は、国、府及び隣接市町と協調して行っている。また、別々であった路線図と時刻表を一体化することでコストを削減し、さらに、民間バス事業者の有料広告を掲載し、財源確保に努めている。地域公共交通会議で協議が調った事項については、運輸局の承認等が短時間かつ円滑になり、有効な事業である。</p>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<p>財政支援を行うことで路線バス等の生活移動手段を維持・確保し、市民の利便性、地域活力の確保に寄与している。まちなか循環バス等一部のバス路線については利用が拡大している。活動実績は作成部数を実際に配布しており有効活用している。</p>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>路線バス再編の基本方針となる「福知山市地域公共交通網形成計画」において、民間バス等への支援を始めとする市の財政負担額については、平成27年度額を基本として現状を上回らないことを目標として掲げており、再編の実施期間である令和2年度までに、市の財政負担額について一定の抑制を図りつつ、最大限効率的な再編を行うこととしている。路線バス利用者数の変動については、他事業も含めた複数の要因によるものであるが、近年は、一部路線で利用者数が増加しており、本事業の実施も一定の効果があったと考えられる。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>引き続き継続して実施していくが、現行路線の維持と同時に利用促進や他の交通手段への転換も積極的に展開する必要がある。さらに事業者への支援のあり方についても平行して検討する必要がある。平成25年度からそれぞれ別々に作成していた路線図(マップ)と時刻表が一体となったものを作成し、一定の評価は得たものの、路線バスの利用はなじみが薄いと分かりにくい面もあり、高齢者や観光客に対して、さらにわかりやすく発信できるよう工夫する必要がある。また、バス利用者に対してより効果的な情報発信ができるよう、時刻表に料金表を表示するQRコードや案内観光・交通案内アプリ「森の京都NAVI」のダウンロードの案内を掲載しており、ICTによる効果的な情報発信を引き続き検討していく。本事業においては、地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画等の各項目の実施も推進していく必要がある。また、計画の期間が令和2年度までであり、令和2年度に第2次計画である(仮称)地域公共交通計画を作成し、実績の評価や目標値・方針の見直しを行っていく必要がある。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	有償運送運営協議会開催事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	120145	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 交通対策費	会計	01 一般会計	決算付属資料	84	頁
施策体系	施策コード	030203		施策名	公共交通のネットワークを充実させる								
計画期間	開始年度	平成20年度		終了予定年度	令和元年度		関連計画名	—					
根拠法令等	道路運送法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	路線バスなどの公共交通を利用することが困難な高齢者や障害のある人、また交通空白地域の移動手段を確保し、住民福祉の向上、交通不便地域の解消を図るために、道路運送法の規定に基づき、自家有償旅客運送の適正な運営のあり方について審査を行うことを目的とする。								
対象者	有償運送運営協議会委員		対象者数	21		単位あたりコスト	39.7		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山市有償運送運営協議会								
事業概要 (簡条書き)	運営協議会を開催し、福祉有償運送及び公共交通空白地有償運送の新規登録・更新登録案件について、その必要性の確認、運行体系や安全対策の確認を行うとともに、旅客の適格性を確認するなど、適正な運営について審議を行う。登録審査以外にも、有償運送の運営に関連する事項について協議・報告を行い、情報の共有を図りながら、より良い有償運送のあり方を協議する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	報酬	192		福知山市有償運送運営協議会開催に係る委員報酬					
	役員費	2		福知山市有償運送運営協議会に係る通知等の郵送料					

III 予算執行状況										
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	296		253		0		予算編成時記入		
	② 補正予算	0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0				
小計(①~③)	296		253		0					
予算財源内訳	① 一般財源	296		253		0				
	② 国支出金	0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0				
決算情報	① 流充用額	△ 49		△ 11		0		0		
	② 配当予算	247		242		0		0		
	③ 執行額	111		194		0		0		
	④ 執行率	44.9%		80.2%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.13/0		0.08 / 0.00		/		0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	1,040		640				0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,151		834		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額	決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額	決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額	決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		福祉有償運送利用者数	人/年	18,350/30,000	18,520/30,000	20,862 / 30,000	/ 30,000	30,000	
	公共交通空白地有償運送利用者数	人/年	1,836/3,000	2,637/3,000	2,892 / 3,000	/ 3,000	3,000		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	会議開催回数	回/年	3/2	1/2	2 / 2	/ 2	2		
	単位あたりコスト		112.00	111.00	97.22				
	活動団体数	団体	13/13	13/13	12 / 12	/ 6	6		
	単位あたりコスト		25.85	8.54	16.20				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	道路運送法の規定に基づき実施している事業であり、事業の適正性を確保するためにも必要性が高く、民間事業者等では実施できない事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	新規登録や更新登録等の案件によって実施する事業であり、登録時期が近い案件をまとめることで効率化を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	有償運送運営団体の円滑かつ安定した運営に寄与しており、有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	協議会を確実に実施することによって、有償運送実施団体の更新手続等の事務処理を円滑に進めることができ、活動実績の目標は達成できた。		
これまでの課題及び今後の方向性	本市の公共交通再編の基本方針である「福知山市地域公共交通網形成計画」に基づいて、公共交通空白地有償運送事業の活用・展開を図っていくうえで、運行事業者の運営が厳しいことや運転手不足も考慮したうえで、必要となるガイドラインの策定・見直しや実施団体への運行支援のあり方について検討を行う必要がある。 また、「有償運送運行事業」として、「有償運送運営協議会開催事業」、「福祉有償運送実施団体活動補助事業」、「交通空白地域移送サービス支援事業」、「地域コミュニティ交通導入モデル事業」と事業統合を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	福祉有償運送実施団体活動補助事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	120148	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 交通対策費	会計	01 一般会計	決算付属資料	84	頁
施策体系	施策コード	030203	施策名	公共交通のネットワークを充実させる									
計画期間	開始年度	平成21年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名	—							
根拠法令等	—												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	—												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	高齢化の進行、障害のある人の社会参加の拡大、介護保険制度等による自立支援が推進されるなか、身体的な理由から公共交通を利用することが困難な人の外出移動手段である福祉有償運送の運営を支援することで、利用者の利便性の向上、福祉の増進を図ることを目的とする。								
対象者	福祉有償運送利用者数	対象者数	20,862	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福祉有償運送事業実施団体								
事業概要 (簡条書き)	道路運送法第79条に基づく福祉有償運送事業実施団体に対して、福祉有償運送に要する経費のうち、安全講習会受講費、車両整備費、運行管理のための事務経費に係る経費の2分の1を補助し、その活動を支援する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	653	福祉有償運送事業実施団体に対する支援						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	948	850	0	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	948	850	0						
予算財源内訳	① 一般財源	948	850	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	△ 7	0	0	0				
	② 配当予算	941	850	0	0				
	③ 執行額	818	653	0	0				
	④ 執行率	86.9%	76.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.12/0	0.07 / 0.00	/	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	960	560		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,778	1,213	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	福祉有償運送利用者数	人	18,350/30,000	18,520/30,000	20,862 / 30,000	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	補助対象事業者数	団体	5/9	6/10	4 / 9	/	
	単位あたりコスト		140.80	136.33	163.25		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	高齢化の進展、障害のある人の社会参加の拡大、介護保険制度等による自立支援が推進されるなか、福祉有償運送の需要は今後高くなると思われ、本事業の必要性も高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	福祉有償運送自体、ボランティアに近い形で事業を行っており、活動の十分な支援とは言えないが、他市に比べ事業実施団体も多く、補助対象事業者数も多いことから、限られた予算の中で効率的な支援ができています。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	他市では、補助対象経費を運行に係る全ての経費としている事例もあり、運行確保に向けた支援策の検討が必要である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	現時点で、実施団体に本事業に対する理解を得た上で制度を活用してもらうことを活動実績としており、一定の成果があると考えている。		
これまでの課題及び今後の方向性	実施団体へのヒアリングによると、有償運送事業の運営状況は収益が見込めず、運転手もボランティアで行っているような状況である。福祉施策の今後の方針の中で、福祉有償運送をどのように位置づけていくかにより、必要な支援のあり方についても検討していく。令和2年度からは「有償運送運行事業」として、「有償運送運営協議会開催事業」、「福祉有償運送実施団体活動補助事業」、「交通空白地域移送サービス支援事業」、「地域コミュニティ交通導入モデル事業」と事業統合を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	交通空白地域移送サービス支援事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	120159	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 交通対策費	会計	01 一般会計	決算付属資料	84	頁
施策体系	施策コード	030203		施策名	公共交通のネットワークを充実させる								
計画期間	開始年度	平成23年度		終了予定年度	令和元年度		関連計画名	—					
根拠法令等	—												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	—												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	過疎地域等の鉄道やバス路線から離れた公共交通空白地域においては、高齢化の進行等から、自動車等の移動手段を持たない高齢者等の通院や買物等の移動手段の確保が大きな課題となっている。こうした地域で公共交通空白地有償運送事業を実施する団体の運営を支援し、交通空白地域に居住する高齢者等の地域住民の持続可能な移動手段の確保に努めることを目的とする。								
対象者	公共交通空白地有償運送利用者数	対象者数	2,892		単位あたりコスト	0.2			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	公共交通空白地有償運送実施団体								
事業概要 (簡条書き)	道路運送法第79条に基づく公共交通空白地有償運送を行う団体に対し収支欠損補助を行い、その活動を支援する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	329	公共交通空白地域移送サービス事業を実施する事業者に対する支援						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	600	500	0	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	600	500	0						
予算財源内訳	① 一般財源	600	500	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0			
	② 配当予算	600	500	0	0	0			
	③ 執行額	320	329	0	0	0			
	④ 執行率	53.3%	65.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.09/0	0.04 / 0.00	/	0.00	0.00			
	② 概算人件費	720	320			0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,040	649	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	公共交通空白地有償運送利用者数	人	1,836/3,000	2,637/3,000	2,892 / 3,000	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	制度利用団体数	団体	3/3	2/2	2 / 2	/			
	単位あたりコスト		109.00	160.00	164.50	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	公共交通空白地の移動手段確保については今後ますます需要が高まり、公共交通の再編を進める上で自家用有償運送の役割は重要となっており、必要性は非常に高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	採算性のある事業ではなく、運行の実態を見ると、収支については非常に厳しいものがあり、現在の補助制度では事業者の負担が大きく、他地域での新たな事業展開が難しいため、支援のあり方について検討する必要がある。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	採算性のある事業ではなく、運行の実態を見ると、収支については非常に厳しいものがあり、現在の補助制度では事業者の負担が大きく、他地域での新たな事業展開が難しいため、支援のあり方について検討する必要がある。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	本事業については現行の公共交通でカバーしきれない公共交通空白地域での移動手段確保のための事業に対する支援であり、例えば、非効率なバス路線の見直しを行い、代替手段として本事業導入を促進する等、公共交通を補完する形で実施するケースも想定し、検討する必要がある。		
これまでの課題及び今後の方向性	補助内容については、公共交通が展開できない過疎地域を対象した事業でありながら、路線バスのなかでも利用度が比較的高い幹線系統路線の国庫補助基準を準用している。 今後、「福知山市地域公共交通網形成計画」に基づき路線バスの再編を行うなかで、公共交通を補完する地域コミュニティ交通としての必要度は高く、実態に応じた支援制度のあり方について検討する必要がある。 令和2年度からは「有償運送運行事業」として、「有償運送運営協議会開催事業」、「福祉有償運送実施団体活動補助事業」、「交通空白地域移送サービス支援事業」、「地域コミュニティ交通導入モデル事業」と事業統合を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	地域コミュニティ交通導入モデル事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	120160	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 交通対策費	会計	01 一般会計	決算付属資料	84	頁
施策体系	施策コード	030203	施策名	公共交通のネットワークを充実させる									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名	福知山市地域公共交通網形成計画							
根拠法令等	道路運送法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	有償運送運営協議会開催事業、交通空白地域移送サービス支援事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	「福知山市地域公共交通網形成計画」に基づき、地域の実情やニーズに適した効率的・効果的な交通体系の再編を進めている。その一環として、三和地域をモデル事業として、バス路線の再編に伴う補完、また鉄道やバス路線から離れた公共交通空白地における移動手段の確保のため「公共交通空白地有償運送事業」の導入推進のため、その支援内容及び適正な運行のあり方について検証を行うことを目的に実施する。								
対象者	公共交通空白地有償運送利用者数	対象者数	969	単位あたりコスト	3.9				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	三和地域協議会								
事業概要 (箇条書き)	三和地域における利用率が低い市バスの削減や路線の短縮等運行内容見直しに合わせ、三和地域協議会が実施する公共交通空白地有償運送事業を地域コミュニティ交通導入のモデル事業として位置づけ、運送に要する経費を支援する。								
主な支出に係る 業務内容及び経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	2,000	三和地域協議会が行う有償運送事業に対する支援						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,485	2,000	0	0	予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	1,485	2,000	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	1,000	0	0				
	③ 府支出金	742	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	743	1,000	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	1,485	2,000	0	0				
	③ 執行額	1,296	2,000	0	0				
	④ 執行率	87.3%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.25/0	0.22 / 0.00	/	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,000	1,760		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,296	3,760	0	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	総務費国庫補助金	実績金額	1,000	決算付属資料	18	頁
	特財名称	地域コミュニティ交通導入モデル事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	1,000	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	新たな移動手段の導入・試行件数	件	1/6	1/6	2	/	6	/	6
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	有償運送利用者数(1日当たり)	人	1.6/5	2.4/5	3.3	/	5	/	5
	単位あたりコスト		476.88	540.00	606.06				
	単位あたりコスト		/	/	/		/		

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	公共交通空白地等の交通不便地域の移動手段の確保は今後ますます需要が高まり、公共交通の再編を進める上で必要不可欠であるため、その導入に向けての基本方針となる本事業の必要性は極めて高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	現在の事業内容が適当かどうかを検証することによって、事業内容の適正性を判断するものであり、効率的な事業である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	事業実施にあたり、他地域の先事例等も参考にし、実施団体、対象地域、その他関係者と十分調整を行っており、その有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	平成31年4月に三和地域の市バスの更なる再編を行ったことで、市バス利用者が個別移送に転換し、利用者は増加したが、当初見込みまで利用が伸びず、引き続き利用拡大に向けた取組を行っていく必要がある。今後、事業内容を検証する中で適正な運行のあり方を確認していく。		
これまでの課題及び今後の方向性	本事業については実証実験であり、事業内容を検証し、適正な形での本格運行或いは他地域での運行につなげていかなければならない。令和2年度は、引き続き事業の検証を行う中で、支援内容のあり方を検討し、地域コミュニティ交通導入に向けてガイドラインを作成する。令和2年度からは「有償運送運行事業」として、「有償運送運営協議会開催事業」、「福祉有償運送実施団体活動補助事業」、「交通空白地域移送サービス支援事業」、「地域コミュニティ交通導入モデル事業」と事業統合を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	敬老乗車券事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	120168	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 交通対策費	会計	01 一般会計	決算付属資料	84	頁
施策体系	施策コード	030202	施策名	利用しやすいバス交通を確保する									
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市地域公共交通網形成計画							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	高齢者の通院や買い物等の外出を支援することによって、公共交通の利用促進を図ることを目的とする。								
対象者	75歳以上の市民で、福知山市在宅高齢者外出支援助成事業を利用されていない人		対象者数	11,120		単位あたりコスト	1.6		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	市内在住の75歳以上の高齢者を対象に、路線バスや京都丹後鉄道の乗車券1冊3,000円分を500円で購入できる敬老乗車券(100円券30枚)として販売する。ただし、購入は1人につき同年度内に3冊まで(免許返納者は5冊まで)に制限している。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助金及び交付金	9,797	敬老乗車券が使用された額に対する運行事業者への負担金						
	賃金	1,240	臨時職員賃金						
	需用費	171	消耗品費・印刷製本費						
	備品購入費	10	老眼鏡購入費用						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	13,252	10,171		11,862		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①~③)	13,252	10,171		11,862							
予算財源内訳	① 一般財源	8,577	6,078		7,479						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	0	0		0						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	4,675	4,093		4,383						
決算情報	① 流充用額	35	1,219		0						
	② 配当予算	13,287	11,390		0						
	③ 執行額	12,934	11,218		0						
	④ 執行率	97.3%	98.5%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.28/0	0.82	/	0.00	0.82	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	2,240	6,560		6,560		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	15,174	17,778		6,560							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	敬老乗車券販売収入	種類	雑入	実績金額	2,094	決算付属資料	46	頁		
	特財名称	敬老乗車券基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	2,077	決算付属資料	38	頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		敬老乗車券販売者数	人	1,450/1,500	1,212/1,500	1,564 / 1,500	/ 1,500	1,500	
	市民1人あたりの年間路線バス利用回数	人	7.6/7.0	7.3/7.0	7.1 / 7.0	/ 7	7		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	敬老乗車券販売冊数	冊	3,858/4,000	3,272/4,000	4,118 / 4,000	/ 4,000	4,000		
	単位あたりコスト		3.18	3.95	2.72				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	公共交通の維持・確保が社会問題となっているなか、利用促進策である本事業の優先度は高い。また、福知山市は多くの運行事業者が存在することから、行政以外では統一的な実施が困難である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	他市事例を研究したうえで、年齢制限を設けるとともに、利用者の裾野を広げることを目的に購入制限を設けており、日常的利用者の単なる運賃補助にならないように工夫している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	敬老乗車券の利用に対する運行事業者への負担額よりも、運行事業者の収支欠損分補助額の減少のほうが大きく有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	敬老乗車券の販売数は、H26年度の3,576冊からR1年度の4,118冊へと大幅に増加した。市内のバスの総利用者数は、年度ごとの増減はあるものの横ばい傾向にあり、高齢者の外出支援策として成果を上げている。		
これまでの課題及び今後の方向性	敬老乗車券事業については、事業そのもののあり方について、福祉施策と一体となった移動支援策の再構築を検討してきたが、令和2年度は現行制度のまま実施することとした。令和3年度以降に向けては、現在の公共交通の利用促進という視点とともに移動困難者の移動手段を確保するという福祉の視点も含めて、制度の総合的見直しについて検討を継続する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	高齢者運転免許証返納推進事業									
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行		
会計情報	事業コード	120179	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 交通対策費	会計	01 一般会計 決算付属資料 84 頁
施策体系	施策コード	040303	施策名	交通安全対策を推進する						
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第10次福知山市交通安全計画				
根拠法令等										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業	交通安全対策事業									

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	近年、全国的に高齢ドライバーの交通事故の割合が増加傾向にあり、高齢ドライバーによる交通事故の抑制を図る必要があることから、自動車の運転に自信がなくなった、または運転する機会が少なくなった高齢者に運転免許証を自主返納しやすい環境を提供し、高齢者の自動車運転機会の縮小を図り、交通事故の減少につなげることを目的とする。								
対象者	高齢者運転免許証返納推進事業申請者数	対象者数	298	単位あたりコスト	9.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	市内に在住し、運転免許証を自主的に返納した75歳以上の高齢者に対し、敬老乗車券2冊(6,000円分)もしくはタクシー券(5,000円分)のいずれかを贈呈する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報償費	281	運転経歴証明書交付手数料返納金						
	報償費	1,315	タクシークーポン券交付金						
	報償費	35	敬老乗車券交付金						
役員費	111	交付通知書等郵送料							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,294	1,377	1,442		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	1,294	1,377	1,442						
予算財源内訳	① 一般財源	1,294	1,377	1,442					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	15	364	0		0			
	② 配当予算	1,309	1,741	0		0			
	③ 執行額	1,309	1,741	0		0			
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.12/0	0.79 / 0.00	0.79 / 0.00	0.00	0.00	0.00		
	② 概算人件費	960	960	960	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,269	2,701	960						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
		高齢者の事故件数の減少	件	74/65	48/65	42 / 65	/ 65	65	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	制度利用者数	人	230/150	241/185	298 / 185	/ 185	185		
	単位あたりコスト		5.53	5.34	5.84				
	運転免許返納申請者数	人	308/200	326/200	422 / 200	/ 200	200		
	単位あたりコスト		4.13	4.59	4.13				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	近年、本市も含めて全国的にも高齢者の事故が増加しており、必要度の高い事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	他市では、返納者に対して継続的な支援の実施もみられるが、本市では返納時のみのサービスとしているにも関わらず返納者増につながっていることから効率的な事業と判断できる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	事業開始によって確実に返納者が増えていることから、有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	事業実施前の運転免許返納者数はH23が10人、H24が16人、H25が54人であったが、H26から事業を開始し、H29が308人、H30が326人、H31が422人となり、事業の効果は顕著である。また、高齢者の交通事故件数も確実に減少しており、評価の高い事業である。		
これまでの課題及び今後の方向性	公共交通が充実していない地域では、運転免許を返納しても代替交通移動手段の確保が困難であり、免許返納の進まないことが懸念される。また、周辺地域に居住する高齢者にとって免許は農作業にも必要不可欠であり、この面でも大きな課題が残る。高齢者が安全に運転できるよう安全教育や講習制度の充実、またサポートカー等の新しい技術の周知等に取り組む必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	交通安全対策事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	560214	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 交通対策費	会計	01 一般会計	決算付属資料	84	頁
施策体系	施策コード	040303	施策名	交通安全対策を推進する									
計画期間	開始年度	昭和41年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第10次福知山市交通安全計画							
根拠法令等	第10次福知山市交通安全計画												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	市民の尊い命を交通事故から守るため、交通安全思想の普及・浸透に努め、交通事故防止の徹底と交通の円滑化を図り適切な交通対策を推進する。								
対象者	市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山市交通対策協議会								
事業概要 (箇条書き)	京都府の年間交通安全府民運動実施要綱に基づき、市内32団体で組織する福知山市交通対策協議会として年間の交通安全運動を展開し、交通安全に対する意識の高揚、交通事故の防止、交通マナーの向上を図る。 交通安全対策会議を主宰し、策定した第10次福知山市交通安全計画に基づき、施策を具体的に実施する。 通学路安全推進会議を主宰し、関係機関と連携し、通学路の危険箇所の合同点検と安全対策を実施する。 未就学児が日常的に集団で移動する経路の緊急安全点検推進会議を主宰し、関係機関と連携し、未就学児が日常的に集団で移動する経路の危険箇所の安全対策の検証を実施する。 交通安全要望に対する道路管理者、警察等との調整対応及び自治会等への対応を行う。 シートベルト着用推進を図る。 幼児や高齢者を対象とした、交通指導員による交通安全教室を開催し、交通安全に対する意識の高揚を図る。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	賃金	2,253	交通指導員賃金						
	需用費	356	交通安全旗、ランドセルカバー購入費等						
	役務費	181	郵送料、電話代						
	旅費	15	旅費						
	負担金補助及び交付金、扶助費	828	福知山市交通対策協議会負担金、交通遺児激励金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	4,002	3,787	4,088	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	4,002	3,787	4,088						
予算財源内訳	① 一般財源	4,002	3,787	4,088					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	△ 369	△ 5	0					
	② 配当予算	3,633	3,782	0					
	③ 執行額	3,573	3,633	0					
	④ 執行率	98.4%	96.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.65/0	0.54 / 0	0.54 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	5,200	4,320	4,320	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,773	7,953	4,320						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	交通事故発生件数	件	203/180	173/180	125 / 180	/ 180	180		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	交通安全街頭啓発活動	回	24/20	22/20	34 / 20	/ 20	20		
	単位あたりコスト		63.71	162.41	106.85				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	交通事故防止は市民の命に直接関わる重要な問題であり、市民の安心・安全のために交通安全対策に積極的に取り組む必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	福知山警察署、福知山交通安全協会等の関係機関・団体と連携し、継続的かつ事故発生等に応じて緊急的・重点的に啓発活動に取り組んでおり、効率性は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	交通事故発生件数は減少傾向であり、自動車の安全機能の向上や救急医療体制の充実と併せて効果がある事業と思われる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	交通安全を推進していくには、交通対策協議会を中心に警察やボランティア団体との連携による全市的な活動とし、市民の意識改革に努める必要がある。そのため、継続的な取組によって市民の交通安全思想の普及につなげると同時に、市として交通安全に積極的に取り組むという姿勢を示すことによって、交通マナーの向上にもつながっている。交通事故の発生件数は減少傾向にあり一定の成果が上がっていると考える。		
これまでの課題及び今後の方向性	継続的な取組による市民の意識改革に基づいた成果達成のため、引き続き市民協働型の運動を展開していくと同時に、関係機関が連携した取組を推進していく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中学業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	駅周辺公共施設管理事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	110184	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	196	頁
施策体系	施策コード	030201		施策名	利用しやすい鉄道機能を確保する								
計画期間	開始年度	平成22年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名						
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	福知山駅を利用する通勤者・通学者、福知山駅周辺への買い物客、福知山駅への送迎者の利便性を向上させるとともに、不法駐輪及び不法駐車を抑止し、歩行者等の安全確保、良好な都市空間の形成を図る。								
対象者	市民	対象者数	78,000		単位あたりコスト	0.5			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	有限会社京都事務機販売 等								
事業概要 (簡条書き)	福知山市自転車等駐車場及び福知山市駅前広場について、指定管理者制度による管理運営の委託を実施している。市営福知山駅東西駐輪場、福知山駅南北広場駐車場が主な施設である。そのほか福知山駅南北広場バス・タクシー待機場、福知山駅南北公衆トイレを管理している。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	149	消耗品費・修繕料・印刷製本費						
	役務費	25	建物総合損害共済保険料						
	委託料	35,501	駅前広場及び駐輪場等指定管理業務						
	工事請負費	2,850	福知山駅駐輪場ラック入替工事						
	負担金	1,468	公共施設管理者負担金						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	41,351	42,775		36,189				予算編成時記入		
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①～③)	41,351	42,775		36,189							
予算財源内訳	① 一般財源	15,767	15,996		14,484						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	0	0		0						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	25,584	26,779		21,705						
決算情報	① 流充用額	△ 1,275	△ 358		0		0				
	② 配当予算	40,076	42,417		0		0				
	③ 執行額	39,910	39,993		0		0				
	④ 執行率	99.6%	94.3%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.34/0	0.35	/	0.00	0.35	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	2,720	2,800		2,800		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	42,630	42,793		2,800							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	駅北口駐車場料金		種類	土木使用料	実績金額	5,310	決算付属資料	12	頁	
	特財名称	駅東口駐輪場料金		種類	土木使用料	実績金額	12,273	決算付属資料	12	頁	
	特財名称	駅周辺公共施設管理事業基金繰入		種類	基金繰入金	実績金額	4,317	決算付属資料	40	頁	

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	実質赤字額(使用料収入額-執行額)	千円	-16,180	-13,871	-15,021	/			
	駐輪場稼働率	%	58	60	82	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	駐輪場使用料	千円	12,560	13,066	12,129	/			
	単位あたりコスト		3.24	3.05	3.16				
	駐輪場総利用台数	台	278,130	285,078	292,000	/			
	単位あたりコスト		0.15	0.14	0.13				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	福知山市の玄関口である福知山駅の利用者及び駅前の商業施設等の利用者の利便性の向上に必要である。特に、駐輪場については、定期利用者の大半を占める通勤・通学者の必要不可欠な施設となっている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	施設の管理運営について、指定管理者制度を活用し、人件費等の経費節減を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	福知山駅周辺の利便性向上及び活性化に大きく寄与している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	駐輪場の利用台数及び使用料が増加するとともに、指定管理料を抑制することで、実質赤字額を削減することができている。		
これまでの課題及び今後の方向性	駐輪場及び駐車場の更なる利用促進を図り、駅周辺のにぎわいに貢献する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	土地利用の届出勧告事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	510119	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	198	頁
施策体系	施策コード	030101		施策名	計画的な土地利用を推進する								
計画期間	開始年度	昭和49年度		終了予定年度	令和元年度		関連計画名						
根拠法令等	国土利用計画法、都市計画法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報													
事業目的 (あるべき姿)	土地の投機的取引や地価の高騰を抑制し乱開発を防ぐ。												
対象者	土地売買に携わる者となるため測定不能					対象者数	-		単位あたりコスト				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (簡条書き)	国土利用計画法に基づき一定面積以上の土地取引届出を受理した後、意見書の作成事務等を行う。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容								
	需用費	60			消耗品費								
	役務費	21			通信運搬費								

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	92	97	0	予算編成時記入						
	② 補正予算	0	0	0							
	③ 繰越予算	0	0	0							
	前年度繰越	0	0	0							
	次年度繰越	0	0	0							
小計(①~③)	92	97	0								
予算財源内訳	① 一般財源		0	0							
	② 国支出金		0	0							
	③ 府支出金	92	97	0							
	④ 地方債		0	0							
	⑤ その他特財		0	0							
決算情報	① 流充用額	0	△ 2								
	② 配当予算	92	95								
	③ 執行額	66	81								
	④ 執行率	71.7%	84.4%								
人概工算	① 従事職員数 <small>(正職員/嘱託職員)</small>	0.14 / 0.00	0.10 / 0.00	/							
	② 概算人件費	1,120	800								
トータルコスト <small>(予算執行額+概算人件費)</small>	1,186	881									
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	土地利用規制対策交付金		種類	土木費府補助金		実績金額	79	決算付属資料	28	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	定性的評価				/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	届出件数	件	7/7	9/9	5/5	/	
	単位あたりコスト		15.30	7.30	16.20		
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	京都府より委任された事務事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	事務的消耗品費を購入する際にも念密に精査し、コスト削減に取り組んでいる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	類似事業はなく抑制等に有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	国土利用計画法に基づく届出に関する事務事業であり、指標を定める性質に適さないものである。本事業は土地の乱開発を防ぐ重要な役割を担っている。(定性的評価)		
これまでの課題及び今後の方向性	制度の認知不足により、わずかではあるが遅延届出となっている案件があるため、窓口での指導や周知を行う必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	開発関連一般事務事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課				所属長	清水 俊行						
会計情報	事業コード	510124	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	198	頁
施策体系	施策コード	030101		施策名	計画的な土地利用を推進する								
計画期間	開始年度	昭和30年度		終了予定年度	令和元年度		関連計画名	-					
根拠法令等	建築基準法、都市計画法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報													
事業目的 (あるべき姿)	都市計画、開発業務の運営推進により、適正・的確な開発指導を行う。												
対象者	開発者及び近隣住民、建築主など 測定不能			対象者数	-		単位あたりコスト						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (簡条書き)	・開発指導要綱に基づく指導 ・都市計画法32条同意及び協議 ・開発に係る手続条例運用 ・建築確認事前協議事務												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容								
	旅費	7			7 旅費								
	需用費	21			21 消耗品費								

III 予算執行状況													
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	364		358		0		予算編成時記入					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①~③)	364		358		0								
予算財源内訳	① 一般財源	364		358		0							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	△ 155		0									
	② 配当予算	209		358									
	③ 執行額	43		28									
	④ 執行率	20.6%		7.7%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.23/0		1.41 / 0.00		/		/					
	② 概算人件費	9,840		11,280									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,883		11,308										
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額	決算付属資料		頁			
	特財名称			種類			実績金額	決算付属資料		頁			
	特財名称			種類			実績金額	決算付属資料		頁			

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	定性的評価		/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	開発指導要綱件数	件	6/6	10/10	14/ 14	/			
	単位あたりコスト		46.67	4.78	2.00				
	建築確認事前協議件数	件	389/389	382/382	392/ 392	/			
	単位あたりコスト		0.75	0.12	0.07				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	民間開発に伴う調整役は行政にしか担うことのできない役割である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	人件費以外の費用は最小限である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	開発に係る紛争事例など適宜全国の事例を参考にしている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	民間開発における適切な指導、開発事業者及び地元等との調整を通じて良好な市街地形成を促し、市民が快適に暮らせるまちづくりをめざす。毎年複数の開発指導、400件前後の建築確認事前協議を行っており、福知山市の開発が見て取れる。(定性的評価)		
これまでの課題及び今後の方向性	福知山市開発行為に係る手続き及び紛争の調整に関する条例に基づき、開発事業者、地元等と適切に調整を図り、要綱による指導と合わせて良好な市街地の形成を促進する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	都市計画費一般管理事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	510201	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	198	頁
施策体系	施策コード	030101		施策名	計画的な土地利用を推進する								
計画期間	開始年度	昭和30年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名						
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	各都市計画事業の実施にあたり、職員的能力向上を図るとともに業務の円滑な推進を図る。								
対象者	市民	対象者数	78,000		単位あたりコスト	0.5			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	・予算や決算及び議会関連に関する人件費 ・屋外広告物の許可等にかかる費用 ・区画整理に係る証明等の費用 ・委任工事設計、監督による人件費 ・都市計画審議会及び景観審議会開催に係る人件費 ・職員の事務作業及び能力向上にかかる費用 など								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	562	事務打合せ、研修等旅費						
	需用費	1,601	事務用品、書籍等購入、ガソリン代						
	役員費	460	郵送料、電信・電話料、車検整備						
	委託料	244	JR石原駅自転車等駐輪場の清掃管理業務						
備品購入費	808	GIS用端末(パソコン本体) ほか							

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,956	3,585		3,225		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	568		0						
	③ 繰越予算	0	△ 330		330						
	前年度繰越	0	0		330						
	次年度繰越	0	△ 330		0						
小計(①～③)	2,956	3,823		3,555							
予算財源内訳	① 一般財源	2,362	3,014		2,483						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	0	0		98						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	594	809		974						
決算情報	① 流充用額	△ 305	369		0						
	② 配当予算	2,651	4,192		0						
	③ 執行額	2,651	3,675		0						
	④ 執行率	100.0%	87.7%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	6.83/0.3	4.45	/	0.15	4.45	/	0.15	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	55,390	35,975		35,975		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	58,041	39,650		35,975							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	定性的評価		/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	研修参加回数	回	14/18	7/18	11 / 18	/18			
	単位あたりコスト		175.36	378.71	334.05				
	都市計画審議会開催回数	回	2/2	1/3	0 / 3	/3			
	単位あたりコスト		1227.50	2651.00	-				

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	主に事務的経費に係る予算であり、恒常的に必要な経費である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	事務的消耗品費を購入する際にも念密に精査し、コスト削減に取り組んでいる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	都市計画審議会に外部有識者を加えて協議を行っており、外部資源を有効活用している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	予算を確保している研修に参加し職員の見識を深めた。研修成果が施策に反映されるよう、今後も研修参加を積み重ねるとともに、研修で得た知識を共有し課内職員の全体的な能力向上を図る。(定性的評価)		
これまでの課題及び今後の方向性	都市計画審議会や事務用消耗品が大半を占める本予算事業は、恒常的に欠かすことのできない事業であり、今後も継続的な運営が望まれる。【都市計画費一般管理事業(区画整理)】が平成31年度より当事業に統合		

VI 他部署評価	
事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針	
方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果	
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	都市計画マスタープラン策定事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課				所属長	清水 俊行						
会計情報	事業コード	510223	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	198	頁
施策体系	施策コード	030101		施策名	計画的な土地利用を推進する								
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	未来創造 福知山							
根拠法令等	都市計画法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	都市計画法第18条の2において「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として定めるものであり、市民・事業者の理解と協力のもと、福知山市らしいまちづくりを進めるため、その前提となる土地利用と市街地形成、集落環境の改善等について目標を定めるものである。								
対象者	市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	アジア航測株式会社京都支店								
事業概要 (簡条書き)	・都市計画マスタープランの改定 ・都市計画マスタープラン改定に係る懇話会の開催								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	報償費	75		懇話会出席者への謝礼×2回					
	旅費	2		懇話会市外出席者への交通費(福知山・舞鶴)×1回					
	委託料	0		R2債務負担行為7,920千円					

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	230	8,105		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	0	230	8,105						
予算財源内訳	① 一般財源	0	230	8,105					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0		0			
	② 配当予算	0	230	0		0			
	③ 執行額	0	77	0		0			
	④ 執行率		33.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)		0.50 / 0.00	0.50 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費		4,000	4,000	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	4,077	4,000						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	定性的評価				/	/	
					/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	懇話会の開催	回			2 / 5	/ 3	合計5回
	単位あたりコスト				38.36		
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	都市計画法第18条の2で定められた、法定計画である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	事前調査等を職員が直接実施し、必要最小限の業務のみを業務委託し低コスト化を図る。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	あらかじめ実施した庁内検討により、本市の現状を把握し、少子高齢化、市街地の空洞化等の実態に即した課題に対応するため、国の施策等と整合を図りつつ懇話会の意見を聴きながら改定を進めている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	本事業により策定する都市計画マスタープランは、本市の10年後を見据えたまちづくりの目標を定めて、本市が都市計画に定める土地利用規制や各種事業の都市計画決定、変更の指針となるもの。事前の庁内検討や懇話会の意見聴取を踏まえて、都市の課題に対する効果的な対応方針の位置づけを図る。(定性的指標)		
これまでの課題及び今後の方向性	令和元年度は、事前調査と懇話会(2回)の意見聴取を実施した。引き続き懇話会(3回予定)を実施し、事前調査結果及び懇話会での意見・課題を反映させた計画を策定していく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ・他計画の策定スケジュールとの整合性が不明瞭であり、本事業の策定(改定)時期の整理を図りながら進捗管理を進められたい。 ・成果実績、活動実績の設定値について再整理を進めていただきたい。 ・法定計画であり、多種多様な意見をとりまとめる必要があり、今後10年を見通す重要な事業と考える。 ・理念的な内容とのことであるが、5年後に見直すなど、現状を反映した計画とすることも一考する必要があると考える。
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	地区計画策定事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	510368	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	198	頁
施策体系	施策コード	030101	施策名	計画的な土地利用を推進する									
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名								
根拠法令等	都市計画法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報										
事業目的 (あるべき姿)	市街化調整区域において、良好な居住環境など、地区の特性にふさわしい環境を維持・整備することを目的として、地区の実情を踏まえた土地利用や道路・公園などの地区施設、建築物等の整備に関する基準となる地区計画を策定することにより、コミュニティの維持が困難になっている市街化調整区域の活性化を図る。									
対象者	市民(市街化調整区域内)			対象者数	11,000		単位あたりコスト	0.5		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等										
事業概要 (簡条書き)	市街化調整区域の中核となる集落の形成に向けて、住民が主体となって将来像を描き、まちづくりのルールを定め、地区計画を策定するために、市も集落内の話し合いに参画し情報提供・技術的助言・指導をおこなう。それに伴い、農政局との協議やパンフレットの印刷などを行う。									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容					
	需用費	41			消耗品費					

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	79	65	0	予算編成時記入						
	② 補正予算	0	0	0							
	③ 繰越予算	0	0	0							
	前年度繰越	0	0	0							
	次年度繰越	0	0	0							
小計(①~③)	79	65	0								
予算財源内訳	① 一般財源	79	65	0							
	② 国支出金	0	0	0							
	③ 府支出金	0	0	0							
	④ 地方債	0	0	0							
	⑤ その他特財	0	0	0							
決算情報	① 流充用額	0	△ 9								
	② 配当予算	79	56								
	③ 執行額	0	41								
	④ 執行率	0.0%	73.1%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.65/0	0.69 / 0.00	/ /							
	② 概算人件費	5,200	5,520								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,200	5,561									
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金		種類	総務費国庫補助金		実績金額	7	決算付属資料	18	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	地区計画策定(累計)地区	式	2/3	2/3	2 / 5	/ 5	/5		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	地域勉強会	回	3/2	6/4	7 / 4	/ 4	/4		
	単位あたりコスト		40.67	0.00	5.82				
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	地区計画の策定については、地元からの要望を受けて行うものでありニーズも高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	人件費は過大となりやすいが、経費については最小限である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	全国の事例、また国の方針などを参考に適切に執行している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	地区計画の制度・仕組みについての理解と地域の将来像の共有に時間を要している。今後、地区計画案の作成と合意形成を住民主体で進めるため、地域勉強会の実施に工夫が必要である。		
これまでの課題及び今後の方向性	地区計画の策定にあたり、目指す将来像を住民に共有してもらい、議論を重ねる中で十分に合意形成を図ることが重要である。また、計画策定後についても目標の実現に向け、関係機関と連携し地域のまちづくりをサポートしていく必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金積立事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	110154	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	02 土地区画整理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	198	頁
施策体系	施策コード	030102		施策名	良好な都市空間を形成する								
計画期間	開始年度	平成23年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名						
根拠法令等	鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	駅周辺公共施設管理事業、都市計画費一般管理事業(区画整理)、石原土地区画整理事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金に積み立てを行い、鉄道網整備事業及び鉄道網整備に関連する都市計画事業の促進を図る原資とするを目的とする。また、基金に積み立てて生ずる運用利子を得ることで、原資を効率的に増やし、その事業を充実させることに寄与する。								
対象者	駅周辺及び土地区画整理事業地内の住民、施設利用者		対象者数	14,000		単位あたりコスト	3.6		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	商業施設の誘致による事業用定期借地料や普通財産土地売却収入及び法定外公共用財産売却収入などの不動産収入を鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金に積み立てる。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	積立金	49,161		鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金積立金					

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	37,507	38,507	35,007	予算編成時記入				
	② 補正予算	15,802	10,655	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
次年度繰越	0	0	0						
小計(①~③)	53,309	49,162	35,007						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	53,309	49,162	35,007					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	53,309	49,162	0	0				
	③ 執行額	53,308	49,161	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.07/0	0.07 / 0.00	0.07 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	560	560	560	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	53,868	49,721	560						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	普通財産土地売却収入	種類	土地売却収入	実績金額	26,154	決算付属資料	34	頁
	特財名称	土地貸付収入(駅周・駅南地区)	種類	財産貸付収入	実績金額	18,585	決算付属資料	32	頁
	特財名称	土地貸付収入(石原地区)	種類	財産貸付収入	実績金額	4,420	決算付属資料	32	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	基金積立残高	百万円	253 / 500	312 / 500	357 / 500	/			
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	定期借地契約件数	件	2/2	2/2	2 / 2	/			
	単位あたりコスト		24399.50	26654.00	24580.00				
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	基金に積み立てることで、鉄道網整備に関連する事業の原資を確保し、また、基金から生ずる運用利子を得ることで、その原資を効率的に増やすことができるため必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	積立に係る財源は、その全額を土地売払・貸付収入などの収入額で賄い、一般財源に頼ることなく事業を行っている。基金で運用利子を得て、積立額を効率的に増やしている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	積み立てた基金を財源として、市営福知山駅駐輪場ラック入替工事を行なうことができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	土地貸付収入、普通財産土地売払収入及び法定外公共用財産売払収入に係る不動産収入を一般財源とするのではなく、基金に積み立てて効率的に運用することで、市営福知山駅駐輪場ラック入替工事の施工や石原土地区画整理事業の早期完了に向け、財源を確保することができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	普通財産土地売払収入が減少する見込みの中で、都市基盤整備後の各施設の経年劣化や新たな整備事業に対応できるよう、積み立てに係る不動産収入の確保に努める必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	街路事業(多保市正明寺線 高畑工区)												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	120328	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	03 街路事業費	会計	01 一般会計	決算付属資料	198	頁
施策体系	施策コード	030302	施策名	市道などの整備を推進する									
計画期間	開始年度	平成19年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名	未来創造福知山、福知山都市計画マスタープラン							
根拠法令等	都市計画法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	東部地区と中心市街地を結ぶアクセスを強化し、また長田野工業団地と国道175号との流れをスムーズにするため、幅員を広げ歩道を設けた橋梁を新規に架け替えることにより都市計画道路網を整備していく。								
対象者	市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.8				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 () 工事								
委託先・実施主体等	大栄工業株式会社、公益社団法人京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会、藤井不動産鑑定株式会社								
事業概要 (箇条書き)	平成29年度に供用開始を行い、最終年度となる平成30年度予算で旧橋等の撤去を実施した。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	役員費	1	その他手数料						
	委託料	626	公共嘱託登記業務(多保市正明寺線 高畑工区) 等						
	工事請負費	56,139	多保市正明寺線(高畑工区)旧橋撤去工事						
	公有財産購入費	1,276	多保市正明寺線(高畑工区)用地買収費用						
補償、補填及び賠償金	242	多保市正明寺線(高畑工区)物件補償費用							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	134,029	0	0	予算編成時記入				
	② 補正予算	△ 8,000	0	0					
	③ 繰越予算	2,812	60,161	0					
	前年度繰越	62,973	60,161	0					
	次年度繰越	△ 60,161	0	0					
小計(①~③)	128,841	60,161	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	9,790	2,342	0					
	② 国支出金	38,551	13,419	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	80,500	44,400	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	26	0	0	0				
	② 配当予算	128,868	60,161	0	0				
	③ 執行額	127,665	58,284	0	0				
	④ 執行率	99.1%	96.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.32/0	0.20 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,560	1,600	0	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	130,225	59,884	0	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	社会資本整備総合交付金	種類	土木費国庫補助金	実績金額	13,418	決算付属資料	20	頁
	特財名称	旧合併特例債	種類	土木債	実績金額	40,500	決算付属資料	52	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	都市計画道路進捗率	%	69.49/69.49	69.49/69.49	69.49 / 69.49	/			
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	事業費ベースによる進捗率	%	94.27/93	98.16/98	100 / 100	/			
	単位あたりコスト		1837.72	1300.58	582.84	/			
	単位あたりコスト				/				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	通学路及び自動車交通の安全性の観点から急務となっている事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	徹底した施工管理等により適切なコストで実現できている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	現状道路は、通学路となっているものの、橋梁部は歩道がなく狭いため、歩行者の安全確保が求められていたことから、通学路の安全確保を行うことにより、課題を解消することができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	国土交通省及び京都府との河川協議により、河川内工事期間が制限されたことにより、一部平成30年度予算を平成31年度に繰越を行ったが、適切な施工管理により概ね予定通りに進めることができ、平成30年度予算にて事業完了した。		
これまでの課題及び今後の方向性	平成30年度予算にて事業完了した。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	街路事業(篠尾線 篠尾工区)												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	120332	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	03 街路事業費	会計	01 一般会計	決算付属資料	198・200	頁
施策体系	施策コード	030302	施策名	市道などの整備を推進する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名	未来創造福知山、福知山都市計画マスタープラン							
根拠法令等	都市計画法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	該当地区を道路整備することにより、通学路の安全確保、道路網の構築、国道9号4車線化工事との相乗効果を図る。								
対象者	市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.2				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	株式会社ウエスコ京滋支店								
事業概要 (簡条書き)	市道福知山停車場奥榎原線から国道9号間の210m区間について、国道9号4車線化工事に合わせた事業化を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	70	篠尾線(篠尾工区)にかかる地権者協議 等						
	需用費	13	消耗品費						
	委託料	11,623	篠尾線(篠尾工区)道路詳細設計業務 等						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	9,829	42,758	58,000		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	△ 40,199	0					
	③ 繰越予算	△ 9,756	9,756	0					
	前年度繰越	0	9,756	0					
	次年度繰越	△ 9,756	0	0					
小計(①~③)	73	12,315	58,000						
予算財源内訳	① 一般財源	△ 661	930	8,237					
	② 国支出金	734	5,027	28,663					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	6,100	21,100					
	⑤ その他特財	0	258	0					
決算情報	① 流充用額	13	0	0		0			
	② 配当予算	86	12,315	0		0			
	③ 執行額	86	11,706	0		0			
	④ 執行率	100.0%	95.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.62/0	0.32 / 0.00	0.32 / 0.00	0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	4,960	2,560	2,560		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,046	14,266	2,560						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	社会資本整備総合交付金	種類	土木費国庫補助金	実績金額	5,027	決算付属資料	20	頁
	特財名称	街路事業用地貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	352	決算付属資料	32	頁
	特財名称	公共事業等債	種類	土木債	実績金額	1,000	決算付属資料	52	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	都市計画道路進捗率	%		69.49/69.49	69.49 / 69.49	/ 69.49	69.84		
				/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	事業費ベースによる進捗率	%		1/100	2 / 100	/ 100	100		
	単位あたりコスト			86.00	5852.88	/			
	単位あたりコスト				/				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	通学路及び自動車交通の安全性の観点から急務となっている事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	国道9号4車線化工事にあわせて事業化を行うことで、適切なコストで大きな効果を得ることができる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	現状は既存道路において歩道の未整備、狭小区間があり、歩行者の安全確保が求められていることから、通学路の安全確保を行うことにより、課題を解消することができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	道路詳細設計が完了し、用地調査業務を発注、完了した。		
これまでの課題及び今後の方向性	用地測量等を実施し、工事の着工及び期限内の事業完了を目指す。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	都市計画事業用地管理事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	510116	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	03 街路事業費	会計	01 一般会計	決算付属資料	200	頁
施策体系	施策コード	030101		施策名	計画的な土地利用を推進する								
計画期間	開始年度	平成25年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名						
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	都市計画事業用地の適切な維持管理を行う。								
対象者	管理地内の自治会(興、土師町、長田北、南本郷、多保市、岡ノ三町ほか)	対象者数	2,000		単位あたりコスト	0.8			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	公益社団法人福知山市シルバー人材センター 等								
事業概要 (簡条書き)	都市計画事業用地の草刈や修繕、貸付等を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	委託料	318		都市計画事業用地除草業務					

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	460	412	338	予算編成時記入						
	② 補正予算	0	0	0							
	③ 繰越予算	0	0	0							
	前年度繰越	0	0	0							
	次年度繰越	0	0	0							
小計(①~③)	460	412	338								
予算財源内訳	① 一般財源	362	0	0							
	② 国支出金	0	0	0							
	③ 府支出金	0	0	0							
	④ 地方債	0	0	0							
	⑤ その他特財	98	412	338							
決算情報	① 流充用額	△ 39	0	0	0						
	② 配当予算	421	412	0	0						
	③ 執行額	421	318	0	0						
	④ 執行率	100.0%	77.2%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.18/0	0.15 / 0.00	0.15 / 0.00	0.00 / 0.00						
	② 概算人件費	1,440	1,200	1,200	0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,861	1,518	1,200								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	街路事業用地貸付収入		種類	財産貸付収入		実績金額	317	決算付属資料	32	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	貸付面積	m ²	1,130.48/1,130.48	1,130.48/1,130.48	2,066 / 2,066	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	除草面積	m ²	8,492/	5,232/	3,346 /	/			
	単位あたりコスト		0.04	0.08	0.10	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	事業用地の周辺住民から除草の要望を受けるものであり、必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	事業用地の貸付を行うことで、維持管理費用の財源としている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	将来の都市計画道路用地として活用するために、貸付費用を草刈り費用の原資としている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	貸付を積極的に行うことで、除草にかかる費用負担の軽減に努めることができた。近隣住宅の迷惑にならないように適切に管理することができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	都市計画道路事業用地(公社継承土地等)は、事業化もしくは、路線が廃止されない限り売却などにより処分することができない性質があるため、維持管理のコストが必ず発生してしまう。事業化の優先度が低い用地で借受の希望があれば積極的に貸付を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
--------	--

事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	既設公園管理事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	530201	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	04 公園管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	200	頁
施策体系	施策コード	030402		施策名	公園の整備と適切な維持管理をする								
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名						
根拠法令等	都市公園法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	三段池公園ユニバーサル化事業、公園施設長寿命化対策支援事業、三段池公園カルチャーパーク整備事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	都市公園及び三和町の公園を日常的に管理することで、安心・安全な公園を提供する。								
対象者	市民	対象者数	78,000		単位あたりコスト	3.1			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	公益財団法人 福知山市都市緑化協会 等								
事業概要 (箇条書き)	都市公園及び植物園の指定管理者制度による日常管理 三和町の公園の維持管理、公園管理に関する一般経費など								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	旅費等	1,899		レッサーパンダ計画推進会議 等					
	需用費	2,493		三和町公園水道代、電気代 等					
	役員費	1,838		電話、ごみ廃棄料 等					
	委託料	223,476		指定管理料、三和町公園清掃業務 等					
	工事請負費	924		岡東公園園路改修工事					

III 予算執行状況												
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	230,589	229,003		230,851		予算編成時記入					
	② 補正予算	0	0		0							
	③ 繰越予算	0	0		0							
	前年度繰越	0	0		0							
	次年度繰越	0	0		0							
小計(①~③)	230,589	229,003		230,851								
予算財源内訳	① 一般財源	214,207	216,114		218,565							
	② 国支出金	0	0		0							
	③ 府支出金	420	420		420							
	④ 地方債	0	0		0							
	⑤ その他特財	15,962	12,469		11,866							
決算情報	① 流充用額	△ 46	1,814		0		0					
	② 配当予算	230,543	230,817		0		0					
	③ 執行額	230,543	230,631		0		0					
	④ 執行率	100.0%	99.9%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.4/0.7	0.86	/	0.85	0.86	/	0.85	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	12,950	9,005		9,005		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	243,493	239,636		9,005								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	都市公園占用料		種類	土木使用料		実績金額	4,086		決算付属資料	12	頁
	特財名称	自動販売機設置貸付収入		種類	財産貸付収入		実績金額	6,719		決算付属資料	34	頁
	特財名称	自動販売機等電気代等		種類	雑入		実績金額	828		決算付属資料	44	頁

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標	
	市民ボランティア登録者数	人	30/31	30/37	36	/	43	/	50	50
	都市公園有料施設利用人数	人	362,193/447,000	403,706/447,000	453,718	/	449,500	/	500,000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標	
	都市公園管理箇所	箇所	96/96	96/96	96	/	96	/	96	
	単位あたりコスト		2315.02	2401.49	2402.40					
	管理面積	m ²	1,832,647/1,832,647	1,866,425/1,866,425	1,866,425	/	1,866,425	/	1,866,425	
	単位あたりコスト		0.12	0.13	0.12					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市民の基本的な生活環境の維持のため、必要性は高い。公園そのものや有料施設を利用することで、余暇活動・健康増進が図られる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	維持管理に関する委託人件費は、民間事業者に委託した場合よりも破格の安さであり、下げることは想定できない。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	毎年市民ボランティアが増えており、市民と一体となって公園整備を行うことで、愛着が生まれ利用人数増加に繋がっているため有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	人口減少の中、交流人口や利用者の増加という観点を持って有料施設利用者が増加するよう適切な維持管理が望まれる。指定管理については、都市公園内に設置されている体育施設について、平成30年度に策定された「福知山市スポーツ推進計画」を基に、計画に基づいた管理運営等の整理を行い、今後都市公園施設のあり方や対応等について検討を行うため、指定管理期間を令和2年度まで2年延長した。		
これまでの課題及び今後の方向性	ニーズの増加等により管理水準が上昇しており、委託費も最小限となっている中、都市公園内に設置されている体育施設について、令和3年度から新たな指定管理を、文化・スポーツ振興課が行う。発注方法及び委託料の増大を念頭に置きつつ検討しなければならない。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	未来につなぐ桜プロジェクト												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課				所属長	清水 俊行						
会計情報	事業コード	530221	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	04 公園管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	200	頁
施策体系	施策コード	030402		施策名	公園の整備と適切な維持管理をする								
計画期間	開始年度	平成30年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	-					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	未来に向かってサクラを植栽することでまちの魅力を高め、市民の市への愛着と誇りを育むとともに、知名度アップやイメージの向上を図り、市内外からの観光客が訪れる場所を創造していく。								
対象者	市民及び観光等による本市への来客数		対象者数	1,000,000		単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	(株)角木昭五園								
事業概要 (簡条書き)	三段池公園にサクラを植栽する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	委託料	479		桜苗木植栽業務					

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0	400	600	予算編成時記入						
	② 補正予算	400	0	0							
	③ 繰越予算	0	0	0							
	前年度繰越	0	0	0							
	次年度繰越	0	0	0							
小計(①~③)	400	400	600								
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0							
	② 国支出金	0	0	0							
	③ 府支出金	0	0	0							
	④ 地方債	0	0	0							
	⑤ その他特財	400	400	600							
決算情報	① 流用額	2	79	0	0						
	② 配当予算	402	479	0	0						
	③ 執行額	402	479	0	0						
	④ 執行率	100.0%	100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.12/0	0.14 / 0.00	0.14 / 0.00	0.00 / 0.00						
	② 概算人件費	960	1,120	1,120	0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,362	1,599	1,120								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	未来につなぐ桜プロジェクト事業基金繰入		種類	基金繰入金		実績金額	478	決算付属資料	40	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	定性的評価		/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	サクラ苗木植栽本数	本		20/20	30 / 30	/ 30			
	単位あたりコスト			20.10	15.95				
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	現在でもサクラのシーズンには、多くの方が訪れているが、事業化されたばかりであり、サクラの美しい開花を見るには時間がかかるが、未来にサクラを残していくためには早期に植樹を行うことで、サクラの名所としての知名度を高めることができる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	サクラの成長によって美しい花を見ることができ、寄贈によるサクラを植樹することで、低コストで大きな効果を見込める。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	サクラの開花はまだ見ることができないが、寄贈されたサクラの苗木利用、及び都市公園の土地を有効活用することができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	郡上・桜守の会から岐阜県の3大桜の苗を寄贈していただき、それらを三段池公園に植栽した。 【定性的評価】平成30年度は地元庵我小学校の児童5人と植樹祭を開催した。令和元年度は年度末で廃校した佐賀小学校の児童11人及び郡上桜守の会理事長を招いて植樹祭を開催予定であった。(新型コロナウイルス感染症対策のため令和元年度植樹祭中止)		
これまでの課題及び今後の方向性	引き続きサクラの苗木を植栽し、福知山市の愛着と誇りを育むとともに、知名度アップやイメージの向上を図る。サクラが成長し、美しい開花を見られるようになれば、アンケート等の実施も検討する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	長田野工業団地地利活用増進事業(緑地等環境整備)												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	530259	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	04 公園管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	200	頁
施策体系	施策コード	030402 施策名 公園の整備と適切な維持管理をする											
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和10年度 関連計画名 長田野工業団地地利活用増進計画									
根拠法令等	都市公園法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	長田野工業団地地利活用増進計画に基づき、樹木伐採を計画的に進め、企業の操業環境を確保及び市民が工業団地内の散策を安心安全に行えることを目的とする。								
対象者	市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.6				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	伊東木材(株)、福知山地方森林組合等								
事業概要 (簡易書き)	長田野工業団地内の工業団地緩衝緑地等の樹木伐採及び処分								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	9,956	樹木伐採業務						
	積立金	36,405	長田野工業団地公園緑地等事業基金積立						

III 予算執行状況										
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0	11,238	11,230		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	35,483	0						
	③ 繰越予算	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0	0						
小計(①~③)	0	46,721	11,230							
予算財源内訳	① 一般財源	0	35,483	0						
	② 国支出金	0	0	0						
	③ 府支出金	0	0	0						
	④ 地方債	0	0	0						
	⑤ その他特財	0	11,238	11,230						
決算情報	① 流充用額	0	0	0		0				
	② 配当予算	0	46,721	0		0				
	③ 執行額	0	46,361	0		0				
	④ 執行率		99.2%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.38	/	0.00	0.38	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費			3,040		3,040		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	49,401	3,040							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	都市公園占用料	種類	土木使用料	実績金額	922	決算付属資料	12	頁	
	特財名称	長田野工業団地地利活用増進事業(緑地等環境整備基金)	種類	基金繰入金	実績金額	9,956	決算付属資料	40	頁	
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁	

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
		伐採延長	m			1300 / 1030	/	1030		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	伐採件数	件			7 / 6	/	6			
	単位あたりコスト				6623.02	/	/			
	単位あたりコスト									

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	工業団地に設置している緑地等の維持管理は、企業操業の環境を良好にすることができる。又市民が安心安全に散策できる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	分割に発注することで、企業との協議等計画的に進めることができ、工期短縮となることで、コスト削減となっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	長田野工業団地内企業と協議を行い、施工場所の選定を行うことで、計画的に進んでいる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	長田野工業団地利活用増進計画により、長田野工業団地内企業と協議を行うことによって、良好な計画で進捗している。企業の操業環境の整備が順次実施できている。		
これまでの課題及び今後の方向性	緩衝緑地の目的を損なわず、なおかつ企業操業の環境を適宜改善していく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	<ul style="list-style-type: none"> 樹木伐採については、企業からの要望をとり入れられ、早急に対応をされており、必要な事業と考える。 伐採後の維持管理については、必要な除草などについて、考えているとのことで、方向性は良いと考える。 成果実績は全体計画(総延長)を分母に、実績値を記載するべきでは。
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 他事業を統合	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 統合事業名: ()	<input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合	<input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合	(統合先事業名:)
--------	--	---	--	--	------------

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	三段池公園ユニバーサル化事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	530206	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	05 公園施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	200	頁
施策体系	施策コード	060302	施策名	観光施設・交流施設を充実させる									
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	バリアフリー法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	公園施設長寿命化対策支援事業 既設公園管理事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	福知山市の観光拠点である三段池公園の各施設整備を行うことで、利便性が向上し、誰もが快適に利用できる空間を提供できることを目的とする。さらに、2021年にワールドマスターズの開催も決定していることから、スポーツ大会やイベントでの公園活用の増加も目的としている。								
対象者	市民及び観光等による本市への来客数	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (工事請負)								
委託先・実施主体等	㈱西日本エスエスシー 三段池公園内のトイレの洋式化								
事業概要 (簡条書き)									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	工事請負費	1,264	便所改修工事						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	7,200	1,000	1,500		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	7,200	1,000	1,500						
予算財源内訳	① 一般財源	80	0	1,500					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	6,800	900	0					
	⑤ その他特財	320	100	0					
決算情報	① 流充用額	1,701	353	0		0			
	② 配当予算	8,901	1,353	0		0			
	③ 執行額	8,901	1,264	0		0			
	④ 執行率	100.0%	93.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.21/0	0.10 / 0.00	0.10 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,680	800	800		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,581	2,064	800						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	三段池公園ユニバーサル化事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	164	決算付属資料	40	頁
	特財名称	三段池公園ユニバーサル(旧合併特例)	種類	土木債	実績金額	1,100	決算付属資料	52	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	公園内便所洋式化率	%	56/56	63/63	69	/	69	/	75
	三段池公園利用者数	人	362,188/505,000	467,755/507,000	533,994	/	507,500	/	508,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	改修工事	箇所	2/2	1/1	1	/	1	/	
		単位あたりコスト	13643.50	8901.00	1263.90				
					/		/		
		単位あたりコスト							

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	誰もが快適に利用できる空間作りは、ニーズの高い事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	限られた予算の中で確実に必要な項目を選択して施工している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	トイレ洋式化は利用者の観点から考慮しても有効性が高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	ワールドマスターズゲームズ2021関西をはじめとした国際大会にも対応できるよう、三段池公園をユニバーサル化している。誰もが快適に利用できるようにトイレの洋式化に着手し、利用率の高いトイレが結果的に美化することもでき、利便性と快適性がアップしている。		
これまでの課題及び今後の方向性	三段池公園内において、特に利用者の多いトイレで洋式化が出来ていない箇所から改修を行ってきたが、誰もが快適に利用できるようにするためには、多言語案内や、利用料金の決済方法などさらに視野を広げていく必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	福知山城公園整備事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課				所属長	清水 俊行						
会計情報	事業コード	530208	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	05 公園施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	200・202	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	福知山城を築いた明智光秀が2020年大河ドラマの主人公に決定し、福知山城への来場者の増加が予想されます。城へ続く園路は、損傷も激しく勾配も急なことから、高齢者の方や車椅子、ベビーカー等でも移動しやすい園路へ改修や新設を行い、観光地として来場者の安全性や満足度を高めます。								
対象者	市民及び観光等による本市への来客者	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (工事請負費)								
委託先・実施主体等	メイコー建設(株) (公社)京都府シルバー人材センター連合会 等								
事業概要 (箇条書き)	福知山城公園へ登る園路の改修や本丸広場に園路を設けることで、来場者の安全性、利便性が向上する。高齢者の方や障害のある方など誰もが訪れやすい魅力ある公園にする。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	共済費、賃金 等	337	発掘調査費用 等						
	委託料	4,726	発掘調査費用、昇龍橋塗装業務 等						
	工事請負費	28,358	公園施設改修工事 等						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	0	0	予算編成時記入				
	② 補正予算	33,800	0	0					
	③ 繰越予算	△ 33,800	33,800	0					
	前年度繰越	0	33,800	0					
	次年度繰越	△ 33,800	0	0					
小計(①~③)	0	33,800	0						
予算財源内訳	① 一般財源	0	3,900	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	29,900	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	0	33,800	0					
	③ 執行額	0	33,421	0					
	④ 執行率		98.9%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.15/0	0.30 / 0.00	0.30 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,200	2,400	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,200	35,821	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山城公園整備事業債(地域活性化債)	種類	土木債	実績金額	29,700	決算付属資料	52	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	福知山城来場者人数	人		40072 / 38000	101238 / 100000	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	工事発注件数	件		1/1	3 / 2	/			
	単位あたりコスト			0.00	11140.48	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	大河ドラマで明智光秀が主人公となるなど、福知山城の来場者の増加が見込まれることから必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	景観的な要素や、施工困難な地形もあるが、既存コンクリートを活かした工法を選定しコスト削減につなげている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	大河ドラマで明智光秀が主人公となり、福知山城の来場者の増加が見込まれるが、お城へ続く園路は、勾配も急で損傷も激しいことから、高齢者の方や車椅子、ベビーカー等でも移動しやすい園路の改修や新設を行い、来場者の安全性を高める。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	福知山城公園の施設の改修を行い、大河ドラマがスタートするまでに本工事や関連工事を完成させ、来場者の増加をに対応する。		
これまでの課題及び今後の方向性			

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	三段池公園カルチャーパーク整備事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	530225	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	05 公園施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	202	頁
施策体系	施策コード	030402		施策名	公園の整備と適切な維持管理をする								
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	既設公園管理事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	三段池公園内の施設を安心・安全な施設とし、より多くの方に利用していただくことを目的とする。								
対象者	市民及び観光等による本市への来客数			対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	㈱北山組								
事業概要 (簡条書き)	三段池公園内施設の整備・維持管理を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容				
	委託料	942			トリムの広場木製遊具撤去 等				

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	3,600	2,400	0	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	3,600	2,400	0						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	3,600	2,400	0					
決算情報	① 流充用額	△ 1,701	△ 353	0	0				
	② 配当予算	1,899	2,047	0	0				
	③ 執行額	1,890	942	0	0				
	④ 執行率	99.5%	46.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.2/0	0.15 / 0.00	0.15 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,600	1,200	1,200	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,490	2,142	1,200						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	三段池公園カルチャーパーク整備事業基金繰入		種類	基金繰入金	実績金額	942	決算付属資料	40 頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料	頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料	頁

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	三段池公園内施設利用者数	人	362,188/505,000	467,755/507,000	533,994 / 507,500	/				
			/	/	/	/				
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	三段池公園整備率	%	92/92	92/92	92 / 92	/				
	単位あたりコスト		1360.77	20.54	10.23					
	改修件数	件		1	2 / 3	/				
	単位あたりコスト			1890.00	470.80					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	本市最大の総合公園である三段池公園は、市内外を問わず利用者が多いため、施設整備の必要性が高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	限られた予算の中で必要な項目を選択し施工している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	三段池公園は本市の拠点施設であり、特に総合体育館などは避難所としての機能も備えていることから有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	トリムの広場にある老朽化した木製遊具の撤去をおこなった。		
これまでの課題及び今後の方向性			

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	公園施設長寿命化対策支援事業									
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行		
会計情報	事業コード	530260	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	05 公園施設費	会計	01 一般会計 決算付属資料 202 頁
施策体系	施策コード	030402	施策名	公園の整備と適切な維持管理をする						
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第6次行革大綱				
根拠法令等	都市公園法									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業	既設公園管理事業、三段池公園ユニバーサル化事業									

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	公園利用者の安全性を確保し、ライフサイクルコストの削減を図るとともに、三段池公園内施設の防災機能を高めることを目的とする。								
対象者	市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	1.2				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (工事請負)								
委託先・実施主体等	㈱衣川組 井上(㈱他)								
事業概要 (簡条書き)	三段池公園内の老朽化した総合体育館等施設の長寿命化を図る。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	5,807	総合体育館空調システム更新に伴う業務委託 等						
	工事請負費	82,534	総合体育館空調システム更新工事 等						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	18,900	52,000	20,000				予算編成時記入	
	② 補正予算	76,000	278,000	0					
	③ 繰越予算	12,722	△ 241,653	328,931					
	前年度繰越	100,000	87,278	328,931					
次年度繰越	△ 87,278	△ 328,931	0						
小計(①~③)	107,622	88,347	348,931						
予算財源内訳	① 一般財源	420	△ 285	2,465					
	② 国支出金	53,802	43,732	174,466					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	53,400	42,300	171,000					
	⑤ その他特財	0	2,600	1,000					
決算情報	① 流充用額	△ 105	0	0		0			
	② 配当予算	107,517	88,347	0		0			
	③ 執行額	106,722	88,341	0		0			
	④ 執行率	99.3%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.22/0	0.50 / 0.00	0.50 / 0.00	0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	1,760	4,000	4,000		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	108,482	92,341	4,000						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	公園施設長寿命化対策支援事業(防災・安全交付金)	種類	土木費国庫補助金	実績金額	43,732	決算付属資料	20	頁
	特財名称	公園施設長寿命化対策支援事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	134	決算付属資料	40	頁
	特財名称	公園施設長寿命化対策支援事業(公共事業等)	種類	土木債	実績金額	34,800	決算付属資料	52	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	都市公園有料施設利用人数	人	362,193/447,000	403,706/447,000	453,718 / 449,500	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	長寿命化工事件数	件	1/2	3/2	4 / 3	/ 7			
	単位あたりコスト		17712	35574	22085.33				
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	施設の更新、長寿命化は利用者にとって必要なものであり、施設を長寿命化して建て替えを先送りすることで、ランニングコスト削減を図ることができる。また避難施設として安心安全に利用することができる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	公園長寿命化計画に基づき、危険性が高い順に適宜実施できている。国庫補助金を有効活用して、効率的かつ低コストで工事を実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	災害時における機能を十分に充実させることで、避難機能向上に繋げる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	総合体育館等を長寿命化することは、本市のイベント等施設としての機能維持、避難施設としての機能向上、スポーツ施設としての安全向上に効果がある。国庫補助金を有効活用して、効果的かつ低コストで工事を実施している。		
これまでの課題及び今後の方向性	公園施設長寿命化計画により、施設の危険度判定を行っているが、災害時における防災機能向上から優先して改修を行う必要がある。三段池公園内施設の防災機能向上に資するものから適宜実施していく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	用地一般管理事業												
事業担当	所属	建設交通部 用地課					所属長	貴田 直子					
会計情報	事業コード	120205	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	188	頁
施策体系	施策コード	030301	施策名	国・府道の整備を促進する									
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	道路事業等公共事業の促進を図るため、用地買収や補償の事務を適正に執行することを目的とする。												
対象者	用地買収等対象土地所有者	対象者数	46	単位あたりコスト	504.9								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	用地買収や補償等を適切に執行するための事務経費												
事業概要 (簡条書き)													
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	旅費、使用料及び賃借料	230	用地交渉に係る出張旅費、高速道路通行料										
	需用費	508	事務用品購入費										
	役務費	120	郵送料										
	備品購入費	57	プリンター購入費										
	負担金補助及び交付金	8	京都府用地対策連絡協議会に対する年会費										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,057	968	972	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	1,057	968	972						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	1,057	968	972					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	△ 5	0	0	0				
	② 配当予算	1,052	968	0	0				
	③ 執行額	939	922	0	0				
	④ 執行率	89.2%	95.3%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	1.65/1.15	1.91 / 2.81	1.91 / 2.81	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	16,075	22,305	22,305	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	17,014	23,227	22,305						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	国道9号用地事務費	種類	土木費国庫委託金	実績金額	922	決算付属資料	22	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	必要面積の取得率	%	100	100	100 / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	用地契約件数	件	22	28	46 / 46	/ 28	
	単位あたりコスト		46.10	33.50	20.05		
	用地取得面積	m ²	33078.23	25944.42	26814.78 / 26814.78	/ 10737.72	
単位あたりコスト		0.03	0.03	0.03			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 道路改良事業や調整池整備事業等ハード事業を実施するうえで、必要な用地の取得は最も根幹となるものである。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 用地買収に伴う測量成果及び登記成果は、恒久的に保存されて活用されるものであり、残地など周辺部における土地利用の際にも有用なものとなる。 用地対策連絡協議会との連携を図り、地権者のニーズを的確に捉える交渉技術を養うことにより、無駄な交渉回数を削減した効率的な用地取得に努める。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標については、受任する事業地の規模、権利者数に左右されるため、各年度の必要面積の取得率としている。 必要な用地を取得した結果、ハード事業が計画どおりに実施され、社会インフラの構築に寄与した。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>用地交渉対象者について、計画どおり契約ができ、ハード事業の進捗を図ることができた。 用地買収については、事業の必要性を十分理解した上で、用地買収対象地の適正な評価を行い交渉を行っていくもので、専門性や説明能力等が高く求められるものである。その中で、事業の成否は用地買収にかかっているという点からも、それぞれの事業箇所について必要な成果は達成できたと考える。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>用地買収に係る交渉、契約については専門的な知識が必要となる中で、継続して担当できる職員の配置が最も重要なこととなる。研修等積極的に参加し、人材の育成が必要である。 用地買収事務については、事業実施機関と連携し、計画的に執行していく。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
--------	--

事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>
--------	---------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	官民境界確定事業												
事業担当	所属	建設交通部 用地課				所属長	貴田 直子						
会計情報	事業コード	510113	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	188	頁
施策体系	施策コード	030101		施策名	計画的な土地利用を推進する								
計画期間	開始年度	平成1年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	-					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	市道・準用河川及び法定外公共物と民地との境界を明確にし、財産の保全を図るとともに、将来の紛争を防止する。								
対象者	境界確定申請者	対象者数	135		単位あたりコスト	42.9			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	-								
事業概要 (簡易書き)	市道・準用河川及び法定外公共物の隣接所有者からの官民境界確定申請により用地境界の立会、協議を行い、協議が整えば確定図の交付を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	57	事務用品購入費						
	旅費	7	研修旅費						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	87	79		72		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①~③)	87	79		72							
予算財源内訳	① 一般財源	0	0		0						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	0	0		0						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	87	79		72						
決算情報	① 流充用額	0	0		0		0				
	② 配当予算	87	79		0		0				
	③ 執行額	55	65		0		0				
	④ 執行率	63.2%	81.7%								
人概工算	① 従事職員数 <small>(正職員/嘱託職員)</small>	0.25/1.85	0.16 / 1.78		0.16 / 1.78		0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	6,625	5,730		5,730		0				
トータルコスト <small>(予算執行額+概算人件費)</small>	6,680	5,795		5,730							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市道・法定外境界確定証明手数料		種類	土木手数料		実績金額	64	決算付属資料	16	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	市道境界確定処理件数	件	80 / 80	69 / 69	67 / 67	/ 72	0		
	法定外公共物境界確定処理件数	件	61 / 61	44 / 44	43 / 43	/ 49	0		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	市道境界確定申請件数	件	94 / 94	96 / 96	80 / 80	/ 90	0		
	単位あたりコスト		0.68	0.60	0.81				
	法定外公共物境界確定申請件数	件	72 / 72	67 / 67	55 / 55	/ 64	0		
単位あたりコスト		0.88	0.80	1.17					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市民が土地の利活用を図る場合、官民境界確定を行う必要があり重要な事務である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	職員により立会を行い、境界確定及び証明書発行を適正かつ効率的に事務処理できている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	成果指標については、各年度ごとの境界確定処理件数としている。土地の取引において境界確定は境界のトラブルを避けるために重要であり、必要な事務である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	市道・準用河川及び法定外公共物の適正で効果的な維持管理と市民の土地の利活用のために、官民境界の明確化を行う。土地の所有者からの申請により適正かつ速やかに対応できており評価できる。		
これまでの課題及び今後の方向性	専門的知見により境界を判断し、相手方と調整できる職員を継続的に配置していく必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	地籍調査事業												
事業担当	所属	建設交通部 用地課					所属長	貴田 直子					
会計情報	事業コード	510121	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	188-190	頁
施策体系	施策コード	030101	施策名	計画的な土地利用を推進する									
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	国土調査法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	土地に関する基本情報(地番、地目、所有者、境界、面積など)を1筆ごとに明らかにし、その結果を記録することにより、土地取引や公共用地の取得を円滑に進めるとともに土地利用の促進に寄与する。												
対象者	市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	1.3								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	㈱京都イングス福知山営業所 ㈱シードコンサルタント福知山支店 ㈱サンワコン京都支店 ㈱上智京都支店												
事業概要 (簡条書き)	①末広・昭和地区地籍調査事業(平成27年度～令和2年度)②旧福知山町周辺1地区(字天田)地籍調査事業(平成28年度～令和2年度)③有仁(南有路第1)地区地籍調査事業(平成28年度～令和2年度)④上豊1地区地籍調査事業(平成29年度～令和2年度)⑤旧福知山町周辺2地区(字中ノ、裏ノ)地籍調査事業(平成29年度～令和2年度) 一筆ごとの土地について、所在、地番、地目及び境界の調査と登記簿記載の所有者の表示事項に関する確認、境界測量及び面積測定を行い、調査結果を地図、簿冊として作成する。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	委託料	56,595	一筆地調査ほか業務 30繰31 56,243千円										
	賃金	2,288	権利調査等に係る臨時職員賃金										
	需用費	1,689	事務用品購入費 30繰31 458千円										
	役務費	1,039	郵送料 30繰31 646千円										
	使用料及び賃借料ほか	1,651	地籍調査システム賃借料 公用車賃借料ほか 30繰31 143千円										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	58,998	56,242	39,839	予算編成時記入				
	② 補正予算	3,610	△ 3,300	0					
	③ 繰越予算	3,606	11,094	46,400					
	前年度繰越	61,100	57,494	46,400					
	次年度繰越	△ 57,494	△ 46,400	0					
小計(①～③)	66,214	64,036	86,239						
予算財源内訳	① 一般財源	2,860	18,749	23,518					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	49,730	45,256	62,700					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	13,624	31	21					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	66,214	64,036	0					
	③ 執行額	65,599	63,262	0					
	④ 執行率	99.1%	98.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	4.7/1.15	4.72 / 1.29	4.72 / 1.29	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	40,475	40,985	40,985	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	106,074	104,247	40,985						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	国土調査費補助金	種類	土木費府補助金	実績金額	2,208	決算付属資料	28	頁
	特財名称	国土調査費補助金(繰越分)	種類	府補助金	実績金額	42,894	決算付属資料	28	頁
	特財名称	市道・法定外境界確定証明手数料ほか	種類	土木手数料	実績金額	24	決算付属資料	16	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	地籍調査事業成果法務局送付面積比率	%		0 / 100	0.34 / 100	0.34 / 100	/ 100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	地籍調査事業着手面積(累計)	km2	8.35 / 496.4	8.07 / 496.4	8.07 / 496.4	/ 496.4	496.4
	単位あたりコスト		4242.87	7856.00	7839.15	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	法務局備え付けの図面が字限図となっている地区は測量精度が低く、土地の利活用や公共事業の推進に支障があるため、事業の必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	補助事業のうち、1/2が国庫補助、1/4が府補助、残り1/4が市費であるが、1/4の市費のうち80%が特別交付税の対象となり、実質市負担は5%で非常に有利な事業である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	成果目標については、地籍調査事業により、法務局に成果を送付した面積としている。地籍調査により土地取引の活性化、円滑化が可能となり、また、災害時の復旧が容易となるなど、効果が大きい事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>福知山市全域の土地の境界を明らかにし、法務局に成果を登記する。 計画的に、順次新規箇所を進めており適切な事業進捗となっている。 しかし、地権者の土地に関する関心度が低かったり、所有者不明の土地が多く存在する地区については、調査期間が長期化する傾向にあるため、今後の進捗目標について随時見直しと調整が必要である。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>令和2年度から開始となる国の第7次国土調査計画に基づき、必要性の高い地区を優先的に実施していく。 本市の地籍調査については、平成24年度から60年計画で進めていく予定にしており、より経済効果が高い地区を選定しつつ効率的な進め方を検討していく必要がある。また、引き続き、近畿ブロック国土調査推進連絡協議会や京都府国土調査推進連絡協議会と連携し補助金の確保に努めていく。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	法定外公共物管理事業												
事業担当	所属	建設交通部 用地課					所属長	貴田 直子					
会計情報	事業コード	510123	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	190	頁
施策体系	施策コード	030101	施策名	計画的な土地利用を推進する									
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	法定外公共物(里道・水路)において、法定外公共物上の占用許可、用途廃止及び売払い等の事務を執行し、適正な財産管理を行うことにより、自治会等地元に着した重要な公共物の適正な管理と有効な活用を図る。								
対象者	市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.2				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	株式会社パスコ京都支店								
事業概要 (簡条書き)	法定外公共物(里道・水路)における、占用許可、用途廃止及び売払い等の事務及び法定外公共物(里道・水路)の改修助成、緊急修繕を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	782	法定外公共物等改修助成金(4自治会)						
	委託料	523	法定外公共物管理システム保守業務						
	需用費	299	里道の緊急修繕料						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,033	1,834	2,584	予算編成時記入				
	② 補正予算	6,000	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	8,033	1,834	2,584						
予算財源内訳	① 一般財源	6,000	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	2,033	1,834	2,584					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	8,033	1,834	0					
	③ 執行額	5,238	1,604	0					
	④ 執行率	65.2%	87.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	1.72/0.75	1.47 / 0.75	1.47 / 0.75	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	15,635	13,635	13,635	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	20,873	15,239	13,635						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	法定・法定外公共物占用料(里道・水路)	種類	財産貸付収入	実績金額	1,604	決算付属資料	32	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	払下面積	m2	1857.74	1582.21	1175.59	/ 1,000			
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	占用申請に対する許可件数	件	168/168	141/141	80 / 80	/ 100			
	単位あたりコスト		8.17	37.10	20.05				
	払下件数	件	16	4	9 / 9	/ 10			
	単位あたりコスト		86.31	1309.00	178.24				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 国から譲与を受けた法定外公共物(里道・水路)の位置情報等の提供、占用の許可、用途廃止及び売払い等財産管理とともに、自治会が行う改修工事に対して工事費の一部を助成しており、市民の要望に密接した事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 本事業による占用許可に係る占用料収入及び売払い収入を積み立てている基金を財源としている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標については、法定外公共物の払下げ面積を指標としている。 法定外公共物に関連する事務を執行することにより、地域に密着した重要な公共施設である法定外公共物の適正な管理ができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>法定外公共物の適正な管理のために、占用許可及び払下げ等を適切に実施できている。実態のない、若しくは必要なくなった公有財産を適正に用途廃止及び払い下げすることで、公有地の適切な管理が図れる。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>法定外公共物の機能にかかる維持管理については地元で対応いただいているが、その機能維持が困難、かつ緊急対応が必要な事例に対応する修繕料の確保が必要である。なお、適正な維持管理のため、助成制度の要綱改正により助成対象を拡大させ、より地元要望に効果的に応えることができるようになった。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	未登記用地測量事業												
事業担当	所属	建設交通部 用地課					所属長	貴田 直子					
会計情報	事業コード	120306	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	192	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名						市道などの整備を推進する			
計画期間	開始年度	平成26年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名			-			
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	道路改良工事等において、現況市道内に未登記用地(個人名義等)の存在が発覚した場合、その権原を取得する。												
対象者	発覚した土地の所有者					対象者数	21		単位あたりコスト	183.9			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	公益社団法人京都公共嘱託登記士地家屋調査士協会 ・現況市道内の未登記用地について、分筆登記及び寄附による所有権移転を行う。 ・登記に必要な測量及び登記事務に係る委託業務を行う。												
事業概要 (簡条書き)													
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容								
	委託料	406			測量業務								

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,335	413	500	予算編成時記入					
	② 補正予算	0	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0	0						
小計(①～③)	1,335	413	500							
予算財源内訳	① 一般財源	705	86	0						
	② 国支出金	0	0	0						
	③ 府支出金	0	0	0						
	④ 地方債	0	0	0						
	⑤ その他特財	630	327	500						
決算情報	① 流充用額	0	0	0						
	② 配当予算	1,335	413	0						
	③ 執行額	1,334	406	0						
	④ 執行率	100.0%	98.3%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.27/0.35	0.26 / 0.55	0.26 / 0.55	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	3,035	3,455	3,455	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,369	3,861	3,455							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	法定・法定外公共物占用料(里道・水路)		種類	財産貸付収入	実績金額	406	決算付属資料	32	頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	寄附を受けた土地の面積	㎡	1230.65	88.01	1659.54 / 1659.54	/ 1000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	寄附申出による登記筆数	筆	25	9	30 / 30	/ 20	
	単位あたりコスト		0.00	148.40	13.53		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 現況市道内に未登記用地が発覚した場合は、その権原の取得を行う必要がある。 寄附行為であるため、十分な説明が必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 市道内未登記用地の寄附を受けるためには、分筆が必要になる場合があり、分筆登記に係る業務発注が必要であるため、十分な事前調整の上、依頼をしている。 分筆登記に対応することにより、隣接する分筆を要しない土地の権原も一括して取得できる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 必要となれば、分筆登記にも対応できるとの裏付けが備わることにより、未登記用地の整理に積極的な姿勢で臨むことができるため、寄附面積そのものが成果を表している。 未登記用地が解消された結果、公共施設の維持管理ならびに隣接する民有地の土地利用増進に寄与する。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>道路改良事業等において未登記用地が発覚する場合と、所有者自らが申し出られる場合とがあるが、いずれにしても市道内に存在する民地については、その権原の取得が必要となる。 現状として、申し出のあった寄附行為については、分筆等も含め、適正且つ速やかに対応できている。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>未登記用地については、その全数は把握しきれない状況であるが、今後、地籍調査事業を通じて明らかになるものについても所有者に説明の上、その権原の取得に努めていく必要がある。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	農業者年金受託事業												
事業担当	所属	農業委員会 農委事務局					所属長	井上 陽一					
会計情報	事業コード	210149	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	01 農業委員会費	会計	01 一般会計	決算付属資料	164	頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める									
計画期間	開始年度	昭和49年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (業務受託事業)												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	農業者年金の加入促進と啓発、農業者年金業務の円滑な推進を図る。								
対象者	農家	対象者数	6,688	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	・独立行政法人農業者年金基金から農業者年金業務を受託し、制度の普及啓蒙活動や加入者の現況届や死亡届の受付と送付、経営移譲等の確認などを実施する。 ・農業者年金加入推進活動については、農地利用最適化推進委員会を中心として実施する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	15	委員等旅費(会議・研修会)						
	需用費	117	農委だより印刷						
	役務費	43	郵送料						
	使用料及び賃借料	56	複写機使用料						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	278	233	228		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	278	233	228						
予算財源内訳	① 一般財源	65	0	12					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	213	233	216					
決算情報	① 流充用額	0	0	0		0			
	② 配当予算	278	233	0		0			
	③ 執行額	276	231	0		0			
	④ 執行率	99.4%	99.2%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.05/0	0.05 / 0.00	0.05 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	400	400	400		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	676	631	400						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	農業者年金業務受託手数料	種類	雑入	実績金額	216	決算付属資料	46	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	加入推進活動	回	2/2	2/2	2 / 2	/ 2	2		
	単位あたりコスト		137.50	138.00	115.55				
	現況届の受理・報告	件	113/141	98/113	88 / 98	/ 88	75		
	単位あたりコスト		2.43	2.82	2.63				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	農業者の老後の生活を支える制度維持に必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	農業者年金基金からの業務委託料を受け入れており、必要な事務経費のみであり効率的である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	農業者年金制度の維持に有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>農業者年金業務の円滑な推進、加入促進・普及啓発を行った。農業者年金は農業者の老後の生活支援のためにもメリットは大きく、制度を維持して行く事は重要である。 農業者年金基金からは業務委託料を財源として受け入れた。 (定性的評価)</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>農業委員会の新体制下において、農業委員と農地利用最適化推進委員が協力して、農業者年金の普及啓発を進め加入推進を図る体制をつくる。 農業者年金受託業務については、適正で合理的な事務を継続する。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性														
事業名	農政活動推進事業													
事業担当	所属	農業委員会 農委事務局					所属長	井上 陽一						
会計情報	事業コード	210150	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	01 農業委員会費	会計	01 一般会計	決算付属資料	164・166	頁	
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤・施設の整備により生産力を高める										
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名									
根拠法令等	農業委員会等に関する法律													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()													
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合													
関連事業														

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	農地を守り、その有効活用を図る観点から、地域に農業委員会補助員(農区長)を配置し、農地の貸借等の流動化を推進し、遊休荒廃農地の発生防止と解消、農地の有効利用に取り組む。												
対象者	農家	対象者数	6,688	単位あたりコスト	1.5								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (簡条書き)	・農地利用最適化推進委員会議や月例の農地農政相談の開催、また、農林関係事業への要請活動、「農委だより」発行による広報活動などの農政活動事業を実施する。 ・農業委員会補助員(農区長)と農業委員会の委員とで構成される地区推進協議会等を中心に、農地を守り有効利用を推進する活動を実施する。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	旅費	548	委員活動費実費弁償、研修旅費										
	需用費	208	農委だより印刷、書籍、用品										
	役員費	175	電話代、郵送料										
	使用料及び賃借料	56	農地等情報総合管理システム用電算機器賃借料										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,413	1,230		1,250		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①~③)	1,413	1,230		1,250							
予算財源内訳	① 一般財源	1,394	1,224		1,244						
	② 国支出金	0	0		0						
	③ 府支出金	0	0		0						
	④ 地方債	0	0		0						
	⑤ その他特財	19	6		6						
決算情報	① 流充用額	0	△ 11		0		0				
	② 配当予算	1,413	1,219		0		0				
	③ 執行額	955	987		0		0				
	④ 執行率	67.6%	80.9%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	1.1/0	1.10	/	0.00	1.10	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	8,800	8,800		8,800		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,755	9,787		8,800							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁			
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁			
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	担い手への農地の集積	ha	713/690	713/713	713 / 713	/	713	1239
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	広報誌「農委だより」の発行	回	2/2	2/2	2 / 2	/	2	2
	単位あたりコスト		491.00	477.50	493.37			
	委員の数	人	49/50	49/50	48 / 50	/	50	50
単位あたりコスト		20.04	19.49	20.56				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	法律に基づく委員会活動を地域とともに推進するために必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	電算システムの導入などの合理化を図っており、会議の開催方法を工夫するなど、効率的である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	農政活動を市全体で推進するために、地区推進協議会・農業委員会補助員の連携は有効性が高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>農業委員会等に関する法律に基づき、農地等の利用の集積その他農地等の効率的な利用の促進、また農家への情報提供等を行うため、農業委員の活動の推進事務費等として必要である。</p> <p>農家において農地の保全を図り、地域農業の情勢を知る上で有効性は高い。</p> <p>他の会議との同一日開催により質を落とさずコスト削減に努めている。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>今後も農政活動を推進するが、農業委員会補助員の協力のもとで農地の流動化(利用権設定)等を推し進めるとともに、「農委だより」等による農業委員会の活動周知と理解を求めていく。</p> <p>29年7月から新体制となり農地利用最適化推進委員が設置されたことから、研修や活動支援を充実させていく必要がある。特に、地区推進協議会の組織や取り組みを強化する必要がある。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価			
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	農業委員会運営事業												
事業担当	所属	農業委員会 農委事務局					所属長	井上 陽一					
会計情報	事業コード	510106	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	01 農業委員会費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
施策体系	施策コード	030101	施策名	計画的な土地利用を推進する									
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	農業委員会等に関する法律												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	農業委員会の円滑な運営と農地関係法令等による所掌事務の適切な推進を図る。									
対象者	農業委員、推進委員、補助員	対象者数	298	単位あたりコスト	110.3					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等										

事業概要 (箇条書き)	・農業委員会の運営と所掌事務に係るもので、農地法に基づく農地の売買(権利移動)や農地転用に係る審議、農業経営基盤強化促進法に定める利用権設定に関する業務などと、それらに付帯・関連する事務事業を実施する。									
----------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容		
	報酬	10,410	農業委員・推進委員報酬		
報償費	3,727	農業委員会補助員(農区長)報償			
旅費	506	農業委員活動費実費弁償、研修等旅費			
負担金補助及び交付金	606	京都府農業会議会費			
需用費・役務費	430	事務用品、公用車燃料費、電話代、郵送料			

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	16,772	16,038	17,078	予算編成時記入
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①~③)	16,772	16,038	17,078		
予算財源内訳	① 一般財源	10,381	9,659	10,690	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	6,358	6,349	6,349	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	33	30	39	
決算情報	① 流充用額	0	11	0	0
	② 配当予算	16,772	16,049	0	0
	③ 執行額	16,426	15,679	0	0
	④ 執行率	97.9%	97.7%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	2.15/0	2.15 / 0.00	2.15 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	17,200	17,200	17,200	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	33,626	32,879	17,200		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	農業委員会証明手数料	種類	農林手数料	実績金額	50	決算付属資料	16	頁
	特財名称	農業委員会交付金等	種類	農林業費府補助金	実績金額	5,117	決算付属資料	26	頁
	特財名称	農地利用最適化交付金	種類	農林業費府補助金	実績金額	2,105	決算付属資料	26	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	農業委員研修回数	回	4/4	4/4	4 / 4	/ / 4	4
	単位あたりコスト		4077.75	4106.50	3919.83		
	定例総会・農地部会	回	12/12	12/12	12 / 12	/ / 12	12
	単位あたりコスト		1359.25	1368.83	1306.61		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	法律にもとづく農業委員会の運営に必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	交付金や補助金を受け入れ、費用弁償も実績にもとづくなど、効率的である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	法律にもとづく農業委員会の運営を円滑に行うことの有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農業委員会等に関する法律に基づく行政委員会として設置されており、委員への報酬や事務費等の運営経費として必要である。毎月の総会で農地法に係る審査等を実施する法定組織で、有効に機能している。審査案件の多少により変動はあるものの、効率性を問うことは難しいと考える。 総会等により農業委員会業務の円滑な運営と、農地関係法令等による所掌事務の適切な推進を図った。 (定性的評価)		
これまでの課題及び今後の方向性	農地法に基づく審査を実施していくため等の事業であり、現状維持で行う必要がある。 29年7月から新体制に移行したことにより、農業委員及び農地利用最適化推進委員への研修や活動支援を実施していく必要がある。引き続き、総会、各種委員会、研修会等により農業委員会業務の円滑な運営と、農地関係法令等による所掌事務の適切な推進を図る必要がある。 また、より制度の趣旨に沿った形の委員構成となるように改選を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	農家基本台帳等整備事業												
事業担当	所属	農業委員会 農委事務局				所属長	井上 陽一						
会計情報	事業コード	510110	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	02 農業総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
施策体系	施策コード	030101	施策名	計画的な土地利用を推進する									
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	農地法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	農家基本台帳整備と管理事務の円滑な処理を図るため、電算化による事務事業の実施を行う。 農家基本台帳整備は、農業委員会等に関する法律(平成元年農林水産省局長通知)に基づき推進している。												
対象者	農家	対象者数	6,688	単位あたりコスト	1.2								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	ソリマチ株式会社												
事業概要 (簡条書き)	・農家基本台帳の印刷、袋詰め、農業委員会補助員への発送、農業委員会補助員を通じた農家への配布と回収、変更、修正事項の台帳補正などを行う。 ・28年度からは農地情報の公開に向けたデータ整備に着手しており、29年度からは国が推進している農地情報公開システム上での管理に向けた業務を行っている。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	賃金	1,284	臨時職員賃金(農地台帳整備等作業)										
	需用費	192	農地台帳調査・利用状況調査等用品										
	役務費	169	調査票発送・回収等郵送料										
	委託料	770	農地台帳システム保守業務委託料 他										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,377	2,418	2,327	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	2,377	2,418	2,327						
予算財源内訳	① 一般財源	1,384	1,413	1,303					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	993	1,005	1,024					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	2,377	2,418	0	0				
	③ 執行額	2,118	2,414	0	0				
	④ 執行率	89.1%	99.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	0.7/0	0.70 / 0.00	0.70 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	5,600	5,600	5,600	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,718	8,014	5,600						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	機構集積支援事業	種類	農林業費府補助金	実績金額	946	決算付属資料	26	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	農家基本台帳整備	戸	6681/6763	6688/6681	6688 / 6688	/ / 6688	6600
		単位あたりコスト	0.36	0.32	0.36	/	
			/	/	/	/	
		単位あたりコスト					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	法律に基づく農地情報の管理であり、農業委員会の活動にとって必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	電算システムの導入などの合理化により効率的である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	農業委員会の根幹をなすデータであり、整備する有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>農家基本台帳の農家・経営農地の情報は、農地事務の元となるデータであり事業の有効性は高い。パソコンによるソフトシステムの使用、また農業委員会補助員の協力により効率性が図られている。農家基本台帳の更新管理と、その情報を基にした耕作証明等各種証明書の発行事務の適正化が図られた。(定性的評価)</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>農家基本台帳は農地の情報公開の基礎資料となるものであるとともに農地施策の根幹となるものであり、その重要性がますます高まっている。正確性を維持するために農業委員補助員の協力を得て引き続き行っていく必要がある。農地台帳の公表に対応したデータ整備の推進を図る必要がある。住基や税との突合を図り、農家・農地の台帳との整合を図っていく必要がある。また、農家基本台帳調査を農業委員会の活動や市の行政に活かすため、データの分析・活用方法を検討する。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	水洗化促進補助事業												
事業担当	所属	上下水道部 経営総務課					所属長	間島 哲哉					
会計情報	事業コード	540318	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	01 清掃総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	160	頁
施策体系	施策コード	030502		施策名	下水道等を適切に維持管理する								
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	福知山市浄化槽維持管理事業補助金交付要綱 等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	浄化槽整備区域内の水洗化を促進することで、生活排水による水質汚濁防止及び快適で住みよい生活環境の形成を図る。								
対象者	浄化槽整備区域内の居住者		対象者数	3,840		単位あたりコスト	18.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	-								
事業概要 (簡条書き)	浄化槽整備区域において、浄化槽の設置及び適正な維持管理を促進するため、10人槽以下の浄化槽を設置する者に対し、設置整備事業補助金を交付する。 また、し尿と雑排水を併せて処理する浄化槽を設置している者に対し、維持管理事業補助金を交付する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	旅費	22		京都市浄化槽主管課長会議					
	役員費	6		郵送料					
	負担金補助及び交付金	1,840		浄化槽設置整備事業補助金					
	負担金補助及び交付金	42,735		浄化槽維持管理事業補助金					
負担金補助及び交付金	18,727		浄化槽汚泥処理負担金等						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	64,332	64,321	64,073		予算編成時記入			
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	64,332	64,321	64,073						
予算財源内訳	① 一般財源	60,694	60,683	60,435					
	② 国支出金	1,819	1,819	1,819					
	③ 府支出金	1,819	1,819	1,819					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0		0			
	② 配当予算	64,332	64,321	0		0			
	③ 執行額	62,908	63,330	0		0			
	④ 執行率	97.8%	98.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.96/0	0.70 / 0.00	0.70 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	7,680	5,600	5,600		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	70,588	68,930	5,600						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	循環型社会形成推進交付金	種類	国庫補助金	実績金額	492	決算付属資料	18	頁
	特財名称	京都府浄化槽設置整備事業費補助金	種類	府補助金	実績金額	492	決算付属資料	26	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	水洗化率	%	68.0/	67.8/	68.3 /	/	68.5
処理人口	人	2820/	2741/	2690 /	/	2670	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	新規設置数	基	10/14	9/14	4 / 14	/ 14	50/5年
	単位あたりコスト		6108.70	6989.78	15832.42		
	維持管理補助金交付件数	件	1288/1290	1287/1295	1295 / 1301	/ 1298	1320
単位あたりコスト		47.43	48.88	48.90			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	浄化槽の設置及び適正な維持管理を促進するためには、必要性の高い事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	交付要綱等の中で、規定に沿って行うことにより、適正に効率的に進められる事業である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	浄化槽の設置増進に繋がり、生活排水による水質汚濁防止及び快適で住みよい生活環境の形成を図るために有効な事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	設置整備事業補助金、維持管理事業補助金を交付することにより、合併処理浄化槽の設置を促進し、生活排水による水質汚濁防止、快適で住みよい生活環境の形成を図ることができる。 (定性的な評価)		
これまでの課題及び今後の方向性	事業開始から約30年が過ぎ、当初に設置されたものの経年劣化が心配される年数となってきたが、国庫補助の見直しでは補修に対しての補助は行わず、相談等の声が高まった場合、事業の方向性についての検討も必要となる。 設置者に、浄化槽を個人設置型で設置、維持管理をしてもらう上では、この事業の必要性は高いものである。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	と畜場費特別会計									
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課					所属長	小西 晴之		
会計情報	事業コード	210603	款	01 と畜場費	項	01 施設管理費	目	01 一般管理費	会計	04 と畜場 決算付属資料 283~286 頁
施策体系	施策コード	060106	施策名	公設市場等を活性化する						
計画期間	開始年度	昭和39年	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等	と畜場法									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (北部4市共同事務運営負担金)									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	衛生的で効率的な食肉処理を行う施設として、市民生活の安定に寄与することを目的に「と畜場法」に基づき、平成9年7月に移転開設された福知山市食肉センターの運営・管理を行う。									
対象者	条例で定める許可業者	対象者数	9	単位あたりコスト	3,925.5					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	福知山市食肉組合、福知山環境事業協同組合、京都府獣医師会									
事業概要 (簡潔書き)	福知山市、綾部市、舞鶴市の獣畜に加え、主には他県産の牛に対して、と殺及び解体を行った。									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容							
	需用費	8,288	消耗品・燃料費・光熱水費・設備修繕費など							
	役員費	1,722	通信運搬費・法定点検業務・危険部位廃棄料など							
	委託料	14,001	施設運営・機械警備業務・公害監視測定・衛生管理など							
	使用料及び賃借料 備品購入費	93	NHK放送受信料、動力噴霧器購入							
負担金補助及び交付金	2,346	家畜解体費補助金								

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	31,600	35,900	30,800	予算編成時記入
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①~③)	31,600	35,900	30,800		
予算財源内訳	① 一般財源			0	
	② 国支出金			0	
	③ 府支出金	210	1,627	0	
	④ 地方債			0	
	⑤ その他特財	31,390	34,273	30,800	
決算情報	① 流充用額	0	0	0	
	② 配当予算	31,600	35,900	0	
	③ 執行額	30,821	26,450	0	
	④ 執行率	97.5%	73.7%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.17 / 0.00	1.11 / 0.00	1.11 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	9,360	8,880	8,880	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	40,181	35,330	8,880		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	運営負担金	種類	雑入	実績金額	21,819	決算付属資料	284	頁
	特財名称	施設使用料・冷蔵庫使用料	種類	と畜場使用料	実績金額	2,184	決算付属資料	284	頁
	特財名称	一般会計繰入金	種類	他会計繰入金	実績金額	2,051	決算付属資料	284	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	市内業者利用頭数	頭	15 / 36	22 / 36	20 / 36	/	36
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	利用頭数	頭	560 / 662	426 / 662	323 / 662	/	662
	単位あたりコスト				81887.35	/	
	単位あたりコスト				/		

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	△	利用頭数は年々減少傾向にあり、施設のあり方について早急な検討を要する。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	現状の利用状況からみて、単純に利用料金を上げれば良いとはいえない。施設の老朽化に伴い、修繕費など維持管理経費が増えており、コストパフォーマンスが高い施設とは言い難い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	成果指標と活動実績が同じ指標となっていたため、成果実績を市内業者の利用頭数に変更した。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	と畜場法、食品衛生法にのっとり、適切に処理された安全な食肉を市民に提供するために、施設の維持・運営を図っているが、利用頭数は年々減少しており、市民ニーズの観点から、施設のあり方についての見直しを必要としている。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和2年6月に施行された改正食品衛生法により、1年の猶予期間を経た令和3年6月からのHACCP義務化に伴い、継続して利用するためには設備改修が必須となる。 このような状況に加え、利用状況が年々減少していることも踏まえ、施設のあり方を検討する必要がある。		

VI 他部署評価	
事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針		
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果			
予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:)	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	非農用地造成事業												
事業担当	所属	産業政策部 農政課					所属長	西畑 信寿					
会計情報	事業コード	530106	款	01 事業費	項	01 宅地造成費	目	01 宅地造成事業費	会計	07 宅地造成	決算付属資料	290	頁
施策体系	施策コード	060501	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する									
計画期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	戸田地区計画							
根拠法令等	戸田地区非農用地造成事業 宅地分譲に関する要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	由良川改修事業に伴い集団移転先住宅用地をほ場整備事業区域内に確保・造成し、代替地として分譲、地区計画を導入し「農」と「住」の一体的な整備を図り、新しい「田園住区」を創出する。								
対象者	戸田地区住民	対象者数	289	単位あたりコスト	76.5				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	畿北冷熱(株)								
事業概要 (簡条書き)	非農用地造成事業に要する一般経費								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	前年度繰上充用金	19,349	前年度歳入歳出不足額の補填						
	需用費	413	戸田地区雨水排水ポンプ場電気代						
	報償費	221	戸田地区造成地除草作業謝礼金						
	委託料	198	戸田地区雨水排水ポンプ場保守点検業務						
役員費・旅費	94	郵送料2千円・旅費92千円							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)			R2(本年度)		R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	22,400	23,200	25,100	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	22,400	23,200	25,100						
予算財源内訳	① 一般財源			0					
	② 国支出金			0					
	③ 府支出金			0					
	④ 地方債			0					
	⑤ その他特財	22,400	23,200	25,100					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	22,400	23,200	0	0				
	③ 執行額	19,771	20,274	0	0				
	④ 執行率	88.3%	87.4%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.13 / 0.00	0.23 / 0.00	0.23 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,040	1,840	1,840	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	20,811	22,114	1,840						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料	種類	財産貸付収入	実績金額	11	決算付属資料	288	頁
	特財名称	土地貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	317	決算付属資料	288	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	未売却地販売実績	区画			0 / 10	/ 10	10		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	戸田地区雨水排水ポンプ場保守点検業務発注件数	件			1 / 1	/ 1	1		
	単位あたりコスト				20274.10				
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	河川改修に伴い集団移転先用地を確保・造成し、地区計画を導入し代替地として分譲するものであり、市で取り組むべきものである。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	造成地の管理、安全確保及び未売却地の販売のために必要最低限の費用を確保するものである。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	地域の環境美化、浸水被害の防止を図っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	災害時に戸田地区の浸水を防ぐため、戸田地区雨水排水ポンプ場の維持管理を行った。		
これまでの課題及び今後の方向性	引き続き、造成地の管理、安全確保及び未売却地の販売促進に努める。		

VI 他部署評価

事後事業評価			
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	公設市場運営経費									
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香		
会計情報	事業コード	210607	款	01 市場費	項	01 卸売市場費	目	01 一般管理費	会計	09 卸売市場 決算付属資料 295～298 頁
施策体系	施策コード	060106	施策名	公設市場等を活性化する						
計画期間	開始年度	昭和56年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名					
根拠法令等	卸売市場法、京都府卸売市場条例、福知山市公設地方卸売市場条例									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市民に新鮮かつ安心・安全な農産物等を供給すると共に、農業振興の拠点として、市内の生産者と連携し、地場産野菜の生産・出荷体制作りを支援し、地場産農産物の高付加価値化と地産地消を推進する。									
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.1					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	株式会社丹波松下農園、(株)地域計画建築研究所									
事業概要 (簡潔書き)	公設地方卸売市場は、生産者の地場野菜の出荷先として、また青果物の流通拠点施設として大きな役割を担っている。平成24年度からは指定管理者制度を導入し、効率的な施設機能の維持管理を図りながら、円滑かつ適正な運営に努めている。 ※現在の指定管理者はH29年度～R3年度 青果部門の取扱高については、依然として厳しい流通消費環境の中にあるが、売上高については好転している。 ※H29・30は災害等による野菜の高騰の影響もあると考える。									
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容							
	委託料	7,700	福知山市公設地方卸売市場のあり方検討調査業務							
	負担金補助及び交付金	1,000	地場野菜販売促進対策事業補助金、地場野菜価格安定対策事業補助金、全国公設地方卸売市場協議会負担金							
	その他運営経費	1,654	旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料							

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	6,400	14,000	9,300	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	6,400	14,000	9,300						
予算財源内訳	① 一般財源			0					
	② 国支出金			0					
	③ 府支出金			0					
	④ 地方債			0					
	⑤ その他特財	6,400	14,000	9,300					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	6,400	14,000	0					
	③ 執行額	1,698	10,354	0					
	④ 執行率	26.5%	74.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.26 / 0.65	0.49 / 0.65	0.49 / 0.65	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,705	5,545	5,545	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,403	15,899	5,545						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	一般会計繰入金	種類	他会計繰入金	実績金額	10,354	決算付属資料	296	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	市場取引料	千円	742739	800473	758584	/	
使用料収入	千円	10566	10313	10171	/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	市場取扱高	t	2513	2565	2571	/	
	単位あたりコスト		1.29	0.66	4.03		
	関連店舗使用面積	m ²	931	894	894	/	
単位あたりコスト		3.49	1.90	11.58			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	安心・安全な地場野菜の提供は市民のニーズに合致しているが、直売所や農家と消費者による直接取引など、流通が大きく変化している中、公設公営で市場を運営する必要性について検討が必要
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	指定管理にしたことで効率的な施設運営が図られている。しかしながら民営化等についての視点から再考が必要である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	青果の取り扱い量・金額ともに前年度より伸びている 協定に基づき指定管理され、決算は一般会計からの繰入金で均衡している
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	市場取引高に対する使用料収入が増えているが、関連店舗数(使用面積)が減っているため、施設使用料が減少している状況である。卸売市場法の改正を踏まえた空き店舗への誘致を指定管理者に求める必要がある。		
これまでの課題及び今後の方向性	施設の老朽化による修繕が増加しており、今後、大規模改修の必要性が見込まれる中、令和元年度からの2年間で、当該市場は本市の生鮮食品の流通にどれだけの影響を及ぼしているかの基礎資料集めを含めた「公設市場のあり方検討会」を実施し、今後の市場のあり方について検討を進めている		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	農業集落排水施設事業特別会計												
事業担当	所属	上下水道部 経営総務課・下水道課					間島 哲哉、大槻 訓宏						
会計情報	事業コード	510401他	款	(複数科目合算)	項	(複数科目合算)	目	(複数科目合算)	会計	12 農集排	決算付属資料	304~310	頁
施策体系	施策コード	030104	施策名	集落環境を保全・整備する									
計画期間	開始年度	昭和54年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市農業集落排水施設事業特別会計条例、福知山市農業集落排水施設条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	福知山市下水道事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	農業用水の水質保全及び農村生活環境の改善に資すること												
対象者	市民のうち農業集落排水区域内の地域住民					対象者数	8,539	単位あたりコスト	107.2				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	処理場等維持管理：(株)アクアテック・(株)石丸浄水センター・(株)かんとーす・(株)クリア 施設使用料徴収：メタウォーター・メタウォーターサービス・フューチャーイン共同企業体												
事業概要 (簡条書き)	農業集落排水施設使用料の適正な賦課徴収 農業集落排水施設である処理場、マンホールポンプ、管渠など各施設の適正な維持管理 各施設の計画的な更新事業												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	農業集落排水施設管理事業	351,835	農業集落排水施設全19地区の維持管理等に要する経費										
	農業集落排水施設更新事業	11,118	農業集落排水施設の更新に要する経費										
	公債費	505,398	農業集落排水事業の建設財源である起債償還に伴う元金および利息										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	984,800	961,800	951,900	予算編成時記入				
	② 補正予算	32,158	△ 5,893	0					
	③ 繰越予算	57,798	△ 34,600	47,600					
	前年度繰越	70,798	13,000	47,600					
	次年度繰越	△ 13,000	△ 47,600	0					
小計(①~③)	1,074,756	921,307	999,500						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	26,900	0	0					
	③ 府支出金	4,179	9,179	12,279					
	④ 地方債	224,000	145,400	179,800					
	⑤ その他特財	819,677	766,728	807,421					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	1,074,756	921,307	0					
	③ 執行額	971,009	868,351	0					
	④ 執行率	90.3%	94.3%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱任職員)	5.87 / 0.00	5.87 / 0.00	5.87 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	46,960	46,960	46,960	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,017,969	915,311	46,960						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	集落排水使用料	種類	集落排水使用料	実績金額	190,813	決算付属資料	300	頁
	特財名称	集落排水事業債	種類	集落排水事業債	実績金額	119,200	決算付属資料	300	頁
	特財名称	集落排水補助金	種類	集落排水補助金	実績金額	9,179	決算付属資料	300	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
排水水質基準適合	排水水質基準適合	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100%
			99.67 / 99.46	98.54 / 99.67	99.58 / 99.67	/ 99.67	100%
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	施設点検管理	日/年	243 / 243	242 / 242	242 / 242	/ 242	365日/年
			単位あたりコスト	3846.09	4012.43	3588.23	
	督促状発行件数の減少	件/年	1029 / 1020	922 / 977	1193 / 876	/ 17500	0件/年
			単位あたりコスト	908.26	1053.16	727.87	

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	農業集落排水施設事業は農山村地域における用排水の水質保全、生活環境の改善を図り、安心・安全で快適な市民生活を持続していくために不可欠であり、優先度は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	下水道事業への統廃合に向けた取組み(下豊西部処理区の公共下水道への統合)を進めるとともに、補助事業を活用した更新事業を進めた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	成果指標は受益者のニーズに沿っており、排水水質基準が全て適合したことは、施設の適正管理を表している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>前者の指標について、農山村地域における用排水の水質保全、生活環境の改善を図り、安心・安全で快適な市民生活を持続していくためには、施設の適切な維持管理は不可欠である。農業集落排水施設の適正な維持管理が行われているかを確認する手法としては排水水質が基準に適合しているか定期的に検査することにより確認できる。また、指標の達成のためには、日常の適正な点検管理が必要であり、本件成果実績は的確な活動実績によるものと評価できると認識している。</p> <p>後者の指標については、事業の継続的な実施において主要な財源となるのは施設の使用料であり、適切な賦課と確実な徴収は必要不可欠な要素である。使用料の徴収については、収入の確保と負担の公平性の担保を目的としており、本件の成果実績としては評価できる数字が表われている。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>農業集落排水区域内においては、人口減少が加速化するなか農業集落排水施設使用料収入の増加が見込めない状況であるが、さらなる収納率の向上を推進していく必要がある。また、各施設の老朽化は確実に進んできており、施設の最適化構想に基づく補助事業を活用した計画的な更新を行うとともに可能なものについては下水道事業への統廃合を推進し、効率的な運営を図っていく必要がある。</p> <p>総務省より公営企業会計適用拡大に関して通知が発出されており、令和5年度までに地方公営企業法適用事業への移行を行う必要がある。併せて、汚水処理システムの最適化に向けた検討を行っていく予定である。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	石原土地区画整理事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	510352	款	01 石原土地区画整理事業費	項	01 事業費	目	01 事業費	会計	13 石原区画	決算付属資料	314	頁
施策体系	施策コード	030401	施策名	住宅・宅地の整備を推進する									
計画期間	開始年度	平成4年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	石原土地区画整理事業変更計画(第7回)							
根拠法令等	土地区画整理法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	計画的な都市基盤整備を図ることで、良好な住宅地の形成及び魅力ある市街地環境づくりに大きく寄与する。								
対象者	石原土地区画整理事業地内市民	対象者数	2,000	単位あたりコスト	241.8				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	石原土地区画整理事業に要する一般経費								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費 等	501	消耗品費・印刷製本費 等						
	委託料	3,216	除草業務、排水ポンプ設置業務 等						
	工事請負費	1,468	石原駅駐輪場ラック新設工事						
	補償、補填及び賠償金	304	石原土地区画整理地内埋設物撤去にかかる物件補償						
	補償、補填及び賠償金	475,383	前年度繰上充用金						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	529,400	511,100		494,300		予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0						
	前年度繰越	0	0		0						
	次年度繰越	0	0		0						
小計(①~③)	529,400	511,100		494,300							
予算財源内訳	① 一般財源				0						
	② 国支出金				0						
	③ 府支出金				0						
	④ 地方債				0						
	⑤ その他特財	529,400	511,100		494,300						
決算情報	① 流充用額	0	0		0						
	② 配当予算	529,400	511,100		0						
	③ 執行額	517,216	480,871		0						
	④ 執行率	97.7%	94.1%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.26/0	0.33	/	0.00	0.33	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	2,080	2,640		2,640		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	519,296	483,511		2,640							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	公共施設管理者負担金	種類	公共施設管理者負担金	実績金額	1,467	決算付属資料	312	頁		
	特財名称	保留地一時使用料	種類	保留地使用料	実績金額	592	決算付属資料	312	頁		
	特財名称	保留地処分金	種類	土地売払収入	実績金額	12,927	決算付属資料	312	頁		

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	目標人口	人	2161 / 4000	2168 / 4000	2188 / 4000	/ 4000	4000		
	事業進捗率(事業費ベース)	%	99.7 / 100	99.8 / 100	99.7 / 100	/ 100	100		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	処分済みの保留地面積	m ²	15490 / 38833	14389 / 38833	14064 / 38833	/ 0	0		
	単位あたりコスト		37.39	35.95	34.19				
	インターネット公売	回	1 / 1	2/1	1 / 1	/			
単位あたりコスト		595966.00	258608.00	480871.01					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	石原土地区画整理事業保留地の早期売却及び特別会計の早期閉鎖は急務である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	保留地処分のため、インターネット等を駆使して公売を行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	特別会計の閉鎖には保留地の処分が必須であり、早期閉鎖に向け残保留地の売却を進めていく。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	保留地の維持管理等を行うとともに、保留地の早期売却に努めた。災害時に石原地区の浸水を防ぐため、ポンプを設置した。		
これまでの課題及び今後の方向性	引き続き、残保留地の早期処分に努める。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	下夜久野地区財産区管理経費									
事業担当	所属	地域振興部 夜久野支所				所属長	衣川 正彦			
会計情報	事業コード	210146	款	01 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費	会計	18 下夜久野 決算付属資料 335~338 頁
施策体系	施策コード	010102	施策名	市民主体のまちづくり活動を支援する						
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等	福知山市下夜久野地区財産区管理会条例									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業	-									

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	福知山市下夜久野地区財産区管理会条例に基づき、財産の保全管理並びに基金の管理を図る。								
対象者	下夜久野地域住民	対象者数	1,306	単位あたりコスト	1.9				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山市下夜久野地区財産区管理会委員								
事業概要 (箇条書き)	下夜久野地区財産区有林の保全管理を実施 ・令和元年度、下夜久野地区財産区管理会を3回(5月、10月、3月)実施、現地確認1回(5月)実施								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報酬	112	管理会委員報酬						
	役員費	2	通信運搬費(郵送料)						
	負担金補助及び交付金	4	金尾地区林道整備管理負担金						
	積立金	4	基金利子積立金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	172	177	177	予算編成時記入				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	172	177	177						
予算財源内訳	① 一般財源				0				
	② 国支出金				0				
	③ 府支出金				0				
	④ 地方債				0				
	⑤ その他特財	172	177	177	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	172	177	0	0				
	③ 執行額	135	122	0	0				
	④ 執行率	78.5%	68.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.34 / 0.00	0.30 / 0.00	0.30 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,720	2,400	2,400	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,855	2,522	2,400						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	基金利子	種類	利子及び配当金	実績金額	4	決算付属資料	336	頁
	特財名称	下夜久野地区財産区財政調整基金繰入金	種類	下夜久野地区財産区財政調整基金繰入金	実績金額	117	決算付属資料	336	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
					/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	管理会開催回数	回	2 / 2	3 / 4	3 / 4	/ / 4	4 / 4		
	単位あたりコスト		39.00	45.00	40.65	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	特別地方公共団体である財産区の管理であり必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	財産区の管理に必要な最小限の経費である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	特別地方公共団体である財産区の管理であり有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	(定性的評価) 福知山市下夜久野地区財産区については、旧村合併の際に設置された特別地方公共団体であり、適正な管理が必要である。		
これまでの課題及び今後の方向性	特別地方公共団体である財産区の適正管理を行うため、事業を継続する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<h1>令和3年度予算編成時に記入</h1>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--